取扱説明書

FOMA® SO905iCS ’08.2

ドコモ　W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは､｢FOMA SO905iCS｣をお買い上げいただきまして､まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA SO905iCSは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容(電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、テレビ伝言メモなど)は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送･保管できます。
- 本書のご使用にあたって
  本FOMA端末は、きせかえツールに対応しております。(P.123)きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号が適用されないものがあります。
  この場合、本書での説明どおりに操作できないため、スタンダードメニューに切り替えるか、メニュー設定をリセットしてください。(P.35、124)

本書の最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ｢取扱説明書(PDFファイル)｣ダウンロード
  (http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html)

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた/引きかた

本書では、FOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたを操作手順ごとに画面例などを交えて説明しています。

■本書の引きかたについて

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを検索することができます。

次ページで詳しく説明しております。

◆索引から(P.478)

あらかじめわかっている機能名・サービス名や、ディスプレイに表示される機能名から検索できます。

◆かんたん検索から(P.4)

知りたい機能や知っていると便利な機能を目的別や機能名で検索できます。

◆表紙インデックスから(表紙)

「表紙」→「章扉(章の最初のページ)」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを検索できます。章扉には詳しい目次を記載しています。

◆目次から(P.6)

機能別に分類された章ごとに目的や機能名から検索できます。

◆主な機能から(P.8)

新機能や便利な機能など、SO905iCSの主な機能から検索できます。

◆メニュー一覧から(P.420)

FOMA SO905iCSの画面に表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

◆クイックマニュアルから(P.490)

よく使う機能などの操作手順が簡潔に記載されています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

- この「FOMA SO905iCS 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA SO905iCS」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。
  - microSDメモリーカードについて(P.306)
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「発信者番号通知」をさまざまな方法で探してみましょう。

あらかじめわかっている機能名・サービス名や、ディスプレイに表示される機能名から検索できます。

かんたん検索から(P.4)

知りたい機能や知っていると便利な機能を目的別や機能名で検索できます。

表紙インデックスから(表紙)

「表紙」→「章扉(章の最初のページ)」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを検索できます。章扉には詳しい目次を記載しています。

■操作説明のページ構成

※ 上記のページはサンプルです。実際のページとは異なります。

■メニューの表記

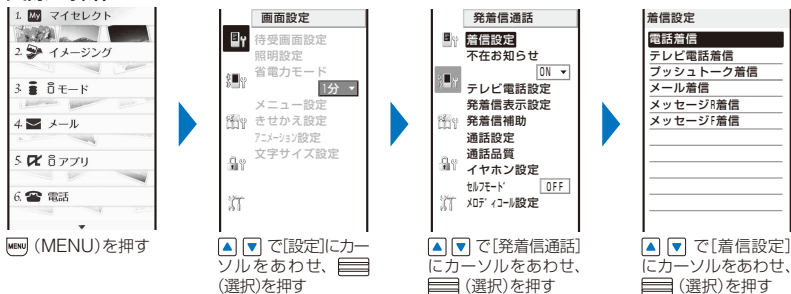
本書では、メニューを選択する操作を次のように省略して表記しています。

実際の操作

MENU（MENU）を押す

▲ ▼ で[設定]にカーソルをあわせ、▤（選択）を押す

▲ ▼ で[発着信通話]にカーソルをあわせ、▤（選択）を押す

▲ ▼ で[着信設定]にカーソルをあわせ、▤（選択）を押す

本書の表記例

メニューで[設定]→[発着信通話]→[着信設定]を選び ▤ を押す

- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書に記載しているボタンは、一部を省略・変形して記載しています。ご了承ください。

実際のボタン	本書での表記
1 あ @/:	1

- 本書に記載している画面は、本体色WHITEのきせかえメニュー（White Scrapbook）、カラーテーマ設定（ホワイト&ゴールド）で、時計種類を[デジタル時計5]に設定した状態で記載しています。ディスプレイの時計表示位置は、お買い上げ時の表示位置とは異なります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディや着信ランプを変えたい

画面表示を変えたい/知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※ おまかせロックは有料サービスです。電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。

こんなこともできます

- かんたん検索以外での機能の検索方法については、「本書の見かた/引きかた」をご参照ください。(P.1)
- よく使う機能などの操作手順はクイックマニュアルに記載しています。(P.490)

目次

FOMA SO905iCSの主な機能

FOMAとは、第三世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモードメニューサイト(番組)やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

デコメール、デコメ絵文字

デコメール/デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。(P.208)

メガiアプリ、直感ゲーム

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。
大容量のメガiアプリ対応のため、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。
また、ケータイを「傾ける」といった感覚的な操作で楽しむ直感ゲームにも対応。(P.238)

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。(P.404)

国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます(GSM・3Gエリアに対応)。音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。(P.410)

GPS

GPSを使って取得した位置情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、自分の位置をメール添付して通知したり、目的地までのナビゲーションが可能です。地図アプリをプリインストールしており、手軽に高精細な地図を利用することができます。(P.264)

着うたフル®、うた・ホーダイ、Music&Videoチャネル※、ビデオクリップ

※お申し込みが必要な有料サービスです。
1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、ケータイ1つで定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。
また、事前に設定するだけで、夜間に自動でダウンロードして音楽番組などを楽しめるMusic&Videoチャネルに対応。SO905iCSなら動画付きの番組も楽しめます。さらに、10MBまでのiモーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどを楽しめるビデオクリップにも対応しています。(P.338、344)

おサイフケータイ、トルカ

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」のiアプリをプリインストールしています。(P.244)また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り装置(リーダー/ライター)やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。(P.256)

きせかえツール

iモードからお気に入りのキャラクターの画面などをダウンロードして、待受やメニュー画面などを一括して変更することができます。SO905iCSなら利用頻度にあわせてメニューの表示順序の入れ替えも可能で、メニュー画面を自分好みにカスタマイズすることができます。(P.123、125)

＋JOG（プラスジョグ）
ジョグを上下に回して項目を素早く選択できます。4方向ボタンと組み合わせると、より操作しやすくなります。（P.28）

まちうけ文庫
待受画面が表示されるたびに、豆知識や雑学、絵本などの多彩な情報が次々と表示されるユニークなFlashコンテンツが、あらかじめ8件用意されています。
データBOXのマイピクチャの［プリインストール］フォルダから、お好みのコンテンツを選んで待受画面に設定し、楽しむことができます。（P.118）

クイックデコレーション機能
楽しいデコメールを簡単なステップでご利用いただけます。（P.210）

“POBox Pro 2.0”と便利な文字入力
予測変換機能“POBox Pro 2.0”（Predictive Operation Based On eXample Pro 2.0）を搭載。“POBox Pro 2.0”内の候補を ▲ ▼ ◀ ▶ で上下左右に移動でき、目的の語句を選択できます。また、タブの切り替えで語句候補リストを素早く選ぶことができます。（P.383）

マルチアクセス
音声通話とパケット通信を同時に利用できます。通話中にｉモードメールを受信したり、ｉモード中に通話したりできます。（P.352）

高精細なワイドVGA液晶ディスプレイ
ディスプレイに2.7インチ高画質フルワイド液晶を搭載。インターネットホームページの閲覧をはじめメール、ｉモードも大画面で快適に楽しめます。

ライフタイムカレンダー
画像、メール、スケジュール、電話帳（誕生日）などのデータをカレンダーから表示し、FOMA端末に保存されているお客様の想い出をより楽しく演出します。（P.355）

赤外線通信/赤外線リモコン
赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行ったり、テレビなどの赤外線リモコンに対応した機器を操作したりできます。また、高速赤外線通信規格IrSimple™機能に対応し、高画質な画像を対応機器に高速で転送できます。（P.327、331）

あんしん設定（P.129）

おまかせロック
FOMA端末を紛失した際にお申し出によりそのFOMA端末にロックをかけられ、解除もできます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。（P.136）なお、おまかせロックは有料サービス*です。

＊ ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

- おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますので、ご了承ください。

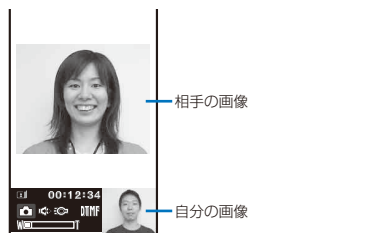
電話帳お預かりサービス
FOMA端末の電話帳、画像、メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映することもできます。
電話帳お預かりサービスご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。なお、本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。（P.147）

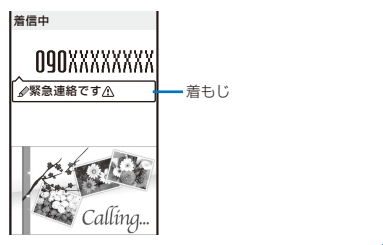
豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）（P.392）
- 転送でんわサービス（無料）（P.393）
- 番号通知お願いサービス（無料）（P.395）
- 英語ガイダンス（無料）（P.395）
- 2in1（有料）（P.398）
- キャッチホン（有料）（P.393）
- 迷惑電話ストップサービス（無料）（P.394）
- デュアルネットワークサービス（有料）（P.395）
- マルチナンバー（有料）（P.397）

SO905iCSを使いこなす！

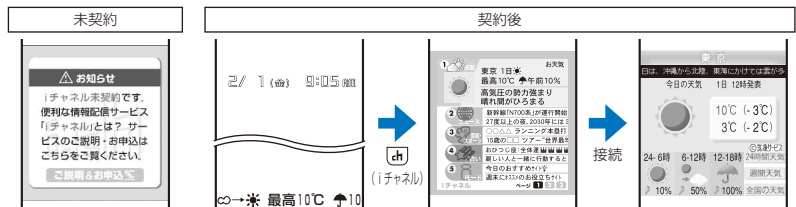
テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。（P.50）

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。（P.58）

プッシュトーク

プッシュトーク電話帳から相手を選んで [P] を押すだけのかんたん操作で複数の人（自分を含めて最大5人まで）と通信できます。（P.80）

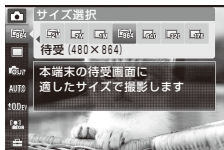
iチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。
さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、Flash（P.189）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。（P.202）

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

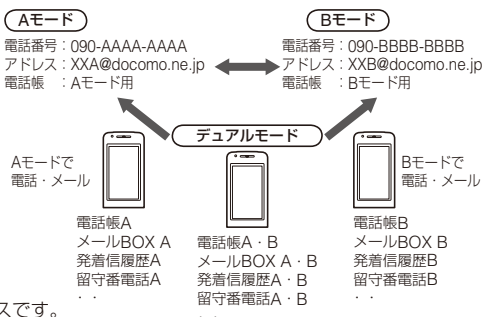
カメラ

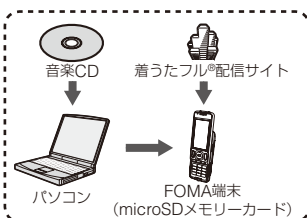
有効画素数約510万画素、デジタルズームに加えて光学3.0倍ズームを採用。顔検出オートフォーカスやスマイルシャッター、高輝度LEDフラッシュなど本格的な撮影機能を搭載し、本格的なデジタルカメラとしてご利用いただけます。動画にも光学ズームを利用でき、最大640×480ドットまでの動画を撮影可能です。
また、撮影した画像を簡単な操作でブログに投稿できる「ブログ投稿」機能や、デコフォト撮影、パノラマ撮影、画像への位置情報付加機能など楽しくて便利な機能が満載です。（P.150）

視覚的かつダイナミックな操作によりすばやい設定が可能なグラフィカルメニュー

人の顔を美しく撮影するための顔検出機能（最大3人検出）

2in1

1つの携帯電話で、2つの電話番号と2つのメールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、リダイヤル/着信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、A・B両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。（P.398）

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

ミュージックプレーヤー

音楽配信サイトからダウンロードした着うたフル®や、Windows Media Playerやナップスター®を利用してmicroSDメモリーカードに保存した音楽データをミュージックプレーヤーで再生できます。
また、Music&Videoチャネルで配信予約した音楽番組を夜間に自動でダウンロードし、最大約1時間の長時間番組を再生できます。（P.338、342）

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック SO02、卓上ホルダ SO08、FOMA ACアダプタ 01/02、FOMA DCアダプタ 01/02、FOMA補助充電アダプタ 01、FOMA 乾電池アダプタ 01、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02

※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

次ページにつづく

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

モーショントラッキングご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

モーショントラッキングは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振り過ぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。

けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

次ページにつづく

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
カメラリング	ニッケル	クロムメッキ仕上げ
プラスジョグ	アルミニウム合金	アルマイト仕上げ

FOMA端末を開閉する際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタ(充電器含む)の取り扱いについて

警告

禁止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源､電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ ：AC100V
DCアダプタ ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ
：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

次ページにつづく

指示

アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

◆共通のお願い

●水をかけないでください。

- FOMA端末、電池パック、アダプタ(充電器含む)、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。

- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

- 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

●FOMA端末、アダプタ(充電器含む)、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

●ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

- 傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

◆FOMA端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

- 故障、破損の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

- 故障、破損の原因となります。

●使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

次ページにつづく

●通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、microSDメモリーカード挿入口カバーをはめた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●リアカバーを外したまま使用しないでください。
- 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

●FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
- FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。

●microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。

●電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
- 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

◆アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

●次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
- 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
- 故障の原因となります。

◆FOMAカードについてのお願い

●FOMAカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

●使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●他のICカードリーダー/ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

●お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

●極端な高温・低温は避けてください。

●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。

●FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 故障の原因となります。

●FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
- 故障の原因となります。

●FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取付けないでください。
- 故障の原因となります。

◆FeliCaリーダー/ライターについて

●FOMA端末のFeliCaリーダー/ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

●使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー/ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆注意

●改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

●自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
- 運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

●FeliCaリーダー/ライター機能は日本国内で使用してください。
- FOMA端末のFeliCaリーダー/ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご利用になると罰せられることがあります。

●ICカード認証機能は日本国内で使用してください。
- FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

◆著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはサイトやインターネットホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど、第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネットホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

次ページにつづく

◆ **商標について**

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉチャネル」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「トルカ」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「ｉエリア」「デコメール」「着もじ」「キャラ電」「メッセージF」「mopera U」「mopera」「DoPa」「WORLD CALL」「WORLD WING」「マルチナンバー」「着モーション」「First Pass」「デュアルネットワーク」「おサイフケータイ」「ｉCお引っこしサービス」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「DCMX」「iD」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「公共モード」「セキュリティスキャン」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「2in1」「うた・ホーダイ」「きせかえツール」「sigmarion」「musea」「Vライブ」「ビジュアルネット」「IMCS」「OFFICEED」「エリアメール」「直感ゲーム」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「HIGH SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Powered by JBlend™, Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 「 」はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDロゴは商標です。

- 「マルチタスク/Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster, LLC.の米国内外における登録商標です。
- Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- 「PostPet」はソネットエンタテインメント株式会社の登録商標です。
- 「POBox」、「POBox Pro」、「Cyber-shot」、「サイバーショット」、「Cyber-shot」ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 「スマイルシャッター」は、ソニーマーケティング株式会社の商標です。
- 「BestPic」はSony Ericsson Mobile Communications ABの登録商標です。
- 「クロスデコパレット」「ライフタイムカレンダー」「デコ絵つくーる」「待受ピクチャーギャラリー」「+JOG」「エリクル」「まちうけ文庫」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- ImageStarはアイニックス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- その他、本書で記載するシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカの登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは表記していません。

◆ その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ およびAdobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。
Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。

- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。
WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- ＦｅｌｉＣａはソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａはソニー株式会社の登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®
- Built with Linter Database.

- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-4よりライセンスを受けた提供者により記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合

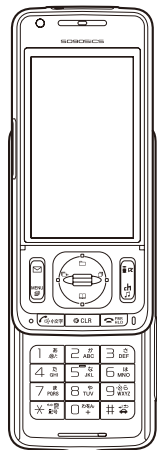
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品にはSymbian Software Ltd.よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。 symbian
Symbian、Symbian OS、およびすべてのSymbian関連の商標およびロゴはSymbian Software Ltd.の商標または登録商標です。

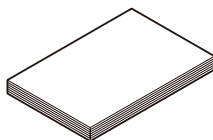
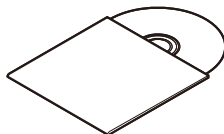
◆ Windowsの表記について

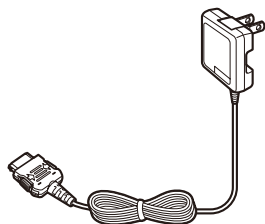
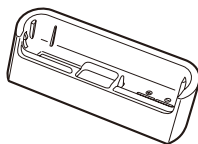
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

本体付属品および主なオプション品について

■本体付属品

FOMA SO905iCS
（保証書、リアカバー SO09 含む）

電池パック SO02

取扱説明書（本書）
（クイックマニュアル添付 P.490）

FOMA SO905iCS用CD-ROM
（「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）、「区点コード一覧」（PDF形式）収録）

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01/02
（保証書、取扱説明書 付き）

卓上ホルダ SO08
（取扱説明書 付き）

- その他のオプション品について（P.439）

ご使用前の確認

各部の名称と機能

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)の接続方法

① インカメラ

静止画や動画を撮影(P.155、170)したり、テレビ電話時に自分側の映像を送信(P.50)するときに使用します。

② ディスプレイ(P.30)

③ 充電ランプ/FeliCaサイン

充電中は赤色に点灯します。(P.41)
ｉC通信中や読み取り機と通信可能な範囲になると緑色に点灯します。(P.255、332)

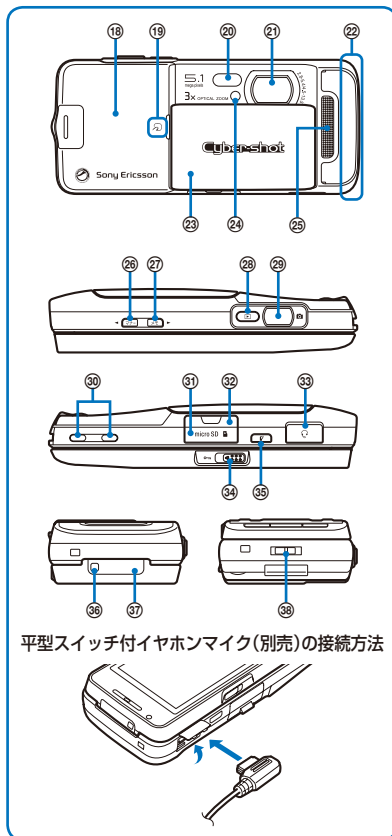
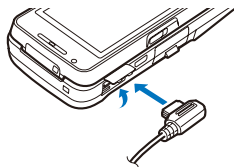
④ [✉] メールボタン

待受画面で押すとメールメニュー(P.206)を表示し、1秒以上押すとｉモード問合せ(P.216、231)をします。
ガイド表示の項目を選択します。(P.33)

⑤ [MENU] メニューボタン

メニューを表示します。(P.33、353)

⑥ [発信] 発信/ハンズフリー切替ボタン

音声電話をかけるときや音声電話、テレビ電話、プッシュトークの通話を開始するときに押します。
通話中に押すとハンズフリーのON/OFFを切り替えます。(P.53)

⑦ ダイヤルボタン

電話番号や文字を入力します。(P.430)
待受画面で [5] を1秒以上押すとリセット画面を表示します。(P.376)
待受画面で [8] を1秒以上押して端末暗証番号を入力すると2in1設定画面を表示します。(P.399)
待受画面で [9] を1秒以上押すと現在地確認を行います。(P.264)

⑧ [＊] ＊/ICカードロックボタン

待受画面で1秒以上押すとICカード機能をロック/解除します。解除するときは端末暗証番号を入力します。(P.262)

⑨ 受話口

相手の声がここから聞こえます。

⑩ プラスジョグ(P.28)

⑪ **着信ランプ**
電話がかかってきたときやメールを受信したときに点滅します。不在着信や新着メール/未読メッセージがあるときは、点滅してお知らせします。(P.126)
GPSで位置情報を確認するときに点滅します。(P.264)

⑫ **i iモード/iアプリボタン**
待受画面で押すとiモードメニュー(P.186)、1秒以上押すとiアプリフォルダ一覧画面(P.239)を表示します。
ガイド表示の項目を選択します。(P.33)

⑬ **ch iチャネルボタン**
テレビ電話をかけるときや受けるときに押します。(P.52、66)
待受画面で押すとチャネル一覧画面(P.202)、1秒以上押すとミュージックプレーヤーを起動します。(P.345)
ガイド表示の項目を選択します。(P.33)

⑭ **CLR クリアボタン**
操作を中止します。
iアプリ待受画面で押すとソフトを操作できます。(P.247)
待受画面で1秒以上押すと通知情報アイコンを消去します。(P.32)

⑮ **電源/終了/応答保留ボタン**
電話の電源を入れるときや切るときに押します。(P.43)
通話を終了するときやマルチタスクの機能を終了するときにも押します。
音声電話、テレビ電話着信中に押すと応答を保留できます。(P.68)

⑯ **# #/公共モード(ドライブモード)ボタン**
待受画面で1秒以上押すと公共モード(ドライブモード)を設定/解除します。(P.69)

⑰ **送話口(マイク)**
自分の声をここから伝えます。手などでふさがないようにしてください。

⑱ **リアカバー(P.39)**

⑲ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されています。
このマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用します。iC通信機能が搭載されたFOMA端末とこのマークを重ねあわせてデータを送受信できます。ICカードは取外せません。(P.255、331)

⑳ **フォトライト/フラッシュ**
アウトカメラで撮影するときに点灯/発光できます。(P.174)

㉑ **アウトカメラ**
静止画や動画を撮影(P.155、170)したり、テレビ電話時に周囲の映像を送信(P.50)するときに使用します。

㉒ **FOMAアンテナ**
アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。

㉓ **レンズカバー**
待受画面またはメニュー画面でスライドして開くとカメラモードになります。
カメラモード中にスライドして閉じるとカメラモードを終了します。(P.150)

㉔ **セルフタイマーランプ**
カメラモード中に点灯し、撮影中やセルフタイマー起動中に点滅します。(P.150、173)

㉕ **スピーカー**
着信音などがここから鳴ります。

㉖ **マナー マナー/◀ボタン**
待受画面で押すとマナーモード設定画面(P.116)を表示し、1秒以上押すとマナーモード(P.115)を設定/解除します。
表示内容を画面単位で前の画面にスクロールします。

㉗ **メモ メモ/▶ボタン**
待受画面で押すと伝言メモ画面(P.73)を表示し、1秒以上押すと伝言メモを設定/解除します。(P.72)
表示内容を画面単位で次の画面にスクロールします。

㉘ **▶ 再生ボタン**
待受画面で1秒以上押すと静止画や動画を表示/再生します。(P.300、301)

㉙ **シャッターボタン**
待受画面で1秒以上押すとカメラモードになります。(P.150)
カメラで撮影するときに押します。(P.155、170)
静止画撮影時に半押しするとオートフォーカス撮影できます。(P.155)

㉚ **充電端子**(P.41)

㉛ **外部接続端子**
ACアダプタ(別売)、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)などを接続するための端子です。カバーを無理に引っ張らないでください。(P.41、315)

㉜ **microSDメモリーカード挿入口**
microSDメモリーカードをここから挿入します。
カバーを無理に引っ張らないでください。(P.307)

㉝ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続します。イヤホンジャック変換アダプタ(別売)を使用すると従来のスイッチ付イヤホンマイク(別売)などもご利用になれます。カバーを無理に引っ張らないでください。(P.374)

㉞ **ロックキー**
スライドするとボタンをロック/解除します。(P.140)

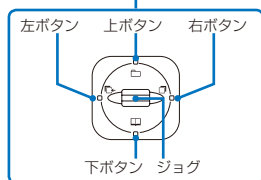
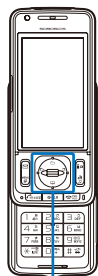
㉟ **プッシュトークボタン**
プッシュトークを発信するときや通話を開始するときに押します。(P.82、84)
待受画面で1秒以上押すとプッシュトーク電話帳を表示します。(P.85)

㊱ **明るさセンサー**
周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさとボタンの照明のON/OFFを自動的に調節します。(P.121)

㊲ **赤外線ポート**
赤外線通信を行うとき(P.327)やリモコンとして使うとき(P.331)は、ここを通信相手の機器に向けます。

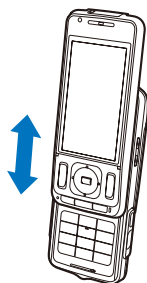
㊳ **ストラップ取付け部**
ストラップを取付ける場所です。

次ページにつづく

＋JOG(プラスジョグ)

操　作	本書の表記	説　明
上ボタン	▲	カーソルを上に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 待受画面で押すとデータBOXが表示されます。
下ボタン	▼	カーソルを下に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 待受画面で押すと電話帳が表示されます。
左ボタン	◀	カーソルを左に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 また、前の画面に戻ります。 待受画面で押すと着信履歴が表示されます。
右ボタン	▶	カーソルを右に移動します。1秒以上押すと連続してカーソルが移動します。 また、次の画面に進みます。 待受画面で押すとリダイヤルが表示されます。
ジョグ	☰	選択した項目を決定します。 上下に回すとカーソルを上下に移動します。 回し続けるとカーソルが連続して移動します。 待受画面で上に回すとデータBOXが表示され、下に回すと電話帳が表示されます。 文字入力時、語句候補リスト内での動作を設定することができます。(P.385)

- 横画面で操作するときは、4方向ボタンの表記はFOMA端末を横向きにしたときの配置に従っています。通常利用時の ▲ ▼ が ◀ ▶ に、◀ ▶ が ▲ ▼ にそれぞれ対応しています。またジョグの回転方向も通常操作の上下が左右になります。
- ジョグのスクロール量や待受画面での回転時に起動する機能を設定したり、ジョグを利用しないように設定することができます。(P.376)

FOMA端末の開きかた/閉じかた

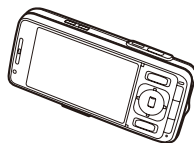
FOMA端末を開閉するときは、FOMA端末を手で持って行ってください。
開く場合はディスプレイ側の本体前面部を上方向にスライドさせせます。閉じる場合はディスプレイ側の本体前面部を下方向にスライドさせせます。

● FOMA端末を開くときは、ボタンに指が触れないようにしてください。誤動作の原因となります。

スタイルについて

本FOMA端末は、縦向きまたはFOMA端末を90度傾けた横向きでご利用いただくことができます。

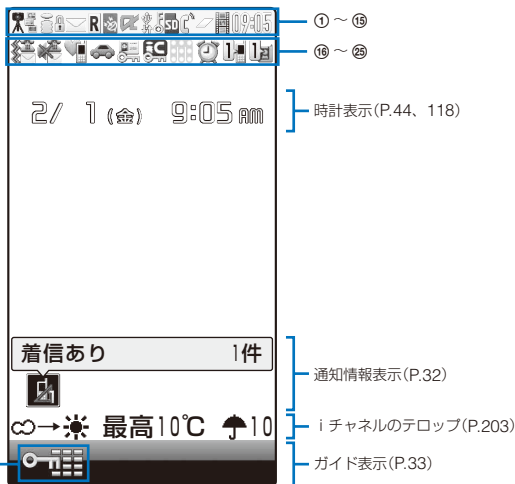
■縦向き

通常は縦向きで利用します。

■横向き

カメラ利用時は横向きで撮影します。また、横向きで利用できる機能もあります。

- 横向きで利用できる機能は次のとおりです。
  - 静止画撮影(P.155)
  - 動画撮影(P.170)
  - フルブラウザ(P.281)
  - 画像表示(P.300)
  - 動画再生(P.301)
  - 横画面表示の待受ピクチャーギャラリー(P.119)
  - 音楽付スライドショー(P.291)

ディスプレイの見かた

- カメラモード中のアイコンの詳細は、P.154をご覧ください。
- ディスプレイの時計表示位置は変更することができます。（P.118）

① 電波受信レベル（強←→弱）

② ｉモード中（P.187）/ｉモード通信中
パケット通信中/パケット通信データ送受信中
フルブラウザ起動中
フルブラウザ中（P.280）
フルブラウザ通信中
フルブラウザ起動中（PCモード）
フルブラウザ中（PCモード）
フルブラウザ通信中（PCモード）
（フルブラウザ通信中はアイコンがアニメーションになります）

③ 圏外
self セルフモード設定中（P.137）
FOMAカード以外のカード挿入中
赤外線機能実行中（P.329）/ｉC通信中（P.332）
赤外線リモコン使用中（P.331）

④ SSLサイト表示中（P.187）/SSLサイトからダウンロードしたｉアプリのソフト起動中（P.240）/ソフトウェア更新でSSL通信中（P.459）

⑤ 未読ｉモードメールあり（P.214）/未読SMSあり（P.235）/未読ｉモードメールと未読SMSあり
FOMA端末内の受信ｉモードメール･SMSが満杯/FOMAカード内のSMSが満杯/FOMA端末内の受信ｉモードメール･SMSとFOMAカード内のSMSが満杯
ｉモードセンターにメールあり/ｉモードセンターが満杯
未読エリアメールあり（P.233）

⑥ 未読メッセージR/Fあり（P.230）/FOMA端末内のメッセージR/Fが満杯
ｉモードセンターにメッセージR/Fあり/ｉモードセンターが満杯
未読メッセージRあり（P.230）、FOMA端末内のメッセージFが満杯/未読メッセージRあり、ｉモードセンターにメッセージFあり
未読メッセージRあり（P.230）、ｉモードセンターのメッセージFが満杯/FOMA端末内のメッセージRが満杯、ｉモードセンターのメッセージFが満杯
未読メッセージFあり（P.230）、FOMA端末内のメッセージRが満杯/未読メッセージFあり、ｉモードセンターにメッセージRあり
未読メッセージFあり（P.230）、ｉモードセンターのメッセージRが満杯/FOMA端末内のメッセージRが満杯、ｉモードセンターにメッセージFあり
ｉモードセンターにメッセージRあり、FOMA端末内のメッセージFが満杯/ｉモードセンターにメッセージRあり、ｉモードセンターのメッセージFが満杯

/ iモードセンターのメッセージRが満杯、iモードセンターにメッセージFあり/iモードセンターのメッセージRが満杯、FOMA端末内のメッセージFが満杯

⑦ GPS位置提供中/位置提供許可期間中で、位置提供許可中
位置提供許可期間中で、位置提供拒否中
GPS測位中
(青)/(赤)
3Gネットワーク接続中(パケット通信可)/3Gネットワーク接続中(パケット通信不可)
/ GSMネットワーク接続中/GPRSネットワーク接続中

⑧ / iアプリ(iアプリ待受画面)実行中/iアプリ DX実行中
/ iアプリ待受画面設定中/iアプリDX待受画面設定中(P.247)

⑨ USBモード設定が通信モード(P.315)
USBモード設定がmicroSDモード(P.315)
///
USBモード設定がMTPモードで接続中/転送中/転送完了/エラー(P.315)
ハンズフリー対応機器を利用中(P.65)

⑩ シークレット表示を[ON]に設定中(P.141)

⑪ microSDメモリーカード装着中(P.307)(挿入時アクセス準備中は点滅)
microSDメモリーカード管理情報更新中(P.314)

⑫ 音声通話中
テレビ電話通話中(P.50)
プッシュトーク通信中(P.80)
プッシュトークプラス利用中(P.89)
64Kデータ通信中

⑬ //
起動中タスク1件/2件/3件以上(P.353)(ミュージックプレーヤー再生中はがになります)
ミュージックプレーヤー内データ更新中

⑭ ///
電池残量(P.42)

⑮ 現在時刻(待受画面が表示されていないときに24時間表示)
- 時計種類を[ピクト時計]に設定しているときは、待受画面にも表示されます。(P.118)

⑯ 電話着信バイブレータ設定中(P.110)
メール着信バイブレータ設定中(P.110)
電話着信とメール着信バイブレータ設定中(P.110)

⑰ 電話着信音量OFF(P.109)
メール着信完了音量OFF(P.109)
電話着信とメール着信完了音量OFF(P.109)

⑱ マナーモード設定中(はピンク)(P.115)
サイレントモード設定中(P.115)
オリジナルマナーモード設定中(は青)(P.115)

⑲ 公共モード(ドライブモード)設定中(P.69)

⑳ パーソナルデータロック設定中(P.138)
ダイヤル発信制限設定中(P.139)
パーソナルデータロックとダイヤル発信制限設定中(P.138、139)

㉑ ICカードロック設定中(P.262)

㉒ Music&Videoチャネル予約中(P.339)

㉓ めざまし時計設定中(P.362)
スケジュールアラーム設定中(P.364)
めざまし時計とスケジュールアラーム設定中(P.362、364)

㉔ /
伝言メモ設定中(は白)(P.72)
未再生伝言メモあり(は水色)
未再生伝言メモなし(は青)
/
伝言メモ設定OFF(伝言メモあり)(はグレー)
未再生伝言メモあり(は水色)
未再生伝言メモなし(は青)
に録音件数を表示します。録音件数が満杯になると「F」を表示します。

㉕ /
テレビ伝言メモ設定中(は緑)(P.72)
未再生テレビ伝言メモあり(は水色)
未再生テレビ伝言メモなし(は青)
/
テレビ伝言メモ設定OFF(伝言メモあり)(はグレー)
未再生テレビ伝言メモあり(は水色)
未再生テレビ伝言メモなし(は青)
に録画件数を表示します。録画件数が満杯になると「F」を表示します。

㉖ ボタンロック設定中(P.140)

● FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

次ページにつづく

通知情報表示

電話がかかってきて応答できなかった場合など、通知情報表示にアイコンを表示してお知らせします。アイコンは新着順に左から表示されます。
アイコンにカーソルをあわせると文字情報が表示され、選択すると通知情報を確認できます。アイコンは通知情報を確認するか、CLR を1秒以上押すと消去されます。

アイコン	文字情報	内　容
	着信あり X件※1	音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信の不在着信がありました。（P.71）
	新着メールあり X件※2	ｉモードメール/SMSを受信しました。（P.214、235）
	センターに ✉ あり	ｉモードセンターにメールが保管されています。（P.215）
	新着メッセージR X件	メッセージRを受信しました。（P.230）
	新着メッセージF X件	メッセージFを受信しました。（P.230）
	新規トルカあり X件	読み取り機でトルカを取得しました。（P.256）
	新規伝言メモあり	伝言メモが録音されました。（P.72）
	新規テレビ伝言メモあり	テレビ伝言メモが録画されました。（P.72）
※3	料金上限値超過	積算料金が上限値を超えました。（P.371）
	留守番メッセージ X件※1	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが保存されました。（P.392）
	USBケーブル接続中	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）などを接続中です。（P.315）
	電話帳更新失敗	お預かりセンターとの電話帳の自動更新に失敗しました。（P.105）
	待受解除 セキュリティエラー	ｉアプリ待受画面セキュリティエラーが発生しました。（P.247）
	Music&Videoチャネル 更新成功	Music&Videoチャネルのダウンロードに成功しました。（P.339）
	Music&Videoチャネル 更新失敗	Music&Videoチャネルのダウンロードに失敗しました。（P.339）
	応答 X件	位置情報提供の要求がありました。（P.270）
	ソフトウェア更新完了	ソフトウェア更新が完了しました。（P.460）
※4	ソフトウェア更新説明あり	ソフトウェア更新の確認情報があります。（P.460）
	ソフトウェア更新通知	ソフトウェア更新が必要です。（P.458）
	ソフトウェア更新予告	ソフトウェアがダウンロードされました。ソフトウェアを書換えます。（P.458）
※3	パターンデータ更新成功	パターンデータの自動更新が成功しました。（P.464）
※3	パターンデータ更新推奨	パターンデータの自動更新に失敗しました。更新を行う必要があります。（P.464）
※3	起動中機能あり	起動中の機能があります。（ｉアプリ待受画面を除く）（P.353）

※1 2in1のモードがデュアルモードのときは、Aナンバー/Bナンバーで別々に件数が表示されます。
※2 2in1のモードがデュアルモードのときは、Aアドレス宛のメールとBアドレス宛のメールの合計件数が表示されます。
※3 CLR を1秒以上押しても、アイコンは消去されません。
※4 通知情報が2つ以上あるときは、「ソフトウェア更新説明あり」を確認すると、「ソフトウェア更新通知」または「ソフトウェア更新予告」が表示されます。

ガイド表示

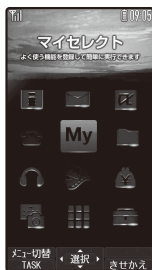
FOMA端末の機能を利用するには、ガイド表示に従って4方向ボタン(上下左右ボタン)、ジョグ、メールボタン、ｉモード/ｉアプリボタン、メニューボタン、ｉチャネルボタンを操作します。

画面表示	操　作	画面表示	操　作
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押すか、を上に回します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押すか、を下に回します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	MENU を押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押します。	メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	ch を押します。
メール MENU リンク ｉモード ｉチャネル	を押します。		

● お買い上げ時は、待受画面にガイド表示が表示されません。表示する場合は、ソフトキー表示を[ON]に設定してください。(P.117)
● サイトやｉアプリのソフトによっては、上記と異なることがあります。

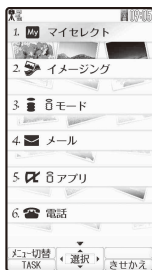
メニューの選択方法

MENU (MENU)を押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、[きせかえメニュー]/[スタンダードメニュー]/[マイセレクト]から選ぶことができます。

- お買い上げ時はきせかえメニューが表示されます。
- 起動時に表示するメニューやスタンダードメニューのアイコンの設定を変更したり、きせかえメニューを入れ替えることができます。(P.122、125)

本体色：SILVER

本体色：WHITE

本体色：PINK

次ページにつづく

きせかえメニュー

メニュー名	説　明
マイセレクト	マイセレクトを利用するときに使用します。
イメージング	カメラ、ムービー、ブログ投稿、音楽付スライドショー、待受ピクチャーギャラリーを利用するときに使用します。
ｉモード	ｉモード、フルブラウザを利用するときに使用します。
メール	ｉモードメール、SMSを利用するときに使用します。
ｉアプリ	ｉアプリを利用するときに使用します。
電話	電話帳、履歴、プッシュトーク電話帳、伝言メモなど、主に電話に関わる機能を利用するときに使用します。
データBOX	マイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電などのデータを利用するときに使用します。
Music	ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルを利用するときに使用します。
おサイフケータイ	ICカード一覧、DCMX、トルカを利用するときに使用します。
電話番号表示	電話番号表示を利用するときに使用します。
LifeKit	バーコードリーダー、赤外線受信、microSD、カメラ、ムービー、ライフタイムカレンダー、めざまし時計、スケジュール、テキストメモ、電卓、電話帳お預かりサービス、GPSを利用するときに使用します。
設定	画面設定、発着信通話、アプリケーション設定、ロック/セキュリティ、管理などの項目を設定するときに使用します。

- スタンダードメニューのガイドは、ⓘ(ヘルプ)/ⓘ(ヘルプ閉)を押して表示/非表示を切り替えることができます。
- 薄く表示されているときは、その機能を実行できません。
- 他の機能が起動しているときやUSBモード設定を[MTPモード]に設定してパソコンと接続した場合、MENUを押すとスタンダードメニューが表示されます。
- お買い上げ時のきせかえメニューは本体色によって異なり、表示されるメニューはきせかえツールによって異なります。本書での説明は本体色WHITEのきせかえメニュー（White Scrapbook）、カラーテーマ設定（ホワイト&ゴールド）を基準に記載します。
- スタンダードメニューのメニュー一覧はP.420を参照してください。

メニュー画面から機能を選択する

メニュー画面を操作して機能を簡単に実行できます。

1 MENU（MENU）を押す

メニュー画面が表示されます。

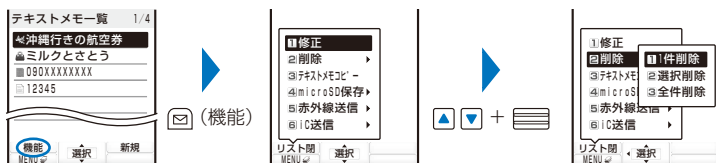
2 ▲▼でメニューを選び ☰ を押す

各機能が選択されます。

- メニュー画面ではダイヤルボタンを押して機能を実行できます。ダイヤルボタンで実行できる機能については、メニュー一覧（P.420）をご覧ください。

機能メニューから機能を選択する

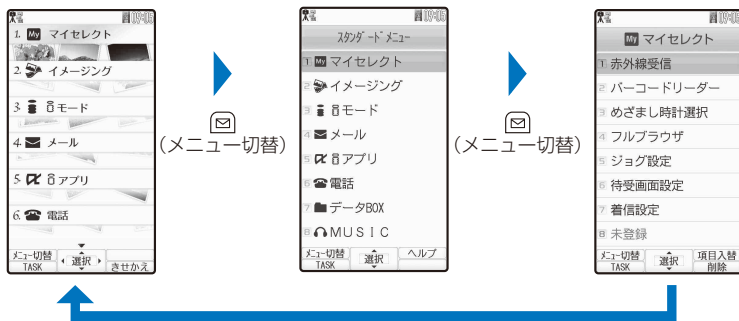
機能メニューとは、各機能の補助的な役割を果たすメニューです。
機能メニューが利用できるときは、ガイド表示に[機能]と表示されます。[✉]を押すと、利用できる機能メニューが一覧表示されます。

- 機能メニューの内容は、機能や画面によって異なります。詳しくは各機能の操作説明をご覧ください。
- 機能メニューに表示されている数字や記号のダイヤルボタンを押すと機能が実行できます。

● 薄く表示されているときは、その機能メニューを実行できません。

メニュー表示を切り替える

表示されるメニュー(きせかえメニュー、スタンダードメニュー、マイセレクト)を一時的に切り替えることができます。

- お買い上げ時、待受画面で[MENU]を押したときに表示される起動メニューはきせかえメニューです。起動メニューを変更する場合は、変更したいメニューを表示し、[✉](メニュー切替)を1秒以上押します。

1 待受画面で[MENU](MENU)を押し、[✉](メニュー切替)を押す

● きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号が適用されないものがあります。
この場合、本書での説明どおりに操作できないため、スタンダードメニューに切り替えるか、メニュー設定をリセットしてください。(P.124)

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

FOMAカードの取付けかた/取外しかた

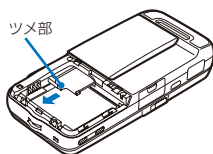
FOMAカードの取付けや取外しは、FOMA端末の電源を切りFOMA端末を閉じて電池パックを取外してから、手で持って行ってください。

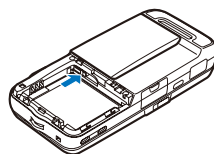
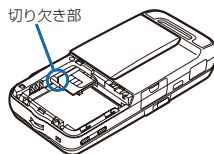
- FOMAカードを無理に取付けようとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

■取付けかた

1 ツメ部を引いてトレイを引き出す

トレイが止まる所まで引き出します。

2 IC面を上にしてFOMAカードをトレイにのせる

FOMAカードとトレイの切り欠き部をあわせてください。

3 トレイを奥まで押し込む

■取外しかた

1 ツメ部を引いてトレイを引き出す

2 FOMAカードを指先で持ち上げて取外す

- FOMAカードをトレイから取外すときに、電池パックの端子を傷つけないようにご注意ください。
- 取外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。（P.133）

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末にはお客様のデータやファイルを保護するための機能としてFOMAカード動作制限機能が搭載されています。FOMA端末にお客様のFOMAカードを取付けている状態でテレビ伝言メモを録画したり、サイトやメールなどからファイルやデータを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。

- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードが取付けられていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは表示、再生、赤外線通信、ｉC通信、メール添付などができなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画像（GIFアニメ、Flash、スタンプ・フレームを含む）
  - 電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像
  - ダウンロードしたきせかえツール
  - 着うた®/着うたフル®
  - ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - ファイル（メロディ /画像）が添付されているメッセージR/F
  - メールテンプレート（動作制限の対象となるデータを含む場合）
  - デコメールや署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画面メモ（動作制限の対象となるデータを含む場合）
  - ダウンロードしたブログ投稿サービス情報ファイル
  - PDFデータから画面切出しをした画像（ダウンロードしたPDFデータのみ）
  - デコメ絵文字
  - 動画/ｉモーション
  - キャラ電
  - トルカ（詳細）に含まれる画像
  - メロディ
  - PDFデータ
  - テレビ伝言メモ
  - コンテンツ移行対応のデータ
  - ダウンロード辞書
- FOMAカード動作制限が付いているデータには「」が表示されます。データによっては「」が表示されず、データを選択したときにメッセージが表示されることがあります。
- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

● FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを挿入せずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴動する音や表示される画像が異なることがあります。

● 赤外線通信、ｉC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkなどのデータ送受信（OBEX™通信）機能を利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

● 他のｉチャネル対応端末へFOMAカードを差し替えた場合、テロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch（ｉチャネル）を押して最新の情報を受信すると、テロップが自動的に流れるようになります。

FOMAカードに保存される設定

次の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- バイリンガル
- SSL証明書
- SMS設定
- FOMAカード設定

次ページにつづく

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード(青色)は、FOMAカード(緑色/白色)とは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色/白色)	参　照
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.98
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P.199
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P.38
サービスダイヤル([ドコモ故障問合せ]、[ドコモ総合案内・受付]の利用)	利用不可	利用可	P.396

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色/白色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができるドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨をお申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

- 一部ご利用いただけない料金プランがございます。
- 万一、FOMAカード(緑色/白色)を海外で紛失・盗難された場合は、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きを取ってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

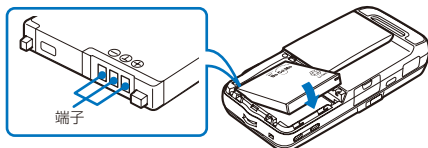
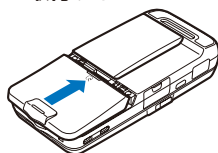
電池パックの取付けかた/取外しかた

電池パックの取付け/取外しは、必ずFOMA端末の電源を切りFOMA端末を閉じて行ってください。

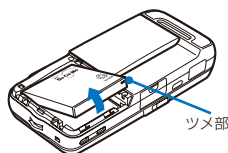
- 電池パックを無理に取付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。
- 力を入れすぎたり、下記以外の方法でリアカバーの取付け/取外しを行ったりすると破損するおそれがあります。

■取付けかた

1 リアカバーのくぼみ部分を指で押しながら矢印の方向にスライドして取外す

2 電池パックのリサイクルマークのある面を上にして、FOMA端末と電池パックの端子をあわせてはめ込む

3 リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末の溝にあわせ、矢印の方向にスライドして取付ける

■取外しかた

1 リアカバーのくぼみ部分を指で押しながら矢印の方向にスライドして取外す

2 電池パックのツメ部を持って矢印の方向に持ち上げて取外す

電池パックについて

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、電池パック SO02をご利用ください。

■電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

FOMA端末を充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01/02（別売）、FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01/02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用 ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 別売りのACアダプタ、卓上ホルダ、DCアダプタに接続するときは、必ずFOMA端末に電池パックを取付けてください。電池パックが取付けられていないと、充電できません。
- 充電中にテレビ電話、データ通信、ｉアプリなどを使用すると、FOMA端末が高温になり充電が停止されることがあります。また、FOMA端末が高温のときに充電すると、充電が開始されないことがあります。この場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って再度充電してください。
- FOMA端末の充電ランプが赤色に点滅したときは、FOMA端末の温度が下がるのを待ったり、電池パックを取付け直してください。

  それでも点滅する場合は、電池パックの不良も考えられます。直ちに充電を中止して、ドコモショップなど窓口にご相談ください。
- 電源を入れたまま長時間（1日以上）充電しないでください。充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。この場合は再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取外した場合、次のような状態になることがあります。
  - 電池残量が少ない　- 電池警告音が鳴る　- 短時間しか使えない

■充電時間・使用時間の目安

充電時間（ACアダプタ）
約140分

ネットワーク	3G/GSM切替	連続待受時間	連続通話時間
FOMA/3G	3G	移動時：約380時間	音声電話時　：約220分 テレビ電話時：約120分
	自動	移動時：約360時間 静止時：約520時間	
GSM	自動	静止時：約290時間	音声電話時　：約230分

- 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電した時間の目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話（通信）・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラやミュージックプレーヤーの使用などによっても通話（通信）・待受時間は短くなります。

充電のしかた

別売りの卓上ホルダ SO08とFOMA ACアダプタ 01/02を組み合わせて充電します。卓上ホルダ、ACアダプタの取扱説明書も必ずご覧ください。
電池パック単体での充電はできません。

1 卓上ホルダの接続端子(ACアダプタ)に、ACアダプタのコネクタを、刻印面を外側にして水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントに差し込む

3 電池パックを取付けたFOMA端末を差し込む

充電が開始され、充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると充電ランプが消灯します。

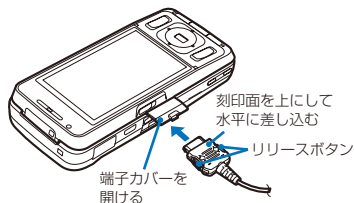
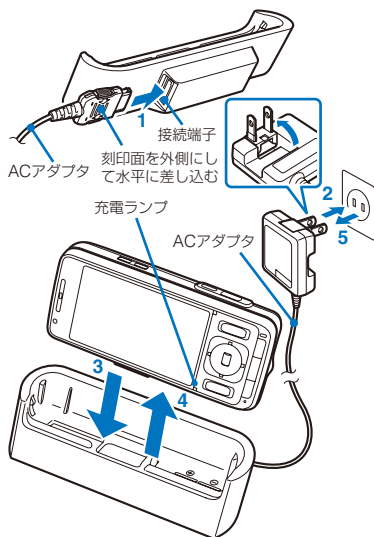
電源を入れたまま充電した場合

電池残量アイコンが点滅し、充電確認音が鳴ります。充電が完了すると電池残量アイコンが点灯し、充電確認音が鳴ります。

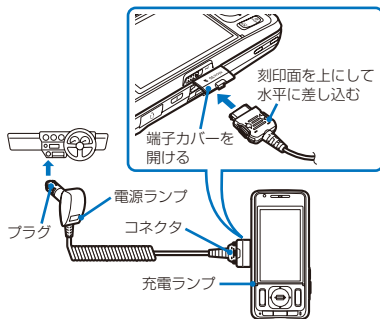
- 充電確認音は、本体音設定で鳴らないように設定することもできます。(P.111)

4 充電が完了したら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を上方向に持ち上げて外す

5 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントから抜く

■ACアダプタのみで充電する場合

- ACアダプタを取外す場合は、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタで充電する場合

別売りのFOMA DCアダプタ 01/02を使用すると、自動車のシガーライタソケット(12V/24V)から充電できます。詳しくはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

次ページにつづく

- 充電中にiC通信を行ったり、読み取り機と通信可能な範囲に入ると、充電ランプとFeliCaサインが同時に点灯します。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ストラップなどをFOMA端末と卓上ホルダの間に挟まないようにしてください。
- DCアダプタのヒューズ(2.0A)は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた 〈電池残量〉

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

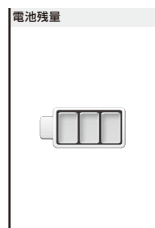
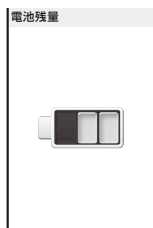
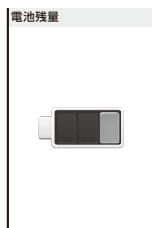
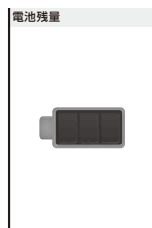
表　示	電池パックの状態
	十分残っています。
	少なくなっています。
	ほとんど残っていません。充電してください。
(点滅)	残量ゼロです。充電してください。

- 電池残量がゼロに近くなると右の画面が表示され、警告音が鳴ります。警告音は、他の音が鳴っている場合など鳴らないことがあります。電池残量分がゼロになると再度警告音が鳴り起動中の機能を終了します。通話中の場合は受話口から警告音が鳴り、約20秒後に再度警告音が鳴ると通話が終了します。充電が行われない場合、約60秒後に自動的に電源が切れます。

電池残量を音と表示で確認する

- ボタン確認音量を[OFF]に設定しているときは、確認音は鳴りません。(P.111)

1 メニューで[設定]→[管理]→[電池残量]を選び [メニューキー] を押す

現在の電池の残量がイラストで表示され、残量のレベルにあわせて確認音が鳴ります。

十分残っています。
(ピーピーピー)

少なくなっています。
(ピーピー)

ほとんど残っていません。
充電してください。(ピー)

残量ゼロです。
充電してください。(無音)

電源を入れる/切る 〈電源ON/OFF〉

- 電源を入れるとソフトウェア更新を自動で実行することを通知する画面が表示されることがあります。（P.456）

1 [PWR]（PWR）を2秒以上押す

電源が入りディスプレイとボタンの照明が点灯し、アニメーションが表示されます。しばらくすると待受画面になります。

- PIN1コード入力設定を[ON]に設定している場合は、PIN1コード入力画面が表示されます。PIN1コードを入力して [MENU]（OK）を押します。（P.131）

電源を切る場合

[PWR]（PWR）を2秒以上押します。

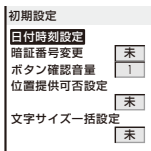
● FOMAカードを差し替えた場合（おまかせロック中を除く）、電源を入れたときに4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しく入力すると、待受画面が表示されます。端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、電源が切れます。（ただし、再度電源を入れることは可能です）

初期設定を行う 〈初期設定〉

日付時刻設定、端末暗証番号変更など基本的な機能の設定を[初期設定]から行うことができます。設定内容の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

■設定できる項目

画面表示	設定内容
日付時刻設定	FOMA端末の日付と時刻を設定できます。（P.44）
暗証番号変更	端末暗証番号を変更できます。（P.132）
ボタン確認音量	ボタンを押したときに鳴る音の音量を設定します。（P.111）
位置提供可否設定	位置情報を提供するかどうかを設定します。（P.271）
文字サイズ一括設定	電話帳、履歴、メール、ｉモードのサイトや文字入力画面の文字の大きさを設定します。（P.127）

1 メニューで[設定]→[管理]→[初期設定]を選び [MENU] を押す

2 各項目を設定する

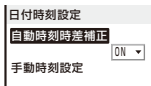
● データ一括削除を行ったり、端末暗証番号、位置提供可否設定、文字サイズ一括設定を変更していないと、FOMA端末の電源を入れたときに「初期設定が未完了です　実行しますか」と表示されます。[はい]を選択すると操作1の画面が表示され、初期設定を行うことができます。

日付・時刻をあわせる 〈日付時刻設定〉

日付・時刻のあわせかたには、ドコモのネットワークから取得した時刻情報をもとにFOMA端末の時刻を自動で補正する方法と、手動で時刻を設定する方法があります。

例：自動的に時刻を補正する場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[日付時刻設定]を選び [メニュー] を押す

日付時刻設定
自動時刻時差補正
ON
手動時刻設定

[自動時刻時差補正]：自動的に時刻を補正します。
[手動時刻設定]　：手動で時刻を入力します。手動時刻設定で時刻を設定すると自動時刻時差補正は[OFF]になります。

2 [自動時刻時差補正]に[ON]を選択する

[ON]　：自動で日付や時刻を補正します。
[OFF]：自動で日付や時刻は補正されません。手動時刻設定で時刻を設定してください。

手動で時刻を設定する場合

[手動時刻設定]→[はい]を選択し、年月日を2000/1/1～2050/12/31の範囲で、時刻を24時間制(00:00～23:59)で入力し、タイムゾーンを選択して [i] (完了)を押します。

- 自動時刻時差補正を[ON]に設定した場合、日付時刻はFOMAカードを取付けた状態で、電源をONにしたときなどに自動補正されます。ただし、数秒程度の誤差が生じることがあります。次の場合は自動補正できません。
  - 圏外時(電波状態によっては、圏外時でなくても補正できないことがあります)
  - ｉアプリ起動中
- 設定した日付時刻は電池パックを交換しても保持されます。ただし、電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末を放置すると、日付時刻が「----/--/-- [–] --:--」にリセットされることがあります。その場合は、再度日付時刻を設定してください。
- 日付時刻が設定されていないと、現在時刻アイコン、スケジュール、めざまし時計、ｉアプリの自動起動、カレンダー/時計表示など、時計を利用する機能が利用できません。また、リダイヤルや着信履歴、カメラで撮影した画像などの日付時刻が記録されません。
- 国際ローミング中に接続している通信事業者のネットワークによる時刻補正情報を受信した場合は、自動時刻時差補正を[ON]に設定していると、自動的に時刻が補正されます。
  時差補正が行われると、リダイヤル、着信履歴、メールの送受信などの日時が現地時間に補正され、「[アイコン]」が表示されます。ただし、海外のネットワークによっては、時差補正が行われないことがあります。

相手に自分の電話番号を通知する 〈発信者番号通知〉

電話をかけたとき、相手の電話機(ディスプレイ)にお客様の電話番号をお知らせすることができます。

- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。通知する際には、十分にご注意ください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知設定]を選び ☰ を押す

2 [通知する]/[通知しない]を選び ☰ を押す

発信者番号通知が設定されます。

設定内容を確認する場合

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[発信者番号通知]→[発信者番号通知確認]を選択します。

- プッシュトークを発信するときの発信者番号の通知/非通知も、発信者番号通知設定に従います。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知設定を[通知する]に設定するか相手の電話番号の前に「186」を付けておかけ直しください。ただし、プッシュトークでは「186」を付けても発信者番号は通知されません。
- 発信者番号通知は、圏外時は設定できません。

自分の電話番号を確認する 〈電話番号表示〉

お客様の電話番号を確認できます。また、ご自分の名前やメールアドレスなどを登録することもできます。

- 電話番号表示がシークレット登録されていると、お客様の電話番号以外の内容は表示されません。すべて表示するにはシークレット表示を[ON]に設定してください。
- お買い上げ時はBモードの電話番号表示画面にBナンバーが表示されません。表示するには契約問合せを行ってください。(P.47)

1 メニューで[電話番号表示]を選び ☰ を押す

[No.]にお客様の電話番号が表示されます。電話番号以外のマイデータを登録しているときは、その内容も表示されます。

電話をかける場合

▶ を押し、電話番号にカーソルをあわせ、📞 を押します。

プッシュトークを発信する場合

▶ を押し、電話番号にカーソルをあわせ、P を押します。

iモードメールを送信する場合

▶ を押し、メールアドレスにカーソルをあわせ、☰ (メール)を押します。

画像を確認する場合

▶ を押し、画像にカーソルをあわせ、☰ (見る)を押します。

2in1のモードがデュアルモードのときにAモード/Bモードの電話番号表示画面を切り替える場合

ch (Aナンバー)/ ch (Bナンバー)を押します。

- Bモードの電話番号表示画面からはプッシュトーク発信できません。
- 2in1利用中に、FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、2in1機能OFF (P.400)を行ってから、再度2in1をONにしてください。
  FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行う場合は、2in1機能OFFを行ってください。
- 2in1利用中に、FOMAカードを差し替える場合は、Bモードで個人情報の全項目リセットを行ってください。(P.47)

個人情報を登録する

お客様の名前、住所やメールアドレスなどの個人情報を登録できます。登録した個人情報は、電話番号表示画面で確認したり、文字入力画面で引用できます。

1 電話番号表示画面で i (編集)を押す

2 基本画面の各項目を登録する

アイコン	設定内容
(メールアイコン)	お客様のメールアドレスを半角の英数字・記号50文字以内で入力します。
NAME	お客様の名前を全角16文字、半角32文字以内で入力します。
カナ	名前を入力すると、フリガナが自動的に入力されます。 • 修正する場合は、半角32文字以内で入力します。
(鍵アイコン)	シークレット登録の[ON]/[OFF]を選択します。 • シークレット登録した内容を表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定します。

3 ▶を押し、詳細画面の各項目を登録する

アイコン	設定内容
	画像をデータBOXのマイピクチャ / i モーションから選択または撮影します。 • 設定可能なファイルは次のとおりです。 カテゴリ / ファイル形式 / ファイルサイズ / 画像サイズ マイピクチャ / GIF/JPEG / 100Kバイト以下 / [QVGA(240×320)]以下 i モーション※ / MP4 / 10Mバイト以下 / [VGA(640×480)]以下 ※ i モーションによっては設定できないことがあります。 • サイズの大きい画像は、表示に時間がかかる場合があります。 • カメラで撮影する場合は、[カメラ]/[ムービー]を選択し、撮影します。(P.155、170) 撮影できる画像サイズは次のとおりです。 静止画 / [QVGA(240×320)]以下 動画 / [VGA(640×480)]以下 • 画像を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。 • 画像を確認する場合は、画像にカーソルをあわせ、ch (見る/再生)を押します。
	自宅などの郵便番号を半角数字7桁以内で入力します。
	自宅などの住所を全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	自宅などの電話番号を26桁以内で入力します。
	自宅などのメールアドレスを半角の英数字・記号50文字以内で入力します。
	勤務先などの名前を全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	勤務先などの郵便番号を半角数字7桁以内で入力します。
	勤務先などの住所を全角64文字、半角128文字以内で入力します。
	勤務先などの電話番号を26桁以内で入力します。
	勤務先などのメールアドレスを半角の英数字・記号50文字以内で入力します。
	誕生日を1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

4 i (完了)を押す

個人情報が登録されます。

お買い上げ時の状態に戻す場合

電話番号表示画面で機能メニュー[全項目リセット]→[はい]を選択します。

Bモードの電話番号表示画面にBナンバーを登録する場合

Bモードの電話番号表示画面で機能メニュー[契約問合せ]を選択します。

- [ ]にはお客様の電話番号、[ ]、[ ]にはマルチナンバーで設定した付加番号を表示します。修正や削除はできません。
- お買い上げ時、メールアドレスは表示されません。お客様が取得されたメールアドレスは、i (i モード)→[i Menu]→[料金&お申込・設定]→[メール設定]→[メールアドレス設定(アドレス確認)]でご確認ください。また、メールアドレスを変更した場合は、あわせて電話番号表示画面の内容も変更してください。
- 2in1利用中に、FOMAカードを差し替える場合は、Bモードで個人情報の全項目リセットを行ってください。(P.46)

電話/テレビ電話

■ 電話/テレビ電話のかけかた

■ 電話/テレビ電話の受けかた

■ 電話/テレビ電話に出られないとき/出られなかったとき

テレビ電話とは

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電などを表示できます。
ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
　第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2 3G-324M
　第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

テレビ電話通話中の画面の見かた

① ：テレビ電話通話中
② TV画像（大）
　お買い上げ時は、相手の画像を表示
③ TV画像（小）
　お買い上げ時は、自分の画像を表示
④ 通話時間
　時：分：秒の形式で表示
⑤ 送信画像の状態
　：カメラ画像送信中
　：静止画送信中
　：キャラ電送信中
⑥ ズーム倍率
　ズーム倍率をバー表示
⑦ ：ハンズフリー ON
⑧ ：フォトライト点灯
⑨ モード
　：全体アクションを操作できるモード
　：パーツアクションを操作できるモード
　DTMF：プッシュ信号（DTMF）を送信できるモード

テレビ電話通話中の操作

操　作	ボタン操作
カメラ画像/代替画像を切り替える	（自画像/代替）を押します。押すたびにカメラ画像/代替画像が切り替わります。
カメラを切り替える	ch（カメラ切替）を押します。押すたびにインカメラ/アウトカメラが切り替わります。 レンズカバーを開閉してもインカメラ/アウトカメラが切り替わります。
ハンズフリーを切り替える	（）を押します。押すたびにON/OFFが切り替わります。
画像をズームイン/ズームアウトする	アウトカメラで撮影中に、▶（ズームイン）/◀（ズームアウト）を押します。
通話を保留にする	機能メニュー[通話中保留]を選択します。解除するときは を押します。
画面表示を切り替える	機能メニュー[テレビ電話画面設定]を選択します。
送信画像の画質を切り替える	機能メニュー [送信画質設定]を選択します。通話を終了すると、テレビ電話設定の送信画質設定で設定した画質に戻ります。
代替画像を選択する	機能メニュー[代替画像選択]を選択します。
フォトライトのON/OFFを切り替える	機能メニュー[フォトライト]を選択します。（アウトカメラ利用時のみ）
自分の電話番号を表示する	機能メニュー[自局電話番号表示]を選択します。
音声電話に切り替える	機能メニュー[音声電話切替]を選択します。（テレビ電話をかけた場合のみ）

● アウトカメラへの切り替え中にレンズカバーが閉じていると、「レンズカバーをあけてください」と表示され、アウトカメラへの切り替えは行われず、自画像が送信されます。

電話/テレビ電話をかける

電波の受信レベルを確認し、電話番号を入力します。

例：音声電話をかける場合

1 待受画面で電話番号を入力する

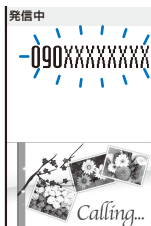
090XXXXXXXX

- 電話番号は80桁まで入力できます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番を付けてください。

電話番号を押し間違えた場合

CLR を押すと、右端から1桁ずつ削除されます。CLR を1秒以上押すと、すべて削除されます。

次ページにつづく

2 [発信キー] を押す

相手の電話につながると「ルルル…」という呼出音が聞こえます。

テレビ電話をかける場合

[ch] (テレビ電話)を押します。相手が応答すると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

2in1のモードがデュアルモードの場合

[Aナンバー]/[Bナンバー]を選択します。(P.398)

「ツーツーツー」という音が聞こえる場合

話し中です。[終話キー] を押して、しばらく待ってからおかけ直しください。

ガイダンスが聞こえる場合

ガイダンスの指示に従い、おかけ直しください。

3 通話が終わったら [終話キー] を押す

- 着もじの送信方法はP.59、条件を指定して音声電話/テレビ電話をかける方法はP.60をご覧ください。
- 音声電話の場合、操作2→操作1の順番でも電話をかけられます。[発信キー] を押して電話番号を入力したあと、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。
- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。
- テレビ電話がかからなかった場合、画面に次のメッセージが表示されます。なお、通話する相手の機種やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なることがあります。

メッセージ	説　明
電話番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です。 (相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります)
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます。(ビジュアルネットなどへの発信時)
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。 (2007年12月現在、相手が留守番電話サービスを設定している場合も表示されることがあります)
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトを一度閲覧してからテレビ電話をかけてVライブを視聴してください。
上限額を超過しているため接続できません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超えています。

- FOMA端末から緊急通報(110番、119番、118番)にテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

● テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信の設定を[ON]に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など(2007年12月現在)、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料が発生する場合もありますのでご注意ください。

ハンズフリーを利用する

通話中にハンズフリーに切り替えると、相手の声などがスピーカーから聞こえ通話できます。

例：音声電話でハンズフリーにする場合

1 通話中に [発信] (🔈)を押す

ハンズフリーに切り替わり、「🔈」が表示されます。

解除する場合

もう一度 [発信] (🔈)を押します。

- 通話が終了すると、ハンズフリーも解除されます。

● FOMA端末に向かって約30cm以内の距離でお話しください。

ポーズ、タイマー、＋を入力する

電話番号にポーズ、タイマー、＋を最大80桁まで入力して電話をかけることができます。
ポーズ、タイマー、＋は、電話番号と組み合わせて電話帳に登録できます。

- ポーズとタイマーは音声電話のみに有効です。

ポーズ「P」を入力する

チケットの予約や自宅の留守番電話の再生時などに電話番号とプッシュ信号の間に「P(ポーズ)」を入力すると、ポーズ(P)で区切ってプッシュ信号を送信します。

1 電話番号入力画面で [メモ] を押す

「P」が入力されます。

電話帳に登録したプッシュ信号を送信する場合

電話帳から電話をかけ、プッシュ信号が表示されたら [メニュー] (発信)を押します。

● 受信側の機器によってはプッシュ信号を受信できないことがあります。

次ページにつづく

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどは、外線番号と内線番号の間に「T（タイマー）」を入力します。外線番号に続いて一定の秒数が経過したあとに内線番号が発信されます。タイマー（T）1つにつき約1秒の間隔をとり、連続入力して間隔を長くすることができます。

1 電話番号入力画面で メモ を1秒以上押す

「T」が入力されます。

「＋」を入力する

国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定が［ON］のとき、電話番号の先頭に「＋」を入力すると、設定した国際アクセス番号（お買い上げ時は「009130010」）を自動的に付加して発信します。

1 待受画面で 0 を1秒以上押す

「＋」が入力されます。

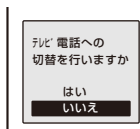
● 「＋」のあとに電話番号以外を入力したり、「＋」だけを入力しても発信できないことがあります。

音声電話/テレビ電話を切り替える 〈テレビ電話切替/音声電話切替〉

電話をかけた側は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。

- 音声↔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。また、電話を受けた側がテレビ電話切替通知を［切替機能通知開始］に設定しておく必要があります。（P.78）

例：音声電話からテレビ電話に切り替える場合

1 音声電話通話中に ✉（機能）を押し、［テレビ電話切替］を選び ▤ を押す

［はい］　：音声電話からテレビ電話に切り替えます。
［いいえ］：切り替えず、音声電話に戻ります。

テレビ電話から音声電話に切り替える場合

機能メニュー［音声電話切替］→［はい］を選択します。音声電話に切り替わると、ハンズフリーがOFFになります。

2 ［はい］を選び ▤ を押す

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側が保留中またはパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- 切り替えには、約5秒かかります。なお、電波状態により切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状態によっては音声電話/テレビ電話を切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
- 「テレビ電話切替中」/「音声電話切替中」と表示されている間は料金が課金されません。
- 通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒から開始されます。通話が終了すると、音声電話とテレビ電話の積算通話時間が表示されます。

リダイヤル/着信履歴を利用する 〈リダイヤル/着信履歴〉

以前にかけたり受けたりした電話の日時・電話番号/名前は、履歴としてそれぞれ30件まで記録され、電話番号/名前が日時の新しい順に一覧表示されます。プッシュトークの場合は、グループ名/先頭のメンバー名が表示されます。

- 2in1利用時はAナンバーとBナンバーのリダイヤル/着信履歴がそれぞれ30件まで記録されます。2in1のモードがデュアルモードのときや2in1をOFFにしている場合、両方のリダイヤル/着信履歴が日時の新しい順にそれぞれ30件まで表示されます。
- Aナンバーの履歴とBナンバーの履歴は色別表示されます。表示される色はきせかえ設定のカラーテーマ設定により変わります。(P.124)
  また、2in1の発着信番号表示設定で、Bナンバーの色を[濃]/[淡]から選択することができます。(P.400)

リダイヤル

発信頻度

着信履歴

①電話の種類

/ ※	音声電話発信/着信 / 音声電話不在着信(発信頻度の場合は「」が表示)
/ ※	テレビ電話発信/着信 / テレビ電話不在着信(発信頻度の場合は「」が表示)
/	64Kデータ通信着信 / 64Kデータ通信不在着信
/	プッシュトーク発信/着信 / プッシュトーク不在着信
/ /	プッシュトーク種類(1人の相手)/(複数の相手)/(プッシュトークプラス)
	着もじあり(着信履歴のみ)

※ 伝言メモが録音/録画されている場合、「」が表示されます。

②電話番号種別

	携帯電話1		携帯電話2		一般電話
	テレビ電話		自宅電話		会社電話
	自宅FAX		会社FAX		クイックキャスト

- パーソナルデータロック設定中は表示されません。

次ページにつづく

例：リダイヤルを表示する場合

1 待受画面で［▶］（[]）を押す

リダイヤル画面が表示されます。

着信履歴を表示する場合

待受画面で［◀］（[]）を押します。

発信頻度を表示する場合

リダイヤル画面で［◀］を押します。

電話番号を表示する場合

電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前と電話番号種別が表示されます。［#］を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。プッシュトークのグループ名が表示されている場合は、切り替わりません。

音声電話をかける場合

履歴にカーソルをあわせ、［］を押します。

テレビ電話をかける場合

履歴にカーソルをあわせ、［ch］（テレビ電話）を押します。

プッシュトークを発信する場合

履歴にカーソルをあわせ、［］を押します。

メールを送信する場合

電話帳に電話番号とメールアドレスを登録している場合は、メールを送信できます。履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー［メールで返信］→メールアドレスを選択し、メールを作成して送信します。

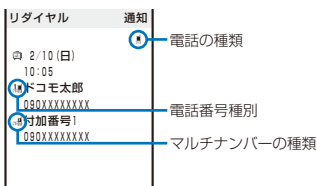
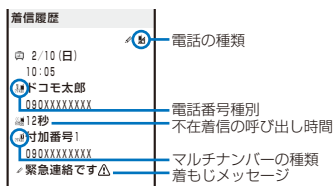
プッシュトーク電話帳のグループに登録する場合

プッシュトーク電話帳に登録されている複数の相手とプッシュトーク通信したときは、プッシュトーク（）の着信履歴にカーソルをあわせ、［］（登録）を押し、グループを選択して［］（完了）を押します。

- 同じ電話番号に電話をかけた場合、リダイヤルには最新の1件のみが記録されます。ただし、プッシュトークを発信した場合、複数の相手とのプッシュトークは毎回記録されます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、最初に発信/着信した電話の履歴が記録されます。
- ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった電話番号が表示されることがあります。
- 着信履歴から音声電話/テレビ電話をかけた場合、着信履歴に記録されている着もじは送信されません。
- 国際ローミング中に日時が現地時間に補正された場合は、名前/電話番号の横に「」が表示されます。（P.44）

リダイヤル/着信履歴の詳細情報を表示する

1 履歴画面で履歴を選び ☰（詳細）を押す

リダイヤルの場合

着信履歴の場合

- マルチナンバーの種類は次のアイコンで確認できます。

	基本契約番号		付加番号1		付加番号2

● プッシュトークの履歴を選択した場合は、[GP]グループ名、[ ]発信者名（着信履歴のみ）とメンバー全員が表示されます。

リダイヤル/着信履歴を削除する

電源を切っても履歴は消えません。他の人に見られたくないときは、削除してください。

- リダイヤル/発信頻度のどちらか一方を削除すると、両方が削除されます。

例：履歴を1件削除する場合

1 履歴画面で履歴を選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、履歴を複数選択して ⓘ（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ☰ を押す

履歴が1件削除されます。

● 2in1利用時に全件削除を行うと、2in1のモードにかかわらず、AナンバーとBナンバーのすべての履歴が削除されます。

着もじを設定する 〈着もじ〉

音声電話やテレビ電話をかけるときに相手の着信中画面にメッセージ(着もじ)を送信し、あらかじめ用件を伝えることができます。

着もじ
通話を開始すると着もじは表示されなくなります。
着もじは着信履歴の詳細画面で確認できます。(P.57)

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- 着もじの送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。
- 着もじはプッシュトークに対応していません。
- 海外での利用時は、着もじメッセージを送受信できません。

着もじメッセージを編集する

着もじメッセージを10件まで登録できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[着もじ]→[メッセージ作成]を選び ▤ を押す

着もじメッセージを削除する場合

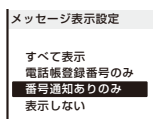
着もじメッセージにカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。すべての着もじメッセージを削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 ⓘ(編集)を押し、着もじメッセージを入力する

絵文字・記号・全角・半角を問わず10文字以内で入力します。
着もじメッセージが登録されます。

着もじの受信条件を設定する

着もじを受信したときの表示を設定します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[着もじ]→[メッセージ表示設定]を選び ▤ を押す

[すべて表示]：すべての着もじを受信して表示します。

[電話帳登録番号のみ]：電話帳に登録されている相手からの着もじのみ受信して表示します。電話帳にシークレット登録した相手からの着もじは、シークレット表示を[ON]に設定しないと受信できません。

[番号通知ありのみ]：発信者番号を通知している相手からの着もじのみ受信して表示します。

[表示しない]：すべての着もじを受信・表示しません。

2 着もじの表示方法を選び [メニュー] を押す

着もじの受信条件が設定されます。

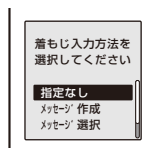
着もじメッセージを付けて電話をかける

着もじメッセージを付けて音声電話やテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力し、[メール]（オプション）を押す

オプション発信画面が表示されます。

2 [着もじ]を選び [メニュー] を押す

着もじ入力方法を
選択してください
指定なし
ﾒｯｾｰｼﾞ作成
ﾒｯｾｰｼﾞ選択

[指定なし]　：着もじメッセージを付けずに電話をかけます。

[メッセージ作成]　：着もじメッセージを作成して電話をかけます。絵文字・記号・全角・半角を問わず10文字以内で入力します。

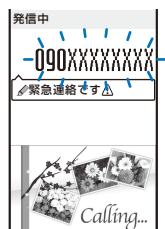
[メッセージ選択]　：登録した着もじメッセージを選択して電話をかけます。（着もじメッセージを登録しているときのみ表示されます）

[送信メッセージ履歴]：送信した着もじメッセージを選択して電話をかけます。10件まで記録されます。（送信した着もじメッセージがあるときのみ表示されます）

3 着もじメッセージを作成/選択する

着もじメッセージが作成/選択されます。

4 他の発信条件を選び [i]（発信）を押す

発信中
090XXXXXXXX
緊急連絡です
Calling...

選択した着もじメッセージ、発信条件に従って電話がかかります。

- 相手側に着もじが届いた場合、「[アイコン]」が表示され、送信料金がかかります。
- 相手側に着もじが届かなかった場合、「[アイコン]」が表示されます。この場合、送信料金はかかりません。（相手が着もじ対応端末でない場合やメッセージ表示設定で設定している着信以外の着信の場合など）
- 相手が次のような設定・状態の場合、相手側に着もじは届かず、着信履歴にも記録されません。また、発信側には「[アイコン]」や「[アイコン]」が表示されず、送信料金はかかりません。
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - 伝言メモの応答時間を0秒に設定しているときなど
- 電波状態により、相手側に着もじが届いていても発信側に「[アイコン]」や「[アイコン]」が表示されないことがあります。この場合、送信料金はかかります。
- 音声自動再発信を[ON]に設定している場合、テレビ電話発信時に着もじを付けると、音声電話で再発信したときも着もじが送信されます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知/非通知にする 〈186/184〉

電話をかけたとき、相手に自分の電話番号（発信者番号）を通知するかどうかを設定します。

・ 発信者番号は、お客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

発信者番号の通知/非通知は次のいずれかの方法で設定できます。

あらかじめ一括して設定	発信者番号通知設定で、［通知する］/［通知しない］を設定します。（P.45）
電話帳に設定	電話番号に「186/184」を付けて電話帳に登録します。（P.95）
電話をかけるときに設定	電話番号を入力したあとにオプション発信画面の番号通知に［通知発信］/［非通知発信］を設定します。（P.60） 電話番号を入力する前に「186/184」を入力します。（P.51） **発信者番号を通知する場合** 186＋相手先電話番号＋発信キー を押します。 **発信者番号を通知しない場合** 184＋相手先電話番号＋発信キー を押します。

- 「186/184」を付けて 発信キー を押し発信した場合、「186/184」が付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。
- 「186/184」を付けてプッシュトーク発信しても発信者番号を通知/非通知にすることはできません。

条件を指定して電話をかける

電話の種類や、電話番号を相手に通知するかどうかなどの発信条件を、電話をかけるときにオプション発信画面でそのつど設定できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、メールキー（オプション）を押す

オプション発信
電話番号
090XXXXXXXX
発信方法
音声電話
番号通知
指定なし
テレビ電話送信画像
自画像
着もじ
指定なし
プレフィックス

［発信方法］：［音声電話］/［テレビ電話］/［プッシュトーク］/［SMS］を選択します。

［番号通知］：相手に電話番号を通知するかどうかを選択します。［指定なし］を選択した場合、発信者番号通知設定に従います。

［テレビ電話送信画像］：テレビ電話をかけるときに送信する画像を選択します。

［着もじ］：着もじメッセージを作成/選択します。（P.59）

［プレフィックス］：登録したプレフィックス（P.61）を選択して音声電話/テレビ電話をかけます。（プレフィックスを登録しているときのみ表示されます）

［国際プレフィックス］：登録した国際アクセス番号（P.63）を選択して音声電話/テレビ電話をかけます。（先頭に「＋」が付いている電話番号を入力しているときのみ表示されます）

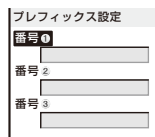
［国番号］：登録した国番号（P.63）を選択して音声電話/テレビ電話をかけます。

［2in1発信ナンバー］：2in1のモードがデュアルモードのときに発信番号を選択します。

［マルチナンバー］：マルチナンバー発信を［ON］に設定しているときに発信番号を選択します。

2 **各項目を設定する**

3 **(発信)を押す**

設定した発信条件に従って電話がかかります。

● 発信条件を付けると電話番号が81桁以上になる場合は、発信条件の[プレフィックス]、[国際プレフィックス]、[国番号]を設定しても発信できません。

プレフィックスを設定する 〈プレフィックス設定〉

電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する特定の番号(プレフィックス)を3件まで登録できます。

1 **メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[プレフィックス設定]を選び を押す**

2 **番号を選び を押す**

番号入力画面が表示されます。

3 **プレフィックスを入力し、 (確定)を押す**

26桁以内で入力します。

国際電話を利用する 〈WORLD CALL〉

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています。(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)

■電話番号を入力して国際電話をかける

009130 − 010 − 国番号 − 地域番号(市外局番) − 相手先電話番号

- 上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。(ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です)

電話/テレビ電話

次ページにつづく

■「＋」を利用して国際電話をかける

電話番号の先頭に「＋」を入力すると、「009130010」などの国際アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。（P.54）

- お買い上げ時は国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定が[ON]に設定されているため、国際アクセス番号が自動的に入力されます。

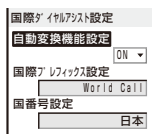
0（1秒以上）－ 国番号 － 地域番号（市外局番） － 相手先電話番号

- 上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録できます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の通話料とあわせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用いただけない料金プランがございます。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんのでご注意ください。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対しては、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話発信すると国際テレビ電話がご利用いただけます。
  ※ 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
  ※ 国際テレビ電話の接続先の端末によっては、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

WORLD CALL以外の番号を設定する

日本から国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を3件まで、国番号を30件まで登録できます。国際アクセス番号は、電話をかけるときに「＋」を入力すると自動で番号を付加できます。また、電話帳などから電話をかけるときに電話番号の先頭の「0」を国番号に自動的に変換できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ダイヤルアシスト設定]を選び を押す

[自動変換機能設定]：国際アクセス番号を自動で付加するかどうかを設定します。

[国際プレフィックス設定]：国際アクセス番号の登録と自動付加番号の設定を行います。発信時のオプション発信画面で[国際プレフィックス]を選択して国際アクセス番号を付加することもできます。

[国番号設定]：国番号を登録します。発信時のオプション発信画面で[国番号]を選択して国番号を付加できます。

2 [自動変換機能設定]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]　：国際プレフィックス設定で設定した付加番号を電話をかけるときに自動付加します。
[OFF]：自動付加しません。

3 [国際プレフィックス設定]を選び ☰ を押す

国際プレフィックス設定画面が表示されます。

4 登録欄を選び ☰ を押す

5 名称欄に名称を入力し、国際アクセス番号欄に国際アクセス番号を入力する

名称は全角10文字、半角20文字以内、国際アクセス番号は10桁以内で入力します。

6 ⓘ(完了)を押し、◀ を押す

国際アクセス番号が登録されます。

自動付加番号にする場合

登録欄にカーソルをあわせ、ⓘ(自動付加)を押します。自動付加番号に「⚑」が表示されます。

7 [国番号設定]を選び ☰ を押す

国番号設定画面が表示されます。

8 登録欄を選び ☰ を押す

9 国名称欄に国名称を入力し、国番号欄に国番号を入力する

国名称は全角7文字、半角14文字以内、国番号は5桁以内で入力します。

- 国番号にはあらかじめ「＋」が入力されています。

10 ⓘ(完了)を押す

国番号が登録されます。

自動付加番号にする場合

登録欄にカーソルをあわせ、ⓘ(自動付加)を押します。自動付加番号に「⚑」が表示されます。

サブアドレスを指定して電話をかける 〈サブアドレス設定〉

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定できます。

- Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[サブアドレス設定]を選び ☰ を押す

[ON]　：「＊」以降をサブアドレスとして認識します。
[OFF]：「＊」以降をサブアドレスとして認識しません。

次ページにつづく

2 [ON]/[OFF]を選び [MENU] を押す

サブアドレス設定が設定されます。

サブアドレスを指定して電話をかける場合

待受画面で電話番号＋ [＊] ＋サブアドレスの形式で入力し、[発信] または [ch] (テレビ電話)を押します。

- サブアドレス設定を[ON]に設定していても、電話番号の先頭の「＊」、発信時のオプション発信画面のプレフィックス/国際プレフィックス/国番号で入力した番号の直後の「＊」は、サブアドレスの区切りとしては認識されず電話番号として認識されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する 〈再接続アラーム音〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの通話中に、トンネルやビルの陰などで電波の状態が悪くなり通話が途切れても、そのあとすぐに電波の状態がよくなったときは自動的に再接続します。通話を再接続しているときのアラーム音を設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話設定]→[再接続アラーム音]を選び [MENU] を押す

[高音] ： アラーム音が高音で鳴ります。

[低音] ： アラーム音が低音で鳴ります。

[OFF] ： アラーム音は鳴りません。

2 アラーム音の種類を選び [MENU] を押す

再接続中のアラーム音が設定されます。

- 電波が途切れている間、相手は無音状態になります。
- ご利用状態や電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、再接続されるまでの時間も通話料がかかります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする 〈ノイズキャンセラ〉

音声電話、テレビ電話の通話中や、伝言メモの応答メッセージ再生時の周囲の騒音を抑えることができます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話品質]→[ノイズキャンセラ]を選び [MENU] を押す

[ON] ： 周囲の騒音を抑えます。

[OFF] ： 周囲の騒音を抑えません。

2 [ON]/[OFF]を選び [MENU] を押す

ノイズキャンセラが設定されます。

車の中で手を使わずに話す 〈車載ハンズフリー〉

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01 (別売)やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキットをご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01(別売)が必要です。

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を[OFF]に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- FOMA端末とハンズフリー対応機器を接続しても、公共モード(ドライブモード)、伝言メモは通常どおり動作します。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は通話中クローズ動作設定に従います。また、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ動作設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話を継続します。
- 車載ハンズフリーキット 01を利用中は、「」が表示されます。市販の車載アダプタを利用中は、「」が表示されることがあります。

電話/テレビ電話を受ける

音声電話/テレビ電話がかかってくると、着信ランプの点滅、着信音、バイブレータなどでお知らせします。着信時の動作は、着信設定やマナーモードなどの設定により異なります。

例：音声電話を受ける場合

1 電話がかかってきたら [発信キー] を押す

着もじ(P.58)

相手が電話番号を通知してきた場合は、電話番号が画面に表示されます。

テレビ電話を受けた場合

相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

相手が電話番号を通知した場合

電話帳に登録していると、相手の電話番号と名前が表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録した場合、メモリ番号の若い名前が表示されます。電話帳に登録した指定電話着信音、指定発着信画像、指定電話ランプ色が動作します。

相手が電話番号を通知していない場合

その理由が表示されます。

非通知理由	内　容
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合(ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知されることもあります)

留守番電話サービスセンターに接続する場合

機能メニュー[留守番転送]を選択します。

転送先に転送する場合

機能メニュー[転送でんわ]を選択します。

着信を拒否する場合

機能メニュー[着信拒否]を選択します。

次ページにつづく

2 通話が終わったら [終話] を押す

- 音声電話の場合、[通話] の代わりに [メニュー]（通話）を押しても応答できます。エニーキーアンサーを[ON]に設定していると、[0]～[9]、[*]、[#] でも応答できます。（P.67）
- テレビ電話の場合、[通話] の代わりに [ch]（テレビ電話）を押しても応答できます。[メニュー]（代替）を押すと、代替画像で応答できます。（P.76）
- 着信中オープン動作設定を[応答する]に設定しているときは、FOMA端末を開くだけで音声電話/テレビ電話に応答できます。（P.67）
- マナーモード設定中にテレビ電話がかかってきた場合、電話を受けるとハンズフリーをONにするかどうかを確認する画面が表示されます。ハンズフリー通話しない場合は、［いいえ］を選択してください。
- テレビ電話のハンズフリー機能は、あらかじめ[OFF]に設定することもできます。（P.77）
- 通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、通話中着信動作選択を[通常着信]に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通信中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  ＜ご契約の内容＞
  - 留守番電話サービス…… 留守番電話サービスセンターへ転送できます。
  - 転送でんわサービス…… 転送先へ転送できます。
  - キャッチホン…………… 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。

音声電話/テレビ電話を切り替えて電話を受ける

電話をかけた側は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。電話をかけた側が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合、電話を受けた側はカメラ画像を送信するかどうかを選択できます。

- 音声←→テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。あらかじめテレビ電話切替通知を[切替機能通知開始]に設定してください。（P.78）

例：音声電話からテレビ電話に切り替えられた場合

1 音声電話通話中に自画像送信確認画面が表示されたら[はい]を選び [メニュー] を押す

切り替え中はアニメーションが表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

[はい]　：相手側にカメラ画像が送信されます。
[いいえ]：相手側にお買い上げ時に登録されている画像が送信されます。

テレビ電話から音声電話に切り替えられた場合
自動的に音声電話になります。音声電話に切り替わると、ハンズフリーが[OFF]になります。

テレビ電話に切り替わると、相手側に自分の画像が送信され、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする 〈エニーキーアンサー〉

音声電話やプッシュトークがかかってきたとき、[通話キー]の代わりに、ダイヤルボタンを押して応答できるように設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[エニーキーアンサー]を選び[メニューキー]を押す

[ON] ：0～9、＊、＃でも音声電話やプッシュトークに応答できます。
[OFF] ：0～9、＊、＃では音声電話やプッシュトークに応答できません。[通話キー]、[メニューキー]（通話）（プッシュトークの場合は[通話キー]、[プッシュトークキー]、[メニューキー]（応答））で応答します。

2 [ON]/[OFF]を選び[メニューキー]を押す

エニーキーアンサーが設定されます。

FOMA端末を開いて電話に出られるようにする 〈着信中オープン動作設定〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したときに、[通話キー]の代わりにFOMA端末を開くだけで応答できるように設定します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[着信中オープン動作設定]を選び[メニューキー]を押す

[応答する] ：FOMA端末を開いて音声電話、テレビ電話、プッシュトークに応答できます。
[応答しない] ：FOMA端末を開いても音声電話、テレビ電話、プッシュトークに応答できません。

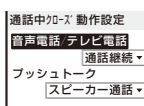
2 [応答する]/[応答しない]を選び[メニューキー]を押す

着信中オープン動作設定が設定されます。

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する 〈通話中クローズ動作設定〉

音声電話やテレビ電話の通話中にFOMA端末を閉じて、通話を終了、保留または継続にすることができます。また、プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じて、通信を終了、継続またはハンズフリーに切り替えることができます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[通話中クローズ動作設定]を選び[メニューキー]を押す

通話中ｸﾛｰｽﾞ動作設定
音声電話/テレビ電話
通話継続
プッシュトーク
スピーカー通話

[音声電話/テレビ電話] ：音声電話/テレビ電話の通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。
[プッシュトーク] ：プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。（P.91）

2 [音声電話/テレビ電話]に通話中クローズ動作設定を選択する

[保留] ：通話を保留にします。FOMA端末と相手の両方にメロディ（浜辺の歌）が流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。
[ミュート] ：音声を消して通話を保留にします。テレビ電話中は代替画像が送信されます。（P.76）
[通話切断] ：通話を終了します。
[通話継続] ：通話を継続します。

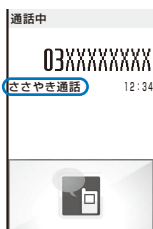
音声電話/テレビ電話通話中の通話中クローズ動作設定が設定されます。

次ページにつづく

● 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、通話中クローズ動作設定が無効となり、FOMA端末を閉じても通話を継続します。テレビ電話中にFOMA端末を閉じた場合は代替画像が送信されます。

相手と小さい声で話す 〈ささやき通話〉

音声電話の通話中、小さな声で話しても相手には普通の音量で聞こえるように設定します。

1 通話中に [マナー] を押す

ささやき通話に切り替わり、「ささやき通話」が表示されます。

解除する場合

もう一度 [マナー] を押します。

- 通話が終了すると、ささやき通話も解除されます。

自分の音声を相手に聞こえないようにする 〈通話中保留〉

音声電話、テレビ電話の通話中に保留にして、自分の声を相手に聞こえないようにできます。

- 通話保留中でも、電話をかけた方には通話料がかかります。

1 通話中に [✉] (機能)を押し、[通話中保留]を選び [■] を押す

FOMA端末と相手の両方にメロディ(浜辺の歌)が流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。

通話中保留を解除する場合

[発信] を押します。

すぐに電話に出られないときに保留にする 〈応答保留〉

音声電話、テレビ電話がかかってきたときにすぐに出られない場合は、保留にできます。

- 応答保留中でも、電話をかけた方には通話料がかかります。

例:音声電話を応答保留にする場合

1 電話がかかってきたら [終話] (HLD)を押す

応答保留の状態になります。

相手には現在電話に出られない旨のガイダンスが流れます。テレビ電話中は、お買い上げ時に登録されている画像が送信されます。

- 応答保留中に [終話] を押すと、保留中の電話が切れます。

2 電話に出られる状態になったら [発信キー] を押す

保留が解除され、通話できます。

● 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中に機能メニュー［留守番転送］、［転送でんわ］を選択すると、サービスをご利用いただけます。

公共モード(ドライブモード)を利用する 〈公共モード(ドライブモード)〉

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のある場所(電車、バス、映画館など)にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードは「圏外」が表示されているときでも設定/解除できます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 待受画面で [#] (🚗)を1秒以上押す

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。

- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

解除する場合

待受画面で [#] (🚗)を1秒以上押します。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

■公共モード(ドライブモード)を設定すると

- 電話がかかってきても、着信音は鳴らず応答できません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。電話をかけてきた相手には「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」という公共モードのガイダンスが流れ、通話を終了します。
- プッシュトーク着信しても、応答できません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。複数の相手とのプッシュトーク通信の場合、相手のプッシュトーク通信中画面に「運転中」と表示されます。
- 通常どおり電話をかけることができます。
- 次の音が鳴りません。また、バイブレータなども動作しません。
  - 着信音
  - 電池警告音
  - 充電確認音
  - 現在地通知音
  - めざまし時計のアラーム音
  - 通話料金上限値通知アラーム音
  - トルカ取得完了音
  - 位置提供/許可音
  - スケジュールアラーム音
  - ｉアプリのソフト音
  - 現在地確認音
  - 位置提供/確認音
- 公共モード(ドライブモード)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信動作については、ネットワークサービスと公共モード(ドライブモード/電源OFF)設定中の着信動作(P.71)をご覧ください。

公共モード(電源OFF)を利用する 〈公共モード(電源OFF)〉

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしているときに着信した場合、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 * 2 5 2 5 1 + [発信] を押す

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません)

解除する場合

* 2 5 2 5 0 + [発信] を押します。

設定内容を確認する場合

* 2 5 2 5 9 + [発信] を押します。

■公共モード(電源OFF)を設定すると

- 電源OFF時、サービスエリア外、電波の届かない場所にいる場合、電話をかけてきた相手には「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」という公共モード(電源OFF)のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- プッシュトーク着信しても応答できません。複数の相手とのプッシュトーク通信の場合、相手のプッシュトーク通信中画面に「✖不参加」と表示されます。
- 公共モード(電源OFF)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信動作については、ネットワークサービスと公共モード(ドライブモード/電源OFF)設定中の着信動作(P.71)をご覧ください。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード/電源OFF）設定中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス※1	公共モードのガイダンスが流れたあと、留守番電話サービスセンターに接続されます。	公共モードの映像ガイダンスは流れずに、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス※1※2	公共モードのガイダンスが流れたあと、転送先に転送されます。	公共モードの映像ガイダンスは流れずに、転送先に転送されます。転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話に対応していない場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	• 相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨のガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手を迷惑電話着信拒否に登録していない場合、公共モードのガイダンスが流れたあと、切断されます。	• 相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手を迷惑電話着信拒否に登録していない場合、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いのガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モードのガイダンスが流れたあと、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合、公共モードの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

※1 留守番電話サービスの呼び出し時間または転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒に設定した場合、公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴にも記録されません。

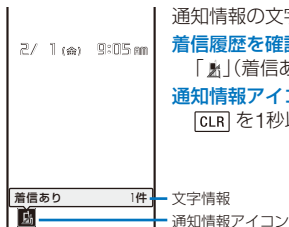
※2 電話をかけてきた相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの「1429」番で設定できます。

不在着信を確認する 〈不在着信〉

かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあったときなどは、待受画面に通知情報アイコン（P.32）が表示されます。
音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、64Kデータ通信に応答できなかったときは、待受画面に「」が表示されます。電話がかかってきた日時と相手は着信履歴で確認できます。（P.55）

1 待受画面で ☰（リンク）を押し、通知情報アイコンを選ぶ

2/ 1（金） 9:05 AM

着信あり 1件

文字情報

通知情報アイコン

通知情報の文字情報が表示されます。

着信履歴を確認する場合

「」（着信あり）を選択します。

通知情報アイコンを消す場合

CLR を1秒以上押します。着信履歴を表示しても「」は消えます。

電話に出られないときに用件を録音/録画する〈伝言メモ/テレビ伝言メモ〉

伝言メモ･テレビ伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに相手のメッセージを録音/録画します。

- 伝言メモ、テレビ伝言メモそれぞれについて最大3件、1件につき約15秒まで録音/録画可能です。伝言メモが3件録音されていると、伝言メモは動作しません。また、テレビ伝言メモが3件録画されていると、テレビ伝言メモは動作しません。不要な伝言メモ/テレビ伝言メモを削除してください。
- 公共モード(ドライブモード)設定中、伝言メモ/テレビ伝言メモは動作しません。

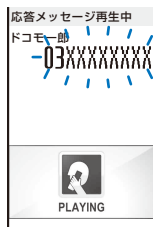
1 待受画面で メモ を1秒以上押す

伝言メモ/テレビ伝言メモが設定され、「」「」が表示されます。

伝言メモ/テレビ伝言メモを解除する場合

待受画面で メモ を1秒以上押します。伝言メモ/テレビ伝言メモが解除されます。

● 圏外のときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービス(有料)をご利用ください。

電話がかかってくると

設定した応答時間が経過すると、応答メッセージが相手に流れます。

相手と話す場合

を押します。

テレビ電話がかかってきた場合

応答メッセージと応答画像が相手に流れます。相手と話す場合は、ch (テレビ電話)を押します。 (代替)を押すと代替画像で応答できます。

待受画面に「」(新規伝言メモあり)または「」(新規テレビ伝言メモあり)の通知情報アイコンが表示されます。

文字情報を表示する場合

待受画面で (リンク)を押し、「」または「」にカーソルをあわせます。

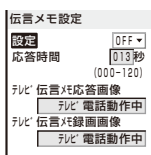
伝言メモ/テレビ伝言メモを再生する場合

待受画面で (リンク)を押し、「」または「」を選択します。

通知情報アイコンを消す場合

CLR を1秒以上押します。伝言メモ/テレビ伝言メモを再生しても「」「」は消えます。

伝言メモの動作を設定する

1 待受画面で メモ を押し、[伝言メモ設定]を選び ☰ を押す

2 [応答時間]に伝言メモが応答するまでの時間を入力する

000～120秒の範囲で入力します。

3 [テレビ伝言メモ応答画像]にデータBOXのマイピクチャから応答時に送信する画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	50Kバイト以下	[QCIF(横176×縦144)]以下

※ ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

4 [テレビ伝言メモ録画画像]にデータBOXのマイピクチャから録画時に送信する画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	50Kバイト以下	[QCIF(横176×縦144)]以下

※ ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

5 i (完了)を押す

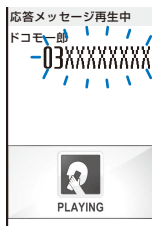
伝言メモの動作が設定されます。

● 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定する場合、伝言メモを優先させるには、本機能の応答時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間よりも短く設定してください。

着信中の電話に出られないときに用件を録音する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを設定していなくても、音声電話やテレビ電話がかかってきたときに伝言メモを一時的に動作できます。

- 伝言メモが3件録音されていると、電話がかかってきたときにクイック伝言メモは動作できません。また、テレビ伝言メモが3件録画されていると、テレビ電話がかかってきたときにクイック伝言メモは動作できません。

1 着信中に メモ を押す

応答メッセージ再生中
ドコモ一郎
03XXXXXXXX
PLAYING

応答メッセージが相手に流れます。

相手と話す場合

を押します。

テレビ電話がかかってきた場合

応答メッセージと応答画像が相手に流れます。相手と話す場合は、ch（テレビ電話）を押します。（代替）を押すと代替画像で応答できます。

伝言メモ・テレビ伝言メモ・音声メモを再生/削除する

録音された伝言メモ/テレビ伝言メモや音声メモ（P.369）は、再生したり削除したりできます。

伝言メモ・テレビ伝言メモ・音声メモを再生する

例：伝言メモを再生する場合

1 待受画面で メモ を押し、［伝言メモ再生］を選び を押す

テレビ伝言メモを再生する場合

待受画面で メモ を押し、［テレビ伝言メモ再生］を選択します。

音声メモを再生する場合

待受画面で メモ を押し、［音声メモ再生］を選択します。

電話番号を表示する場合

電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前と電話番号種別が表示されます。# を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。音声メモは切り替わりません。

2 伝言メモを選び （再生）を押す

伝言メモ再生
① 2/12 9:35
ドコモ一郎

伝言メモが再生されます。

再生を途中で停止する場合

（停止）を押します。

前後の伝言メモを再生する場合

再生中に ◀ で前の伝言メモ、▶ で次の伝言メモを再生できます。

伝言メモ・テレビ伝言メモ・音声メモを削除する

録音できる件数は、伝言メモが3件、テレビ伝言メモが3件、音声メモが3件です。不要な伝言メモ・テレビ伝言メモ・音声メモは削除してください。

例：伝言メモを1件削除する場合

1 待受画面で メモ を押し、[伝言メモ再生]を選び ▤ を押す

テレビ伝言メモを削除する場合
　待受画面で メモ を押し、[テレビ伝言メモ再生]を選択します。

音声メモを削除する場合
　待受画面で メモ を押し、[音声メモ再生]を選択します。

すべて削除する場合
　機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 伝言メモを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [1件削除]→[はい]を選び ▤ を押す

伝言メモが削除されます。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、カメラ画像の代わりにキャラクタを送信できます。ダイヤルボタンを押してキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧については、P.302をご覧ください。

1 待受画面で ▲（📁）を押し、[キャラ電]を選び ▤ を押す

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選び ✉（機能）を押し、[キャラ電発信]を選び ▤ を押す

電話番号入力方法選択画面が表示されます。

3 入力方法を選び ▤ を押し、電話番号を入力する

4 ch（テレビ電話）を押す

©SEGA

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。

全体アクションモードとパーツアクションモードを切り替える場合
　ch（切替）を押します。

アクション一覧を表示する場合
　i（一覧）を押します。

プッシュ信号(DTMF)を送信するモードに切り替える場合
　機能メニュー[DTMF送出モード]を選択します。

キャラ電のアクションを実行するモードに切り替える場合
　機能メニュー[アクション入力モード]を選択します。

● プッシュ信号(DTMF)を送信するモードにすると、キャラ電のアクションが実行できなくなります。

テレビ電話の動作を設定する 〈テレビ電話設定〉

テレビ電話中の画面表示を設定する

テレビ電話中のTV画像(大)とTV画像(小)に表示される画像を設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[テレビ電話画面設定]を選び ▭ を押す

[相手大自分小] ：TV画像(大)に相手の画像、TV画像(小)に自分の画像を表示します。
[相手小自分大] ：TV画像(大)に自分の画像、TV画像(小)に相手の画像を表示します。
[相手のみ] ：TV画像(大)に相手の画像のみ表示します。
[自分のみ] ：TV画像(大)に自分の画像のみ表示します。

2 表示方法を選び ▭ を押す

テレビ電話画面設定が設定されます。

相手側に送信する映像を設定する

テレビ電話をかけたときに相手にカメラ画像を送信するかどうか、また、カメラ画像を送信しない場合の代替画像をマイピクチャまたはキャラ電から設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[送信画像設定]を選び ▭ を押す

2 [自画像送信]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：テレビ電話をかけたときに相手にカメラ画像を送信します。
[OFF] ：テレビ電話をかけたときに相手に代替画像を送信します。

3 [代替画像]にデータBOXのマイピクチャ/キャラ電から代替画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	50Kバイト以下	[QCIF(横176×縦144)]以下
キャラ電	−	100Kバイト以下	−

※ ファイル制限がある画像、フレーム画像などは設定できません。

送信画像設定が設定されます。

テレビ電話の画質を設定する

相手に送信する画像の画質を設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[送信画質設定]を選び ▤ を押す

[画質優先]：画質を重視して送信します。
[標準]：画質と動きのバランスをとって送信します。
[動き優先]：動きを重視して送信します。

2 送信する画像の画質を選び ▤ を押す

送信画質設定が設定されます。

テレビ電話がつながらなかったときに音声電話で再発信する

テレビ電話がつながらなかったとき、自動的に音声電話をかけ直します。テレビ電話がつながったときは、音声電話で再発信しません。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[音声自動再発信]を選び ▤ を押す

[ON]：音声電話をかけ直します。
[OFF]：音声電話をかけ直しません。

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

音声自動再発信が設定されます。

● 音声電話で再発信した場合の通話料は、デジタル通信料ではなく通話料になります。

ハンズフリー機能を利用する

テレビ電話の通話中に、ハンズフリーを利用するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[ハンズフリー]を選び ▤ を押す

[ON]：テレビ電話通話中、相手の声がスピーカーから聞こえます。
[OFF]：テレビ電話通話中、相手の声が受話口から聞こえます。

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

ハンズフリーが設定されます。

● 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、ハンズフリーの設定にかかわらず、イヤホンマイクでの通話になります。

次ページにつづく

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

ｉモード、メールの送受信などのパケット通信中にテレビ電話がかかってきた場合の応答方法を設定します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[テレビ電話設定]→[パケット通信中着信設定]を選び [MENU] を押す

[テレビ電話優先]　：テレビ電話を着信します。テレビ電話に応答すると、通信中のパケット通信を切断します。

[パケット通信優先]：テレビ電話の着信を拒否し、パケット通信を継続します。着信履歴には記録されます。

[留守番電話]　：かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

[転送でんわ]　：かかってきたテレビ電話を転送先に接続します。

2 ｉモード通信中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選び [MENU] を押す

パケット通信中着信設定が設定されます。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する 〈テレビ電話切替通知〉

自分のFOMA端末が音声電話/テレビ電話の切り替えに対応していることを、相手に通知するかどうかを設定します。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所や音声通話中、テレビ電話通話中は、設定できません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[テレビ電話切替通知]を選び [MENU] を押す

2 [切替機能通知開始]→[はい]を選び [MENU] を押す

通知しない場合

[切替機能通知停止]→[はい]を選択します。

設定内容を確認する場合

[切替通知設定確認]を選択します。

プッシュトーク

プッシュトークとは

(P)を1秒以上押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで(P)を押すだけの簡単操作で複数の人(自分を含めて最大5人まで)と通信できます。(P)を押す(発言する)ごとにプッシュトーク通信料が課金されます。

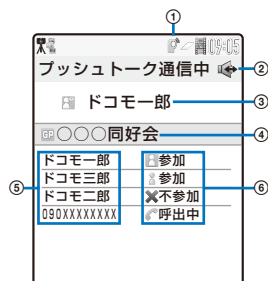
- プッシュトークの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

プッシュトークプラス

自分も含め最大20人までとプッシュトーク通信ができるサービスです。ネットワーク上の共有電話帳を利用したり、メンバーの状態を確認できたりするなど、より便利にプッシュトークをご利用いただけます。

※ 操作方法などの詳細については、お申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

※ 別途プッシュトークプラスのご契約が必要です。

プッシュトーク通信中の画面の見かた

① : プッシュトーク通信中

② : ハンズフリーON

③ 現在の発言者
電話番号(電話帳に登録されている場合はメンバー名)を表示
[自分] : 自分が発言者のとき(発言可能)
[非通知] : 発信者の番号通知設定が[非通知]のとき
[?] : 発言者が特定できないとき
(表示なし) : 発言者がいないとき(空き状態)

④ グループ名
グループ発信した発信者の画面にのみ表示

⑤ メンバー
電話番号(電話帳に登録されている場合はメンバー名)を表示
[非通知] : 発信者の番号通知設定が[非通知]のとき

⑥ 通信状態
参加 : プッシュトークの発信者
参加 : プッシュトーク通信に参加中
呼出中※ : 相手を呼び出し中
不参加※ : 相手がプッシュトークを終了、または応答しない/圏外/電源OFF中
運転中※ : 公共モード(ドライブモード)設定中
※ 複数の相手とのプッシュトーク通信の場合のみ表示されます。

プッシュトーク通信中の操作

操　作	ボタン操作
発言する	発言権が開放状態のときに を押している間だけ発言できます。 他のメンバーが発言権を持っているときは、 を押しても発言権を取得できません。
メンバーを追加する	（追加）を押します。プッシュトークを発信した場合のみ操作できます。
ハンズフリーを切り替える	（）を押します。押すたびにON/OFFが切り替わります。
受話音量を調節する	▲ ▼ を押します。
プッシュトークを終了する	を押します。
音声電話を受ける	を押します。（P.65） 音声電話を受けた場合、プッシュトーク通信は終了されます。 プッシュトーク中に音声電話がかかってきた場合の動作は設定できます。（P.90）

- 1回の発言権で、お話しできる時間は制限があります。制限時間に達すると、取得中の発言権は開放されます。また、一定時間発言権の取得者がいない場合はプッシュトーク通信が終了します。
- プッシュトークの通信状態が変更されたり、発言権を取得すると信号音が鳴ります。
- プッシュトーク通信中、ｉモードはご利用になれません。
- 他の機能が起動している場合、発言権を取得することはできません。ただし、プッシュトークで発言中に他の機能が起動した場合、 を押している間は発言することができます。
- プッシュトーク通信中にテレビ電話、データ通信、プッシュトークを着信した場合、着信履歴を残し、プッシュトークが継続されます。

プッシュトーク発信する

- 音声電話、テレビ電話、データ通信中、2in1のモードをBモードに設定中は、プッシュトーク発信できません。
- ｉモード通信中にプッシュトーク発信した場合、ｉモード通信が切断されます。また、ｉアプリ実行中にプッシュトーク発信した場合、ｉアプリが中断されます。
- 2in1のBナンバーでプッシュトーク、プッシュトークプラスを利用することはできません。

1 待受画面で電話番号を入力する

2 [P] を押す

発信すると信号音がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

プッシュトーク通信中
自分
090XXXXXXXX　参加

発言する場合

発言権が開放状態のときに [P] を押します。[P] を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら [終話] を押す

- プッシュトークでは、緊急通報(110番、119番、118番)に電話をかけることができません。
- 「186/184」を付けてプッシュトーク発信しても発信者番号を通知/非通知にすることはできません。
- プッシュトーク発信するときの発信者番号の通知/非通知は、発信者番号通知設定に従います。(P.45)
- 発信者番号通知設定を[通知する]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むすべてのメンバーに発信者やすべてのメンバーの電話番号が通知されます。[通知しない]に設定して発信した場合、追加したメンバーを含むすべてのメンバーには、発言者やメンバーの欄にすべて[非通知]と表示されます。
- オプション発信画面の番号通知で[通知発信] / [非通知発信]を指定してプッシュトーク発信すると、選択した発信条件に従って発信者(自分)とすべてのメンバーの電話番号が、すべてのメンバーに通知/非通知されます。
- プッシュトーク発信する際に、発信者番号通知設定と発信時にオプションで番号通知を同時に設定したときの優先順位は次のとおりです。
  1. 発信時のオプション発信画面で選択した発信条件
  2. 発信者番号通知設定

履歴からプッシュトーク発信する

リダイヤル、着信履歴からプッシュトーク発信できます。

- 2in1利用時は、Bナンバーの履歴からはプッシュトーク発信できません。

例：着信履歴からプッシュトーク発信する場合

1 待受画面で ◀ ( )を押す

着信履歴画面が表示されます。

2 着信履歴を選び を押す

発信すると信号音が聞こえます。

● 複数でプッシュトーク通信中にメンバーの通信が切断された場合、他のメンバー間で通信が継続している間は、リダイヤル/着信履歴からその通信に復帰できます。終了していた場合は、新規の発信となります。

プッシュトーク通信中にメンバーを追加する

プッシュトークを発信した場合、プッシュトーク通信中にメンバーを追加することができます。メンバーは最大通信人数(自分を含めて最大5人)まで追加でき、不参加だったメンバーを再度呼び出すこともできます。

例：プッシュトーク電話帳からメンバーを選択する場合

1 プッシュトーク通信中に (追加)を押す

追加方法選択画面が表示されます。

[Pトーク電話帳参照]：プッシュトーク電話帳から選択します。
[電話帳参照]：FOMA端末電話帳から選択します。
[直接入力]：電話番号を直接入力します。

2 [Pトーク電話帳参照]を選び を押す

メンバー
携帯あき子
携帯なつ子
携帯はる子
ドコモ一郎
ドコモ二郎

グループからメンバーを選択する場合

 (グループ)を押し、グループを選択します。

3 メンバーを選び を押す

選択したメンバーに「✓」が表示されます。

4 (完了)を押す

追加メンバー参照画面が表示されます。

5 (発信)を押す

選択したメンバーを呼び出します。

次ページにつづく

- プッシュトーク通信中に追加したメンバーは、リダイヤル/着信履歴の詳細情報に表示されません。
- プッシュトーク対応機種を使用している相手はメンバーに追加できます。ただし、非対応機種では、画面上には追加したメンバーは表示されず、信号音も鳴りません。

プッシュトーク着信する

プッシュトーク着信すると、着信ランプの点滅、着信音、バイブレータなどでお知らせします。着信時の動作は、着信設定やマナーモードなどの設定により異なります。

- 音声電話中にプッシュトーク着信した場合、プッシュトークはつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。テレビ電話、データ通信中にプッシュトーク着信した場合、プッシュトークはつながりません。着信履歴にも記録されません。
- ｉモード通信中にプッシュトーク着信した場合、ｉモード通信中着信設定の設定に従います。

1 プッシュトークを着信したら [P] または [発信] を押す

応答すると、相手の声がスピーカーから聞こえるハンズフリーに切り替わります。

応答しない場合

[終話] を押します。

画面にはメンバー名が表示されます。電話帳に登録されていないメンバーの場合は、電話番号が表示されます。

- プッシュトークの発信者が、発信者番号通知設定を[通知する]に設定している場合は、すべてのメンバーのメンバー名/電話番号が表示されます。発信者が、発信者番号通知設定を[通知しない]に設定している場合は、すべてのメンバーが「非通知」で表示されます。

発言する場合

発言権が開放状態のときに [P] を押します。[P] を押している間だけ発言できます。

2 通信が終わったら [終話] を押す

- [P] または [発信] の代わりに、[メニュー](応答)を押してもプッシュトークに応答できます。エニーキーアンサーを[ON]に設定していると、[0] ～ [9]、[*]、[#] でもプッシュトークに応答できます。(P.67) 着信中オープン動作設定を[応答する]に設定しているときは、FOMA端末を開くだけでプッシュトークに応答できます。(P.67)
- プッシュトーク着信は応答保留できません。
- 着信拒否に登録している相手が発信したプッシュトークを着信した場合、着信拒否されます。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

プッシュトーク電話帳を登録する

プッシュトーク電話帳は、1,000件のメンバーを登録できます。
プッシュトーク電話帳に登録するメンバーは、FOMA端末電話帳にも登録する必要があります。FOMA端末電話帳データ1件につき電話番号1件のみをプッシュトーク電話帳に登録できます。プッシュトーク電話帳のメンバー名には、FOMA端末電話帳で登録した名前が表示されます。

- 2in1のモードがBモードの場合、プッシュトーク電話帳は登録できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定された電話帳データは、プッシュトーク電話帳に登録できません。
- 2in1のモードがAモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定されたメンバーは表示されません。

1 待受画面で P を1秒以上押し、✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [新規]を選び ☰ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

[電話帳参照]：FOMA端末電話帳から選択します。

[直接入力]：FOMA端末電話帳にデータを新規登録してからプッシュトーク電話帳に登録します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3〜6)と同じ操作を行ってください。

3 [電話帳参照]を選び ☰ を押す

FOMA端末電話帳が表示されます。

4 データ→電話番号を選び ☰ を押す

プッシュトーク電話帳に登録され、FOMA端末電話帳のデータに「P」が表示されます。

● FOMA端末電話帳にシークレット登録した相手をプッシュトーク電話帳に登録した場合、プッシュトーク電話帳に表示されません。表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。(P.141)

グループを設定する

グループに複数のメンバーを登録しておくと、登録した複数のメンバーに同時にプッシュトーク発信できます。
プッシュトーク電話帳のグループは20件まで登録できます。1件のグループには、メンバーを19人まで登録できます。

グループを登録する

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[✉]（機能）を押す

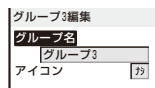
機能メニューが表示されます。

2 [グループ設定]を選び [■] を押す

グループ設定画面が表示されます。

グループ番号を表示する場合

グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。[#] を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

3 グループを選び [■] を押す

4 [グループ名]にグループ名を入力する

全角10文字、半角21文字以内で入力します。

5 [アイコン]にグループアイコンを選択する

6 [i]（完了）を押す

プッシュトーク電話帳のグループが設定されます。

グループにメンバーを登録する

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[ch]（グループ）を押す

グループリスト画面が表示されます。

2 グループを選び [■] を押す

グループ内メンバーリスト画面が表示されます。

3 [ch]（編集）を押す

4 メンバーを選び [■] を押す

選択したメンバーに「✓」が表示されます。

メンバーの選択をすべて解除する場合

[ch]（全解除）を押します。

5 [i]（完了）を押す

グループにメンバーが登録されます。

プッシュトーク

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳にメンバーを登録すると、複数のメンバーにプッシュトーク発信できます。

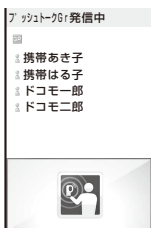
- 2in1のモードがBモードの場合、プッシュトーク電話帳は利用できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳2in1設定が[B]に設定されたメンバーは利用できません。

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、メンバーを選び [メニュー] を押す

選択したメンバーに「✓」が表示されます。

電話番号を表示する場合

[#] を押すと、名前と電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

2 [P] を押す

発信すると信号音が聞こえます。

発言する場合

発言権が開放状態のときに [P] を押します。[P] を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら [終話] を押す

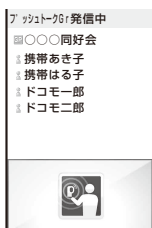
グループからプッシュトーク発信する

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[ch]（グループ）を押す

グループ番号を表示する場合

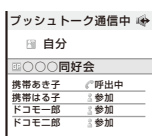
グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。[#] を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

次ページにつづく

2 グループを選び を押す

発信すると信号音が聞こえます。

グループから特定のメンバーを選択して発信する場合

グループ→メンバーを選択し、 を押します。

プッシュトーク通信中
自分
○○○同好会
携帯あき子 呼出中
携帯はる子 参加
ドコモ一郎 参加
ドコモ二郎 参加

発言する場合

発言権が開放状態のときに を押します。 を押している間だけ発言できます。

3 通信が終わったら を押す

- プッシュトークのグループに発信する場合、メンバーが5人以上登録されていても、発信できるのは4人までとなります。

プッシュトーク電話帳を削除する

プッシュトーク電話帳のメンバーは3とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 待受画面で を1秒以上押す

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メンバーを複数選択して (削除)を押し、[はい]/[電話帳からも削除]を選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー [削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい] / [電話帳からも削除]を選択します。

- 2in1利用時は、電話帳2in1設定のすべてのモードのメンバーを削除する旨の画面が表示されます。[はい]を選択すると電話帳2in1設定のすべてのモードのメンバーが削除されます。

グループをお買い上げ時の状態に戻す場合

(グループ)を押し、グループにカーソルをあわせ、機能メニュー [グループリセット]→[はい]を選択します。

2 メンバーを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び を押す

選択したメンバーが削除されます。

FOMA端末電話帳からも削除する場合

[削除]→[1件削除]→[電話帳からも削除]を選択します。

プッシュトーク電話帳を使いこなす 〈プッシュトークプラス〉

ネットワークに接続し、プッシュトークプラスを利用します。（P.80）

- プッシュトークプラスをご契約のお客様のみ利用できます。

1 待受画面で [P] を1秒以上押し、[✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ネットワーク接続]→[はい]を選び [≡] を押す

ネットワークに接続されます。

プッシュトークの動作を設定する 〈プッシュトーク設定〉

自動応答するかどうかを設定する

プッシュトーク着信時に、ハンズフリーで自動応答するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[自動応答設定]を選び [≡] を押す

[自動応答する] ：プッシュトークを着信したときにハンズフリーで自動的に応答します。マナーモード設定中は自動応答しません。

[自動応答しない] ：プッシュトークを着信したときに [P] または [⌒] などを押して応答します。

2 [自動応答する]/[自動応答しない]を選び [≡] を押す

自動応答設定が設定されます。

呼び出し時間を設定する

自動応答設定で[自動応答しない]に設定した場合、プッシュトークの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[呼出時間設定]を選び [≡] を押す

01～60秒の範囲で入力します。

2 プッシュトークの着信音を鳴らす時間を入力する

呼出時間設定が設定されます。

次ページにつづく

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応答方法を設定する

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきた場合の応答方法を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[通信中着信設定]を選び ▤ を押す

[通常着信]　：音声電話を着信し、応答できます。
[着信拒否]　：音声電話の着信を拒否します。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
[留守番電話]：かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
[転送でんわ]：かかってきた音声電話を転送先に接続します。

2 プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応答方法を選び ▤ を押す

通信中着信設定が設定されます。

ｉモード中にプッシュトークを着信するかどうかを設定する

ｉモード中またはｉモード通信中にプッシュトークを着信した場合、ｉモードを切断してプッシュトークを着信するかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[ｉモード通信中着信設定]を選び ▤ を押す

[プッシュトーク優先]：プッシュトークを着信し、ｉモードを切断します。プッシュトーク終了後に元の画面に戻ります。
[ｉモード優先]　　　：プッシュトークを着信せず、ｉモードを継続します。着信履歴には記録されません。

2 優先する機能を選び ▤ を押す

ｉモード通信中の優先機能が設定されます。

ハンズフリー機能を利用する

プッシュトーク通信中に、ハンズフリーを利用するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[プッシュトーク設定]→[ハンズフリー]を選び ▤ を押す

[ON]　：プッシュトーク通信中、相手の声がスピーカーから聞こえます。
[OFF]：プッシュトーク通信中、相手の声が受話口から聞こえます。

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

ハンズフリーが設定されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、ハンズフリーの設定にかかわらず、イヤホンマイクでの通話になります。
- マナーモード設定中は、ハンズフリーの設定にかかわらず、ハンズフリーでの応答はできません。

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

プッシュトーク通信中にFOMA端末を閉じて、通信を終了またはハンズフリーに切り替えることができます。通信を継続することもできます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[通話中クローズ動作設定]→[プッシュトーク]を選び ☰ を押す

[通話継続] ： プッシュトーク通信を継続します。
[スピーカー通話] ： プッシュトーク通信中は、相手の声がスピーカーから聞こえます。
[終話] ： プッシュトーク通信を終了します。

2 通信中にFOMA端末を閉じたときの動作を選び ☰ を押す

通話中クローズ動作設定が設定されます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)接続時は、通話中クローズ動作設定が無効となり、FOMA端末を閉じてもイヤホンマイクで通話を継続します。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末電話帳、他のFOMA端末でも利用できるFOMAカード電話帳の2種類の電話帳があります。お客様の用途にあわせて使い分けてください。

- FOMA端末電話帳の登録データを利用して作成するプッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳も使用できます。(P.85)

各電話帳の登録内容は次のとおりです。

登録内容	FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
件数	1,000件まで登録できます。	50件まで登録できます。
グループ	グループ0～19に分類できます。	グループ0～10に分類できます。
電話番号の登録	1件の電話帳につき3番号まで、電話帳全体で3,000番号まで登録できます。 1つの番号をプッシュトーク電話帳に登録できます。	1件の電話帳につき1番号登録できます。
	[一般電話][携帯電話1]のような9種類のアイコンを選択できます。	アイコンは選択できません。「」が自動的に登録されます。
メールアドレスの登録	1件の電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で3,000アドレスまで登録できます。 また、1アドレスにつきシークレットコードを1件登録できます。	1件の電話帳につき1アドレス登録できます。
	[携帯メール1][自宅メール]のような5種類のアイコンを選択できます。	アイコンは選択できません。「」が自動的に登録されます。
画像の登録	1件の電話帳につき指定発着信画像1件、指定代替画像1件を登録できます。それぞれ電話帳全体で1,000件まで登録できます。	画像は登録できません。
その他のデータの登録	1件の電話帳につき名前、フリガナ、メモリ番号、位置情報、郵便番号、住所、誕生日を1件登録できます。 また、1件の電話帳につき指定電話着信音、指定メール着信完了音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色を1種類設定でき、シークレット登録もできます。	1件の電話帳につき名前、フリガナを1件登録できます。
グループの登録	1件のグループにつきグループ名、グループアイコンを1件登録できます。	1件のグループにつきグループ名を1件登録できます。[0グループなし]のグループ名は変更できません。また、アイコンは選択できません。
	1件のグループにつき指定発着信画像、指定電話着信音、指定メール着信完了音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色を1種類登録できます。	設定できません。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に取付けても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

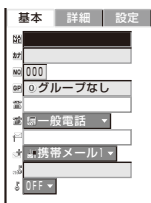
- 発着信画像、着信音、着信ランプの優先順位は、P.111をご覧ください。
- シークレット登録した相手から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信音・着信画像・着信ランプ色が動作し、名前は表示されません。シークレット登録した相手の設定や、シークレット登録した相手が含まれるグループの設定を有効にする場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。
- 2in1利用時は、2in1のモードによって利用できる電話帳が自動的に切り替わります。電話帳登録時には、2in1のモードに対応する電話帳2in1設定が自動的に登録されます。電話帳2in1設定をデータやグループごとに変更することもできます。(P.399)
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時などに新機種へ登録内容をコピーする場合、仕様によってはFOMA端末にコピーできないこともありますので、あらかじめご了承ください。

電話帳

FOMA端末電話帳に登録する 〈FOMA端末電話帳登録〉

FOMA端末電話帳には1,000件のデータを登録できます。

1 待受画面で ▼ (📖)を押し、 i (新規)を押す

2 [本体メモリ]を選び ▤ を押す

FOMAカード電話帳に登録する場合

[FOMAカード(UIM)]を選択します。(P.98)

3 基本画面の各項目を登録する

アイコン	設定内容
NAME	名前を全角16文字、半角32文字以内で入力します。
カナ	名前を入力すると、フリガナが自動的に入力されます。 • 修正する場合は、半角32文字以内で入力します。
NO	メモリ番号を000～999の範囲で入力します。空いている最小のメモリ番号が自動的に入力されています。名前/電話番号/メールアドレスを入力して変更できます。
GP	グループを選択します。[⓪グループなし]が自動的に入力されています。名前/電話番号/メールアドレスを入力して変更できます。
☎	電話番号1番号につき26桁以内で入力します。ポーズ(P)、タイマー(T)、「+」、「#」、サブアドレスの区切り(*)を登録できます。 • 先頭に「184」、「186」を付けて登録すると、SMSの宛先として電話番号を選択しても送信できません。
☎	電話番号種別アイコンを選択します。[一般電話]が自動的に入力されています。電話番号を入力して変更できます。
✉	メールアドレス1アドレスにつき半角の英数字・記号50文字以内で入力します。 • メールの送信先がｉモード端末(mova端末含む)のときは、メールアドレスの@以降を省略することもできます。
✉	メールアドレス種別アイコンを選択します。[携帯メール1]が自動的に入力されています。メールアドレスを入力して変更できます。

次ページにつづく

アイコン	設定内容
	相手がメールアドレス(電話番号@docomo.ne.jp)にシークレットコードを登録している場合、そのシークレットコードを入力します。メールを送信するときにそのシークレットコードが自動的に付加されます。 • メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と電話帳に登録している場合は、シークレットコードを登録するとその相手にメール送信や返信ができなくなります。メールアドレスを「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードを登録してください。 • 入力したシークレットコードは「＊＊＊＊」で表示されます。シークレット表示を[ON]に設定しているときのみ、数字で表示されます。 • 自分のシークレットコードの登録については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
	シークレット登録の[ON]/[OFF]を選択します。 • シークレット登録した内容を表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定します。

4 ▶を押し、詳細画面の各項目を登録する

<table>
<tr><th>アイコン</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td></td><td>音声電話/テレビ電話の発着信時、メールの受信直後、電話帳1件表示時に表示する指定発着信画像を、データBOXのマイピクチャ/ｉモーションから選択または撮影します。
• 設定可能なファイルは次のとおりです。
<table>
<tr><th>カテゴリ</th><th>ファイル形式</th><th>ファイルサイズ</th><th>画像サイズ</th></tr>
<tr><td>マイピクチャ</td><td>GIF/JPEG</td><td>100Kバイト以下</td><td>[QVGA(240×320)]以下</td></tr>
<tr><td>ｉモーション※</td><td>MP4</td><td>10Mバイト以下</td><td>[VGA(640×480)]以下</td></tr>
</table>
※ ｉモーションによっては設定できないことがあります。
• サイズの大きい画像は、表示に時間がかかる場合があります。
• カメラで撮影する場合は、[カメラ]/[ムービー]を選択し、撮影します。(P.155、170) 撮影できる画像サイズは次のとおりです。
<table>
<tr><td>静止画</td><td>[QVGA(240×320)]以下</td></tr>
<tr><td>動画</td><td>[VGA(640×480)]以下</td></tr>
</table>
• 画像を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。
• 画像を確認する場合は、画像にカーソルをあわせ、ch(見る/再生)を押します。</td></tr>
<tr><td></td><td>現在地確認、位置履歴、画像から位置情報を付加します。(P.277)位置情報を登録すると「位置情報あり」が表示されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>郵便番号を半角数字7桁以内で入力します。</td></tr>
<tr><td></td><td>住所を全角64文字、半角128文字以内で入力します。</td></tr>
<tr><td></td><td>誕生日を1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。</td></tr>
</table>

5 ▶ を押し、設定画面の各項目を登録する

<table>
<tr><th>アイコン</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td></td><td>テレビ電話通話時に送信する指定代替画像を、データBOXのマイピクチャ /キャラ電から選択します。
• 設定可能なファイルは次のとおりです。
<table><tr><th>カテゴリ</th><th>ファイル形式</th><th>ファイルサイズ</th><th>画像サイズ</th></tr><tr><td>マイピクチャ</td><td>GIF/JPEG</td><td>50Kバイト以下</td><td>[QCIF(176×144)]以下</td></tr><tr><td>キャラ電</td><td>－</td><td>100Kバイト以下</td><td>－</td></tr></table>• 代替画像を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。送信画像設定(P.76)で設定した代替画像または自分の画像が送信されます。</td></tr>
<tr><td></td><td>音声電話/テレビ電話の着信時、メールの受信直後に鳴動する指定電話着信音/指定メール着信完了音をデータBOXのミュージック/ｉモーション/メロディから選択します。
• 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[ｉモーション]から選択できます。
<table><tr><th>カテゴリ</th><th>ファイル形式</th><th>ファイルサイズ</th><th>画像サイズ</th></tr><tr><td>ミュージック※</td><td>AAC-LC/
HE-AAC</td><td>5Mバイト以下</td><td>－</td></tr><tr><td>ｉモーション※</td><td>MP4</td><td>10Mバイト以下</td><td>[VGA(640×480)]以下</td></tr><tr><td>メロディ</td><td>SMF/MFi</td><td>350Kバイト以下</td><td>－</td></tr></table>※ ファイルによっては設定できないことがあります。
[ミュージック]から再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合、設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体が着信音に設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が着信音に設定されます。
• 着信音を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。
• 着信音を鳴らさない場合は、[サイレント]を選択します。
• 着信音を確認する場合は、着信音にカーソルをあわせ、ch (聞く/再生)を押します。</td></tr>
<tr><td></td><td>音声電話/テレビ電話の着信時、メールの受信直後に点滅する指定電話ランプ色/指定メールランプ色を選択します。ランプ色にカーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。
• ランプ色を指定しない場合は、[指定なし]を選択します。</td></tr>
</table>

6 i (完了)を押す

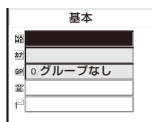
入力した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

- 指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色に[指定なし]を設定した場合、グループ設定に登録されている発着信画像、着信音、ランプ色がそれぞれ動作します。グループ設定に登録されていない場合は、着信設定(P.108)やアニメーション設定(P.120)に従います。
- 指定メール着信完了音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、メールの受信完了時にｉモーションの画像が表示されます。
- 指定発着信画像にｉモーションを設定した場合、音声電話/テレビ電話発信時にはアニメーション設定の画像が表示されます。
- 指定着信音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、指定発着信画像にｉモーションを設定した場合、設定内容が変更されることがあります。

FOMAカード電話帳に登録する 〈FOMAカード電話帳登録〉

FOMAカード電話帳には50件のデータを登録できます。

1 **待受画面で ▼ (📖)を押し、 i (新規)を押す**

2 **[FOMAカード(UIM)]を選び ☰ を押す**

FOMA端末電話帳に登録する場合

[本体メモリ]を選択します。(P.95)

3 **各項目を登録する**

アイコン	設定内容
NAME	名前を全角10文字、半角21文字以内で入力します。全角と半角が混在している場合や半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
カナ	名前を入力すると、フリガナが自動的に入力されます。 • 修正する場合は、全角カナ12文字、半角英数字25文字以内で入力します。全角と半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
GP	グループを選択します。名前/電話番号/メールアドレスを入力すると、グループ[0グループなし]が自動的に入力されます。
☎	電話番号を26桁(FOMAカードの種類によっては20桁)以内で入力します。
✉	メールアドレスを半角の英数字・記号50文字以内で入力します。記号を入力した場合は、最大入力文字数まで登録できないことがあります。 • メールの送信先がｉモード端末(mova端末含む)のときは、メールアドレスの@以降を省略することもできます。

4 **i (完了)を押す**

入力した内容がFOMAカード電話帳に登録されます。

● FOMA端末電話帳からコピーしたり、赤外線通信・ｉC通信などで受信したデータは、正しく登録できないことがあります。

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

履歴に記録されている電話番号をそのまま電話帳に登録できます。

例：着信履歴をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 待受画面で ◀ (履歴)を押す

リダイヤルを登録する場合
　待受画面で ▶ (履歴)を押します。

2 着信履歴を選び i (登録)を押す

登録先選択画面が表示されます。

3 [通常電話帳]を選び ▤ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

プッシュトーク電話帳に登録する場合
　[プッシュトーク電話帳]→プッシュトークの電話番号を選択します。

4 [新規登録]を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[追加登録]を選択した場合
　電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

5 [本体メモリ]を選び ▤ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合
　[FOMAカード(UIM)]を選択します。

6 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3〜5)またはFOMAカード電話帳登録(P.98操作3)と同じ操作を行ってください。

7 i (完了)を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

グループを登録する 〈グループ設定〉

FOMA端末電話帳のグループは20件、FOMAカード電話帳のグループは10件登録できます。

- FOMAカード電話帳の[0グループなし]は変更できません。

例：FOMA端末電話帳のグループを登録する場合

1 電話帳で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [グループ設定]を選び ☰ を押す

グループ設定
0グループなし
友達
会社
3グループ3
4グループ4
5グループ5
6グループ6
7グループ7
8グループ8
9グループ9
10グループ10
11グループ11

グループ番号を表示する場合

グループアイコンが登録されている場合は、グループ番号の代わりにグループアイコンが表示されます。# を押すと、グループアイコンとグループ番号の表示を一時的に切り替えることができます。

グループを並べ替える場合

i（並べ替え）を押し、グループを選択し、移動先にカーソルをあわせて ☰（移動先）を押し、i（完了）を押します。

3 グループを選び ☰ を押す

4 [NAME]にグループ名を入力する

全角10文字、半角21文字以内で入力します。FOMAカード電話帳で全角と半角が混在している場合や半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。

- FOMAカード電話帳の場合は操作7に進みます。

5 [☺]にグループアイコンを選択する

6 ▶ を押し、指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色を登録する

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3～5)の指定発着信画像、指定電話着信音/指定メール着信完了音、指定電話ランプ色/指定メールランプ色の登録と同じ操作を行ってください。

7 i（完了）を押す

グループが設定されます。

● 電話帳登録とグループ設定の指定発着信画像、指定着信音、指定ランプ色を同時に設定している場合は、電話帳登録の設定が優先されます。

電話帳

電話帳を表示する

電話帳からさまざまな操作を行うことができます。

例：FOMA端末電話帳を表示する場合

1 待受画面で ▼（📖）を押す

- 2in1のモードがデュアルモードの場合、電話帳2in1設定を次のアイコンで確認できます。

A	Aモード	B	Bモード	A/B	共通

表示する電話帳を切り替える場合

機能メニュー［FOMAカードへ切替］/［本体へ切替］を選択します。FOMAカード電話帳には「 」が表示されます。

表示形式を切り替える場合

ch（表示切替）を押し、［あかさたな順］/［グループ順］/［メモリ番号順］/［電話番号順］を選択します。

電話帳のデータをメールに添付する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー［メール添付］を選択します。

電話をかける場合

データにカーソルをあわせ、 を押します。

2 データを選び ▤ を押す

テレビ電話をかける場合

電話番号にカーソルをあわせ、ch（テレビ電話）を押します。

プッシュトークを発信する場合

電話番号にカーソルをあわせ、 を押します。

メールを送信する場合

メールアドレスにカーソルをあわせ、▤（メール）を押します。

発着信画像を確認する場合

▶を押し、発着信画像にカーソルをあわせ、▤（見る）を押します。

位置情報を利用する場合

▶を押し、［ 位置情報あり］にカーソルをあわせ、▤を押します。

位置情報の詳細を表示する場合

▶を押し、［ 位置情報あり］にカーソルをあわせ、ch（詳細）を押します。

指定代替画像を確認する場合

◀を押し、指定代替画像にカーソルをあわせ、▤（見る）を押します。

着信音を確認する場合

◀を押し、着信音にカーソルをあわせ、▤（聞く）を押します。

着信ランプを確認する場合

◀を押し、着信ランプにカーソルをあわせ、▤（確認）を押します。

画像表示を切り替える場合

＃を押すと、画像の表示/非表示を一時的に切り替えることができます。

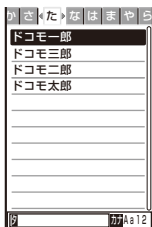
● 2in1のモードがデュアルモードのときは、発信時のオプション発信画面で発信番号を選択して電話をかけることができます。（P.60）

電話帳を検索する 〈電話帳検索〉

電話帳でフリガナやメモリ番号、電話番号を入力して、目的のデータを直接探すことができます。

例：表示形式があいうえお順の場合

1 待受画面で ▼ （📖）を押す

2 フリガナを入力する

1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナのデータにカーソルが移動します。

表示形式がグループ順の場合
フリガナを入力します。1文字ずつ入力するたびに、グループ内の最も近いフリガナのデータにカーソルが移動します。

表示形式がメモリ番号順の場合
メモリ番号を入力します。1文字ずつ入力するたびに、最も近いメモリ番号のデータにカーソルが移動します。

表示形式が電話番号順の場合
電話番号を入力します。1文字ずつ入力するたびに、最も近い電話番号のデータにカーソルが移動します。

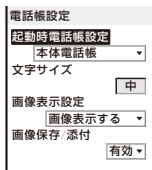
電話帳の表示を設定する 〈電話帳設定〉

電話帳起動時に表示する電話帳の種類、文字サイズ、電話帳1件表示時の画像の有無などを設定できます。

1 電話帳で ✉ （機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳設定]を選び ☰ を押す

電話帳設定
起動時電話帳設定
本体電話帳
文字サイズ
中
画像表示設定
画像表示する
画像保存/添付
有効

[起動時電話帳設定]：電話帳を呼び出したときに表示する電話帳を選択します。

[文字サイズ]：電話帳の文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]から選択します。

[画像表示設定]：電話帳を1件表示するときに指定発着信画像に設定した画像を表示するかどうかを選択します。

[画像保存/添付]：microSDメモリーカードに電話帳のデータを保存するときや、メールに添付するときに、指定発着信画像に設定した画像を保存するかどうかを選択します。

3 [起動時電話帳設定]に[本体電話帳]/[FOMAカード電話帳]を選択する

4 [画像表示設定]に[画像表示する]/[画像表示しない]を選択する

5 [画像保存/添付]に[有効]/[無効]を選択する

[有効]：画像を保存します。

[無効]：画像を保存しません。

電話帳設定が設定されます。

電話帳を修正する 〈電話帳修正〉

1 電話帳でデータを選び [決定] を押す

2 [i] (修正)を押す

電話帳編集画面が表示されます。

3 各項目を修正する

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3~5)またはFOMAカード電話帳登録(P.98操作3)と同じ操作を行ってください。

4 [i] (完了)を押す

修正した内容が電話帳に登録されます。

電話帳を削除する 〈電話帳削除〉

電話帳のデータは3とおりの方法で削除できます。

- 電話番号順に表示設定している場合、[1件削除]および[選択削除]は選択できません。

例:1件ずつ削除する場合

1 待受画面で [▼] (📖)を押す

か さ た な は ま や ら
ドコモ一郎
ドコモ三郎
ドコモ二郎
ドコモ太郎

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、データを複数選択して [i] (完了)を押し、[はい]を選択します。

- データ選択画面で1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナまたはメモリ番号のデータにカーソルが移動します。

電話帳をすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 データを選び [✉] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び [決定] を押す

選択したデータが削除されます。

● 削除するデータがプッシュトーク電話帳に登録されている場合は、プッシュトーク電話帳からも削除されます。FOMA端末電話帳の全件削除を行うと、プッシュトーク電話帳のグループ設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

電話帳の登録状況を確認する 〈登録件数確認〉

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳に登録されているデータの件数およびシークレット登録されているデータの件数を確認できます。

1 電話帳で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [登録件数確認]を選び ☰ を押す

登録件数確認	
登録メモリ	450
シークレット登録	5
FOMAｶｰﾄﾞ 登録ﾒﾓﾘ	20

[登録メモリ]：FOMA端末電話帳に登録されているデータの件数(シークレット登録件数を含む)

[シークレット登録]：FOMA端末電話帳にシークレット登録されているデータの件数(シークレット表示を[ON]に設定しているときのみ表示されます)

[FOMAカード登録メモリ]：FOMAカード電話帳に登録されているデータの件数

少ないボタン操作で電話をかける 〈ツータッチダイヤル〉

メモリ番号000～009に登録されている相手には、簡単に電話をかけることができます。よくかける電話番号は、メモリ番号の000～009に登録しておくと便利です。

- シークレット表示を[OFF]に設定しているとき、シークレット登録されている電話番号へは、ツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。

例：メモリ番号001で登録されている相手に電話をかける場合

1 待受画面でメモリ番号の下1桁(0～9)を入力する

メモリ番号に登録されているデータを確認する場合

メモリ番号(1桁または2桁)を入力し、▲ または ▼ を押します。入力したメモリ番号の一覧が表示されます。

2 ☎ を押す

約5秒経過すると、メモリ番号001に登録されている相手の1件目の電話番号に電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

ch (テレビ電話)を押します。

メール を送信する場合

✉ (メール)を押します。

SMSを送信する場合

✉ (メール)を1秒以上押します。

- メモリ番号010～099で登録されている相手へは、メモリ番号の下2桁(10～99)を入力して電話をかけたりメール/SMSを送信したりすることができます。

電話帳お預かりセンターに保存（復元・更新）する 〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスを利用してFOMA端末電話帳をお預かりセンターに保存できます。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、更新/復元できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳は保存できません。

電話帳を保存/更新/復元する

1 メニューで[LifeKit]→[電話帳お預かりサービス]→[お預かりセンターに接続]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

電話帳からお預かりセンターに接続する場合

電話帳で機能メニュー[お預かりセンター接続]を選択します。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

お預かりセンター接続確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び を押す

お預かりセンターに接続され、データの更新が実行されます。更新が完了すると更新結果画面が表示されます。

● 他の機能を起動している場合、電話帳の自動更新に失敗することがあります。この場合、待受画面に「 」（電話帳更新失敗）が表示されます。

電話帳の画像を送信するかどうかを設定する

電話帳に登録している指定発着信画像（JPEG画像/GIF画像）をお預かりセンターに送信するかどうかを設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[電話帳お預かりサービス]→[お預かりサービス設定]を選び を押す

お預かりサービス設定画面が表示されます。

2 [電話帳画像送信設定]に[送信する]/[送信しない]を選択する

電話帳画像送信設定が設定されます。

通信履歴を表示する

お預かりセンターとの通信履歴を30件まで記録できます。

- 通信履歴が30件を超えると、古い履歴から順番に上書きされます。

1 メニューで[LifeKit]→[電話帳お預かりサービス]→[通信履歴表示]を選び を押す

通信履歴表示画面が表示されます。

2 履歴を選び を押す

更新結果画面が表示されます。

音/画面/照明設定

■ 音の設定

■ 画面/照明の設定

電話やメール着信時の音/画像/ランプなどを設定する 〈着信設定〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したときやメールを受信したときなど着信の種類ごとに、着信音、着信音量、着信画像、バイブレータ、着信ランプの色を設定できます。

例：メール着信を設定する場合

1 **メニューで[設定]→[発着信通話]→[着信設定]を選び ▤ を押す**

2 **[メール着信]を選び ▤ を押す**

テレビ電話着信の場合

[電話着信に連動]に[ON]を選択すると、電話着信の設定に従います。

メッセージR着信/メッセージF着信の場合

[メール着信に連動]に[ON]を選択すると、メール着信の設定に従います。

3 **[着信中画像]にデータBOXから画像を選択する**

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

電話着信・テレビ電話着信

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	－
iモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下

メール着信・メッセージR着信・メッセージF着信

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	－

※ iモーションによっては設定できないことがあります。

着信画像を確認する場合

着信画像にカーソルをあわせ、ch（見る/再生）を押します。

4 [着信完了画像]にデータBOXから画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	–

着信完了画像を確認する場合

着信完了画像にカーソルをあわせ、ch(見る)を押します。

5 [着信完了音]にデータBOXのミュージック/ｉモーション/メロディから着信音を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[ｉモーション]から選択できます。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
ミュージック※	AAC-LC/HE-AAC	5Mバイト以下	–
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下
メロディ	SMF/MFi	350Kバイト以下	–

※ファイルによっては設定できないことがあります。映像のみのｉモーションは設定できません。プッシュトーク着信は音声のみのｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)のみ設定できます。

[ミュージック]から再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合

設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体が着信音に設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が着信音に設定されます。

着信音を鳴らさない場合

[サイレント]を選択します。

着信音を確認する場合

着信音にカーソルをあわせ、ch(聞く/再生)を押します。

6 [着信完了音量]に着信音の音量を設定する

[OFF]、[1～6]から選択します。

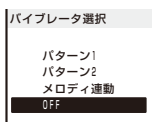
- 電話着信・テレビ電話着信・プッシュトーク着信の場合、[STEP DOWN]、[STEP UP]を設定できます。[STEP DOWN]は約6秒ごとに音が小さくなり、[STEP UP]は約6秒ごとに音が大きくなります。

[OFF]に設定する場合

レベル1で▼を押します。電話着信を[OFF]に設定した場合は「」、メール着信を[OFF]に設定した場合は「」、電話着信とメール着信の両方を[OFF]に設定した場合は「」が待受画面に表示されます。

音/画面/照明設定

次ページにつづく

7 [バイブレータ]に振動パターンを設定する

[パターン1] ：振動/停止を繰り返します。
[パターン2] ：長めの振動/停止を繰り返します。
[メロディ連動] ：メロディのバイブレータパターンにあわせて振動します。着信音を[サイレント]に設定している場合やバイブレータパターンが指定されていないメロディの場合は、[パターン1]で振動します。
[OFF] ：バイブレータを設定しません。

電話着信のバイブレータを設定した場合は「 」、メール着信のバイブレータを設定した場合は「 」、電話着信とメール着信の両方のバイブレータを設定した場合は「 」が待受画面に表示されます。

振動を確認する場合

振動パターンにカーソルをあわせ、 (確認)を押します。

8 [ランプ色]にランプ色を選択する

12色のランプ色、[C13:ALL](12色が順番に点滅)から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

9 [鳴動時間設定]を選び を押す

- 鳴動時間設定は、メール着信・メッセージR着信・メッセージF着信に設定できます。

10 [設定]に着信音の[ON]/[OFF]を選択する

11 [鳴動時間]に着信音を鳴らす時間を入力する

01〜30秒の範囲で入力します。

12 (完了)を押す

鳴動時間設定が設定されます。

■プリインストールメロディ一覧

曲　名
着信音1〜5
Symphony ※
Tsuki ※
Pavane
Raindrop ※
Forest ※

曲　名
Cuckoo Clock ※
School Chime
Ecosound ※
Elevator
Giant Gong
Whistle ※

曲　名
Pilsner
Brilliance ※
Typewriter ※
Vibe x Vibe
Get Many Bananas!

※ 3Dサウンド対応(P.111)

■プリインストールミュージック一覧

曲　名
Active
Cat
Natural Life
Stylish
What Can U Do

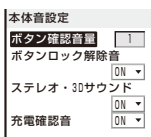
- 音声電話/テレビ電話/メールの着信音、着信画像、着信ランプ色が複数設定されている場合、優先順位は次のとおりです。
  1. 電話番号設定の着信音(マルチナンバーの付加番号に電話がかかってきた場合)
  2. 電話帳登録の指定着信音、指定発着信画像、指定ランプ色
  3. グループ設定の指定着信音、指定発着信画像、指定ランプ色
  4. 2in1のBナンバー着信設定の着信音
  5. 着信設定の着信音、着信画像、ランプ色

  ただし、着信音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、着信画像にｉモーションを設定した場合、優先順位が異なることがあります。
- 着信音量は着信中も調節できます。どちらで調節しても最後に設定した音量になります。
- 着信音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、着信画像にｉモーションを設定した場合、設定内容が変更されることがあります。

FOMA端末の音を設定する 〈本体音設定〉

ボタンロック解除時や充電を開始/完了したときの効果音のON/OFF、3Dサウンドをステレオスピーカーから再生するかどうか、ボタン確認音の音量を設定できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体音設定]を選び [メニュー] を押す

本体音設定
ボタン確認音量 1
ボタンロック解除音 ON
ステレオ・3Dサウンド ON
充電確認音 ON

[ボタン確認音量]：ボタンを押したときに鳴るボタン確認音の音量を設定します。

[ボタンロック解除音]：ボタンロックを解除するときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。

[ステレオ・3Dサウンド]：3Dサウンドを3次元の立体音響でステレオスピーカーから再生するかどうかを設定します。

[充電確認音]：充電開始時/完了時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

2 [ボタン確認音量]にボタン確認音の音量を設定する

[OFF]、[1〜2]から選択します。

3 [ボタンロック解除音]に[ON]/[OFF]を選択する

4 [ステレオ・3Dサウンド]に[ON]/[OFF]を選択する

5 [充電確認音]に[ON]/[OFF]を選択する

FOMA端末の音が設定されます。

- ボタンロック解除音、充電確認音は、他の音が鳴っている場合など鳴らないことがあります。
- 3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー(または平型ステレオイヤホンセット(別売))を使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音を臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。本機能は、FOMA端末を約40cm(個人差があります)離し、正面になるように持ったときに効果が現れます。左右にずらしたり、距離が適切でない場合は、効果が薄れてしまいますのでご注意ください。立体感の感じかたには個人差があります。違和感を感じる場合は、ステレオ・3Dサウンドを[OFF]に設定してください。

相手の声の音量を調節する 〈受話音量〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトーク中の相手の声の大きさをレベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階に調節できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話設定]→[受話音量]を選び ▤ を押す

受話音量画面が表示されます。

2 ▲ ▼ で音量を調節し、▤ (OK)を押す

[1～6]から選択します。
受話音量が設定されます。

● 通話中に ▲ ▼ を押しても、音量を調節できます。どちらで調節しても、最後に設定した音量になります。

Flash再生時の音量を調節する 〈効果音設定〉

Flash画像を再生したときの音の大きさをOFF（消音）、レベル1（最小）～レベル6（最大）の7段階に調節できます。

1 ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[効果音設定]を選び ▤ を押す

2 効果音の音量を設定する

[OFF]、[1～6]から選択します。
Flash再生時の音量が設定されます。

● Flash画像(P.189)再生中に機能メニュー[効果音設定]を選択しても、音量を調節できます。
● Flash画像によっては、効果音が鳴らないものもあります。

ｉアプリ実行中の音量を調節する 〈ソフト音量設定〉

ｉアプリ実行中の音の大きさをOFF（消音）、レベル1（最小）～レベル6（最大）の7段階に調節できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[ソフト音量設定]を選び ▤ を押す

ソフト音量設定画面が表示されます。

2 ソフトの音量を設定する

[OFF]、[1～6]から選択します。
ｉアプリ実行中の音量が設定されます。

ｉアプリの音を優先するかどうかを設定する〈ｉアプリ再生音優先設定〉

ミュージックプレーヤーとｉアプリを同時に起動しているときに、ｉアプリの音を優先するかどうかを設定できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[ｉアプリ再生音優先設定]を選び ▭ を押す

2 [優先する]/[優先しない]を選び ▭ を押す

[優先する]　：ｉアプリの音が聞こえます。
[優先しない]：ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルの音が聞こえます。

- ｉアプリ再生音優先設定を[優先する]に設定していても、ｉアプリの音が鳴らない場合があります。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルの音が出ていない場合、[優先しない]に設定してもｉアプリの音が鳴ります。

GPS機能利用時の音/ランプを設定する

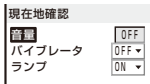
現在地確認、現在地通知、位置情報を通知･確認したときに鳴る音の大きさ、バイブレータ、着信ランプの動作を設定できます。

例：現在地確認の音/ランプを設定する場合

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[音/ランプ設定]を選び ▭ を押す

音/ランプ設定
現在地確認
現在地通知
位置提供/許可
位置提供/確認

[現在地確認]：現在地確認を行ったときの動作を設定します。
[現在地通知]：現在地通知を行ったときの動作を設定します。
[位置提供/許可]：サービスごとの利用設定が「許可」のときに、位置情報の提供を要求されたときの動作を設定します。
[位置提供/確認]：サービスごとの利用設定が「毎回確認」のときに、位置情報の提供を要求されたときの動作を設定します。

2 [現在地確認]を選び ▭ を押す

3 [音量]に音の音量を設定する

[OFF]、[1～6]から選択します。

[OFF]に設定する場合
　レベル1で ▼ を押します。

4 [バイブレータ]にバイブレータの[ON]/[OFF]を選択する

5 [ランプ]に着信ランプの[ON]/[OFF]を選択する

- 現在地確認、現在地通知に設定できます。

6 ｉ（完了）を押す

GPS機能利用時の音/ランプが設定されます。

通話が切れそうなときにアラームで知らせる 〈音声通話品質アラーム〉

音声電話の通話中に電波の状態が悪くて通話が切れてしまいそうなとき、アラーム音を鳴らして事前にお知らせすることができます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[通話品質]→[音声通話品質アラーム]を選び ▤ を押す

[高音] ：アラーム音が高音で鳴ります。
[低音] ：アラーム音が低音で鳴ります。
[OFF] ：アラーム音は鳴りません。

2 アラーム音の種類を選び ▤ を押す

音声通話品質アラームが設定されます。

● 急に電波状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

イヤホンだけから着信音を鳴らす 〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続した場合、着信音の鳴る場所を設定できます。着信音だけではなく、めざまし時計/スケジュールのアラーム音なども設定した場所から鳴ります。

- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音は[イヤホンのみ]に設定しても、約20秒経過するとイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[イヤホン設定]→[イヤホン切替設定]を選び ▤ を押す

[イヤホンのみ] ：イヤホンからのみ鳴ります。
[イヤホン＋スピーカー] ：イヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。

2 [イヤホンのみ]を選び ▤ を押す

イヤホンからのみ鳴るようになります。

呼び出し音を変える 〈メロディコール設定〉

電話をかけてきた相手に流す呼出音を、季節感のあるメロディや人気の楽曲などに変更できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[メロディコール設定]を選び ▤ を押す

サイト接続確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び ▤ を押す

メロディコールのサイトに接続されます。

3 各項目を設定する

- 設定方法については、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

● テレビ電話、プッシュトークから発信された場合は、メロディコールは流れません。

● メロディコール設定を選択すると、iモードサイトに接続され、パケット通信料がかかります。ただし、設定サイトのパケット通信料は無料です。

電話から鳴る音を消す 〈マナーモード〉

周囲の迷惑にならないよう、電話から出る音を消すマナーモードを設定できます。
マナーモードは3種類あります。マナーモード設定（P.116）で選択できます。

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。

1 待受画面で マナー を1秒以上押す

マナーモードが設定され、現在のマナーモードの種類に対応したアイコンが表示されます。

アイコン	種類
	マナーモード（♥はピンク）
	サイレントモード
	オリジナルマナーモード（♥は青）

マナーモードを解除する場合

待受画面で マナー を1秒以上押します。マナーモードが解除され、「 / / 」が消えます。

■各モードの動作一覧

	マナーモード	サイレントモード	オリジナルマナーモード	
			初期設定	設定範囲
バイブレータ(P.110)※1	各設定に従う([OFF]設定時はパターン1で振動)	OFF	OFF	パターン1/パターン2/メロディ連動/各設定に従う/OFF
電話着信音量(P.109)※2	OFF	OFF	SD(STEP DOWN)	SU(STEP UP)/SD(STEP DOWN)/6～1/OFF
メール着信完了音量(P.109)※3	OFF	OFF	4	6～1/OFF
アラーム音量(P.361、365)	OFF	OFF	4	6～1/OFF
ボタン確認音量(P.111)※4	OFF	OFF	1	2～1/OFF
ボタンロック解除音(P.111)	OFF	OFF	ON	ON/OFF
充電確認音(P.111)	OFF	OFF	ON	ON/OFF
電池警告音(P.42)※5	OFF+バイブレータ	OFF	ON※6	ON/OFF※6
ささやき通話(P.68)	ON	OFF	OFF	ON/OFF

※1 音声電話、テレビ電話、プッシュトーク、メール、メッセージR/F、めざまし時計、スケジュールアラームのバイブレータに共通の設定です。

※2 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信音量、通話料金上限値通知アラーム音に共通の設定です。

※3 メール、メッセージR/Fの着信完了音量に共通の設定です。

※4 電池残量確認音に共通の設定です。

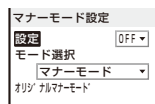
※5 通話中は設定にかかわらず、電池警告音が受話口から鳴ります。ただし、通話中保留の場合は画面表示のみで電池警告音は鳴りません。

※6 電池警告音が[ON]の場合、バイブレータの設定にかかわらず、バイブレータが振動します。

● 音声電話の通話中に マナー を押すと、ささやき通話が設定/解除されます。

マナーモードを変更する 〈マナーモード設定〉

マナーモードの種類を「マナーモード」、「サイレントモード」、「オリジナルマナーモード」の3種類から選択します。

1 待受画面で マナー を押す

2 [モード選択]にマナーモードの種類を選択する

3 i (完了)を押す

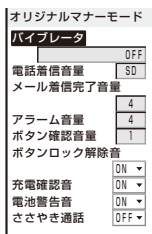
マナーモードの種類が変更されます。

音／画面／照明設定

オリジナルマナーモードを変更する

オリジナルマナーモードの動作をお好みにあわせて登録できます。設定できる項目の内容については、各モードの動作一覧(P.116)をご覧ください。

例：電池警告音を設定する場合

1 待受画面で マナー を押し、[オリジナルマナーモード]を選び ▤ を押す

2 [電池警告音]に[ON]/[OFF]を選択する

電池警告音の設定が変更されます。

待受画面の表示を変更する 〈待受画面設定〉

待受画面に表示する画像、画像の画質、カレンダー/時計の表示、ガイド表示の表示/非表示を設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[待受画面設定]を選び ▤ を押す

待受画面設定
待受画面
White Scrapbook
表示画質設定
Sharp
ｶﾚﾝﾀﾞｰ/時計表示設定
ソフトキー表示 OFF
ﾎﾞﾀﾝﾛｯｸ中ｶﾒﾗ起動
起動しない

[待受画面]：待受画面に表示する画像またはｉアプリのソフトを設定します。

[表示画質設定]：待受画面に表示する画像の画質を設定します。

[カレンダー/時計表示設定]：待受画面に表示するカレンダー/時計の種類、文字色、時計の表示形式と配置を設定します。

[ソフトキー表示]：待受画面にガイド表示を表示するかどうかを設定します。

[ボタンロック中カメラ起動]：ボタンロック設定中に、レンズカバーをスライドしてカメラを起動できるかどうかを設定します。

2 [待受画面]にデータBOXのマイピクチャ/ｉモーションから画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	500Kバイト以下	[1M(1280×960)]以下
	SWF	100Kバイト以下	–
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下

※ ｉモーションによっては設定できないことがあります。

JPEG画像を選択した場合

表示パターン選択画面が表示されます。[表示方向]に[縦]/[横]を選択し、[大きさ]に[等倍]/[画面サイズ]/[2倍]を選択して、ⓘ(完了)を押します。

次ページにつづく

GIF画像を選択した場合

表示パターン選択画面が表示されます。[大きさ]に[等倍] / [画面サイズ] / [2倍]を選択して、i(完了)を押します。

iアプリ待受画面を設定する場合

[iアプリ一覧]を選択し、iアプリソフト一覧からiアプリの待受画面対応ソフトを選択します。

待受ピクチャーギャラリーを設定する場合

[待受ピクチャーギャラリー]を選択します。(P.119)

まちうけ文庫を設定する場合

マイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の[世界遺産1]、[世界遺産2]、[四字熟語]、[魚へんの漢字]、[日本の首相]、[日本の温泉]、[歴史上の名言]、[恋の格言]から選択します。

画像を表示しない場合

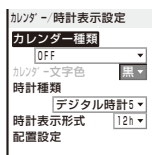
[設定なし]を選択します。

画像を確認する場合

画像にカーソルをあわせ、ch(見る/再生)を押します。

3 [表示画質設定]に表示画質を選択する

[Sharp] ： 映像の輪郭がくっきりした画質です。
[Normal] ： 自然さを重視した標準的な画質です。
[Dynamic] ： 映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな画質です。

4 [カレンダー/時計表示設定]を選び ☰ を押す

5 [カレンダー種類]にカレンダーの種類を選択する

[ライフタイムカレンダー(週)] ： 1週間のライフタイムカレンダーを表示します。
[ライフタイムカレンダー(月)] ： 1ヶ月のライフタイムカレンダーを表示します。
[カレンダー1ヶ月(小)] ： 1ヶ月(小)のカレンダーを表示します。
[カレンダー1ヶ月(大)] ： 1ヶ月(大)のカレンダーを表示します。
[カレンダー2ヶ月] ： 2ヶ月のカレンダーを表示します。
[OFF] ： カレンダーを表示しません。

6 [カレンダー文字色]にカレンダーの文字色を選択する

- 土曜日、休祝日の文字色は変わりません。

7 [時計種類]に時計の種類を選択する

[デジタル時計1～5]、[アナログ時計]、[ピクト時計]、[OFF]から選択します。

8 [時計表示形式]にディスプレイに表示する時計の表示形式を選択する

[12h] ： 12時間制で表示します。
[24h] ： 24時間制で表示します。

9 [配置設定]を選び ☰ を押す

配置選択画面が表示されます。
☰(切替)でカレンダー/時計を切り替え、▲▼◀▶で表示位置を選択します。

音/画面/照明設定

10 [i]（完了）を押す

カレンダー/時計の配置が設定されます。

11 [◀] を押し、[ソフトキー表示]に[ON]/[OFF]を選択する

ソフトキー表示が設定されます。

12 [ボタンロック中カメラ起動]に[起動しない]/[起動する]を選択する

[起動しない]：ボタンロック設定中は、レンズカバーをスライドしてもカメラを起動できません。

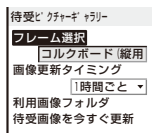
[起動する]：ボタンロック設定中に、レンズカバーをスライドしてカメラを起動できます。

- 待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面が設定されているときに、ｉチャネルのテロップを表示する設定に変更すると、待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、待受画面に設定されたｉモーションやｉアプリ待受画面は解除され、きせかえメニューの画像に変更されます。
- ｉチャネルのテロップを表示しているときに、待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面を設定すると、テロップを解除するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、テロップは表示されなくなります。待受画面の設定をｉモーションやｉアプリ待受画面以外に変更すると、テロップが自動的に流れるようになります。
- 待受画面にｉモーションを設定した場合、FOMA端末を開いたり、待受画面に戻ったり、待受画面で [CLR] を押すなどすると再生され、最初の1コマ目が待受画像として表示されます。再生中はカレンダーは表示されません。
- 待受画面にFlash画像やGIFアニメ、待受ピクチャーギャラリーを設定した場合、FOMA端末を開いたり、待受画面に戻ったり、待受画面で [CLR] を押すなどすると再生され、一定時間再生後に停止します。停止したときの画像が待受画像として表示されます。再開する場合は [CLR] を押してください(ただしｉチャネルのテロップ表示中は [CLR] を押しても再開されません)。待受画面に設定したFlash画像の効果音は鳴りません。
- まちうけ文庫の表示内容は、用例・解釈の一例を採用したものとなっています。

待受ピクチャーギャラリーを設定する

指定したフォルダ内の複数の画像を、フレームを用いて待受画面に自動表示します。画像は指定した周期またはFOMA端末の電源を入れたときに切り替わります。

- 待受ピクチャーギャラリーには、データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像を利用できます。

1 メニューで[イメージング]→[待受ピクチャーギャラリー]を選び [≡] を押す

2 [フレーム選択]に利用するフレームを選択する

[コルクボード(縦用)]、[スウィート(縦用)]、[バルーン(縦用)]、[ミュージアム(縦用)]、[タイル(縦用)]、[シンプル(縦用)]、[シングル(縦用)]、[ウィンドウ(横用)]、[マガジン(横用)]、[ランダムに表示]から選択します。

フレームを確認する場合

フレームにカーソルをあわせ、[i]（見る）を押します。

次ページにつづく

3 [画像更新タイミング]に画像を更新する周期を選択する

[30分ごと]、[1時間ごと]、[3時間ごと]、[6時間ごと]、[12時間ごと]、[1日ごと]から選択します。

4 [利用画像フォルダ]を選び [MENU] を押す

利用画像フォルダ選択画面が表示されます。

フォルダ指定を[設定しない]にする場合

フォルダ指定欄にカーソルをあわせ、[i](リセット)を押し、[はい]を選択します。

5 フォルダ指定欄にデータBOXのマイピクチャからフォルダを選択し、[◀] を押す

- フォルダは5個まで指定できます。

6 [待受画像を今すぐ更新]に[はい]/[いいえ]を選択する

7 [i](待受設定)を押す

待受画面に待受ピクチャーギャラリーが設定されます。

● 画像の更新は、待受ピクチャーギャラリーを待受画面に設定した時点からの経過時間ではなく、FOMA端末内部にあらかじめ設定された時刻を起点として画像更新タイミングで設定した周期で更新されます。

電話発信時/メール送信時の画像を設定する 〈アニメーション設定〉

音声電話やテレビ電話の発信時やメールの送信時などに表示される画像を設定できます。

例：電話をかけるときの画像を設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[アニメーション設定]を選び [MENU] を押す

アニメーション設定
電話発信画像
White Scrapbook
テレビ電話発信画像
White Scrapbook
メール送信画像
White Scrapbook
問合せ画像
White Scrapbook

[電話発信画像]：音声電話発信中の画像を設定します。
[テレビ電話発信画像]：テレビ電話発信中の画像を設定します。
[メール送信画像]：ｉモードメール、SMS送信中の画像を設定します。
[問合せ画像]：ｉモード問合せ、SMS問合せ中の画像を設定します。

2 [電話発信画像]にデータBOXのマイピクチャから画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	－

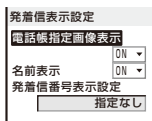
画像を確認する場合

画像にカーソルをあわせ、[ch](見る)を押します。

● 発着信表示設定の電話帳指定画像表示を[ON]に設定した場合、音声電話とテレビ電話の発信時は電話帳の指定発着信画像が表示されます。

発着信時の表示を設定する 〈発着信表示設定〉

電話帳に登録した指定発着信画像や名前を表示するかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信表示設定]を選び [メニュー] を押す

[電話帳指定画像表示]：電話帳の指定発着信画像を表示するかどうかを設定します。

[名前表示]：電話帳の名前を表示するかどうかを設定します。

[発着信番号表示設定]：音声電話、テレビ電話の発着信時の表示や履歴表示、受信/送信メール一覧の文字の色を設定します。

2 [電話帳指定画像表示]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：音声電話、テレビ電話の発着信時に電話帳の指定発着信画像で設定した画像を表示します。

[OFF]：音声電話、テレビ電話の発着信時はアニメーション設定/着信設定で設定した画像を表示します。

3 [名前表示]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信時、メール/SMSの受信直後に電話帳の名前を表示します。

[OFF]：音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信時、メール/SMSの受信直後に電話帳の名前を表示しません。

4 [発着信番号表示設定]に表示する文字の色を選択する

[濃]：音声電話、テレビ電話の発着信時の表示や履歴表示、受信/送信メール一覧の文字を濃い色にします。

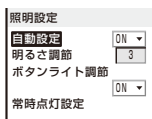
[淡]：音声電話、テレビ電話の発着信時の表示や履歴表示、受信/送信メール一覧の文字を淡い色にします。

[指定なし]：文字の色を指定しません。

- 2in1がONの場合は、Aナンバー・Aアドレスの情報が発着信番号表示設定で設定した文字色で表示されます。Bナンバー・Bアドレスの情報を色分けして表示する場合は、2in1設定の発着信番号設定で設定できます。（P.400）

ディスプレイとボタンの照明を設定する 〈照明設定〉

ディスプレイの明るさやボタンの照明のON/OFF、ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[照明設定]を選び [メニュー] を押す

[自動設定]：ディスプレイの明るさとボタンの照明のON/OFFを、周囲の明るさにあわせて明るさセンサーで自動調節するかどうかを設定します。

[明るさ調節]：ディスプレイの照明の明るさを設定します。

[ボタンライト調節]：ボタンの照明を点灯させるかどうかを設定します。

[常時点灯設定]：充電中や撮影中などにディスプレイの照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

2 [自動設定]に自動調節の[ON]/[OFF]を選択する

3 [明るさ調節]にディスプレイの照明の明るさを設定する

[1〜5]から選択します。

お買い上げ時の明るさに戻す場合

(リセット)を押します。

4 [ボタンライト調節]にボタンの照明の[ON]/[OFF]を選択する

5 [常時点灯設定]を選び を押す

常時点灯設定	
充電時	OFF
テレビ電話中	ON
インターネット中	OFF
静止画撮影中	ON
動画撮影中	ON
動画再生中	ON

[充電時]：充電時に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

[テレビ電話中]：テレビ電話中に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

[インターネット中]：サイトやインターネットホームページ表示中に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

[静止画撮影中]：静止画撮影中に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

[動画撮影中]：動画撮影中に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

[動画再生中]：動画再生中に照明を常時点灯させるかどうかを設定します。

6 各項目に常時点灯の[ON]/[OFF]を選択し、 を押す

- 常時点灯設定の[充電時]を[ON]に設定した場合、充電完了までに時間がかかることがあります。
- 自動設定を[ON]にすると、明るさ調節の設定値を基準として自動調節します。

画面表示の消費電力を節約する 〈省電力モード〉

一定時間操作を行わなかったとき、画面の表示を自動的にオフにして消費電力を節約します。画面表示オフになるまでの時間を設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[省電力モード]を選び を押す

2 省電力モードを起動するまでの時間を選び を押す

[1分]、[3分]、[5分]、[10分]、[15分]、[30分]から選択します。

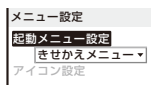
- ボタンロック設定中は、省電力モードの設定にかかわらず、何も操作しないで約15秒経過すると省電力モードになります。
- 常時点灯設定が[ON]に設定されている機能の操作中、音楽付スライドショー再生中、ソフトウェア更新(書換え)中、カメラ起動中は、省電力モードは起動しません。
- 電話の着信、めざまし時計/スケジュールアラームの起動などにより、省電力モードが解除されることがあります。

メニューの表示を変更する 〈メニュー設定〉

待受画面で MENU (MENU)を押したときに表示するメニューを切り替えたり、スタンダードメニュー画面の12個のアイコンの画像を設定したりできます。

例：ｉモードのアイコンを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[メニュー設定]を選び [≡] を押す

メニュー設定
起動メニュー設定
きせかえメニュー
アイコン設定

[起動メニュー設定]：待受画面で MENU（MENU）を押したときに表示するメニューを設定します。

[アイコン設定]：スタンダードメニュー画面に表示するアイコンを設定します。（P.33）

2 [起動メニュー設定]に表示するメニューを選択する

[きせかえメニュー]：きせかえメニューを表示します。

[スタンダードメニュー]：スタンダードメニューを表示します。

[マイセレクト]：マイセレクトのメニューを表示します。

3 [アイコン設定]を選び [≡] を押す

アイコン設定画面が表示されます。

- 起動メニュー設定が[スタンダードメニュー]のときのみ設定できます。

4 [ｉモード]にデータBOXのマイピクチャから画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受（480×864）]以下、GIFアニメは横480×縦288以下

- 画像サイズが60×80ドットを超える画像は、縮小表示されます。

画像を確認する場合

画像にカーソルをあわせ、ch（見る）を押します。

● アイコンにGIFアニメを設定した場合、1コマ目の画像が表示されます。

きせかえツールを利用する 〈きせかえ設定〉

きせかえツールを利用すると、きせかえメニュー、着信音、待受画面、アイコン、配色パターンなどを一括して変更できます。ｉモードサイトや「PlayNow by SO」などからダウンロードしたきせかえツールを使うこともできます。（P.305）

- きせかえツールで設定可能な項目は次のとおりです。

画面

- 待受画面
- 電話発信画像
- テレビ電話発信画像
- メール送信画像
- 問合せ画像
- 電話着信画像
- テレビ電話着信画像
- メール着信中画像
- メール着信完了画像
- メッセージR着信中画像
- メッセージR着信完了画像
- メッセージF着信中画像
- メッセージF着信完了画像
- 電池残量アイコン
- 電波受信レベルアイコン
- メニューアイコン
- カラーテーマ
- きせかえメニュー

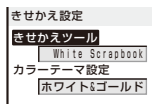
音

- 電話着信音
- テレビ電話着信音
- プッシュトーク着信音
- メール着信完了音
- メッセージR着信完了音
- メッセージF着信完了音
- めざまし時計アラーム音
- スケジュールアラーム音

- きせかえツールによっては、設定できない画面や音があります。

例：きせかえツールを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[きせかえ設定]を選び [MENU] を押す

きせかえ設定
きせかえツール
White Scrapbook
カラーテーマ設定
ホワイト&ゴールド

[きせかえツール] ：きせかえツールを設定します。
[カラーテーマ設定] ：背景色や配色パターンなどの色を一括で設定します。

2 [きせかえツール]にデータBOXのきせかえツールからデータを選択する

画像を確認する場合
画像にカーソルをあわせ、[ch]（見る）を押します。

カラーテーマを設定する場合
[カラーテーマ設定]にカラーテーマを選択します。

- 2in1利用時は、きせかえツールを設定しても次の項目は変更されません。
  - デュアルモードおよびBモードの待受画面
  - Bナンバーの電話着信音、電話発信画像、電話着信画像、テレビ電話着信音、テレビ電話着信画像、テレビ電話発信画像
  - Bアドレスのメール着信完了音、メール着信中画像、メール着信完了画像、メール送信画像
- お買い上げ時に登録されているきせかえツールを削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]
- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度にあわせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号が適用されないものがあります。
  この場合、本書での説明どおりに操作できないため、スタンダードメニューに切り替えるか、メニュー設定をリセットしてください。（P.35、124）
- きせかえツールに[ドコモダケ]を設定している場合は、[基本メニュー呼び出し]を選択すると、一時的に通常のメニュー構成に戻すことができます。
- きせかえツールによっては、バイリンガルを英語表示に設定していても、メニューが日本語で表示されることがあります。

メニュー画面をリセットする

きせかえメニューの画面をお買い上げ時の状態に戻します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[リセット]→[メニュー画面リセット]を選び [MENU] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で [5] を1秒以上押してもリセット画面が表示されます。[メニュー画面リセット]を選び [MENU] を押してください。

2 端末暗証番号を入力し、[MENU]（OK）を押す

メニュー画面リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び [MENU] を押す

メニュー画面がリセットされます。

画面/音設定をリセットする

きせかえツールで設定された音や画像を、一括してお買い上げ時の状態に戻します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[リセット]→[画面/音設定リセット]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で 5 を1秒以上押してもリセット画面が表示されます。[画面/音設定リセット]を選び ▤ を押してください。

2 端末暗証番号を入力し、▤ (OK)を押す

画面/音設定リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ▤ を押す

音や画面の設定がリセットされます。

きせかえメニューをカスタマイズする 〈きせかえメニュー〉

メニュー項目を入れ替える

きせかえメニューに登録されているメニュー項目を、別のメニュー項目に入れ替えることができます。

- きせかえメニューによっては、メニュー項目の入れ替えができない場合があります。
- ご利用になるきせかえメニューによって、入れ替えできるメニュー項目が異なります。また、入れ替えできないメニュー項目がある場合もあります。
- きせかえメニューによっては、操作履歴によりメニュー項目を自動的に入れ替えることがあります。
- あらかじめ起動メニュー設定を[きせかえメニュー]に設定しておいてください。(P.122)

1 きせかえメニュー画面でメニュー項目を選び ⓘ (項目入替)を押す

※ 画面はきせかえツールを[Manual Custom]に設定した場合のものです。

2 新しく入れるメニュー項目を選び ⓘ (登録)を押す

入れ替え確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ▤ を押す

選択したメニュー項目に入れ替わります。

きせかえメニューの操作履歴をリセットする

きせかえメニューによっては、各メニュー項目の使用頻度を操作履歴として記録して、メニュー項目を自動的に入れ替えるものがあります。操作履歴は削除することができます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[リセット]→[メニュー操作履歴リセット]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で 5 を1秒以上押してもリセット画面が表示されます。[メニュー操作履歴リセット]を選び ▤ を押してください。

2 端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す

操作履歴リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ▤ を押す

メニュー操作履歴がリセットされます。

● きせかえメニューの画面をお買い上げ時の状態に戻す場合は、P.124をご覧ください。

電話やメールがあったことを着信ランプで知らせる〈不在お知らせ〉

不在着信や未読メール/未読SMS/未読メッセージがあるときに、着信ランプを約5秒間隔で点滅してお知らせすることができます。不在着信を確認したり、メール/SMS/メッセージを表示すると着信ランプは消灯します。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[不在お知らせ]を選び ▤ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

不在お知らせが設定されます。

● 不在お知らせの着信ランプ色は、着信時のランプ色の設定に従います。

● 不在着信と未読メール/未読メッセージが同時にある場合、着信ランプの色は次の優先順位で点滅します。

1. 音声電話着信ランプ色
2. テレビ電話着信ランプ色
3. プッシュトーク着信ランプ色
4. メール着信ランプ色
5. メッセージR着信ランプ色
6. メッセージF着信ランプ色
7. 位置提供着信ランプ色

優先度の同じものが複数ある場合、最新のものの着信ランプ色が優先されます。

文字のサイズを変える 〈文字サイズ設定〉

一括で文字のサイズを変える

きせかえメニュー、電話帳、履歴、メール/SMS、サイトを表示するときの文字の大きさや、文字を入力するときの大きさを、一括で設定できます。

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[文字サイズ設定]→[文字サイズ一括設定]を選び [メニュー] を押す

[標準表示]：標準の文字サイズ(40ドット)に一括設定します。
[大きめ表示(特大)]：特大の文字サイズ(60ドット)に一括設定します。
[大きめ表示(超大)]：超大の文字サイズ(80ドット)に一括設定します。

- きせかえメニューの文字サイズを[標準表示]と[大きめ表示(特大)]/[大きめ表示(超大)]間で変更した場合は、変更前のメニュー画面とは異なるメニュー画面になります。

2 一括で設定する文字のサイズを選び [メニュー] を押す

文字サイズ一括設定が設定されます。

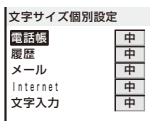
● バイリンガルを英語表示に設定していても、文字サイズを[大きめ表示(特大)]または[大きめ表示(超大)]に設定した場合、メニューは日本語で表示されます。

個別に文字のサイズを変える

電話帳、電話番号表示、履歴、メール/SMS、サイトを表示するときの文字の大きさや文字を入力するときの大きさを個別に設定できます。

例：電話帳の文字サイズを設定する場合

1 メニューで[設定]→[画面設定]→[文字サイズ設定]→[文字サイズ個別設定]を選び [メニュー] を押す

文字サイズ個別設定	
電話帳	中
履歴	中
メール	中
Internet	中
文字入力	中

[電話帳]：電話帳、電話番号表示の文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]から選択します。
[履歴]：履歴の文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]から選択します。
[メール]：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの内容表示画面の文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]、[小]から選択します。
[Internet]：サイト、フルブラウザ、画面メモの内容表示画面の文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]、[小]から選択します。
[文字入力]：文字を入力するときの文字サイズを[超大]、[特大]、[大]、[中]、[小]から選択します。

2 [電話帳]に文字サイズを選択する

電話帳の文字サイズが設定されます。

- メールの文字サイズを変更しても、絵文字Dのサイズは変更されません。
- メール一覧の文字サイズは、文字サイズ個別設定の[メール]に[超大]、[特大]を選んだ場合は[特大]で、[大]、[中]、[小]を選んだ場合は[中]で表示されます。
- メール/SMSの文字入力画面(宛先、題名、本文)での文字サイズは、文字サイズ個別設定の[文字入力]に[超大]、[特大]を選んだ場合は[特大]で、[大]を選んだ場合は[大]で、[中]、[小]を選んだ場合は[中]で表示されます。語句候補リストは、[小]を選んだ場合は[小]で表示されます。

画面を英語表示に切り替える 〈バイリンガル〉

メニューやメッセージなどの表示を、日本語と英語から選択できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[バイリンガル]を選び ☰ を押す

バイリンガル
Japanese
English

[Japanese]：日本語表示に設定します。
[English]　：英語表示に設定します。

英語表示に設定されている場合

[Settings]→[Management]→[Select language]を選択します。

2 [English]を選び ☰ を押す

英語表示に設定されます。

- FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他の人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他の人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他の人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

あんしん設定

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.132)

端末暗証番号入力画面が表示された場合は、4~8桁の端末暗証番号を入力し、[メニュー](OK)を押します。

• 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

端末暗証番号を間違えた場合

「暗証番号が違います」と表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードからは、［ｉMenu］→［料金＆お申込・設定］→［オプション設定］→［ｉモードパスワード変更］から変更できます。

PIN1コード/PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.133）
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご使用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご使用ください。

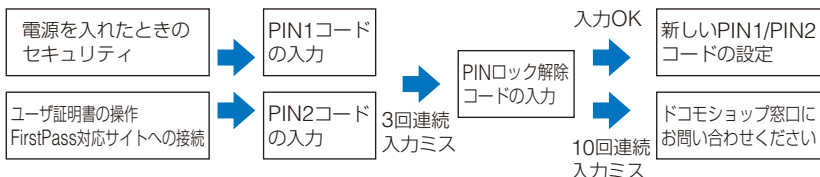
PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード/PIN2コードを入力し、（OK）を押します。

- 入力したPIN1コード/PIN2コードは「＊」で表示されます。
- PIN1コード/PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コード/PIN2コードがロックされて使えなくなります。（入力可能な残りの回数は「残り入力回数」として画面に表示されます）
  正しいPIN1コード/PIN2コードを入力すると、残り入力回数が3回に戻ります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。お客様ご自身で変更することはできません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

あんしん設定

端末暗証番号を変更する 〈暗証番号変更〉

1 メニューで[設定]→[管理]→[暗証番号変更]を選び [メニュー] を押す

2 現在の端末暗証番号を入力し、[メニュー](OK)を押す

入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力し、[メニュー](OK)を押す

4~8桁で入力します。

4 [はい]を選び [メニュー] を押す

新しい端末暗証番号に変更されます。

あんしん設定

PINコードを設定する 〈FOMAカード設定〉

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力するように設定します。PIN1コード、PIN2コードは変更できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[FOMAカード設定]を選び [メニュー] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、[メニュー](OK)を押す

3 [PIN1コード入力設定]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードの入力が必要です。
[OFF] ：FOMA端末の電源を入れたとき、PIN1コードの入力が不要です。

4 PIN1コードを入力し、[メニュー](OK)を押す

入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

- ご契約時、PIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コード入力設定が設定されます。

PIN1コード/PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コード入力設定を[ON]に設定してください。

例：PIN1コードを変更する場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[FOMAカード設定]を選び ▤ を押す

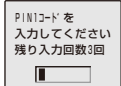
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、▤ (OK)を押す

FOMAカード設定画面が表示されます。

3 [PIN1コード変更]を選び ▤ を押す

PIN2コードを変更する場合

［PIN2コード変更］を選択します。

4 現在のPIN1コードを入力し、▤ (OK)を押す

入力したPIN1/PIN2コードは「*」で表示されます。

5 新しいPIN1コードを入力し、▤ (OK)を押す

4〜8桁で入力します。

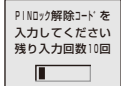
6 もう一度新しいPIN1コードを入力し、▤ (OK)を押す

新しいPIN1コードに変更されます。

PINロックを解除する

例：PIN1コードのロックを解除する場合

1 8桁のPINロック解除コードを入力し、▤ (OK)を押す

入力したPINロック解除コードは「*」で表示されます。

2 新しいPIN1コードを入力し、▤ (OK)を押す

4〜8桁で入力します。
入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

3 もう一度新しいPIN1コードを入力し、▤ (OK)を押す

PINロックが解除され、新しいPIN1コードに変更されます。

各種ロック機能について

FOMA端末には、他の人に無断で使用されたり、電話帳を見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的にあわせてご利用ください。

機　能	説　明
オールロック	他の人がFOMA端末を使用できないようにします。(P.135)
おまかせロック	FOMA端末を紛失した際など、他の人が不正に使用できないようにロックをかけます。(P.136)
セルフモード	音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信やメールの送受信、赤外線通信や赤外線リモコンなど通話/通信を必要とする機能をすべて利用できないようにします。(P.137)
パーソナルデータロック	電話帳やスケジュールなどの個人情報が他の人に閲覧・編集されるのを防ぐため、一部の機能を使用できないようにします。(P.137)
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを使って音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信できないようにします。(P.139)
ボタンロック	電源を入れたまま持ち歩くときなどに、ボタンが押されて誤動作しないようにします。(P.140)
履歴表示設定	リダイヤル、発信頻度、着信履歴を表示しないように設定できます。(P.141)
シークレット表示	シークレット登録した電話帳(プッシュトーク電話帳)・電話番号表示・スケジュールを表示する/しないようにします。(P.141)
メールセキュリティ設定	保存してあるメール、受信ランキングなどを表示しないように設定できます。(P.142)
データセキュリティ設定	データBOXのマイピクチャやｉモーションのデータを表示しないように設定できます。(P.142)
着信許可/拒否	音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したとき、特定の電話番号/グループだけを受ける/受けないようにします。(P.143)
非通知着信拒否	発信者番号を通知していない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを受けないようにします。(P.144)
着信呼出動作設定	電話帳に登録していない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信動作を行うまでの時間を設定します。(P.145)
登録外着信拒否	電話帳に登録していない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを受けないようにします。(P.146)
ICカードロック	他の人がICカード機能を使用できないようにします。(P.262)

他の人が使用できないようにする　〈オールロック〉

他の人がFOMA端末を使用できないようオールロックを設定します。オールロックを設定すると、電源ON/OFFと、音声電話/テレビ電話に応答する以外の操作ができなくなります。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[オールロック]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押す

オールロック設定確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ☰ を押す

オールロックが設定され、待受画面に「オールロック中」と表示されます。

オールロックを解除する場合

端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押します。

- オールロック設定中に緊急通報(110番、119番、118番)に発信するには、緊急通報番号を入力して ☎ を押します。緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。
- オールロック設定中に音声電話、テレビ電話を着信すると、お買い上げ時の着信音が動作します。着信画像はデータBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像となります。また、相手の名前は表示されず電話番号が表示されます。着もじを受信しても表示されませんが、オールロックを解除すると、着信履歴で着もじを確認できます。(P.57)
- オールロック設定中にテレビ電話に応答する場合は、代替画像は送信できません。通話中は、受話音量の調節、カメラ切替の操作のみ行えます。
- オールロック設定中にプッシュトークを着信すると、着信動作を行わず相手には話中音が流れます。着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると「 」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- オールロック設定中に位置提供の要求があると応答します。相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- オールロック設定中に、ｉモードメール、メッセージR/F、SMSの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面の表示や着信音の鳴動などの受信動作を行わず、受信をお知らせしません。
- オールロック設定中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
- オールロックを設定すると、待受画面は、お買い上げ時に登録されている画像の[Cyber-shot Logo]に変更されます。また、ｉチャネルのテロップは表示されません。
- オールロック設定中は、「 」(応答 X件)以外の通知情報アイコンが表示されません。オールロックを解除すると表示されます。

あんしん設定

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

※ おまかせロック中も位置提供可否設定をONにしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定/解除
0120-524-360 受付時間：24時間
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定/解除ができます。

- おまかせロックのご利用方法/料金など詳細については、『ご利用ガイドブック(手続き･アフターサービス編)』をご覧ください。

「おまかせロック中」と表示され、おまかせロックが設定されます。

- おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロック中は、音声電話/テレビ電話の着信に対する応答と電源ON/OFFの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能(ICカード機能を含む)を使用することができなくなります。
- おまかせロック中に受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 電源ON/OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

- 他の機能が起動中の場合でも、当該機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用することができます。公共モード(ドライブモード)設定中におまかせロックを設定した場合、音声電話/テレビ電話が着信できなくなります。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- おまかせロック中に音声電話、テレビ電話を着信すると、お買い上げ時の着信音が動作します。着信画像はデータBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像となります。また、相手の名前は表示されず電話番号が表示されます。着もじを受信しても表示されませんが、おまかせロックを解除すると、着信履歴で着もじを確認できます。(P.57)
- おまかせロック中にテレビ電話に応答する場合は、代替画像は送信できません。通話中は、受話音量の調節、カメラ切替の操作のみ行えます。
- おまかせロックを設定すると、待受画面は、お買い上げ時に登録されている画像の[Cyber-shot Logo]に変更されます。また、iチャネルのテロップは表示されません。

発信や着信ができないようにする 〈セルフモード〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信、メールの送受信など通話/通信を必要とする機能をすべて使えないようにします。赤外線通信、赤外線リモコン、ｉC通信も利用できません。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[セルフモード]を選び ☰ を押す

セルフモード設定確認画面が表示されます。

セルフモードを解除する場合

セルフモード解除確認画面で[はい]を選択します。

2 [はい]を選び ☰ を押す

セルフモードが設定され、「self」が表示されます。

- セルフモード設定中でも、緊急通報(110番、119番、118番)には発信できます。緊急通報を発信したあとはセルフモードが解除されます。
- セルフモード設定中に音声電話がかかってくると、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- セルフモード設定中にプッシュトークを着信すると、切断されます。複数の相手とのプッシュトーク通信の場合、相手のプッシュトーク通信中画面に「✖不参加」と表示されます。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする 〈パーソナルデータロック〉

電話帳やスケジュールなどの個人情報が他の人に閲覧・編集されるのを防ぐため、次の機能を使用できないようにします。

- ミュージックプレーヤー
- カメラ
- メール
- ｉアプリ
- 電話帳
- 伝言メモ
- 赤外線通信/ｉC通信
- GPS
- テキストメモ
- きせかえツール
- 着信音
- リセット
- ブログ投稿
- Music&Videoチャネル
- フルブラウザ
- ｉモード
- DCMX
- プッシュトーク電話帳
- 音声メモ
- トルカ
- めざまし時計
- データBOX
- アイコン設定
- 着信画像
- 着もじ
- 音楽付スライドショー
- ライフタイムカレンダー
- microSD
- ｉチャネル
- 電話番号表示
- 電話帳お預かりサービス
- バーコードリーダー
- ICカード一覧
- スケジュール
- 待受画面設定
- アニメーション設定
- 代替画像
- メロディコール設定
- 待受ピクチャーギャラリー

• 登録外着信拒否設定中は、パーソナルデータロックを設定できません。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[パーソナルデータロック]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

あんしん設定

次ページにつづく

2 端末暗証番号を入力し、▭（OK）を押す

3 [ON]を選び ▭ を押す

パーソナルデータロックが設定され、「」が表示されます。

解除する場合

[OFF]を選択します。パーソナルデータロックが解除され、「」が消えます。

● パーソナルデータロックとダイヤル発信制限を同時に設定している場合は、「」の代わりに「」が表示されます。
● きせかえデータまたはお買い上げ時にデータBOXの[プリインストール]フォルダに登録されているデータ以外を待受画面などの画像や代替画像、着信音に設定している場合、パーソナルデータロックを設定するとお買い上げ時の状態に戻ります。パーソナルデータロックを解除すると、元の状態に戻ります。
● パーソナルデータロック設定中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信すると、通常の着信音・着信画像（プッシュトークを除く）・着信ランプ色が動作します。また、相手の名前は表示されず電話番号が表示されます。着もじを受信しても表示されませんが、パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴で着もじを確認できます。（P.57）
● パーソナルデータロック設定中に位置提供の要求があると応答します。相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。
● パーソナルデータロック設定中に、ｉモードメール、メッセージR/F、SMSの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面の表示や着信音の鳴動などの受信動作を行わず、受信をお知らせしません。
● パーソナルデータロック設定中は、リダイヤル/着信履歴に、名前、電話番号種別アイコン、着もじが表示されません。
● パーソナルデータロック設定中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
● パーソナルデータロック設定中は着信許可/拒否の設定にかかわらずすべて着信します。
● パーソナルデータロック設定中はｉチャネルのテロップが表示されません。
● パーソナルデータロック設定中は、次の通知情報アイコンが表示されません。パーソナルデータロックを解除すると表示されます。
- 「」（新着メールあり）
- 「」（新着メッセージRあり）
- 「」（新規トルカあり）
- 「」（新規テレビ伝言メモあり）
- 「」（Music&Videoチャネル更新成功）
- 「」（電話帳更新失敗）
- 「」（パターンデータ更新成功）
- 「」（センターに✉あり）
- 「」（新着メッセージFあり）
- 「」（新規伝言メモあり）
- 「」（留守番メッセージ）
- 「」（Music&Videoチャネル更新失敗）
- 「」（待受解除　セキュリティエラー）
- 「」（パターンデータ更新推奨）

あんしん設定

ダイヤル発信を禁止する 〈ダイヤル発信制限〉

ダイヤルボタンを使って音声電話、テレビ電話、プッシュトークを発信できないようにします。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

- ダイヤル発信制限設定中は、次の操作ができなくなります。
  - ダイヤルボタンを使った発信(ツータッチダイヤル、平型スイッチ付イヤホンマイクからの発信は除く)、ｉモードメールからの[電話で返信]
  - ダイヤルボタンを使ったプッシュトーク通信中のメンバー追加
  - 電話帳に登録していない相手へのリダイヤル/発信頻度/着信履歴からの発信
  - 電話帳に登録していない相手へのｉモードメール/SMSの送信
  - Phone To(AV Phone To)、Mail To
  - 電話帳の新規登録/修正/削除
  - microSDメモリーカードの電話帳操作
  - ｉモードメールに添付されている電話帳選択
  - 現在地通知、現在地通知先登録/編集/削除
  - 電話帳データの赤外線送信

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[ダイヤル発信制限]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押す

3 [ON]を選び ☰ を押す

ダイヤル発信制限が設定され、「☎」が表示されます。

解除する場合

[OFF]を選択します。ダイヤル発信制限が解除され、「☎」が消えます。

- ダイヤル発信制限とパーソナルデータロックを同時に設定している場合は、「☎」の代わりに「☎」が表示されます。
- ダイヤル発信制限設定中でも、緊急通報(110番、119番、118番)には発信できます。

ボタンの誤動作を防止する 〈ボタンロック〉

電源を入れたまま持ち歩くときなどに、ボタンが押されて誤動作しないよう、ボタンをロックできます。

- ボタンロック設定中は、次の操作が有効です。

音声電話	発信中	中止( )
	着信中	応答( )、応答保留( )
	通話中※	終了( )
	応答保留中	応答( )、終了( )
	通話中の音声電話着信時	応答( )、終了( )
	伝言メモ応答/録音中	応答( )、終了( )
テレビ電話	発信中	中止( )
	着信中	自画像応答( )、代替画像応答( )、応答保留( )、着信音量調節(▲ ▼)
	通話中※	終了( )、カメラを切り替える(レンズカバー開閉)
	テレビ伝言メモ応答/録画中	自画像応答( )、代替画像応答( )、終了( )
プッシュトーク	発信中	中止( )
	着信中	応答(または)、終了( )
	通信中	発言権取得( )、終了( )
	通信中の音声電話着信時	応答( )、発言権取得( )、終了( )
メール/メッセージ受信中		着信音停止( )
エリアメール	ブザー音鳴動中/着信音鳴動中	停止(FOMA端末を閉じた状態で使用可能な MENU を除くいずれかのボタン)
位置提供中		測位中止(、CLR)
待受画面 i モーション再生中		停止( )
電池警告音鳴動中		停止( )
めざまし時計、スケジュールアラーム鳴動中		停止(FOMA端末を閉じた状態で使用可能な MENU を除くいずれかのボタン)

※ 通話中に表示されるメッセージは選択できることがあります。

1 ロックキー を「」の方向にスライドする

ボタン確認音が鳴り、ボタンがロックされ、「」が表示されます。

ロックを解除する場合

もう一度 をスライドします。ボタンロック解除音が鳴り、アイコンが消えます。

- ボタンロック設定中でも、ボタンロック中カメラ起動が[起動する]に設定されている場合、レンズカバーを開いてカメラを起動できます。(P.117) ただし、カメラを起動すると、カメラモードを終了してもボタンロックは解除されたままとなります。
- ボタンロック解除音は鳴らないように設定することもできます。(P.111)

FOMA端末の開閉にあわせてボタンをロックする 〈開閉時自動ロック/解除〉

FOMA端末を閉じるとボタンをロックし、開くとロックを解除するように設定します。お買い上げ時は[ON]に設定されています。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[開閉時自動ロック/解除]を選び ☰ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

開閉時自動ロック/解除が設定されます。

- 開閉時自動ロック/解除を[ON]に設定していても、カメラモード中にFOMA端末を閉じたときはボタンがロックされません。
  カメラモード中でもロックキーによるボタンロックは有効です。

リダイヤルや着信履歴の表示を設定する 〈履歴表示設定〉

リダイヤル、発信頻度、着信履歴を表示しないように設定できます。また、伝言メモを再生できなくなります。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

1 待受画面で ▶ (❐)を押し、✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [履歴設定]→[履歴表示設定]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押す

履歴表示設定画面が表示されます。

4 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

履歴表示設定が設定されます。

- 履歴表示設定を[OFF]に設定していても、リダイヤルまたは着信履歴のデータは記録されます。

シークレット登録されている情報を表示する 〈シークレット表示〉

シークレット登録した電話帳(プッシュトーク電話帳)・電話番号表示・スケジュールは、シークレット表示を[ON]に設定しないと表示されません。他の人に知られたくない電話帳・電話番号表示・スケジュールは、シークレット登録してください。

- シークレット表示を[ON]に設定しても、電源を切ると[OFF]になります。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[シークレット表示]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押す

3 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

シークレット表示が設定されます。
[ON]に設定すると、「🔑」が表示されます。

- 電話帳にシークレット登録している相手の場合、リダイヤル/着信履歴に名前・電話番号種別は表示されません。あとでシークレット登録を解除すると表示されます。

メールを無断で表示できないようにする 〈メールセキュリティ設定〉

保存してある受信メール/送信メール/保存メールをフォルダごとに表示しないように設定できます。また、受信ランキング、送信ランキング、受信振分条件、送信振分条件も表示できなくなります。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

1 メールメニューで[受信メール]/[送信メール]/[保存メール]を選び ▤ を押す

2 ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [メールセキュリティ設定]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力し、▤(OK)を押す

メールセキュリティ設定画面が表示されます。

5 ロックするフォルダを選び ▤ を押す

「✓」が表示されます。

すべてのフォルダをロックする場合

ch(全選択)を押します。

選択したフォルダを解除する場合

▤(解除)を押します。

6 i(完了)を押す

メールセキュリティ設定が設定され、「🔒」(黄)/「🔒」(青)/「🔒」が表示されます。(P.219)

データを無断で表示できないようにする 〈データセキュリティ設定〉

データBOXのマイピクチャやｉモーションのデータを、表示しないように設定できます。表示しないデータはフォルダ単位に選択できます。一時的に解除する場合は、端末暗証番号を入力してください。

- データセキュリティ設定したフォルダでも、待受ピクチャーギャラリーなどに設定した場合は、端末暗証番号を入力しなくてもフォルダ内の画像が表示されます。

データセキュリティ設定できるフォルダは次のとおりです。

カテゴリ	フォルダ
マイピクチャ	ｉモード、カメラ、データ交換、お客様が作成したフォルダ
ｉモーション	ｉモード、カメラ、データ交換、お客様が作成したフォルダ

1 データBOXでカテゴリを選び ▤ を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [データセキュリティ設定]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す

セキュリティフォルダ選択画面が表示されます。

5 ロックするフォルダを選び ▤ を押す

すべてのフォルダをロックする場合

ch（全選択）を押します。

選択したフォルダを解除する場合

▤（解除）を押します。

6 i（完了）を押す

セキュリティ設定変更確認画面が表示されます。

7 [はい]を選び ▤ を押す

データセキュリティ設定が設定されます。

指定した電話番号からの電話だけを受ける/受けない 〈着信許可/拒否〉

音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したとき、特定の電話番号だけを受ける/受けないように設定できます。着信許可/拒否は20件まで登録できます。（番号リスト）

また、FOMA端末電話帳の特定のグループに属した相手からの電話だけを受ける/受けないようにも設定できます。着信許可/拒否は3グループまで登録できます。（グループリスト）

相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。番号通知お願いサービスと非通知着信拒否もあわせて設定することをおすすめいたします。

- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- プッシュトーク着信で着信許可/拒否の対象となるのは発信者のみです。発信者以外のメンバーを着信許可/拒否に登録していても、着信許可/拒否は動作しません。また、着信許可/拒否をグループリストで設定した場合、発信者が指定したFOMA端末電話帳のグループに属していると着信許可/拒否されます。
- パーソナルデータロック設定中は、着信許可/拒否を設定できません。

例：指定した電話番号からの着信を[許可]/[拒否]する場合

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[着信許可/拒否]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す

着信許可/拒否	
設定	OFF ▼
番号リスト	0/20件
グループリスト	0/3件

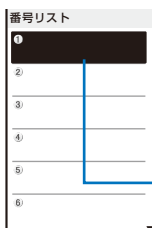
3 [設定]に[許可]/[拒否]を選択する

[許可]　：着信許可を設定します。指定した電話番号/グループ以外から着信すると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

[拒否]　：着信拒否を設定します。指定した電話番号/グループから着信すると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

[OFF]　：着信許可/拒否を解除します。

次ページにつづく

4 [番号リスト]を選び を押す

グループを指定する場合

[グループリスト]を選択し、グループ欄にグループを選択します。

電話番号やグループを削除する場合

欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべての電話番号やグループを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]→[はい]を選択します。

5 番号欄に電話番号を入力する

6 を押す

番号リストが登録され、着信許可/拒否画面に戻ります。

7 (完了)を押す

指定した電話番号の着信許可/拒否が設定されます。

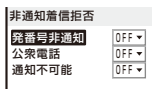
発信者番号のわからない電話を受けない 〈非通知着信拒否〉

発信者番号を通知していない音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があった場合、通知されない理由(発信者番号非通知理由)も同時に通知されます。発信者番号非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 非通知着信拒否を[ON]に設定しているときに、発信者番号のわからない電話がかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[非通知着信拒否]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

3 非通知理由ごとに非通知着信拒否の[ON]/[OFF]を選択する

非通知着信拒否が設定されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする 〈着信呼出動作設定〉

電話帳に登録していない相手から音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したときに、着信音、着信ランプ、バイブレータが動作するまでの時間を設定できます。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用することもできます。

- 登録外着信拒否設定中は、着信呼出動作設定を設定できません。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[発着信補助]→[着信呼出動作設定]を選び ▤ を押す

2 [設定]に着信呼出動作設定の[ON]/[OFF]を選択する

3 [呼出開始時間]に着信呼出動作を開始するまでの時間を入力する

01～99秒の範囲で入力します。

4 [時間内着信履歴表示]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON] ：すべての着信を着信履歴に表示します。

[OFF] ：設定した時間に満たない着信の不在着信の通知情報アイコンおよび着信履歴を表示しません。着信履歴には記録されます。伝言メモまたはテレビ伝言メモの動作が開始された場合は、不在着信の通知情報アイコンおよび着信履歴を表示します。

5 (i)(完了)を押す

着信呼出動作設定が設定されます。

- 以下の場合は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても着信呼出動作設定の対象となります。
  - 電話帳にシークレット登録した相手からの電話(シークレット表示が[OFF]の場合)
  - 電話番号が通知されない電話
  - パーソナルデータロック設定中
- 時間内着信履歴表示を[OFF]に設定しているときにすべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴画面で機能メニュー[全着信履歴表示]を選択します。
- 呼出開始時間を伝言メモ、オート着信設定、留守番電話サービス、転送でんわサービスの応答時間、呼び出し時間と同じに設定した場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない 〈登録外着信拒否〉

電話帳に登録していない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信しないように設定できます。番号通知お願いサービスとあわせて設定することをおすすめします。

- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- 登録外着信拒否を[ON]に設定しているときに、電話帳に登録していない相手から電話がかかってくると、電話はつながりません。不在着信の通知情報アイコンが表示され、着信履歴に記録されます。
- 着信呼出動作設定中やパーソナルデータロック設定中は、登録外着信拒否を設定できません。

1 メニューで[設定]→[ロック/セキュリティ]→[登録外着信拒否]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、☰（OK）を押す

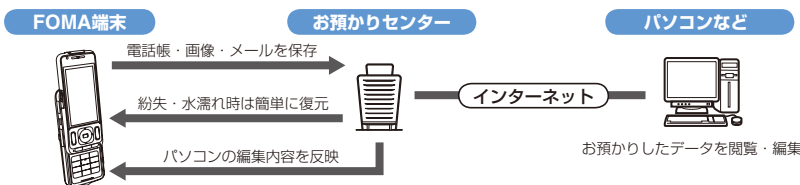
3 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

登録外着信拒否が設定されます。

● 以下の場合は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても登録外着信拒否の対象となります。
- 電話帳にシークレット登録した相手からの電話（シークレット表示が[OFF]の場合）
- 電話番号が通知されない電話

電話帳お預かりサービスを利用する 〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、iモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元させることができます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。

※ 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはiモード契約が必要です)

- 電話帳の保存方法(P.105)
- メールの保存方法(P.221)
- 画像の保存方法(P.295)

あんしん設定

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能/サービスがありますのでご活用ください。

目　的	機能/サービス名称	参照ページ
他の人に無断でICカード機能を使われるのを防ぎたい。	ICカードロック	P.262
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない。	迷惑電話ストップサービス	P.394
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない。	番号通知お願いサービス	P.395
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい。（FirstPass対応サイトに限ります）	FirstPass	P.199
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい。	ソフトウェア更新	P.456
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい。	スキャン機能	P.462
ｉモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい。	メール選択受信設定	P.215、227
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録/確認したい。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更したい。	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信したくない。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信/拒否したい。	迷惑メール対策（受信/拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信/拒否したい。		
指定したアドレスからのメールを受信/拒否したい。		
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定したい。	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	
1日に1台のｉモード対応携帯電話から送信される500通目以降のｉモードメールを受信拒否したい。	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSを受信したくない。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない。	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールのサイズを制限したい。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい。	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止したい。	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおおよその位置を確認したい。	ケータイお探しサービス	

カメラ

著作権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト(番組)やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や発行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末内蔵のカメラで画像を撮影し、ｉモードメールに添付して送信したり、ブログに投稿したり、待受画面などに設定したりすることができます。
また、撮影した画像をmicroSDメモリーカードに保存する場合、同時に縮小画像をFOMA端末に保存することができます。（P.178、319）
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。（P.306）

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

カメラのご利用について

撮影前のご注意

- カメラのレンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- FOMA端末を直射日光の当たる場所や高い温度になる場所に長時間放置すると、画質が劣化することがあります。
- 電池残量がほとんど残っていない場合、カメラモードになりません。十分に充電してご使用ください。
- FOMA端末に静電気が発生している場合、カメラモードにならないことがあります。
- 位置情報自動付加設定の保存時自動付加を[ON]にして撮影した画像をブログに投稿したり、メールに添付して送ると、位置情報を他の人に知られる危険性があります。位置情報を送信しない場合は、保存時自動付加を[OFF]にしてください。（P.171）

撮影時のご注意

- 手ブレにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置きセルフタイマーを使用して撮影してください。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- カメラは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、常時明るく見える点や線、暗く見える点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラモード中に電池残量がほとんど残っていない状態になると、カメラモードを終了します。

カメラモードについて

カメラで撮影するときは、待受画面またはメニュー画面でレンズカバーをスライドして開きます。カメラ起動音が鳴ってカメラモードになり、ディスプレイにカメラからの画像が表示され、セルフタイマーランプが点灯します。
カメラモードを終了する場合は、レンズカバーを閉じます。

- 待受画面で（📷）を1秒以上押してもカメラモードになります。

- カメラモード画面表示中に何もボタン操作を行わないと、約2分後にカメラモードは自動的に終了します。
- 使用中の機能によっては、レンズカバーを閉じてもカメラモードが終了しない場合があります。（停止）や を押すなどして終了してください。
- カメラ起動中またはアウトカメラへの切り替え中にレンズカバーが閉じていると、「レンズカバーをあけてください」と表示されます。

静止画/動画について

項　目	静止画	動　画
ファイル形式	JPEG（Exif形式）	MP4（MobileMP4）
ファイル名	**保存先が[データBOX]の場合** YYYYMMDDhhmmss • 撮影した年月日時分秒が表示されます。2008年2月1日18時2分10秒に撮影した場合は、「20080201180210」と表示されます。 • 連続撮影した静止画は年月日時分秒のあとに番号00～03が付き、「20080201180210_00」と表示されます。 **保存先が[microSD]の場合** DSC0nnnn	**保存先が[データBOX]の場合** YYYYMMDDhhmmss • 撮影した年月日時分秒が表示されます。2008年2月1日18時2分10秒に撮影した場合は、「20080201180210」と表示されます。 **保存先が[microSD]の場合** MOLnnn
ファイル番号	NNN-nnnn • 保存先が[microSD]の場合に表示されます。ファイル番号はリセットできます。（P.181）	－

- 「NNN」には「100～999」、「nnn」には「001～ FFF」、「nnnn」には「0001～9999」の番号が画像の撮影順に付けられます。
- 日付時刻が未設定の場合、ファイル名が「--------------」と表示されます。

静止画の保存の向きについて

カメラで撮影した画像は、撮影する画像サイズに応じて横長または縦長の向きで保存されます。[QCIF（176×144）]、[VGA（640×480）]、[1M（1280×960）]、[2M（1632×1224）]、[2Mワイド（1920×1080）]、[3M（2048×1536）]、[5M（2592×1944）]の画像サイズは横長の向きで保存され、[QVGA（240×320）]、[待受（480×864）]※の画像サイズは縦長の向きで保存されます。

※ 撮影モードを[BestPic™]に設定して、画像サイズを[待受（480×864）]に設定した場合は、画像の保存方向は横長の向きになります。

次ページにつづく

静止画の保存枚数について

データBOXまたはmicroSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、撮影画質、画像サイズの設定や撮影状態、被写体によって異なります。

■データBOXに保存できる静止画の撮影可能枚数の目安

撮影画質＼画像サイズ	QCIF (176×144)	QVGA (240×320)	VGA (640×480)	待受 (480×864)	1M (1280×960)	2M (1632×1224)	2Mワイド (1920×1080)	3M (2048×1536)	5M (2592×1944)
ファイン	約2,500枚	約2,500枚	約2,500枚	約1,989枚	約716枚	約448枚	約448枚	約285枚	約179枚
スタンダード	約2,500枚	約2,500枚	約2,500枚	約2,500枚	約1,119枚	約689枚	約689枚	約442枚	約278枚
エコノミー	約2,500枚	約2,500枚	約2,500枚	約2,500枚	約1,705枚	約1,053枚	約1,053枚	約689枚	約432枚

■microSDメモリーカード（64MB）に保存できる静止画の撮影可能枚数の目安

撮影画質＼画像サイズ	QCIF (176×144)	QVGA (240×320)	VGA (640×480)	待受 (480×864)	1M (1280×960)	2M (1632×1224)	2Mワイド (1920×1080)	3M (2048×1536)	5M (2592×1944)
ファイン	約1,883枚	約1,259枚	約541枚	約421枚	約151枚	約94枚	約94枚	約60枚	約37枚
スタンダード	約1,883枚	約1,883枚	約757枚	約631枚	約237枚	約145枚	約145枚	約92枚	約58枚
エコノミー	約3,738枚	約1,883枚	約1,259枚	約945枚	約344枚	約223枚	約223枚	約145枚	約90枚

動画の撮影時間について

データBOXまたはmicroSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間は、撮影画質、撮影種別、画像サイズ、ファイルサイズ制限の設定や撮影状態、被写体によって異なります。

■データBOXに保存できる動画の撮影可能時間の目安

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1件あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			撮影画質				撮影画質			
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー	スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー
メール添付（小）	－	音声のみ	約304秒				約2,933分			
	VGA (640×480)	映像のみ	－	－	－	－	－	－	－	－
		映像＋音声	－	－	－	－	－	－	－	－
	QVGA (320×240)	映像のみ	約10秒	－	－	－	約96分	－	－	－
		映像＋音声	約10秒	－	－	－	約96分	－	－	－
	QCIF (176×144)	映像のみ	約20秒	約31秒	約77秒	約168秒	約193分	約299分	約743分	約1,621分
		映像＋音声	約19秒	約28秒	約68秒	約130秒	約183分	約270分	約656分	約1,254分
	sQCIF (128×96)	映像のみ	－	約61秒	約130秒	約214秒	－	約588分	約1,254分	約2,065分
		映像＋音声	－	約51秒	約105秒	約155秒	－	約492分	約1,013分	約1,495分
メール添付（大）	－	音声のみ	約20分				約2,829分			
	VGA (640×480)	映像のみ	約10秒	－	－	－	約23分	－	－	－
		映像＋音声	約10秒	－	－	－	約23分	－	－	－
	QVGA (320×240)	映像のみ	約42秒	－	－	－	約98分	－	－	－
		映像＋音声	約41秒	－	－	－	約96分	－	－	－
	QCIF (176×144)	映像のみ	約85秒	約127秒	約317秒	約11分	約199分	約298分	約744分	約1,628分
		映像＋音声	約79秒	約116秒	約279秒	約534秒	約185分	約272分	約655分	約1,254分
	sQCIF (128×96)	映像のみ	－	約253秒	約534秒	約14分	－	約594分	約1,254分	約2,065分
		映像＋音声	－	約212秒	約434秒	約10分	－	約498分	約1,019分	約1,499分

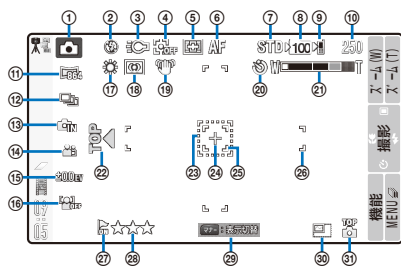
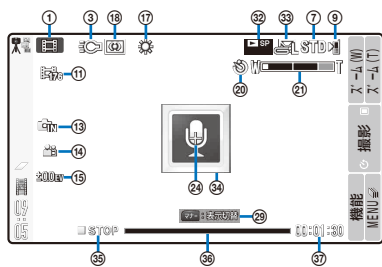
■microSDメモリーカード(64MB)に保存できる動画の撮影可能時間の目安

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1件あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			撮影画質				撮影画質			
			スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー	スーパーファイン	ファイン	スタンダード	エコノミー
メール添付(小)	–	音声のみ	約304秒				約663分			
	VGA (640×480)	映像のみ	–	–	–	–	–	–	–	–
		映像＋音声	–	–	–	–	–	–	–	–
	QVGA (320×240)	映像のみ	約10秒	–	–	–	約21分	–	–	–
		映像＋音声	約10秒	–	–	–	約21分	–	–	–
	QCIF (176×144)	映像のみ	約20秒	約31秒	約77秒	約168秒	約43分	約67分	約168分	約366分
		映像＋音声	約19秒	約28秒	約68秒	約130秒	約41分	約61分	約148分	約283分
	sQCIF (128×96)	映像のみ	–	約61秒	約130秒	約214秒	–	約133分	約283分	約467分
		映像＋音声	–	約51秒	約105秒	約155秒	–	約111分	約229分	約338分
メール添付(大)	–	音声のみ	約20分				約622分			
	VGA (640×480)	映像のみ	約10秒	–	–	–	約434秒	–	–	–
		映像＋音声	約10秒	–	–	–	約434秒	–	–	–
	QVGA (320×240)	映像のみ	約42秒	–	–	–	約21分	–	–	–
		映像＋音声	約41秒	–	–	–	約21分	–	–	–
	QCIF (176×144)	映像のみ	約85秒	約127秒	約317秒	約11分	約43分	約65分	約163分	約358分
		映像＋音声	約79秒	約116秒	約279秒	約534秒	約40分	約59分	約144分	約275分
	sQCIF (128×96)	映像のみ	–	約253秒	約534秒	約14分	–	約130分	約275分	約454分
		映像＋音声	–	約212秒	約434秒	約10分	–	約109分	約224分	約329分
制限なし	–	音声のみ	約60分				約665分			
	VGA (640×480)	映像のみ	約465秒	–	–	–	約465秒	–	–	–
		映像＋音声	約460秒	–	–	–	約460秒	–	–	–
	QVGA (320×240)	映像のみ	約22分	–	–	–	約22分	–	–	–
		映像＋音声	約22分	–	–	–	約22分	–	–	–
	QCIF (176×144)	映像のみ	約45分	約60分	約60分	約60分	約45分	約67分	約169分	約369分
		映像＋音声	約42分	約60分	約60分	約60分	約42分	約61分	約148分	約285分
	sQCIF (128×96)	映像のみ	–	約60分	約60分	約60分	–	約135分	約285分	約469分
		映像＋音声	–	約60分	約60分	約60分	–	約113分	約232分	約340分

カメラモードのアイコン

カメラモード画面には、設定や選択した機能に応じて、以下のようなアイコンが表示されます。

- アイコン表示やガイド表示は、マナー で切り替える（標準表示/キー操作ガイド表示/表示なし）ことができます。［表示なし］に設定していても、操作をしたときは関連するアイコンなどが表示されます。

静止画撮影時

動画撮影時

① 撮影種別（P.182）
- 静止画撮影時は「📷」が表示されます。

② フラッシュ（P.174）

③ フォトライトON（P.174）

④ オートフォーカス設定（P.173）

⑤ マルチフォーカス設定（P.172）

⑥ オートフォーカス動作中

⑦ 画質（P.178）

⑧ 100 保存先フォルダ番号
- 保存先/再生元がmicroSDメモリーカードの場合に表示されます。（microSDメモリーカードを挿入していない場合は表示されません）

⑨ 保存先（P.177）

⑩ 撮影可能枚数の目安
- 撮影可能枚数が9,999枚よりも多い場合は「>9999」と表示されます。

⑪ 画像サイズ（P.159）

⑫ 撮影モード（P.163）

⑬ カメラ切替（アウトカメラ/インカメラ）

⑭ シーンセレクション（P.160）

⑮ EV値（P.162）

⑯ 顔検出OFF（P.162）

⑰ ホワイトバランス（P.175）

⑱ 測光モード（P.176）

⑲ 手ブレ補正（P.180）

⑳ セルフタイマーON（P.173）

㉑ ズーム倍率（P.161）
- ズームができない場合は表示されません。

㉒ 保存方向表示（P.159、179）

㉓ デジタルズーム時フォーカス枠

㉔ スポット測光（P.176）

㉕ スポットフォーカス枠

㉖ マルチフォーカス枠

㉗ 位置情報自動付加設定ON（P.171）

㉘ GPS測位レベル（P.264）

★★★ ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）

★★☆ 比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）

★☆☆ おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）

★★★ 測位失敗

㉙ キー操作ガイド表示切替

㉚ SD保存時ミニフォト複製設定中（P.178）

㉛ 本体縦横自動判別ON（P.179）

㉜ 共通再生モード（P.175）

㉝ ファイルサイズ制限（P.181）

㉞ 🎙 音声のみ録音中

㉟ 撮影状態

■STOP	停止中	●REC	撮影中
▷PLAY	再生中	ⅡPAUSE	一時停止中
▷▷FF	早送り再生中	◁◁REW	早戻し再生中

㊱ プログレスバー

㊲ 撮影可能時間の目安

静止画を撮影する 〈静止画撮影〉

アウトカメラ撮影時、マルチフォーカス設定を[マルチAF]に設定しているときは画面内の5箇所、マルチフォーカス設定を[スポットAF]に設定しているときは画面中央部の被写体にピントをあわせて静止画を撮影できます。本体縦横自動判別を[ON]に設定していると、撮影時のFOMA端末の向きを自動的に判別して画像に記録します。

- オートフォーカスでピントをあわせられる距離は、[通常]で約30cm以上、[マクロ]で約10cm以上、[スーパーマクロ]で約3cm ～18cmです。
- マルチフォーカス設定を[マルチAF]に設定しているときにズーム倍率がデジタルズーム領域に入ると、マルチフォーカス機能は動作しません。画面中央部のオートフォーカスとなります。
- シーンセレクションを[夜景]/[暗闇]に設定している場合、オートフォーカスで撮影できません。

1 待受画面でレンズカバーをスライドして開く

カメラモードになります。

- メニュー画面でレンズカバーをスライドして開いても、カメラモードを起動できます。

2 被写体を確認し、(📷)を半押ししてピントをあわせる

マルチフォーカス設定が[マルチAF]に設定されているときは、白のマルチフォーカス枠内の最大5箇所のいずれかのポイントでピントが調節されます。マルチフォーカス設定が[スポットAF]に設定されているときは、画面中央部の白のスポットフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴ってフォーカス枠が緑に変わります。

- 撮影中は、セルフタイマーランプが点滅します。
- ピントの調節に失敗した場合は、白のフォーカス枠が赤に変わります。

マルチフォーカス設定が[スポットAF]のときに画面の中央以外にピントをあわせたい場合

(📷)を半押ししてピントをあわせてから、撮影したい位置にカメラを向けて(📷)を押します。

インカメラに切り替える場合

機能メニュー[OUT](カメラ切替)→[IN](インカメラ)を選択します。

- インカメラ撮影時は、白のフォーカス枠は表示されずオートフォーカス機能も動作しません。

☰(撮影)で撮影する場合

☰(撮影)を押します。マルチフォーカス設定を[スポットAF]に設定しているときに画面の中央以外にピントをあわせたい場合は、(✆)を押してピントをあわせてから、撮影したい位置にカメラを向けて☰(撮影)を押します。

3 (📷)を押す

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、保存確認画面が表示されます。

4 ☰(保存)を押す

静止画が保存されます。(▶)を押すと、保存した静止画を表示して確認できます。

次ページにつづく

メールに添付する場合

[✉]（機能）を1秒以上押します。静止画が保存され、メール編集画面が表示されます。機能メニュー[✉]を選択しても、メールに添付できます。

撮り直す場合

[CLR]を押し、[はい]を選択します。

ブログに投稿する場合

機能メニュー[Blog]を選択します。（P.358）

位置情報を付加する場合

機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報取得）を選択します。取得した位置情報の詳細を表示する場合は、機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報詳細）を選択します。（P.277）

インカメラ撮影時に鏡像で保存する場合

機能メニュー［ ］を選択します。正像/鏡像表示を切り替えるときは、機能メニュー［ ］（表示）→［ ］（鏡像表示）/［ ］（正像表示）を選択します。

- 鏡像/正像表示を切り替えたときの画像は、保存の向きの左右方向に反転します。撮影の向きによって、画像が上下方向に反転して表示される場合があります。

- 保存先の空き容量が足りないときや最大保存枚数を超えるときは、メッセージが表示されます。この場合は、保存先を変更したり、不要な画像を削除するなどしてください。
- 動画撮影から静止画撮影に切り替えた場合、次の項目がリセットされます。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
カメラ切替	アウトカメラ	シーンセレクション	AUTO
ズーム倍率	1.0倍	EV値	±0.0EV
セルフタイマー	OFF	フォトライト	OFF
グリッドライン	OFF	ホワイトバランス	AUTO
測光モード	中央重点	ピクチャエフェクト	OFF

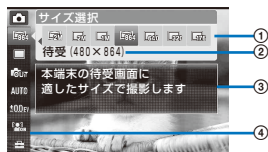
- シャッター音などが鳴り終わる前に電話がかかってくると、画像を保存できないことがあります。
- 被写体や撮影状況によりピントがあわなかったり、意図しない部分にピントがあってしまうことがあります。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントがあわないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- 本体縦横自動判別を[ON]に設定して撮影した画像は、次の場合など、表示される画像の向きがFOMA端末での表示と異なることがあります。
  - メールに添付して送ったり、ブログに投稿したりした場合
  - USB接続によってパソコンなどに転送した場合

カメラの基本機能を使いこなす

グラフィカルメニューについて

カメラの基本的な設定はグラフィカルメニューを使って変更できます。
本書では、グラフィカルメニューを選択する操作については、お買い上げ時に表示されるアイコンを記載しています。

- グラフィカルメニューに実際に表示されるアイコンはそのときの設定によって変化するため、本書の記載と異なることがあります。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押す

① 選択されているメニュー項目のサブメニュー
② 選択されている項目名
③ 選択されている項目のガイド
④ メニュー項目
- 設定されている項目のアイコンが表示されます。

2 各項目を設定する

▲▼で設定する項目、◀▶で設定を選択し、☰を押します。

● 横画面で操作するときは、4方向ボタンの表記はFOMA端末を横向きにしたときの配置に従っています。通常利用時の▲▼が◀▶に、◀▶が▲▼にそれぞれ対応しています。またジョグの回転方向も通常操作の上下が左右になります。

次ページにつづく

ダイレクトボタン操作について

よく使う機能にはダイレクトボタンが割り当てられており、メニュー操作の代わりに簡単なボタン操作で設定を変更できます。ダイレクトボタンを押すたびに設定が切り替わります。
本書では、ダイレクトボタンが割り当てられている機能については、ダイレクトボタンもあわせて記載しています。

- ダイレクトボタンに割り当てられている機能は次のとおりです。

操　作	ボタン操作	参照ページ
サイズ選択	▲ または 1 を押します。	P.159
セルフタイマー切り替え	▼ を押します。	P.173
フラッシュ切り替え	▶ を押します。	P.174
オートフォーカス設定	◀ を押します。	P.173
EV値を下げる	ジョグを左に回します。	P.162
EV値を上げる	ジョグを右に回します。	P.162
カメラ切り替え	2 を押します。	P.159
シーンセレクション設定	3 を押します。	P.160
ホワイトバランス設定	4 を押します。	P.175
測光モード設定	5 を押します。	P.176
グリッドラインON/OFF切り替え	6 を押します。	P.174
ピクチャエフェクト設定	8 を押します。	P.176
現在地測位	9 を1秒以上押します。	P.172
調整リセット	0 を押します。	P.177
フォトライトON/OFF切り替え	💡 を押します。	P.174
静止画撮影/動画撮影切り替え	メモ を押します。	P.170

- 撮影モードによっては操作できない機能があります。

例：セルフタイマーを設定する場合

1 カメラモード画面で ▼ を押す

▼ を押すたびに、セルフタイマーの[OFF]/[10秒]/[5秒]/[2秒]が切り替わります。約2秒操作を行わないと元の画面に戻り、最後に選んだ設定内容でセルフタイマーが設定されます。

2 ▼ を目的の秒数または[OFF]になるまで押す

セルフタイマーが設定されます。

● ダイレクトボタンと各ボタンに割り当てられた機能は、マナー を押すか、FOMA端末をスライドして開くと表示されるキー操作ガイド表示で確認できます。

画像のサイズを選択する

撮影する静止画の画像サイズは9種類から、動画の画像サイズは4種類から選択できます。

- 静止画の撮影モードを[パノラマ撮影]、[連続撮影]、[フレーム撮影]に設定している場合、画像サイズは選択できません。
- 動画の画像サイズを[QVGA (320×240)]、[VGA (640×480)]に設定すると、撮影画質が[スーパーファイン]に変更されます。また、撮影画質が[スーパーファイン]のときに画像サイズを[sQCIF(128×96)]に設定すると、撮影画質が[スタンダード]に変更されます。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[864](サイズ選択)→画像サイズを選び ▭ を押す

- カメラモード画面で 1 または ▲ を押しても画像サイズを設定できます。

画像サイズが設定され、画像サイズの種類に対応したアイコンが表示されます。

- 画像サイズを[QVGA (240×320)]または[待受(480×864)]に設定すると、保存方向表示アイコン「TOP」が表示されます。表示される方向を上として保存されます。

静止画(アウトカメラ)

176	QCIF(176×144)	864	待受(480×864)	2M	2Mワイド(1920×1080)
320	QVGA(240×320)	1M	1M(1280×960)	3M	3M(2048×1536)
640	VGA(640×480)	2M	2M(1632×1224)	5M	5M(2592×1944)

- インカメラで撮影できる画像サイズは[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[VGA(640×480)]です。

動画(アウトカメラ/インカメラ)

128	sQCIF(128×96)	320	QVGA(320×240)
176	QCIF(176×144)	640	VGA(640×480)

撮影するカメラを切り替える

撮影するカメラをアウトカメラかインカメラに切り替えることができます。

- 静止画の撮影モードを[スマイルシャッター]、[パノラマ撮影]、[高感度撮影]、[BestPic™]、[連続撮影]に設定している場合、カメラは切り替えられません。
- 静止画の撮影モードを[フレーム撮影]に設定して、画像サイズを[待受(480×864)]に設定している場合、アウトカメラからインカメラへは切り替えられません。
- アウトカメラからインカメラに切り替えると、次の項目が変更されます。シーンセレクション、顔検出、オートフォーカス設定、フラッシュ、デジタルズーム、手ブレ補正の各項目は、カメラをアウトカメラに切り替えると元の設定に戻ります。

項　目	設　定	項　目	設　定
画像サイズ	VGA(640×480)※1	シーンセレクション	AUTO
EV値	±0.0EV※1※2	顔検出	OFF
オートフォーカス設定	OFF	フラッシュ	発光禁止
ホワイトバランス	AUTO※2	測光モード	中央重点※2
ピクチャエフェクト	OFF※2※3	デジタルズーム	OFF
手ブレ補正	OFF		

※1 インカメラで設定できない画像サイズ、EV値の場合に変更されます。
※2 アウトカメラでシーンセレクションが[AUTO]以外に設定されていた場合に変更されます。
※3 ピクチャエフェクトが[ソラリ]に設定されていた場合に変更されます。

次ページにつづく

1 カメラモード画面で （機能）を押し、[ ]（カメラ切替）→[ ]（アウトカメラ）/[ ]（インカメラ）を選び を押す

• カメラモード画面で 2 を押してもカメラを切り替えることができます。

カメラが切り替わります。

● インカメラからアウトカメラへの切り替え中にレンズカバーが閉じていると、「レンズカバーをあけてください」と表示されます。レンズカバーを開くとカメラモードになります。

撮影するシーンを切り替える

アウトカメラで撮影するときに、シーンにあわせてカメラの設定を自動調整します。シーンを変更するとホワイトバランス、測光モード、EV値、ピクチャエフェクトの設定はリセットされます。

- 撮影モードを[BestPic™]、[連続撮影]に設定している場合や動画撮影時は、[夜景]、[暗闇]を選択できません。
- 顔検出を[ON]に設定している場合、[風景]、[夜景]、[暗闇]、[スポーツ]、[ビーチ＆スノー]を選択できません。
- 撮影モードを[高感度撮影]、[スマイルシャッター]に設定すると、シーンセレクションは[AUTO]に変更されます。シーンセレクションは変更できません。
- 動画の撮影種別を[音声のみ]に設定している場合、シーンセレクションは設定できません。

1 カメラモード画面で （機能）を押し、[ ]（シーンセレクション）→シーンを選び を押す

• カメラモード画面で 3 を押してもシーンセレクションを設定できます。

[ ]（AUTO）：自動的に色合いや明るさを調整して撮影します。
[ ]（人物）：人物の肌の色を、明るく暖かい色調で撮影します。
[ ]（風景）：海や空、木々の色をあざやかに表現し、風景を撮影します。
[ ]（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、夜景を撮影します。
[ ]（暗闇）：暗い場所で感度を上げてできるだけ明るく撮影します。
[ ]（スポーツ）：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影します。
[ ]（ビーチ＆スノー）：海や湖畔、雪景色などの明るい色をよりあざやかに撮影します。
[ ]（パーティー）：室内の照明の雰囲気を活かしながら撮影します。

シーンセレクションが設定され、シーンの種類に対応したアイコンが表示されます。

• [AUTO]に設定した場合、アイコンは表示されません。

画像のズームを調節する

アウトカメラで撮影するときに、画像のズームを調節できます。約3.0倍までは光学ズームで、それ以上はデジタルズームで撮影されます。また、スマートズーム機能により、光学ズームの最大倍率を超えても画質の劣化を最小限に抑えて撮影できます。スマートズームの最大倍率は画像サイズの設定や撮影モードが[高感度撮影]に設定されているかどうかによって変わります。各画像サイズで調節できるズーム倍率は次のとおりです。

- 最大倍率には光学ズームの倍率3.0倍(9段階)が含まれます。

静止画撮影時

■：画質の劣化を最小限に抑えたスマートズーム領域
□：画質が劣化する一般のデジタルズーム領域

画像サイズ	最大倍率表示(段階)	光学ズーム	デジタルズーム
[QCIF(176×144)]	約48.0倍(69)	3.0倍	約13.3倍
[QVGA(240×320)]	約24.0倍(54)	3.0倍	約8.0倍
[VGA(640×480)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約4.0倍
[待受(480×864)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約2.9倍
[1M(1280×960)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約2.0倍
[2M(1632×1224)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約1.6倍
[2Mワイド(1920×1080)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約1.3倍
[3M(2048×1536)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約1.3倍
[5M(2592×1944)]	約12.0倍(39)	3.0倍	

静止画撮影時(撮影モードが[高感度撮影]の場合)

画像サイズ	最大倍率表示(段階)	光学ズーム	デジタルズーム
[QCIF(176×144)]	約48.0倍(69)	3.0倍	約6.7倍
[QVGA(240×320)]	約24.0倍(54)	3.0倍	約4.0倍
[VGA(640×480)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約2.0倍
[待受(480×864)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約1.4倍
[1M(1280×960)]	約12.0倍(39)	3.0倍	

1倍 3倍 12倍 24倍 36倍 48倍

動画撮影時

画像サイズ	最大倍率表示(段階)	光学ズーム	デジタルズーム
[sQCIF(128×96)]	約48.0倍(69)	3.0倍	約9.6倍
[QCIF(176×144)]	約48.0倍(69)	3.0倍	約6.7倍
[QVGA(320×240)]	約24.0倍(54)	3.0倍	約4.0倍
[VGA(640×480)]	約12.0倍(39)	3.0倍	約2.0倍

1倍 3倍 12倍 24倍 36倍 48倍

次ページにつづく

1 カメラモード画面で [i] (ズーム(W))/ [ch] (ズーム(T))を押す

- [ch] (ズーム(T))を押すと拡大され、[i] (ズーム(W))を押すと縮小されます。1秒以上押すと連続して拡大/縮小されます。

ズームが調節され、設定したズーム倍率がバー表示されます。

- ズームバーの「□」が淡いグレーの領域に移動すると画質が劣化します。

● 顔検出が[ON]の場合、デジタルズームは利用できません。
● 手ブレ補正が[ON]の場合、スマートズーム領域が2段階分狭くなります。画面上のズームバーのスマートズーム領域は、手ブレ補正が[ON]に設定されているときの幅で表示されます。
● ズームで拡大表示中にオートフォーカス設定を変更すると、ズーム倍率は1.0倍に戻ります。
● オートフォーカス設定を[マクロ]に設定している場合、光学ズームは1.1倍～2.6倍の7段階で調節できます。また、オートフォーカス設定を[スーパーマクロ]に設定している場合、光学ズームは1.5倍に固定され、変更できません。

明るさを補正する

画像の明るさ(露出：Exposure Value)を、周囲の状況にあわせて補正できます。アウトカメラ撮影時は－2.0EV ～＋2.0EVの間の13段階、インカメラ撮影時は－1.0EV ～＋1.0EVの間の7段階で変更できます。

1 カメラモード画面で [✉] (機能)を押し、[±0.0EV](EV)→EV値を選び [≡] を押す

- カメラモード画面でジョグを左に回すとEV値を下げ、ジョグを右に回すとEV値を上げます。

明るさが補正され、設定したEV値のアイコン「-2.0EV」～「+2.0EV」が表示されます。

- EV値が±0.0EVの場合、アイコンは表示されません。

● 撮影場所が極端に明るいときや暗いときは、明るさを補正しても変わらないことがあります。

顔を検出してピントを自動調整する

最大3人までの人物の顔を検出し、被写体が動いても顔検出枠が顔を追跡して、ピントや明るさを最適な値に自動調整します。

- シーンセレクションが[風景]、[夜景]、[暗闇]、[スポーツ]、[ビーチ＆スノー]のときに顔検出を[ON]に設定すると、シーンセレクションは[AUTO]に変更されます。
- 顔検出を[ON]に設定すると、ピクチャエフェクトは[OFF]に変更されます。また、デジタルズームが一時的に[OFF]に変更されます。
- オートフォーカス設定を[通常]以外に設定すると、顔検出は一時的に[OFF]に変更され、設定を変更できません。

1 カメラモード画面で [✉] (機能)を押し、[顔ON](顔検出)→[顔ON](ON)/[顔OFF](OFF)を選び [≡] を押す

顔検出が設定されます。[OFF]にすると「顔OFF」が表示されます。

- [ON]に設定した場合、アイコンは表示されません。

● 顔が傾いていたり、顔の一部が隠れている場合、ペットなど人以外の顔の場合、暗い場所にいる場合は、顔を検出できないことがあります。
● 顔がないシーンでも、被写体が顔に似ている場合は、顔検出枠が表示されることがあります。

スマイルシャッターで笑顔を撮る

カメラが笑顔を検出して、自動的にシャッターを切ってくれます。

- スマイルシャッターモードで撮影中は、ズームを使用できません。また、（カメラ）または（撮影）を押して撮影することはできません。
- 撮影モードを［スマイルシャッター］に設定すると、次の項目が一時的に変更されます。

項　目	設　定	項　目	設　定
カメラ切替	アウトカメラ	シーンセレクション	AUTO
顔検出	ON	オートフォーカス設定	OFF（顔検出前）※
セルフタイマー	OFF	ホワイトバランス	AUTO
測光モード	中央重点	ピクチャエフェクト	OFF
デジタルズーム	OFF		

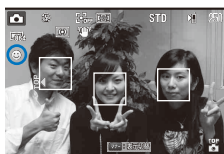
※ 顔検出後は［通常］と同程度の有効距離に設定されます。

- 上記の項目は変更できません。

1 カメラモード画面で（機能）を押し、［ ］（撮影モード）→［ ］（スマイルシャッター）を選び を押す

2 （リスト閉）を押す

撮影モードが［スマイルシャッター］に設定され、「 」が表示されます。

3 カメラを被写体に向ける

白の顔検出枠が表示され顔検出を開始します。笑顔検出の対象となる人物にピントがあうと、確認音が鳴り、顔検出枠が緑に変わります。

被写体の笑顔を検出すると、自動的にシャッターが切られ、画像が撮影されます。

- 最大3人までの顔を検出できます。複数の顔を検出している場合、カメラは画面の中央付近の人物を優先的に選んで、ピントをあわせます。
- 笑顔を検出できるのは、緑の顔検出枠が表示された1人のみです。
- ピントの調節に失敗した場合は、白の顔検出枠が赤に変わります。

ピントの調節に失敗した場合

CLR または（終話）を押して、もう一度顔検出を開始してください。

4 （保存）を押す

画像が保存されます。

- 撮影環境によっては、顔を検出できず、シャッターが切れないことがあります。
- 次の場合は、笑顔が検出されないことがあります。
  - 顔が暗すぎたり、明るすぎる場合
  - 被写体がカメラから遠すぎて顔が小さい場合
  - サングラスやマスク、帽子など顔の一部を隠すものを身に付けている場合
  - 顔が横を向いていたり、傾いている場合

カメラ

次ページにつづく

デコフォトモードで画像を楽しくおしゃれに飾る

フレームやスタンプを利用して画像をおしゃれに飾ることができます。

- アウトカメラで撮影するときは[QCIF(144×176)]、[QVGA(240×320)]、[VGA(480×640)]、[待受(480×864)]、インカメラで撮影するときは[QCIF(144×176)]、[QVGA(240×320)]の画像サイズを選択できます。
- 撮影モードを[デコフォト]に設定すると、次の項目が一時的に変更されます。サイズ選択、カメラ切替、EV値(美白モード)、フラッシュ以外の項目は変更できません。

項　目	設　定	項　目	設　定
サイズ選択	QVGA(240×320)	カメラ切替	インカメラ
シーンセレクション	AUTO	EV値	美白モード[OFF]:±0.0EV
顔検出	ON※1	位置情報自動付加設定	OFF
オートフォーカス設定	通常※1	マルチフォーカス設定	スポットAF※1
セルフタイマー※2	5秒	フォトライト	OFF
フラッシュ	発光禁止	グリッドライン	OFF
ホワイトバランス	AUTO	測光モード	平均
ピクチャエフェクト	OFF	自動保存	OFF
撮影画質	ファイン	デジタルズーム	OFF
手ブレ補正	AUTO	本体縦横自動判別	OFF

※1 顔検出、オートフォーカス設定、マルチフォーカス設定の各設定はアウトカメラ利用時の設定です。インカメラで撮影している場合は、これらの機能は動作しません。

※2 セルフタイマーは、撮影モードを切り替えても元の設定に戻りません。

- 一度撮影モードを[デコフォト]に設定したあとに他の撮影モードに切り替えると、ズーム倍率は1.0倍に戻ります。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](デコフォト)を選び を押す

撮影モードが[デコフォト]に設定され、「 」が表示されます。
インカメラで撮影している場合は、被写体を確認し、操作3に進みます。

カメラを切り替える場合

[ ](カメラ切替)→[ ](アウトカメラ)/[ ](インカメラ)を選択します。

撮影サイズを設定する場合

[ ](サイズ選択)→サイズを選択します。

フレームを付けて撮影する場合

[ ](フレーム選択)→[ ](あり)/[ ](なし)を選択します。[あり]を選択した場合はフレームを選択します。

フラッシュを発光させる場合(アウトカメラのみ)

[ ](フラッシュ)→フラッシュの種類を選択します。

デコフォト音を変更する場合

[ ](デコフォト音選択)→デコフォト音を選択します。

美白モードを設定する場合

[ ](美白モード)→[ ](ON)/[ ](OFF)を選択します。

- 美白モードを[ON]に設定すると、EV値がアウトカメラの場合は+1.0EVに、インカメラの場合は+0.3EVになります。また、美白モードを[OFF]に設定すると、EV値が±0.0EVになります。

2 被写体を確認し、（📷）を半押しする

顔検出機能が起動し、顔にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴って顔検出枠が緑に変わります。

3 （📷）を押す

セルフタイマーが起動してデコフォト音が鳴り、シャッター音が鳴って画像が撮影され、保存前メニューが表示されます。

4 [ ](保存)→[ ](保存)→[はい]を選び を押す

画像が保存されます。

フレームを貼付ける場合

[ ]→フレームを選択します。

画像スタンプを貼付ける場合

[ ]→スタンプを選択し、貼付ける位置を調節して (貼付)を押し、 (中止)を押します。

文字を貼付ける場合

[ ]を選択し、テキストスタンプを作成し、貼付ける位置を調節して (貼付)を押し、 (中止)を押します。

- 文字を貼付ける(P.293操作2〜3)と同じ操作を行ってください。

編集前の画像に戻す場合

[ ]を選択します。

ブログに投稿する場合

[ ](保存)→[ ](ブログ投稿)を選択します。(P.358)

メールに添付する場合

[ ](保存)→[ ](メール添付)を選択します。(P.212)

パノラマ撮影する

シャッターボタンを押してからカメラの向きを水平に移動させるだけで、連続撮影し1枚の画像に合成して、パノラマ撮影を行います。360度のパノラマ撮影も可能です。

- 撮影モードを[パノラマ撮影]に設定すると、ピクチャエフェクトは[OFF]に変更されます。また、顔検出、オートフォーカス設定、セルフタイマー、自動保存、デジタルズームが一時的に[OFF]に、フラッシュが一時的に[発光禁止]に変更されます。
- パノラマ撮影中はズームを使用できません。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](パノラマ撮影)を選び を押す

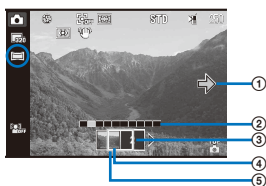
パノラマモード(サイズ×枚数)選択画面が表示されます。

[通常パノラマ(VGA×4)]：最大4枚の画像を撮影して画像を作成します。

[360°パノラマ(QVGA×10)]：最大10枚の画像を撮影し、自分を取り巻く360度を見渡せる画像が作成できます。

2 撮影サイズを選び を押す

撮影モードが[パノラマ撮影]に設定され、「 」が表示されます。

3 (📷) を押す

シャッター音が鳴って最初の画像が撮影されます。FOMA端末を水平に保って左右どちらかの方向にゆっくりと動かしてください。カメラ移動ガイドの緑の枠にあわせてカメラを移動すると、枠が赤に変わったところでシャッター音が鳴り、次の画像が自動的に撮影されます。
最後の撮影が終わると、画像が合成され、全体イメージが表示されます。◀ ▶ を押すと、画面をスクロールして画像の隠れた部分を確認できます。

撮影を中止する場合

(停止)を押します。合成確認画面が表示された場合、[合成開始]/[画像破棄]を選択します。

① 撮影方向ガイド
- 矢印の方向へカメラの向きを移動します。

② 撮影可能枚数
次に撮影する画像の位置にあたる枠が緑に変わります。

③ 次に撮影する画像の先頭からの番号

④ 前に撮影した画像のサムネイル

⑤ カメラ移動ガイド
- ガイドにあわせてカメラを移動すると、カメラの動きにあわせて緑の枠が移動します。次の画像の撮影位置になると赤に変わります。

4 (保存)を押す

合成されたパノラマ画像が保存されます。

- シャッター音が鳴って「撮影中 しばらく静止してください」と表示されている間はカメラを動かさないでください。合成後の画像の縦サイズが極端に小さくなったり、合成に失敗する場合があります。
- シャッターボタンを押してパノラマ撮影を開始すると、何も操作しないで2分以上経過しても、撮影モードは終了しません。

高感度モードで撮影する

夕暮れ時や暗い室内などで、動く被写体のブレを押さえ、フラッシュなしできれいに撮影できます。

- 高感度撮影で撮影できる画像サイズは、[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[VGA(640×480)]、[待受(480×864)]、[1M(1280×960)]です。
- 画像サイズが[2M (1632×1224)]以上のときに撮影モードを[高感度撮影]に設定すると、画像サイズは[1M(1280×960)]に変更されます。
- 撮影モードを[高感度撮影]に設定すると、フラッシュは一時的に[発光禁止]に、シーンセレクションは[AUTO]に変更されます。シーンセレクションは変更できません。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](高感度撮影)を選び を押す

2 （リスト閉）を押す

撮影モードが［高感度撮影］に設定され、「 」が表示されます。

3 被写体を確認し、 を半押しする

白のフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴ってフォーカス枠が緑に変わります。

4 を押す

シャッター音が鳴って画像が撮影され、保存確認画面が表示されます。

5 （保存）を押す

画像が保存されます。

BestPic™モードで撮影する

オートフォーカス機能でピントをあわせ、シャッターボタンを押した前後で計9枚の静止画を連続撮影し、その中からベストショットを選択できます。

- BestPic™で撮影できる画像サイズは、［VGA（640×480）］、［待受（480×864）］、［1M（1280×960）］、［2M（1632×1224）］、［2Mワイド（1920×1080）］、［3M（2048×1536）］、［5M（2592×1944）］です。
- 画像サイズが［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］のときに撮影モードを［BestPic™］に設定すると、画像サイズは一時的に［待受（480×864）］に変更されます。
- オートフォーカス設定が［OFF］のときに撮影モードを［BestPic™］に設定すると、オートフォーカス設定は［通常］に変更されます。
- 撮影モードを［BestPic™］に設定すると、手ブレ補正、自動保存が一時的に［OFF］に、撮影画質が［スタンダード］に変更されます。撮影画質は変更できません。
- BestPic™で撮影するときにフラッシュを使用すると、フラッシュの光量はフォトライト点灯時と同程度まで低下します。
- シーンセレクションが［夜景］、［暗闇］のときに撮影モードを［BestPic™］に設定すると、シーンセレクションは［AUTO］に変更されます。

1 カメラモード画面で （機能）を押し、［ ］（撮影モード）→［ ］（BestPic™）を選び を押す

2 （リスト閉）を押す

撮影モードが［BestPic™］に設定され、「 」が表示されます。

カメラ

次ページにつづく

3 被写体を確認し、（📷）を半押しする

白のフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴って、フォーカス枠が緑に変わります。

4 （📷）を押す

シャッター音が鳴って連続画像が撮影され、保存確認画面が表示されます。

5 ◀ ▶ で画像を選び ▭（保存）を押す

選択した画像が保存され、別の画像も保存するかどうかの確認画面が表示されます。

別の画像も保存する場合

[はい]を選択し、画像を選択して ▭（保存）を押します。

カメラモード画面に戻る場合

[いいえ]を選択します。

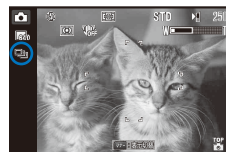
- 撮影モードを[BestPic™]に設定して、画像サイズを[待受(480×864)]に設定した場合、縦長の向きに撮影しても画像の保存方向は横長の向きになります。カメラモード画面に保存方向表示アイコン「TOP」は表示されません。

連続画像を撮影する

（📷）または ▭（撮影）を1回押すだけで、静止画を約0.2秒間隔で4枚連続して撮影できます。

- 連続撮影の画像サイズは、[VGA(640×480)]です。画像サイズは変更できません。
- シーンセレクションが[夜景]、[暗闇]のときに撮影モードを[連続撮影]に設定すると、シーンセレクションは[AUTO]に変更されます。
- 撮影モードを[連続撮影]に設定すると、手ブレ補正が一時的に[OFF]に変更されます。
- 連続撮影するときにフラッシュを使用すると、フラッシュの光量はフォトライト点灯時と同程度まで低下します。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、[▢](撮影モード)→[⧉](連続撮影)を選び ▭ を押す

2 ✉（リスト閉）を押す

撮影モードが[連続撮影]に設定され、「⧉」が表示されます。

3 被写体を確認し、（📷）を半押しする

白のフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴ってフォーカス枠が緑に変わります。

4 を押す

連続撮影音が鳴って連続画像が撮影され、保存確認画面が表示されます。

5 (保存)を押す

連続した4枚の画像が保存されます。

フレーム付きの画像を撮影する

お買い上げ時に登録されているフレームやダウンロードしたフレームを付けて撮影できます。

- アウトカメラで撮影するときは[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[VGA(640×480)]、[待受(480×864)]、インカメラで撮影するときは[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[VGA(640×480)]のフレームサイズを選択できます。
- フレームを付けて撮影した画像サイズは、選択したフレームにより決まり、変更できません。

1 **カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](フレーム撮影)を選び を押す**

2 **フレームサイズを選び を押す**

フレーム選択画面が表示されます。

3 **フレームを選び を押す**

撮影モードが[フレーム撮影]に設定され、「 」、選択したフレームが表示されます。

フレームを確認する場合

フレームにカーソルをあわせ、 (見る)を押します。

4 **被写体を確認し、 を半押しする**

白のフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴ってフォーカス枠が緑に変わります。

5 **を押す**

シャッター音が鳴って画像が撮影され、保存確認画面が表示されます。

6 **(保存)を押す**

画像が保存されます。

カメラ

動画を撮影する 〈動画撮影〉

カメラで動画を撮影できます。

- 保存先により撮影可能時間が異なります。(P.152、153)

1 カメラモード画面で [機能キー] (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](動画撮影)を選び [メニューキー] を押す

- カメラモード画面で [メモ] を押しても動画撮影画面に切り替えられます。[メモ] を押すたびに、静止画撮影画面と動画撮影画面が切り替わります。

動画撮影画面に切り替わり、「 」が表示されます。

2 被写体を確認し、[カメラキー] を押す

撮影開始音が鳴って動画の撮影が開始されます。「■STOP」が「● REC」に変わります。

- 撮影中は、画像の下にバーと数字で撮影可能時間の目安が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。

一時停止する場合

[機能キー] (ポーズ)を押します。撮影一時停止音が鳴り、「II PAUSE」が表示されます。録画を再開する場合は、[機能キー] (再開)を押します。

[メニューキー] (撮影)で撮影する場合

[メニューキー] (撮影)を押します。撮影を終了するときは [メニューキー] (停止)を押します。

3 撮影を終了するときは [カメラキー] を押す

撮影終了音が鳴って動画の撮影が終了し、保存確認画面が表示されます。

4 [メニューキー] (保存)を押す

動画が保存されます。

撮り直す場合

[CLR] を押し、[はい]を選択します。

保存前に確認する場合

[ch] (再生)を押します。

メールに添付する場合

[機能キー] (機能)を1秒以上押します。動画が保存され、メール編集画面が表示されます。機能メニュー[ ]を選択してもメールに添付できます。

ブログに投稿する場合

機能メニュー[ ]を選択します。(P.358)

カメラ

- 保存先の空き容量が足りないときや最大保存時間を超えるときは、メッセージが表示されます。この場合は、保存先を変更したり、不要な画像を削除するなどしてください。また、撮影できても最大保存時間まで撮影できないことがあります。
- 静止画撮影から動画撮影に切り替えた場合、次の項目がリセットされます。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
カメラ切替	アウトカメラ	シーンセレクション	AUTO
ズーム倍率	1.0倍	EV値	±0.0EV
撮影モード	通常撮影	オートフォーカス設定	通常
セルフタイマー	OFF	フォトライト	OFF
グリッドライン	OFF	ホワイトバランス	AUTO
測光モード	中央重点	ピクチャエフェクト	OFF

- 動画撮影中は、画像にモザイク状のノイズが入ったり、画像や音声が途切れることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 動画の音声は、送話口から録音されます。撮影時にボタンなどを操作したり、送話口の近くをふさいだりすると操作音や雑音が録音されることがあります。
- 撮影状況や被写体の条件によっては、撮影した動画の動きが粗くなることがあります。

撮影時の設定を変更する

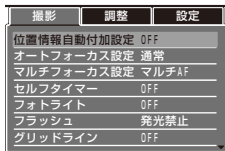
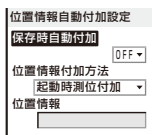
画像保存時に位置情報を付加するかどうかを設定する

GPS機能を利用して位置情報を撮影した静止画に自動的に付加します。

- 位置情報自動付加設定の保存時自動付加を[ON]にして撮影した画像をブログに投稿したり、メールに添付して送ると、位置情報を他の人に知られる危険性があります。

1 カメラモード画面で ✉(機能)を押し、[ ]を選び ☰ を押す

2 [撮影]→[位置情報自動付加設定]を選び ☰ を押す

位置情報自動付加設定
保存時自動付加
OFF
位置情報付加方法
起動時測位付加
位置情報

[保存時自動付加]　：画像保存時に位置情報を自動で付加するかどうかを選択します。

[位置情報付加方法]：自動で付加する位置情報の取得方法を選択します。

[位置情報]　：画像に付加する位置情報を登録します。

3 [保存時自動付加]に位置情報自動付加の[ON]/[OFF]を選択する

4 [位置情報付加方法]に[登録情報より付加]/[起動時測位付加]を選択する

[登録情報より付加]：位置情報に登録されている位置情報を付加します。

[起動時測位付加]　：カメラ起動時に位置情報を自動取得して付加します。

次ページにつづく

5 [位置情報]に位置情報を登録する

- 位置情報を付加する(P.277操作2～3)と同じ操作を行ってください。

位置情報が登録されている場合

位置情報あり画面が表示されます。位置情報を確認する場合は[確認する]を選択します。位置情報を変更する場合は[変更する]を選択し、位置情報を取得します。位置情報を削除する場合は[削除する]を選択します。

6 [i](完了)を押す

位置情報自動付加設定が設定されます。
保存時自動付加を[ON]にすると位置情報自動付加が設定され、「」が表示されます。

- 保存時自動付加を[ON]にすると次の撮影までに時間がかかることがあります。
- 保存時自動付加を[ON]に、位置情報付加方法を[起動時測位付加]に設定した場合、カメラモード画面に測位レベルアイコンが表示されます。(P.154)
- カメラ起動時の測位に失敗した場合、カメラモード画面で [9] を1秒以上押して手動で測位を行うことができます。
- カメラ起動直後や位置情報を取得しにくい場所で撮影した場合、正しい位置情報が画像に付加されないことがあります。

被写体に応じてオートフォーカスを使い分ける

アウトカメラで静止画を撮影するときに、2人並んだ被写体の撮影時など被写体の状態に応じてフォーカスの設定を使い分け、きれいな画像を簡単かつ確実に撮ることができます。

- スポットフォーカス枠またはマルチフォーカス枠を使ってピントをあわせることができるのは光学ズームの範囲です。ズーム倍率がデジタルズーム領域に入ると、フォーカス枠はデジタルズーム時フォーカス枠に変わり、フォーカス枠付近の被写体にピントをあわせます。
- オートフォーカス設定が[OFF]の場合、フォーカス枠は表示されません。

1 カメラモード画面で [✉](機能)を押し、[]を選び [≡] を押す

2 [撮影]→[マルチフォーカス設定]を選び [≡] を押す

[マルチAF] ：マルチフォーカス枠が表示され、画面内の複数の箇所でピントをあわせる被写体を探します。ピントがあうとフォーカス枠が最大5つ表示されます。2人並んだ被写体の撮影時などに便利です。

[スポットAF]：画面中央に1つ表示されるスポットフォーカス枠でピントをあわせます。自分の思ったところに確実にピントをあわせたいときに使用します。

3 [マルチAF]/[スポットAF]を選び [≡] を押す

マルチフォーカス設定が設定され、マルチフォーカス設定の種類に対応したアイコンが表示されます。

	マルチAF		スポットAF

オートフォーカスの有効距離を設定する

アウトカメラで静止画を撮影するときのオートフォーカス機能の有効距離を設定できます。

- シーンセレクションを[夜景]または[暗闇]に設定している場合、オートフォーカス設定が一時的に[OFF]に変更されます。オートフォーカス設定は変更できません。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[ ]を選び ▤ を押す

2 [撮影]→[オートフォーカス設定]を選び ▤ を押す

- カメラモード画面で ◀ を押してもオートフォーカス設定を設定できます。

オートフォーカス設定選択画面が表示されます。

[通常]　：被写体にピントをあわせて撮影します。ピントをあわせられる距離は約30cm以上です。

[マクロ]　：近くの被写体にピントをあわせて撮影します。ピントをあわせられる距離は約10cm以上です。

[スーパーマクロ]：すぐ近くの被写体にピントをあわせて撮影します。ピントをあわせられる距離は約3cm ～18cmです。

[OFF]　：オートフォーカスを使用せずに撮影します。

3 オートフォーカス設定を選び ▤ を押す

オートフォーカスの動作が設定され、オートフォーカス設定の種類に対応したアイコンが表示されます。

- [通常]に設定した場合、アイコンは表示されません。

アイコン	設定	アイコン	設定	アイコン	設定
	OFF		マクロ		スーパーマクロ

セルフタイマーを使う

FOMA端末を持たずに自分自身を撮影する場合やみんなで一緒に撮影する場合に、セルフタイマーを使って撮影できます。シャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間も設定できます。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[ ]を選び ▤ を押す

2 [撮影]→[セルフタイマー]を選び ▤ を押す

- カメラモード画面で ▼ を押してもセルフタイマーを設定できます。

セルフタイマー画面が表示されます。

3 シャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間を選び ▤ を押す

[OFF]、[10秒]、[5秒]、[2秒]から選択します。
セルフタイマーが設定され、「 」が表示されます。

- セルフタイマー起動中に電話がかかってくると、撮影が中止されます。
- 撮影後、セルフタイマーは自動的に[OFF]に戻ります。

カメラ

フォトライトを点灯する

アウトカメラで暗い場所などで撮影するときには、FOMA端末内蔵のフォトライトを点灯させることができます。

1 カメラモード画面で [ライトキー] を押す

[ライトキー] を押すたびに、フォトライトの[ON]/[OFF]が切り替わります。
[ON]にするとフォトライトが点灯し、「[アイコン]」が表示されます。

● フォトライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありません。

フラッシュを発光させる

アウトカメラを使い暗い場所で撮影するときにフラッシュを使用できます。

- 撮影モードを[BestPic™]または[連続撮影]に設定しているときにフラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光量はフォトライト点灯時と同程度まで低下します。
- 撮影モードを[パノラマ撮影]に設定すると、フラッシュが一時的に[発光禁止]に変更されます。

1 カメラモード画面で [メール] (機能)を押し、[[アイコン]]を選び [メニュー] を押す

2 [撮影]→[フラッシュ]を選び [メニュー] を押す

- カメラモード画面で [▶] を押してもフラッシュを設定することができます。

[AUTO]　：周囲の明るさに応じてフラッシュを発光します。
[強制発光]：フラッシュを必ず発光します。
[発光禁止]：フラッシュを発光しません。

3 フラッシュの種類を選び [メニュー] を押す

フラッシュが設定され、フラッシュの種類に対応したアイコンが表示されます。

- [AUTO]に設定した場合、アイコンは表示されません。

アイコン	種類	アイコン	種類
[アイコン]	強制発光	[アイコン]	発光禁止

グリッドラインを利用する

3×3の格子状に表示されるグリッドラインを構図を決めるための補助線として利用できます。画面内に被写体をバランスよく配置して撮影できます。

- 撮影モードを[デコフォト]に設定している場合、グリッドラインは表示されません。
- 動画の撮影種別を[音声のみ]に設定している場合、グリッドラインは表示されません。

1 カメラモード画面で [メール] (機能)を押し、[[アイコン]]を選び [メニュー] を押す

2 [撮影]→[グリッドライン]を選び [メニュー] を押す

- カメラモード画面で [6] を押してもグリッドラインを設定できます。

3 [ON]/[OFF]を選び [メニュー] を押す

[ON]にするとグリッドラインが表示されます。

他のFOMA端末でも再生できるように設定する

撮影する動画を他のFOMA端末でも再生できるように、各種設定を一括で変更します。

- 共通再生モードを[高画質]または[長時間]に設定した場合、カメラの設定が次のように変更されます。

項　目	高画質	長時間
画像サイズ	[QCIF(176×144)]	[sQCIF(128×96)]
撮影画質	スーパーファイン	ファイン
ファイルサイズ制限	メール添付(小)	メール添付(小)
撮影種別	映像+音声	映像+音声

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](動画撮影)を選び を押す

動画撮影画面に切り替わります。

2 (機能)を押し、[ ]を選び を押す

3 [撮影]→[共通再生モード]を選び を押す

共通再生モード選択画面が表示されます。

[OFF]　：通常の動画を撮影します。
[高画質]：画質重視で撮影します。
[長時間]：録画時間重視で撮影します。

4 共通再生モードを選び を押す

共通再生モードが設定され、共通再生モードの種類に対応したアイコンが表示されます。

- [OFF]に設定した場合、アイコンは表示されません。

SP	高画質	LP	長時間

撮影時のカメラを調整する

色合いを調節する

撮影時の光の状況により画像の色合いを補正できます。撮影画像が不自然な色合いのときは、撮影環境にあわせたホワイトバランスを設定してください。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [調整]→[ホワイトバランス]を選び を押す

- カメラモード画面で 4 を押してもホワイトバランスを設定できます。

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

[AUTO]：色バランスを自動的に調節します。
[電球]　：電球/白熱灯の下での撮影時に使用します。
[蛍光灯]：蛍光灯の下での撮影時に使用します。
[晴天]　：晴れた日の野外での撮影時に使用します。
[曇天]　：曇りの日の野外や日陰での撮影時に使用します。

次ページにつづく

3 ホワイトバランスの種類を選び ▤ を押す

ホワイトバランスが設定され、ホワイトバランスの種類に対応したアイコンが表示されます。

- ［AUTO］に設定した場合、アイコンは表示されません。

	電球		蛍光灯		晴天		曇天

明るさを自動調節する部分を設定する

画像の明るさ（露出）を画面のどの部分にあわせて調節するかを設定できます。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［ ］を選び ▤ を押す

2 ［調整］→［測光モード］を選び ▤ を押す

- カメラモード画面で 5 を押しても測光モードを設定できます。

測光モード選択画面が表示されます。

［中央重点］：画面中央付近に重点を置いて周辺も測光するモードです。

［平均］：画面全体を平均的に測光するモードです。

［スポット］：画面中央の一部分のみを測光するモードです。被写体のポイントを画面中央のスポット測光照準「 」にあわせて撮影してください。逆光のときや被写体と背景のコントラストが強いときに便利です。

3 測光モードを選び ▤ を押す

測光モードが設定され、測光モードの種類に対応したアイコンが表示されます。

	中央重点		平均		スポット

画像に特殊効果を加える

画像に特殊効果を加えて撮影できます。

- インカメラで撮影する場合、［ソラリ］は選択できません。

1 カメラモード画面で ✉（機能）を押し、［ ］を選び ▤ を押す

2 ［調整］→［ピクチャエフェクト］を選び ▤ を押す

- カメラモード画面で 8 を押してもピクチャエフェクトを設定できます。

ピクチャエフェクト選択画面が表示されます。

［OFF］：ピクチャエフェクトを設定しません。

［ネガ］：画像を写真のネガフィルムのようにします。

［ソラリ］：画像を明暗がはっきりしたイラストのようにします。

［セピア］：画像を古い写真のような色合いにします。

［モノトーン］：画像を白黒にします。

3 特殊効果を選び ▤ を押す

ピクチャエフェクトが設定されます。

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。リセットされる項目は次のとおりです。

項　目	お買い上げ時の設定	項　目	お買い上げ時の設定
シーンセレクション	AUTO	ズーム倍率	1.0倍
EV値	±0.0EV	ホワイトバランス	AUTO
測光モード	中央重点	ピクチャエフェクト	OFF

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[ ]を選び ▤ を押す

2 [調整]→[調整リセット]を選び ▤ を押す

- カメラモード画面で 0 を押しても調整リセット確認画面を表示できます。

調整リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ▤ を押す

設定がリセットされます。

カメラの動作を設定する

撮影した画像の保存先を選択する

撮影した画像の保存先を設定できます。

例：静止画の保存先をmicroSDメモリーカードにする場合

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[ ]を選び ▤ を押す

2 [設定]→[保存先選択]を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：データBOXに保存します。静止画の場合はマイピクチャから、動画の場合はｉモーションから保存するフォルダを選択します。

[microSD]　：microSDメモリーカードに保存します。静止画はマイピクチャの[通常カメラ画像]フォルダ内に、映像＋音声および映像のみの動画はｉモーションの[通常コンテンツ]フォルダ内に、音声のみの動画はMMファイルに保存します。

3 [microSD]を選び ▤ を押す

画像の保存先が設定され、保存先の種類に対応したアイコンが表示されます。

	データBOX	※	microSDメモリーカード

※ microSDメモリーカードを挿入していない場合は表示されません。

● SD保存時ミニフォト複製を[複製しない]に設定している場合、画像の保存先を[microSD]に設定すると、「ミニフォト複製しますか」と表示されます。ミニフォトを複製して保存する場合は、[本体へ複製]を選択します。（P.178、319）

撮影した画像を自動保存するかどうかを設定する

撮影した画像の保存方法を設定できます。

- 撮影モードを[デコフォト]、[パノラマ撮影]、[BestPic™]に設定すると、自動保存は一時的に[OFF]に変更され、設定を変更できません。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[自動保存]を選び を押す

自動保存選択画面が表示されます。

[ON] ：撮影後、自動的に保存します。

[OFF]：撮影後、保存する場合は保存確認画面で (保存)を押します。

3 [ON]/[OFF]を選び を押す

画像の保存方法が設定されます。

撮影した画像を自動的に複製して保存するかどうかを設定する

撮影した画像の保存先がmicroSDメモリーカードの場合、画像の複製を自動的に作成して保存することができます。

- 撮影時の画像サイズに応じて、次のサイズで複製され、データBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダに保存されます。

撮影時の画像サイズ	複製画像のサイズ
1M(1280×960)、2M(1632×1224)、3M(2048×1536)、5M(2592×1944)	VGA(640×480)
2Mワイド(1920×1080)	852×480
QCIF(176×144)、QVGA(240×320)、VGA(640×480)、待受(480×864)、パノラマ撮影画像、デコフォト画像	撮影時の画像サイズ

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[SD保存時ミニフォト複製]を選び を押す

3 [本体へ複製]/[複製しない]を選び を押す

SD保存時ミニフォト複製が設定されます。[本体へ複製]にすると「 」が表示されます。

画像の画質を選択する

撮影する画像の画質を選択できます。

- 動画の画像サイズを[QVGA(320×240)]、[VGA(640×480)]に設定している場合、撮影画質は[スーパーファイン]のみ選択できます。[sQCIF(128×96)]に設定している場合、撮影画質に[スーパーファイン]は選択できません。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[撮影画質]を選び ☰ を押す

撮影画質選択画面が表示されます。

静止画の場合

[ファイン]　：画質を優先したモードです。ファイルサイズは大きくなります。
[スタンダード]：標準的な画質のモードです。
[エコノミー]　：最も画質を落としたモードです。ファイルサイズは小さくなります。

動画の場合

[スーパーファイン]：画質を優先したモードです。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。
[ファイン]　：画像の動きがなめらかになる画質のモードです。
[スタンダード]　：標準的な画質のモードです。
[エコノミー]　：最も画質を落としたモードです。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

3 画質を選び ☰ を押す

画質が設定され、画質の種類に対応したアイコンが表示されます。

SFINE	スーパーファイン(動画のみ)	STD	スタンダード
FINE	ファイン	ECO	エコノミー

デジタルズームを使用するかどうかを設定する

アウトカメラ撮影時に光学ズームの最大倍率を超えたときに、デジタルズームを使用するかどうかを設定します。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[🧰]を選び ☰ を押す

2 [設定]→[デジタルズーム]を選び ☰ を押す

[ON]　：光学ズームの最大倍率を超えると、それ以降デジタルズームを行います。
[OFF]：デジタルズームを使用しません。

3 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

デジタルズームが設定されます。

撮影した画像の向きをFOMA端末にあわせて回転する

静止画撮影時のFOMA端末の縦横の向きを記録して、画像の再生時、撮影時の上部が端末の上部になるように表示します。

1 カメラモード画面で ✉ (機能)を押し、[🧰]を選び ☰ を押す

2 [設定]→[本体縦横自動判別]を選び ☰ を押す

3 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

本体縦横自動判別が設定されます。[ON]にするとFOMA端末の向きに対応したアイコンが表示されます。

- 画像サイズを[QVGA (240×320)]または[待受(480×864)]に設定すると、保存方向表示アイコン「TOP」が表示されます。表示される方向を上として保存されます。

TOP	通常撮影時の向き	TOP	FOMA端末を180度回転
TOP	FOMA端末を右に90度回転	TOP	FOMA端末を左に90度回転

カメラ

次ページにつづく

● 本体縦横自動判別を[ON]に設定して撮影した画像は、撮影時のFOMA端末の向きに応じて回転して表示されるため、画像の表示上の向きが保存の向きと異なる場合があります。(P.151)

シャッター音を変更する

静止画の撮影モードを[通常撮影]、[スマイルシャッター]、[パノラマ撮影]、[高感度撮影]、[BestPic™]、[フレーム撮影]に設定しているときのシャッター音を3種類から選択できます。

- シャッター音の音量は固定されています。音量を調節したり、音を消したりすることはできません。また、マナーモードを設定していても、シャッター音は鳴ります。
- 撮影モードを[デコフォト]に設定しているときは、現在設定されているシャッター音が鳴ります。シャッター音を設定することはできません。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[シャッター音]を選び を押す

シャッター音選択画面が表示されます。

3 シャッター音を選び を押す

シャッター音が設定されます。

シャッター音を確認する場合

シャッター音にカーソルをあわせ、 (聞く)を押します。

手ブレを補正する

アウトカメラで静止画を撮影するときに、手ブレ補正機能を利用するかどうかを設定できます。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[手ブレ補正]を選び を押す

手ブレ補正選択画面が表示されます。

3 [AUTO]/[OFF]を選び を押す

手ブレ補正が設定され、手ブレ補正の設定に対応したアイコンが表示されます。

	AUTO		OFF

● 動画撮影の場合、アウトカメラは手ブレ補正が[AUTO]、インカメラは手ブレ補正が[OFF]で撮影されます。
● 手ブレ補正機能とは、手ブレを軽減するものであり、被写体や撮影条件により効果は異なります。
● 次のような場合は、手ブレ補正の効果が出にくいことがあります。
- 手ブレが大きいとき
- ズームを使用しているとき
- シーンセレクションを[夜景]、[暗闇]に設定しているとき
● 動いている被写体を撮影する場合、残像が残ることがあります。この場合は、手ブレ補正を[OFF]に設定してください。

ファイル番号をリセットする

ファイル番号(P.151)「999-9999」の静止画がmicroSDメモリーカードに保存されると、空き容量があってもそれ以上静止画を保存できなくなります。ファイル番号リセットを行うと、microSDメモリーカードの最大ファイル番号までリセットされます。ファイル番号をリセットする場合は、あらかじめリセットしたいファイル番号以上の静止画を削除してください。

- microSDメモリーカードに空き容量がない場合は、ファイル番号リセットを行っても保存できません。この場合は、microSDメモリーカードを交換するか、microSDメモリーカードのデータを削除してください。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ]を選び を押す

2 [設定]→[ファイル番号リセット]を選び を押す

ファイル番号リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び を押す

ファイル番号がリセットされます。

撮影する動画のファイルサイズを制限する

動画のファイルサイズを、ｉモードメールに添付可能なサイズに制限できます。

1 カメラモード画面で (機能)を押し、[ ](撮影モード)→[ ](動画撮影)を選び を押す

動画撮影画面に切り替わります。

2 (機能)を押し、[ ]を選び を押す

3 [設定]→[ファイルサイズ制限]を選び を押す

ファイルサイズ制限選択画面が表示されます。

[メール添付(小)]：約500Kバイトまで撮影できます。

[メール添付(大)]：約2Mバイトまで撮影できます。

[制限なし]：ファイルサイズ制限を設定しません。約1時間まで撮影できます。保存先が[microSD]の場合に選択できます。

4 ファイルサイズ制限の種類を選び を押す

動画のファイルサイズ制限が設定され、ファイルサイズ制限の種類に対応したアイコンが表示されます。

	メール添付(小)		メール添付(大)		制限なし

● 撮影状況や被写体によっては、ファイルサイズ制限で設定したファイルサイズに達する前に撮影が終了することがあります。

動画の撮影種別を選択する

動画の撮影種別を3種類から選択できます。

1 **カメラモード画面で ✉（機能）を押し、[□]（撮影モード）→[🎞]（動画撮影）を選び ☰ を押す**

動画撮影画面に切り替わります。

2 **✉（機能）を押し、[🧰]を選び ☰ を押す**

3 **[設定]→[撮影種別]を選び ☰ を押す**

撮影種別選択画面が表示されます。

[映像＋音声]：映像と音声を撮影します。

[映像のみ]　：映像のみ撮影します。音声は録音されません。

[音声のみ]　：音声のみ録音します。映像は録画されません。

4 **撮影種別を選び ☰ を押す**

撮影種別が設定され、撮影種別の種類に対応したアイコンが表示されます。

🎞	映像＋音声	🎞	映像のみ	🎤	音声のみ

バーコードリーダーを利用する 〈バーコードリーダー〉

アウトカメラを利用してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取った文字情報からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、iアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピー/貼付を行うことができます。また、トルカを取得したり、画像やメロディのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- JANコード/QRコードを読み取るときは、アウトカメラを［通常］で約30cm以上、［マクロ］で約10cm以上離して読み取ってください。読み取りにくいときは、アウトカメラとの距離や角度、方向などを調節してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、サイズ、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- JANコードとQRコード以外のバーコード・2次元コードは読み取ることができません。

■JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。13桁および8桁のJANコードを読み取ることができます。

「例：4942857133110」

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している2次元コードの1つです。データとは、英数字・文字列（漢字・カナ・絵文字）・メロディ・静止画・トルカです。

- QRコードは、最大16個までつなげて読み取り1つのデータとして保存できます。分割された複数のQRコードの場合、最初のQRコードを読み取ると、次のQRコードを読み取る旨のメッセージが表示されます。メッセージに従い、QRコードを読み取ってください。

「例：FOMA SO905iCS」

JANコード/QRコードを読み取る

JANコード、QRコードを読み取ってデータを保存できます。また、文字入力中に、JANコード、QRコードの情報をテキストボックスに入力することもできます。（P.387）

1 メニューで［LifeKit］→［バーコードリーダー］→［コード読み取り］を選び ☰ を押す

バーコードリーダーが起動し、「▦」が表示されます。

オートフォーカスの有効距離を切り替える場合

ch（通常/マクロ）を押します。押すたびに［通常］/［マクロ］が切り替わります。

カメラ

次ページにつづく

2 JANコード/QRコードを画面中央に表示し、 (開始)を押す

JANコード/QRコードの読み取りを開始します。

読み取りが終了すると、終了音が鳴り、読み取ったデータが通常画面で表示されます。

読み取ったURLをブックマークに登録する場合

URLにカーソルをあわせ、機能メニュー［Bookmark登録］→［はい］→フォルダを選択します。

読み取った電話番号などを登録する場合

電話番号などにカーソルをあわせ、機能メニュー［電話帳登録］→［はい］を選択し、電話帳に登録します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3～6)またはFOMAカード電話帳登録(P.98操作3～4)と同じ操作を行ってください。

3 (保存)を押す

読み取ったJANコード/QRコードのデータが保存されます。

- 読み取ったQRコードによっては、名前、電話番号、メールアドレスなどを一括して電話帳に登録できます。
- 読み取った文字が文字編集画面で入力できない場合、スペース(空白)に置き換わります。
- 読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズなどによっては、保存できないことがあります。

保存したデータを表示する

読み取ったJANコード、QRコードは、10件まで保存されます。

- データが10件あるとき、新しくJANコード/QRコードを読み取ると、保護されていない古いデータから上書きされます。

1 メニューで[LifeKit]→[バーコードリーダー]→[保存データ]を選び を押す

データを削除する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→［1件削除］→［はい］を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、データを複数選択して (完了)を押し、［はい］を選択します。すべてのデータを削除する場合は、機能メニュー［削除］→［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

データを保護する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー［保護設定/解除］→［はい］を選択します。「」が「」に変わります。

2 データを選び を押す

ｉモード/ｉモーション/ｉチャネル

※ ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下、ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト(番組)接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

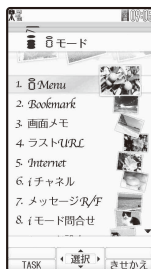
- ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイト(番組)やインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は一般に著作権法で保護されています。これらサイト(番組)やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部、あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画・動画・メロディなど)、画面メモおよびメッセージR/Fなどを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面や着信音などに設定している場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードメニューを表示する

〈ｉモードメニュー〉

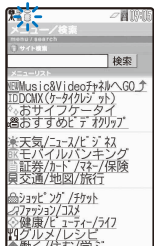
1 待受画面で [i] (ｉモード)を押す

メニュー名	機　能
ｉMenu	ｉモードセンターに接続します。(P.187)
Bookmark	お気に入りのサイトやインターネットホームページを表示します。(P.191)
画面メモ	FOMA端末に保存したサイトなどの画面を表示します。(P.193)
ラストURL	最後に表示したサイトやインターネットホームページを表示します。(P.187)
Internet	インターネットに接続します。(P.191)
ｉチャネル	チャネルメニューを表示します。(P.202)
メッセージR/F	受信したメッセージR/メッセージFの一覧を表示します。(P.231)
ｉモード問合せ	ｉモードセンターにメール、メッセージR、メッセージFが保管されていないか問い合わせます。(P.216、231)
ｉモード設定	ｉモードに関するFOMA端末の機能を設定します。(P.112、127、197など)
フルブラウザ	フルブラウザメニューを表示します。(P.280)

サイト表示中にｉMenuを表示する場合

機能メニュー[ｉMenu]を選択します。

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供するさまざまなサイトを見ることができます。（別途申し込みが必要な場合があります）

1 iモードメニューで[iMenu]→[メニュー/検索]を選び ▭ を押す

2 サイトを選び ▭ を押す

目的のサイトに接続します。

● 接続先のサイトによっては、ご利用になるために、「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。
送信される「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様のFOMA端末で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
送信される「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

● サイトからお客様のFOMA端末で再生した楽曲情報を要求されたときは、楽曲情報を送信するかどうかの確認画面が表示されます。
[はい]を選択すると、お客様のFOMA端末で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。
送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様向けにカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

最後に表示したページに再接続する

前回iモードに接続したときに、最後に表示したサイトのURLをラストURLとして記録します。ラストURLから、最後に表示したサイトに直接接続できます。

- ページによっては、ラストURLを記録できないものがあります。

1 iモードメニューで[ラストURL]を選び ▭ を押す

ラストURLを削除する場合

✉（削除）を押し、[はい]を選択します。

ラストURLをコピーする場合

i（コピー）を押します。

2 ▭（接続）を押す

最後に表示したサイトに接続します。

SSLページを表示する

通常サイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- SSLページを表示する場合は、あらかじめ日付時刻設定で日時を設定してください。

SSLサイトを取得する場合、左の画面が表示されます。SSLサイトを表示すると、「🔒」が表示されます。

証明書を表示する場合

機能メニュー[証明書表示]を選択します。

SSLサイトから通常のサイトへ移動する場合は、左の画面が表示されます。通常サイトを表示すると、「🔒」が消えます。

iモード／iモーション／iチャネル

次ページにつづく

● 接続するサイトが安全でない可能性がある場合、確認メッセージが表示されることがあります。[はい]を選択するとSSLサイトへ接続し、[いいえ]を選択するとSSLサイトには接続しません。
● サーバ証明書の不正などの問題がある場合、SSLサイトは表示できないことがあります。

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

サイト利用時には、リンク先の画面を表示させたり、文字を入力したり(テキストボックス)、複数の選択肢の中から項目を選択する(ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー)ことがあります。

リンク
関連するページへ進みます。

テキストボックス
文字を入力します。
- 入力できる文字モードと文字数は、テキストボックスにより異なります。
- iモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。

ラジオボタン
1つの項目を選択します。選択すると、「○」が「◉」に変わります。

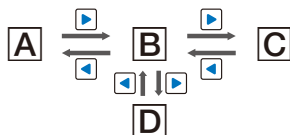
プルダウンメニュー
項目一覧から項目を選択します。

チェックボックス
複数の項目を選択します。選択すると、「□」が「☑」に変わります。
- チェックボックスを外す場合は、再度チェックボックスを選択します。

前のページに戻る/進む

FOMA端末は、直前に表示していたサイトの画面データを最新の画面から最大20画面キャッシュに記憶しています。
記憶した画面は、iモードを終了すると削除されます。
ガイド表示に左右矢印が表示されている場合は、◀ ▶ で通信を行わずにキャッシュに記憶された画面を表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは通信を行います。
- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- キャッシュとは、表示した画面データを一時的に記憶する端末内の場所です。

◀：1つ前の画面を記憶しています。◀ を押すと、1つ前の画面に戻ります。
▶：次の画面を記憶しています。▶ を押すと、次の画面に進みます。

例：A→B→C→B→Dの順でサイトを表示した場合

上記のようにA→B→Cの順にサイトを表示し、Bに戻ったあとでDを表示するとB→Cの履歴は削除され、B→Dの履歴が記憶されます。

情報を再読み込みする

サイトの情報が正常に受信できなかった場合や、刻々と内容が変わるサイトの情報を、最新の情報に更新します。

1 サイトを表示中に ✉(機能)を押す
機能メニューが表示されます。

2 [再読込]を選び ▤ を押す
サイト画面の表示が更新されます。

URLを表示する

表示中のサイト画面のURLを表示します。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [URL表示]を選び ▭ を押す

サイト画面のURLが表示されます。

URLをコピーする場合

　i（コピー）を押します。

URLをメールで送信する

表示中のサイト画面のURLをメールで送信できます。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [メール作成]を選び ▭ を押す

メール編集画面が表示されます。
本文にはサイトのURLが入力されています。

3 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信（P.207操作2〜5）と同じ操作を行ってください。

文字を正しく表示する

サイトの文字が正しく表示されていないときは、変換して再表示できます。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [文字コード変換]→[変換]/[自動選択]を選び ▭ を押す

[変換]：

文字コードを順番に変換し再表示します。正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。[文字コード変換]→[変換]を数回繰り返すと元の表示に戻ります。

[自動選択]：

文字コードを自動選択して変換し表示します。

文字コードを変換して再表示します。

- 文字コードを変換しても正しく表示できないことがあります。また、正しく表示されているときに変換すると、正しく表示できないことがあります。

フルブラウザに切り替える

表示中のサイト画面をフルブラウザに切り替えて表示します。

1 サイトを表示中に ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フルブラウザ切替]→[OK]を選び ▭ を押す

フルブラウザに切り替わります。

- フルブラウザの操作については、P.280をご覧ください。

Flashとは

Flashとは、絵や音楽を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がさらに豊かになります。また、Flash画像を待受画面などに設定できます。

- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- ▭（選択）が表示されている場合でも、操作できないことがあります。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、効果音設定を[OFF]に設定してください。
- Flash画像再生中に、約30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。Flash画像を再度動作する場合は、機能メニュー[リトライ]を選択してください。再生しない場合はFlash画像全体を表示させるか、再生可能な位置になるまで表示位置を調整してください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しないことがあります。
- Flash画像によっては画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なることがあります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDメモリーカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。

● 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
● Flash画像によっては、再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。バイブレータを[OFF]にしていても振動しますのでご注意ください。
● Flash画像には、お客様のｉモード端末の登録データを利用するものがあります。登録データを利用するには、ｉモード設定の登録データ利用設定を[利用する]に設定してください。(P.198) お買い上げ時は、[利用する]に設定されています。なお、Flash画像が利用する登録データには次のものがあります。
- 電池残量
- 時刻情報
- バイリンガル設定
- 機種情報
- 受信レベル
- 効果音設定
- 端末種別

ｉモードを終了/切断する

1 ｉモード中に を押し、[はい]を選び を押す

ｉモードが切断され、「」が消えます。

マイメニューに登録する

〈マイメニュー〉

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトに簡単に接続できます。マイメニューは45件まで登録できます。

• マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

1 サイトを表示中に[マイメニュー登録]を選び を押す

• [マイメニュー登録]の位置やメニュー構成は各サイトによって異なります。

2 [ｉモードパスワード]にｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「****」で表示されます。

3 [決定]を選び を押す

マイメニューへ登録されます。

● 有料サイトに申し込むと、自動的にマイメニューに登録されます。

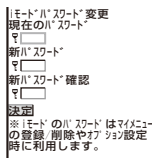
ｉモードパスワードを変更する

〈ｉモードパスワード変更〉

マイメニューの登録/削除、ｉモードメールの設定などを行うときは「ｉモードパスワード」が必要となります。ご契約時、ｉモードパスワードは「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワードに変更してください。
なお、ｉモードパスワードは他の人に知られないよう十分ご注意ください。

• ｉモードパスワードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 ｉモードメニューで[ｉMenu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[ｉモードパスワード変更]を選び を押す

ｉﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※ｉﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

2 [現在のパスワード]に現在のｉモードパスワードを入力する

入力したパスワードは「****」で表示されます。

3 [新パスワード]に新しいパスワードを入力する

4 [新パスワード確認]に新しいパスワードを入力する

5 [決定]を選び を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

インターネットホームページを表示する 〈インターネット接続〉

ｉモード端末からインターネットに接続し、ｉモード対応のホームページを見ることができます。

- ｉモード対応のホームページ以外は、正しく表示できないことがあります。

1 ｉモードメニューで[Internet]→[URL入力]を選び ▭ を押す

URL入力画面が表示されます。

- 以前にURLを入力した場合は、前回入力したURLが表示されます。
- URLの先頭の「http://」まではあらかじめ入力済みの状態で表示されます。

2 ⓘ(編集)を押し、URLを入力する

「http://」を含み半角の英数字・記号256文字以内で入力します。

3 ▭ (接続)を押す

入力したURLのサイトに接続します。

- 表示中の操作は、ｉモードのサイトの場合と同じです。

URL履歴を使って表示する

URLを入力して表示したサイトを、URL履歴として50件まで記録します。URL履歴からサイトに直接接続できます。

- URL履歴が50件を超えると、古い履歴から順番に上書きされます。

1 ｉモードメニューで[Internet]→[URL履歴]を選び ▭ を押す

URL履歴画面が表示されます。

URL履歴を削除する場合

URL履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、URL履歴を複数選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのURL履歴を削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 URL履歴を選び ▭ を押す

URL履歴内容表示画面が表示されます。

URLをコピーする場合

ⓘ(コピー)を押します。

3 ▭ (接続)を押す

URL履歴のサイトに接続します。

ホームページやサイトを登録して素早く表示する 〈Bookmark〉

よく見るサイトのURLをブックマークとして200件まで登録できます。ブックマークからサイトに直接接続できます。

- ブックマークにはｉモードのサイトとインターネットホームページのどちらも登録できます。ただし、サイトやインターネットホームページによっては、登録できないことがあります。
- サイトなどで入力した文字や設定は、ブックマークに登録されません。

ブックマークに登録する

「http://」を含み半角の英数字・記号256文字までのURLを登録できます。

1 サイトを表示中に ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [Bookmark登録]→フォルダを選び ▭ を押す

選択したフォルダにブックマークが登録されます。

最大件数保存されている場合

ブックマークを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、上書きするブックマークを選択します。

● タイトルは全角12文字/半角24文字まで登録できます。タイトルの文字数がそれ以上ある場合は超えた部分が削除されます。タイトルがないときはURLが表示されます。

次ページにつづく

ホームページやサイトを表示する

ブックマークを使ってサイトに接続します。

1 ｉモードメニューで[Bookmark]を選び ▤ を押す

ブックマークフォルダ一覧が表示されます。

- フォルダの種類は次のアイコンで確認できます。

(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ
(青)	お客様が作成したフォルダ

2 フォルダを選び ▤ を押す

ブックマーク一覧画面が表示されます。

3 ブックマークを選び ▤ (接続)を押す

選択したブックマークのサイトに接続します。

URLを確認する場合

ブックマークにカーソルをあわせ、ⓘ(確認)を押します。

ブックマークのURLをコピーする場合

ブックマークにカーソルをあわせ、ⓘ(確認)を押して ⓘ (コピー)を押します。

タイトルを変更する場合

ブックマークにカーソルをあわせ、機能メニュー［タイトル変更］を選択します。全角12文字、半角24文字以内で入力します。

サイト表示中に別のサイトに接続する場合

機能メニュー［Bookmark操作］→フォルダ→ブックマークを選択します。

● microSDメモリーカードのブックマーク一覧画面では、ｉモードのブックマークには「」、フルブラウザのブックマークには「FB」が表示されます。

フォルダを追加/削除する

ブックマークを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。ブックマークは、最大10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- お買い上げ時に用意されているフォルダは削除できません。

例：フォルダを追加する場合

1 ｉモードメニューで[Bookmark]を選び ▤ を押し、✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び ▤ を押し、フォルダ名を入力する

全角10文字、半角20文字以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ名変更］を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

別のフォルダへ移動する

ブックマークは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例：1件ずつ移動する場合

1 ｉモードメニューで[Bookmark]→フォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー［移動］→［フォルダ内全件移動］→［はい］→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー［移動］→［選択移動］を選択し、ブックマークを複数選択して ⓘ (完了)を押し、［はい］→フォルダを選択します。

2 ブックマークを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び ▭ を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び ▭ を押す

選択したブックマークが別のフォルダへ移動されます。

削除する

ブックマークは4とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 iモードメニューで[Bookmark]を選び ▭ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び ▭ を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、ブックマークを複数選択して ▭ (完了)を押し、[はい]を選択します。

3 ブックマークを選び ▭ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

4 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ▭ を押す

選択したブックマークが削除されます。

サイトの内容を保存する

〈画面メモ〉

サイト画面などを画面メモとして保存できます。保存した画面は簡単に呼び出すこともできます。

- 画面メモは1件あたり100Kバイトまで、最大100件保存できます。保存件数は、データにより少なくなることがあります。
- サイトなどで入力した文字や設定は、画面メモに保存されません。

画面メモを保存する

1 サイトを表示中に ▭ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [画面メモ保存]を選び ▭ を押す

画面メモが保存されます。

メモリの空き容量が不足している場合

画面メモを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、不要な画面メモを選択して ▭ (完了)を押し、[はい]を選択します。

最大件数保存されている場合

画面メモを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、[はい]を選択し、上書きする画面メモを選択します。

画面メモを表示する

保存した画面メモを表示します。画面メモの状態は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	説明
	通常の画面メモ
	保護設定されている画面メモ

1 iモードメニューで[画面メモ]を選び ▭ を押す

画面メモ一覧画面が表示されます。

2 画面メモを選び ▭ を押す

画面メモが表示されます。

URLを確認する場合

画面メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[URL表示]を選択します。

タイトルを変更する場合

画面メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

● Flash画像やGIFアニメを再度動作する場合は、機能メニュー[リトライ]を選択してください。再生しない場合はFlash画像全体を表示させるか、再生可能な位置になるまで表示位置を調整してください。

次ページにつづく

保護する

画面メモは上書きされないように保護できます。保護できる件数は最大50件です。

1 画面メモ一覧で画面メモを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されている画面メモにカーソルをあわせ、✉(機能)を押します。

2 [保護設定/解除]→[はい]を選び ▤ を押す

画面メモが保護設定され、「」が「」に変わります。

削除する

画面メモは3とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 iモードメニューで[画面メモ]を選び ▤ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、画面メモを複数選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。

2 画面メモを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ▤ を押す

選択した画面メモが削除されます。

サイトやメッセージから画像を取得する 〈画像取得〉

サイト、画面メモなどから画像やフレームなどを取得し、マイピクチャに保存できます。

- 画像は1件あたり100Kバイトまで保存できます。保存件数は、保存先の空き容量、データのサイズにより変動します。

例：サイト画面に表示されている画像を保存する場合

1 サイトを表示中に ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [画像取得]を選び ▤ を押す

背景画像を保存する場合

[背景画像取得]を選択します。

3 [保存]→画像を選び ▤ を押す

選択した画像が枠で囲まれ、保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：

データBOXに保存します。保存するフォルダを選択します。

[microSD]：

microSDメモリーカードに保存します。

保存後に画面設定をする場合

[保存して設定]→画像→保存先→画面設定を選択します。

フレーム/スタンプ/デコメ絵文字を保存する場合

[保存]→画像を選択します。データBOXのマイピクチャ内の各フォルダに保存されます。

4 保存先を選び ▤ を押す

選択した保存先に画像が保存されます。

メモリの空き容量が不足しているまたは最大件数保存されている場合

メモリ不足または最大件数登録している旨の画面が表示されます。保存する場合は、[削除ファイル選択]→フォルダ→データを選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。

- 画像サイズが[UXGA(1600×1200)]を超えるGIF画像、[待受(480×864)]を超えるGIFアニメはデータBOXに保存できません。また、JPEG画像によってはデータBOXに保存できないことがあります。

サイトからデータをダウンロードする 〈ダウンロード〉

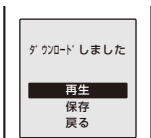
サイトからメロディ、PDFデータ、キャラ電、トルカ、デコメールテンプレート、辞書データ、きせかえツール、メール（vMessage形式）、ブログ投稿サービス情報ファイルなどをダウンロードすることができます。

■ダウンロード可能なファイル

種　類	ダウンロード可能最大サイズ
メロディ（SMF/MFi）※	100Kバイト
PDFデータ※	2Mバイト
キャラ電	100Kバイト
トルカ※	1Kバイト
トルカ（詳細）※	100Kバイト
デコメールテンプレート	200Kバイト
辞書データ	100Kバイト
きせかえツール	2Mバイト
メール（vMessage）※	200Kバイト
ブログ投稿サービス情報ファイル	100Kバイト

※ 保存件数は、保存先の空き容量、データのサイズにより変動します。

例：サイトからメロディをダウンロードする場合

1 サイトを表示中にメロディを選び ▤ を押す

メロディがダウンロードされ、保存確認画面が表示されます。

保存する前にメロディを確認する場合
　[再生]を選択します。

保存しない場合
　[戻る]→[はい]を選択します。

2 [保存]を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：
　データBOXに保存します。保存するフォルダを選択します。

[microSD]：
　microSDメモリーカードに保存します。

3 保存先を選び ▤ を押す

メロディが保存されます。

キャラ電/デコメールテンプレート/辞書データをダウンロードする場合
　サイトを表示中にデータを選択し、[保存]を選択します。

きせかえツールをダウンロードする場合
　サイトを表示中にきせかえツールを選択し、[保存]/[部分保存]/[保存して設定]を選択します。

PDFデータをダウンロードする場合
　サイトを表示中にPDFデータを選択し、[データBOX]/[microSD]を選択します。

トルカをダウンロードする場合
　サイトを表示中にトルカを選択し、[はい]→フォルダを選択します。

メールをダウンロードする場合
　サイトを表示中にメールを選択し、[保存]/[メールBOXに登録]を選択します。

- [メールBOXに登録]を選択すると、FOMA端末のメールBOXへ保存できます。データに複数のメールが含まれている場合は、先頭のメールのみ保存します。

ブログ投稿サービス情報ファイルをダウンロードする場合
　サイトを表示中にブログ投稿サービス情報ファイルを選択し、[保存]→[はい]を選択します。

メモリの空き容量が不足している場合
　データを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、不要なデータを選択します。（P.326）

- ダウンロードしたメロディは、正しく再生できないことがあります。
- サイズが不明なPDFデータの場合、2Mバイトまでダウンロードします。
- ダウンロードに失敗したPDFデータは、再度ダウンロードすると表示できることがあります。ただし、PDFデータによっては表示できないこともあります。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電、PDFデータを削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

Phone To・Mail To・Web To・ｉアプリTo機能を使う

サイト、メッセージ、メールの本文、ｉアプリ、トルカ、PDFデータ、ｉチャネルのチャネル一覧などで反転して表示されている情報を利用して電話をかけたり、メールを作成したり、インターネットホームページを表示したり、ｉアプリを起動したりできます。

- サイト、メール、メッセージ、ソフト、トルカ、ｉチャネルなどによっては、表示されている電話番号/メールアドレス/URL/ｉアプリのリンクを選択できず、機能を利用できない場合があります。

表示中の画面から電話をかける

表示中の画面の電話番号から音声電話/テレビ電話/プッシュトークを発信したり、SMSを送信したりできます。(Phone To、AV Phone To機能)

- 2in1のモードがBモードのときは、プッシュトーク発信できません。
- ｉアプリからはSMSを送信できません。

1 画面中の電話番号を選び [メニュー] を押す

発信確認画面が表示されます。

2 [はい]→[音声電話]/[テレビ電話]/[プッシュトーク]/[SMS]を選び [メニュー] を押す

- 条件を指定して電話をかける(P.60操作1～3)と同じ操作を行ってください。

表示中の画面からメールを作成・送信する

表示中の画面のメールアドレスからメールを作成・送信できます。(Mail To機能)

- 2in1のモードがBモードのときは、Mail To機能を利用できません。

1 画面中のメールアドレスを選び [メニュー] を押す

メール編集画面が表示されます。
宛先には選択したメールアドレスが入力されています。

2 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信(P.207操作3～5)と同じ操作を行ってください。

表示中の画面からサイトに接続する

表示中の画面のURLからｉモードまたはフルブラウザでサイトに接続できます。(Web To機能)

1 画面中のリンク(URL)を選び [メニュー] を押す

リンク先のサイトに接続します。

表示中の画面からｉアプリを起動する

表示中の画面のリンクからｉアプリのソフトを起動できます。また、赤外線通信を利用してソフトを起動することもできます。(ｉアプリTo機能)

- あらかじめｉアプリToで起動するソフトをダウンロードしてください。
- ｉアプリTo設定(P.241)を[許可しない]に設定している場合は、起動できません。

1 画面中のｉアプリのリンクを選び [メニュー] を押す

起動確認画面が表示されます。

iモード／iモーション／iチャネル

2 **[はい]を選び ▤ を押す**

ソフトが起動します。

i モードの設定を行う

〈i モード設定〉

接続待ち時間を設定する

i モードセンターが混み合っていてデータの送受信ができないときなど、自動的に接続を切断するまでの時間を設定します。

1 **i モードメニューで[i モード設定]→[共通設定]→[接続待ち時間設定]を選び ▤ を押す**

[60秒間]：
データ送受信ができない状態が60秒間続くと、自動的に接続を切断します。

[90秒間]：
データ送受信ができない状態が90秒間続くと、自動的に接続を切断します。

[無制限]：
i モードセンターとの切断時間を設定しません。（ただし、電波状態などにより、切断される場合があります）

2 **接続待ち時間を選び ▤ を押す**

接続待ち時間が設定されます。

i モードから接続先を変更する（ISP接続通信）

※ドコモの i モードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

i モード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先を10件まで設定できます。接続先を[i モード(FOMAカード)]以外に変更すると、i モードを利用できなくなります。

- [接続先名称]、[接続先番号]、[接続先アドレス]は必ず入力してください。

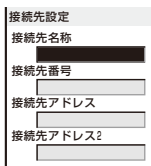
1 **i モードメニューで[i モード設定]→[共通設定]→[接続先選択]を選び ▤ を押す**

設定した接続先の内容を修正する場合
設定した接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー[修正]を選択し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

設定した接続先を削除する場合
設定した接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 **ⓘ（新規）を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 **端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す**

[接続先名称]：
接続先の名称を、全角8文字、半角16文字以内で入力します。

[接続先番号]：
接続先を、半角の英数字・記号99文字以内で入力します。

[接続先アドレス]/[接続先アドレス2]：
接続先アドレスを、半角の英数字・記号30文字以内で入力します。

4 **各項目を入力する**

5 **ⓘ（完了）を押す**

入力した接続先が保存されます。

6 **接続先を選び ▤ を押す**

接続先が変更されます。

● 接続先を[i モード(FOMAカード)]以外に設定した場合のパケット通信は、パケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフルの対象になりません。あらかじめご了承ください。

次ページにつづく

Flash画像で登録データを利用するかどうかを設定する

サイトや画面メモでFlash画像を再生時に、登録データ(P.190)を利用するかどうかを設定できます。

1 iモードメニューで[iモード設定]→[登録データ利用設定]を選び ☰ を押す

2 [利用する]/[利用しない]を選び ☰ を押す

登録データ利用設定が設定されます。

画像を表示しないようにする

サイトや画面メモを表示するときに、画像を表示するかどうかを設定できます。

1 iモードメニューで[iモード設定]→[画像表示設定]を選び ☰ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

画像表示設定が設定されます。
[OFF]に設定すると、画像の代わりに「🔍」が表示されます。

● 画像表示設定を[ON]に設定していても、画像が正しく表示されない場合があります。

サイトの文字を自動判別して表示する

サイトの文字コードを自動的に判別するように設定できます。

1 iモードメニューで[iモード設定]→[文字自動判別]を選び ☰ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ☰ を押す

文字自動判別が設定されます。

● 文字自動判別を[ON]に設定しても、一部のサイトでは正しく表示できない場合があります。

SSL証明書を操作する

〈SSL証明書操作〉

SSLサイトに接続する際に必要な証明書の有効/無効を設定します。

1 iモードメニューで[iモード設定]→[SSL証明書]を選び ☰ を押す

[CA証明書]:
認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

[ドコモ証明書]:
FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色/白色)内に保存されています。

[ユーザ証明書]:
[ユーザ証明書操作]でFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色/白色)内に保存されます。

証明書を確認する場合

証明書にカーソルをあわせ、☰ を押します。

2 証明書を選び ⓘ(設定)を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、☰ (OK)を押す

有効/無効設定画面が表示されます。

4 [有効]/[無効]を選び ☰ を押す

SSL証明書が設定されます。
[無効]に設定すると、「SSL」が「SSL」に変わります。証明書が必要なSSLページに接続すると、SSL通信が中断されます。

iモード/iモーション/iチャネル

FirstPassを設定する

〈ユーザ証明書操作〉

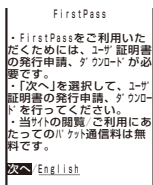
FirstPassセンターからユーザ証明書の発行やダウンロードができます。
ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色/白色のFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。

- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続する場合、日付時刻の設定を行ってください。（P.44）
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では、ユーザ証明書操作は利用できません。

1 iモードメニューで[iモード設定]→[ユーザ証明書操作]を選び ▤ を押す

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。
次へ/English

2 [次へ]を選び ▤ を押す

FirstPass
①証明書発行
②ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
③その他
④ご利用規則

3 [証明書発行]→[実行]を選び ▤ を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

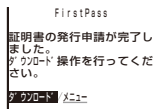
発行された証明書を失効させる場合

[その他]→[証明書失効]→[はい]を選択し、PIN2コードを入力して[実行]→[次へ]→[実行]を選択します。

4 PIN2コードを入力し、▤（OK）を押す

- 15秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

5 [ダウンロード]→[実行]を選び ▤ を押す

FirstPass
証明書の発行申請が完了しました。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

ユーザ証明書がダウンロードされ、SSL証明書の一覧に追加されます。（P.198）

FirstPassのご使用にあたって

- ●FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ●FirstPass対応サイトに接続したときのパケット通信は、パケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフルの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフルの対象外となります。
- ●FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付しあい、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ●FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ●ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ●ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。（P.131）
PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他の人に使用されないよう十分にご注意ください。

●FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
●FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、当社は、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いかねます。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
●FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、当社および認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

〈センター接続先選択〉

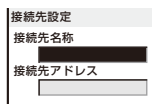
※通常は設定を変更する必要はありません。

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を1件設定できます。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

- ｉモード接続中は設定できません。

1 ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[センター接続先選択]を選び ▭ を押す

設定した接続先を編集する場合
設定した接続先にカーソルをあわせ、機能メニュー[編集]を選択し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

接続先をお買い上げ時の状態に戻す場合
機能メニュー[初期化]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 ｉ(新規)を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、▭(OK)を押す

[接続先名称]:
接続先の名称を、半角の英数字・記号99文字以内で入力します。

[接続先アドレス]:
接続先のアドレスを、半角の英数字・記号100文字以内で入力します。

4 各項目を入力する

5 ｉ(完了)を押す

入力した接続先が保存されます。

6 接続先を選び ▭ を押す

接続先が変更されます。

ｉモーションとは

ｉモーションとは、映像と音が含まれる動画データです。FOMA端末で再生したり、保存して待受画面などに設定できます。
ｉモーションには、次のようなタイプがあります。ｉモーションのタイプは、サイトにより異なり選択できません。

種類		説明
タイプ	再生形式	
標準タイプ(保存可※)	データ取得中に再生(最大10Mバイト)	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。
	データ取得後に再生(最大10Mバイト)	ｉモーションのデータをすべて取得したあとに再生します。
ストリーミングタイプ(保存不可)	データ取得中に再生(最大10Mバイト)	ｉモーションのデータを取得しながら自動的に再生します。再生が終わったｉモーションのデータは削除されます。

※ｉモーションによっては、保存できないものがあります。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

サイトからｉモーションを取得する 〈ｉモーション取得〉

サイトからｉモーションを取り込み保存できます。

- ｉモーションは1件あたり10Mバイトまで、最大150件保存できます。保存件数は、データにより少なくなることがあります。

1 サイトを表示中にｉモーションを選び ▤ を押す

ｉモーションがFOMA端末に取得されます。ｉモーション自動再生設定が[ON]に設定されている場合、取得したあとに自動的にｉモーションが再生されます。（取得しながら再生できるｉモーションの場合は、取得中にｉモーションが再生されます）

- 再生中の操作は、データBOXのｉモーションと同じです。（P.295）
- データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得は継続されます。

2 [保存]/[部分保存]を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：
データBOXのｉモーションに保存します。保存するフォルダを選択します。

[microSD]：
microSDメモリーカードに保存します。

再生する場合
[再生]を選択します。

詳細情報を表示する場合
[情報表示]を選択します。

3 保存先を選び ▤ を押す

ｉモーションが保存されます。

- ｉモーションによっては、データを取得しても正しく再生/保存できないことがあります。
- 電波状態、回線状況、回線速度によっては、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりすることがあります。標準タイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。
- ｉモーションによっては、取得/再生中にFOMA端末を閉じたり、他の機能を実行すると、取得/再生が中止されます。
- ASF形式のｉモーションは取得、再生できません。

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する 〈ｉモーション自動再生設定〉

標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定できます。

1 ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[ｉモーション自動再生設定]を選び ▤ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

[ON]：
ｉモーションを取得中または取得後に自動再生します。

[OFF]：
ｉモーションを取得中または取得後に自動再生せず、取得完了画面を表示します。

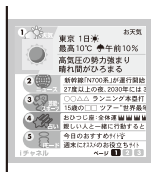
ｉチャネルとは

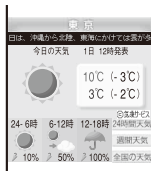
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ch を押すことでチャネル一覧に表示されたりします。（P.202）さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です）
また、チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
また、国際ローミング中の「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意ください。

- ｉチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● テロップ表示の表示速度を設定したり、表示しないように設定することもできます。（P.203）

ｉチャネルを表示する

1 待受画面で ch （ｉチャネル）を押す

チャネル一覧が表示されます。

2 チャネルを選び ☰ を押す

● ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。

ｉチャネルを受信したときは

2/ 1(金) 9:05 AM

∞→☀ 最高10℃ ☂10 ─ テロップ

情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

チャネル一覧を表示する場合

[ch]（ｉチャネル）を押します。

- ｉチャネルを受信すると、「☼」→「8」が点滅します。情報を受信しても着信音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- 接続先変更を行った場合、テロップが表示されなくなり、情報が自動更新されないことがあります。最新の情報を受信する場合は、[ch]（ｉチャネル）を押してチャネル一覧を表示してください。テロップも自動的に流れるようになります。
- ｉチャネルの接続先は、接続先選択で変更できます。（P.197）通常は変更する必要はありません。
- FOMA端末の電源がOFFまたは圏外の場合や電波状態が悪い場合は、情報を受信できないことがあります。[ch]（ｉチャネル）を押して情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- 以下の場合はテロップが表示されません。
  - オールロック設定中
  - パーソナルデータロック設定中
  - おまかせロック設定中
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - ｉチャネルサービス、ｉモードサービスを解約した場合

ｉチャネルの設定を変更する

テロップ表示を設定する

テロップ表示の表示速度を変更したり、テロップを表示しないように設定できます。

1 ｉモードメニューで［ｉチャネル］→［テロップ表示設定］を選び [MENU] を押す

テロップ表示設定画面が表示されます。

2 ［待受画面］にテロップを表示する速度を設定する

［速い］、［標準］、［遅い］から選択します。

テロップを表示しない場合

［OFF］を選択します。

- 2in1利用時は、2in1のモードごとにテロップ表示設定を設定できます。

ｉチャネルを初期状態に戻す

保存されているｉチャネルのデータを削除し、テロップ表示設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面が設定されている場合、テロップ表示設定は初期化されません。

1 ｉモードメニューで［ｉチャネル］→［ｉチャネル初期化］を選び [MENU] を押す

チャネル情報初期化確認画面が表示されます。

2 ［はい］を選び [MENU] を押す

ｉチャネルが初期化されます。

メール

iモードメールとは

iモードを契約するだけで、iモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル(JPEG、トルカ、PDFデータなど)を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- iモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

SMSについて

iモード契約をしなくてもFOMA端末間でメッセージをやりとりできます。

- 送信方法は(P.234)
- 受信方法は(P.235)
- 問い合わせ方法は(P.236)
- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

SMSを受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

メールメニューを表示する

〈メールメニュー〉

1 待受画面で ✉(メール)を押す

メニュー名	機　能
受信メール	受信したメールの表示、返信、転送などを行います。(P.216、219)
送信メール	送信したメールの表示、修正などを行います。(P.219)
保存メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールの表示などを行います。(P.219)
新規メール作成	新しくiモードメールを作成して送信します。(P.207)
WEBメール	WEBメールサイトに接続し、Bアドレス宛のメールを表示したり、Bアドレスからメールの作成や送信を行います。(P.398)
SMS作成	新しくSMSを作成して送信します。(P.234)
テンプレート一覧	デコメールのテンプレート一覧を表示します。(P.211)
iモード問合せ	iモードセンターに保管されているメール、メッセージR、メッセージFを取得します。(P.216、231)
SMS問合せ	SMSセンターに保管されているSMSを取得します。(P.236)
メール選択受信	iモードセンターに保管されているメールを選択して受信します。(P.215)
メール設定	FOMA端末のiモードメール、SMS、エリアメールに関する項目を設定します。(P.127、225、236など)

● WEBメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

iモードメールを作成して送信する 〈iモードメール作成・送信〉

送信したメールは［送信メール］に保存されます。

• 電波状態により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

1 メールメニューで［新規メール作成］を選び ☰ を押す

• メールメニューで ✉（新規メール）を押してもメール作成画面を表示できます。

2 ［To］に宛先を入力する

半角の英数字・記号50文字以内で入力します。

3 ［Sub］に題名を入力する

全角100文字、半角200文字以内で入力します。

4 ［▤］に本文を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。
絵文字Dを入力するとデコメールになります。（P.208）

位置情報を取得する場合
機能メニュー［位置情報取得］を選択します。（P.277）

プレビューを表示する場合
機能メニュー［プレビュー］を選択します。

5 ▣（送信）を押す

メールが送信されます。

本文を署名として保存する場合
機能メニュー［署名保存］を選択します。

● メール本文入力画面、宛先入力画面で機能メニュー［文字入力設定］→［文字サイズ］から文字サイズを変更した場合、語句候補リストの文字サイズのみに設定が反映されます。宛先、題名、本文の文字サイズは、次回メール作成時から変更されます。（P.127）
● 保存メールが50件保存されているときや保存メールの空き容量が少ないときは、新しいメールの作成、保存メールの編集はできません。
● 送信メールが500件保存されているときや空き容量が少ないときにメールを送信すると、保護されていない古い送信済みメールから順番に上書きされます。
● 複数の宛先に送信したときに送信に成功した宛先と失敗した宛先がある場合、同じメールが送信済みメールとして［送信メール］に、未送信/送信失敗メールとして［保存メール］に保存されます。
● 送信に成功していても電波状態によっては、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され、［保存メール］に保存されることがあります。
● 2in1のモードがBモードのときは、iモードメールを作成できません。
● Bアドレスからはiモードメールを送信できません。
● 位置情報を取得して、位置情報URLを貼付けた場合、本文には位置情報URLの前に「⚐」が入力されます。貼付けた位置情報URLはメール本文の文字数としてカウントされます。
● 受信側の端末によっては、題名はすべて受信できない場合があります。
● 他の携帯電話会社の端末に絵文字入りのiモードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。

宛先を追加する

宛先を追加して、同じ内容のiモードメールを一度に最大5人の相手に送信できます。宛先種別をTo、Cc、Bccから選択できます。

1 メール編集画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

次ページにつづく

2 **[宛先追加]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選び ▤ を押す**

選択した宛先([To]/[Cc]/[Bcc])が追加されます。

3 **追加した[To]/[Cc]/[Bcc]に宛先を入力する**

宛先を削除する場合

宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先削除]→[はい]を選択します。

宛先種別を変更する場合

宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先種別変更]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選択します。

4 **メールを作成し、送信する**

- iモードメール作成・送信(P.207操作3~5)と同じ操作を行ってください。

● To、Ccに入力したメールアドレスは受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されないことがあります。Bccに入力したメールアドレスは受信側に表示されません。

一括メールリストから宛先を入力する

一括メールリストに登録した複数の相手にメールを送信できます。

1 **メール編集画面で ✉ (機能)を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **[一括メールリスト]→メールリストを選び ▤ を押す**

リストのメンバーが宛先に入力されます。

メールリストから宛先を個別に選択する場合

一括メールリスト画面で i (個別)を押し、メンバーを選択します。

3 **メールを作成し、送信する**

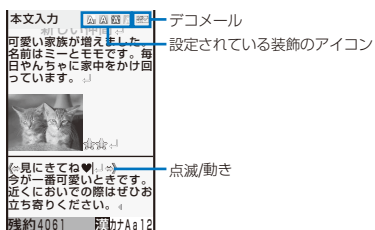
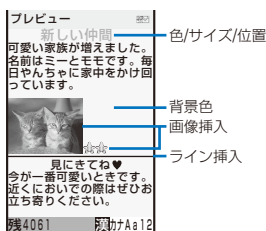
- iモードメール作成・送信(P.207操作3~5)と同じ操作を行ってください。

デコメールを作成して送信する

〈デコメール作成・送信〉

iモードメール本文に装飾(デコレーション)を行ったデコメールを作成して送信できます。

- 相手の機種によっては、正しく受信できなかったり、表示できない場合があります。

本文入力画面

プレビュー画面

1 **メールメニューで[新規メール作成]を選び ▤ を押す**

メール編集画面が表示されます。

2 **宛先、題名を入力する**

- iモードメール作成・送信(P.207操作2~3)と同じ操作を行ってください。

メール

3 [▤]に本文を入力/装飾する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。

- 本文に入力できる文字数は、装飾により少なくなることがあります。

本文入力画面で [↗] を押すとデコレーションメニューが表示されます。

装飾を設定して [✉](閉じる)を押すと、デコレーションメニューを終了します。
装飾できる項目およびデコレーションメニューに表示されるボタン、装飾後に本文入力画面のタイトル行に表示されるアイコンは次のとおりです。

デコレーションメニュー	アイコン	内　容
[1]：色/サイズ	A A A A	[▲][▼]で文字のサイズを大/中/小の3種類から選択し、[◀][▶]で文字、ラインの色を20色から選択します。 • 文字色を選択すると、絵文字の色も変更されます。通常の絵文字の色に戻す場合は[指定なし]を選択します。 • デコメ絵文字のサイズは変更できません。
[2]：クイックデコレーション	–	デコメールの背景色・文字色を一括で指定し、本文の上下に挿入する画像とその配色を選択できます。(P.210)
[3]：点滅/動き/位置	A A A ≡ ≡ ≡	[▲][▼]で点滅(する/しない)を選択し、[◀][▶]で位置(左揃え/中央揃え/右揃え)または動き(固定/テロップ/スウィング)を選択します。
[4]：画像挿入	–	画像をデータBOXのマイピクチャから20種類(90Kバイト)まで挿入できます。デコメ絵文字も選択できます。
[5]：指定範囲デコレーション	–	入力した本文の範囲を指定してデコレーションします。[色/サイズ]、[点滅/動き/位置]を続けてデコレーションできます。(P.210)
[6]：ライン挿入	–	[色/サイズ]で設定した色のラインを挿入します。
[7]：閉じる	–	デコレーションメニューを終了します。
[8]：背景色	–	背景の色を80色から選択します。
[9]：全解除	–	デコレーションをすべて解除します。

- デコレーションメニュー名の前にある数字を入力すると、装飾を設定できます。

直前のデコレーションを元に戻す場合

[i](元に戻す)を押します。

デコレーションを確認する場合

[✉](閉じる)を押し、機能メニュー[プレビュー]を選択します。

デコメ絵文字を入力する場合

[ch](絵/記)を押して、絵文字Dを選びます。絵文字Dは、メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面でのみ入力できるデコメ絵文字です。

4 [✉](閉じる)を押し、[i](送信)を押す

作成したデコメールをテンプレートとして保存する場合

機能メニュー[テンプレート保存]→[はい]を選択します。テンプレート一覧に保存されます。

メール

- 装飾した文字を削除しても、装飾データが残り、本文の入力文字数が少なくなることがあります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。
- 点滅、動き、アニメーションなどは、一定時間が経過すると自動的に停止します。
- 下記機種※以外に、10,000バイトを超えるデコメールを送信した場合、送信先では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用URLがないメールを受信することがあります。
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ(P703iμを除く)、704iシリーズ(P704iμを除く)、705iシリーズ、F801i

本文を入力して装飾を指定する

1 本文入力画面で を押す

デコレーションメニューが表示されます。

2 [ ]を選び を押す

3 装飾の始点を選び を押す

装飾する最初の文字が確定します。

4 装飾の終点を選び を押す

装飾する範囲が確定し、クロスデコパレットが表示されます。

5 文字のサイズ/色を選び を押す

▲ ▼ で文字サイズ(大/中/小)を選択し、◀ ▶ で文字色を選択します。

- 文字サイズ/色を設定しない場合は、 を押してください。

6 文字の点滅/動き/位置を選び を押す

▲ ▼ で点滅(する/しない)を選択し、◀ ▶ で位置(左揃え/中央揃え/右揃え)または動き(固定/テロップ/スウィング)を選択します。

- 文字の点滅/動き/位置を設定しない場合は、 を押してください。

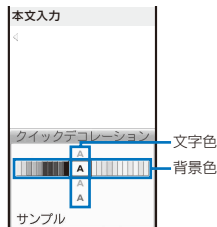
一括して装飾を指定する

- デコレーションメニューで[ ]を選択すると、設定した装飾がすべて解除されます。

1 本文入力画面で を押す

デコレーションメニューが表示されます。

2 [ ]を選び を押す

クロスデコパレットが表示されます。

3 文字色/背景色を選び を押す

▲ ▼ で文字色、◀ ▶ で背景色を選択します。

- 文字色/背景色を設定しない場合は、 を押してください。

4 画像/配色を選び を押す

◀ ▶ で本文の上下に挿入する画像を選択し、▲ ▼ で挿入する画像/画像の配色を選択します。

- 画像/配色を設定しない場合は、 を押してください。

5 (閉じる)を押し、本文を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。

- 本文に入力できる文字数は、装飾により少なくなることがあります。

- 本文を入力してからクイックデコレーションを選択することもできます。

装飾を指定して本文を入力する

1 本文入力画面で [発信] を押す

デコレーションメニューが表示されます。

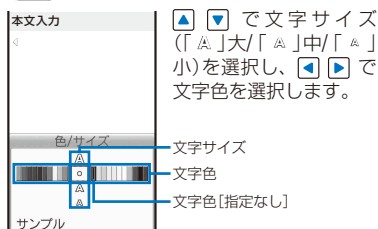
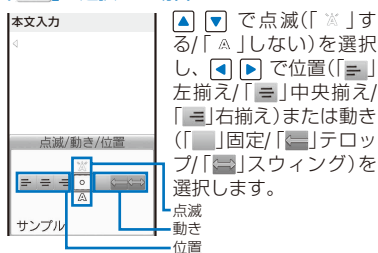
2 装飾を選び [メニュー] を押す

クロスデコパレットが表示されます。

「[A]」を選択した場合

[▲] [▼] で文字サイズ(「A」大/「A」中/「A」小)を選択し、[◀] [▶] で文字色を選択します。

「[点滅]」を選択した場合

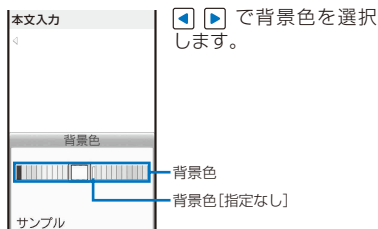
[▲] [▼] で点滅(「A」する/「A」しない)を選択し、[◀] [▶] で位置(「≡」左揃え/「≡」中央揃え/「≡」右揃え)または動き(「 」固定/「⇐」テロップ/「⇔」スウィング)を選択します。

「[画像]」を選択した場合

データBOXのマイピクチャから画像を選択します。

「[ライン]」を選択した場合

カーソルがある行にラインを挿入します。

「[背景]」を選択した場合

[◀] [▶] で背景色を選択します。

3 [メール](閉じる)を押し、本文を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。

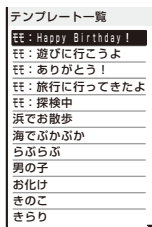
- 本文に入力できる文字数は、装飾により少なくなることがあります。

テンプレートを利用してメールを送信する

テンプレートとは、本文の装飾があらかじめ指定されているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成・送信できます。

テンプレートは、サイトからダウンロードしたり、作成/受信/送信したデコメールをテンプレートとして50件まで保存できます。(P.209)

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは編集、削除できません。

1 メールメニューで[テンプレート一覧]を選び [メニュー] を押す

テンプレートを確認する場合

テンプレートを選択します。

タイトルを変更する場合

テンプレートにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

テンプレートを削除する場合

テンプレートにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、テンプレートを複数選択して [i](完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのテンプレートを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

テンプレートを編集する場合

テンプレートにカーソルをあわせ、[ch](編集)を押します。

2 **テンプレートを選び [i]（メール）を押す**

メール編集画面が表示されます。

3 **メールを作成し、送信する**

- デコメール作成・送信（P.208操作2〜4）と同じ操作を行ってください。

● メール送信できない画像が含まれたデコメール、添付ファイルのあるデコメールをテンプレートとして保存すると、画像および添付ファイルは保存されません。

ファイルを添付する 〈ファイル添付〉

ｉモードメールに静止画、動画/ｉモーション、メロディ、トルカ、PDFデータ、電話帳、スケジュール、ブックマーク、マイデータ、その他のファイルを最大10件、合計2Mバイトまで添付して送信できます。

■添付可能なファイルについて

種　類	制限事項など
画像（GIF/JPEG/SWF）	• 2Mバイトを超えるJPEG画像の場合、2Mバイト以下に自動で変換します。（1件目の添付ファイルのみ選択・変換できます）
動画/ｉモーション（MP4）	• 2Mバイトを超える場合、先頭から2Mバイト以下に自動的に切出します。（1件目の添付ファイルのみ選択・変換できます） • 画像サイズが［VGA（640×480）］以下の動画/ｉモーションを添付できます。 • 受信側の機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示されることがあります。 • ｉモーションによっては添付できないことがあります。
（緑）メロディ（SMF） （橙）メロディ（MFi）	• SO905iCS以外の携帯電話には正しく送信できないことがあります。
トルカ	• トルカによっては送信できないことがあります。
PDFデータ（PDF）	• ページ単位で取得したPDFデータは添付できません。
ツールデータ	• 電話帳、マイデータ、スケジュール、ブックマークのデータを添付できます。
その他のファイル	－

- メール添付できないファイル、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- microSDメモリーカードに保存されているメールから返信する場合、ファイルを添付することはできません。（P.311）

1 **メール編集画面で [✉]（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **［添付ファイル追加］を選び [☰] を押す**

添付ファイル選択画面が表示されます。

［イメージ］：
本体メモリ/microSDのマイピクチャから画像を選択します。

［ｉモーション］：
本体メモリ/microSDのｉモーションから動画/ｉモーションを選択します。

［メロディ］：
本体メモリ/microSDのメロディからメロディを選択します。

［トルカ］：
本体メモリ/microSDのトルカからデータを選択します。

［PDF］：
本体メモリ/microSDのマイドキュメントからPDFデータを選択します。

［電話帳］：
本体メモリ/microSDの電話帳からデータを選択します。ただし、電話帳の画像保存/添付が［無効］に設定されている場合、画像は添付されません。

［マイデータ］：
マイデータを添付します。

［スケジュール］：
本体メモリ/microSDのスケジュールからデータを選択します。

［Bookmark］：
本体メモリ/microSDのブックマークからデータを選択します。

［その他］：
microSDのその他からデータを選択します。

[カメラ起動]：
[カメラ]/[ムービー]を選択し、カメラで画像/動画を撮影します。（P.155、170）

3 ファイルの種類を選び [MENU] を押す

ファイルの内容を確認する場合
ファイルにカーソルをあわせ、[ch]（見る/聞く/再生）を押します。

4 フォルダ→ファイルを選び [MENU] を押す

ファイルが添付され、「」「」「」（緑）「」（橙）「」「」「」「」が表示されます。

位置情報が付加された画像を選択した場合
位置情報URLを本文に貼付けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、本文の最後に「位置情報URL」が入力されます。

5 メールを作成し、送信する

- ｉモードメール作成・送信（P.207操作2～5）と同じ操作を行ってください。

- 添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかることがあります。
- 静止画を添付した場合、表示と異なる向きで送信されることがあります。
- 2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合は、相手の端末のメール受信容量内で対応している種類の添付ファイルのみ添付できます。対応していない容量・種類のファイルを添付すると、添付ファイルは削除され、相手には本文のみ送信されます。
下記機種※以外のｉモード端末に送信する場合は、共通再生モードを[高画質]または[長時間]に設定して撮影した動画がおすすめです。
※ 903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）、704iシリーズ（P704iμを除く）、705iシリーズ、F801i
- ブログ投稿で[ファイル添付]を利用して画像を添付した場合は、画像に位置情報が付加されていても、メール本文に位置情報URLは入力されません。
- movaサービスのｉモード端末に送信する場合は、JPEG画像、MFi形式のメロディ、またはｉモーションを1件のみ添付できます。相手にはファイル取得用のURLが付いたメールとして送信されます。複数のファイルを添付したり、対応していないファイルを添付すると、添付ファイルは削除され、相手には本文のみ送信されます。

添付したファイルを削除する

1 メール編集画面でファイルを選び [✉]（機能）を押す
機能メニューが表示されます。

2 [添付ファイル削除]→[はい]を選び [MENU] を押す
添付したファイルが削除されます。

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する 〈ｉモードメール保存〉

作成したメールをすぐに送信しない場合は、[保存メール]に保存できます。

1 メール編集画面で [✉]（機能）を押す
機能メニューが表示されます。

2 [保存]を選び [MENU] を押す
作成したメールが未送信メールとして[保存メール]に保存されます。

保存したメールを修正する場合
メールメニューで[保存メール]→[保存BOX]→メールを選択します。

ｉモードメールを受信したときは 〈メール自動受信〉

お客様宛のメールがｉモードセンターへ送られると、自動的にFOMA端末に受信されます。

メールを受信中は「 」が点滅します。

メールの受信を中止する場合

 (中止)を押します。受信終了画面に「 」が表示されます。中止するタイミングによっては、受信が完了していることもあります。

未読メール/メッセージ
Received
メール 1件
メッセージR 0件
メッセージF 0件

メールの受信が終了すると、「 」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したメールの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- 待受画面に戻ると、「 」(新着メールあり)の通知情報アイコンが表示されます。 (リンク)を押し、「 」を選択すると、受信メール画面が表示されます。

● メール1件につき、添付ファイルを含む100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。(P.219)

● 受信メールが1,000件保存されているときや空き容量が少ないときに新しいメールを受信すると、保護されていない古い既読メールから順番に上書きされます。

● 複数のメールを同時に受信したときは、最後の受信メールの着信音・着信画像・着信ランプが優先されます。

● 次のようなときに送られてきたメールはｉモードセンターに保管されます。
- テレビ電話中
- 電源OFF時
- ｉモード圏外時
- プッシュトーク通信中
- SMS受信中
- セルフモード設定中
- おまかせロック中
- 赤外線通信中
- ｉC通信中
- ソフトウェア更新中
- FirstPassセンター接続中
- お預かりセンター接続中

● 「 」が表示されているときは、ｉモードセンターにメールが残っています。(ｉモードセンターに保管されているときでも「 」が表示されないことがあります)
また、ｉモードセンターで保管した件数が満杯になったときは「 」が表示されます。この場合は、未読メールの確認、不要な受信メールの削除、保護受信メールの解除を行ってからｉモード問合せを行ってください。

● 受信メールのデータ量(文字数、添付ファイル)が[ｉMenu]→[料金＆お申込・設定]→[メール設定]のメールサイズ制限で設定した文字数(データ量)を超える場合、添付ファイルは自動受信できません。

ｉモードメールを選択して受信する 〈メール選択受信〉

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。メール選択受信を利用する場合は、あらかじめメール選択受信設定を[ON]に設定します。[ON]に設定した場合、自動的にｉモードメールを受信できません。

- メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、メール着信完了音は鳴りません。また、マナーモードやバイブレータを設定している場合も振動しません。

メールを受信すると、「」(センターに✉あり)の通知情報アイコンが表示されます。

メールを確認する場合

待受画面で (リンク)を押して「」を選択し、[はい]を選択します。ｉモードセンターに接続します。

ｉモードメールを選択受信する

ｉモードセンターに接続し、メールを選択して受信します。

- 2in1のモードがBモードの場合は、メール選択受信できません。

1 メールメニューで[メール選択受信]を選び を押す

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールを一覧表示します。

- 添付ファイルがある場合は、以下のアイコンが表示されます。

📷	静止画ファイル添付あり
🎥	ｉモーション添付あり
♪	メロディ添付あり
■	トルカ添付あり
📄	その他のファイルあり

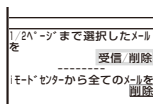
2 受信するメールの[保留]を選び を押す

[受信]：
選択したｉモードメールを受信します。

[削除]：
選択したｉモードメールを削除します。

[保留]：
選択したｉモードメールをｉモードセンターに保管したままにします。

3 [受信]を選び を押す

4 [受信/削除]を選び を押す

すべてのメールを削除する場合

[ｉモードセンターから全てのメールを]の下の[削除]を選択します。

5 [決定]を選び を押す

選択したメールが受信されます。

メール

iモードメールがあるかどうかを問い合わせる〈iモード問合せ〉

iモードサービス圏外にいたり、電源を切っていたときにiモードセンターにiモードメールが届いているかどうかを問い合わせることができます。

- 電波状態によっては問い合わせできないことがあります。

1 待受画面で ✉(メール)を1秒以上押す

iモードセンターに接続し、問い合わせ結果が表示されます。

メールを確認する場合

[メール]を選択します。

iモードメールに返事を出す〈iモードメール返信〉

受信メールに返信できます。

- 受信メールによっては返信できないことがあります。

1 受信メール一覧でメールを選び i (引用返信)を押す

メール編集画面が表示されます。

宛先には返信用のメールアドレス、題名には「Re:受信メールの題名」、本文には「>受信メールの本文」が入力されています。

- 題名が「Re:」を含めて全角100文字、半角200文字を超える文字は削除されます。
- 受信メールの題名にあらかじめ「Re:」が1つ以上ある場合は、「Re:」が自動的に1つにまとめられます。

本文を引用せずに返信する場合

メールにカーソルをあわせ、ch(返信)を押します。

同報メールに返信する場合

メールを選択して i (引用返信)または ch (返信)を押し、[送信者への返信]/[全員への返信]を選択します。

2 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信(P.207操作3～5)と同じ操作を行ってください。

メールが返信され、「 」が表示されます。

- 添付ファイル、メールの本文に含まれるメロディやiアプリToのリンク、デコメール内の再配布不可の画像は引用されません。
- 2in1のBアドレス宛のiモードメールには返信できません。
- オープン時内容編集で[受信メール(一覧/詳細)]に[引用返信]/[返信]を設定しているときは、受信メール一覧または受信メールの内容を表示しているときに、FOMA端末を開くだけで受信メールに返信できます。(P.354)

iモードメールを他の宛先に転送する〈iモードメール転送〉

受信メールを他の人に転送できます。添付ファイルも転送されます。

1 受信メール一覧でメールを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [転送]を選び ▤ を押す

メール編集画面が表示されます。

題名には「Fw:受信メールの題名」、本文には「受信メールの本文」が入力されています。

- 題名が「Fw:」を含めて全角100文字、半角200文字を超える文字は削除されます。
- 受信メールの題名にあらかじめ「Fw:」が1つ以上ある場合は、「Fw:」が自動的に1つにまとめられます。

3 メールを作成し、送信する

- iモードメール作成・送信(P.207操作2～5)と同じ操作を行ってください。

メールが転送され、「 」が表示されます。

- メールの本文に含まれるメロディやiアプリToのリンク、デコメール内の再配布不可の画像、未取得のファイルは転送されません。

メールアドレス/電話番号を電話帳に登録する

送信元/宛先のメールアドレスを電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、送信メールや保存メールの宛先のメールアドレスを、電話帳に登録できます。

例：受信メールの送信元をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ▤ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［メールアドレス登録］を選び ▤ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

3 ［新規登録］を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

［追加登録］を選択した場合

電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

メールアドレスが複数ある場合

メールアドレス→［新規登録］/［追加登録］を選択します。

4 ［本体メモリ］を選び ▤ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合

［FOMAカード（UIM）］を選択します。

5 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録（P.95操作3～5）またはFOMAカード電話帳登録（P.98操作3）と同じ操作を行ってください。

6 i（完了）を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

表示中の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

サイト、受信メール/送信メールの本文、トルカに表示されているメールアドレスや電話番号を、電話帳に登録できます。

- サイトによっては、表示されている電話番号/メールアドレスを登録できないことがあります。

例：受信メールの本文の電話番号をFOMA端末電話帳に新規登録する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ▤ を押し、電話番号を選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［電話帳登録］を選び ▤ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

3 ［新規登録］を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

［追加登録］を選択した場合

電話帳から項目を追加登録するデータを選択します。

4 ［本体メモリ］を選び ▤ を押す

電話帳編集画面が表示されます。

FOMAカード電話帳に登録する場合

［FOMAカード（UIM）］を選択します。

5 各項目を登録する

- FOMA端末電話帳登録（P.95操作3～5）またはFOMAカード電話帳登録（P.98操作3）と同じ操作を行ってください。

6 i（完了）を押す

登録した内容がFOMA端末電話帳に登録されます。

ｉモードメールから添付ファイルを再生・保存する

ｉモードメールやメッセージに添付または貼付けられている画像、動画/ｉモーション、メロディ、トルカ、PDFデータ、電話帳、スケジュール、ブックマーク、マイデータのファイルを表示/再生･保存･削除できます。

■再生/保存可能な添付ファイルについて

形　式	制限事項
画像（JPEG/GIF/SWF）	• デコメ絵文字、スタンプ･フレームはデータBOXのみに保存できます。 • 100Kバイトを超えるFlashは再生できません。また、microSDメモリーカードのみに保存できます。
動画/ｉモーション（MP4）	–
メロディ（SMF/MFi）	• 100Kバイトを超えるメロディは再生できません。また、microSDメモリーカードのみに保存できます。 • SO905iCS以外の携帯電話から送信されたメロディは、正しく再生できないことがあります。
トルカ	• 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は、再生できません。
PDFデータ（PDF）	–
ツールデータ	• 電話帳、スケジュール、ブックマークのデータを保存できます。 • [添付ファイル保存]で保存する場合、本体メモリは選択できません。
その他のファイル	• microSDメモリーカードのみに保存できます。

• 保存件数は、保存先の空き容量、データのサイズにより変動します。

例：受信メールに添付されたファイルを保存する場合

1 受信メール一覧でメールを選び [決定] を押す

2 添付ファイルを選び [✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

添付ファイルを表示/再生する場合

添付ファイルにカーソルをあわせ、[決定] を押します。

3 [添付ファイル保存]を選び [決定] を押す

保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：
データBOXに保存します。保存するフォルダを選択します。

[microSD]：
microSDメモリーカードに保存します。

メッセージに貼付けられているメロディを再生する場合

[メロディ再生]を選択します。

メッセージに貼付けられているメロディを保存する場合

[メロディ保存]→保存先を選択します。

メロディタイトルを確認する場合

[メロディタイトル確認]を選択します。

挿入画像の詳細を表示する場合

[挿入画像詳細表示]→画像を選択します。詳細情報が表示されます。

挿入画像を保存する場合

[挿入画像選択保存]→画像→保存先を選択します。

4 保存先を選び [決定] を押す

ファイルが保存されます。

ツールデータを表示する場合

添付ファイルにカーソルをあわせて [決定] を押し、[確認]を選択します。

ツールデータをFOMA端末に保存する場合

添付ファイルにカーソルをあわせて [決定] を押し、[登録]を選択して端末暗証番号を入力し、[追加保存]/[全入換え]を選択します。

メモリの空き容量が不足している場合

データを上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。上書きする場合は、不要なデータを選択します。（P.326）

● 受信した画像、動画/ｉモーションによっては、正しく再生できないことがあります。

選択受信添付ファイルを取得する

100Kバイトを超える添付ファイル、添付ファイル優先受信を[無効]に設定している添付ファイルを取得します。

- 保存期限が過ぎた添付ファイルは取得できません。

1 受信メール一覧でメールを選び 〔メニュー〕を押す

2「〔添付〕」を選び 〔メニュー〕を押す

取得が開始され、添付ファイルを取得します。

● 受信メールが1,000件保存されているときや空き容量が少ないときに、未取得の添付ファイルを取得すると、保護されていない古い既読メールから順番に上書きされます。取得する添付ファイルのサイズによっては、複数のメールが削除されることがあります。

添付ファイルを削除する

iモードメールに添付されているファイルを削除します。

- 本文中に表示されるiアプリToのリンクは削除できません。

例：受信メールに添付されたファイルを削除する場合

1 受信メール一覧でメールを選び 〔メニュー〕を押す

2 添付ファイルを選び 〔メール〕(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [添付ファイル削除]→[はい]を選び 〔メニュー〕を押す

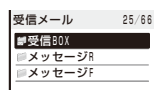
添付ファイルが削除されます。

受信メール/送信メール/保存メールを表示する

保存してある受信メール/送信メール/保存メールは、いつでも表示できます。受信したメールは[受信メール]に、送信したメールは[送信メール]に保存できます。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは[保存メール]に保存できます。

- 受信メールは最大1,000件、送信メールは最大500件、保存メールは最大50件、エリアメールは最大30件保存されます。保存件数は、データにより少なくなることがあります。
- FOMAカード内のSMSの場合、操作できない機能メニューがあります。

1 メールメニューで[受信メール]/[送信メール]/[保存メール]を選び 〔メニュー〕を押す

受信メールの場合

- 1行目の右端にカーソルがあたっているフォルダの保存件数/全件数が表示されます。
- フォルダの状態は、次のアイコンで確認できます。アイコンの横にフォルダ名が表示されます。

〔フォルダ〕/〔セキュリティ〕(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ/メールセキュリティ設定中
〔フォルダ〕/〔セキュリティ〕(青)	お客様が作成したフォルダ/メールセキュリティ設定中
〔フォルダ〕/〔セキュリティ〕	メール連動型iアプリが作成したフォルダ/メールセキュリティ設定中

- 未読メールがある場合はアイコンの左下に「〔未読〕」が表示されます。
- 2in1のモードがBアドレスのときは、送信メールと保存メールは表示できません。

FOMAカード内のSMS一覧画面を表示する場合

〔i〕(FOMAカード)を押します。

- 2in1のモードがBモードの場合は、表示できません。

メール

2 フォルダを選び [メニュー] を押す

受信メール一覧/送信メール一覧/保存メール一覧が表示されます。

受信メールの場合

送信メールの場合

保存メールの場合

メール一覧の表示方法を変更することができます。（P.225）

- 受信日時/送信日時/保存日時は、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。国際ローミング中に日時が現地時間に補正された場合は、「 」が表示されます。（P.44）
- SMSの場合、題名の代わりに本文の先頭が表示されます。
- エリアメールの場合、送信元の代わりに「エリアメール」が、題名の代わりに本文の先頭が表示されます。
- 題名はすべて表示されないことがあります。
- 2in1利用時は、Aアドレス宛のメールとBアドレス宛のメールが色別表示されます。
- メールの状態・種別、添付ファイルの種類は、次のアイコンで確認できます。

メールの状態

	未読メール
( )	既読メール（保護設定）
( )	返信済みメール（保護設定）
( )	転送済みメール（保護設定）
( )	送信済みメール（保護設定）
	未送信/送信失敗メール

メールの種別

	SMS
	FOMAカード内のSMS（受信メール/送信メールのみ）
	エリアメール（受信メールのみ）
	返信不可メール（受信メールのみ）
	メール連動型ｉアプリで利用されるメール

添付ファイルの種類

	画像あり
	動画あり
	メロディあり
	トルカあり
	ｉアプリToあり
	PDFデータあり
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、ブックマーク）あり
	その他のファイルあり

メールアドレスまたは電話番号を表示する場合

電話帳に登録されている場合は、メールアドレス/電話番号の代わりに名前が表示されます。[#] を押すと、名前とメールアドレス/電話番号の表示を一時的に切り替えることができます。

- メール一覧表示中に [#] を押すと表示を切り替えることができます。

2行表示の場合

送信者名←→メールアドレス/電話番号

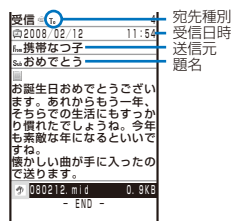
1行表示の場合

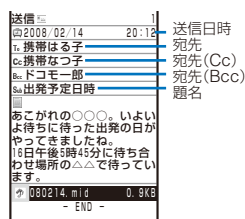
題名→送信者名→メールアドレス/電話番号

- シークレット表示を[ON]に設定しているときは、電話帳にシークレット登録した相手であっても、名前が表示されます。

電話をかける場合

電話帳にメールアドレスと電話番号を登録している場合は、電話をかけることができます。メールにカーソルをあわせ、機能メニュー[電話で返信]を選択します。

3 メールを選び [メニュー] を押す

受信メールの場合

送信メールの場合

- メールは、次のアイコンで確認できます。その他のアイコンは、操作2と同じです。

添付ファイルの種類

アイコン	説明
	貼付データ無効(複数データ貼付の場合)
( )(緑)	SMF形式メロディあり(無効なデータ)
( )(橙)	MFi形式メロディあり(無効なデータ)
( )	画像あり(無効なデータ)
( )	動画あり(無効なデータ)
( )	トルカあり(無効なデータ)
( )	PDFデータあり(無効なデータ)
( )	ツールデータ(電話帳、スケジュール、ブックマーク)あり(無効なデータ)

アイコン	説明
	添付ファイル未取得
	添付ファイル取得途中
	添付ファイル取得エラー
	添付ファイル削除済み

文字サイズを切り替える場合

[0] を1秒以上押します。[0] を1秒以上押すたびに、1段階大きな文字で表示されます。文字サイズが[超大]の場合、[小]に切り替わります。

前後のメールを表示する場合

[◀] で前のメール、[▶] で次のメールを表示できます。

● 保存してある受信メール/送信メール/保存メールをフォルダごとに表示しないように設定できます。(メールセキュリティ設定)(P.142)

メールをお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービスを利用して、iモードメール、SMS、エリアメールを一度に10件までお預かりセンターに保存できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- デコメールに挿入された画像も保存できます。
- 添付ファイル、1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超えるメールは保存できません。

例:受信メールを保存する場合

1 受信メール一覧で [✉] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [お預かりセンター保存]を選び [メニュー] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、[メニュー] (OK)を押す

メール選択画面が表示されます。

メール

4 **メールを選び ▤ を押す**

- 複数のメールを保存する場合は、操作4を繰り返します。

5 **ⓘ（完了）を押す**

保存確認画面が表示されます。

6 **［はい］を選び ▤ を押す**

お預かりセンターに接続され、メールの保存が実行されます。保存が完了すると保存結果画面が表示されます。

● SMS送達通知は保存できません。

フォルダを追加/削除する

受信メール/送信メールは、［受信BOX］/［送信BOX］以外にそれぞれ最大20個のフォルダを作成して管理できます。さらに、メール連動型ｉアプリのフォルダは、［受信メール］/［送信メール］/［保存メール］にそれぞれ最大5個作成できます。また、フォルダの名称を変更したり、フォルダを並べ替えることもできます。

- お買い上げ時に用意されているフォルダ、保護設定されたメールがあるフォルダ、メール連動型ｉアプリのソフトに対応したメールフォルダ、［メッセージR］/［メッセージF］フォルダは、削除できません。また、メール連動型ｉアプリのソフトがない場合は、フォルダを削除できますが、受信メール、送信メール、保存メール一覧内に作成されたフォルダもすべて削除されます。
- お買い上げ時に用意されているフォルダ、メール連動型ｉアプリのフォルダ、［メッセージR］/［メッセージF］フォルダはフォルダ名を変更できません。

例：受信メールのフォルダを追加する場合

1 **メールメニューで［受信メール］を選び ▤ を押し、✉（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **［フォルダ操作］→［フォルダ作成］を選び ▤ を押し、フォルダ名を入力する**

全角10文字、半角20文字以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ名変更］を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

フォルダを並べ替える場合

機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ並べ替え］→フォルダを選択し、移動先にカーソルをあわせて ▤（移動先）を押し、ⓘ（完了）を押します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

● メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、［受信メール］、［送信メール］、［保存メール］にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。

● フォルダを削除すると、2in1のモードにかかわらず、フォルダ内にあるすべてのAアドレス/Bアドレス宛のメールとAナンバー/Bナンバー宛のSMSが削除されます。

別のフォルダへ移動する

受信メールまたは送信メールは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

- ［メッセージR］/［メッセージF］フォルダ内のメッセージを別のフォルダへ移動したり、別のフォルダから［メッセージR］/［メッセージF］フォルダにメールを移動したりすることはできません。

例：受信メールを1件ずつ移動する場合

1 メールメニューで[受信メール]→フォルダを選び ☰ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー［移動］→［フォルダ内全件移動］→［はい］→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー［移動］→［選択移動］を選択し、メールを複数選択して i（完了）を押し、［はい］→フォルダを選択します。

2 メールを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［移動］→［1件移動］→［はい］を選び ☰ を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び ☰ を押す

選択したメールが別のフォルダへ移動されます。

● フォルダ内全件移動の場合は、2in1の各モードで表示されているメールのみを移動できます。

保護する

受信メールまたは送信メールは上書きされないように保護できます。保護できる件数は、受信メールが500件、送信メールが250件です。

- 未読メール、未送信/送信失敗メール、エリアメールは保護設定できません。

例：受信メールを保護設定する場合

1 受信メール一覧でメールを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されているメールにカーソルをあわせ、✉（機能）を押します。

2 ［保護設定/解除］→［はい］を選び ☰ を押す

メールが保護設定され、「」「」「」が表示されます。

すべての保護設定を解除する場合

機能メニュー［全件保護解除］→［はい］を選択します。

削除する

受信メールまたは送信メールは6とおりの方法で削除できます。

1件削除※1	フォルダ内のメールを1件削除します。
選択削除※1	フォルダ内の複数のメールを選択して削除します。一度に30件まで選択できます。
既読のみ削除（受信メールのみ）※1	すべての既読メールを削除します。
フォルダ内全件削除※1	フォルダ内のすべてのメールを削除します。
フォルダ内既読削除（受信メールのみ）※1	フォルダ内のすべての既読メールを削除します。
全件削除※2	すべての受信メール/送信メールを削除します。

※1 2in1の各モードで表示されているメールのみを削除します。

※2 2in1のモードにかかわらず、フォルダ内にあるすべてのAアドレス/Bアドレス宛のメールとAナンバー/Bナンバー宛のSMSを削除します。

例：受信メールを1件ずつ削除する場合

1 メールメニューで[受信メール]を選び ☰ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

既読メールをすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［既読のみ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

メール

次ページにつづく

2 フォルダを選び ▤ を押す

受信メール一覧が表示されます。

フォルダ内の既読メールをすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［フォルダ内既読削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［フォルダ内全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、メールを複数選択して ⓘ（完了）を押し、［はい］を選択します。

3 メールを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

4 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び ▤ を押す

選択したメールが削除されます。

iアプリメールを通常メールで表示する

iアプリメールを、通常のメールと同じように表示できます。また、メール連動型iアプリのソフトを削除した場合もメール連動型iアプリのフォルダに保存されているメールを通常メールとして表示できます。

例：受信iアプリメールを表示する場合

1 メールメニューで［受信メール］を選び ▤ を押す

2 メール連動型iアプリのフォルダを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［通常メール表示］を選び ▤ を押す

iアプリメールが通常メールモードで表示されます。

保存件数を確認する

保存されているメールの件数を、フォルダごとに確認できます。

例：受信メールの保存件数を確認する場合

1 メールメニューで［受信メール］を選び ▤ を押す

2 フォルダを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［件数確認］を選び ▤ を押す

受信件数確認

	フォルダ内	全体
	1件	1件
	22件	55件
	2件	10件
計	25件	66件

選択したフォルダと受信メール全体の保存件数が表示されます。

受信メールの場合

	未読メールの件数
	既読メールの件数
	保護された既読メールの件数

送信メールの場合

	送信済みメールの件数
	保護された送信済みメールの件数

保存メールの場合

選択したフォルダと保存メール全体の件数が表示されます。

一覧を並べ替える

受信メールまたは送信メールはフォルダ内のメールを一時的に並べ替えて表示できます。

例：受信メールを並べ替える場合

1 受信メール一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ソート]→並び順を選び ▤ を押す

受信メールの場合

[日付順]：
受信した日時の新しい順に並べ替えます。

[From順]：
送信元のメールアドレス順に並べ替えます。

[題名順]：
題名の50音順に並べ替えます。

[サイズ順]：
メールのファイルサイズ（取得済みの添付ファイルを含む）の大きい順に並べ替えます。

送信メールの場合

[日付順]：
送信した日時の新しい順に並べ替えます。

[To順]：
宛先のメールアドレス順に並べ替えます。

[題名順]：
題名の50音順に並べ替えます。

[サイズ順]：
メールのファイルサイズ（変換後の添付ファイルを含む）の大きい順に並べ替えます。

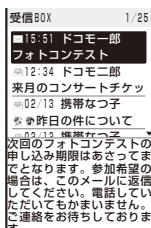
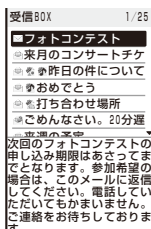
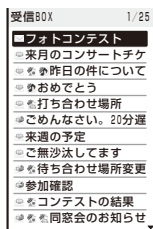
選択した並び順でメールが表示されます。

- [題名順]の場合、全角/半角の文字が混在しているなどの理由により、50音順と一致しないことがあります。また、SMSは題名がないメールとしてソートされ50音順と一致しないことがあります。

FOMA端末のメール機能を設定する 〈メール設定〉

- 2in1のモードがBモードの場合は、以下の機能は利用できません。
  - 送信振分条件
  - 署名編集
  - 署名設定
  - メール選択受信設定
  - 一括メールリスト
  - 添付ファイル優先受信
  - 送受信ランキングオールクリア

メール一覧の表示方法を設定する

受信メール一覧/送信メール一覧/保存メール一覧の表示方法を4種類から選択できます。設定した表示方法は、すべてのメールフォルダに反映されます。

1行表示＋プレビュー

1行表示

1 メールメニューで[メール設定]→[メール一覧表示設定]を選び ▤ を押す

2 表示方法を選び ▤ を押す

メール一覧の表示方法が設定されます。

- [2行表示＋プレビュー]または[1行表示＋プレビュー]に設定すると、カーソルをあわせたメールの先頭部分が表示されます。プレビュー表示されても、メールは既読にはなりません。
- 保存メール一覧では、プレビュー画面は表示されません。
- メールに含まれる文字列（URLなど）によっては、プレビュー画面が表示されないことがあります。
- メール一覧表示中に # を押すと表示を切り替えることができます。（P.220）

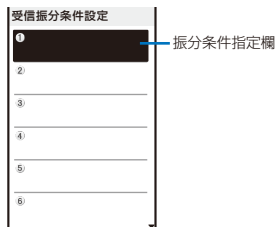
メール

次ページにつづく

メールを自動的にフォルダに振り分ける

受信メール/送信メールは条件を登録して自動的にフォルダに振り分けることができます。振分条件は30件まで登録できます。

例：受信メールの振分条件を設定する場合

1 メールメニューで[メール設定]→[受信振分条件]を選び ▤ を押す

送信メールの振分条件を設定する場合

メールメニューで[メール設定]→[送信振分条件]を選択します。

振分条件を削除する場合

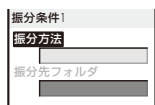
振分条件指定欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、振分条件を複数選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。すべての振分条件を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

振分条件を並べ替える場合

機能メニュー[並べ替え]→振分条件を選択し、移動先にカーソルをあわせて ▤(移動先)を押し、ⓘ(完了)を押します。

編集を中止する場合

機能メニュー[編集中止]を選択します。

2 振分条件指定欄を選び ▤ を押す

3 [振分方法]に振分方法を選択する

[アドレス指定]：
メールアドレスを指定します。メールアドレスは@以降も入力してください。ただし、メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話番号のみを入力してください。

[グループ指定]：
グループを指定します。

[題名指定]：
題名の一部を、全角100文字、半角200文字以内で指定します。

[指定なし]：
指定した条件に一致しないメールが振り分けられます。

4 [振分先フォルダ]に振り分けるフォルダを選択する

フォルダを指定しない場合

[受信BOX] / [送信BOX]に振り分けられます。

5 ⓘ(完了)を押す

振分条件が登録されます。

- メールが複数の振分条件に当てはまる場合は、リストの上位の番号の振分条件が優先されます。また、振分条件に[指定なし]を設定すると、設定した番号より下の振分条件は無効になり、[指定なし]を指定したフォルダに振り分けられます。
- 振分条件が設定されているフォルダを削除すると、振分先のフォルダが[受信BOX]/[送信BOX]になります。
- 振分条件に設定したグループにシークレット登録したデータが含まれる場合、その相手からメールを受信/その相手へメールを送信すると[受信BOX] / [送信BOX]に保存されます。振分条件を有効にする場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。
- メール連動型 i アプリメールは、振分条件にかかわらず対応するメール連動型 i アプリのフォルダに自動的に振り分けられます。
- 振分条件設定前に受信したメールは、自動的に振り分けられません。
- 2in1がONのときはグループ指定の振分条件が無効な場合があります。
  アドレス指定、題名指定、指定なしの振分条件を設定してください。

メールに署名を付ける

あらかじめ署名を登録しておくと、メール本文の最後に貼付けることができます。

署名を登録する

メールに貼付ける署名を作成し、登録します。

1 メールメニューで[メール設定]→[署名編集]を選び ▤ を押す

署名編集画面が表示されます。

- すでに署名を登録している場合は、登録内容が表示されます。

2 ▤（編集）を押し、署名を入力する

全角5,000文字、半角10,000文字以内で入力します。
絵文字Dを入力するとデコメールになります。

3 ⓘ（完了）を押す

署名が登録されます。

● 署名を装飾することもできます。（P.208）

署名を自動的に付ける

メールを作成するときに、登録した署名を自動的に貼付けることができます。

1 メールメニューで[メール設定]→[署名設定]を選び ▤ を押す

2 [自動]/[なし]を選び ▤ を押す

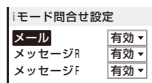
署名設定が設定されます。

● 署名設定を[なし]に設定していても、手動で署名を貼付けられます。この場合は、本文入力画面で機能メニュー[署名貼付]を選択します。
● 署名設定を[自動]に設定していても、メールを引用返信や転送する場合は署名が貼付けられません。

ｉモード問合せの内容を設定する

ｉモードセンターへ問い合わせをしたときに、メール、メッセージR、メッセージFの中から受信する項目を設定できます。

例：メールの問合せ設定をする場合

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[ｉモード問合せ設定]を選び ▤ を押す

2 [メール]→ｉモード問合せの[有効]/[無効]を選択する

問合せ項目が設定されます。

メールを選択して受信できるようにする

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定できます。

- メール選択受信設定を[ON]に設定しても、「ｉモード問合せ」を利用するとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、ｉモード問合せ設定でメールを[無効]に設定してください。（P.227）

1 メールメニューで[メール設定]→[メール選択受信設定]を選び ▤ を押す

メール選択受信設定画面が表示されます。

[ON]：
送られてきたメールはｉモードセンターに保管され、受信されません。受信する場合は、選択受信してください。（P.215）

[OFF]：
送られてきたメールはFOMA端末に自動受信されます。

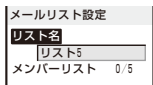
2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

メール選択受信設定が設定されます。

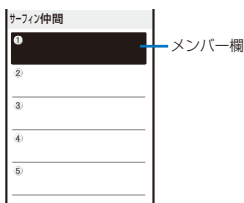
メール

一括メールリストを作成する

一括メールリストに複数のメールアドレスを登録しておくと、登録した複数の相手に同時にメールを送信できます。
一括メールリストは10件まで登録できます。1件のメールリストには、メールアドレスを5件まで登録できます。

1 メールメニューで[メール設定]→[一括メールリスト]→メールリストを選び を押す

2 [リスト名]にリスト名を入力する

全角8文字、半角16文字以内で入力します。

3 [メンバーリスト]を選び を押す

メンバーを削除する場合

メンバー欄にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべてのメンバーを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

4 メンバー欄に宛先を入力する

半角の英数字・記号50文字以内で入力します。

5 (完了)を押す

メンバーリストが設定されます。

6 (完了)を押す

一括メールリストが設定されます。

一括メールリストを削除する場合

一括メールリスト画面でメールリストにカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、メールリストを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのメールリストを削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

- 一括メールリストにメンバーを登録したあとで電話帳の内容を変更しても、一括メールリストに登録済みの内容は連動して変更されません。

メロディを自動的に再生する

メールやメッセージの内容を表示したときに、メロディを自動的に再生できます。

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[開封時自動演奏]を選び を押す

2 [自動再生する]/[しない]を選び を押す

開封時の自動演奏が設定されます。

- 複数のメロディが添付されている場合は、添付されている順番に再生されます。MFi形式のメロディは最後に再生されます。
- マナーモード設定中、メッセージの自動表示中は、自動再生されません。

マルチタスク中の受信の動作を設定する

FOMA端末の操作中にメール、SMS、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面や受信結果画面を表示するかどうかを設定します。

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[マルチタスク中受信設定]を選び を押す

[通知優先]:
受信中画面および受信結果画面を表示します。

[操作優先]:
受信中画面および受信結果画面を表示しません。受信中は「✉」「R」「F」が点滅し、受信後に「✉」「S」「R」「F」を表示します。

2 [通知優先] / [操作優先]を選び を押す

マルチタスク中の受信の動作が設定されます。

● 音声電話発着信/通話中、テレビ電話発着信/通話中、プッシュトーク発着信/通信中、静止画撮影中、動画撮影中、iアプリ実行中、およびメール受信中のSMS受信は、設定にかかわらず[操作優先]で受信します。

添付ファイルの受信を許可する

iモードメールに添付されているファイルを自動受信するかどうかを設定します。

1 メールメニューで[メール設定]→[添付ファイル優先受信]を選び を押す

添付ファイル優先受信

イメージ	有効
メロディ	有効
iモーション	有効
トルカ	有効
PDF	有効
ツールデータ	有効
その他	有効

2 各項目に[有効]/[無効]を選択する

[有効]:
添付ファイルを自動受信します。

[無効]:
添付ファイルを自動受信しません。添付ファイルを取得する場合は、受信メール画面で[ ]を選択してください。(P.219)

添付ファイル優先受信が設定されます。

● 添付ファイル優先受信を[有効]に設定しても、100Kバイトを超える添付ファイルは自動受信しません。

送受信ランキングを削除する

よくメールを送ったり、受けたりする相手は、送信ランキング、受信ランキングにそれぞれ20件まで自動的に登録され、メール作成時に宛先に選択できます。送信ランキング、受信ランキングは一括で削除できます。

例：受信ランキングを削除する場合

1 メールメニューで[メール設定]→[受信ランキングオールクリア]を選び を押す

送信ランキングを削除する場合
メールメニューで[メール設定]→[送信ランキングオールクリア]を選択します。

2 [オールクリア実行]を選び を押す

受信ランキングがすべて削除されます。

メッセージを受信したときは

〈メッセージ受信〉

待受画面を表示しているときにメッセージを受信すると、自動的にメッセージの内容が表示されます。メッセージR、メッセージFそれぞれ20件までFOMA端末に保存できます。

メッセージを受信中は、「R」/「F」/「FR」が点滅します。

▼

メッセージの受信が終了すると、「R」/「F」/「FR」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したメッセージの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信したメッセージの内容が自動的に表示されます。何も操作しないで約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- 自動表示されたメッセージは、未読のメッセージのまま保存されます。

- メッセージが20件保存されているときに新しいメッセージを受信すると、保護されていない古い既読メッセージから順番に上書きされます。
- メッセージを自動表示しないように設定することもできます。（P.230）
- 「R」、「F」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」が表示されているときは、ｉモードセンターにメッセージが残っています。（センターに保管されているときでも「R」、「F」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」が表示されないことがあります）
  また、ｉモードセンターで保管した件数が満杯になったときは「R」、「F」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」、「FR」が表示されます。この場合は、未読メッセージの確認、不要なメッセージの削除、保護メッセージの解除を行ってからｉモード問合せを行ってください。

- 次のようなときに送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - テレビ電話中
  - 電源OFF時
  - ｉモード圏外時
  - プッシュトーク通信中
  - SMS受信中
  - セルフモード設定中
  - おまかせロック中
  - 赤外線通信中
  - ｉC通信中
  - ソフトウェア更新中
  - FirstPassセンター接続中
  - お預かりセンター接続中

メッセージを自動的に表示する

待受画面を表示しているときにメッセージを受信すると、その内容を自動的に表示できます。また、メッセージRとメッセージFのどちらを優先して表示するか選択することもできます。

1 メールメニューで[メール設定]→[共通設定]→[メッセージ自動表示]を選び ☰ を押す

[メッセージR優先]：
メッセージR、メッセージFを同時に受信した場合、メッセージRを優先して自動表示します。

[メッセージRのみ]：
メッセージRのみ自動表示します。

[メッセージF優先]：
メッセージR、メッセージFを同時に受信した場合、メッセージFを優先して自動表示します。

[メッセージFのみ]：
メッセージFのみ自動表示します。

[表示なし]：
自動表示しません。

ｉモードメニューから設定する場合
ｉモードメニューで[ｉモード設定]→[共通設定]→[メッセージ自動表示]を選択します。

2 自動表示の方法を選び ☰ を押す

自動表示が設定されます。

メッセージがあるかどうかを問い合わせる 〈iモード問合せ〉

iモードサービス圏外にいたり、電源を切っていたときにiモードセンターにメッセージが届いているかどうかを問い合わせることができます。

- 電波状態によっては問い合わせできないことがあります。

1 待受画面で✉(メール)を1秒以上押す

iモードセンターに接続し、問い合わせ結果が表示されます。

メッセージを確認する場合

[メッセージR]または[メッセージF]を選択します。

● 問い合わせを行う項目は選択できます。(P.227)

メッセージを表示する 〈メッセージR/メッセージF〉

受信したメッセージの内容を表示します。

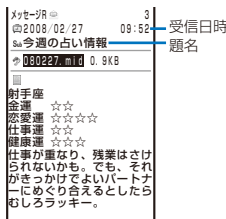
1 メールメニューで[受信メール]→[メッセージR]/[メッセージF]フォルダを選び☰を押す

- メッセージの状態・種別は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	状態・種別
✉	未読メッセージ
(既読アイコン)	既読メッセージ
(保護アイコン)	保護された既読メッセージ
(メロディアイコン)	メロディあり
(画像アイコン)	画像あり
(トルカアイコン)	トルカあり

iモードメニューから表示する場合

iモードメニューで[メッセージR/F]→[メッセージR]/[メッセージF]フォルダを選択します。

2 メッセージを選び☰を押す

メッセージが表示され、「✉」が「(既読アイコン)」に変わります。

- メッセージは、次のアイコンで確認できます。その他のアイコンは、操作1と同じです。

添付ファイルの種類

アイコン	種類
(アイコン)	画像取得失敗
(アイコン)	無効な画像あり 画像あり(FOMAカード未挿入時、受信したときと異なるFOMAカード挿入時)
(アイコン)(緑)※	SMF形式メロディあり
(アイコン)(橙)※	MFi形式メロディあり
(アイコン)(橙)	無効なMFi形式メロディあり
(アイコン)	画像あり
(アイコン)※	トルカあり

※ FOMAカード未挿入時はアイコンに「(アイコン)」が表示されます。

- 添付ファイルの操作については、P.218をご覧ください。

前後のメッセージを表示する場合

◀で前のメッセージ、▶で次のメッセージを表示できます。

メール

保護する

メッセージR、メッセージFは上書きされないように保護できます。

- 未読メッセージは保護設定できません。

例：メッセージRを保護設定する場合

1 メールメニューで[受信メール]→[メッセージR]フォルダを選び ▤ を押す

メッセージFを保護する場合

メールメニューで[受信メール]→[メッセージF]フォルダを選択します。

ｉモードメニューから設定する場合

ｉモードメニューで[メッセージR/F]→[メッセージR]/[メッセージF]フォルダを選択します。

2 メッセージを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

保護設定を解除する場合

保護設定されているメッセージにカーソルをあわせ、✉（機能）を押します。

3 [保護設定/解除]→[はい]を選び ▤ を押す

メッセージが保護設定され、「✉」が「🔒」に変わります。

削除する

メッセージは4とおりの方法で削除できます。

例：メッセージRを1件ずつ削除する場合

1 メールメニューで[受信メール]→[メッセージR]フォルダを選び ▤ を押す

メッセージFを削除する場合

メールメニューで[受信メール]→[メッセージF]フォルダを選択します。

ｉモードメニューから削除する場合

ｉモードメニューで[メッセージR/F]→[メッセージR]/[メッセージF]フォルダを選択します。

すべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

- 受信メール一覧で機能メニュー[削除]からも削除できます。

既読メッセージをすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内既読削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

- 受信メール一覧で機能メニュー[削除]からも削除できます。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メッセージを複数選択して ｉ（完了）を押し、[はい]を選択します。

2 メッセージを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ▤ を押す

選択したメッセージが削除されます。

● 受信メールのフォルダ一覧画面で機能メニュー[削除]を選択しても、メッセージをすべて削除したり、既読メッセージを削除したりすることができます。

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ｉモード契約しなくても、エリアメールの受信はできます。

<ご利用上の注意>

- エリアメール受信には受信設定が必要です。
  ※エリアメール受信設定についてはP.233をご覧ください。
- 下記のような場合は受信できないことがあります。
  - 通話中(音声電話中、テレビ電話中)
  - パケット通信中(ｉモード通信中、データ通信中、プッシュトーク中)
  - ソフトウェア更新中

  下記の場合は受信できません。
  - おまかせロック設定中
  - 国際ローミング中
  - セルフモード設定中

  ※上記のような理由により受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは 〈エリアメール受信〉

エリアメールが送られると、自動的にFOMA端末に受信されます。エリアメールは、通常の受信メールの最大1,000件とは別に、[受信メール]に最大30件保存できます。30件を超えた場合は、古い既読エリアメールから削除されます。

エリアメールを
受信しました

エリアメールを受信すると、「📶」が表示され、着信ランプが点滅してブザー音またはエリアメール着信音が鳴り、エリアメール受信通知が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- エリアメールによっては、受信が終了したときにバイブレータが振動することがあります。
- エリアメールによっては、受信が終了するとエリアメール本文が表示される場合があります。内容を確認して [メニュー](OK)、CLR、または [終話] を押します。

- 緊急地震速報エリアメールを受信したときのブザー音の音量は調節できません。バイブレータは[パターン1]で振動します。(P.110) 振動パターンの変更はできません。ブザー鳴動、鳴動時間は設定できます。(P.234) マナーモード設定中は、マナーモードの設定に従います。(P.115)
- 緊急地震速報以外のエリアメールを受信した際のエリアメール着信音の音量は、メール着信完了音量の設定に従います。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う 〈エリアメール設定〉

エリアメールを受信するかどうかを設定する

お買い上げ時の受信設定は[OFF]に設定されています。

1 メールメニューで[メール設定]→[エリアメール設定]→[受信設定]を選び [メニュー] を押す

受信設定
エリアメールを利用すると現在の近隣エリアの緊急地震速報等を受信することができます

ご注意
(必ずお読み下さい)

エリアメールはドコモが提供する電気通信サービスの契約約款にしたがって提供されます

2 内容を確認し、[利用する] / [利用しない]を選び [メニュー] を押す

受信設定が設定されます。

- 現在のエリアと異なるエリアのメッセージを受信することがあります。

エリアメールの受信登録を設定する

緊急情報以外のエリアメールを受信するには、受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

1 メールメニューで[メール設定]→[エリアメール設定]→[受信登録]を選び を押す

設定した受信登録の内容を修正する場合

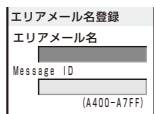
設定した受信登録にカーソルをあわせ、(編集)を押し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

設定した受信登録を削除する場合

設定した受信登録にカーソルをあわせ、(削除)を押し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 (新規)を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

[エリアメール名]:

エリアメール名を、全角15文字、半角30文字以内で入力します。

[Message ID]:

Message IDをA400～A7FF(16進数)の範囲で入力します。

4 各項目を入力する

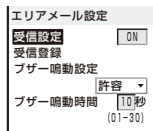
5 (完了)を押す

入力した受信登録が保存されます。

● お買い上げ時に登録されている[緊急情報]は、編集/削除できません。

エリアメール受信時の動作を設定する

緊急地震速報エリアメールを受信したときに、ブザー音を鳴らしてバイブレータを振動させるかどうかや、ブザー音を鳴らす時間を設定します。お買い上げ時は、ブザー鳴動設定は[許容]、ブザー鳴動時間は[10秒]に設定されています。

1 メールメニューで[メール設定]→[エリアメール設定]を選び を押す

2 [ブザー鳴動設定]に[許容]/[非許容]を選択する

[許容]:

ブザー音が鳴り、バイブレータが振動します。

[非許容]:

ブザー音は鳴らず、バイブレータは振動しません。

3 [ブザー鳴動時間]にブザー音を鳴らす時間を入力する

01～30秒の範囲で入力します。

SMSを作成して送信する

〈SMS作成・送信〉

iモードのご契約にかかわらず、FOMA端末間で文字メッセージを送受信できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 発信者番号通知設定を[通知しない]に設定していても、SMSを送信した相手には発信者番号が通知されます。
- 電波状態や送信する文字の種類により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。

1 **メールメニューで[SMS作成]を選び ▤ を押す**

2 **[To]に宛先(電話番号)を入力する**

21桁以内で入力します。

宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

「+」(0 を1秒以上押す)「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力してください。また、「010」「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください)

3 **[▤]に本文を入力する**

SMS設定で送信文字種を[日本語]に設定した場合は、全角・半角を問わず70文字以内で入力します。
[英語]に設定した場合は、半角160文字(`。「」、・゛゜を除く)以内で入力します。記号(| ^ {} [] ~ ¥)を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

4 **i (送信)を押す**

SMSが送信されます。

SMSを送信せずに保存する場合

機能メニュー[保存]を選択します。[保存メール]に保存されます。

- SMS本文入力画面で機能メニュー[文字入力設定]→[文字サイズ]から文字サイズを変更した場合、語句候補リストの文字サイズのみに設定が反映されます。宛先、本文の文字サイズは、次回メール・SMS編集時から変更されます。(P.127)
- マルチナンバーをご契約されている場合、通常発信番号設定を[基本契約番号]に設定してください。
- 2in1のモードがBモードのときは、SMSを作成できません。
- Bナンバーからは、SMSを送信できません。

SMSを受信したときは

〈SMS受信〉

SMSが送られると、自動的にFOMA端末に受信されます。受信SMSはｉモードメールとあわせて[受信メール]に最大1,000件保存できます。

SMSを受信中は「✉」が点滅します。

SMSの受信が終了すると、「S」が表示され、着信ランプが点滅して着信音が鳴り、受信したSMSの件数が表示されます。
約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

- 待受画面に戻ると、「✉」(新着メールあり)の通知情報アイコンが表示されます。▤(リンク)を押し、「✉」を選択すると、受信メール画面が表示されます。

メール

● 受信したSMSは、返信・転送できます。(P.216)
● 受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。
● 2in1のBナンバー宛のSMSには返信できません。

SMSがあるかどうかを問い合わせる 〈SMS問合せ〉

圏外にいたり、電源を切っていたときにSMSセンターにSMSが届いているかどうかを問い合わせることができます。
- 電波状態によっては問い合わせできない場合があります。

1 メールメニューで[SMS問合せ]を選び ▤ を押す

SMSセンターに接続し、SMSが保管されていれば受信します。

● SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMSの設定を行う 〈SMS設定〉

※通常は、SMSC指定、Type of Number、アドレスの設定を変更する必要はありません。

1 メールメニューで[メール設定]→[SMS設定]を選び ▤ を押す

[送信文字種]：
送信するメッセージを日本語にするか英語にするかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

[SMS送達通知]：
SMSを送信するときに、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

[SMS有効期限]：
送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

[SMSC指定]：
ドコモ以外のSMSサービスを受けるときに設定します。

[Type of Number]：
[SMSC指定]に[その他]を選択した場合、[International]/[Unknown]を選択します。
- [アドレス]に入力したアドレスに「＊」「＃」が含まれている場合は、[Unknown]を選択してください。

[アドレス]：
[SMSC指定]に[その他]を選択した場合、アドレスを入力します。半角数字20文字まで入力できます。

2 各項目を設定する

3 ▣ (完了)を押す

SMS設定が設定されます。

メール

iアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードのときは、利用できないｉアプリがあります。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードして保存できます。

- ｉアプリのソフトは1件あたり1Mバイトまで、最大100件保存できます。保存件数は、データにより少なくなることがあります。
- 電波状態などの理由によりダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、メール連動型ｉアプリのメールフォルダが5個ある場合や、同じメールフォルダを利用するソフトがすでにある場合は、ソフトをダウンロードできません。

1 サイトを表示中にソフトを選び ☰ を押す

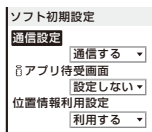
ソフトがダウンロードされます。

ダウンロード確認画面が表示される場合

[はい]または[ダウンロードする]を選択します。

2 フォルダを選び ☰ を押す

選択したフォルダにダウンロードしたソフトが保存されます。

3 ソフト初期設定を行う

- ソフトによっては、変更できない項目があります。

ソフト起動時に自動的に通信する場合

[通信設定]→[通信する]を選択します。

- 設定した内容は、個別設定の通信設定・待受画面通信設定に反映されます。（P.241）

ｉアプリ待受画面に設定する場合

[ｉアプリ待受画面]→[設定する]を選択します。

位置情報を利用する場合

[位置情報利用設定]→[利用する]を選択します。

4 ｉ（完了）を押す

ソフトを実行するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 [はい]を選び ☰ を押す

ダウンロードしたソフトが起動します。

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]
- ダウンロードするときに「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します」と表示されることがあります。ダウンロードする場合は[ダウンロードする]を選択します。この場合、お客様の「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- ダウンロードするときに「登録データを利用します」と表示されることがあります。利用される登録データは、[説明]を押して確認できます。ダウンロードする場合は[ダウンロードする]を選択します。この場合、お客様の登録データがｉアプリに利用されます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード中にICカード機能をロックすると、ダウンロードが中断されます。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信メール、受信メール、保存メール一覧にメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名がつき、変更できません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、利用するメールフォルダのみが残っている場合は、そのフォルダを利用できます。フォルダ名がダウンロードしたｉアプリ名と異なる場合は、ダウンロードしたｉアプリ名に変更されます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。ただし、新規フォルダを作成しない場合はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- ICカード内のデータ容量によっては、メモリの空き容量があってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできないことがあります。表示される確認画面に従い、ソフトを削除してから再度ダウンロードしてください。（ソフトによって、一部のソフトが削除対象にならないことがあります）また、ソフトによっては、ソフトの削除前にソフトを起動してICカード内のデータを削除する必要があります。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

サイトからｉアプリのソフトをダウンロードするときにソフト情報を表示できます。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]→[ソフト情報表示]を選び [メニューキー] を押す

2 [表示する] / [表示しない]を選び [メニューキー] を押す

ソフト情報表示が設定されます。

ｉアプリを実行する

〈ｉアプリ実行〉

ｉアプリのソフトを手動で実行します。

1 待受画面で [ｉ] (ｉモード)を1秒以上押す

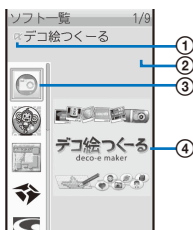
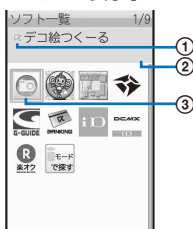
ｉアプリフォルダ一覧画面が表示されます。

- フォルダの種類は次のアイコンで確認できます。

(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ
(青)	お客様が作成したフォルダ

ｉアプリ

2 フォルダを選び ▭ を押す

アイコン表示大

アイコン表示小

リスト

① (　)※ ：ｉアプリ待受画面対応ソフト（設定中）
　(　)※ ：ｉアプリDX待受画面対応ソフト（設定中）
　(　)※ ：メール連動型ｉアプリ待受画面対応ソフト（設定中）
　※ ：ｉアプリ待受画面非対応ソフト
　※ ：ｉアプリDX待受画面非対応ソフト
　※ ：メール連動型ｉアプリ待受画面非対応ソフト
　：ｉモードで探す

※ 途中までダウンロードしたソフトは、アイコンの右下に「▬」が表示されます。

② iC(iC)：おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト（サービス停止中）
SSL：SSLサイトからダウンロードしたソフト
　：GPS対応ｉアプリのソフト
　：自動起動が設定されているソフト

③ ソフトのアイコン画像
- ソフトごとに登録されているアイコン画像が表示されます。アイコン画像が登録されていない場合は、次のアイコンが表示されます。
  - ：ｉアプリのソフト
  - ：ｉアプリDXのソフト
  - iC：おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト

④ 選択されているソフトのタイトル画像
- ソフトごとに登録されているタイトル画像が表示されます。タイトル画像が登録されていない場合は、次のアイコンが表示されます。
  - ：ｉアプリのソフト
  - ：ｉアプリDXのソフト
  - iC：おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト

3 ソフトを選び ▭ を押す

ソフトが起動し、「　」または「　」が表示されます。

ｉアプリを終了する場合
▭ を押し、［はい］を選択します。

情報を確認する場合
ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー［ソフト情報表示］を選択します。
- 表示される項目は、ソフトによって異なることがあります。
- ソフト情報表示に表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

証明書を表示する場合
ソフトにカーソルをあわせ、機能メニュー［証明書表示］を選択します。

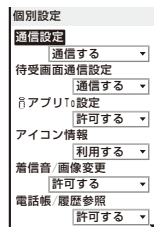
● サイトからすぐに起動するソフトがあります。このとき、ソフトはダウンロードされていますが、保存はされていません。また、ダウンロードによる保存ができないソフトもあります。
● サイトからすぐに起動するソフトは、実行中に通信設定が必要なことがあります。
● ソフト実行中にめざまし時計/スケジュールアラームのアラーム時刻になった場合は、ソフトを中断します。元の画面に戻る場合は [終話] または [CLR] を押してください。
● ソフト実行中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときは、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。なお、ｉアプリからの通信中にテレビ電話を着信した場合はパケット通信中着信設定、プッシュトーク着信した場合はｉモード通信中着信設定の設定に従います。
● ソフト実行中にメール・メッセージ・エリアメールを受信した場合、「✉」「R」「F」「📶」が表示されます。
また、メール選択受信設定を[ON]に設定している場合、ソフト実行中にメールを受信すると「✉」が表示されます。待受画面を表示すると「✉」(センターに✉あり)が表示されます。メールを確認する場合は、メール選択受信を行ってください。(P.215)
● ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどが自動的にインターネットを経由しサーバに送信される可能性があります。
※ ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携(連動)のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネットホームページ経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像などです。
● ソフトによっては、microSDメモリーカードにデータを保存できるものがあります。microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できないことがあります。
● ｉアプリには指定されたソフトを起動するソフトがあり、一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
● ソフトによっては、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルと同時起動できないものがあります。
● ソフトによっては、全画面表示されるものがあります。全画面表示中は、通信中アイコン以外のアイコンは表示されません。

ｉアプリの動作条件を設定する

• 保存されているソフトによって、変更できない項目があります。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び [✉] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [個別設定]を選び [メニュー] を押す

[通信設定]:
通信を利用するソフトを起動したときに、通信するかどうか、起動ごとに確認するかを設定します。

[待受画面通信設定]:
通信を利用するソフトをｉアプリ待受画面に設定中に、通信するかどうかを設定します。

[ｉアプリTo設定]:
表示されているｉアプリのリンクからソフトを起動するかどうかを設定します。

[アイコン情報]:
アイコン情報(メール、メッセージ、電波受信レベル、電池残量、マナーモード)を利用するかどうかを設定します。

ｉアプリ

[着信音/画像変更]：
着信音や画像の変更を許可するかどうか、変更ごとに確認するかを設定します。

[電話帳/履歴参照]：
電話帳、リダイヤル、着信履歴、未読メール、トルカの参照を許可するかどうかを設定します。

[位置情報利用設定]：
位置情報を利用するかどうかを設定します。

3 各項目を設定する

- 通信設定、待受画面通信設定を[通信しない]に設定すると、ソフトが起動しないことやタイムリーな情報提供ができないことがありますのでご注意ください。
- 通信設定、待受画面通信設定を[通信する]に設定すると、ｉアプリが自動的にネットワークに接続します。ネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- アイコン情報を[利用する]に設定すると、アイコン情報がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- 個別設定の設定によっては、ｉアプリからのネットワーク接続やアイコン情報(未読メール、電池残量など)の利用ができなくなります。

お買い上げ時に登録されているソフト

●デコ絵つくーる™

カメラで撮影した静止画の一部を加工・編集したり、自分で絵を描いたりして、デコレーションメールに使用できる素材を作成できます。作成した画像はデータBOXに保存され、メールを作成するときに使用することができます。

カメラ撮影からつくる

カメラで撮影した静止画を加工・編集して、デコメピクチャやデコメ絵文字を作成します。

絵や文字と背景の明暗がくっきり分かれ、背景が単色(均一)の画像を撮影すると、きれいに編集することができます。

自分で描いてつくる

さまざまな線や色、塗りつぶし機能、背景透過機能などを使用して、デコメ絵文字を作成します。また、アニメ絵文字も作成することができます。

保存データからつくる

データBOXに保存されたデータを加工・編集して、デコメピクチャやデコメ絵文字を作成します。

- 操作方法については、「ヘルプ」をご覧ください。
  [ヘルプ]を選んで [キー] を押すと表示されます。

●スーパーモンキーボールモバイル for SO

©SEGA

家庭用で大人気のアクションゲーム「スーパーモンキーボール」の携帯アプリです。
おサルのキャラクターが入ったボールを転がしてゴールをめざすアクションゲームです。
様々なワールド(場面)と多彩なステージをクリアして最終ゴールを目指します。

SO905iCSを傾けて操作する場合

FOMA端末を上下左右に傾けることで、FOMA端末の4方向ボタンと同じ操作ができます。
FOMA端末を傾けた方向におサルの入ったボールが転がります。

プレイヤーが動いて操作する場合

インカメラでプレイヤーの位置を確認し、プレイヤーが動いた方向にボールも転がります。

- 操作方法については、「スーパーモンキーボールの遊び方」をご覧ください。
  メニューで[データBOX]→[マイドキュメント]→[プリインストール]→[スーパーモンキーボールの遊び方]を選び [メニューキー] を押すと表示されます。

> **■ 警告**
>
> このアプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振り過ぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。
> 遊ぶ際は、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り過ぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

●地図アプリ

現在位置を確認したり、住所や電話番号から地図を検索したり、目的地までナビゲーションを利用したりできます。GPS機能を利用するｉアプリです。(P.264)

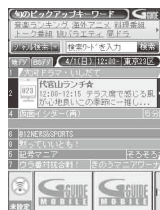
- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリのIP（情報サービス提供者）に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの位置情報利用設定を[利用する]に設定する必要があります。

●FOMA通信環境確認アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状態、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

●Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始/終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます。（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます。（一部対応していない機種もあります）

- 初めて利用するときは、初期登録を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間にあわせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- メールを利用するｉアプリのため、2in1のBモードでは利用できません。

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。

リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定の方法
  1. DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をしてください。（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください）
  2. 本アプリを立ち上げ、メニューから「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに従って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法

  初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

●ｉアプリバンキング

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを立ち上げる際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関のモバイルバンキングサービスへのお申し込みが必要になります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：
  ［ｉMenu］→［メニュー/検索］→［モバイルバンキング］→［ｉアプリバンキング］

●iD 設定アプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：
  ［ｉMenu］→［メニュー/検索］→［iD］

●DCMXクレジットアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモグループが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申し込み・審査※1

↓

カード情報設定

↓

使う
面倒なチャージは不要！
設定済みケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※3でショッピングが楽しめます。

確認する※2
当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する
お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについてはｉモードのお申し込みページに接続します。

※2 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

※3 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

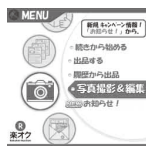
- サービス内容やお申し込み方法の詳細については、DCMXのｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：［ｉMenu］→［DCMX iD］

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●楽オク出品アプリ2

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影・編集や履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：
［ｉMenu］→［楽オク -オークション-］

iアプリを自動実行する

〈自動起動/自動起動設定〉

自動起動するかどうかを設定する

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定できます。

1 メニューで[iアプリ]→[iアプリ設定]→[自動起動]を選び を押す

2 [許可する]/[許可しない]を選び を押す

自動起動するかどうかが設定されます。

起動日時を設定する

ソフトは自動的に起動できます。ソフトごとに起動日時、曜日の条件を設定したり、ソフトの自動起動機能を使用するかどうかを設定できます。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [自動起動設定]を選び を押す

[ユーザ設定]:
ソフトごとの起動日時や曜日を設定します。

[ソフト設定]:
ソフトの自動起動機能で自動起動するかどうかを設定します。

3 [ユーザ設定]を選び を押す

4 [形式]に自動起動時間の形式を選択する

[OFF]:
起動時間を設定しません。

[日時]:
指定した日時に自動起動します。

[毎日]:
毎日指定した時刻に自動起動します。

[毎週]:
毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。

5 日付/時刻/曜日を入力する

- 操作4で選択した形式にあわせて日付/時刻/曜日を入力してください。

6 (完了)を押す

7 [ソフト設定]を選び を押す

ソフト設定画面が表示されます。

8 [設定]にソフトの自動起動機能の[有効]/[無効]を選択する

自動起動設定が設定されます。

● 以下の場合は自動起動できません。
- 電源OFF時
- 通話中、通信中
- 日付時刻を設定していないとき
- 他の機能を起動しているとき
- 同じ時刻にめざまし時計/スケジュールアラームを設定しているとき
- オールロック設定中、パーソナルデータロック設定中
- ボタンロック設定中
- おまかせロック設定中
- 2in1のモードがBモードのとき(メール連動型iアプリ、メールを利用するiアプリの場合)

ｉアプリ待受画面を設定する

〈ｉアプリ待受画面〉

ｉアプリ待受画面には、対応しているソフトを1つのみ設定できます。ｉアプリ待受画面に対応しているソフトとは、「 / / 」が表示されるものです。

- 通信を利用するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状態などにより正しく動作しない場合があります。
- ｉアプリソフト一覧画面からｉアプリ待受画面を設定した場合、待受画面設定で設定した待受画面も変更されます。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び （機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［待受画面設定］→［はい］を選び を押す

ｉアプリ待受画面が設定され、アイコン表示(P.240)が変わります。

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを操作する場合

ｉアプリ待受画面で CLR （ ）を押します。

- ｉアプリの待受画面を設定している場合は、電源を入れたときにｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認メッセージが表示されます。起動しない場合は［いいえ］を選択します。［はい］を選択するか、しばらくそのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロック、パーソナルデータロックを設定したり、2in1のモードをデュアルモードやBモードに設定したりすると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。オールロックなどを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。
- ｉアプリ待受画面からWeb Toはご利用になれません。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などが待受エラー履歴で確認できます。
- ｉアプリ待受画面にセキュリティエラーが発生した場合、待受画面に「 」(待受解除 セキュリティエラー)が表示されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面の設定を解除して、通常の待受画面に戻します。

1 ｉアプリソフト一覧画面でソフトを選び （機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［待受画面設定］→［解除する］を選び を押す

［終了する］:

ｉアプリ待受画面を解除せずに、ｉアプリ待受画面を一度終了して再表示します。

［解除する］:

ｉアプリ待受画面を解除します。

ｉアプリ待受画面が解除されます。

ｉアプリを管理する

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。この場合、ソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除、ソフト情報表示のみ行えます。再度ご利用いただくには、ソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信することがあります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止/再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い「 」が点滅します。パケット通信料はかかりません。

バージョンアップする

ダウンロードしたソフトの新しいバージョンがサイトにある場合は、保存したソフトをバージョンアップできます。

1 iアプリソフト一覧画面でソフトを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [バージョンアップ]→[はい]を選び ▤ を押す

新しいバージョンのソフトのダウンロードが開始されます。

- ソフトによっては起動時に自動でバージョンアップすることができます。
- バージョンアップ時にネットワークに接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

フォルダを追加/削除する

ソフトを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。ソフトは最大10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- お買い上げ時に用意されているフォルダは削除できません。

例：フォルダを追加する場合

1 待受画面で ⓘ（iモード）を1秒以上押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び ▤ を押し、フォルダ名を入力する

全角10文字、半角20文字以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ名変更]を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

別のフォルダへ移動する

ソフトは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

例：ソフトを1件ずつ移動する場合

1 待受画面で ⓘ（iモード）を1秒以上押し、フォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、ソフトを複数選択して ⓘ（完了）を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 ソフトを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び ▤ を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び ▤ を押す

選択したソフトが別のフォルダへ移動します。

削除する

ソフトは4とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 待受画面で (ｉモード)を1秒以上押す

すべて削除する場合

機能メニュー［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 フォルダを選び を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［フォルダ内全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、ソフトを複数選択して (完了)を押し、［はい］を選択します。

3 ソフトを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

4 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び を押す

選択したソフトが削除されます。

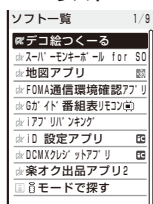
- メール連動型ｉアプリを削除する場合やメール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、同時に削除するときにメール連動型ｉアプリのフォルダ内に保護設定されているメールがある場合は、ソフトもフォルダも削除できません。また、ソフトのみ削除しフォルダを残した場合は、機能メニューからメール本文のみ見ることができます。(P.224)
- おサイフケータイ対応ｉアプリを削除する場合、ソフトによっては削除できないことがあります。また、ソフトの削除前にソフトを起動してICカード内のデータを削除する必要があることもあります。
- ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。

ソフト一覧の表示方法を設定する

ｉアプリソフト一覧画面の表示方法を3種類から選択できます。設定した表示方法は、すべてのフォルダに反映されます。

アイコン表示大

アイコン表示小

リスト

1 ｉアプリソフト一覧画面で (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［一覧表示切替］→表示方法を選び を押す

ｉアプリソフト一覧画面の表示方法が設定されます。

ｉアプリ

エラー履歴やトレース結果を見る

ｉアプリ待受画面のエラー履歴や、ｉアプリのトレース機能で出力された結果を表示できます。

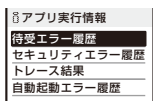
待受エラー履歴	ｉアプリ待受画面が続行できないなどのエラーで解除された場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
セキュリティエラー履歴	ｉアプリが登録データを利用できないなどのエラーで終了した場合に、エラーの発生時刻などの履歴を10件まで表示します。
トレース結果	トレース機能に対応したｉアプリが終了した場合に、トレース結果を16件まで表示します。
自動起動エラー履歴	ｉアプリが自動起動に失敗した場合に、エラー発生時刻などの履歴を10件まで表示します。

例：[待受エラー履歴]を表示する場合

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリ実行情報]を選び を押す

ｉアプリ実行情報
待受エラー履歴
セキュリティエラー履歴
トレース結果
自動起動エラー履歴

2 [待受エラー履歴]を選び を押す

待受エラー履歴
2008/02/14 15:11
XXXｹﾞｰﾑ
2008/02/13 12:34
XXX占い

セキュリティエラー履歴を表示する場合
[セキュリティエラー履歴]を選択します。

トレース結果を表示する場合
[トレース結果]を選択します。

自動起動エラー履歴を表示する場合
[自動起動エラー履歴]を選択します。

エラー履歴やトレース結果を削除する場合
(削除)を押し、[はい]を選択します。

● ｉアプリ作成者の方へ
ソフト作成中に正常動作しないときは、トレース結果が参考になることがあります。

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する 〈ｉアプリデータ(microSD)〉

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリデータをフォルダ名で表示します。

1 メニューで[ｉアプリ]→[ｉアプリデータ(microSD)]を選び を押す

ｉアプリデータ(microSD)フォルダ一覧画面が表示されます。

フォルダを削除する場合
フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び を押す

ソフト情報表示画面が表示されます。

i アプリのさまざまな機能を利用する

i アプリからカメラ機能を利用する

起動中のソフトからカメラ機能(P.155)を利用できます。

- カメラ機能を利用するときはレンズカバーを開いてください。
- 撮影した画像はソフトで利用・保存されます。
- 設定できる項目やカメラの起動方法はソフトによって異なります。
- 接写モードの指定があるソフトからカメラを起動した場合、オートフォーカス設定は[マクロ]になります。

1 ソフト実行中にカメラ機能を起動する

カメラモードの画面になります。

2 被写体を確認し、(📷)を押す

画像が撮影されます。

i アプリからバーコードリーダーを利用する

起動中のソフトからバーコードリーダー(P.183)を利用できます。

- バーコードリーダーの起動方法はソフトによって異なります。
- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

1 ソフト実行中にバーコードリーダーを起動する

バーコードリーダー画面が表示されます。

2 JANコード/QRコードを確認し、▤を押す

JANコード/QRコードが読み取られます。

i アプリから赤外線通信を利用する

起動中のソフトから赤外線通信(P.327)を利用できます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- 赤外線通信の起動方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動する

2 [はい]を選び▤を押す

赤外線通信を開始します。

i アプリからトルカを取得する

起動中のソフトからトルカ(P.256)を取得して保存できます。

- トルカは1件あたり1Kバイトまで、トルカ(詳細)は1件あたり100Kバイトまで、最大100件取得できます。取得件数は、データにより少なくなることがあります。
- トルカの取得方法はソフトによって異なります。

1 ソフト実行中にトルカを選び▤を押す

保存確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び▤を押す

トルカが取得されます。

i アプリからめざまし時計を登録する

起動中のソフトからめざまし時計(P.360)を登録できます。

1 ソフト実行中にめざまし時計の登録操作を行う

2 [OK]を選び▤を押す

めざまし時計が登録されます。

おサイフケータイ/トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモードFeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります。（詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください）

※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）やｉCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難・紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック（P.136）、ICカードロック（P.262）を利用できます。

ｉCお引っこしサービスとは

ｉCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
ｉCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1 ｉCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります。（一部手数料がかからない場合もあります）また、ICアプリのダウンロード・各種設定にはパケット通信料がかかります。

※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはｉCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。

※3 ｉCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがｉCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

おサイフケータイ対応ｉアプリを用いてICカード内のデータの読み書きを行うことによって、電子マネーや乗車券をチャージしたり、その残高や利用履歴を携帯電話から参照するなど、便利な機能をご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動するときやダウンロードするときは、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行いますか」と表示されます。[はい]を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないと、ICカード機能を利用できません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入し一度おサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないと、ICカード機能を利用できません。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[ICカード一覧]を選び ☰ を押す

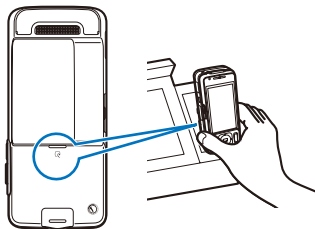
2 ソフトを選び ☰ を押す

ソフトが起動し、「」または「」が表示されます。

- 次の場合は、ソフトからICカード内のデータへの読み書きが中断されます。途中まで読み書きされたデータは破棄されることがあります。
  - スケジュールアラーム/めざまし時計のアラーム時刻になった場合
  - 音声電話、テレビ電話、プッシュトーク着信した場合(通話終了後の操作は、ご利用のサービスにより異なります)
  - 電池が切れた場合

おサイフケータイを利用する

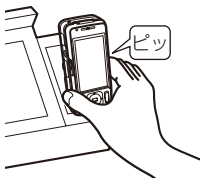
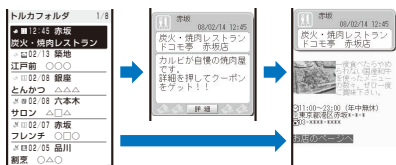
FOMA端末のFeliCaマーク「」の面を読み取り機にかざすと、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用することなどができます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、ソフトは起動できません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたときに、ソフトが起動することがあります。

読み取り機と通信可能な範囲に入るとFeliCaサインが緑色に点灯し、通信開始時にバイブレータが振動します。

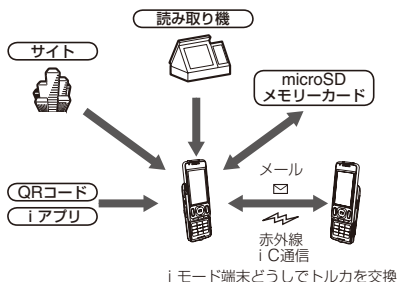
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 電源を切った状態でもFeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用することができますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラーム音が鳴ったあとで充電しなかった場合は、利用できなくなることがありますので電池パックを充電し電源をONにしてください。また、電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きできません。
- FeliCaサインを点灯させ続けると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- 充電中に読み取り機にかざすと、充電ランプとFeliCaサインが同時に点灯します。

トルカとは

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは[おサイフケータイ]メニューの[トルカ]内に保存されます。
トルカ対応機種でご利用いただけます。
詳細は『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得。
読み取り機と通信可能な範囲に入るとFeliCaサインが緑色に点灯し、通信開始時にバイブレータが振動してFeliCaサインが点滅します。

トルカ一覧から取得したトルカを選択。

トルカの取得手段

iモード端末どうしでトルカを交換

- iモード通信でトルカをやりとりする場合は、通常のパケット通信料がかかります。
- IP(情報サービス提供者)の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカを取得する 〈トルカ取得〉

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカやトルカ(詳細)を取得することができます。

- トルカは1件あたり1Kバイトまで、トルカ(詳細)は1件あたり100Kバイトまで、最大100件取得できます。取得件数は、データにより少なくなることがあります。
- ICカードロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

読み取り機でトルカを取得すると、FeliCaサインが緑色に点滅し、取得完了音が鳴ってトルカが表示され、約15秒後に元の画面に戻ります。待受画面に「(アイコン)」(新規トルカあり)の通知情報アイコンが表示されます。

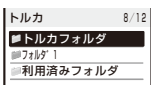
トルカを表示する場合

待受画面で (リンク)を押し、「(アイコン)」を選択します。

- トルカによってはメールに添付して送信したり、赤外線通信/ｉC通信で送信したり、microSDメモリーカードにコピーできない場合があります。
- ボタンロック設定中の場合、取得完了音は鳴りません。

トルカを表示する 〈トルカ表示〉

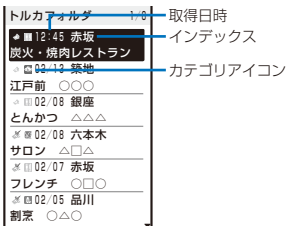
保存してあるトルカやトルカ(詳細)はいつでも表示できます。トルカからトルカ(詳細)を取得することもできます。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[トルカ]を選び ☰ を押す

トルカフォルダ一覧が表示されます。

- フォルダの状態は、次のアイコンで確認できます。

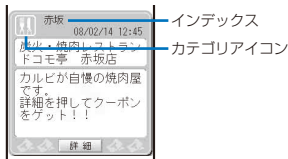
(黄)	お買い上げ時に用意されているフォルダ
(青)	お客様が作成したフォルダ

- 未読トルカがある場合はアイコンの右下に「 」が表示されます。

2 フォルダを選び ☰ を押す

トルカ一覧が表示されます。

- トルカの状態は次のアイコンで確認できます。

/	未読トルカ/有効期限切れ未読トルカ
/	既読トルカ/有効期限切れ既読トルカ

3 トルカを選び ☰ を押す

4 [詳細]→[はい]を選び ☰ を押す

トルカ(詳細)が取得されます。

トルカ(詳細)を最新状態にする場合

機能メニュー［トルカ更新］→［はい］を選択します。

電話番号などを電話帳に登録する場合

電話番号などにカーソルをあわせ、機能メニュー［電話帳登録］を選択します。

- リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する(P.99操作4～7)と同じ操作を行ってください。

- トルカ一覧などを表示中に読み取り機からトルカを取得した場合、トルカフォルダ一覧が表示されます。取得したトルカを表示するにはもう一度[トルカフォルダ]を選択してください。

トルカを管理する

- [利用済みフォルダ]のトルカは、移動、ソート、検索できません。

フォルダを追加/削除する

トルカを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。最大22個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称を変更したり、フォルダを並べ替えたりできます。

- お買い上げ時に用意されているフォルダは削除したり、フォルダ名を変更したりできません。

例：フォルダを追加する場合

1 トルカフォルダ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ操作]→[フォルダ作成]を選び ▤ を押し、フォルダ名を入力する

全角10文字、半角20文字以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ名変更]を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

フォルダを並べ替える場合

機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ並べ替え]→フォルダを選択し、移動先にカーソルをあわせて ▤（移動先）を押し、i（完了）を押します。

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー[フォルダ操作]→[フォルダ削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

別のフォルダへ移動する

トルカは3とおりの方法で別のフォルダへ移動できます。

- [利用済みフォルダ]へは移動できません。

例：トルカを1件ずつ移動する場合

1 トルカフォルダ一覧でフォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー[移動]→[フォルダ内全件移動]→[はい]→フォルダを選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー[移動]→[選択移動]を選択し、トルカを複数選択して i（完了）を押し、[はい]→フォルダを選択します。

2 トルカを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [移動]→[1件移動]→[はい]を選び ▤ を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダを選び ▤ を押す

選択したトルカが別のフォルダへ移動されます。

削除する

トルカは4とおりの方法で削除できます。

例：1件ずつ削除する場合

1 メニューで[おサイフケータイ]→[トルカ]を選び ▤ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 フォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、トルカを複数選択して i（完了）を押し、[はい]を選択します。

3 **トルカを選び ✉（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

4 **[削除]→[1件削除]→[はい]を選び ▤ を押す**

選択したトルカが削除されます。

一覧を並べ替える

フォルダ内のトルカを一時的に並べ替えて表示できます。

1 **トルカ一覧で ✉（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

2 **[ソート]→並び順を選び ▤ を押す**

[日付順]：
取得した日時の新しい順に並べ替えます。

[ジャンル順]：
トルカの種類を示すジャンル順に並べ替えます。

[インデックス順]：
インデックスの50音順に並べ替えます。

[かな順]：
トルカ内部に登録されているかなの順に並べ替えます。

選択した並び順でトルカが表示されます。

- [インデックス順]の場合、全角/半角が混在しているなどの理由により、50音順と一致しないことがあります。

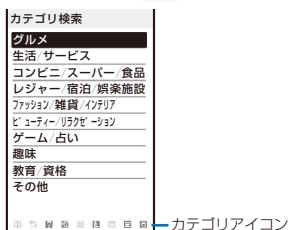
検索する

トルカをジャンルで検索できます。

1 **トルカフォルダ一覧で ✉（機能）を押す**

機能メニューが表示されます。

フォルダ内を検索する場合
トルカ一覧で ✉（機能）を押します。

2 **[検索]を選び ▤ を押す**

3 **ジャンルを選び ▤ を押す**

検索結果が表示されます。

検索したすべてのトルカを削除する場合
機能メニュー［削除］→［検索結果全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

検索したすべてのトルカを移動する場合
機能メニュー［移動］→［検索結果全件移動］→［はい］→フォルダを選択します。

トルカの詳細を設定する

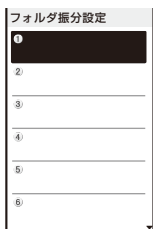
〈トルカ設定〉

トルカを取得するかどうかを設定する

読み取り機から、またはｉC通信でトルカを取得するかどうかを設定できます。

1 **メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[トルカ設定]→[トルカ取得設定]を選び ▤ を押す**

[許可する]：
読み取り機から、またはｉC通信でトルカを取得します。

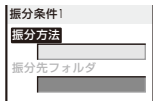
[許可しない]：
読み取り機から、またはｉC通信でトルカを取得しません。

2 **[許可する]/[許可しない]を選び ▤ を押す**

トルカ取得設定が設定されます。

次ページにつづく

トルカを自動的にフォルダに振り分ける

読み取り機から取得したトルカを、自動的にフォルダに振り分けることができます。振分条件は20件まで登録できます。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[トルカ設定]→[フォルダ振分設定]を選び ▤ を押す

振分条件を削除する場合

振分条件にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、振分条件を複数選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。すべての振分条件を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

振分条件を並べ替える場合

機能メニュー[並べ替え]→振分条件を選択し、移動先にカーソルをあわせて ▤(移動先)を押し、ⓘ(完了)を押します。

2 振分条件の登録先を選び ▤ を押す

3 [振分方法]に振分方法を選択する

[ジャンル]:
トルカのジャンルを指定します。

[タイトル]:
タイトルの一部を、全角10文字、半角20文字以内で指定します。

[インデックス]:
インデックスの一部を、全角10文字、半角20文字以内で指定します。

[指定なし]:
振分方法を指定しません。

4 [振分先フォルダ]に振り分けるフォルダを選び ▤ を押す

フォルダを指定しない場合

[トルカフォルダ]に振り分けられます。

5 ⓘ(完了)を押す

振分条件が登録されます。

- トルカが複数の振分条件に当てはまる場合は、リストの上位の番号の振分条件が優先されます。
- 振分条件が設定されているフォルダを削除すると、振分先のフォルダが[トルカフォルダ]になります。
- 振分条件設定前に取得したトルカは、自動的に振り分けられません。
- [利用済みフォルダ]は、振分先フォルダに設定できません。
- 読み取り機から取得したトルカのみ、自動的に振り分けられます。

トルカ(詳細)を自動で認識するかどうかを設定する

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用するときに、利用可能なトルカを自動認識させるかどうかを設定します。

- [利用済みフォルダ]には最大20件まで保存され、20件を超えた場合は取得日時の古いものから順番に削除されます。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[トルカ設定]→[自動認識設定]を選び ▤ を押す

[可]:

読み取り機で利用可能なトルカが自動的に認識され、[利用済みフォルダ]に保存されます。

[不可]:

読み取り機でトルカが認識されません。

自動認識設定の説明を表示する場合

[自動認識設定]にカーソルをあわせ、(ヘルプ)を押します。

2 [可]/[不可]を選び ▤ を押す

自動認識設定が設定されます。

[可]を選択した場合

[はい]を選択します。

- 自動認識設定を[可]に設定しても、オールロック設定中、パーソナルデータロック設定中は、削除対象となるトルカがあっても[利用済みフォルダ]に移動しません。
- 自動認識設定を[不可]に設定して読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。自動読取機能を利用する場合は、[はい]を選択し、自動認識設定を[可]に設定してください。

トルカ(詳細)の重複をチェックするかどうかを設定する

読み取り機からトルカを取得するときに、すでに取得済みかどうかをチェックします。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[トルカ設定]→[重複チェック設定]を選び ▤ を押す

[行なう]:

取得済みのトルカかどうかをチェックします。取得済みのトルカは取得しません。未取得のトルカのみ取得します。

[行なわない]:

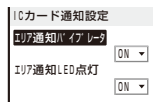
取得済みのトルカかどうかをチェックしません。

2 [行なう]/[行なわない]を選び ▤ を押す

重複チェック設定が設定されます。

通信可能範囲を知らせるかどうかを設定する 〈ICカード通知設定〉

電源ON時に読み取り機に近づき、FeliCa通信可能な範囲に入ったことや通信の開始を、バイブレータやFeliCaサインでお知らせするかどうかを設定できます。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[ICカード通知設定]を選び ▤ を押す

[エリア通知バイブレータ]:

通信開始時にバイブレータを振動するかどうかを設定します。

[エリア通知LED点灯]:

通信可能な範囲に入ったり通信開始時にFeliCaサインを点灯させるかどうかを設定します。

2 [エリア通知バイブレータ]にバイブレータの[ON]/[OFF]を選択する

3 [エリア通知LED点灯]にFeliCaサインの[ON]/[OFF]を選択する

- 公共モード(ドライブモード)設定中は、エリア通知バイブレータ、エリア通知LED点灯を[ON]に設定していても、FeliCaサインが点灯せずバイブレータも振動しません。

ICカード機能をロックする

〈ICカードロック〉

他の人がICカード機能を使用できないようにICカード機能をロックできます。

1 待受画面で [＊] (🔒)を1秒以上押す

ICカード機能がロックされ、「🔒」が表示されます。

ICカードロックを解除する場合

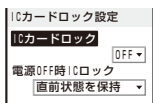
待受画面で [＊] (🔒)を1秒以上押し、端末暗証番号を入力して [≡] (OK)を押します。

電源を切ったときにICカード機能をロックする

電源を切ったときに、ICカード機能を自動的にロックするように設定できます。

1 メニューで[おサイフケータイ]→[設定]→[ICカードロック設定]を選び [≡] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、[≡] (OK)を押す

[ICカードロック]：
ICカード機能をロックするかどうかを設定します。

[電源OFF時ICロック]：
電源を切ったときにICカード機能を自動的にロックするかどうかを設定します。

3 [電源OFF時ICロック]に[直前状態を保持]/[ロック状態を保持]を選択する

[直前状態を保持]：
電源を切っても、電源が入っているときの状態を引き継ぎます。

[ロック状態を保持]：
電源を切ったときに、ICカード機能をロックします。

GPS機能

GPS機能のご利用について

- GPS機能のご利用にあたっては、iモードのご契約が必要となることがあります。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状況がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - かばんや箱の中
  - ビル街や住宅密集地
  - 密集した樹木の中や下
  - 高圧線の近く
  - 自動車、電車などの車内
  - 大雨、雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物(人や物)があるとき
  - 携帯電話のディスプレイ・受話口周辺を手で覆い隠すように持っているとき

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になることがあります。
- FOMA端末が圏外のとき(または海外)、GPS機能をご利用いただけません。
- GPSの人工衛星は高度約20,000kmの衛星軌道上に約24個あり、それぞれが約12時間で地球を一周しています。そのため同じ使用環境であっても日時により電波の受信状況が異なり、位置情報に大きな誤差を生じたり、測位できなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置情報の誤差による損害が発生しても当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 以下の場合は現在地確認、現在地通知、位置提供を利用できません。
  - オールロック設定中※1
  - おまかせロック設定中※1
  - パーソナルデータロック設定中※1
  - ボタンロック設定中※1
  - セルフモード設定中
  - FOMAカード未挿入時
  - ソフトウェア更新中
  - ダイヤル発信制限設定中※2

  ※1 位置提供は可能です。

  ※2 現在地確認、位置提供、現在地通知先の一覧からの現在地通知は可能です。

自分のいる場所を確認する

〈現在地確認〉

現在地を測位して自分の居場所を確認します。測位した位置情報から地図を表示したり、メールで送信したり電話帳に登録することもできます。

- 現在地確認するときの通信料は無料です。ただし、位置情報から地図を表示する場合などは、別途パケット通信料がかかります。

例：現在地の地図を表示する場合

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[現在地確認]を選び ▭ を押す

- 待受画面で 9 を1秒以上押しても現在地確認を行うことができます。測位後はGPSボタン設定に設定された機能が自動的に動作します。(P.278)

「▣」が点滅し、着信ランプが点滅します。

測位レベルの進捗がバーで表示されます。

現在地確認を中止する場合

✉(中止)を押します。

すぐに測位結果を表示する場合

i(利用)を押します。

やり直す場合

✉(リトライ)を押します。

測位レベル

- ★★★：ほぼ正確な位置情報(誤差がおおむね50m未満)
- ★★☆：比較的正確な位置情報(誤差がおおむね300m未満)
- ★☆☆：おおよその位置情報(誤差がおおむね300m以上)

- 測位レベルは目安です。周囲の電波状態などにより実際とは異なることがあります。

2 [地図を見る]を選び ☰ を押す

測位した現在地の地図が表示されます。

- 地図を表示した後、「iエリア－周辺情報－」を使って周辺情報を検索できます。「iエリア－周辺情報－」の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

GPS対応iアプリで位置情報を利用する場合

[対応iアプリを利用]→利用するソフトを選択します。

位置情報をメールに貼付ける場合

[メール貼付]→[はい]を選択します。

- 本文には位置情報をURL化した「位置情報URL」が入力されます。
- 送付する位置情報URLは、iモード対応端末でのみ表示されます。

位置情報を電話帳に登録する場合

[電話帳登録]→[新規登録]/[追加登録]を選択します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3～6)と同じ操作を行ってください。

位置情報を画像に付加する場合

[画像に付加]→データBOXのマイピクチャから画像を選択します。

● GPS機能を利用して、位置情報をカメラで撮影した画像に自動的に付加することができます。(P.171)

GPS対応iアプリを利用する 〈対応iアプリ〉

GPS対応iアプリのソフトで位置情報を利用できます。

- GPS対応iアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応iアプリでGPS機能を利用する場合、利用するソフトの位置情報利用設定を[利用する]に設定してください。
- 位置情報の利用方法は、ソフトによって異なります。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[対応iアプリ]を選び ☰ を押す

GPSソフト一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選び ☰ を押す

ソフトが起動し、「」または「」が表示されます。

地図アプリを利用する

お買い上げ時に登録されている「地図アプリ」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「iエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
- 本ソフトはメールを利用するiアプリのため、2in1のモードがBモードのときは利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス

付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

初めて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。

91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠地図＋ナビ」の会員登録(有料)が必要です。

本ソフトの利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

次ページにつづく

メニュー	内　容	90日まで	91日以降
今いる場所	• GPSを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。 • 今いる場所の足あとを残し、動いた軌跡を確認したり、みんなの足あとを見たりします。	無料	無料
周辺を調べる	• 今いる場所や指定した場所周辺の店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を検索します。	無料	無料
	• 本ソフトやサーバ、電話帳に登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	無料	有料
ナビをする	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルナビをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。	無料	有料
乗換案内	• 電車の乗り換え案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認したり、出発前にアラーム設定をしたりします。	無料	有料
設定/直感★	• FOMA端末を傾けて、3D地図や地図を動かします。	無料	無料
	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたを確認します。	無料	無料

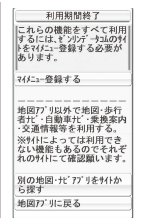
「地図アプリ」TOP画面のメニューと操作について

- 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

TOP画面

TOP画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

■会員登録をせずに91日以上過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン⌂地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

地図の画面と操作について

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

地図表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

地図表示時のボタン操作

操作ボタン	動　作
[メール] メニュー	メニューを表示します。
[クイック]	クイックアクセスメニューを表示します。
[i] 拡縮	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は [▲]、詳細表示する場合は [▼] を押します。[i]（閉じる）を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
[▲][▼][◀][▶]	地図を上下左右に移動します。
[CLR]	メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻ります。
[*]	地図を左に回転します。
[0]	地図を北向きにします。
[#]	地図を右に回転します。

クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

操作ボタン	動　作
[▲] 周辺を調べる	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
[▼] ココへナビ	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
[◀] ココを送信	表示している地図のURLをメールで送信します。
[▶] ココを登録	表示している地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有することができます。
[クイック] 地図へ	クイックアクセスメニューを閉じます。
[1] 3D・パノラマ	3D交差点やパノラマ画像が閲覧できるポイントを表示します。ポイントを選択すると、3D交差点やパノラマ画像を見ることができます。
[2] ビルテナント	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、クリックで確認できます。

次ページにつづく

周辺情報の検索結果の画面と操作について

- 検索結果を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

周辺情報の検索結果画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

周辺情報の検索結果表示時のボタン操作

- 検索結果の店舗などにカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。

操作ボタン	動　作
[決定]	検索結果の詳細情報を確認します。
[▲][▼][◀][▶]	地図を上下左右に移動します。
[5]	表示している地図を中心にして再検索します。
[4]	前の検索結果を見ます。
[6]	次の検索結果を見ます。
[メール] メニュー	メニューを表示します。
[i] 拡縮	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は [▲]、詳細表示する場合は [▼] を押します。[i]（閉じる）を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 本ソフトを起動中に [メール]（メニュー）を押し、［ナビをする］→［ナビをする］を選び [決定] を押す

2 ［出発地］を選び [決定] を押し、以下の項目から出発地を設定する

項目	説明
現在地（GPS）	現在地を測位して設定します。
フリーワード検索	キーワードで検索して設定します。
地図上で指定	地図で出発地を設定します。
TEL/〒検索	電話番号/郵便番号で検索して設定します。
住所一覧から	住所を選択して設定します。
ジャンルから	ジャンルを選択して設定します。
履歴から	過去に表示した地図から設定します。
登録地点から	本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅	自宅の位置情報を設定します。
出発地の確認	出発地の情報を確認します。

3 ［目的地］を選び [決定] を押し、操作2と同様の操作で目的地を設定する

4 ［時間指定］を選び [決定] を押し、以下の項目から選択する

項目	説明
現時刻で指定	現在の時間でルートを調べます。
出発時刻指定	出発時間を指定してルートを調べます。
到着時刻指定	到着時間を指定してルートを調べます。
終電を利用	当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 [条件設定]を選び ▤ を押し、以下の項目から選択して、[上記で設定]を選び ▤ を押す

乗換条件	乗り換えの選択基準を[早い]、[安い]、[楽々]から選択します。
徒歩ルート	ルートの選択基準を[おまかせ]、[屋根多い]、[階段少ない]から選択します。
特急利用	ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。
通常利用車種	利用する車種を選択します。

6 [👟🚃🚗で検索]/[🚗のみで検索]を選び ▤ を押す

トータルナビの[👟🚃🚗で検索]と自動車だけの[🚗のみで検索]でルートを検索できます。検索結果としてルート(最大6件まで)が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。

アイコン	意　味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗り換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件が揃ったルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

ルートを登録する場合

[ルートを登録]を選択します。

7 ルートを選択し、[ナビ・ルート確認]→[ナビ]/[ナビ(省電力)]を選び ▤ を押す

「ご利用上の注意」が表示されます。

ルートを確認する場合

ルートを選び、[ルート確認]を選択します。

時刻表を確認する場合

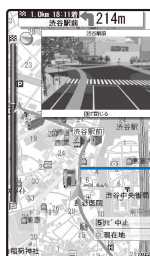
ルートを選び、[時刻表]を選択します。

8 [はい]を選び ▤ を押す

目的地までのナビゲーションを開始します。

ルート(自動車)/ナビゲーション(自動車)表示の画面と操作について

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

ルート(自動車)表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

ナビゲーション(自動車)表示画面

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007

ナビゲーション利用時のボタン操作

操作ボタン	動　作
✉ メニュー	ナビゲーションを終了し、TOPメニューを表示します。
▤	クイックアクセスメニューを表示します。
ⓘ 拡縮	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は ▲、詳細表示する場合は ▼ を押します。ⓘ(閉じる)を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
▲▼◀▶	地図を上下左右に移動します。
CLR	現在地の位置に戻ります。
2	交差点モードに切り替えます。
5	ナビゲーションの中止/開始を行います。
*	地図を左に回転します。
0	地図を北向きにします。
#	地図を右に回転します。

次ページにつづく

クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

操作ボタン	動　作
▼ 結果&設定	ルートの検索結果(時刻や料金など)を表示したり、ナビゲーションの設定をしたりします。
◀ 経由地の設定	目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索します。
▶ リルート	現在地から目的地までのルートを再検索します。
1 ルート消去	表示しているルートを消去します。
2 モード切替	交差点モードに切り替えます。
3 渋滞情報 ※ 自動車ルート時のみ	表示している地図と連動した渋滞情報を表示します。

設定・ヘルプを利用する

1 TOP画面のメニューで[設定/直感★]→[設定・ヘルプ]を選び ☰ を押し、以下の項目から選択する

会員情報確認	「ゼンリン🏠地図＋ナビ」に会員登録しているかどうかを確認できます。
α基本設定	地図表示色や文字サイズの設定などのソフト全般に関する設定をします。
ナビ設定	リルートや音声案内の音量などのナビ全般に関する設定をします。
自宅設定	自宅の場所を登録します。
履歴系クリア	地図やナビなどを利用した履歴を削除します。
使い方の説明/よくある質問/利用規約	使いかたの説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

要求に応えて現在の位置情報を提供する 〈位置提供〉

相手から要求があったときに現在の位置情報を提供します。

- 位置提供を利用するには、あらかじめ位置提供可否設定を[ON]または[許可期間設定]に設定してください。お買い上げ時は[OFF]に設定されています。また、サービスごとの利用設定が必要となることがあります。(P.271)(「イマドコサーチ」ご利用時は、i Menu(料金&お申込･設定のオプション設定)の位置情報利用設定(イマドコサーチ設定)が必要です)
- 位置提供のご利用にあたっては、位置提供機能に対応したサービス提供者への申し込みが必要となることがあります。また、サービスの利用は有料となることがあります。
- 位置提供のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモホームページなどでのお知らせに従ってください。
- 位置提供可否設定を[ON]または[許可期間設定]に設定すると、FOMA端末を操作しなくても位置情報が検索者に送信されることがあります。

位置情報の要求があると

設定した接続先から位置情報の提供を要求されると、位置提供を開始します。

- 音声電話通話中、プッシュトーク通信中は、バイブレータが動作しません。

サービスごとの利用設定が[許可]の場合

「」が点滅し、位置提供/許可音が鳴り、着信ランプが点滅します。

位置提供を中止する場合

✉(中止)または ⌒、CLR を押します。
ボタンロック設定中は ✉(中止)が無効となります。

GPS機能

サービスごとの利用設定が[毎回確認]の場合

[現在地送信する]

「 」が点滅し、位置提供/確認音が鳴り、着信ランプが点滅します。

位置提供を中止する場合

(中止)または 、CLR を押します。

ボタンロック設定中は (中止)が無効となります。

- 公共モード(ドライブモード)中に位置情報の要求があると次のように動作します。
  - サービスごとの利用設定が[許可]の場合、位置提供/許可音、バイブレータ、着信ランプは動作せず、画面のみ表示され、位置情報が提供されます。
  - サービスごとの利用設定が[毎回確認]の場合、位置情報は提供されません。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の要求があると次のように動作します。
  - 要求があるたびに確認画面が表示されます。[現在地送信する]を選択すると、即座におおまかな測位結果が相手に通知されます。[現在地送信する]を選択した後、GPS測位画面が表示されGPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。
  - [現在地送信する]を選択したあとに、位置提供を中断してもおおまかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 位置提供を中止するタイミングによっては、位置情報が送信されることがあります。
- 電波状態によっては、位置情報が送信されても、位置提供機能に対応したサービス提供者に届いていないことがあります。
- 2in1利用時は、モードにかかわらず位置提供を行います。
- 通知先IDは表示されないことがあります。

位置情報を提供するかどうかを設定する

位置情報の提供を要求されたときに、現在地の位置情報を提供するかどうかを設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[位置提供設定]→[位置提供可否設定]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し を押す

位置提供可否設定画面が表示されます。

[ON]:
要求した相手に位置情報を提供します。FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。

[OFF]:
要求した相手に位置情報を提供しません。

[許可期間設定]:
設定された期間だけ要求した相手に位置情報を提供します。

3 位置情報の提供方法を選び を押す

位置提供可否設定が設定されます。[ON]または[許可期間設定]に設定すると、「 」が表示されます。

[許可期間設定]を選択した場合

位置提供を許可する期間を設定します。[開始時刻]、[終了時刻]を24時間制で入力し、[繰返し]に繰り返し方法を設定します。繰返しに[毎日]または[曜日]を設定した場合、[開始日]、[終了日]を入力します。

初期設定から設定する場合

メニューで[設定]→[管理]→[初期設定]→[位置提供可否設定]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]/[いいえ]を選択します。

次ページにつづく

位置情報の提供を許可する期間を設定したときの動作

例：現在の日時が「2008/2/23 14:00」の場合

開始時刻：15:00　終了時刻：22:00

設定内容		位置提供が 行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2008/2/23 15:00～ 2008/2/23 22:00まで
毎日	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 15:00～ 2008/3/28 22:00まで 毎日（15:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 15:00～ 2008/3/28 22:00まで 毎日（15:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 15:00 以降 毎日（15:00～22:00の間）
曜日指定	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 15:00～ 2008/3/28 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 15:00～ 2008/3/28 22:00までの指定した曜日（15:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 15:00 以降の指定した曜日（15:00～22:00の間）

開始時刻：09:00　終了時刻：22:00

設定内容		位置提供が 行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2008/2/23 14:00～ 2008/2/23 22:00まで
毎日	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 09:00～ 2008/3/28 22:00まで 毎日（09:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 14:00～ 2008/3/28 22:00まで 毎日（09:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 14:00 以降 毎日（09:00～22:00の間）
曜日指定	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 09:00～ 2008/3/28 22:00までの指定した曜日（09:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 14:00～ 2008/3/28 22:00までの指定した曜日（09:00～22:00の間）
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 14:00 以降の指定した曜日（09:00～22:00の間）

開始時刻：15:00　終了時刻：10:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2008/2/23 15:00～ 2008/2/24 10:00まで
毎日	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 15:00～ 2008/3/29 10:00まで 毎日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 15:00～ 2008/3/29 10:00まで 毎日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 15:00 以降 毎日(15:00～翌日10:00の間)
曜日指定	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 15:00～ 2008/3/29 10:00までの指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 15:00～ 2008/3/29 10:00までの指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 15:00 以降の指定した曜日(15:00～翌日10:00の間)

開始時刻：09:00　終了時刻：09:00

設定内容		位置提供が行われる期間
繰り返し	有効期間	
設定なし	－	2008/2/23 14:00～ 2008/2/24 09:00まで
毎日	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 09:00～ 2008/3/29 09:00まで 毎日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 14:00～ 2008/3/29 09:00まで 毎日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 14:00 以降 毎日(09:00～翌日09:00の間)
曜日指定	開始日2008/2/28 終了日2008/3/28	2008/2/28 09:00～ 2008/3/29 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日2008/3/28	2008/2/23 14:00～ 2008/3/29 09:00までの指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)
	開始日2008/2/23 終了日：設定なし	2008/2/23 14:00 以降の指定した曜日(09:00～翌日09:00の間)

次ページにつづく

接続先を設定する

※通常は設定を変更する必要はありません。

契約時接続先以外のGPSサービス利用設定接続先を1件設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[位置提供設定]→[接続先設定]を選び ▤ を押す

設定した接続先を編集する場合

設定した接続先にカーソルをあわせ、ⓘ（編集）を押し、端末暗証番号を入力します。各項目を修正してください。

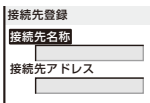
設定した接続先を削除する場合

設定した接続先にカーソルをあわせ、✉（削除）を押し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

接続先をお買い上げ時の状態に戻す場合

[契約時接続先]を選択します。

2 [未登録]を選び ⓘ（編集）を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し ▤（OK）を押す

[接続先名称]：
接続先の名称を、半角の英数字・記号99文字以内で入力します。

[接続先アドレス]：
接続先のアドレスを、半角の英数字・記号100文字以内で入力します。

4 各項目を入力する

5 ⓘ（完了）を押す

入力した接続先が保存されます。

6 接続先を選び ▤ を押す

接続先が変更されます。

GPSサービス利用設定を設定する

GPSサービス利用設定に接続して位置提供に必要な設定を行います。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[位置提供設定]→[サービス利用設定]を選び ▤ を押す

GPSサービス利用設定に接続されます。

2 各項目を設定する

- 設定方法については、サービス提供者にお問い合わせください。

- GPSサービス利用設定への接続中は、利用できる機能メニューがｉモード中とは異なります。また、URL履歴は記録されません。
- 国際ローミング中にGPSサービス利用設定サイトに接続した場合、エラーが表示され通信料が発生します。

現在の位置情報を通知する

〈現在地通知〉

現在地の位置情報を特定の相手（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知できます。

- 現在地通知のご利用にあたっては、現在地通知機能に対応したサービス提供者への申し込みが必要となることがあります。また、サービスの利用は有料となることがあります。
- 現在地通知のご利用にあたっては、サービス提供者や、ドコモのホームページなどのお知らせに従ってください。また、現在地通知機能の利用は有料です。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[現在地通知]を選び ▤ を押す

現在地通知起動方法選択画面が表示されます。

2 [現在地通知先]→通知先を選び [キー]を押す

「[アイコン]」が点滅し、着信ランプが点滅します。
現在地通知が終了すると、現在地通知音が鳴り、相手に位置情報が通知されます。

通知先を入力して通知する場合
[直接入力]を選択し、通知先IDを入力して [キー](確定)を押します。

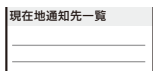
現在地通知を中止する場合
[キー](中止)または [キー]、CLR を押します。

- 2in1利用時は、モードにかかわらずAナンバーで位置情報を通知します。
- 中止するタイミングによっては、位置情報が送信されることがあります。
- 電波状態によっては、位置情報が送信されても、現在地通知機能に対応したサービス提供者に届いていないことがあります。

通知する相手を登録する

現在地を通知する相手を登録します。現在地通知先は5件まで登録できます。

- [通知先名]、[通知先ID]は必ず入力してください。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[現在地通知先登録]を選び [キー]を押す

現在地通知先の詳細を表示する場合
現在地通知先にカーソルをあわせ、[キー](詳細)を押します。

現在地通知先の内容を編集する場合
現在地通知先にカーソルをあわせ、機能メニュー[編集]を選択します。各項目を修正してください。

現在地通知先を削除する場合
現在地通知先にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべての現在地通知先を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

現在地通知先を電話帳に登録する場合
現在地通知先にカーソルをあわせ、機能メニュー[電話帳登録]→[本体メモリ]/[FOMAカード(UIM)]を選択します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3～6)またはFOMAカード電話帳登録(P.98操作3～4)と同じ操作を行ってください。

2 [キー](新規)を押す

[通知先名]:
通知先名を入力します。

[通知先ID]:
サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。

[電話番号]:
電話番号を入力します。

[自動通知設定]:
[電話番号]に設定した番号に音声電話/テレビ電話をかけたときに、現在地を自動的に通知するかどうかを設定します。

3 [通知先名]に通知先を入力する

全角16文字、半角32文字以内で入力します。

4 [通知先ID]に通知先IDを入力する

「*」「#」を含む半角数字12桁以内で入力します。

次ページにつづく

5 [電話番号]→[直接入力]を選び ▤ を押し、電話番号を入力する

「*」「#」「+」「P」を含む半角数字26桁以内で入力します。

- すでに現在地通知先に登録されている電話番号は登録できません。

電話帳から引用する場合

[電話帳から]を選択します。

6 [自動通知設定]に通知方法を選択する

[する]:
現在地を自動通知します。

[しない]:
現在地を自動通知しません。

[都度確認]:
音声電話/テレビ電話をかけるときに、現在地を通知するかどうかを確認します。

7 ⓘ(完了)を押す

現在地通知先が設定されます。

確認した位置情報の履歴を表示する 〈位置履歴〉

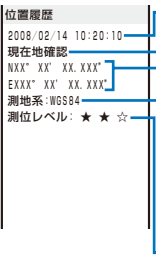
現在地確認、位置提供、現在地通知で確認した位置情報を、履歴として50件まで記録します。位置履歴の位置情報からさまざまな操作を行うことができます。

- 位置履歴が50件を超えると、古い履歴から順番に上書きされます。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[位置履歴]を選び ▤ を押す

- 測位種類は次のアイコンで確認できます。

	現在地確認
	現在地通知
	位置提供

位置情報を利用する場合

✉(利用)を押します。

- 位置情報の利用方法については、P.277を参照してください。

位置履歴を削除する場合

位置履歴にカーソルをあわせ、✉(利用)を押し、[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、位置履歴を複数選択して ⓘ(完了)を押し、[はい]を選択します。すべての位置履歴を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 位置履歴を選び ▤(詳細)を押す

- 現在地通知または位置提供が行われたときは、位置確認が失敗や中断したときも位置履歴に記録されます。ただし、表示されない内容があります。
- 位置情報を取得できなかった位置履歴は、各機能で利用できません。
- 位置提供、現在地通知の履歴が記録されていても、サービス提供者に位置情報が届いていないことがあります。
- 2in1利用時に位置提供を行った場合、位置提供要求者名は電話帳2in1設定に従って2in1のモードごとに表示されます。
- 位置履歴に記録されている位置情報・測位レベルは、電波状態などにより位置提供先・現在地通知先に送信された位置情報・測位レベルとは異なる場合があります。

各機能から位置情報を利用する

電話帳やサイト、画面メモ、トルカ、メッセージR/F、画像などに付加された位置情報から地図を表示したり、位置情報URLをメールに貼付けることができます。

位置情報を付加する

画像やFOMA端末電話帳に位置情報を付加したり、メール本文に位置情報URLを貼付けることができます。

例：現在地確認から位置情報をメール本文に付加する場合

1 メール本文入力画面で （機能）を押し、[位置情報取得]を選び を押す

FOMA端末電話帳に付加する場合

FOMA端末電話帳編集画面で[ ]を選択します。

2 [現在地確認から付加]を選び を押し、 (OK)を押す

位置情報URL貼付け確認画面が表示されます。

位置履歴から位置情報を付加する場合

[位置履歴から付加]→位置履歴を選択し、 (OK)を押します。

電話帳から位置情報を付加する場合

[電話帳から付加]→電話帳を選択します。

- 電話帳に位置情報を付加するときは選択できません。

画像から位置情報を付加する場合

[画像から付加]→データBOXのマイピクチャから画像を選択します。

3 [はい]を選び を押す

本文には位置情報をURL化した「 位置情報URL」が入力されます。

付加された位置情報を利用する

画像、FOMA端末電話帳、サイト、画面メモ、トルカ、メッセージR/Fなどに付加された位置情報を利用できます。

- 利用できる項目は、位置情報が付加されたデータの種類によって異なります。データの種類ごとに利用できる項目は次のとおりです。

データの種類	利用可能項目
画像	地図を見る、メール貼付、対応ｉアプリを利用、電話帳登録
電話帳	地図を見る、メール貼付、対応ｉアプリを利用、画像に付加
サイト、画面メモ、トルカ、メッセージR/F	地図を見る、メール貼付、対応ｉアプリを利用

例：電話帳に付加された位置情報の地図を表示する場合

1 電話帳でデータ→「 位置情報あり」を選び を押す

2 [地図を見る]を選び を押す

位置情報の地図が表示されます。

- 地図を表示した後、「ｉエリア－周辺情報－」を使って周辺情報を検索できます。「ｉエリア－周辺情報－」の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

位置情報を画像に付加する場合

[画像に付加]→データBOXのマイピクチャから画像を選択します。

画像に付加されている位置情報を削除する場合

[位置情報削除]→[はい]を選択します。

GPS対応ｉアプリで位置情報を利用する場合

[対応ｉアプリを利用]→利用するソフトを選択します。

位置情報をメールに貼付ける場合

[メール貼付]→[はい]を選択します。

- 本文には位置情報をURL化した「 位置情報URL」が入力されます。

位置情報を電話帳に登録する場合

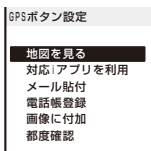
[電話帳登録]→[新規登録]/[追加登録]を選択します。

- FOMA端末電話帳登録(P.95操作3〜6)と同じ操作を行ってください。

GPS機能を設定する〈GPS設定〉

GPSボタンを設定する

待受画面で 9 を1秒以上押して現在地確認を行ったときの動作を設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[GPSボタン設定]を選び ▤ を押す

[地図を見る]:
測位した現在地の地図を表示します。

[対応ｉアプリを利用]:
GPS対応ｉアプリを利用します。

[メール貼付]:
位置情報をメールに貼付けます。

[電話帳登録]:
位置情報を電話帳に登録します。

[画像に付加]:
位置情報を画像に付加します。

[都度確認]:
利用する機能を毎回選択します。

2 自動的に行う機能を選び ▤ を押す

GPSボタン設定が設定されます。

測位の精度を設定する

測位の速度と精度のどちらを優先するかを設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[GPS]→[GPS設定]→[測位モード設定]を選び ▤ を押す

2 各項目に測位モードを選択する

[標準モード]:
速度を優先して測位を行います。

[品質重視モード]:
精度を優先して測位を行います。[標準モード]より測位に時間がかかる場合があります。

3 (完了)を押す

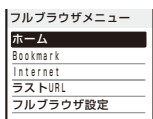
測位モード設定が設定されます。

フルブラウザ

パソコン向けのホームページを表示する

フルブラウザを利用すると、パソコン向けに作成されたインターネットホームページをFOMA端末で表示することができます。

- インターネットホームページによっては、表示できないことや正しく表示されないことがあります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料金が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 待受画面で［ｉ］（ｉモード）を押し、［フルブラウザ］を選び［■］を押す

フルブラウザメニューが表示されます。

2 ［Internet］→［URL入力］を選び［■］を押す

URL入力画面が表示されます。

ホームに登録したインターネットホームページを表示する場合

［ホーム］を選択します。

ブックマークから表示する場合

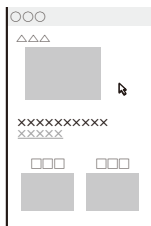
［Bookmark］→フォルダ→ブックマークを選択します。

最後に表示したページを表示する場合

［ラストURL］を選択し、［■］（接続）を押します。

3 ［ｉ］（編集）を押し、URLを入力する

「http://」を含み半角の英数字・記号512文字以内で入力します。

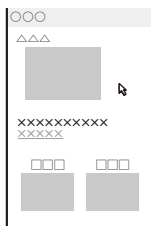
4 ［■］（接続）を押す

インターネットホームページが表示されます。

- アクセス設定が［利用しない］に設定されている場合、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。［利用する］を選び［OK］を選択するとアクセス設定の設定が切り替わり、インターネットホームページが表示されます。（P.288）

- インターネットホームページによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザは、次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示
  - プラグイン
  - メロディや音楽データの再生
  - Phone To
  - PDFデータの表示
- インターネットホームページによっては、自動的に通信する場合があります。

ホームページ表示中のボタン操作について

フルブラウザは、縦画面、横画面のどちらでも操作できます。
インターネットホームページ表示中に、以下のボタン操作ができます。

縦画面で操作する

操作方法

操　作	ボタン操作
ポインタ移動※	▲▼◀▶を押します。
ズームアウト	1を押します。
上ページへスクロール	2を押します。
ズームイン	3を押します。
左ページへスクロール	4を押します。 PCモードのときのみ操作できます。
PagePilot画面(ページ全体画面)を表示	5を押します。
右ページへスクロール	6を押します。 PCモードのときのみ操作できます。
前のページへ戻る	7または ch (前ページ)を押します。
下ページへスクロール	8を押します。
次のページへ進む	9を押します。
ブックマーク一覧を表示	0を押します。
左ウィンドウに切替	マルチウィンドウを表示しているときに、＊を押します。
右ウィンドウに切替	マルチウィンドウを表示しているときに、＃を押します。

※ ポインタの移動速度は変更できます。(P.287)

ボタンに割り当てられた機能を変更する場合

機能メニュー［ショートカット一覧］を選択し、変更するボタンを選んで ▤ (編集)を押し、割り当てる機能を選択して i (完了)を押します。
お買い上げ時の状態に戻す場合は、ショートカット一覧画面で ch (リセット)を押し、［はい］を選択します。

● ジョグでページのスクロールはできますが、ページ内で項目選択などのポインタ移動はできません。ポインタ移動は4方向ボタンで行ってください。

横画面で操作する

FOMA端末を90度傾けた横画面で操作することができます。

1 フルブラウザ画面で ✉ (機能)を押し、［横画面切替］を選び ▤ を押す

インターネットホームページが横画面で表示されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
ポインタ移動	▲▼◀▶を押します。
縦画面に切り替え	✉ (縦切替)を押します。
前のページへ戻る	ch (前ページ)を押します。
決定	▤ を押します。

● インターネットホームページを横画面表示しているときに ✉ (縦切替)を押しても、PagePilot画面を表示していた場合など、すぐには縦画面に切り替わらないことがあります。ページ表示画面に戻したときに縦画面に切り替わります。
● 全画面表示の設定/解除は縦画面で行ってください。(P.284)

ホームページ表示中の機能メニューについて

インターネットホームページを表示中に、✉ (機能)を押して表示される機能メニューから次の操作ができます。

- 機能メニューからの操作は横画面では利用できません。縦画面に切り替えてから行ってください。
- ページ読み込み中は実行できない機能があります。

項　目	操作方法
前のページへ戻る	[前のページへ戻る]を選択
次のページへ進む	[次のページへ進む]を選択
情報を再読み込みする	[再読込]を選択
ブックマークに登録する	[Bookmark登録]→[完了]→フォルダを選択
別のサイトに接続する	[Bookmark操作]→フォルダ→ブックマークを選択
表示履歴を利用する※	[表示履歴]を選択
インターネットホームページを表示する	[Internet]を選択(P.280、283)
表示中のページをホームに登録する	[ホーム登録]→[はい]を選択
ホームに登録したインターネットホームページを表示する	[ホーム]を選択
横画面で表示する	[横画面切替]を選択
全画面で表示する	[全画面表示/解除]を選択
画像を保存する	[画像取得]→[保存]/[保存して設定]→画像を選択
マルチウィンドウで表示する	[ウィンドウ操作]を選択(P.283)
フレーム選択画面を表示する	[フレーム全体表示]を選択(P.283)
ページ内の文字列を検索する	[ページ内検索]を選択(P.285)
URLをメールで送信する	[メール作成]を選択(P.207)
文字を正しく表示する	[文字コード変換]を選択 ・文字コードを順番に変換し再表示します。
アニメーションを再度動作する	[リトライ]を選択
タイトルを表示する	[タイトル表示]を選択
URLを表示する	[URL表示]を選択 ・URLをコピーする場合は、[i](コピー)を押します。
証明書を表示する	[証明書表示]を選択(P.284)
フルブラウザの設定をする	[フルブラウザ設定]を選択(P.286)
ボタンに割り当てられた機能を表示する	[ショートカット一覧]を選択(P.281)

※ メモリの空き容量が不足した場合、表示される縮小画面とは異なる画像が表示されることがあります。

ホームページ表示中のアクションメニューについて

インターネットホームページを表示中に、[i](アクション)を押して表示されるアクションメニューから次の操作ができます。

- アクションメニューからの操作は横画面では利用できません。縦画面に切り替えてから行ってください。
- 実際に操作できるアクションメニューは、表示しているインターネットホームページやポインタの位置によって異なります。

項　目	操作方法
リンクを新しいウィンドウで表示する	[新ウィンドウで開く]を選択(P.283)
リンク先URLを表示する	[リンク先URL表示]を選択(P.283)
画像をダウンロードして保存する	[画像保存]を選択(P.285)
画像を保存して待受画面などに設定する	[画像保存して設定]を選択
大きく表示する	[ズームイン]を選択
小さく表示する	[ズームアウト]を選択
ページ全体から表示したい部分を選択する	[PagePilot]を選択(P.284)
範囲を選択したり、画面をつかんで移動する	[ドラッグ]を選択(P.284)
テキストをコピーする	[テキストコピー]を選択(P.284)
テキストを貼り付ける	[テキスト貼付]を選択(P.284)

URL履歴を使って表示する

URLを入力して表示したインターネットホームページを、URL履歴として50件まで記録します。URL履歴からインターネットホームページに直接接続できます。

- URL履歴が50件を超えると、古い履歴から順番に上書きされます。

1 フルブラウザメニューで[Internet]→[URL履歴]を選び ☰ を押す

URL履歴画面が表示されます。

URLを表示する場合

URL履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー[URL表示]を選択します。☰（接続）を押すとインターネットホームページに接続します。

URL履歴をメールで送信する場合

URL履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー[メール作成]を選択します。

- ｉモードメール作成・送信（P.207操作2〜5）と同じ操作を行ってください。

URL履歴を削除する場合

URL履歴にカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー［削除］→[選択削除]を選択し、URL履歴を複数選択して ｉ（完了）を押し、［はい］を選択します。すべてのURL履歴を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 URL履歴を選び ☰（接続）を押す

URL履歴のインターネットホームページに接続します。

マルチウィンドウで表示する

複数のインターネットホームページを開き、ウィンドウを切り替えて表示できます。

- ウィンドウは最大5つ表示できますが、表示するインターネットホームページによっては、最大数まで表示できないことがあります。

例：ホームを新しいウィンドウに表示する場合

1 フルブラウザ画面で ✉（機能）を押し、[ウィンドウ操作]を選び ☰ を押す

リンクを新しいウィンドウで表示する場合

フルブラウザ画面でリンクにカーソルをあわせ、ｉ（アクション）を押し、[新ウィンドウで開く]を選択します。

リンク先のURLを表示する場合

フルブラウザ画面でリンクにカーソルをあわせ、ｉ（アクション）を押し、［リンク先URL表示］を選択します。

2 [新ウィンドウで開く]を選び ☰ を押す

裏ウィンドウで開く場合

［裏ウィンドウで開く］を選択します。

ウィンドウを閉じる場合

［ウィンドウを閉じる］→[OK]を選択します。

ウィンドウを切り替える場合

［ウィンドウ切替］→切り替えるウィンドウを選択します。

3 [ホーム]を選択する

新しいウィンドウにホームが表示されます。

ブックマークから表示する場合

［Bookmark］→フォルダ→ブックマークを選択します。

URLを入力して表示する場合

［Internet］→[URL入力]を選択し、ｉ（編集）を押し、URLを入力して ☰（接続）を押します。

URL履歴から表示する場合

［Internet］→[URL履歴]→URLを選択します。

フレームページを表示する

複数のフレームで構成されたインターネットホームページを表示できます。フレーム選択画面からフレームを選択してページを表示します。

1 フレーム選択画面で ▲ ▼ でフレームを選び ☰ を押す

選択したフレームが表示されます。

フレーム選択画面に戻る場合

機能メニュー［フレーム全体表示］を選択します。

画面表示を切り替える

画面にガイド表示を表示するかどうかを設定できます。

1 フルブラウザ画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [全画面表示/解除]を選び ▭ を押す

全画面表示/解除が設定されます。

SSL/TLS対応のページを表示する

フルブラウザでは、URLが「https://」から始まるSSL/TLS対応のページを表示できます。

- SSL/TLSは、認証/暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式です。

SSL/TLS通信を
開始します
（認証中）

SSL/TLS対応のページを表示する場合、上の画面が表示されます。SSL/TLS対応のページを表示すると、「🔒」が表示されます。

証明書を表示する場合

機能メニュー［証明書表示］→証明書を選択します。

ページ全体から表示したい部分を選択する

1 フルブラウザ画面で ⓘ（アクション）を押し、[PagePilot]を選び ▭ を押す

ページ全体が表示されます。

2 ▲ ▼ / ◀ ▶ で表示する部分を選択し、▭ を押す

選択した部分が表示されます。

● メモリの空き容量が不足した場合、表示される縮小画面とは異なる画像が表示されることがあります。

ドラッグする

フルブラウザ画面でドラッグ操作を行い、範囲を選択したり、画面をつかんで移動することができます。

- サイトによっては、ドラッグできないものもあります。

例：範囲を選択する場合

1 フルブラウザ画面で ⓘ（アクション）を押し、[ドラッグ]を選び ▭ を押す

ポインタ「↖」が「✋」に変わります。

2 始点を選び ▭ を押す

ポインタが「✊」に変わります。

画面をつかんで移動する場合

つかむ位置で ▭ を押し、▲ ▼ / ◀ ▶ で画面を移動します。

3 ▲ ▼ / ◀ ▶ で範囲を選択し、▭ を押す

範囲が選択され、ポインタが「✋」に戻ります。

ドラッグを終了する場合

CLR を押します。

テキストをコピーする

1 フルブラウザ画面で ⓘ（アクション）を押し、[テキストコピー]を選び ▭ を押す

ポインタ「↖」が「I」に変わります。

2 始点を選び ▭ を押す

3 ▲ ▼ / ◀ ▶ で終点を選び ▭ を押す

テキストがコピーされます。

テキストを貼り付ける場合

フルブラウザ画面のテキストボックスで ⓘ（アクション）を押し、［テキスト貼付］を選択します。

ページ内の文字列を検索する

1 フルブラウザ画面で ✉（機能）を押し、[ページ内検索]を選び ▤ を押す

2 [検索文字列]に検索キーワードを入力する

全角25文字、半角50文字以内で入力します。

3 [完全一致]に[ON]/[OFF]を選択する

4 [大文字小文字区別]に[ON]/[OFF]を選択する

5 i（実行）を押す

検索した文字列が反転表示されます。

前後の検索結果を表示する場合

✉（前検索）/ i（次検索）を押します。

画像をアップロードする

画像のアップロードに対応しているインターネットホームページでは、データBOXまたはmicroSDメモリーカードに保存されている画像をアップロードすることができます。

- アップロードする方法は、インターネットホームページによって異なります。

1 フルブラウザ画面で「select」ボタンを選び ▤ を押す

2 データBOXまたはmicroSDメモリーカードのマイピクチャから画像を選択する

- アップロードできる画像は次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	80Kバイト以下※	–

※ 1件あたりのサイズです。複数の画像や文字列を含む場合は、合計で100Kバイト以下となります。

画像を保存する

インターネットホームページから画像をダウンロードして、データBOXやmicroSDメモリーカードに保存できます。

- 保存できる画像は、1Mバイト以下のGIF画像、JPEG画像、PNG画像、BMP画像です。PNG画像とBMP画像はmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。
- 画像サイズが[UXGA（1600×1200）]を超えるGIF画像、[待受（480×864）]を超えるGIFアニメはデータBOXに保存できません。また、JPEG画像によってはデータBOXに保存できないことがあります。

1 フルブラウザ画面で保存したい画像にポインタをあわせる

2 i（アクション）を押し、[画像保存]を選び ▤ を押す

保存先選択画面が表示されます。

[データBOX]：
データBOXに保存します。保存するフォルダを選択します。

[microSD]：
microSDメモリーカードに保存します。

3 保存先を選び ▤ を押す

選択した保存先に画像が保存されます。

ブックマークを管理する

フルブラウザのブックマークを200件まで登録できます。

- ブックマークのフォルダ一覧画面やブックマーク一覧画面から操作できる機能については、P.191をご覧ください。（フルブラウザでは、URLも変更することができます）
- 「http://」を含み半角の英数字・記号512文字までのURLを登録できます。
- ブックマークは最大16個のフォルダで管理できます。
- ブックマークのフォルダ名は全角16文字、半角32文字まで入力できます。
- メモリの空き容量が不足した場合、表示される縮小画面とは異なる画像が表示されることがあります。

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルやURLを変更できます。

1 フルブラウザメニューで[Bookmark]→フォルダを選び ☰ を押し、ブックマークを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [編集]を選び ☰ を押す

ブックマーク編集画面が表示されます。

3 [タイトル]を選び ☰ を押し、タイトルを入力する

全角12文字、半角24文字以内で入力します。

4 [URL]を選び ☰ を押し、URLを入力する

「http://」を含み半角の英数字・記号512文字以内で入力します。

5 ｉ（完了）を押す

編集した内容が保存されます。

フルブラウザの設定をする

フルブラウザに関する各種の機能を設定します。

- インターネットホームページ表示中に機能メニューから操作することもできますが、一部の機能は実行できません。

ホームURLを登録する

ホームに設定するインターネットホームページのURLを登録できます。お買い上げ時は、「http://www.google.co.jp」がホームURLとして登録されています。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[ホーム設定]を選び ☰ を押す

2 ｉ（編集）を押し、URLを入力して ☰（確定）を押す

「http://」を含み半角の英数字・記号512文字以内で入力します。

Cookieについて設定する

Cookieとは、インターネットホームページに接続したときに、FOMA端末にユーザ名やアクセス日時、アクセス回数などのデータを一時的に記録するしくみです。次回同じインターネットホームページに接続したときにその情報が参照されます。
インターネットホームページ接続時にCookieを送受信するかどうかを設定できます。

- Cookieを有効にすることで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- インターネットホームページによっては、Cookieを無効にすると正常に表示・利用できない場合があります。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[Cookie設定]を選び ☰ を押す

[有効]：
Cookieを常に有効にします。

[送信時に確認]：
Cookieを送信するかどうかを選択できます。

[受信時に確認]：
Cookieを受信するかどうかを選択できます。

[送受信時に確認]：
Cookieを送受信するかどうかを選択できます。

[無効]：
Cookieを常に無効にします。

Cookieを全件削除する場合

[Cookie削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 Cookieを有効にするかどうかを選び ☰ を押す

Cookie設定が設定されます。

- 別のFOMAカードに差し替えると、Cookie設定は[無効]に変更されます。

JavaScriptの有効/無効を設定する

JavaScriptとは、インターネットホームページ上で使われているプログラム言語で、動きのあるホームページなどで利用されています。
インターネットホームページにJavaScriptが使われているとき、プログラムを実行させるかどうかを設定できます。

- インターネットホームページによっては、無効にすると正常に表示できない場合があります。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[Script設定]を選び ▤ を押す

[有効(自動通信)]：
　通信時にプログラムを自動で実行します。

[有効(通信時確認)]：
　通信時にプログラムを実行するかどうかを確認します。通信時の確認画面で[はい(以後非表示)]を選択すると、設定は自動的に[有効(自動通信)]に切り替わります。

[無効]：
　プログラムを実行しません。

2 プログラムの実行方法を選び ▤ を押す

Script設定が設定されます。

[有効(自動通信)]を選択した場合
　[はい]を選択します。

表示モードを設定する

フルブラウザ起動時の表示モードを設定します。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[表示モード設定]を選び ▤ を押す

[PCモード]：
　パソコン用の画面サイズで表示します。

[ケータイモード]：
　FOMA端末の横幅にあわせて縮小表示します。

2 表示モードを選び ▤ を押す

表示モード設定が設定されます。

画像を表示しないようにする

インターネットホームページを表示するときに、画像を表示するかどうかを設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[画像表示設定]を選び ▤ を押す

2 [ON]/[OFF]を選び ▤ を押す

画像表示設定が設定されます。

画面の表示倍率を設定する

フルブラウザ画面の表示倍率を設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[画面倍率]を選び ▤ を押す

2 画面倍率を選び ▤ を押す

[75%]、[100%]、[125%]、[150%]、[175%]、[200%]から選択します。

スクロール中にページ全体を表示する

スクロール中に自動的にページ全体を表示するかどうかを設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[PagePilot設定]を選び ▤ を押す

2 [移動中表示する]/[移動中表示しない]を選び ▤ を押す

PagePilot設定が設定されます。

ポインタの移動速度を設定する

ポインタを移動する速さを設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[ポインタ速度設定]を選び ▤ を押す

2 ポインタの移動速度を選び ▤ を押す

[1(遅い)]、[2～4]、[5(速い)]から選択します。

次ページにつづく

新しいウィンドウを自動で開くかどうかを設定する

インターネットホームページのJavaScriptから新規ウィンドウを開く指示があったときに、自動でウィンドウを開くかどうかを設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[ウィンドウオープンガード]を選び ▭ を押す

[有効]:
新規ウィンドウを開きません。

[無効]:
新規ウィンドウを開きます。

2 [有効]/[無効]を選び ▭ を押す

ウィンドウオープンガードが設定されます。

Refererの送信について設定する

Refererとはリンク元情報のことです。Refererを送信すると、どのページからアクセスしているかの情報がサイトに送信されます。
リンクを選択してインターネットホームページを表示したときに、Refererを送信するかどうかを設定できます。

- Refererを使用することで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- インターネットホームページによっては、Refererを送信しないと正常に表示できない場合があります。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[Referer設定]を選び ▭ を押す

2 [送信する]/[送信しない]/[毎回確認]を選び ▭ を押す

Referer設定が設定されます。

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定する

フルブラウザ機能を利用するかどうかを設定できます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[アクセス設定]を選び ▭ を押す

[利用する]:
フルブラウザを利用できます。

[利用しない]:
フルブラウザ起動時にアクセス設定画面が表示されます。

2 フルブラウザ機能を利用するかどうかを選び ▭ を押す

3 [OK]を選び ▭ を押す

アクセス設定が設定されます。

● 別のFOMAカードに差し替えると、アクセス設定は[利用しない]に変更されます。

フルブラウザの設定内容を確認する

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[フルブラウザ設定確認]を選び ▭ を押す

設定内容が表示されます。

フルブラウザの設定を初期状態に戻す

フルブラウザ設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 フルブラウザメニューで[フルブラウザ設定]→[フルブラウザ設定リセット]を選び ▭ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、▭ を押す

3 [はい]を選び ▭ を押す

フルブラウザ設定がリセットされます。

データ表示/編集/管理

保存した画像を表示する

〈マイピクチャ〉

データBOXやmicroSDメモリーカードのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 待受画面で ▲（📁）を押し、［マイピクチャ］を選び ☰ を押す

マイピクチャのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び ☰ を押す

マイピクチャのファイル一覧が表示されます。

- 画像の種類・サイズは、次のアイコンで確認できます。

アイコン	種　類	サイズ
128	JPEG画像	sQCIF（128×96）
176		QCIF（176×144）
320		QVGA（240×320）
352		CIF（352×288）
432		WQVGA（240×432）
640		VGA（640×480）
864		待受（480×864）
1M		1M（1280×960）
2M		2M（1632×1224）
2M		2Mワイド（1920×1080）
3M		3M（2048×1536）
5M		5M（2592×1944）
...		その他

アイコン	種　類	サイズ
176	ミニフォト画像	QCIF（176×144）
320		QVGA（240×320）
640		VGA（640×480）
864		待受（480×864）
...		その他
	フレーム画像	－
	スタンプ画像	－
	デコメ絵文字	－
GIF	GIF画像	－
	Flash画像	－
	位置情報あり	－

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は、アイコンの右上に「🚫」が表示されます。

保存日時を表示する場合

を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

3 画像を選び ☰ を押す

選択した画像が表示されます。

表示画質を変更する場合

2 を押します。2 を押すと、ノーマル/シャープ/ダイナミックを切り替えることができます。

- 表示画質は次のアイコンで確認できます。

アイコン	表示画質
	ノーマル
S	シャープ
D	ダイナミック

画面からアイコン表示やガイド表示を消す場合

i（表示）を押します。i（表示）を押すと、標準表示/簡易表示/表示なしを切り替えることができます。

前後の画像を表示する場合
◀ で前の画像、▶ で次の画像を表示します。

JPEG画像、GIF画像の表示サイズを切り替える場合
ch（等倍/標準/拡大/縮小）を押します。
ch（等倍）を押すと、画像が等倍で表示されます。ただし、サイズが［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］の画像は、ch（標準）を押すと2倍で表示されます。

Flash画像を再度動作させる場合
ch（リトライ）を押します。

ｉモードメールに添付する場合
✉（機能）を1秒以上押します。（P.212）

ブログに投稿する場合
機能メニュー［ブログ投稿］→投稿先のサービスを選択します。（P.358）

待受画面などに設定する場合
機能メニュー［画面設定］→画面の種類を選択します。

位置情報を付加する場合
機能メニュー［位置情報］→［位置情報取得］を選択します。（P.277）

付加された位置情報を利用する場合
機能メニュー［位置情報］→［位置情報利用］を選択します。（P.277）

付加された位置情報の詳細を表示する場合
機能メニュー［位置情報］→［位置情報詳細］を選択します。

付加された位置情報を削除する場合
機能メニュー［位置情報］→［位置情報削除］→［はい］を選択します。

- microSDメモリーカードの画像をファイル一覧で表示している場合は、位置情報取得と位置情報削除はできません。
- microSDメモリーカードのファイル一覧や画像は、表示に時間がかかることがあります。
- 撮影した画像をパソコンなどで編集すると、画像の縮小表示が「」と表示されることがあります。
- 画像が表示できない場合は、「」が表示されます。
- 高速赤外線通信を使って静止画を送信することができます。（P.330）

音楽付スライドショーで表示する

データBOXやmicroSDメモリーカードのマイピクチャに保存されているJPEG画像を、BGMやエフェクトを付けて自動的に切り替えて表示します。

- 音楽付スライドショーは横画面で再生されます。

例：データBOXのマイピクチャから音楽付スライドショーを再生する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

メニュー画面から音楽付スライドショーを再生する場合
メニューで［イメージング］→［音楽付スライドショー］を選択します。

カメラ起動中に音楽付スライドショーを再生する場合
カメラモード画面で ▶ を押して ⓘ（一覧表示）を押し、機能メニュー［音楽付スライドショー］を選択します。

2 ［音楽付スライドショー］を選び ☰ を押す

音楽付スライドショーの再生スタンバイ中画面が表示されます。

3 ☰（再生）を押す

音楽付スライドショーが開始されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	☰（再生）を押します。
一時停止	☰（ポーズ）を押します。
音量調節	▲ ▼ を押します。
画像送り	一時停止中に ▶ を押します。押し続けると連続して画像を送ります。
画像戻し	一時停止中に ◀ を押します。押し続けると連続して画像を戻します。

再生中にアイコン表示やガイド表示を表示する場合
マナー を押します。マナー を押すと、表示/非表示を切り替えることができます。

データ表示／編集／管理

音楽付スライドショーを再生するフォルダを指定する場合
一時停止中に機能メニュー[ ]→フォルダを選択します。

エフェクトを変更する場合
一時停止中に機能メニュー[ ](エフェクト)→エフェクトの種類を選択します。

エフェクトの繰り返しを設定する場合
一時停止中に機能メニュー[ ](繰返し)→[ ](あり)/[ ](なし)を選択します。

BGMを変更する場合
一時停止中に機能メニュー[ ](BGM)→[ ](データBOX)→[ミュージック]/[iモーション]→BGMを選択します。BGMを鳴らさない場合は、[ ](サイレント)を選択します。

- [ミュージック]から再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合、設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体がBGMに設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が設定されます。

表示画質を設定する場合
一時停止中に機能メニュー[ ](表示画質切替)→[ ](ノーマル)/[ ](シャープ)/[ ](ダイナミック)を選択します。

音楽付スライドショーを終了する場合
を押します。音楽付スライドショーを終了して待受画面に戻ります。

静止画を編集する 〈静止画編集〉

マイピクチャに保存したJPEG画像にスタンプを押したり、フレームを付けたりして編集できます。

- お買い上げ時に登録されている画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、撮影モードを[パノラマ撮影]に設定して撮影した画像は編集できません。
- 画像によっては、編集できないことがあります。
- 画像の編集を始めると、回転表示されている画像は回転が解除され、保存の向きで表示されます。保存後の画像の表示も保存の向きになります。
- 画像の編集を繰り返し行うと、画像が劣化することがあります。

フレームを貼付ける

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[CIF(352×288)]、[VGA(640×480)]、[待受(480×864)]の画像にフレームを貼付けることができます。

例:フレームを貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び を押し、 (機能)を押す
機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[フレーム]を選び を押す

3 フレームを選び を押す

フレームを確認する場合
フレームにカーソルをあわせ、 (見る)を押します。

4 (保存)を押し、[上書保存]を選び を押す
フレームを貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

スタンプを貼付ける

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[QVGA(240×320)]、[CIF(352×288)]、[VGA(640×480)]、[待受(480×864)]の画像にスタンプを貼付けることができます。

例:スタンプを貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び を押し、 (機能)を押す
機能メニューが表示されます。

2 [静止画編集]→[画像スタンプ]を選び を押す

3 スタンプを選び を押す

スタンプを確認する場合
スタンプにカーソルをあわせ、 (見る)を押します。

4 ▲ ▼ / ◀ ▶ で位置を調節し、▤（貼付）を押す

同じスタンプを追加する場合
操作4を繰り返します。

別のスタンプを貼付ける場合
ch（再選択）を押し、もう一度操作3～4を行います。

5 i（確定）を押す

6 ▤（保存）を押し、［上書保存］を選び ▤ を押す

スタンプを貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合
［新規保存］→保存先を選択します。

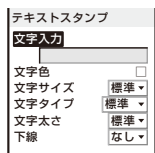
文字を貼付ける

画像サイズが［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］、［CIF（352×288）］、［VGA（640×480）］、［待受（480×864）］の画像に文字を貼付けることができます。貼付ける文字のタイプや文字色を指定することもできます。

例：文字を貼付けて上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ▤ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［静止画編集］→［テキストスタンプ］を選び ▤ を押す

［文字入力］：
貼付ける文字を全角10文字、半角20文字以内で入力します。

［文字色］：
貼付ける文字の色を選択します。

［文字サイズ］：
貼付ける文字のサイズを選択します。

［文字タイプ］：
貼付ける文字の種類を選択します。

［文字太さ］：
貼付ける文字の太さを選択します。

［下線］：
貼付ける文字に下線を表示するかどうかを選択します。

3 各項目を設定する

4 i（確定）を押す

5 ▲ ▼ / ◀ ▶ で位置を調節し、▤（貼付）を押す

同じテキストスタンプを追加する場合
操作5を繰り返します。

別のテキストスタンプを貼付ける場合
ch（再編集）を押し、もう一度操作2～5を行います。

6 i（確定）を押す

7 ▤（保存）を押し、［上書保存］を選び ▤ を押す

文字を貼付けた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合
［新規保存］→保存先を選択します。

画像の一部をズームして切出す

画像の一部分をズームした状態で範囲を指定し、［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］、［CIF（352×288）］、［VGA（640×480）］、［待受（480×864）］のサイズに切出すことができます。

- 画像サイズが［sQCIF（128×96）］の場合は、切出しできません。

例：画像を切出して上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び ▤ を押し、✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［静止画編集］→［ズーム切出し］→切出す画像サイズを選び ▤ を押す

- 薄く表示されている画像サイズには切出しできません。

3 i（ズーム(T)）/ ch（ズーム(W)）を押す

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

- ［i］（ズーム（T））を押すと拡大され、［ch］（ズーム（W））を押すと縮小されます。

ズームが調節され、設定したズーム倍率がバー表示されます。

4 ［▲］［▼］/［◀］［▶］で切出す範囲を選択し、［≡］（確定）を押す

画像が指定したサイズに切出されます。

5 ［≡］（保存）を押し、［上書保存］を選び［≡］を押す

切出した画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

［新規保存］→保存先を選択します。

回転する

画像サイズが［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］、［CIF（352×288）］、［VGA（640×480）］、［待受（480×864）］の画像を回転できます。

例：画像を回転して上書き保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び［≡］を押し、［✉］（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［静止画編集］→［回転］を選び［≡］を押す

3 ［i］（回転）を押し、［≡］（確定）を押す

［i］（回転）を押すたびに、画像が90°ずつ時計回りに回転します。

4 ［≡］（保存）を押し、［上書保存］を選び［≡］を押す

回転した画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

［新規保存］→保存先を選択します。

画像サイズを変換する

画像サイズを［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（240×320）］、［CIF（352×288）］、［VGA（640×480）］、［待受（480×864）］のサイズに変換できます。

例：画像サイズを変換して保存する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び［≡］を押し、［✉］（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［静止画編集］→［サイズ変換］→変換する画像サイズを選び［≡］を押す

- 薄く表示されている画像サイズには変換できません。

3 ［≡］［保存］を押し、［はい］→保存先を選び［≡］を押す

サイズを変換した画像が保存されます。

● 画像サイズによっては、選択した画像サイズに変換できないことがあります。

画像に効果を加える

画像に特殊効果を加えることができます。

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び［≡］を押し、［✉］（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［静止画編集］→［画像効果］を選び［≡］を押す

［Photo fix］：
画像の色合いや明るさを自動的に調節します。

［マンガ調］：
画像をマンガ風のタッチに仕上げます。

［グレースケール］：
画像を白黒のモノクロ画像にします。

［アンティーク調］：
画像を古い写真のような色合いにします。セピアよりも明るくなります。

［スケッチ］：
画像を色付きの線画のイメージに仕上げます。

3 画像効果を選び［≡］を押す

画像効果を取り消して表示する場合

［i］（効果OFF）を押します。元に戻す場合は、［i］（効果ON）を押します。

4 ［≡］（保存）を押し、［上書保存］を選び［≡］を押す

効果をつけた画像が上書き保存されます。

新しい画像として保存する場合

［新規保存］→保存先を選択します。

画像をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービスを利用して、GIF画像/JPEG画像を一度に10件までお預かりセンターに保存できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービスの詳細は、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

1 マイピクチャのファイル一覧で （機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［お預かりセンター保存］を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し を押す

選択保存画面が表示されます。

4 画像を選び を押す

- 複数の画像を保存する場合は、操作4を繰り返します。

5 （完了）を押す

保存確認画面が表示されます。

6 ［はい］を選び を押す

お預かりセンターに接続され、画像の保存が実行されます。保存が完了すると保存結果画面が表示されます。

動画/ｉモーションを再生する

〈ｉモーション〉

データBOXやmicroSDメモリーカードのｉモーションに保存されている動画/ｉモーションを再生します。

1 待受画面で （ ）を押し、［ｉモーション］を選び を押す

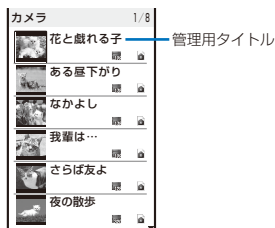
ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

前回停止した位置から再生する場合

［続きから再生］を選択します。

プレイリストを再生する場合

［プレイリスト］フォルダ→プレイリストにカーソルをあわせ、 （再生）を押します。プレイリスト内の動画/ｉモーションを再生する場合は、［プレイリスト］フォルダ→プレイリストを選択し、動画/ｉモーションにカーソルをあわせ、 （再生）を押します。

2 フォルダを選び を押す

ｉモーションのファイル一覧が表示されます。

- 動画/ｉモーションの種類・サイズ、再生制限は、次のアイコンで確認できます。

種類・サイズ

アイコン	種　類	サイズ
	映像と音声が含まれる動画/ｉモーション	sQCIF（128×96）
		QCIF（176×144）
		QVGA（320×240）
		VGA（640×480）
		その他
	映像のみの動画/ｉモーション	sQCIF（128×96）
		QCIF（176×144）
		QVGA（320×240）
		VGA（640×480）
		その他
	音声のみの動画/ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）	－
	途中までダウンロードした動画/ｉモーション	－

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

- FOMA端末外への出力が禁止されている動画/iモーションは、アイコンの右上に「」が表示されます。

再生制限

アイコン	再生制限
	再生制限ありの動画/iモーション
	再生期限切れの動画/iモーション

フォルダ内の動画を連続再生する場合

機能メニュー［連続再生］を選択します。一覧表示されているファイルが順番に再生されます。停止するときは（停止）を押します。

保存日時を表示する場合

#を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

3 動画/iモーションを選び を押す

選択した動画/iモーションが表示されます。

不足データ取得確認画面が表示される場合

［はい］を選択します。

表示画質を変更する場合

2を押します。2を押すと、ノーマル/シャープ/ダイナミックを切り替えることができます。

- 表示画質は次のアイコンで確認できます。

	ノーマル
S	シャープ
D	ダイナミック

画面からアイコン表示やガイド表示を消す場合

（表示）を押します。（表示）を押すと、標準表示/簡易表示/表示なしを切り替えることができます。

前後の動画/iモーションを表示する場合

◀で前の動画/iモーション、▶で次の動画/iモーションを表示します。

画像の表示サイズを切り替える場合

ch（等倍/標準/拡大）を押します。サイズが［QVGA（320×240）］の画像は、ch（等倍）を押すと等倍で表示されます。サイズが［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］の画像は、ch（標準）を押すと2倍で表示されます。

- サイズが［VGA（640×480）］の画像は常に等倍で表示され、表示サイズの切り替えはできません。

iモードメールに添付する場合

（機能）を1秒以上押します。（P.212）

ブログに投稿する場合

機能メニュー［ブログ投稿］→ブログサービスを選択します。（P.358）

待受画面などに設定する場合

機能メニュー［画面設定］→画面の種類を選択します。

電話着信音などに設定する場合

機能メニュー［音設定］→着信音の種類を選択します。

画像の表示方法を一時的に切り替える場合

機能メニュー［再生切替］→画像の表示方法を選択します。

- 画像サイズが［QVGA（320×240）］の場合、［横画面ワイド（フル）］/［横画面ワイド（ズーム）］も選択できます。

画像の表示方法を設定する場合

機能メニュー［再生画面設定］→画像の表示方法を選択します。

4 （再生）を押す

選択した動画/iモーションが再生されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	（再生）を押します。
一時停止	（ポーズ）を押します。
停止	（停止）を押します。
音量調節	▲▼を押します。
早送り	再生中に▶を押します。▶を押している間だけ早送りすることもできます。
早戻し	再生中に◀を押します。◀を押している間だけ早戻しすることもできます。
コマ送り	一時停止中に▶を押します。

- 動画/ｉモーションを初めて再生する場合、横画面で再生するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると、横画面で再生されます。
- microSDメモリーカードのファイル一覧や動画/ｉモーションは、表示に時間がかかる場合があります。
- 撮影した動画をパソコンなどで編集すると、動画の縮小表示が「 」と表示されることがあります。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、再生期限が決められている動画/ｉモーションが再生できなくなることがあります。
- 動画/ｉモーションは、詳細情報の[着信音設定可否]、[着信画面設定可否]が「可」になっている場合に着信音、着信画像に設定できます。ただし、次の動画/ｉモーションは設定できません。
  - 赤外線通信、ｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどでパソコンや他のFOMA端末に転送して、もう一度FOMA端末に戻したもの
  - microSDメモリーカードからFOMA端末に保存したもの(FOMA端末からコピー/移動(コンテンツ移行を除く)したものを、もう一度FOMA端末に戻した場合も含む)

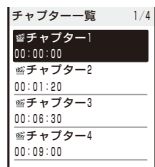
チャプターごとに再生する

ｉモーションをチャプター単位で再生します。

1 ｉモーションのファイル一覧で動画/ｉモーションを選び [メニュー] を押し、[✉](機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [チャプター一覧]を選び [メニュー] を押す

3 チャプターを選んで [メニュー] を押す

選択した位置から動画/ｉモーションが再生されます。

前/次のチャプターから再生する場合

[1] で前のチャプター、[3] で次のチャプターから再生します。

プレイリストを作成する

お好みの動画/ｉモーションをプレイリストに登録します。プレイリストは最大5件まで作成/編集することができ、1件につき最大25件の動画/ｉモーションを登録できます。

例：動画/ｉモーションを1件ずつ追加登録する場合

1 ｉモーションのファイル一覧で動画/ｉモーションを選び [✉](機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [プレイリスト登録]→[1件登録]を選び [メニュー] を押す

新しいプレイリストを作成する場合

ｉモーションのフォルダ一覧で[プレイリスト]を選び、機能メニュー[プレイリスト作成]を選択します。プレイリスト名を全角10文字、半角20文字以内で入力します。

複数選択して登録する場合

機能メニュー[プレイリスト登録]→[選択登録]を選択し、動画/ｉモーションを複数選択して [i] (完了)を押します。

データ表示／編集／管理

3 登録するプレイリストを選び [MENU] を押す

登録方法選択画面が表示されます。

［追加登録］：
選択した動画/ｉモーションをプレイリストに新規に追加します。

［全入換え］：
選択した動画/ｉモーションでプレイリストに登録されている動画/ｉモーションをすべて上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。［はい］を選択すると、登録されていた動画/ｉモーションはすべてプレイリストから削除されるのでご注意ください。

4 ［追加登録］を選び [MENU] を押す

プレイリストに動画/ｉモーションが登録されます。

プレイリストの動画/ｉモーションを削除/並べ替えする

プレイリストから動画/ｉモーションを削除したり、プレイリスト内の動画/ｉモーションを並べ替えたりできます。プレイリストから動画/ｉモーションを削除しても、動画/ｉモーションのファイルそのものは削除されません。

例：1件ずつ削除する場合

1 ｉモーションのフォルダ一覧で［プレイリスト］→プレイリストを選び [MENU] を押す

プレイリストの動画/ｉモーション一覧が表示されます。

すべて削除する場合
機能メニュー［プレイリストから削除］→［全件削除］→［はい］を選択します。

2 動画/ｉモーションを選び [✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

動画/ｉモーションを並べ替える場合
機能メニュー［並べ替え］→動画/ｉモーションを選択し、移動先にカーソルをあわせて [MENU]（移動）を押し、[i]（完了）を押します。

3 ［プレイリストから削除］→［1件削除］→［はい］を選び [MENU] を押す

選択した動画/ｉモーションがプレイリストから削除されます。

プレイリストを削除/名前を変更する

プレイリストを削除したり、プレイリスト名を変更したりできます。

例：プレイリストを削除する場合

1 ｉモーションのフォルダ一覧で［プレイリスト］を選び [MENU] を押す

プレイリスト一覧が表示されます。

2 プレイリストを選び [✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

プレイリスト名を変更する場合
プレイリストにカーソルをあわせ、機能メニュー［プレイリスト名編集］を選択します。全角10文字、半角20文字以内で入力します。

3 ［プレイリスト削除］→［はい］を選び [MENU] を押す

選択したプレイリストが削除されます。

動画を編集する 〈動画編集〉

FOMA端末で撮影した動画を編集できます。

- 動画によっては、編集できないことがあります。

動画を切出す

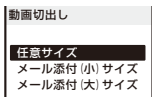
画像サイズが［sQCIF（128×96）］、［QCIF（176×144）］、［QVGA（320×240）］、［VGA（640×480）］の動画の一部を、範囲やサイズを指定して切出します。

例：サイズを指定して動画を切出して上書き保存する場合

1 ｉモーションのファイル一覧で動画を選び [MENU] を押し、[✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [動画編集]→[動画切出し]を選び を押す

動画切出し
任意サイズ
メール添付(小)サイズ
メール添付(大)サイズ

[任意サイズ]:
開始位置と終了位置を指定して切出します。

[メール添付(小)サイズ]:
開始位置を指定して、開始位置から500Kバイトまでを自動的に切出します。

[メール添付(大)サイズ]:
開始位置を指定して、開始位置から2Mバイトまでを自動的に切出します。

3 [メール添付(小)サイズ]/[メール添付(大)サイズ]を選び を押す

4 ◀ ▶ で切出しを開始する位置を選び、 (始点)を押す

[任意サイズ]を選択した場合
◀ ▶ で切出しを終了する位置を選び、 (終点)を押します。

5 [はい]を選び を押す

6 (保存)を押し、[上書保存]を選び を押す

切出した動画が上書き保存されます。

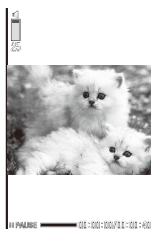
新しい動画として保存する場合
[新規保存]→保存先を選択します。

静止画として切出す

画像サイズが[sQCIF(128×96)]、[QCIF(176×144)]、[QVGA (320×240)]、[VGA (640×480)]の動画の任意の位置を指定し、静止画として切出します。

1 iモーションのファイル一覧で動画を選び を押し、 (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [動画編集]→[静止画切出し]を選び を押す

コマ送りする場合
▶ を押します。

コマ戻しする場合
◀ を押します。

3 (再生)を押し、切出す位置で (ポーズ)を押し、 (切出し)を押す

4 [はい]を選び を押す

5 (保存)を押し、[はい]→保存先を選び を押す

切出した静止画がマイピクチャに保存されます。

画像サイズを変換する

画像サイズが[QVGA (320×240)]の動画を画像サイズ[QCIF(176×144)]に変換します。

例:画像サイズを変換して上書き保存する場合

1 iモーションのファイル一覧で動画を選び を押し、 (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 **[動画編集]→[サイズ変換]を選び ▭ を押す**

3 **[はい]を選び ▭ を押す**

4 **▭ (保存)を押し、[上書保存]を選び ▭ を押す**

サイズ変換された動画が上書き保存されます。

新しい動画として保存する場合

[新規保存]→保存先を選択します。

- ファイルサイズの大きい動画/ｉモーションは、変換に時間がかかることがあります。
- 変換後のファイルサイズが大きい場合、500Kバイト以内に動画の一部を切出すことがあります。

カメラモードから画像を表示/再生する

カメラで撮影した静止画や動画をカメラモード画面で表示/再生できます。ファイル一覧では、6×4コマのサムネイル画像を閲覧しながら静止画や動画を選択できます。また、ブログ投稿やメール添付、静止画編集/動画編集、画面設定や音設定、画像の削除、移動、保存などの機能も、マイピクチャやｉモーションから画像の一覧や画像を表示したときと同様に利用できます。

静止画を表示する

1 **カメラモード画面で ▭ を押す**

最後に撮影した静止画の保存先フォルダ内にある、最も新しい日付の静止画が表示されます。そのフォルダが空の場合、同一メモリ内の他のフォルダで静止画を探して表示します。

- 待受画面で ▭ を1秒以上押しても、カメラで撮影した静止画または動画を表示/再生できます。

操作方法

操　作	ボタン操作
表示画質変更	2 を押します。押すたびにノーマル/シャープ/ダイナミックが切り替わります。(P.290)
表示切替	マナー を押します。押すたびに標準表示/キー操作ガイド表示/表示なしが切り替わります。
前後の画像を表示	◀ で前の画像、▶ で次の画像を表示します。
拡大表示	ch (ズーム(T))を押します。ズームする場合は、ch (ズーム(T))/ ▭ (ズーム(W))を押します。ch (ズーム(T))を押すと拡大され、▭ (ズーム(W))を押すと縮小されます。元のサイズに戻す場合は、▭ (戻る)を押します。
動画再生に切り替え	メモ を押します。押すたびに静止画/動画が切り替わります。 • 機能メニュー[▭](ファイル)→[▭](動画再生)を選択しても、動画に切り替えることができます。
表示するメモリを切り替え	▭ を押します。押すたびにデータBOX/microSDメモリーカードが切り替わります。 • 機能メニュー[▭](ファイル)→[▭](データBOX)/[▭](microSD)を選択しても、表示するメモリを切り替えることができます。
カメラ起動	▭ を押します。
ｉモードメール添付	▭ (機能)を1秒以上押します。(P.212)

画像の詳細情報を表示する場合

機能メニュー[▭](ファイル)→[▭](詳細情報表示)を選択します。

ブログに投稿する場合

機能メニュー[▭](データ送信)→[▭](ブログ投稿)→ブログサービスを選択します。(P.358)

画像を編集する場合

機能メニュー[▭](静止画編集)→編集の種類を選択します。

- 静止画を編集する(P.292～295)と同じ操作を行ってください。編集の種類を選択したあとは、縦画面での操作になります。

待受画面などに設定する場合
機能メニュー［ ］（画面設定）→画面の種類を選択します。

位置情報を付加する場合
機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報取得）を選択します。（P.277）

付加された位置情報を利用する場合
機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報利用）を選択します。（P.277）

付加された位置情報の詳細を表示する場合
機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報詳細）を選択します。

付加された位置情報を削除する場合
機能メニュー［ ］（位置情報）→［ ］（位置情報削除）→［はい］を選択します。

2 （一覧表示）を押す

静止画のファイル一覧が表示されます。

フォルダ一覧画面を表示する場合
（上階層へ）を押します。

画像を表示する場合
表示する画像のサムネイルにカーソルをあわせ、 または （一件表示）を押します。
- カメラモードから表示した静止画のファイル一覧では、JPEG画像のみ表示できます。JPEG以外の画像のサムネイルを選択すると、表示できない旨のメッセージが表示されます。

音楽付スライドショーを再生する場合
機能メニュー［音楽付スライドショー］を選択します。（P.291）

動画を再生する

1 動画撮影画面で を押す

最後に撮影した動画の保存先フォルダ内にある、最も新しい日付の動画が表示されます。そのフォルダが空の場合、同一メモリ内の他のフォルダで動画を探して表示します。
- 待受画面で を1秒以上押しても、カメラで撮影した静止画または動画を表示/再生できます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生/一時停止	（再生）を押します。再生中に （ポーズ）を押すと、再生を一時停止します。 • 動画/ｉモーションを再生する（P.296操作4）と同じ操作を行ってください。
停止	一時停止中に （機能）を押し、［ ］を選択します。
表示画質変更	2 を押します。押すたびにノーマル/シャープ/ダイナミックが切り替わります。（P.296）
表示切替	マナー を押します。押すたびに標準表示/キー操作ガイド表示/表示なしが切り替わります。
前後の動画を表示	◀ で前の動画、▶ で次の動画を表示します。
静止画表示に切り替え	メモ を押します。押すたびに静止画/動画が切り替わります。 • 機能メニュー［ ］（ファイル）→［ ］（静止画再生）を選択しても、静止画に切り替えることができます。
表示するメモリを切り替え	を押します。押すたびにデータBOX/microSDメモリーカードが切り替わります。 • 機能メニュー［ ］（ファイル）→［ ］（データBOX）/［ ］（microSD）を選択しても、表示するメモリを切り替えることができます。
カメラ起動	を押します。
ｉモードメール添付	（機能）を1秒以上押します。（P.212）

データ表示／編集／管理

動画の詳細情報を表示する場合

機能メニュー［ ］(ファイル)→［ ］(詳細情報表示)を選択します。

- 再生一時停止中に (機能)を押し、［ ］を選択しても詳細情報を表示できます。

ブログに投稿する場合

機能メニュー［ ］(データ送信)→［ ］(ブログ投稿)→ブログサービスを選択します。(P.358)

動画を編集する場合

機能メニュー［ ］(動画編集)→編集の種類を選択します。

- 動画を編集する(P.298～300)と同じ操作を行ってください。

待受画面などに設定する場合

機能メニュー［ ］(画面設定)→画面の種類を選択します。

電話着信音などに設定する場合

機能メニュー［ ］(音設定)→着信音の種類を選択します。

画像サイズが[QVGA (320×240)]の画像を一時的にワイド表示に切り替える場合

機能メニュー［ ］(再生切替)→［ ］(横画面ワイド(フル))/［ ］(横画面ワイド(ズーム))を選択します。再生を停止すると元の表示に戻ります。

2 **(一覧表示)を押す**

動画のファイル一覧が表示されます。

フォルダ一覧画面を表示する場合

(上階層へ)を押します。

動画を再生する場合

再生する動画のサムネイルにカーソルをあわせ、 または (一件表示)を押し、再生スタンバイ中画面で (再生)を押します。

- 動画/ｉモーションを再生する(P.296操作4)と同じ操作を行ってください。

フォルダ内の動画を連続再生する場合

機能メニュー［連続再生］を選択します。サムネイル表示されているファイルが順番に再生されます。停止するときは (停止)を押します。

プレイリストに登録する場合

機能メニュー［プレイリスト登録］→[1件登録]/[選択登録]を選択します。

- プレイリストを作成する(P.297)と同じ操作を行ってください。

キャラ電とは 〈キャラ電〉

キャラ電とは、テレビ電話を利用するときに、自分の画像の代わりに送信するキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルボタンを押してキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。

■お買い上げ時に登録されているキャラ電

アイアイ

©SEGA

■お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧

アイアイ

全体アクション

1：アレレ？	2：イェーイ！
3：エーンエーン	4：アハハッ
5：もうっ！	6：ねむいよ～
7：がっかり…	8：ごめんなさーい
9：なんだってー！	

●お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
［ｉMenu］→［メニュー/検索］→［ケータイ電話メーカー］→［PlayNow by SO］

キャラ電を表示して操作する

データBOXのキャラ電に保存されているキャラ電を表示します。

1 待受画面で［▲］（［フォルダ］）を押し、［キャラ電］を選び［≡］を押す

キャラ電のファイル一覧が表示されます。

- キャラ電にはファイル制限があり、キャラ電のアイコンの右上に「」が表示されます。

テレビ電話をかける場合
キャラ電にカーソルをあわせ、機能メニュー［キャラ電発信］を選択し、電話番号を入力して［ch］（テレビ電話）を押します。

テレビ電話の代替画像に設定する場合
キャラ電にカーソルをあわせ、機能メニュー［代替画像設定］を選択します。

2 キャラ電を選び［≡］を押す

©SEGA

前後のキャラ電を表示する場合
［◀］で前のキャラ電、［▶］で次のキャラ電を表示します。

操作方法

操　作	ボタン操作
アクションを中止する	アクション中に［0］を押します。
アクションモードを切り替える	［ch］（切替）を押します。押すたびに全体アクションとパーツアクションが切り替わります。 （全体アクション）：全身が動きます。 （パーツアクション）：体の一部が動きます。
アクション一覧を表示する	［i］（一覧）を押します。アクションを選択するとアクションを確認できます。アクションにカーソルをあわせ、［i］（詳細）を押すとアクション名を表示します。
他のキャラ電を表示する	機能メニュー［キャラ電設定］→［キャラ電切替］→キャラ電を選択します。

●操作できるアクションはキャラ電によって異なります。キャラ電によっては、アクションがないものもあります。

音楽データを再生する
〈ミュージック〉

データBOXやmicroSDメモリーカードのミュージックに保存されている音楽データを再生します。

1 待受画面で［▲］（［フォルダ］）を押し、［ミュージック］を選び［≡］を押す

ミュージックのフォルダとファイルの一覧が表示されます。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

- 音楽データの種類・再生制限は、次のアイコンで確認できます。

種類

アイコン	種　類
/	オリジナルプレイリスト、WMAプレイリスト、インポートプレイリスト
	着うたフル®
	途中までダウンロードした着うたフル®
	3GPP
	WMA

- 着うたフル®にはファイル制限があるため、アイコンの右上に「」が表示されます。

再生制限

アイコン	再生制限
	再生制限ありの音楽データ
	再生期限切れの音楽データ
	うた・ホーダイ
	再生期限切れのうた・ホーダイ

フォルダ内の音楽データを再生する場合

フォルダを選んで を押します。

ジャケット表示とリスト表示を切り替える場合

機能メニュー[ジャケット表示切替]を選択します。

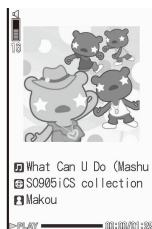
ミュージックプレーヤーにする場合

機能メニュー[プレーヤーモード]を選択します。

着うたフル®を着信音に設定する場合

着うたフル®にカーソルをあわせ、機能メニュー[音設定]→着信の種類を選択します。

- 再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合、設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体が着信音に設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が着信音に設定されます。
- microSDメモリーカード内の着うたフル®を選択した場合は、FOMA端末への移動確認画面で[はい]を選択し、移動先フォルダを選び (保存)を押します。

2 音楽データを選び を押す

選択した音楽データが再生されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	(再生)を押します。
停止	(停止)を押します。
音量調節	を押します。
頭出し	を押します。
早送り	再生中に を1秒以上押します。
早戻し	再生中に を1秒以上押します。

プレイリストを選択した場合

ミュージックプレーヤーに切り替わります。

メロディを再生する 〈メロディ〉

データBOXやmicroSDメモリーカードのメロディに保存されているSMF形式/MFi形式のメロディを再生します。

1 待受画面で ( )を押し、[メロディ]を選び を押す

メロディのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び を押す

プリインストール 1/21
着信音1
着信音2
着信音3
着信音4
着信音5
Symphony
Tsuki
Pavane
Raindrop
Forest
Cuckoo Clock
School Chime

管理用タイトル

メロディのファイル一覧が表示されます。

データ表示／編集／管理

- メロディの種類は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	種　類
♪	メロディ
♪	3Dサウンド対応メロディ

- FOMA端末外への出力が禁止されているメロディは、アイコンの右上に「 」が表示されます。

再生範囲が指定されているメロディを再生する場合

メロディにカーソルをあわせ、機能メニュー[ポイント再生]を選択します。

iモードメールに添付する場合

メロディにカーソルをあわせ、機能メニュー[メール添付]を選択します。(P.212)

電話着信音などに設定する場合

メロディにカーソルをあわせ、機能メニュー[音設定]→着信音の種類を選択します。

3 メロディを選び [MENU] を押す

選択したメロディが再生され、着信ランプが点滅します。

再生を停止する場合

[MENU](停止)を押します。

前後のメロディを再生する場合

◀ で前のメロディ、▶ で次のメロディを再生します。

音量を調節する場合

▲▼ を押します。

● バイブレータ(P.110)の設定にかかわらず、メロディ再生中にメロディに連動してバイブレータが振動することがあります。

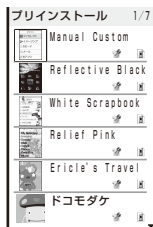
きせかえツールを表示/再生する 〈きせかえツール〉

データBOXに保存されているきせかえツールの内容を一覧表示して、選択したデータを表示/再生できます。

- microSDメモリーカードに保存されているきせかえツールの内容は一覧表示できますが、データの表示/再生はできません。

1 待受画面で ▲ ( )を押し、[きせかえツール]を選び [MENU] を押す

きせかえツールのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び [MENU] を押す

きせかえツールの一覧が表示されます。

- きせかえツールの種類は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	種　類
	きせかえツール
	途中までダウンロードしたきせかえツール

きせかえツールのイメージ画像を表示する場合

[ch](見る)を押します。

きせかえツールを設定する場合

きせかえツールにカーソルをあわせ、機能メニュー[きせかえ設定]を選択します。

データ表示/編集/管理

3 きせかえツールを選び ▭ を押す

きせかえツール内のデータ一覧画面が表示されます。

- ファイルの種類は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	種　類
(アイコン)	きせかえメニュー
(アイコン)	動画/ｉモーション
(アイコン)	画像またはメロディ
(アイコン)	再生不可ファイル
(アイコン)	カラーテーマ

不足データ取得確認画面が表示される場合
[はい]を選択します。

表示中のきせかえツールを設定する場合
(i)(きせかえ)を押します。

4 データを選び ▭ を押す

選択したデータを表示/再生します。

microSDメモリーカードについて

FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、microSDメモリーカード内のデータをFOMA端末内に取り込むことができます。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカード内のデータを閲覧したり、パソコンと接続してmicroSDメモリーカードのリーダー/ライターとして利用したりできます。(P.314)

microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- 他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示/再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示/再生できないことがあります。
- SO905iCSでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています。(2007年12月現在)

  microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

  ｉモードサイト：
  [PlayNow by SO](2007年12月現在)
  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

  ホームページ：
  ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
  http://www.SonyEricsson.co.jp/memorycard/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

- microSDメモリーカードにアクセス中(データ読み込み中/保存中など)は、FOMA端末からmicroSDメモリーカードを取外さないでください。故障などの原因となります。
- 挿入時アクセス準備中(最初の読み込みまたは書き込みができるまでの準備中)は、「SD」が点滅します。「SD」が点滅し続けている場合は、microSDメモリーカードを取外して取付けし直してください。それでも点滅が続く場合は、microSDメモリーカードの状態をご確認ください。
- microSDメモリーカードにラベルなどを貼らないでください。取付け/取外し時にラベルがはがれて故障などの原因となります。
- microSDメモリーカードに保存したデータは、別にバックアップを取るなどして保管することをおすすめします。万一、保存したデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パソコンなどでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末では使用できません。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。**(P.313)**

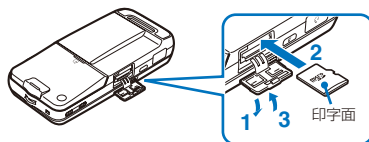
microSDメモリーカードの取付けかた/取外しかた

■取付けかた

- microSDメモリーカードを取付けるときは、必ず下記のように印字面を上にして正しく取付けてください。下記以外の方向に取付けると故障などの原因となります。

1 挿入口のカバーを開ける

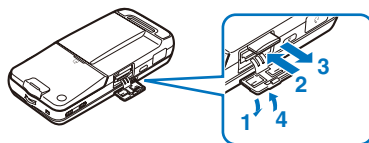
2 microSDメモリーカード挿入口に差し込む

- 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

3 挿入口のカバーを閉じる

■取外しかた

1 挿入口のカバーを開ける

2 microSDメモリーカードを軽く押す

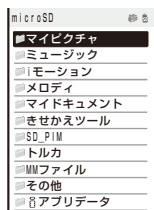
microSDメモリーカードが少し出てきます。

3 microSDメモリーカードを取り出す

4 挿入口のカバーを閉じる

- microSDメモリーカード装着中は画面に「SD」が表示されます。表示されない場合は、microSDメモリーカードに関して次のような原因が考えられます。ご確認ください。
  - 金属端子部にゴミなどが付着している
  - 装着が不十分である
  - 破損している
  - 推奨以外の外部メモリを使用している(推奨外部メモリについてはP.306のQRコードを読み取り、「PlayNow by SO」をご覧ください)

microSDメモリーカードのデータを表示する

microSDメモリーカード内のデータを表示して確認できます。

1 メニューで[LifeKit]→[microSD]を選び [メニューキー] を押す

microSDのカテゴリ一覧が表示されます。

表示するメモリを切り替える場合

[i]（メモリ切替）を押します。[i] を押すたびに、データBOX/microSDメモリーカードが切り替わります。

2 カテゴリを選び [メニューキー] を押す

- カテゴリ/データ表示中の操作については、各機能の説明を参照してください。ただし、microSDメモリーカードではできない操作もあります。
  - マイピクチャ（P.290）
  - ミュージック（P.303）
  - ｉモーション（P.295）
  - メロディ（P.304）
  - マイドキュメント（P.333）
  - きせかえツール（P.305）
  - 電話帳（P.101）
  - テキストメモ（P.372）
  - スケジュール（P.363）
  - 受信メール/送信メール/保存メール（P.219）
  - Bookmark（P.191）
  - トルカ（P.257）
  - MMファイル（P.295、309）
  - ｉアプリデータ（P.250）

3 データを選び [メニューキー] を押す

選択したデータの内容が表示されます。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末で表示する場合

○：保存可　×：保存不可　△：移動のみ可

フォルダ構成		FOMA端末への保存の可否			データの内容
		1件保存	選択保存	全件保存	
マイピクチャ	通常カメラ画像	○	○	○	FOMA端末のカメラで撮影した画像、GIF画像
	通常デコメ絵文字	○	○	○	デコメ絵文字
	通常その他画像	○	○	○	JPEG画像、GIFアニメ
	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応の静止画
ミュージック	通常コンテンツ	×	×	×	音楽データ（3GPP）
	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応の音楽データ（着うたフル®）
	WMA	×	×	×	WMAファイル
ｉモーション	通常コンテンツ	○	○	○	動画/ｉモーション
	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応の動画/ｉモーション
メロディ	通常コンテンツ	○	○	○	メロディ
	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応のメロディ
マイドキュメント	通常コンテンツ	○	○	○	PDFデータ
	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応のPDFデータ
きせかえツール	移行可能コンテンツ	△	×	×	コンテンツ移行対応のきせかえツール
SD_PIM	電話帳	○※1	×	×	電話帳データ
	テキストメモ	○※1	×	×	テキストメモ
	スケジュール	○※1	×	×	スケジュール
	受信メール	○※1	×	×	受信メール
	送信メール	○※1	×	×	送信メール
	保存メール	○※1	×	×	保存メール
	Bookmark	○※1	×	×	ブックマーク
トルカ		○※1	×	×	トルカ、トルカ（詳細）
MMファイル		○	○	○	音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）※2
その他		×	×	×	その他のファイル
ｉアプリデータ		×	×	×	ｉアプリ保存データ

※1 電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、トルカをmicroSDメモリーカードからFOMA端末に保存する場合、microSDメモリーカード上のファイル単位となります。microSDメモリーカード上の1ファイルには複数件のデータが含まれることがあります。
※2 AAC形式の音楽データを含みます。

■FOMA端末へ移動/保存できないデータ

電話帳	• 指定発着信画像に設定した動画/ｉモーション、100Kバイトまたは画像サイズが［QVGA（240×320）］を超えるGIF画像/JPEG画像は保存できません。
トルカ	• 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は保存できません。
メロディ	• 200Kバイトを超えるメロディは保存できません。
マイピクチャ	• 2Mバイトを超えるGIF画像は保存できません。 • 画像サイズが［UXGA（1600×1200）］を超えるGIF画像、［待受（480×864）］を超えるGIFアニメ、一部のJPEG画像は保存できません。 • 2Mバイトまたは画像サイズが［5M（2592×1944）］を超えるJPEG画像は保存できません。
ミュージック	• microSDメモリーカードからデータBOXに音楽データは保存できません。（コンテンツ移行対応の着うたフル®を除く）
ｉモーション	• 10Mバイトを超える動画/ｉモーションは保存できません。
マイドキュメント	• 2Mバイトを超えるPDFデータは保存できません。

次ページにつづく

パソコンなどで表示する場合

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに保存すると、対応するフォルダが自動的に作成されます。

- 最大保存件数は、空の状態に保存した場合の目安です。

フォルダ構成					FOMA端末のフォルダ	ファイル形式	FOMA端末ファイル名	最大保存件数の目安(64MB)
DCIM					–	–	–	–
	100SODCF～999SODCF				マイピクチャ/通常カメラ画像	JPEG(Exif)、GIF	DSC0nnnn.JPG/.GIF	P.152
SD_VIDEO					–	–	–	–
	PRLxxx				iモーション/通常コンテンツ	MP4	MOLxxx.MP4/.3GP	P.152、153
SD_PIM					電話帳	vCard	PIM*****.VCF	3,877
					メール(送信/受信/保存)	vMessage	PIM*****.VMG	
					スケジュール	vCalendar	PIM*****.VCS	
					Bookmark	vBookmark	PIM*****.VBM※1	
					テキストメモ	vNote	PIM*****.VNT	
PRIVATE					–	–	–	–
	DOCOMO				–	–	–	–
		STILL	SUDnnn		マイピクチャ/通常その他画像	JPEG(Exif以外)、GIFアニメ、SWF	STILnnnn.JPG/.GIF/.SWF	3,875
		RINGER	RUDnnn		メロディ/通常コンテンツ	MFi、SMF	RINGnnnn.MID/.MLD/.SMF	3,875
		DOCUMENT	PUDnnn		マイドキュメント/通常コンテンツ	PDF	PDFDCnnn.PDF/.$DF※2	3,875
		TORUCA	TRCnnn		トルカ	vNote	TORUCnnn.TRC	3,875
		MMFILE	MUDnnn		MMファイル/通常コンテンツ	MP4	MMFnnnn.MP4/.3GP	P.152、153
			MUSIC		ミュージック/通常コンテンツ	3GPP、WMA	ファイル名.3gp/.wma	P.343
				Playlist	ミュージック/通常コンテンツ/インポートプレイリスト	M3U	ファイル名.m3u	P.348
			WM		ミュージック/WMA	WMA	ファイル名.wma	P.343
			WM_SYSTEM		–	–		P.343
		DECOIMG	DUDnnn		マイピクチャ/通常デコメ絵文字	JPEG、GIF	DIMGnnnn.JPG/.GIF	3,875
		OTHER	OUDnnn		その他	–	OTHERnnnn	3,875
		TABLE	DCIM		各フォルダの付加情報管理ファイル	–	–	–
			STILL					
			SD_VIDEO					
			MMFILE					
			RINGER					
			DOCUMENT					
			TORUCA					
			DECOIMG					
			OTHER					
SD_BIND					–	–	–	–
	SVC*****				–	–	–	–
		********			マイピクチャ/移行可能コンテンツ	JPEG、GIF、SWF	********.SB1	3,875
		********			iモーション/移行可能コンテンツ	MP4	********.SB1	3,875
		********			メロディ/移行可能コンテンツ	MFi、SMF	********.SB1	3,875
		********			マイドキュメント/移行可能コンテンツ	PDF	********.SB1	3,875
		********			きせかえツール/移行可能コンテンツ	UIメタデータファイル、UIコンテンツパッケージファイル	********.SB1	32
	SVC*****				–	–	–	–
		********			iアプリデータ	iアプリデータ		3,875
	SVC*****				–	–	–	–
		********			ミュージック/移行可能コンテンツ	着うたフル®	********.SB2	P.343

※1 データ通信で受信した「*.url」ファイルもブックマークとして扱われます。
※2 同一ファイル名があるときはファイル名の末尾に連続する番号が付けられます。

- 「nnn」には「001」～「999」、「nnnn」には「0001」～「9999」の番号が小さい方から作成順に付けられます。ただし、ファイルの保存件数は1フォルダあたり最大500件です。
- 「xxx」には「001」～「FFF」の16進数の文字が作成順に付けられます。
- 「*****」には「00001」～「65535」、「********」には「00000001」～「00065535」の番号が小さい方から作成順に付けられます。
- microSDメモリーカードで認識できるファイル名は、ドライブ名およびパスを含んで255バイトまでです。

microSDメモリーカードで利用できるデータ

- データ量によっては、保存に時間がかかる場合があります。
- microSDメモリーカードから保存したデータは、正しく表示/再生できない場合があります。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルはコピー/移動できません。

カテゴリ	FOMA端末から保存の可否			FOMA端末から保存できないデータなど
	1件	選択	全件	
マイピクチャ	○	○	○	• フレーム画像、スタンプ画像は保存できません。
ミュージック	×	×	×	• データBOXからmicroSDメモリーカードには保存できません。（コンテンツ移行対応の着うたフル®を除く）
ｉモーション	○	○	○	• 再生制限のある動画/ｉモーションは移動のみ可能です。
メロディ	○	○	○	−
マイドキュメント	○	○	○	• ドキュメント定義ファイルは、PDFデータと一緒に保存します。
きせかえツール	×	×	×	• データBOXからmicroSDメモリーカードには保存できません。（コンテンツ移行対応のきせかえツールを除く）
電話帳	○	×	○	• 指定代替画像、指定電話着信音、指定メール着信完了音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色は保存できません。 • 1件保存時、グループ番号、グループ名は保存できません。また、シークレット登録は[OFF]にして保存します。 • 指定発着信画像に設定した動画/ｉモーションは保存できません。 • 全件保存時、プッシュトーク電話帳も保存します。 • 画像保存/添付を[無効]に設定している場合、指定発着信画像は保存されません。 • FOMAカード電話帳はコピーできません。
テキストメモ	○	×	○	−
スケジュール	○	×	○	• 繰り返しの休日ON/OFFは保存できません。 • 1件保存時、シークレット登録は[OFF]にして保存します。
受信メール送信/保存メール	○	×	○	• フォルダ名、ｉアプリToのリンク、未取得の添付ファイルは保存できません。 • 100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルなどを削除して100Kバイトまで保存します。 • 保護されているメール、ｉアプリメールは、通常のメールとして保存します。 • SMS送達通知は保存できません。
Bookmark	○	×	○	• フォルダ名は保存できません。
トルカ	○	×	○	• トルカによっては保存できないことがあります。

● パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のデータを編集、追加、削除すると、FOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。その場合は、microSDメモリーカードの管理情報を更新してください。（P.314）

● microSDメモリーカードに保存されているメールから返信する場合、ファイルを添付することはできません。一度メールをFOMA端末に保存し、保存BOXからメールを選択して、ファイルを添付して返信してください。

FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存する

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに保存できます。

- 電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、トルカのデータを保存時は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。

例：データを1件ずつ保存する場合

1 データを選び [機能]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [microSD保存]→[1件保存]→[はい]を選び [決定] を押す

選択したデータが保存されます。

複数選択して保存する場合

[microSD保存]→[選択保存]を選択し、データを複数選択して [i]（完了）を押し、[はい]を選択します。

マイピクチャ/iモーション/メロディ/マイドキュメントのデータをすべて保存する場合

[microSD保存]→[フォルダ内全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

電話帳をすべて保存する場合

[microSD保存]→[全件保存]→[はい]/[いいえ]を選択し、端末暗証番号を入力します。

カメラモードから表示した静止画/動画ファイル一覧のファイルを保存する場合

ファイル一覧でファイルにカーソルをあわせ、機能メニュー[microSD保存]→[1件保存]→[はい]を選択します。複数選択して保存する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[microSD保存]→[選択保存]を選択し、ファイルを複数選択して [i]（完了）を押し、[はい]を選択します。すべてのファイルを保存する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[microSD保存]→[フォルダ内全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

テキストメモをすべて保存する場合

[microSD保存]→[全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力します。

メール/スケジュール/ブックマーク/トルカを保存する場合

データ一覧で機能メニュー[microSD1件保存]→[はい]を選択します。すべてのデータを保存する場合は、フォルダ一覧またはカレンダーで機能メニュー[microSD全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力します。

- カメラで撮影した画像をFOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存した場合、表示される画像の向きがデータBOXに保存したときの表示と異なることがあります。

microSDメモリーカードからFOMA端末に保存する

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末に保存できます。

電話帳やメールなどを保存する

電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、トルカのデータをFOMA端末に保存します。

- 電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、トルカのデータを保存時は圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 他の機能が動作中の場合、電話帳、テキストメモ、スケジュール、メール、ブックマーク、トルカのデータはFOMA端末に保存できません。

例：データを追加保存する場合

1 microSDのカテゴリ一覧でカテゴリを選び [決定] を押す

2 データを選び [機能]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [本体へ保存]を選び [決定] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力し、[決定]（OK）を押す

保存確認画面が表示されます。

[追加保存]：

登録されているデータに保存したデータを新規に追加します。

[全入換え]：
登録されているデータが保存したデータですべて上書きされます。登録されているデータを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。

5 [追加保存]を選び ▤ を押す

選択したデータが保存されます。

メロディや画像などを保存する

マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、MMファイルのデータをFOMA端末に保存します。

例：データを1件ずつ保存する場合

1 microSDのカテゴリ一覧でカテゴリを選び ▤ を押す

2 データを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 [本体へ保存]→[1件保存]→[はい]を選び ▤ を押す

選択したデータが[データ交換]フォルダに保存されます。

複数選択して保存する場合

[本体へ保存]→[選択保存]を選択し、データを複数選択して ⓘ（完了）を押し、[はい]を選択します。

すべて保存する場合

[本体へ保存]→[フォルダ内全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

カメラモードから表示した静止画/動画ファイル一覧のファイルを保存する場合

ファイル一覧でファイルにカーソルをあわせ、機能メニュー[本体へ保存]→[1件保存]→[はい]を選択します。選択したファイルが[データ交換]フォルダに保存されます。複数選択して保存する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[本体へ保存]→[選択保存]を選択し、ファイルを複数選択して ⓘ（完了）を押し、[はい]を選択します。すべてのファイルを保存する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[本体へ保存]→[フォルダ内全件保存]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

● SO905iCS以外のmicroSDメモリーカード対応機器で作成したデータは、正しく保存できない場合があります。

microSDメモリーカードを管理する

フォーマットする

FOMA端末で使用するmicroSDメモリーカードをフォーマットします。

- データが保存されているmicroSDメモリーカードをフォーマットすると、データは削除されます。誤って大切なデータを削除することがないようにご注意ください。

1 microSDのカテゴリ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォーマット]を選び ▤ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す

4 [はい]を選び ▤ を押す

microSDメモリーカードがフォーマットされます。

● パソコンなどでmicroSDメモリーカードをフォーマットしないでください。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。

使用状況を確認する

microSDメモリーカードの使用状況を確認できます。

- 表示されるデータ量やmicroSDメモリーカードの全容量は、あくまでも目安であり正確なものではありません。

1 microSDのカテゴリ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

次ページにつづく

2 [microSD情報表示]を選び ▤ を押す

microSD情報
全容量
60.5MB
使用容量
22.1MB
マイピクチャ
3.2MB
ミュージック
12.1MB
iモーション
5.6MB
メロディ
0.5MB

単位を切り替える場合

ⓘ(単位切替)を押します。MBとKBの表示を一時的に切り替えることができます。

microSDメモリーカードの管理情報を更新する

microSDメモリーカード内のデータを他の機器で編集、追加、削除すると、FOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。その場合は、microSDメモリーカードの管理ファイルの情報を更新します。

1 microSDのカテゴリ一覧で ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [管理情報更新]を選び ▤ を押す

管理情報更新選択画面が表示されます。

3 更新するカテゴリを選び ▤ を押し、ⓘ(完了)を押す

管理情報更新確認画面が表示されます。

4 [はい]を選び ▤ を押す

管理情報が更新されます。管理情報更新中は「⌛」が表示されます。

- microSDメモリーカード内にFOMA端末で使用できないファイル名のデータがある場合、管理情報を更新するとファイル名が変更されます。
- 画像の保存先をmicroSDメモリーカードに設定している場合、撮影した画像の保存確認画面が表示されているときに管理情報を更新すると、確認中の画像が破棄されます。

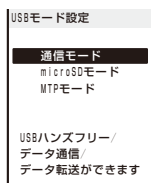
パソコンと接続してFOMA端末を利用する 〈USBモード設定〉

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)でFOMA端末をパソコンに接続すると、パソコンから外部ドライブとして、microSDメモリーカードのデータを読み込み/書き込みできます。

- FOMA端末とパソコンを接続する前にUSBモード設定を切り替えることもできます。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない場合やゼロの場合は、データの送受信ができないだけではなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み中/書き込み中はFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を抜かないでください。データの送受信ができないだけではなく、データが失われることがあります。
- パソコンと接続してFOMA端末を利用するための動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
パソコン本体	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)が使用可能なパソコン
OS	Windows 2000 Professional(SP3以上)※、Windows XP、Windows Vista(各日本語版)

※[通信モード]、[microSDモード]のみ対応しています。

1 メニューで[設定]→[管理]→[USBモード設定]を選び ▤ を押す

[通信モード]:

パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信(OBEX™通信)ができます。

データ表示/編集/管理

[microSDモード]：
microSDメモリーカードのデータを読み込み/書き込みできます。

[MTPモード]：
パソコンから音楽データ(WMAファイル)をmicroSDメモリーカードに転送できます。

2 [microSDモード]を選び ▭ を押す

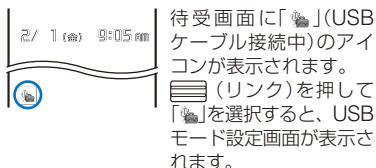
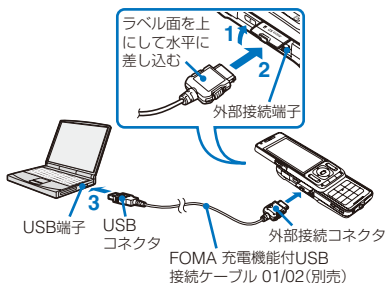
microSDモードに切り替わり、「」が「」に変わります。
microSDメモリーカードは「リムーバブルディスク」として表示されます。

- 現在のUSBモードの種類と接続状態は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	モード/接続状態
	通信モード
	microSDモード
	MTPモード(接続中)
	MTPモード(転送中)
	MTPモード(転送完了)
	MTPモード(エラー)※

※ メモリ不足でMTPモードによるパソコンとの接続を開始できない場合に表示されます。使用していないアプリケーションを終了して、空きメモリを増やしてから再度操作してください。

3 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続する

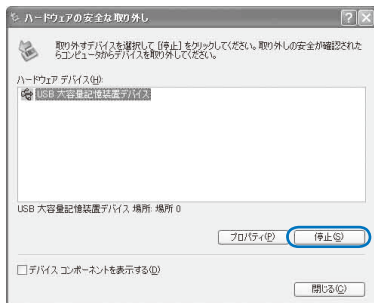
待受画面に「」(USBケーブル接続中)のアイコンが表示されます。
▭ (リンク)を押して「」を選択すると、USBモード設定画面が表示されます。

- パソコンなどでmicroSDメモリーカードをフォーマットしないでください。必ずFOMA端末でフォーマットしてください。
- USBモード設定を[MTPモード]または[microSDモード]に設定して、FOMA端末とパソコンを接続しても、FOMA端末がmicroSDメモリーカードへアクセス中(データ読み込み中/保存中など)のときやmicroSDメモリーカード未挿入のときは、パソコンがFOMA端末を認識しないことがあります。
- USBモード設定を[MTPモード]に設定してパソコンと接続した場合、MENU を押すとスタンダードメニューが表示されます。きせかえメニューは表示されません。また、一部の機能が制限される場合があります。
- USBモード設定についてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
http://www.SonyEricsson.co.jp/so905ics/faq.html

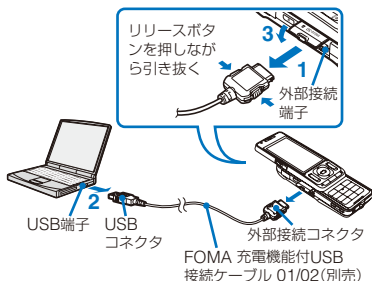
microSDモードを終了する

パソコンからFOMA端末を取外す場合は、先にパソコンから各OSごとのハードウェアの安全な取外し方法を実施してください。

例：Windows XPの場合

1 パソコン画面のタスクトレイの[]（ハードウェアの安全な取り外し）をダブルクリックする

2 [USB大容量記憶装置デバイス]にポインタをあわせ、[停止]をクリックする

3 [OK]をクリックし、ハードウェアが取外されたことを確認する

4 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)をFOMA端末とパソコンから取外す

FOMA端末からFOMAカードにコピーする

FOMA端末からFOMAカードに、FOMA端末の電話帳を50件まで、SMSを20件までコピーできます。

- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーできるのは、「名前」「フリガナ」「1つ目の電話番号」「1つ目のメールアドレス」です。フリガナの半角カタカナは全角カタカナに変換されます。電話番号の途中にある「+」は削除されます。
- FOMAカード電話帳に同じグループ名がある場合は、そのグループに保存されます。同じグループ名がない場合は、0グループなしに保存されます。
- SMS送達通知はコピーできません。

例：FOMA端末電話帳をコピーする場合

1 FOMA端末電話帳でデータを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

すべてコピーする場合

機能メニュー [FOMAカードへコピー]→[全件コピー]→[はい]を選択し、端末暗証番号を入力します。

複数選択してコピーする場合

機能メニュー [FOMAカードへコピー]→[選択コピー]を選択し、データを複数選択して i (完了)を押し、[はい]を選択します。

SMSをコピーする場合

メール一覧でメールにカーソルをあわせ、機能メニュー [FOMAカードへコピー]→[はい]を選択します。

2 [FOMAカードへコピー]→[1件コピー]→[はい]を選び ▤ を押す

選択したデータがコピーされます。

FOMAカードからFOMA端末にコピーする

FOMAカードからFOMA端末に、FOMAカードの電話帳やSMSをコピーできます。

- FOMAカード電話帳のフリガナの全角カタカナは半角カタカナに変換されます。
- FOMA端末電話帳に同じグループ名がある場合は、そのグループに保存されます。同じグループ名がない場合は、0グループなしに保存されます。

例：FOMAカード電話帳をコピーする場合

1 FOMAカード電話帳でデータを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

すべてコピーする場合

機能メニュー［本体メモリへコピー］→［全件コピー］→［はい］を選択し、端末暗証番号を入力します。

複数選択してコピーする場合

機能メニュー［本体メモリへコピー］→［選択コピー］を選択し、データを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。

SMSをコピーする場合

メール一覧でメールにカーソルをあわせ、機能メニュー［本体メモリへコピー］→［はい］→フォルダを選択します。

2 ［本体メモリへコピー］→［1件コピー］→［はい］を選び ▤ を押す

選択したデータがコピーされます。

データBOXを管理する

〈データBOX〉

ダウンロードしたデータやカメラで撮影したデータなどFOMA端末で扱うデータは、データBOXのマイピクチャ、ミュージック、Music&Videoチャネル、iモーション、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、キャラ電のカテゴリ別に保存され、いつでも表示/再生できます。

- カテゴリによって、操作できないことがあります。

■データBOXの保存データ

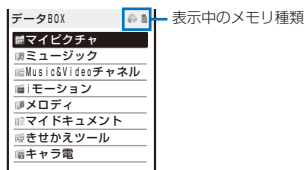
カテゴリ	フォルダ名	データの内容
マイピクチャ	iモード	サイトやiモードメール、iアプリから取得した画像
	カメラ	FOMA端末のカメラで撮影した画像、ミニフォト画像として複製された画像
	デコメピクチャ	デコメール作成時に使用できる画像
	デコメ絵文字※	デコメ絵文字
	スタンプ･フレーム	スタンプ・フレーム用の画像
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている画像
	データ交換	バーコードリーダーで取り込んだ画像、microSDメモリーカードから移動/コピーした画像、赤外線通信/iC通信で受信した画像、PDFデータから切出した画像、パソコンなどから取り込んだ画像
ミュージック	－	作成したオリジナルプレイリスト、お買い上げ時に登録されている着うたフル®、サイトから取得した着うたフル®
Music&Videoチャネル	配信番組	サイトから取得した番組

※ デコメ絵文字のみ保存できます。

データ表示／編集／管理

カテゴリ	フォルダ名	データの内容
iモーション	iモード	サイトやiモードメール、iアプリから取得した動画
	カメラ	FOMA端末のカメラで撮影した動画
	プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
	プレイリスト	作成したプレイリスト
	データ交換	microSDメモリーカードから移動/コピーした動画、赤外線通信/iC通信で受信した動画、パソコンなどから取り込んだ動画
メロディ	iモード	サイトやiモードメール、iアプリから取得したメロディ
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ
	データ交換	バーコードリーダーで取り込んだメロディ、microSDメモリーカードから移動/コピーしたメロディ、赤外線通信/iC通信で受信したメロディ、パソコンなどから取り込んだメロディ
マイドキュメント	iモード	サイトやiモードメールから取得したPDFデータ
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているPDFデータ
	データ交換	microSDメモリーカードから移動/コピーしたPDFデータ、赤外線通信/iC通信で受信したPDFデータ
きせかえツール	iモード	サイトから取得したきせかえツール
	プリインストール	お買い上げ時に登録されているきせかえツール
キャラ電	–	お買い上げ時に登録されているキャラ電、サイトから取得したキャラ電

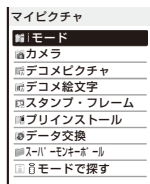
例：マイピクチャの[プリインストール]フォルダのファイル一覧を表示する場合

1 待受画面で ▲ (📁)を押す

表示するメモリを切り替える場合

(メモリ切替)を押します。を押すたびに、microSDメモリーカード/データBOXが切り替わります。

- 現在表示されているメモリの種類は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	表示
	データBOX表示中
	microSDメモリーカード表示中

2 [マイピクチャ]を選び ☰ を押す

マイピクチャのフォルダ一覧が表示されます。

- フォルダの状態は、次のアイコンで確認できます。アイコンの横にフォルダ名が表示されます。

アイコン		内容
(黄)		お買い上げ時に用意されているフォルダ
		iモード
		カメラ
		デコメピクチャ
		デコメ絵文字
		スタンプ・フレーム
		プリインストール
		データ交換
(青)		お客様が作成したフォルダ • お買い上げ時、マイピクチャにはiアプリで使用する画像が保存されている[スーパーモンキーボール]フォルダが作成されています。

3 [プリインストール]を選び ▭ を押す

ファイル一覧が表示されます。

- ファイルの取得元は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	取得元
	お買い上げ時に登録されているデータ
	サイトやｉモードメール、ｉアプリから取得したデータ
	FOMA端末のカメラで撮影したデータ
	バーコードリーダーで取り込んだデータ、microSDメモリーカードから移動/コピーしたデータ、赤外線通信/ｉC通信で受信したデータ、パソコンなどから取り込んだデータ

保存日時を表示する場合

［#］を押すと管理用タイトルと保存日時の表示を一時的に切り替えることができます。

● フォルダ一覧やファイル一覧にある［ｉモードで探す］を選択すると、ｉモード接続確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、ｉモードのサイトに接続して、データを探すことができます。

画像を自動複製するかどうかを設定する

データBOXのマイピクチャの［カメラ］フォルダに保存されている画像をmicroSDメモリーカードに移動するときに、自動的に複製した画像をデータBOXに保存するかどうかを設定します。(P.178)

1 マイピクチャのフォルダ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［ミニフォト設定］→［SD保存時ミニフォト複製］を選び ▭ を押す

3 ［本体へ複製］/［複製しない］を選び ▭ を押す

SD保存時ミニフォト複製が設定されます。

フォルダを作成/削除する

データを保存するフォルダを作成したり削除したりできます。お客様が作成するフォルダはカテゴリごとに10個のフォルダで管理できます。また、フォルダの名称も変更できます。

- ミュージックは、各フォルダの下に10個のフォルダを作成できます。
- お買い上げ時に用意されているフォルダは、削除したりフォルダ名を変更したりできません。ただし、お買い上げ時にマイピクチャに登録されている［スーパーモンキーボール］フォルダは、削除したりフォルダ名を変更したりできます。

1 カテゴリのフォルダ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［フォルダ操作］→［フォルダ作成］を選び ▭ を押し、フォルダ名を入力する

全角10文字、半角20文字（ミュージックは全角7文字、半角15文字）以内で入力します。フォルダが追加されます。

フォルダ名を変更する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ名変更］を選択します。全角10文字、半角20文字（ミュージックは全角7文字、半角15文字）以内で入力します。

データ表示／編集／管理

フォルダを削除する場合

フォルダにカーソルをあわせ、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ選択削除］を選択して端末暗証番号を入力し、フォルダを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。すべてのフォルダを削除する場合は、機能メニュー［フォルダ操作］→［フォルダ全削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

microSDメモリーカードの［WMA］フォルダ内をすべて削除する場合

フォルダ一覧で機能メニュー［WMA一括削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

● WMA一括削除を行うと、microSDメモリーカードの［WM］フォルダ、［WM_SYSTEM］フォルダとフォルダ内のデータがすべて削除されます。ミュージックプレーヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

別のフォルダへ移動する

データは3とおりの方法で別のフォルダやmicroSDメモリーカードへ移動できます。

- キャラ電、［プリインストール］フォルダに保存されているデータは移動できません。
- 著作権のあるデータは、データの提供者が許可していない場合は移動できません。
- iモーションやきせかえツールなどを途中までダウンロードしたデータは、microSDメモリーカードには移動できません。

例：データBOXのデータをmicroSDメモリーカードに移動する場合

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び ☰ を押す

フォルダ内をすべて移動する場合

機能メニュー［移動］→［フォルダ内全件移動］→移動先を選択します。

複数選択して移動する場合

機能メニュー［移動］→［選択移動］→移動先を選択し、データを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。

microSDメモリーカードからFOMA端末へ移動する場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー［本体へ移動］→［1件移動］を選択します。複数選択して移動する場合は、［本体へ移動］→［選択移動］を選択し、データを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。すべて移動する場合は、［本体へ移動］→［フォルダ内全件移動］を選択します。

- 著作権のあるデータは、選択移動およびフォルダ内全件移動はできません。

microSDメモリーカードの着うたフル®の場合

着うたフル®にカーソルをあわせ、機能メニュー［本体へ移動］→移動先を選択し、i（完了）を押します。

カメラモードから表示した静止画/動画ファイル一覧のファイルを移動する場合

ファイル一覧でファイルにカーソルをあわせ、機能メニュー［移動］→［1件移動］→移動先を選択します。複数選択して移動する場合は、ファイル一覧で機能メニュー［移動］→［選択移動］→移動先を選択し、ファイルを複数選択して i（完了）を押し、［はい］を選択します。すべてのファイルを移動する場合は、ファイル一覧で機能メニュー［移動］→［フォルダ内全件移動］→移動先を選択します。

2 データを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［移動］→［1件移動］を選び ☰ を押す

移動先選択画面が表示されます。

［データBOX］：

データBOXのフォルダへ移動します。データBOX内でフォルダを移動する場合は、移動先を選択してフォルダを選択してください。

［microSD］：

microSDメモリーカードのフォルダへ移動します。著作権のあるデータは、［移行可能コンテンツ］の［SO905iCS］へ移動します。

［取得元へ戻す］：

取得元のフォルダへ戻します。

4 ［microSD］を選び ☰ を押す

選択したデータがmicroSDメモリーカードへ移動されます。

● データBOXのマイピクチャに保存されている画像をmicroSDメモリーカードに移動するとき、SD保存時ミニフォト複製が[本体へ複製]の場合は、自動的に複製した画像がデータBOXに保存されます。(P.319)

削除する

データは3とおりの方法で削除できます。

- お買い上げ時に登録されているデータによっては削除できません。

例：1件ずつ削除する場合

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び ▤ を押す

フォルダ内をすべて削除する場合

機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合

機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、データを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。

カメラモードから表示した静止画/動画ファイル一覧のファイルを削除する場合

ファイル一覧でファイルにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、ファイルを複数選択して (完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのファイルを削除する場合は、ファイル一覧で機能メニュー[削除]→[フォルダ内全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 データを選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

3 [削除]→[1件削除]→[はい]を選び ▤ を押す

選択したデータが削除されます。

一覧を並べ替える

フォルダ内のデータを並べ替えて表示できます。

- ミュージックのデータは並べ替えできません。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び ▤ を押し、✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ソート]→並び順を選び ▤ を押す

[タイトル順(昇順)]：
管理用タイトルの50音順に昇順で並べ替えます。

[タイトル順(降順)]：
管理用タイトルの50音順に降順で並べ替えます。

[日付順(新→旧)]：
保存した日時の新しい順に並べ替えます。

[日付順(旧→新)]：
保存した日時の古い順に並べ替えます。

[サイズ順(大→小)]：
ファイルサイズの大きい順に並べ替えます。

[サイズ順(小→大)]：
ファイルサイズの小さい順に並べ替えます。

[取得元(アイコン)]：
取得元のアイコンが「 」(プリインストール)→「 」(iモード)→「 」(カメラ)→「 」(データ交換)の順に並べ替えます。

選択した並び順でデータが表示されます。

● タイトル順に並べ替えた場合、全角/半角の文字が混在しているなどの理由により、50音順と一致しないことがあります。

一覧の表示方法を設定する

マイピクチャ、ｉモーション、Music&Videoチャネル、きせかえツールのファイル一覧の表示方法を3種類から選択できます。設定した表示方法は、すべてのフォルダに反映されます。

6画面　20画面　リスト

6枚単位で表示　20枚単位で表示　リスト形式で表示

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び を押し、 (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [一覧表示切替]→表示方法を選び を押す

ファイル一覧の表示方法が設定されます。

データBOX/データの情報を表示する

データBOXの情報を表示する

1 データBOXで (情報表示)を押す

単位を切り替える場合

(単位切替)を押します。MBとKBの表示を一時的に切り替えます。

データBOXのフォルダの情報を表示する

1 データBOXでカテゴリを選び を押し、 (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [フォルダ情報表示]を選び を押す

単位を切り替える場合

(単位切替)を押します。MBとKBの表示を一時的に切り替えます。

● Music&Videoチャネルの[配信番組]フォルダ内のデータは件数に含まれません。

データの情報を表示/編集する

データの管理用タイトルやファイル名を変更したり、ファイル制限を設定することができます。管理用タイトルは、ファイル一覧に表示されます。

- データによっては、詳細情報を編集できないことがあります。

1 データBOXでカテゴリ→フォルダを選び を押し、データを選び (詳細情報)または (詳細情報)を押す

データの詳細情報が表示されます。

データ表示／編集／管理

2 [i]（編集）を押す

着うたフル®の場合

[ch]（編集）を押します。各項目を修正してください。各項目をリセットする場合は、項目にカーソルをあわせ、[ch]（リセット）を押します。

- ［管理用タイトル］は全角25文字、半角50文字以内で入力できます。

3 ［管理用タイトル］にタイトルを入力する

全角18文字、半角36文字以内で入力します。

管理用タイトルをリセットする場合

[ch]（タイトルリセット）を押します。

- オリジナルタイトルが表示されるデータのみ管理用タイトルをリセットできます。

4 ［ファイル名］にファイル名を入力する

半角の英数字･記号36文字以内で入力します。

- 半角記号の "＊/ : < > ? ¥ | は使用できません。また、「.」はファイル名の先頭に入力できません。

5 ［ファイル制限］に［あり］/［なし］を選択する

［あり］：

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末では送信/転送できなくなります。

［なし］：

ファイル制限を設定しません。

6 [i]（完了）を押す

● 詳細情報表示画面の［表示サイズ］の横縦サイズは画像の保存の向きを基準とするサイズです。本体縦横自動判別を［ON］に設定して撮影した画像は、撮影時のFOMA端末の向きに応じて回転して表示されるため、画像の表示上の向きが［表示サイズ］の向きと異なる場合があります。（P.151、179）

■表示項目と編集可能項目一覧

◎：編集可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	マイピクチャ			着うたフル®	Music&Videoチャネル			動画/iモーション	メロディ	マイドキュメント	キャラ電	きせかえツール	内容
	JPEG	GIF	SWF		番組	チャプター（着うたフル®）	チャプター（動画/iモーション）						
管理用タイトル	◎	◎	◎	◎	◎	－	－	◎	◎	◎	◎	◎	FOMA端末で表示するタイトル
ファイル名	◎	◎	○	○	－	－	－	◎	◎	○	○	○	メール添付時に表示されるファイル名
オリジナルタイトル	－	－	－	－	－	○	○	○	○	－	○	○	オリジナルタイトル
ファイル種別	○	○	－	○	○	－	－	○	○	○	－	－	ファイルの種別
ファイル制限	◎	◎	◎	○	○	－	－	◎	◎	○	○	○	メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末で送信/転送できるかどうか ・サイトなどから取得したｉモーション、メロディは変更できないことがあります。 ・フレーム画像、スタンプ画像は変更できません。
表示サイズ	○	○	－	－	－	－	－	○	－	－	○	－	データの表示サイズ ・音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）では表示されません。
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	データのファイルサイズ
メール添付時ファイルサイズ	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	Exif形式のファイルのサムネイルを除いたファイルサイズ
再生制限	－	－	－	○	○	－	－	○	－	－	－	－	再生制限
着信音設定可否	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	着信音設定の可/不可
着信画面設定可否	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	着信画面設定の可/不可
まるごと着信音設定	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	まるごと設定の可/不可※1
オススメ着信音設定	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	オススメ設定の可/不可※1
保存可能ジャケット画像	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	保存可能なCDジャケット画像のあり/なし※1
保存可能画像	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	保存可能な待受画像のあり/なし※1
保存可能歌詞	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	保存可能な歌詞画像のあり/なし※1
タイトル	－	－	－	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	曲名
アーティスト	－	－	－	◎	－	○	－	－	－	－	－	－	アーティスト名
アルバム	－	－	－	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	アルバム名
年	－	－	－	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	作成された年（西暦）
ジャンル	－	－	－	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	ジャンル
コメント	－	－	－	◎	○	○	－	－	－	－	－	－	コメント
トラック番号	－	－	－	◎	－	－	－	－	－	－	－	－	アルバム内でのトラック番号と総トラック数
作曲者	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	作曲者名
作詞者	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	作詞者名
権利者	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	権利者名
販売元	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	販売元
権利情報	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	権利情報
レーベル	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	－	－	レーベル
URL※2	－	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	－	URL情報
作成者	－	－	－	－	○	－	○	○	－	－	－	－	ファイルの著作者情報
コピーライト	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	ファイルの著作権情報
説明	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－	－	－	ファイルの説明
ビデオ	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	映像のあり/なし/非対応※1
オーディオ	－	－	－	○	－	－	－	○	－	－	－	－	着うたフル®の場合はフォーマットとビットレート、動画の場合は音声のフォーマット/なし/非対応※1
テキスト	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	テキストのあり/なし
再生時間	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	再生時間の目安
取得元	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	ファイルの取得元
保存日時	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	ファイルの保存日時
作成日時	○	○	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	ファイルの作成日時

表示項目	マイピクチャ			着うたフル®	Music&Videoチャネル			動画/iモーション	メロディ	マイドキュメント	キャラ電	きせかえツール	内容
	JPEG	GIF	SWF		番組	チャプター（着うたフル®）	チャプター（動画/iモーション）						
microSDへの移動	○	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	microSDメモリーカードへ移動の可/可（同一機種間）/不可/不明※1 • ［可（同一機種間）］は、取得したときと同一機種の場合のみ移動できます。
記録時間	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	記録時間
設定状況	○	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○	○	設定されている待受画面や着信音などの種類
撮影日時	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	撮影日時
加工日時	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	加工日時
絞り値	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	レンズを通る光量を示す値（F4/F2.8）
シャッタースピード	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	CMOSに光を貯蓄する時間
EV補正	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	EV補正
ISO値	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	光量に対する感度を示す数値（フィルムのISO感度と同等）
測光方式	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	測光方式
時刻連動	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	再生開始時間設定のあり/なし、番組リピート間隔
番組移動制限	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	再保存の可/不可
早送り制限	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	早送り制限のあり/なし
巻戻し制限	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	巻戻し制限のあり/なし
チャプター送り制限	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	チャプター送り制限のあり/なし
チャプター戻し制限	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	チャプター戻し制限のあり/なし
番組画像	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	番組画像
番組タイトル	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	番組のタイトル
配信元	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	配信元
番組設定サイズ	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	－	－	配信領域として確保されているメモリ容量

※1 データによっては、表示されている内容と異なることがあります。

※2 着うたフル®の場合は「URL情報」と表示されます。

- 項目の情報がない場合は、「不明」または空欄で表示されます。
- データによっては、表中で「◎：編集可」となっている項目でも、変更できない場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。

FOMA端末のメモリ使用量を確認する 〈本体情報〉

FOMA端末のメモリ使用状況を表示します。データBOXのカテゴリ別の使用量とｉアプリの使用量を確認できます。

- 表示されるデータ量は、あくまでも目安であり正確なものではありません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体情報]を選び ▤ を押す

単位を切り替える場合

(単位切替)を押します。MBとKBの表示を一時的に切り替えることができます。

2 項目を選び ▤ を押す

● お買い上げ時に登録されているｉアプリ、マイピクチャの[デコメ絵文字]フォルダ、[スーパーモンキーボール]フォルダ、ミュージック、マイドキュメントのデータは、データ量に含まれます。

メモリの空き容量が不足したときは

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、キャラ電、きせかえツール、またはｉアプリにデータやソフトを保存またはダウンロードするときに、メモリの空き容量が不足している場合は、同じカテゴリから不要なデータを選択して削除し、保存領域を確保してから保存します。

例：ソフトをダウンロードするときにメモリの空き容量が不足した場合

1 ソフトをダウンロードする

メモリの空き容量が不足している旨の画面が表示されます。

[削除データ選択]：
不要なソフトを削除して、ダウンロードを継続します。

[ダウンロード中止]：
ダウンロードを中止します。

2 [削除データ選択]を選び ▤ を押す

3 フォルダ→ソフトを選び ▤ を押す

選択したソフトを解除する場合

▤ (解除)を押します。

4 (i)（削除）を押し、［はい］を選び ☰ を押す

選択したソフトを削除してダウンロードを開始します。

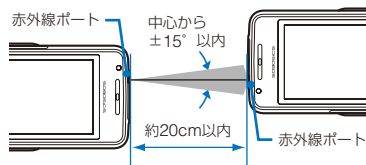
● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除しても保存領域は増加しません。

赤外線通信とは 〈赤外線通信〉

赤外線通信機能を搭載した携帯電話などと電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、メール、画像、動画、メロディ、PDFデータ、トルカを送受信することができます。全件送受信するときは、通信相手と取り決めた数字4桁の認証パスワードが必要になります。
また、iアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線通信は、IrMC™バージョン1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC™バージョン1.1に準拠していても、アプリケーションによっては正しく送受信できないデータがあります。
- 通話中、iモード通信中、パケット通信中、64Kデータ通信中、オールロック設定中、おまかせロック設定中、パーソナルデータロック設定中、ボタンロック設定中、セルフモード設定中は、赤外線通信できません。
- 赤外線通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 相手の機器がIrSimple™機能に対応していない場合、通信速度が遅くなります。
- FOMA端末の赤外線受信機能およびデータBOX内コンテンツの赤外線送信機能はIrSimple™機能に対応しています。
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像は、高速赤外線通信で送信することができます。（IrSimpleShot™機能※）（P.330）
  ※ IrSimpleShot™機能とは、IrSimple™機能準拠の片方向通信機能(Home Appliance Profile)です。

赤外線通信を行うには

- 赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

赤外線通信で利用できるデータ

赤外線通信機能を搭載した携帯電話などと電話番号表示、電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、メール、画像、動画、メロディ、PDFデータ、トルカを送受信できます。

- データ量によっては、通信や保存に時間がかかる場合があります。
- 赤外線通信で受信したデータは、正しく表示/再生できない場合があります。

データの種類	受信の可否		送信の可否		受信データの保存先	送受信できない項目など
	1件	全件	1件	全件		
電話番号表示	×	－	○	－	FOMA端末電話帳※1	• 付加番号1、付加番号2、画像は送信できません。 • シークレット登録は[OFF]にして送信します。
FOMA端末電話帳	○	○	○	○	FOMA端末電話帳※1	• 指定発着信画像、指定代替画像、指定電話着信音、指定メール着信完了音、指定電話ランプ色、指定メールランプ色は送信できません。 • 1件送信時、グループ番号、グループ名、メモリ番号、プッシュトーク電話帳は送信できません。また、シークレット登録は[OFF]にして送信します。 • 全件送受信時、プッシュトーク電話帳も送受信します。 • 全件送受信時、先頭データを電話番号表示として送受信します。
FOMAカード電話帳	○	○	×	×	FOMA端末電話帳※1	• 1件受信時、グループ名は受信できません。
スケジュール	○	○	○	○	スケジュール※2	• 繰り返しの休日ON/OFFは送信できません。 • 1件送信時、シークレット登録は[OFF]にして送信します。
テキストメモ	○	○	○	○	テキストメモ※3	－
ブックマーク	○	○	○	○	Bookmark※4	• フォルダ名は送受信できません。
メール　受信メール	○	○	○	○	[受信メール]※5	• フォルダ名、iアプリToのリンク、未取得の添付ファイルは送信できません。 • 100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルなどを削除して100Kバイトまで送信します。 • 保護されているメール、iアプリメールは、通常のメールとして送信します。 • SMS送達通知は送信できません。
メール　送信メール					[送信メール]※5	
メール　保存メール					[保存メール]※5	
JPEG画像・GIF画像・Flash画像	○	×	○	×	マイピクチャの[データ交換]フォルダ※4	• 2Mバイトを超える画像は受信できません。 • 画像サイズが[UXGA(1600×1200)]を超えるGIF画像、[待受(480×864)]を超えるGIFアニメ、一部のJPEG画像は受信できません。 • フレーム画像、スタンプ画像は送信できません。
動画/iモーション	○	×	○	×	iモーションの[データ交換]フォルダ※4	• 10Mバイトを超える動画/iモーション、再生制限のある動画/iモーションは受信できません。
メロディ	○	×	○	×	メロディの[データ交換]フォルダ※4	• 200Kバイトを超えるメロディは受信できません。
PDFデータ	○	×	○	×	マイドキュメントの[データ交換]フォルダ※4	• 2Mバイトを超えるPDFデータは受信できません。 • ページ単位で取得したPDFデータ、取得に失敗したPDFデータは送信できません。 • ドキュメント定義ファイルは、PDFデータと一緒に送信します。
トルカ	○	○	○	○	トルカの[トルカフォルダ]※4	• 1Kバイトを超えるトルカ、100Kバイトを超えるトルカ(詳細)は受信できません。 • トルカによっては送信できないことがあります。

- ブックマークやメールのデータを送受信した場合、相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
- メールのデータを送信した場合、受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- microSDメモリーカード内のデータはJPEG画像を除き送信できません。JPEG画像を送信するときは赤外線通信や高速赤外線通信(IrSimpleShot™機能)を利用して送信します。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルは送受信できません。

※1　最も小さい空きメモリ番号に保存されます。
※2　開始日時順に保存されます。
※3　作成日時順に保存されます。
※4　一覧の先頭に保存されます。
※5　受信/送信/保存日時順に保存されます。

赤外線通信を使ってデータを受信する 〈赤外線受信〉

データを1件受信する

1 メニューで[LifeKit]→[赤外線受信]→[受信]を選び ☰ を押す

「[アイコン]」が「[EXT]」に変わり、赤外線通信確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び ☰ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。
保存確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び ☰ を押す

受信したデータが保存されます。

電話帳を受信した場合

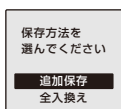
プッシュトーク電話帳への保存確認画面が表示されます。[はい]を選択するとプッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳に、[いいえ]を選択するとFOMA端末電話帳にのみ登録されます。電話番号が複数ある場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

データを全件受信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

例：受信したデータを追加保存する場合

1 メニューで[LifeKit]→[赤外線受信]→[全件受信]を選び ☰ を押す

「[アイコン]」が「[EXT]」に変わります。

[追加保存]：
登録されているデータに受信したデータを新規に追加します。

[全入換え]：
登録されているデータを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると、登録していたデータはすべて削除されるのでご注意ください。

2 [追加保存]を選び ☰ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、☰（OK）を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

赤外線通信確認画面が表示されます。

5 [はい]を選び ☰ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始し追加保存されます。

受信を中止する場合

[✉]（中止）を押します。

赤外線通信を使ってデータを送信する 〈赤外線送信〉

データを1件送信する

1 送信するデータを選び [✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [赤外線送信]を選び ☰ を押す

「[アイコン]」が「[EXT]」に変わり、赤外線通信確認画面が表示されます。

データBOXのマイピクチャ、またはカメラモードから表示した静止画ファイル一覧の場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー[赤外線送信]→[通常送信]を選択します。

カメラモードから表示した静止画の場合

機能メニュー[[アイコン]]（データ送信）→[[アイコン]]（通常送信）を選択します。

カメラモードから表示した動画の場合

機能メニュー[[アイコン]]（データ送信）→[[アイコン]]（赤外線送信）を選択します。

電話帳/テキストメモの場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー[赤外線送信]→[赤外線送信]を選択します。

3 [はい]を選び ☰ を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

データを全件送信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

1 送信するデータのフォルダ一覧で [✉] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [赤外線全件送信]を選び [■] を押す

「[アイコン]」が「[アイコン]」に変わり、端末暗証番号入力画面が表示されます。

電話帳/テキストメモの場合

データ一覧で機能メニュー[赤外線送信]→[赤外線全件送信]を選択します。

スケジュールの場合

カレンダー表示画面で機能メニュー[赤外線全件送信]を選択します。

トルカの場合

フォルダ一覧で機能メニュー[赤外線全件送信]→[はい]→[はい]を選択します。

3 端末暗証番号を入力し、[■] (OK)を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

赤外線通信確認画面が表示されます。

5 [はい]を選び [■] を押す

赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。

送信を中止する場合

[✉] (中止)を押します。

高速赤外線通信を使って静止画を送信する

データBOXのマイピクチャやmicroSDメモリーカードのマイピクチャに保存されているJPEG画像を、高速赤外線通信を利用してIrSimpleShot™機能対応機器に送信できます。

- IrSimpleShot™機能は片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

例：データBOXのマイピクチャの画像を送信する場合

1 マイピクチャのファイル一覧で画像を選び [✉] (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [赤外線送信]→[IrSS送信]を選び [■] を押す

「[アイコン]」が「[アイコン]」に変わり、IrSimpleShot™通信開始確認画面が表示されます。

カメラモードから表示した静止画の場合

機能メニュー[[アイコン]](データ送信)→[[アイコン]](IrSS送信)を選択します。

microSDメモリーカードの場合

[IrSS送信]を選択します。

3 [はい]を選び [■] を押す

高速赤外線通信が起動し、データの通信を開始します。

送信が終了すると、終了確認画面が表示されます。

4 [終了する]を選び [■] を押す

高速赤外線通信が終了します。

再送信する場合

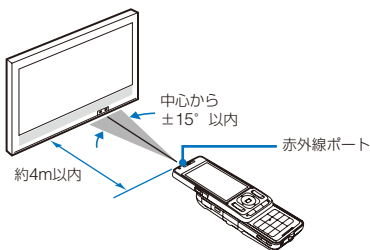
[再送信]を選択します。

赤外線リモコン機能を利用する

サイトから赤外線リモコン機能のソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存すると、FOMA端末をテレビやDVDプレイヤーなどのリモコンとして使用できます。

- 赤外線リモコン機能を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。また、該当するソフトを使用しても、機器によっては操作できないことがあります。
- 赤外線リモコンのボタン操作は、利用するソフトによって異なります。

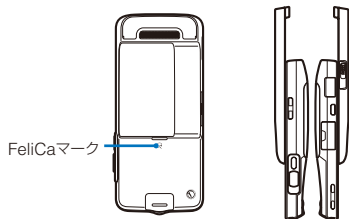
■赤外線リモコン操作

FOMA端末の赤外線ポートをテレビやDVDプレイヤーなどのリモコン受信部の正面に向けて、約4m以内の距離から操作してください。ただし、対応機器や周囲の明るさによって通信に影響がある場合があります。

iC通信機能とは

iC通信機能が搭載されたFOMA端末と、端末のFeliCaマークを重ねあわせることでデータを送受信できます。

- iC通信で送受信できるデータは、赤外線通信と同じです。（P.328）
- 通話中、iモード通信中、パケット通信中、64Kデータ通信中、赤外線通信中、オールロック設定中、おまかせロック設定中、パーソナルデータロック設定中、ボタンロック設定中、セルフモード設定中、ICカードロック設定中は、iC通信できません。
- iC通信でデータを受信するときは待受状態にしてください。他の機能の動作中は受信できません。
- iC通信中は、圏外と同じ状態になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、FeliCaマーク「」どうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- メールのデータを送信した場合、受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。

iC通信を行うには

- お互いのFOMA端末のFeliCaマーク「」を重ねあわせてご利用ください。データの送受信が終わるまでFOMA端末を動かさないでください。

ｉC通信でデータを受信する

データを1件受信する

1 待受画面で相手のFOMA端末とFeliCaマーク「」を重ねあわせる

バイブレータが振動し、FeliCaサインが点灯します。
「」が「」に変わり、データの通信を開始します。
保存確認画面が表示されます。

2 [はい]を選び を押す

受信したデータが保存されます。

電話帳を受信した場合

プッシュトーク電話帳への保存確認画面が表示されます。[はい]を選択するとプッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳に、[いいえ]を選択するとFOMA端末電話帳にのみ登録されます。電話番号が複数ある場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

データを全件受信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

例：受信したデータを追加保存する場合

1 待受画面で相手のFOMA端末とFeliCaマーク「」を重ねあわせる

バイブレータが振動し、FeliCaサインが点灯します。
「」が「」に変わります。

[追加保存]：

登録されているデータに受信したデータを新規に追加します。

[全入換え]：

登録されているデータを受信したデータですべて上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると、登録していたデータはすべて削除されるのでご注意ください。

2 [追加保存]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

データの通信を開始し追加保存されます。

受信を中止する場合

(中止)を押します。

ｉC通信でデータを送信する

データを1件送信する

1 送信するデータを選び (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ｉC送信]を選び を押す

「」が「」に変わり、通信確認画面が表示されます。

カメラモードから表示した静止画/動画の場合

機能メニュー[ ](データ送信)→[ ](ｉC送信)を選択します。

電話帳/テキストメモの場合

データにカーソルをあわせ、機能メニュー[ｉC送信]→[ｉC送信]を選択します。

3 [はい]を選び を押す

「送信先とを重ね合わせてください」と表示されます。

4 相手のFOMA端末とFeliCaマーク「」を重ねあわせる

FeliCaサインが点灯します。
データの通信を開始します。

データ表示／編集／管理

データを全件送信する

- あらかじめ通信相手と数字4桁の認証パスワードを取り決めておく必要があります。

1 送信するデータのフォルダ一覧で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［ｉC全件送信］を選び ▤ を押す

「」が「EXT」に変わり、端末暗証番号入力画面が表示されます。

電話帳/テキストメモの場合

データ一覧で機能メニュー［ｉC送信］→［ｉC全件送信］を選択します。

スケジュールの場合

カレンダー表示画面で機能メニュー［ｉC全件送信］を選択します。

3 端末暗証番号を入力し、▤（OK）を押す

認証パスワード入力画面が表示されます。

4 認証パスワードを入力する

通信確認画面が表示されます。

5 ［はい］を選び ▤ を押す

「送信先と を重ね合わせてください」と表示されます。

6 相手のFOMA端末とFeliCaマーク「」を重ねあわせる

FeliCaサインが点灯します。

データの通信を開始します。

送信を中止する場合

✉（中止）を押します。

PDFデータを表示する

〈マイドキュメント〉

データBOXやmicroSDメモリーカードのマイドキュメントに保存されているPDFデータを表示できます。また、サイトからPDFに対応したデータをFOMA端末に取り込み、表示/保存できます。

- PDFデータによっては、表示に時間がかかることがあります。また、PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示できないことがあります。
- パスワードがかかったPDFデータを表示する場合は、パスワードの入力が必要です。

1 待受画面で ▲（）を押し、［マイドキュメント］を選び ▤ を押す

マイドキュメントのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び ▤ を押す

マイドキュメントのファイル一覧が表示されます。

- PDFデータの種類は、次のアイコンで確認できます。

アイコン	種　類
	すべてのページを取得したPDFデータ
（白）	ページ単位で取得したPDFデータ
（グレー）	取得を中断または取得に失敗したPDFデータ

- FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータは、アイコンの右上に「」が表示されます。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

3 PDFデータを選び [メニュー] を押す

©SEGA

操作方法

操　作	ボタン操作
ページの横幅を画面の幅にあわせる/等倍で表示	[メニュー]（横フィット/等倍）を押します。
スクロール	[▲][▼]/[◀][▶]を押します。
ズームイン	[3]を押します。
ズームアウト	[1]を押します。
前のページへ移動	[4]または[マナー]を押します。
指定のページへ移動	[5]を押し、ページを入力して[メニュー]（OK）を押します。
次のページへ移動	[6]または[メモ]を押します。
左90˚回転	[7]を押します。
右90˚回転	[9]を押します。
倍率・ページ番号表示切替	[*]を押します。
スクロールバー表示切替	[#]を押します。
ボタン操作一覧表示	[ch]（ヘルプ）を押します。

ページレイアウトを切り替える場合

機能メニュー[ページレイアウト]→[単一ページ]/[連続ページ]/[見開きページ]を選択します。

最初/最後のページに移動する場合

機能メニュー[ページ移動]→[最初のページ]/[最後のページ]を選択します。

リンクを利用する場合

機能メニュー[リンク表示]を選択します。

- PDF内に設定されているリンクを利用して、Phone To、Mail To、Web To機能を利用したり、PDFデータの別のページへ移動できます。

詳細情報を表示する場合

機能メニュー[文書のプロパティ]を選択します。

PDFデータを保存する場合

機能メニュー[保存]→保存先を選択します。

ページ単位で取得したPDFデータをすべて取得する場合

機能メニュー[残りすべてを取得]→[はい]を選択します。

- お買い上げ時に登録されているPDFデータを削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

PDFの表示方法を設定する

1 PDFデータ表示画面で [✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [詳細情報表示設定]を選び [メニュー] を押す

詳細情報表示設定画面が表示されます。

[倍率/ページ番号表示]:
倍率とページ番号を表示するかどうかを設定します。

[スクロールバー表示]:
スクロールバーを表示するかどうかを設定します。

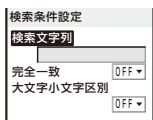
3 [倍率/ページ番号表示]に[ON]/[OFF]を選択する

4 [スクロールバー表示]に[ON]/[OFF]を選択する

詳細情報表示設定が設定されます。

データ表示／編集／管理

PDFデータの文字列を検索する

1 PDFデータ表示画面で [i]（検索）を押す

[検索文字列]：
検索する文字を入力します。

[完全一致]：
完全に一致する文字列だけを検索するかどうかを設定します。

[大文字小文字区別]：
大文字と小文字を区別するかどうかを設定します。

2 [検索文字列]に検索する文字列を入力する

全角8文字、半角16文字以内で入力します。

3 [完全一致]に[ON]/[OFF]を選択する

4 [大文字小文字区別]に[ON]/[OFF]を選択する

5 [i]（実行）を押す

検索した文字列が反転表示されます。

前後の検索結果を表示する場合

[✉]（前へ）/[i]（次へ）を押します。

しおり/マークを使う

よく利用するページなどにしおりやマークを登録しておくと、しおりやマークを選択するだけでリンク先のページを表示できます。マークは、現在表示しているページ番号とページ内の位置を登録します。あらかじめ、しおりやマークが登録されているPDFデータもあります。

- しおりには次の2種類あります。
  - しおり　：あらかじめPDFデータに登録されています。変更できません。
  - ｉモードしおり：追加/削除することができます。

ｉモードしおり/マークを追加する

ｉモードしおりやマークはそれぞれ10件まで追加できます。

例：ｉモードしおりを追加する場合

1 PDFデータ表示画面でｉモードしおりを追加するページを表示し、[✉]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

マークを追加する場合

機能メニュー[マーク]→[マーク追加]を選択します。マークを追加した箇所に「🏳」が表示されます。

2 [しおり]→[ｉモードしおり追加]を選び [▤] を押す

ｉモードしおりが追加されます。

● 追加したｉモードしおり/マークは、赤外線通信、ｉC通信、microSDメモリーカードなどでパソコンや他のFOMA端末へコピーした場合、削除されることがあります。

データ表示／編集／管理

次ページにつづく

ｉモードしおり/マークを一覧表示する

例：ｉモードしおりを一覧表示する場合

1 PDFデータ表示画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [しおり]→[ｉモードしおり一覧]を選び ▤ を押す

ｉモードしおりの一覧が表示されます。

マークを一覧表示する場合

[マーク]→[マーク一覧]を選択します。

しおり/ｉモードしおりの詳細を確認する場合

ｉ(確認)を押します。

ｉモードしおりのタイトルを変更する場合

ｉモードしおりにカーソルをあわせ、機能メニュー[タイトル変更]を選択します。全角64文字、半角128文字以内で入力します。

ｉモードしおり/マークを削除する場合

ｉモードしおり/マークにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、ｉモードしおり/マークを複数選択して ｉ(完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのｉモードしおり/マークを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

3 ｉモードしおりを選び ▤（表示）を押す

ｉモードしおりが設定されているページが表示されます。

静止画を切出す

表示中のPDFデータの一部を切出して、JPEG画像として保存することができます。

- PDFデータによっては、画面の切出しができない場合があります。

1 PDFデータ表示画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [画面切出し]→[はい]を選び ▤ を押す

3 フォルダを選び ▤ を押す

切出した画像がデータBOXのマイピクチャに保存されます。

Music&Videoチャネル/音楽再生

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイルをあわせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルを再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルなどに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

Music&Videoチャネルとは

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびパケ・ホーダイ/パケ・ホーダイフル契約が必要です)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルの詳細については、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料が発生しますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません。※ 海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

  ※ 国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

番組を設定する

利用したい番組を予約すると、夜間に番組データを自動的に取得します。

1 メニューで[Music]→[Music&Videoチャネル]を選び [メニューキー] を押す

Music&Videoチャネルメニューが表示されます。

[番組設定]:
番組の予約/解除を行うサイトに接続します。

[番組リスト]:
番組の一覧サイトに接続します。

[サービスのご案内]:
Music&Videoチャネルの説明サイトに接続します。

2 [番組設定]を選び [メニューキー] を押す

3 画面の指示に従って番組を設定する

詳しくは、『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要です。(P.190)
- 一度に設定できる番組の数は2つまでです。

番組の設定内容を確認・解除する

1 **Music&Videoチャネルメニューで[番組設定]を選び ▭ を押す**

2 **画面の指示に従って操作する**

設定中の番組の確認や、設定の解除を行うことができます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- 番組の設定を解除してもマイメニュー登録は削除されません。

番組を設定すると

番組配信時刻の12時間前になると、待受画面に「▦」が表示されます。
番組の取得は夜間に自動的に行われます。取得に成功すると待受画面に「▦」（Music&Video ch更新成功）の通知情報アイコンが表示されます。

2/ 1（金） 9:05 AM
Music&Video ch更新成功

番組をすぐに再生する場合
待受画面で ▭（リンク）を押して「▦」を選択します。Music&Videoチャネルメニューが表示されます。

番組の取得に失敗した場合
「▦」（Music&Video ch更新失敗）の通知情報アイコンが表示されます。

- 番組取得中に電波状態などにより取得を中断した場合は、3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。再取得しても番組を完全に取得できなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。
- 番組取得開始時に、圏外、電源OFF中、電池残量が少ないなどの理由により番組の取得ができなかった場合、翌日の夜間に再度取得を行います。
- 番組取得には時間がかかる場合があります。十分に充電して、電波状態の良い環境でご使用ください。
- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 次の場合は、番組を自動で取得できません。Music&Videoチャネルメニューから、再度番組を設定してください。
  - 番組設定したときと異なるFOMAカードを差し替えた場合
  - 番組設定したあとでFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合
  - データ一括削除を行った場合
- 1つのチャンネルに保存できる番組データは1つまでです。新しい番組データが取得されると、以前取得した番組データは削除され、再生できなくなります。
- Music&Videoチャネルまたはｉモードの解約を行った場合、[配信番組]フォルダの番組データが削除される場合があります。

番組を手動で取得する

番組の自動取得に失敗した場合は、手動で取得することができます。

1 **Music&Videoチャネルメニューで番組→[はい]を選び ▭ を押す**

- ご利用になる時間帯によっては、手動で取得できない場合があります。
- 番組の取得が中断された場合、中断されるまで部分的に取得した番組は保存されます。残りを取得するときは、一部の時間帯を除いて手動で取得できます。
- 再生制限が切れた番組は再取得できません。また、次回配信日まで更新ができません。

番組を再生する

1 メニューで[Music]→[Music&Videoチャネル]を選び ▭ を押す

Music&Videoチャネルメニューが表示されます。

- 番組の種別・状態、再生制限は、次のアイコンで確認できます。

種別・状態

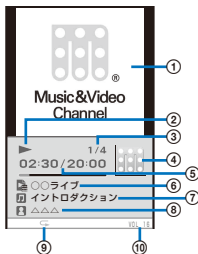
アイコン	種　類
	取得に成功した番組
	取得に失敗した番組、部分的に取得した番組
	再生開始時間が設定されている番組
	未再生の番組

再生制限

アイコン	再生制限
	再生制限ありの番組
	再生制限切れの番組

番組の詳細情報を表示する場合

番組にカーソルをあわせ、▭（詳細情報）を押します。

2 番組を選び ▭ を押す

①チャプターの画像/動画
②現在の状態（再生中/停止中/一時停止中/早送り中/早戻し中）
③再生チャプターの順番/番組の総チャプター数
④番組画像
⑤再生経過時間/番組の総時間
⑥番組タイトル
⑦チャプタータイトル/オリジナルタイトル
⑧アーティスト名/作成者名
⑨リピート再生（ON/OFF）
⑩音量

番組が再生されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	▭（再生）を押します。
一時停止	▭（ポーズ）を押します。
停止	機能メニュー［停止］を選択します。
音量調節	▲ ▼ を押します。
次のチャプターに移動※	▶ を押します。
現在のチャプターの頭出し※	◀ を押します。
前のチャプターに移動※	◀ を繰り返し押します。
早送り	再生中に ▶ を押し続けます。
早戻し	再生中に ◀ を押し続けます。
全画面表示※	▭（全画面）を押します。 • 番組が着うたフル®のファイルの場合は全画面表示できません。
Web To機能を利用	ch（サイト接続）を押します。番組にURL情報がある場合、サイトに接続できます。
リピート再生	機能メニュー［Music&Vch設定］→［リピート］→［ON］/［OFF］を選択します。

※ 停止中は操作できません。

- 再生回数、再生期間、再生期限の制限がある番組は、制限を超えると再生できなくなります。
- 取得に失敗した番組を選んだ場合、再度ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、取得が開始されます。更新に失敗しても、元の番組が再生可能な場合、[そのまま再生]を選択すると再生されます。
- 部分的に取得した番組を選んだ場合、残りをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、取得が開始されます。[途中まで再生]を選択すると、取得している部分が再生されます。ただし、再生開始時間が設定されている番組の場合、取得が完全でないと再生できません。
- 再生開始時間が設定されている番組は再生できる時間が決まっていて、時間外に再生することはできません。自動時刻時差補正により、時計に表示された時刻にあわせて再生されます。
- 再生開始時間が設定されている番組を開始時間より前に選んだ場合、「再生時間外のため再生できません」と表示され、次回の番組再生開始時間が表示されます。開始時間の60秒前になると、「まもなく番組再生開始となります　しばらくお待ちください」と表示され、再生できるようになります。
- 番組によっては、一時停止やチャプターの移動、早送り、早戻しの操作が制限されている場合があります。
- 電池残量が少ないときに再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合、再生が一時停止され、再生を継続するかどうかの確認画面が表示されます。十分に充電してご使用ください。

番組のチャプターを確認する

番組のチャプター一覧を表示し、各チャプターのタイトルやアーティスト名、再生時間を確認できます。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [チャプター一覧]を選び ▤ を押す

チャプターの詳細情報を表示する場合

チャプターにカーソルをあわせ、i (詳細情報)を押します。

番組を削除する

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [番組削除]→[はい]を選び ▤ を押す

- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

番組を別のフォルダに移動する

取得した番組は、データBOXのMusic&Videoチャネルの[配信番組]フォルダに保存されます。番組が更新されると、それまで保存されていた番組は上書きされ、再生できなくなるため、番組の更新前に、別のフォルダに移動できます。番組は10件まで保存することができます。

1 Music&Videoチャネルメニューで番組を選び ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [番組移動]→[はい]を選び ▤ を押す

次ページにつづく

3 フォルダを選び [i](完了)を押す

- 取得した番組はmicroSDメモリーカードに保存することはできません。
- 次の番組は移動できません。
  - 取得が完全でない番組
  - 再生開始時間が設定されている番組
  - 再生制限が切れている番組

データBOXから番組を再生する

データBOXのMusic&Videoチャネルに保存されている番組を再生します。

1 待受画面で [▲] (📁)を押し、[Music&Videoチャネル]を選び [≡] を押す

Music&Videoチャネルのフォルダとファイルの一覧が表示されます。

- フォルダ/ファイル一覧表示中の操作については、データBOXを管理する(P.317)を参照してください。

フォルダ内の番組を再生する場合
フォルダを選んで [≡] を押します。

2 番組を選び [≡] を押す

選択した番組が再生されます。

ミュージックプレーヤーとは

iモードのサイトからダウンロードした着うたフル®や、パソコンからFOMA端末に挿入されたmicroSDメモリーカードに保存した音楽データをミュージックプレーヤーで再生できます。

- 音楽データを再生しながらサイトを表示したり、メールの送受信を行うことができます。(バックグラウンド再生)

■再生できる音楽データ

データBOX

保存先	再生可能なファイル	フォーマット	拡張子
ミュージック	着うたフル®	AAC-LC/HE-AAC	.3gp

microSDメモリーカード

保存先	再生可能なファイル	フォーマット	拡張子
ミュージックの[通常コンテンツ]フォルダ	WMA/3GPP	WMA/AAC-LC/HE-AAC	.wma/.3gp
ミュージックの[移行可能コンテンツ]フォルダ	着うたフル®	AAC-LC/HE-AAC	.SB2
ミュージックの[WMA]フォルダ	WMA	WMA	.wma

■再生対応フォーマット

フォーマット	説　明
WMA	Microsoft社が開発した音声圧縮方式です。Windows標準の音声圧縮方式として採用されています。
AAC-LC	MPEG2やMPEG4で使用されている音声圧縮方式です。音質はそのままに、圧縮率を高めることができます。
HE-AAC	MPEG4で使用されている音声圧縮方式です。AACの拡張仕様です。着うたフル®にも採用されています。

■再生対応ビットレート

ファイル	フォーマット	ビットレート(kbps)
着うたフル®	AAC-LC	8〜128
	HE-AAC(v1)	8〜128
	HE-AAC(v2)	8〜48
3GPP	AAC-LC	80, 96, 128, 160, 192, 256, 320
	HE-AAC(v1)	40, 48, 64, 80, 96
WMA	WMA	20〜320

- 一般的にはビットレートの数字が大きいほど音質はよくなりますが、データ量が大きくなるので、保存曲数は少なくなります。

■ミュージックプレーヤーで操作可能な最大曲数

保存先	最大曲数
データBOX	200曲
microSDメモリーカード：2Gバイト	1,500曲

- microSDメモリーカードに保存されている著作権のある"WMA"フォーマットの音楽データは、お客様のSO905iCSでのみ再生できます。
- microSDメモリーカードに保存した音楽データによっては、他のFOMA端末で再生できないことがあります。

音楽データを転送する

Windows Media Playerまたはナップスター®アプリを使い、パソコンからFOMA端末に挿入されたmicroSDメモリーカードに音楽データを転送します。

Windows Media PlayerでWMAファイルをパソコンに転送する

音楽CDなどから音楽データをWindows Media Player 10/11で取り込み、FOMA端末のmicroSDメモリーカードに保存します。

1 Windows Media Player 10/11をパソコンにインストールする

- Windows XPでWindows Media Player 10/11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。
- Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。

2 WMAファイルをパソコンに保存する

Windows Media Player 10/11の操作方法については、Windows Media Player 10/11のヘルプをご覧ください。

3 FOMA端末のUSBモード設定を[MTPモード]に切り替える

- パソコンと接続してFOMA端末を利用する(P.314操作1～3)と同じ操作を行ってください。
- あらかじめmicroSDメモリーカードを装着してからMTPモードに切り替えてください。

4 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

5 Windows Media Player 10/11から音楽データを転送する

- プレイリストを転送すると、FOMA端末ではWMAプレイリストとして利用できます。

6 FOMA端末とパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を取外す

- 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに転送したWMAファイルは、お客様のSO905iCSで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDメモリーカードを使用すると、USBモード設定を[MTPモード]に切り替えてパソコンと接続しても、パソコンで認識されないことがあります。その場合は、WMA一括削除(P.320)を行うか、microSDメモリーカードのフォーマット(P.313)を行ってください。microSDメモリーカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを転送することもできます。

- ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/ (2007年12月現在)
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/ (2007年12月現在)

パソコンで音楽データを直接コピーする

FOMA端末とパソコンを接続すると、microSDメモリーカードのデータをパソコンから外部ドライブとして読み込み/書き込みできます。
AACファイル(.3gp)をWindows Media Playerを使わないで直接ファイルを保存しても、ミュージックプレーヤーで再生できます。

- Windows Media Playerを使わないで保存した音楽データは、SO905iCSで正常に再生できない場合があります。
- Windows Media Playerを使って保存した音楽データは、この操作で削除しないでください。
- microSDメモリーカードのフォルダ構成については、P.309をご覧ください。

1 FOMA端末のUSBモード設定を[microSDモード]に切り替える

- パソコンと接続してFOMA端末を利用する(P.314操作1～3)と同じ操作を行ってください。

2 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

3 マイ コンピュータの[リムーバブルディスク]をダブルクリックする

4「PRIVATE」→「DOCOMO」→「MMFILE」→「MUSIC」という名前のフォルダを順に作成する

- すでにフォルダがある場合は作成する必要はありません。

5 作成した「MUSIC」フォルダに音楽データを保存する

6 FOMA端末とパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を取外す

着うたフル®をダウンロードする

1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®をダウンロードし、データBOXまたはmicroSDメモリーカードに保存できます。

例：着うたフル®をデータBOXに保存する場合

1 サイトを表示中に着うたフル®を選び [メニュー] を押す

着うたフル®がFOMA端末に取得されます。うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、続けてうた・ホーダイのダウンロードが開始されます。

2 [保存]を選び [メニュー] を押す

[データBOX]：
データBOXのミュージックに保存します。

[microSD]：
microSDメモリーカードのミュージックの[移行可能コンテンツ]に保存します。(microSDメモリーカードを挿入してください)

再生する場合
[再生]を選択します。

詳細情報を表示する場合
[情報表示]を選択します。

3 [データBOX]を選び [メニュー] を押す

4 フォルダを選び [i](保存)を押す

ダウンロードした着うたフル®が保存されます。

- お買い上げ時に登録されている着うたフル®を削除した場合は、「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

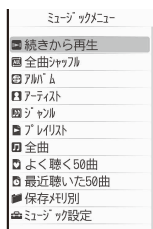
Music&Videoチャネル／音楽再生

音楽データを再生する

データBOX、microSDメモリーカードのミュージックに保存されている音楽データを、ミュージックプレーヤーで再生します。
ミュージックメニューでアーティスト、アルバム、ジャンルなどを指定して、聴きたい曲を簡単に検索することができます。

- ミュージックプレーヤー内の音楽データ更新中は「 」が表示されます。他の機能を起動していると、データ更新に時間がかかることがあります。また、データ更新中は、ミュージックプレーヤーの操作が遅くなることがあります。データ更新中は、すべての曲が表示されないことがあります。更新終了後にミュージックメニューを再表示してください。
- 音楽データによっては、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。
- 音楽データによっては、ジャケット画像が表示できないことがあります。
- 音楽データのフォーマットやビットレートによっては、音とびやノイズが生じることがあります。
- 電池残量が少ないとミュージックプレーヤーを起動できないことがあります。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は再生を停止します。十分に充電してご使用ください。
- ミュージックプレーヤーで音楽データを再生中に、FOMA端末にmicroSDメモリーカードを取付け/取外ししないでください。再生が中断されます。
- ミュージックプレーヤーで音楽データを再生中に音声電話、テレビ電話、プッシュトークを着信したり、メールを受信したり、めざまし時計/スケジュールアラームが起動したりすると、再生が中断され、それぞれの動作に移ります。動作終了後、ミュージックプレーヤーに戻ると自動的に続きから再生します。ただし、自動的に続きから再生されない場合もあります。
- ミュージックプレーヤーで音楽データを再生中に着うたフル®を保存したり、ミュージックフォルダを表示したりすると、ミュージックプレーヤーは終了します。
- 音楽データによっては、音楽データ一覧の表示に時間がかかることがあります。

例：アーティストを選んで再生する場合

1 メニューで[Music]→[ミュージックプレーヤー]を選び ☰ を押す

- 待受画面で ch を1秒以上押してもミュージックプレーヤーを起動できます。

[続きから再生]：
前回再生していた音楽データがある場合、停止した位置から再生します。ただし、音楽データを削除すると、[続きから再生]は選択できません。
- 再生中に CLR を押してミュージックメニューを表示した場合は、[再生中の曲へ]と表示され、選択すると再生中画面が表示されます。

[全曲シャッフル]：
すべての音楽データをランダムに再生します。

[アルバム]：
アルバム一覧を表示し、アルバム→音楽データを選択します。

[アーティスト]：
アーティスト一覧を表示し、アーティスト→アルバム→音楽データを選択します。

[ジャンル]：
ジャンル一覧を表示し、ジャンル→アーティスト→アルバム→音楽データを選択します。

[プレイリスト]：
プレイリスト一覧を表示し、[オリジナルプレイリスト]/[WMAプレイリスト]/[インポートプレイリスト]→プレイリスト→音楽データを選択します。

[全曲]：
すべての音楽データ一覧を表示し、音楽データを選択します。

次ページにつづく

[よく聴く50曲]：
再生回数の多い順に最大50曲まで一覧表示し、音楽データを選択します。

[最近聴いた50曲]：
再生した日時の新しい順に最大50曲まで一覧表示し、音楽データを選択します。

[保存メモリ別]：
保存先を選択し、音楽データを選択します。

[ミュージック設定]：
ミュージック設定メニューを表示します。

2 **[アーティスト]を選び ▭ を押す**

アーティスト一覧が表示されます。

3 **アーティスト→アルバムを選び ▭ を押す**

詳細情報を表示する場合
音楽データにカーソルをあわせ、機能メニュー[詳細情報表示]を選択します。

ジャケットを確認する場合
音楽データにカーソルをあわせ、機能メニュー[画像表示]を選択します。

歌詞を確認する場合
音楽データにカーソルをあわせ、機能メニュー[歌詞表示]を選択します。

4 **音楽データを選び ▭ (再生)を押す**

選択した音楽データが再生されます。

操作方法

操　作	ボタン操作
再生	▭ (再生)を押します。
停止	▭ (停止)を押します。
音量調節	▲ ▼ を押します。
次の曲の頭出し	▶ を押します。
現在の曲の頭出し	再生開始から3秒以上経過後に ◀ を押します。
前の曲の頭出し	再生開始から3秒未満に ◀ を押します。
早送り	再生中に ▶ を押し続けます。
早戻し	再生中に ◀ を押し続けます。
表示切替	i を押します。ビジュアライザ表示とジャケット表示が切り替わります。
前の画面へ移動	CLR を押します。

ミュージックプレーヤーを終了する場合
☎ を押します。ミュージックプレーヤーを終了して待受画面に戻ります。

- ジャケット、歌詞によっては保存できるものがあります。保存する場合は、表示画面で i (保存)を押し、[はい]→フォルダを選択してください。
- ミュージックメニューで機能メニュー[ファイル管理モード]を選択すると、ミュージックプレーヤーを終了し保存先別のミュージックフォルダの音楽データを表示できます。

音楽データの再生制限について

音楽データによっては再生制限が設定されているものがあります。再生制限のある音楽データを再生しようとすると、音楽データの種類によって、異なる確認画面が表示されます。

■着うたフル®

再生制限のある音楽データを再生しようとしたときの表示は次のとおりです。

再生制限	表　示
再生回数残あり	「再生可能回数は残りXX（再生可能回数）です　再生しますか」と表示されます。［はい］を選択すると音楽データを再生します。
再生回数切れ	「再生可能回数が終了しました　削除しますか」と表示されます。［はい］を選択すると音楽データを削除します。
再生期限切れ	「再生可能期限が切れました　削除しますか」と表示されます。［はい］を選択すると音楽データを削除します。
再生期間前	「再生可能日前です　再生できません」と表示されます。

■うた・ホーダイ

- 再生期限の切れたうた・ホーダイを再生しようとすると、「再生期限の更新が必要なデータがあります　携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信しサイトに接続しますか」または「再生するには再生期限の更新が必要です　携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信しサイトに接続しますか」と表示されます。［はい］を選択すると再生期限を更新します。［いいえ］を選択すると、音楽データを再生することができません。
- 再生期限の更新にはパケット通信料がかかります。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、パケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は再生期限を更新しなくても音楽データを再生できますが、再生猶予期間を過ぎると再生できなくなります。また、再生期限の更新を行っていない状態で音楽データのダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えていると、サービスを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を選択すると、再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。
- 再生期限を通知する画面の期限情報は、日本の日時で表示されます。

音楽データ一覧の表示方法を設定する

音楽データ一覧の表示方法を2種類から選択できます。

- 音楽データにジャケットの情報がない場合、ジャケットは表示されません。

リスト表示

S0905iCS col…
What Can U Do (Mash
Cat-Masato Kouyama
Active-OKINO, SHUNT
Stylish-OKINO, SHUN
Natural Life-Iku Ig

ジャケット表示

1 音楽データ一覧画面で［✉］（機能）を押し、［ジャケット表示切替］を選び［●］を押す

リスト表示とジャケット表示が切り替わります。

プレイリストを管理する

FOMA端末で再生できるプレイリストには、次の3種類があります。

オリジナルプレイリスト

FOMA端末で作成したプレイリストです。最大20件のプレイリストを作成/編集することができ、1件につき最大50曲の音楽データを登録できます。

WMAプレイリスト/インポートプレイリスト

パソコンなどの外部機器で作成したプレイリストです。最大100件のプレイリストを表示することができます。WMAプレイリストは1件につき最大500曲の音楽データを、インポートプレイリストは1件につき最大200曲の音楽データを表示できます。FOMA端末では作成/編集することはできません。WMAプレイリストはWindows Media Player 10/11で作成できます。インポートプレイリストは、パソコンなどで作成したM3U形式のプレイリストファイルをmicroSDメモリーカードに転送することでご利用いただけます。

プレイリストを作成する

お好みの音楽データをオリジナルプレイリストに登録します。

例：音楽データを1曲オリジナルプレイリストに追加登録する場合

1 音楽データ一覧で音楽データを選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [プレイリストへ登録]→[1件登録]を選び ☰ を押す

新しいオリジナルプレイリストを作成する場合

i(新規)を押し、プレイリスト名を入力します。全角9文字、半角19文字以内で入力します。

複数選択して登録する場合

機能メニュー[プレイリストへ登録]→[選択登録]を選択し、音楽データを複数選択して i(完了)を押します。

すべて登録する場合

機能メニュー[プレイリストへ登録]→[全件登録]を選択します。

3 登録するオリジナルプレイリストを選び ☰ を押す

登録方法選択画面が表示されます。

[追加登録]:

プレイリストに登録されている音楽データに選択した音楽データを新規に追加します。

[全入換え]:

プレイリストに登録されている音楽データを選択した音楽データですべて上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を選択すると、登録していた音楽データはすべてプレイリストから削除されるのでご注意ください。

4 [追加登録]を選び ☰ を押す

オリジナルプレイリストに音楽データが登録されます。

プレイリストの音楽データを削除/並べ替えする

プレイリストから音楽データを削除したり、プレイリスト内の音楽データを並べ替えできます。プレイリストから音楽データを削除しても、音楽データのファイルそのものは削除されません。

- WMAプレイリスト/インポートプレイリストの音楽データは、削除したり並べ替えたりできません。

例：1曲ずつ削除する場合

1 ミュージックメニューで[プレイリスト]→[オリジナルプレイリスト]→プレイリストを選び ☰ を押す

オリジナルプレイリストの音楽データ一覧が表示されます。

すべて削除する場合

機能メニュー[プレイリストから削除]→[全件削除]→[はい]を選択します。

複数選択して削除する場合
機能メニュー［プレイリストから削除］→［選択削除］を選択し、音楽データを複数選択して（完了）を押し、［はい］を選択します。

2 音楽データを選び（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

音楽データを並べ替える場合
機能メニュー［並べ替え］→音楽データを選択し、移動先にカーソルをあわせて（移動先）を押し、（完了）を押します。

3 ［プレイリストから削除］→［1件削除］→［はい］を選び を押す

選択した音楽データがプレイリストから削除されます。

プレイリストをコピー、削除/名前を変更する

プレイリストを削除したり、プレイリスト名を変更することができます。

- WMAプレイリスト/インポートプレイリストのコピーやプレイリストの変更はできません。

例：1件ずつ削除する場合

1 ミュージックメニューで［プレイリスト］→［オリジナルプレイリスト］を選び を押す

プレイリスト一覧が表示されます。

WMAプレイリストを削除する場合
［WMAプレイリスト］を選択します。

インポートプレイリストを削除する場合
［インポートプレイリスト］を選択します。

すべて削除する場合
機能メニュー［プレイリスト削除］→［全件削除］→［はい］を選択します。

複数選択して削除する場合
機能メニュー［プレイリスト削除］→［選択削除］を選択し、プレイリストを複数選択して（完了）を押し、［はい］を選択します。

2 プレイリストを選び（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

プレイリスト名を変更する場合
プレイリストにカーソルをあわせ、機能メニュー［プレイリスト名編集］を選択します。全角9文字、半角19文字以内で入力します。

プレイリストをコピーする場合
プレイリストにカーソルをあわせ、機能メニュー［プレイリストコピー］→［はい］を選択します。

プレイリストの詳細情報を表示する場合
プレイリストにカーソルをあわせ、機能メニュー［詳細情報表示］を選択します。

3 ［プレイリスト削除］→［1件削除］→［はい］を選び を押す

選択したプレイリストが削除されます。

ミュージックプレーヤーの設定を変更する

1 ミュージックメニューで［ミュージック設定］を選び を押す

2 ［再生モード］に音楽データの再生モードを選択する

［Normal］：
選択した音楽データ一覧をリスト順に再生します。

［Shuffle］：
選択した音楽データ一覧を順不同に再生します。

Music&Videoチャネル／音楽再生

次ページにつづく

3 [リピート]に繰り返し方法を選択する

[全曲]:
選択した音楽データ一覧の全曲を繰り返し再生します。

[1曲]:
選択した1曲を繰り返し再生します。

[OFF]:
繰り返し再生しません。

4 [AVLS]に再生音量を制限するかどうかを選択する

[ON]:
再生音量を制限します。音量を16より大きく調節できなくなります。

[OFF]:
再生音量を制限しません。

ミュージック設定をお買い上げ時の状態に戻す場合

ミュージック設定画面で[設定リセット]→[はい]を選択し、端末暗証番号を入力します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

〈マルチアクセス〉

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。

- マルチアクセスの組み合わせパターンについては、P.435をご覧ください。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について料金がかかります。
- テレビ電話または64Kデータ通信を利用時は、マルチアクセスを使用できません。ただし、SMSは同時に受信できます。

マルチアクセスで行える主な操作

音声電話中に他の通信を開始する

例：音声電話中にｉモードに接続する場合

1 音声電話中に MENU（MENU）を押し、MENU（新規TASK）を押す

メニュー画面が表示されます。

2 [ｉモード]→[ｉMenu]→[メニュー/検索]を選び ☰ を押す

電話がつながったまま、ｉモードに接続されます。

メールを送信する場合

[メール]→[新規メール作成]を選択し、メールを作成して送信します。

パソコンをつないでパケット通信をする場合

パソコン側からの操作によりパケット通信で接続します。

画面を切り替える場合

MENU（MENU）を押してタスクアイコンを選択します。

音声電話中にメールを受信する

電話がつながったままメールを受信します。

- 通話中にｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信した場合は、着信音、着信ランプ、バイブレータは動作しません。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

例：ｉモード中に音声電話をかける場合

1 ｉモード中やパケット通信中に MENU（MENU）を押す

メニュー画面が表示され、TASK MENUにカーソルが移動します。

2 「▮」（待受画面）を選び ☰ を押す

3 電話番号を入力し、✆ を押す

ｉモードやパケット通信中のまま、音声電話をかけます。

通話中に画面を切り替える場合

MENU（MENU）を押してタスクアイコンを選択します。

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

1 電話がかかってきたら［発信キー］を押す

音声電話がかかってくると、電話着信画面が表示されます。
ｉモードやパケット通信中のまま、音声電話を受けます。

通話中に画面を切り替える場合

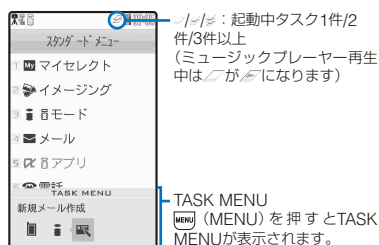
［MENU］（MENU）を押してタスクアイコンを選択します。

マルチタスクについて

〈マルチタスク〉

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えて操作できる機能です。

- マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.437をご覧ください。

マルチタスク中の画面の見かた

■タスクアイコン

アイコン	機能名	アイコン	機能名
	待受画面		ビューア
	電話 ダイヤル入力		ブログ投稿
	プッシュトーク プッシュトーク発信		音楽付スライドショー
	カメラ		ｉモード
	ムービー		ｉチャネル

アイコン	機能名	アイコン	機能名
	メール/ｉモード共通設定 ｉモード設定 設定 本体情報 USBモード設定 文字入力設定		データBOX ミュージックプレーヤー Music&Videoチャネル
	フルブラウザ		Music&Videoチャネルダウンロード
	メール メール表示 メッセージ		ICカード トルカ
	メールBOX		電話番号表示
	新規メール作成		バーコードリーダー
	SMS作成		microSD
	テンプレート一覧		ライフタイムカレンダー
	メール受信 ｉモード問合せ SMS受信 SMS問合せ データ通信		めざまし時計 めざまし時計アラーム スケジュール
	メール設定		スケジュールアラーム
	ｉアプリ		テキストメモ
	電話帳		電卓
	履歴		電話帳お預かりサービス
	プッシュトーク電話帳		GPS
	伝言メモ		NWサービス

次ページにつづく

新しい機能を実行する

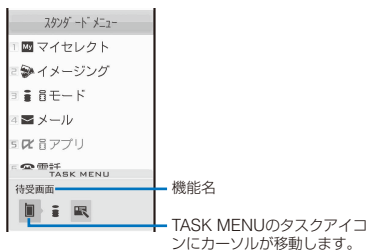
1 各機能を実行中に MENU（MENU）を押す

2 MENU（新規TASK）を押す

3 メニューから新しい機能を選び ▤ を押す

機能を切り替える

複数の機能を実行しているときは、操作する機能の画面に切り替えることができます。

1 MENU（MENU）を押す

2 ◀ ▶ でタスクアイコンを選び ▤ を押す

選択した機能の画面に切り替わります。

実行中の機能をすべて終了する

1 MENU（MENU）を押す

2 i（全終了）を押す

3 [はい]を選び ▤ を押す

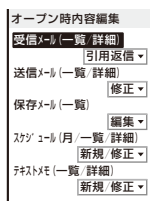
実行中のすべての機能が終了します。

- 複数の機能を実行している場合、☎ を押すと表示されている機能が終了します。

FOMA端末をスライドして編集画面を表示する 〈オープン時内容編集〉

FOMA端末をスライドして開くだけで、メール編集画面やスケジュール編集画面、テキストメモ編集画面を表示できます。

例：受信メールから返信用のメール編集画面を表示する場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[本体スライド設定]→[オープン時内容編集]を選び ▤ を押す

[受信メール(一覧/詳細)]:
受信メール一覧/受信メール画面でFOMA端末を開いたときに返信用のメール編集画面を表示するかどうかを設定します。

[送信メール(一覧/詳細)]:
送信メール一覧/送信メール画面でFOMA端末を開いたときに送信メールの編集画面を表示するかどうかを設定します。

[保存メール(一覧)]:
保存メール一覧でFOMA端末を開いたときに保存メールの編集画面を表示するかどうかを設定します。

[スケジュール(月/一覧/詳細)]:
スケジュールのカレンダー/スケジュール一覧/スケジュール詳細画面でFOMA端末を開いたときにスケジュール編集画面を表示するかどうかを設定します。

[テキストメモ(一覧/詳細)]:
テキストメモ一覧/テキストメモ表示画面でFOMA端末を開いたときにテキストメモ編集画面を表示するかどうかを設定します。

2 **[受信メール(一覧/詳細)]に[引用返信]/[返信]を選択する**

[引用返信]:
本文を引用します。

[返信]:
本文を引用しません。

[OFF]:
メール編集画面を表示しません。

- [引用返信]に設定しても、引用返信できない画面の場合は返信になります。また、[返信]に設定しても、返信できない画面の場合は引用返信になります。

送信メールを編集する場合
[送信メール(一覧/詳細)]に[修正]/[OFF]を選択します。

保存メールを編集する場合
[保存メール(一覧)]に[編集]/[OFF]を選択します。

スケジュールを編集する場合
[スケジュール(月/一覧/詳細)]に[新規/修正]/[OFF]を選択します。

テキストメモを編集する場合
[テキストメモ(一覧/詳細)]に[新規/修正]/[OFF]を選択します。

ライフタイムカレンダーを利用する 〈ライフタイムカレンダー〉

ライフタイムカレンダーは、FOMA端末に保存されている画像、メール、スケジュール、誕生日のデータをカレンダー形式で表示し、お客様の想い出をより楽しく演出します。
想い出を自動で表示したり、ライフタイムカレンダーからメール、スケジュールなどを表示できます。

1 **メニューで[Lifekit]→[ライフタイムカレンダー]を選び [MENU] を押す**

ライフタイムカレンダーが表示されます。

- [メモ] を押すと翌月のカレンダー、[マナー] を押すと前月のカレンダーに切り替えることができます。
- 表示および登録されている項目は、次のアイコンで確認できます。

表示設定状況

	静止画(全表示)/(指定表示)/(指定非表示)/(非表示)
	受信メール(全表示)/(指定表示)/(指定非表示)/(非表示)
	送信メール(全表示)/(指定表示)/(指定非表示)/(非表示)
	スケジュール(全表示)/(非表示)
	誕生日(全表示)/(非表示)

登録内容

	スケジュール登録あり
	誕生日登録あり

- メールがある場合は、件数によって以下の色で表示されます。

メール件数表示

背景色	件 数
クリーム	1～4件
ベージュ	5～9件
オレンジ	10～19件
銀	20～99件
金	100件以上

待受画面にライフタイムカレンダーを設定している場合
待受画面で [MENU] (リンク)を押し、ライフタイムカレンダーを選択すると、ライフタイムカレンダーを起動できます。

次ページにつづく

インデックスを表示する場合

[i](インデックス)を押します。年月を選択すると、選択した年月のライフタイムカレンダーが表示されます。

スケジュールを新規作成する場合

機能メニュー[スケジュール新規作成]を選択し、スケジュールを登録します。

日付を指定してライフタイムカレンダーを表示する場合

機能メニュー[日付指定表示]を選択し、日付を入力します。2000/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

表示データを更新する場合

機能メニュー[データ更新]を選択します。

2 日付を選び [メニュー] を押す

選択した日付の前後1年間のライフタイムカレンダー(詳細表示)が表示されます。

インデックスを表示する場合

[i](インデックス)を押します。日付を選択すると、ライフタイムカレンダー(詳細表示)が表示されます。

静止画を表示する場合

[ ]を選択します。(P.290)

受信メールを表示する場合

[ ]または[ ]を選択します。(P.219)

送信メールを表示する場合

[ ]を選択します。(P.219)

スケジュールを表示する場合

[ ]を選択します。(P.366)

誕生日を表示する場合

[ ]を選択します。電話帳画面(P.101)または電話番号表示画面(P.45)が表示されます。

- シークレット登録した電話帳、電話番号表示、スケジュールは、ライフタイムカレンダーに表示されません。内容を表示する場合は、シークレット表示を[ON]に設定してください。
- FOMA端末に保存されている静止画、メール、スケジュールのデータが多いほど、ライフタイムカレンダーを楽しくご利用いただけます。SO905iCSのお買い上げ直後は、赤外線通信やmicroSDメモリーカードなどを利用してデータをFOMA端末に保存することをおすすめします。

想い出が表示されると

一定時間操作を行わないと、FOMA端末に保存されている静止画、メール、スケジュールのデータが過去の想い出としてランダムに表示されます。

想い出の詳細を表示する場合

[ch](想い出)を押します。想い出を選択すると、ライフタイムカレンダー(詳細表示)が表示されます。

ライフタイムカレンダーで表示できるデータ

ライフタイムカレンダーは、次のデータを表示できます。

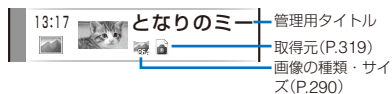
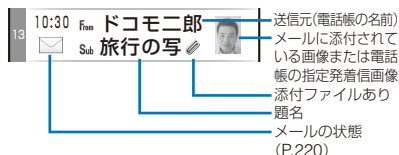
- データBOXのマイピクチャに保存されているJPEG画像、GIF画像
- FOMA端末に保存されている受信メール、送信メール、SMS、受信メール/送信メールに添付されている画像※1
- FOMA端末に登録されているスケジュール
- FOMA端末電話帳に登録されている名前、指定発着信画像、誕生日※2
- 電話番号表示に登録されている名前、画像、誕生日

※1 2in1のモードがAモードの場合はAアドレス宛のデータを、Bモードの場合はBアドレス宛のデータを表示します。

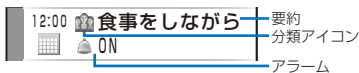
※2 2in1のモードがAモードの場合は電話帳2in1設定で[共通]および[A]に設定されたデータを、Bモードの場合は[共通]および[B]に設定されたデータを表示します。

■表示例

• メールに添付された画像が表示できない場合は、「 」が表示されます。

静止画の場合

受信メールの場合

送信メールの場合

• 複数の相手に宛先種別が「To」でメールを送信した場合、宛先の横に「 」が表示されます。

スケジュールの場合

誕生日の場合

- microSDメモリーカードのデータは、ライフタイムカレンダーで表示できません。
- 国際ローミング中にメールの日時が現地時間に補正された場合は、時刻の横に「 」が表示されます。(P.44)
- [プリインストール]フォルダ、[スタンプ・フレーム]フォルダの画像は、ライフタイムカレンダーで表示できません。
- ライフタイムカレンダーを表示中に、新着メールがあったときや、マルチタスクにより画像、電話帳、スケジュールなどの保存データを削除、変更した場合は、ライフタイムカレンダーの表示内容と実際のデータが一致しないことがあります。この場合は、機能メニュー[データ更新]を選択して、ライフタイムカレンダーの表示内容を更新してください。

ライフタイムカレンダーの表示を設定する

ライフタイムカレンダーに表示するデータ、想い出を自動表示するかどうかを設定できます。

1 ライフタイムカレンダーで (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [ライフタイムカレンダー設定]を選び を押す

ライフタイムカレンダー設定画面が表示されます。

[表示設定]:

ライフタイムカレンダーに表示するデータを設定します。

その他の便利な機能

次ページにつづく

[想い出自動表示設定]：
ボタン操作がないときに想い出を自動表示するまでの時間を設定します。

[セキュリティデータ表示]：
メールセキュリティ設定やデータセキュリティ設定が設定されているフォルダを表示するかどうかを設定します。[表示]に設定すると、ライフタイムカレンダーを表示するときに暗証番号の入力が必要になります。

ライフタイムカレンダー設定の説明を表示する場合
(ヘルプ)を押します。

3 [表示設定]を選び を押す
表示設定画面が表示されます。

[静止画]：
静止画の表示を[全表示]/[指定表示]/[指定非表示]/[非表示]に設定します。特定のフォルダの静止画のみを表示/非表示にする場合は、[指定表示]/[指定非表示]→[フォルダ指定]→フォルダを選択します。

- [プリインストール]フォルダ、[スタンプ・フレーム]フォルダは選択できません。

[受信メール]：
受信メールの表示を[全表示]/[指定表示]/[指定非表示]/[非表示]に設定します。特定のアドレスのメールのみを表示/非表示にする場合は、[指定表示]/[指定非表示]→[メールアドレス指定]→メールアドレスを設定します。

[送信メール]：
送信メールの表示を[全表示]/[指定表示]/[指定非表示]/[非表示]に設定します。特定のアドレスのメールのみを表示/非表示にする場合は、[指定表示]/[指定非表示]→[メールアドレス指定]→メールアドレスを設定します。

[スケジュール]：
スケジュールの表示を[全表示]/[非表示]に設定します。

[誕生日]：
誕生日の表示を[全表示]/[非表示]に設定します。

お買い上げ時の設定に戻す場合
(リセット)を押します。

4 各項目に表示設定を選択する

5 (完了)を押す
ライフタイムカレンダー設定画面が表示されます。

6 [想い出自動表示設定]に想い出を自動表示するまでの時間を設定する
[速い]、[標準]、[遅い]、[OFF]から選択します。

想い出を自動表示しない場合
[OFF]を選択します。

7 [セキュリティデータ表示]を選び を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

8 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

9 [表示]/[非表示]を選び を押す
ライフタイムカレンダー設定が設定されます。

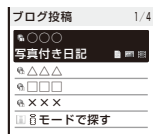
ブログに投稿する

ブログサービスを登録しておくと、iモードメールを利用して簡単にブログに投稿することができます。

ブログサービスを登録する

ブログの投稿先を登録します。ブログサービスは22件まで登録できます。

例：ブログサービスを手動で登録する場合

1 メニューで[イメージング]→[ブログ投稿]を選び を押す
ブログサービス一覧が表示されます。

ブログ投稿サービス情報ファイルを利用する場合
利用したいブログサービスのサイトにiモードから接続して、ブログ投稿サービス情報ファイルをダウンロードします。(P.195)

その他の便利な機能

- ブログ投稿サービス情報ファイルはｉモードから接続した場合のみダウンロード可能です。フルブラウザからはダウンロードできません。

2 **（機能）を押し、[追加]を選び を押す**

サービス設定画面が表示されます。

ブログサービスを編集する場合

ブログサービスにカーソルをあわせ、機能メニュー[編集]を選択します。

- ブログ投稿サービス情報ファイルを設定した場合にサービス名、サービス詳細を編集できます。

ブログサービスを削除する場合

ブログサービスにカーソルをあわせ、機能メニュー［1件削除］→[はい]を選択します。

ブログサービスの情報を確認する場合

ブログサービスにカーソルをあわせ、機能メニュー[情報表示]を選択します。

- ブログ投稿サービス情報ファイルを設定した場合にバージョン、ユーザIDを確認できます。

3 **[サービス名]にサービス名を入力する**

全角25文字、半角50文字以内で入力します。

4 **[サービス詳細]にサービスの詳細を入力する**

全角25文字、半角50文字以内で入力します。

5 **[ｉモード接続用URL]にｉモード接続用URLを入力する**

「http://」を含み半角の英数字・記号512文字以内で入力します。

- 以前にURLを入力した場合は、前回入力したURLが表示されます。
- URLの先頭の「http://」まではあらかじめ入力済みの状態で表示されます。

6 **[フルブラウザ接続用URL]にフルブラウザ接続用URLを入力する**

「http://」を含み半角の英数字・記号512文字以内で入力します。

- 以前にURLを入力した場合は、前回入力したURLが表示されます。
- URLの先頭の「http://」まではあらかじめ入力済みの状態で表示されます。

7 **[メールアドレス]に投稿用のメールアドレスを入力する**

半角の英数字・記号50文字以内で入力します。

8 **[静止画添付]/[動画添付]に静止画/動画を投稿するかどうかを選択する**

- ブログサービスが対応しているコンテンツの種類に応じて選択してください。

[利用する]：
静止画/動画の投稿を利用します。

[利用しない]：
静止画/動画の投稿を利用しません。

9 **（完了）を押す**

ブログサービスが設定されます。

ブログに投稿する

静止画（JPEG）または動画（3GP）1件とテキストをブログに投稿します。

例：データBOXの静止画とテキストを投稿する場合

1 **メニューで[イメージング]→[ブログ投稿]を選び を押す**

ブログサービス一覧が表示されます。

- ブログサービスが対応しているコンテンツの種類は、次のアイコンおよびアイコンの組み合わせで確認できます。

アイコン	種　類
	テキスト投稿対応
	静止画投稿対応
	動画投稿対応

2 **静止画投稿およびテキスト投稿対応のブログサービスを選び （投稿）を押す**

ファイル添付確認画面が表示されます。

テキスト投稿のみ対応のブログサービスを選択した場合

メール編集画面が表示されます。操作5に進みます。

3 **[ファイル添付]を選び を押す**

テキストのみ投稿する場合

［本文のみ］を選択します。操作5に進みます。

その他の便利な機能

4 データBOXでカテゴリ→フォルダ→ファイルを選び [≡] を押す

メール編集画面が表示されます。

本体縦横自動判別を[ON]にして撮影した静止画の場合

FOMA端末での表示方向にあわせて画像を回転するかどうかの確認画面が表示されることがあります。画像を回転して投稿する場合は[合わせて投稿]を選択します。画像サイズが[VGA（640×480）]を超える場合は、元の画像が縦長か横長かに応じて自動的に[VGA（縦640×横480）]または[VGA（横640×縦480）]の画像に縮小されます。
そのままの向きで投稿する場合は[そのまま投稿]を選択します。

静止画の画像サイズが[VGA（640×480）]を超える場合

画像サイズを[VGA（640×480）]に縮小するかどうかの確認画面が表示されます。縮小して投稿する場合は[縮小して投稿]を選択します。
そのままのサイズで投稿する場合は[そのまま投稿]を選択します。

- 2Mバイトを超える静止画を選択し、サイズ変更をしない場合は、メールの添付ファイルのサイズ制限により静止画は添付されません。

動画のサイズが2Mバイトを超える場合

先頭から2Mバイト以下に自動的に切出します。

microSDメモリーカードの静止画または動画を選択する場合

microSDのカテゴリ一覧でカテゴリ→ファイルを選択します。

5 テキストを入力し、[i]（送信）を押す

メールが送信され、ブログに投稿されます。

- 2in1のモードがBモードのときは、iモードメールを作成できません。
- Bアドレスからはiモードメールを送信できません。

ブログを閲覧する

例：iモードを利用してブログを閲覧する場合

- ブログサービスにiモード接続用URLまたはフルブラウザ接続用URLが指定されていない場合は選択できません。

1 メニューで[イメージング]→[ブログ投稿]を選び [≡] を押す

ブログサービス一覧が表示されます。

2 ブログサービスを選び [i]（iモード）を押す

iモード接続確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び [≡] を押す

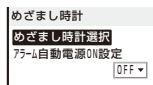
選択したブログを表示します。

フルブラウザを利用してブログを閲覧する場合

ブログサービスにカーソルをあわせ、[ch]（フルブラウザ）を押し、[はい]を選択します。

指定した時刻にアラームで知らせる 〈めざまし時計〉

指定した時刻に約1分間アラームが動作します。動作するアラームを最大12件まで設定できます。

1 メニューで[LifeKit]→[めざまし時計]を選び [≡] を押す

電源OFF時のめざまし時計の動作を設定する場合

[アラーム自動電源ON設定]→[ON]/[OFF]を選択します。

- [ON]を選択した場合は、電源OFF時にアラーム時刻になると、自動的に電源が入りアラームが動作します。

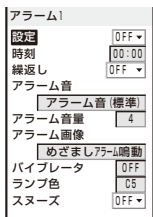
2 [めざまし時計選択]を選び [≡] を押す

- めざまし時計の設定状況は、次のアイコンで確認できます。

🔔	めざまし時計設定中
⏰	スヌーズ設定中

めざまし時計の設定/解除を切り替える場合

めざまし時計にカーソルをあわせ、✉(設定)/✉(解除)を押します。

3 設定するアラームを選び ▤ を押す

4 [設定]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]:

めざまし時計を動作します。

[OFF]:

めざまし時計を動作しません。

5 [時刻]にアラームを鳴らす時刻を入力する

24時間制で入力します。

6 [繰返し]に繰り返し方法を選択する

[OFF]:

アラームを繰り返しません。

[毎日]:

毎日繰り返します。

[曜日]:

毎週同じ曜日に繰り返します。繰り返す曜日を選択し、ⓘ(確定)を押します。

7 [アラーム音]にデータBOXのミュージック/ｉモーション/メロディからアラーム音を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[ｉモーション]から選択できます。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
ミュージック※	AAC-LC/HE-AAC	5Mバイト以下	–
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下
メロディ	SMF/MFi	350Kバイト以下	–

※ ファイルによっては設定できないことがあります。

[ミュージック]から再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合

設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体がアラーム音に設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が設定されます。

アラーム音を鳴らさない場合

[サイレント] を選択します。

アラーム音を確認する場合

アラーム音にカーソルをあわせ、ch(聞く/再生)を押します。

8 [アラーム音量]に音量を設定する

[OFF]、[1～6]から選択します。

[OFF]に設定する場合

レベル1で ▼ を押します。

9 [アラーム画像]にデータBOXのマイピクチャ/ｉモーションからアラーム画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	–
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下

※ ｉモーションによっては設定できないことがあります。

その他の便利な機能

次ページにつづく

アラーム画像を確認する場合
アラーム画像にカーソルをあわせ、[ch]（見る/再生）を押します。

10 [バイブレータ]に振動パターンを選択する

[パターン1]：
振動/停止を繰り返します。

[パターン2]：
長めの振動/停止を繰り返します。

[メロディ連動]：
アラーム音にあわせて振動します。アラーム音を[サイレント]に設定している場合や、連動できないメロディを設定している場合は、[パターン1]で振動します。

[OFF]：
バイブレータを設定しません。

振動を確認する場合
パターンにカーソルをあわせ、[i]（確認）を押します。

11 [ランプ色]にランプ色を選択する

12色のランプ色、[C13:ALL]（12色が順番に点滅）から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

12 [スヌーズ]に[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
アラームが約1分間動作したあと、5分おきに6回までアラーム動作を繰り返します。

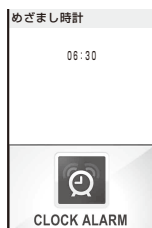
[OFF]：
アラーム動作を繰り返しません。

13 [i]（完了）を押す

めざまし時計が設定され、待受画面に「⏰」が表示されます。

- めざまし時計とスケジュールアラームを同時に設定している場合は、「⏰」の代わりに「⏰」が表示されます。
- めざまし時計とスケジュールアラームを同じ時刻に設定した場合は、スケジュールアラームが優先されます。
- アラーム音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、アラーム画像にｉモーションを設定した場合、設定内容が変更されることがあります。

アラーム時刻になると

約1分間着信ランプが点滅しアラーム音が鳴ります。

アラーム音を止める場合
いずれかのボタンを押します。

アラーム音を止めなかった場合
めざまし時計終了画面が表示されます。めざまし時計終了画面の表示を消す場合は[終話]または[CLR]を押してください。

スヌーズを停止する場合
[終話]を押します。

- アラーム音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、ｉモーションの映像が表示されます。
- 音声電話通話中、プッシュトーク通信中にアラーム時刻になると、お買い上げ時のアラーム音・アラーム画像が動作します。バイブレータは振動しません。
- 次の場合などは、アラームが動作しません。
  - オールロック設定中
  - パーソナルデータロック設定中
  - おまかせロック設定中
  - ソフトウェア更新中
- 次の場合などにアラーム時刻になると、通話または待受状態になったときにアラームが動作することがあります。
  - 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信中
  - パケット通信中
  - 赤外線通信中、赤外線リモコン使用中
  - ｉC通信中
  - USB接続したパソコンでデータ通信中またはmicroSDメモリーカードのデータを読み込み中/書き込み中
  - 静止画撮影中、動画撮影中
  - スケジュールアラーム鳴動中
  - エリアメール受信時のブザー音またはエリアメール着信音鳴動中、エリアメール表示中
- アラーム動作中、スヌーズ動作中に他の機能が起動すると、アラームは停止します。スヌーズ動作が5回以内の場合はスヌーズ動作を行います。

● PIN1コード入力設定を[ON]に設定し、めざまし時計の電源OFF時自動起動を[ON]に設定している場合、アラーム時刻になると自動的に電源がONになり、アラームが動作してPIN1コード入力画面が表示されます。アラーム音にFOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを設定している場合は、お買い上げ時のメロディが鳴ります。
● 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、めざまし時計が正しく動作しない場合があります。
● 電池パックを取外して電源を切った場合には、アラーム自動電源ON設定を[ON]に設定しても自動的に電源は入りません。

スケジュールを登録する

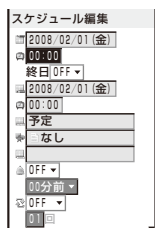
〈スケジュール〉

日付、内容などのスケジュールを300件まで登録して管理できます。スケジュールアラームを設定すると、予定時刻にアラームを動作してお知らせします。

- 「 」(内容)は必ず入力してください。

1 メニューで[LifeKit]→[スケジュール]を選び を押す

カレンダーが表示されます。

2 開始日付を選び (新規)を押す

選択した日付が自動的に入力されます。

開始日付を修正する場合

[ ]を選択して修正します。2000/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

3 [ ]に開始時刻を入力する

24時間制で入力します。

終日に設定する場合

[終日]で[ON]を選択します。終日に設定すると、開始時刻、終了日付、終了時刻、アラームは設定できなくなります。

4 [ ]に終了日付を入力する

開始日付～2050/12/31の範囲で入力します。

5 [ ]に終了時刻を入力する

24時間制で入力します。

6 [ ]に内容を入力する

全角128文字、半角256文字以内で入力します。

7 [ ]に分類アイコンを選択する

8 [ ]に要約を入力する

全角20文字、半角40文字以内で入力します。

9 [ ]にアラームの[ON]/[OFF]を選択する

[ON]:
　アラームを鳴らします。アラームを開始時刻の何分前に鳴らすかを選択します。開始時刻と同時に鳴らすときは[00分前]を選択します。

[OFF]:
　アラームを鳴らしません。

10 [ ]に繰り返し方法を選択する

[OFF]:
　スケジュールを繰り返しません。操作12に進みます。

[毎日]:
　毎日繰り返します。

[毎週]:
　毎週同じ曜日に繰り返します。

[毎月]:
　毎月同じ日に繰り返します。

[毎年]:
　毎年同じ月日に繰り返します。

繰り返しを[OFF]以外に設定した場合

繰り返しの回数を01～99回の範囲で入力します。

11 [休祝日]に休祝日の[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
　休祝日も繰り返します。

[OFF]：
　休祝日は繰り返しません。ただし、繰り返しの回数としては数えます。

12 [ ]にシークレット登録の[ON]/[OFF]を選択する

[ON]：
　スケジュールをシークレット登録します。スケジュールアラーム時は時刻以外を「*」で表示します。

[OFF]：
　スケジュールをシークレット登録しません。

シークレット登録した内容を表示する場合
　シークレット表示を[ON]に設定します。

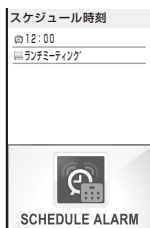
13 (完了)を押す

スケジュールが登録されます。アラームを[ON]に設定すると、待受画面に「」が表示されます。
カレンダーでは、スケジュール登録された日付の背景に色が付きます。

- オープン時内容編集で[スケジュール(月/一覧/詳細)]に[新規/修正]を設定しているときは、カレンダーまたはスケジュール一覧で、FOMA端末を開くだけでスケジュールを登録できます。(P.354)
- スケジュールアラームとめざまし時計を同時に設定している場合は、「」の代わりに「」が表示されます。
- 31日に登録したスケジュールを[毎月]の繰り返しに設定した場合、31日のない月はその月の最終日を繰り返し日とします。うるう年の2月29日を[毎年]の繰り返しに設定した場合も同様です。
- アラーム音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、アラーム画像にｉモーションを設定した場合、設定内容が変更されることがあります。

スケジュールアラーム時刻になると

約30秒間着信ランプが点滅しアラーム音が鳴り、スケジュールの内容が表示されます。
複数のスケジュールのアラーム開始時刻が重なった場合は、画面右上に「他XXX件」と表示されます。

スケジュール時刻
12:00
ランチミーティング

アラーム音を止める場合
　いずれかのボタンを押します。

アラーム音を止めなかった場合
　スケジュール時刻画面が表示されます。スケジュール時刻画面の表示を消す場合は、 (OK)、 または CLR を押してください。

- アラーム音に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合、ｉモーションの映像が表示されます。
- 音声電話通話中、プッシュトーク通信中にアラーム時刻になると、お買い上げ時のアラーム音・アラーム画像が動作します。バイブレータは振動しません。
- 次の場合などは、スケジュールアラームが動作しません。
  - 電源OFF時
  - オールロック設定中
  - パーソナルデータロック設定中
  - おまかせロック設定中
  - ソフトウェア更新中
- 次の場合などにアラーム時刻になると、通話または待受状態になったときにアラームが動作することがあります。
  - 音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発着信中
  - パケット通信中
  - 赤外線通信中、赤外線リモコン使用中
  - ｉC通信中
  - USB接続したパソコンでデータ通信中またはmicroSDメモリーカードのデータを読み込み中/書き込み中
  - 静止画撮影中、動画撮影中
  - エリアメール受信時のブザー音またはエリアメール着信音鳴動中、エリアメール表示中

● 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、スケジュールアラームが正しく動作しない場合があります。

スケジュールアラームの動作を設定する

スケジュールアラームの動作の詳細を設定します。

1 カレンダーで [メール]（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [スケジュール設定]→[スケジュールアラーム設定]を選び [決定] を押す

3 [アラーム音]にデータBOXのミュージック/ｉモーション/メロディからアラーム音を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[ｉモーション]から選択できます。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
ミュージック※	AAC-LC/HE-AAC	5Mバイト以下	−
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA（640×480）]以下
メロディ	SMF/MFi	350Kバイト以下	−

※ ファイルによっては設定できないことがあります。

[ミュージック]から再生範囲が指定されている着うたフル®を選択した場合

設定方法選択画面が表示されます。[まるごと設定]を選択した場合は、着うたフル®の曲全体がアラーム音に設定されます。[オススメ設定]を選択した場合は、着うたフル®の指定された再生範囲が設定されます。

アラーム音を鳴らさない場合

[サイレント]を選択します。

アラーム音を確認する場合

アラーム音にカーソルをあわせ、[ch]（聞く/再生）を押します。

4 [アラーム音量]に音量を設定する

[OFF]、[1〜6]から選択します。

[OFF]に設定する場合

レベル1で [▼] を押します。

5 [アラーム画像]にデータBOXのマイピクチャ/ｉモーションからアラーム画像を選択する

- 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受（480×864）]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	−
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA（640×480）]以下

※ ｉモーションによっては設定できないことがあります。

アラーム画像を確認する場合

アラーム画像にカーソルをあわせ、[ch]（見る/再生）を押します。

6 [バイブレータ]に振動パターンを選択する

[パターン1]：
振動/停止を繰り返します。

[パターン2]：
長めの振動/停止を繰り返します。

[メロディ連動]：
アラーム音にあわせて振動します。アラーム音を[サイレント]に設定している場合や、連動できないメロディを設定している場合は、[パターン1]で振動します。

[OFF]：
バイブレータを設定しません。

振動を確認する場合

パターンにカーソルをあわせ、[i]（確認）を押します。

次ページにつづく

7 [ランプ色]にランプ色を選択する

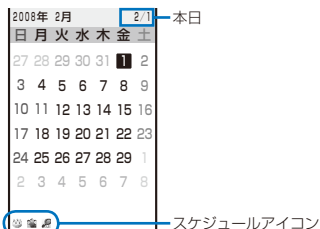
12色のランプ色、[C13:ALL](12色が順番に点滅)から選択します。
カーソルをあわせると、着信ランプが点滅します。

8 [i](完了)を押す

スケジュールアラームの動作が設定されます。

スケジュールを表示する

登録したスケジュールは、カレンダーから確認できます。

1 メニューで[LifeKit]→[スケジュール]を選び ≡ を押す

カレンダーが表示されます。

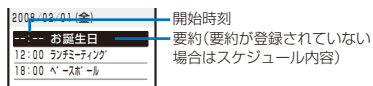
- [メモ] を押すと翌月のカレンダーに、[マナー] を押すと前月のカレンダーに切り替えることができます。

待受画面にカレンダーを設定している場合

待受画面で ≡ (リンク)を押し、カレンダーを選択すると、スケジュールを起動できます。

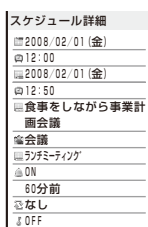
日付を指定してカレンダーを表示する場合

機能メニュー[日付指定表示]を選択し、日付を入力します。2000/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

2 日付を選び ≡ を押す

スケジュール一覧が表示されます。

- ▶ を押すと翌日に、◀ を押すと前日に切り替えることができます。

3 スケジュールを選び ≡ を押す

スケジュール詳細
2008/02/01(金)
12:00
2008/02/01(金)
12:50
食事をしながら事業計画会議
会議
ﾗﾝﾁﾐｰﾃｨﾝｸﾞ
ON
60分前
なし
OFF

スケジュールの詳細が表示されます。

スケジュールを修正する場合

[i](修正)を押します。

- オープン時内容編集で[スケジュール(月/一覧/詳細)]に[新規/修正]を設定しているときは、スケジュール一覧またはスケジュール詳細画面で、FOMA端末を開くだけでスケジュールを修正できます。(P.354)
- 繰り返しに2050/12/31を超える繰り返し回数を設定した場合、スケジュールを表示したときに繰り返し最後の日が[2050/12/31まで]と表示されます。

スケジュールを削除する

スケジュールは5とおりの方法で削除できます。

1件削除	スケジュールを1件削除します。繰り返しが設定されているスケジュールは繰り返しも含めて削除します。
選択削除	複数のスケジュールを選択して削除します。一度に30件のスケジュールを日をまたいで選択できます。繰り返しが設定されているスケジュールは繰り返しも含めて削除します。
1日削除	1日分のスケジュールをすべて削除します。繰り返しが設定されているスケジュールは削除できません。
前日以前削除	選択した日付より前のスケジュールをすべて削除します。繰り返しが設定されているスケジュールが選択した日付以降にあると削除できません。
全件削除	すべてのスケジュールを削除します。

例：1件ずつ削除する場合

1 メニューで[LifeKit]→[スケジュール]を選び ☰ を押す

すべて削除する場合

機能メニュー［削除］→［全件削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

前日以前をすべて削除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→［前日以前削除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

1日分を削除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［削除］→［1日削除］→［はい］を選択します。

2 日付を選び ☰ を押す

複数選択して削除する場合

機能メニュー［削除］→［選択削除］を選択し、スケジュールを複数選択して ⓘ（完了）を押し、［はい］を選択します。

3 スケジュールを選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

4 ［削除］→［1件削除］→［はい］を選び ☰ を押す

選択したスケジュールが削除されます。

休祝日を設定する

特定の日または曜日を休祝日に設定/解除できます。休祝日に設定すると、日付が赤色で表示されます。

当日設定	特定の日を1日単位で休祝日に設定/解除します。1,000件まで設定/解除できます。
曜日設定	曜日単位で休祝日に設定/解除します。
前日以前解除	選択した日付より前の当日設定をすべて解除します。
全解除	設定されているすべての当日設定/曜日設定を解除します。
休祝日リセット	設定されている休祝日の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

例：特定の日を休祝日に設定/解除する場合

1 メニューで[LifeKit]→[スケジュール]を選び ☰ を押す

曜日単位で設定/解除する場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［曜日設定］を選択し、曜日を選択して ⓘ（完了）を押します。

前日以前を解除する場合

日付にカーソルをあわせ、機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［前日以前解除］→［はい］を選択します。

すべて解除する場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［全解除］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

お買い上げ時の状態に戻す場合

機能メニュー［スケジュール設定］→［休祝日設定］→［休祝日リセット］を選択し、端末暗証番号を入力して［はい］を選択します。

2 日付を選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

3 ［スケジュール設定］→［休祝日設定］を選び ☰ を押す

休祝日設定画面が表示されます。

4 ［当日設定］→［はい］を選び ☰ を押す

選択した日が休祝日に設定/解除されます。

- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律」（平成13年法律第59号）および（平成17年法律第43号）に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。（2007年12月現在）
  祝日が変更・新設された場合は休祝日を設定してください。

次ページにつづく

スケジュールの登録件数を確認する

登録されているスケジュールの件数、登録可能な残りの件数、およびシークレット登録されているスケジュールの件数を確認できます。

1 カレンダーで ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 ［登録件数確認］を選び ☰ を押す

登録件数確認

残りメモリ	279
登録メモリ	21
シークレット登録	5

［残りメモリ］：
登録できるスケジュールの残り件数

［登録メモリ］：
スケジュールの登録件数（シークレット登録件数を含む）

［シークレット登録］：
シークレット登録されている件数（シークレット表示を［ON］に設定しているときのみ表示されます）

よく使う機能を手早く実行する 〈マイセレクト〉

よくお使いになる機能をマイセレクトに登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。
マイセレクトには12個までの機能を登録できます。

- メニューにきせかえメニューやスタンダードメニューが表示されているときは、起動メニュー設定を［マイセレクト］に設定してください。（P.123）

1 待受画面で MENU（MENU）を押し、機能を選び i（項目入替）を押す

登録した機能を削除する場合
待受画面で MENU（MENU）を押し、機能にカーソルをあわせて ch（削除）を押し、［はい］を選択します。

マイセレクトをお買い上げ時の状態に戻す場合
設定をリセットしてください。（P.376）

2 機能を選び i（登録）を押す

入れ替え確認画面が表示されます。

3 ［はい］を選び ☰ を押す

選択した機能が入れ替わります。

相手の声や自分の声を録音する 〈音声メモ〉

音声通話中に相手の声を録音したり、待受中に自分の声を録音したりできます。音声メモは1件あたり約15秒、3件まで録音できます。

- 音声メモが3件録音されている場合、通話中に音声メモを録音すると古い音声メモに上書きされます。待受中に音声メモを録音しようとすると古い音声メモに上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。
- 音声メモを再生/削除する場合は、P.74をご覧ください。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面で メモ を押し、[音声メモ録音]→[はい]を選び ▤ を押す

録音が始まります。録音終了時に音が鳴ります。

録音を途中で停止する場合

▤（停止）を押します。

● 待受中に音声メモを録音しているときに電話がかかってきたり、メールを受信したり、めざまし時計/スケジュールアラームが起動したりすると、録音を中断して保存します。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に メモ を押す

録音が始まります。録音終了時に音が鳴ります。

録音を途中で停止する場合

▤（停止）を押します。

● 通話中に音声メモを録音しているときにFOMA端末を閉じると、通話中クローズ動作設定が[保留]または[通話切断]の場合は、録音を中断して保存します。通話中クローズ動作設定が[ミュート]の場合は、録音を継続します。

通話時間・料金を確認する 〈通話時間表示・通話料金表示〉

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間/料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話料金表示]を選び ▤ を押す

通話料金表示画面が表示されます。

[通話料金表示]：
[音声通話料金]に直前の音声電話、[デジタル通信料金]に直前のテレビ電話、64Kデータ通信の料金が表示されます。かけた場合のみカウントされます。

[通話時間表示]：
[音声通話]に直前の音声電話、[デジタル通信]に直前のテレビ電話、64Kデータ通信の時間が表示されます。かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。

[積算通話料金]：
前回リセット時から現在までの通話料金の累計が表示されます。

[積算時間表示]：
前回リセット時から現在までの通話時間の累計が表示されます。

2 通話情報の項目を選び [menu] を押す

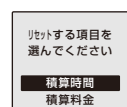
- フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内(104)などに通話した場合、通話料金は「0YEN」または「＊＊＊＊＊＊YEN」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金(2004年12月から積算)が表示されます。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません。(FOMAカードには蓄積されています)
- プッシュトーク通信、ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。
- 前回の音声通話時間やデジタル通信時間が99時間59分59秒を超えた場合や、積算の音声通話時間やデジタル通信時間が9,999時間59分59秒を超えると、「Over」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合は、切り替えるたびにそれぞれ音声通話、デジタル通信の通話時間・通話料金にカウントされます。
- 2in1利用時は、積算時間と積算料金はAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

積算時間と積算料金をリセットする

現在まで累積している通話時間・通話料金の表示をリセットできます。リセットすると、再び0からカウントを開始します。

例：積算時間をリセットする場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話料金表示]→[積算リセット]を選び [menu] を押す

2 [積算時間]を選び [menu] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

積算料金をリセットする場合

[積算料金]を選択し、PIN2コードを入力して[はい]を選択します。

3 端末暗証番号を入力し、[menu] (OK)を押す

リセット確認画面が表示されます。

4 [はい]を選び [menu] を押す

通話時間がリセットされ、リセット日時が更新されます。

積算料金を自動でリセットする

毎月1日の0時に積算料金を自動でリセットできます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話料金表示]→[積算料金自動リセット]を選び [menu] を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力し、[menu] (OK)を押す

積算料金自動リセット画面が表示されます。

3 [ON]/[OFF]を選び [menu] を押す

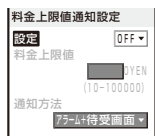
積算料金自動リセットが設定されます。

通話料金の上限を設定して知らせる 〈料金上限値通知設定〉

通話料金の上限値を設定し、積算料金がその上限値を超えたときに、アイコンやアラーム音でお知らせすることができます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話料金表示]→[料金上限値通知設定]を選び [MENU] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、[MENU] (OK)を押す

3 [設定]に料金上限値通知の[ON]/[OFF]を選択する

4 [料金上限値]に通話料金の上限値を入力する

10～100,000YEN(10YENきざみ)の範囲で入力します。

5 [通知方法]にお知らせ方法を選択する

[アラーム+待受画面]:
待受画面にアイコンを表示し、同時にアラーム音でお知らせします。

[待受画面]:
待受画面にアイコンを表示してお知らせします。

6 [i] (完了)を押す

料金上限値通知設定が設定されます。

通話料金が上限値を超えると

2/ 1 9:05 AM
料金上限値超過

通話中または通信中に設定した料金の上限値を超えると、待受画面に「[¥]」(料金上限値超過)の通知情報アイコンが表示されます。
通知方法を[アラーム+待受画面]に設定しているときは、待受画面に戻ったときにアラーム音も鳴ります。

通話料金を確認する場合

待受画面で [MENU] (リンク)を押し、「[¥]」を選択します。

● 通話料金上限値通知アラーム音は、電話着信の音量で鳴ります。[3]以上、[STEP DOWN]、[STEP UP]を設定した場合は、レベル2で音が鳴ります。

上限を知らせるアイコンを消去する

通知情報アイコン「[¥]」を消去します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話料金表示]→[上限値通知アイコン消去]を選び [MENU] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、[MENU] (OK)を押す

料金上限値通知アイコン消去確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び [MENU] を押す

「[¥]」が消えます。

電卓として使う 〈電卓〉

FOMA端末で、9桁までの四則計算（＋、－、×、÷）ができます。

例：64×5を計算する場合

1 メニューで[LifeKit]→[電卓]を選び ☰ を押す

2 数字と演算子を入力して計算する

6 4 ▲ 5 # の順に押します。

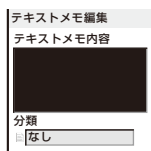
0～9	0 ～ 9
たす（＋）	▶
ひく（－）	◀
かける（×）	▲
わる（÷）	▼
小数点（.）	＊
計算の実行（＝）	# または ☰
数字の取消（C）/ 計算結果の消去（AC）	CLR

- 割り切れない場合や小数点を含む計算が10桁以上になる場合は、10桁目以降を切り捨てて表示します。
- 計算結果が10桁以上になる場合や計算できない数値を入力した場合（0のわり算など）は、「0E」と表示されます。
- 最初に負数がくる場合のみ負数計算ができます。

メモを入力する 〈テキストメモ〉

必要な情報をテキストメモに登録できます。テキストメモは10件まで登録できます。

- ［テキストメモ内容］を入力すると、i（完了）が表示され登録できます。

1 メニューで[LifeKit]→[テキストメモ]を選び ☰ を押し、i（新規）を押す

2 [テキストメモ内容]にメモの内容を入力する

全角256文字、半角512文字以内で入力します。

3 [分類]に分類アイコンを選択する

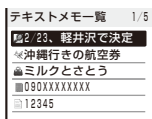
4 i（完了）を押す

メモが登録されます。

- オープン時内容編集で［テキストメモ（一覧/詳細）］に［新規/修正］を設定しているときは、テキストメモ一覧で、FOMA端末を開くだけでテキストメモを入力できます。（P.354）

メモを表示する

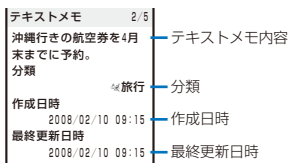
登録したメモの内容を確認できます。

1 メニューで[LifeKit]→[テキストメモ]を選び ▭ を押す

[テキストメモ内容]をコピーする場合

メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[テキストメモコピー]→[はい]を選択します。

メモを削除する場合

メモにカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。メモを複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、メモを複数選択して ▣(完了)を押し、[はい]を選択します。すべてのメモを削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 メモを選び ▭ を押す

メモが表示されます。

メモを修正する場合

▣(修正)を押します。

● オープン時内容編集で[テキストメモ(一覧/詳細)]に[新規/修正]を設定しているときは、メモを表示しているときに、FOMA端末を開くだけでテキストメモを修正できます。(P.354)

各種機能の設定画面を表示する 〈アプリケーション設定〉

各機能の設定画面を直接表示し、各項目を設定できます。設定内容の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

画面表示	設定内容
ライフタイムカレンダー設定	ライフタイムカレンダーに表示するデータ、想い出を自動表示するかどうかなどを設定します。(P.357)
メール設定	iモードメール、SMS、エリアメールに関する機能を設定します。(P.225、233、236など)
iモード設定	iモードに関する機能を設定します。(P.112、197など)
iアプリ設定	ソフトの自動起動、ダウンロード時のソフト情報表示などを設定します。(P.112、239、246)
電話帳設定	電話帳の表示形式、文字サイズなどを設定します。(P.102)
履歴設定	リダイヤルや着信履歴の表示/非表示などを設定します。(P.141)
プッシュトーク設定	プッシュトークの発着信動作などを設定します。(P.89)
伝言メモ設定	伝言メモのON/OFF、伝言メモの応答時間、テレビ伝言メモの応答/録画画像などを設定します。(P.73)
トルカ設定	トルカを取得するときの動作などを設定します。(P.259)
ICカード通知設定	FeliCa通信可能な範囲に入ったことをお知らせする動作を設定します。(P.261)
スケジュール設定	休祝日、スケジュールアラームの動作などを設定します。(P.365、367)
文字入力設定	文字入力に関する機能を設定します。(P.384、386など)

次ページにつづく

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]を選び を押す

ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ設定
ﾗｲﾌﾀｲﾑｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
メール設定
iモード設定
iアプリ設定
電話帳設定
履歴設定
ﾌﾟｯｼｭﾄｰｸ設定
伝言メモ設定
トルカ設定
ICカード通知設定
スケジュール設定
文字入力設定

2 機能を選び を押す

各機能の設定画面が表示されます。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた 〈スイッチ付イヤホンマイク〉

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続すると、スイッチを押すだけで音声電話、テレビ電話、プッシュトークに応答したり、音声電話をかけたりできます。また、イヤホンマイクの動作も設定できます。

- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下することがあります。
- イヤホンマイクのコードをアンテナ部に近づけると、ノイズが入ることがあります。

スイッチを使って電話をかける

あらかじめ発信メモリ番号(P.375)に登録した電話帳のメモリ番号に登録されている1件目の電話番号に、イヤホンマイクのスイッチで音声電話をかけることができます。

- パーソナルデータロック設定中は、電話をかけることができません。

1 イヤホンマイクを接続する

- イヤホンマイク端子のカバーを開け、イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受画面でイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」という音が鳴り相手を呼び出します。相手が電話に出たらお話しください。

3 通話が終わったらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピー」という音が鳴り電話が切れます。

- シークレット登録した電話帳のメモリ番号を発信メモリ番号に設定した場合は、シークレット表示を[ON]に設定しないと、スイッチを押して電話をかけることができません。
- FOMA端末を閉じてミュージックプレーヤーを利用している場合は、スイッチを押しても電話をかけることができません。

スイッチを使って電話を受ける

1 着信したらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」という音が鳴り電話がつながります。

2 通話が終わったらイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピー」という音が鳴り電話が切れます。

● イヤホンマイクのスイッチを使ってテレビ電話を受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
● プッシュトーク通信中は、イヤホンマイクのスイッチで通信を終了できません。[終話キー]を押してください。

イヤホンマイクの動作を設定する

イヤホンマイクのスイッチで音声電話を発信するかどうかを設定します。また、スイッチを押して音声電話をかける電話帳のメモリ番号も設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[イヤホン設定]→[イヤホンスイッチ発信設定]を選び [メニューキー] を押す

2 [設定]にイヤホンマイクのスイッチの[音声発信]/[OFF]を選択する

[音声発信]：
イヤホンマイクのスイッチで音声電話を発信します。

[OFF]：
イヤホンマイクのスイッチを使用しません。

3 [発信メモリ番号]に音声電話発信時に使用する電話帳のメモリ番号を入力する

000～999の範囲で入力します。

4 [i]（完了）を押す

イヤホンスイッチ発信設定が設定されます。

● 発信メモリ番号として設定した番号の電話帳データが削除された場合、発信メモリ番号の設定がお買い上げ時の999番に戻ります。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける 〈オート着信設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に着信するように設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[イヤホン設定]→[オート着信設定]を選び [メニューキー] を押す

2 [設定]にオート着信設定の[ON]/[OFF]を選択する

3 [応答時間]に自動で着信するまでの時間を入力する

000～120秒の範囲で入力します。

4 [i]（完了）を押す

オート着信設定が設定されます。

● テレビ電話を受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
● 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の応答時間を伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスの応答時間、呼び出し時間よりも短く設定してください。

使用するマイクを設定する
〈イヤホンマイク設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを接続しているときに、通話中に使用するマイクを設定できます。

1 メニューで[設定]→[発着信通話]→[イヤホン設定]→[イヤホンマイク設定]を選び を押す

[本体マイク有効]：
FOMA端末の送話口(マイク)を使用します。

[イヤホンマイク有効]：
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)のマイクを使用します。

2 使用するマイクを選び を押す

イヤホンマイク設定が設定されます。

ジョグを設定する 〈ジョグ設定〉

ジョグによる操作を有効にするかどうかや、スクロール量、待受画面でのジョグ回転時に起動する機能を設定できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[ジョグ設定]を選び を押す

2 [回転操作]にジョグ操作を行うかの[ON]/[OFF]を選択する

3 [メール内容表示]にメール表示時のスクロール量の[大]/[中]/[小]を選択する

4 [ｉモード]にサイト表示時のスクロール量の[大]/[中]/[小]を選択する

5 [フルブラウザ]にフルブラウザ表示時のスクロール量の[大]/[中]/[小]を選択する

6 [上回転起動機能]に待受画面でジョグを上に回したときに起動する機能を選択する

7 [下回転起動機能]に待受画面でジョグを下に回したときに起動する機能を選択する

各種機能の設定を初期状態に戻す
〈設定リセット〉

各機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。設定リセットでリセットされる機能とお買い上げ時の設定については、リセット一覧(P.378)およびメニュー一覧(P.420)をご覧ください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[リセット]→[設定リセット]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で 5 を1秒以上押してもリセット画面が表示されます。[設定リセット]を選び を押してください。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び を押す

設定がリセットされます。

登録データを一括して削除する 〈データ一括削除〉

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。データ一括削除でリセットされる機能については、リセット一覧(P.378)およびメニュー一覧(P.420)をご覧ください。

- 次のデータは削除されません。
  - データBOXのマイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、マイドキュメント、一部のきせかえツール、キャラ電にお買い上げ時に登録されているデータ(マイピクチャの[スーパーモンキーボール]はフォルダごと削除されます)
  - お買い上げ時に登録されているデコメールテンプレート
  - おサイフケータイ対応ｉアプリ
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフトの「デコ絵つくーる」、「スーパーモンキーボールモバイル for SO」、「地図アプリ」、「Gガイド番組表リモコン」、「ｉアプリバンキング」、「楽オク出品アプリ2」は削除されます。
- お買い上げ時にデコメ絵文字、ミュージック、マイドキュメント、キャラ電に登録されているデータを削除していても、データ一括削除を行うと元に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されませんが、フォルダ名はお買い上げ時の名前に戻ります。
- 2in1利用時にデータ一括削除を行うと、2in1がOFFになります。
- 2in1がONのときは、2in1のモードにかかわらずすべてのデータが削除されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[リセット]→[データ一括削除]を選び [メニュー] を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で [5] を1秒以上押してもリセット画面が表示されます。[データ一括削除]を選び [メニュー] を押してください。

2 端末暗証番号を入力し、[メニュー](OK)を押す

データ一括削除確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び [メニュー] を押す

再起動実行確認画面が表示されます。

4 [はい]を選び [メニュー] を押す

FOMA端末が初期化されて再起動します。

リセット一覧

各機能の機能メニューなどから設定した内容で、設定リセットやデータ一括削除でリセットされる項目は次のとおりです。メニュー画面から操作できる機能については、メニュー一覧(P.420)をご覧ください。

○:お買い上げ時の設定に戻る項目　　●:削除される項目

メニュー			お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
スタンダードメニュー		メニューガイド表示	OFF	○	○	P.33
電話帳		グループ設定	–		○	P.100
プッシュトーク電話帳		グループ設定	–		○	P.85
データBOX		ソート	日付順(新→旧)		○	P.321
	マイピクチャ	データセキュリティ設定	–		○	P.142
		SD保存時ミニフォト複製	複製しない	○	○	P.319
		一覧表示切替	6画面	○	○	P.322
		表示画質	ノーマル	○	○	P.290
		音楽付スライドショー	繰返し:なし、エフェクト:Sweet、BGM:What Can U Do (Mashup Style)※、表示画質切替:ノーマル、音量調節:25	○	○	P.291
	iモーション	データセキュリティ設定	–		○	P.142
		一覧表示切替	6画面	○	○	P.322
		表示画質	ノーマル	○	○	P.296
		音量調節	25	○	○	P.296
	メロディ	音量調節	4	○	○	P.305
	Music&Videoチャネル	一覧表示切替	6画面	○	○	P.322
	きせかえツール	一覧表示切替	6画面	○	○	P.322
		表示画質	ノーマル	○	○	P.290
microSD(データBOXの設定と共通)						–
Music&Videoチャネル		音量調節	16	○	○	P.340
		リピート	OFF	○	○	P.340
		予約情報	–		●	P.338
ミュージックプレーヤー		一覧表示切替	ジャケット表示	○	○	P.347
		音量調節	16	○	○	P.346
		ミュージック設定	再生モード:Normal、リピート・AVLS:OFF	○	○	P.349
		利用履歴	–		●	P.345
カメラ		サイズ選択	静止画(アウトカメラ):待受(480×864)、静止画(インカメラ):VGA(640×480)、動画:QCIF(176×144)	○	○	P.159
		顔検出	ON	○	○	P.162
		位置情報自動付加設定	保存時自動付加:OFF、位置情報付加方法:起動時測位付加	○	○	P.171
		オートフォーカス設定	通常			P.173
		マルチフォーカス設定	マルチAF	○	○	P.172
		フラッシュ	発光禁止	○	○	P.174

※お買い上げ時に設定されている[What Can U Do (Mashup Style)]を削除した場合、設定リセットやデータ一括削除を行うと[サイレント]になります。

メニュー			お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
カメラ		保存先選択	静止画：データBOXのマイピクチャの[カメラ]フォルダ、動画：データBOXのｉモーションの[カメラ]フォルダ	○	○	P.177
		自動保存	OFF	○	○	P.178
		SD保存時ミニフォト複製	複製しない	○	○	P.178
		撮影画質	スタンダード	○	○	P.178
		デジタルズーム	OFF	○	○	P.179
		手ブレ補正	AUTO	○	○	P.180
		本体縦横自動判別	ON	○	○	P.179
		シャッター音	シャッター音1	○	○	P.180
		ファイルサイズ制限	メール添付(大)	○	○	P.181
		撮影種別	映像＋音声	○	○	P.182
	デコフォト	サイズ選択	QVGA(240×320)			P.164
		フラッシュ	発光禁止			P.164
		デコフォト音選択	笑って♪(英語)	○	○	P.164
		美白モード	OFF	○	○	P.164
メール		メールセキュリティ設定	−		○	P.142
めざまし時計		アラーム	設定：OFF、時刻：00:00、繰返し：OFF、アラーム音：アラーム音(標準)、アラーム音量：4、アラーム画像：めざましアラーム鳴動中、バイブレータ：OFF、ランプ色：C5:ランプ色5、スヌーズ：OFF	○	○	P.360
ソフトウェア更新		予約更新の時刻	−		●	P.460
公共モード(ドライブモード)			OFF	○	○	P.69
文字入力		学習情報	−		●	P.389
		クリップボード	−		●	P.387
ｉアプリ		一覧表示切替	アイコン表示大	○	○	P.249

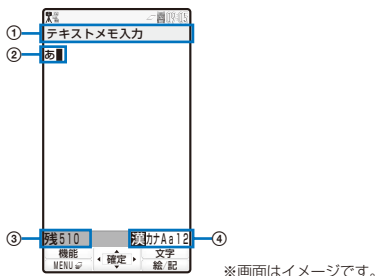
文字入力

「区点コード一覧」は、付属のCD-ROM内の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

文字入力の概要を説明します。

- 入力できる漢字はJIS第一水準、第二水準などあわせて6,355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略しています。

■文字入力画面の見かた

※画面はイメージです。

①文字入力中の機能名が表示されます。
②入力した文字が表示されます。
③入力可能な文字のバイト数が表示されます。半角文字は1バイト、全角文字は2バイトになります。SMS本文の場合は文字数が表示されます。メール作成中は、入力可能な文字数を超えると「－(マイナス)」が表示されます。また、「約」が表示されることがあります。
④文字モード/絵文字・記号モードが表示されます。

- 編集する項目によって入力できる文字モード/絵文字・記号モードは異なります。

文字モード	
半　角	全　角
[漢]：漢字・ひらがな※	[漢]：漢字・ひらがな
[ｶﾅ]：半角カタカナ	[カ]：全角カタカナ
[Aa]：半角英字	[A]：全角英字
[12]：半角数字	[1]：全角数字

※「漢字・ひらがなモード」は、半角に設定している場合でも全角になります。

絵文字・記号モード			
ランキング	絵文字	絵文字D※	記号

※ 絵文字Dは、メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面でのみ入力できるデコメ絵文字です。

■文字モード/絵文字・記号モードを切り替える

文字モード「半角」の場合

(文字)を押すたびに[漢]→[ｶﾅ]→[Aa]→[12]の順に切り替わります。

文字モード「全角」の場合

(文字)を押すたびに[漢]→[カ]→[A]→[1]の順に切り替わります。

絵文字・記号モードの場合

(絵/記)を押すたびに[ランキング]→[絵文字]→[絵文字D]→[記号]の順に切り替わります。

■全角/半角を切り替える

機能メニュー[全角/半角切替]を選択します。

■同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する

最初の文字を入力したあとで ▶ を押すか、少し待つとカーソルが移動します。

■文字を削除する

削除する文字にカーソルをあわせ、CLR を押します。

- CLR を短く押すと、カーソル位置の文字が削除されます。カーソルが文末にあるときは、最後の文字が削除されます。
- CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソルが文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■文字を挿入する

挿入する場所にカーソルをあわせ、入力します。カーソル以降の文字は、挿入した文字の後ろに移動します。

■文節の区切りを変更する

目的の漢字に変換できないときは、変換の範囲を変更します。◀ ▶ でカーソルを動かすと、カーソル位置に応じて表示される語句候補リスト/変換候補が変わります。

■元に戻す

操作を間違えたときは、機能メニュー［元に戻す］を選択すると、最後の操作を無効にして1つ前の状態に復旧できます。

- ［元に戻す］でやり直せるのは、次の操作です。
  - 入力文字の確定（▤）
  - ［元に戻す］
  - 定型文入力
  - 絵文字/記号入力
  - 区点コード入力（P.388）
  - 切取、貼付（P.387）
  - 文字の削除（CLR）
  - 電話帳やマイデータなどの引用（P.387）

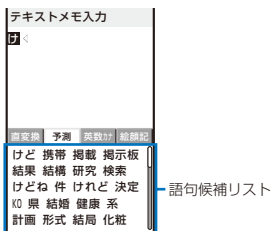
文字を入力する

予測変換方式で入力する

例：「健闘」と入力する場合

1 文字入力画面で文字モードを確認する

「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

2 ［2］を4回押す

最初の文字「け」が入力され、予測される語句候補がリスト表示されます。

前の文字に戻る場合

ボタンを押し過ぎて目的の文字を行き過ぎてしまったときは、［#］を押します。1回押すごとに1つ前の文字に戻ります。

3 ［0］を3回、［4］を5回押す

「んと」が入力され、予測される語句候補がリスト表示されます。

一時的に通常変換する場合

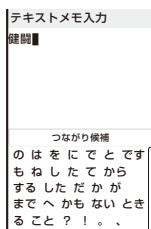
［ch］（通常変換）を押すと、通常変換による変換候補が表示されます。

語句候補リストを切り替える場合

［i］（タブ ＞）を押します。［i］（タブ ＞）を押すたびに、英数カナ→絵顔記→直変換→予測の順に語句候補リストが切り替わります。

4 ［▼］を押す

語句候補リストにカーソルが移動します。

5 ［▲］［▼］［◀］［▶］で［健闘］を選び ▤ を押す

「健闘」が入力されます。語句候補リストには、「健闘」の続きとして予測される語句が表示されます。

6 ［CLR］を押す

語句候補リストが閉じ、「健闘」が確定します。

- 語句候補リストから選択した語句は、次から語句候補リストに優先的に表示されます。
- 一度に多くの文字を入力すると、語句候補リストに候補が表示されず、「⬍変換」が表示されます。［▼］を押すと、通常変換の候補が表示されます。語句を選択すると、次から語句候補リストに表示されます。

次ページにつづく

通常変換方式で入力する

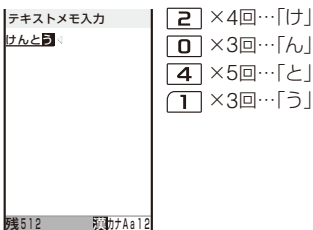
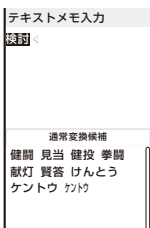
例：「健闘」と入力する場合

1 変換方法を[通常変換]に切り替える

- 変換方法を切り替える(P.384)と同じ操作を行ってください。

2 文字入力画面で文字モードを確認する

「漢字・ひらがなモード」になっているのを確認します。

3 文字を入力する

4 ▼ を押す

「けんとう」から変換される語句候補がリスト表示されます。

確定する場合

(選択)を押します。

5 ▼ を押す

語句候補リストにカーソルが移動します。

6 [健闘]を選び を押す

「健闘」が確定します。

変換を中止する場合

(中止)を押します。

変換方法を切り替える

文字モードが「漢字・ひらがなモード」のときの変換方法を、予測変換と通常変換から選択します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[予測変換切替]を選び を押す

[予測変換]：

文字を入力すると、その文字から予測される語句が、語句候補リストに表示されます。FOMA端末が「先読み」してくれる変換方法です。

[通常変換]：

語句のよみをすべて入力してから変換します。

2 変換方法を選び を押す

選択した変換方法が設定されます。

- 文字入力画面で変換方法を切り替える場合は、機能メニュー[文字入力設定]→[予測変換切替]を選択します。

語句候補リストのカーソルの移動方法を設定する

語句候補リストでのカーソルの移動方法を選択します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[候補内キー操作]を選び [MENU] を押す

[上下左右/ 左右]：
▲▼◀▶で上下左右にカーソルが移動します。ジョグを上下に回すとカーソルが左右に移動します。

[上下左右/ 上下]：
▲▼◀▶で上下左右にカーソルが移動します。ジョグを上下に回すとカーソルが上下に移動します。

[左右/ 左右]：
▲▼で左右にカーソルが移動します。ジョグを上下に回すとカーソルが左右に移動します。

[左右/ 上下]：
▲▼で左右にカーソルが移動します。ジョグを上下に回すとカーソルが上下に移動します。

2 カーソルの移動方法を選び [MENU] を押す

候補内キー操作が設定されます。

カーソルの自動移動を設定する

文字入力後、カーソルが自動的に移動するまでの時間を設定します。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[カーソル自動移動]を選び [MENU] を押す

2 カーソルが自動的に移動するまでの時間を選び [MENU] を押す

[1〜5]から選択します。

カーソルを自動的に移動させない場合

[OFF]を選択します。

定型文を入力する

定型文についてはP.434をご覧ください。

- 編集する項目によって入力できる定型文は異なります。入力できないカテゴリは、選択できません。

1 文字入力画面で [✉](機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [定型文入力]→カテゴリ→定型文を選び [MENU] を押す

選択した定型文が入力されます。

定型文を確認する場合

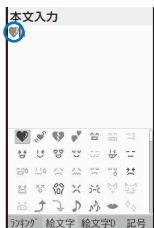
定型文にカーソルをあわせ、[i](確認)を押します。

絵文字・記号を入力する

入力した絵文字・記号は入力回数順に絵/記ランキングに表示され、文字入力時に選択できます。
絵文字と記号についてはP.431、432をご覧ください。

1 文字入力画面で ch (絵/記)を押す

ch (絵/記)を押すたびに絵文字・記号モードが[ランキング]→[絵文字]→[絵文字D]→[記号]の順に切り替わります。

2 ch (絵/記)を押し、絵文字を選び ▤ を押す

画面の上部に、選択した絵文字が表示されます。次の絵文字を選択するときは、目的の絵文字にカーソルをあわせ、▤ を押します。

すべての絵文字の選択を解除する場合

CLR を1秒以上押します。

3 ✉ (閉じる)を押す

選択した絵文字がまとめて入力されます。

- メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面では、選択した絵文字はその都度入力されます。✉(閉じる)を押すと、絵文字・記号モードを終了します。
- 絵文字Dは、メール本文入力画面、テンプレート編集画面、署名編集画面でのみ入力できます。絵文字Dを入力すると、デコメールになります。(P.208)

定型文を修正/登録する

〈定型文編集〉

お買い上げ時に登録されている定型文を、用途にあわせて修正したり、新規に登録したりすることができます。定型文についてはP.434をご覧ください。

例:「インターネット」に登録されている「.co.jp」を修正する場合

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[定型文編集]を選び ▤ を押す

定型文編集画面が表示されます。

2 [インターネット]→[.co.jp]を選び ▤ を押す

定型文をお買い上げ時の状態に戻す場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[リセット]→[1件リセット]→[はい]を選択します。カテゴリ内の定型文をすべて元に戻す場合は、機能メニュー[リセット]→[カテゴリ内リセット]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。すべての定型文を元に戻す場合は、定型文編集画面で i (全件リセット)を押し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

定型文を削除する場合

定型文にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。

3 i (修正)を押し、修正する

全角64文字、半角128文字以内で入力します。
定型文が修正されます。

文字入力

電話帳などを引用して入力する

メールの本文やサイトなどの文字入力画面で、電話帳や電話番号表示(マイデータ)の登録内容、バーコードリーダーで読み取った文字を引用して入力できます。

例：電話帳から引用する場合

1 文字入力画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [電話帳引用]を選び ▤ を押す

電話帳が表示されます。

電話番号表示を引用する場合

[マイデータ引用]を選択します。

バーコードリーダーを利用して文字を引用する場合

[バーコードリーダー]を選択します。

3 名前→引用する内容を選び ▤ を押す

選択した内容が文字入力画面に入力されます。

● 選択した項目の文字数が、入力できる文字数を超える場合、超えた文字は削除されます。

文字の切取・コピーと貼付

入力済みの文字を切取ったり、コピーしたりして、別の入力画面に貼付けることができます。
切取/コピーした文字は、クリップボードに保存されます。貼付を行うと、このクリップボードの文字が貼付けられます。
クリップボードの内容は、何回でも貼付けることができます。

- クリップボードとは、切取/コピーした文字を保存するメモリ領域のことです。保存できるのは1件のみで、新しく切取/コピーすると上書きされます。
- クリップボードの文字は、電源を切ると削除されます。
- 貼付を行う際、貼付先の画面に入力できない文字は、半角スペースに置き換えられます。また、入力できる文字数を超える場合は、超えた文字は削除されます。
- 絵文字Dやデコメールの本文中に挿入された画像の切取/コピー、貼付はできません。

■切取機能

選択した文字を切取って、クリップボードに保存します。(選択した文字は、元の画面から削除されます)

機能メニュー	内　容
切取	選択した文字を切取ります。

■コピー機能

選択した文字をコピーして、クリップボードに保存します。(選択した文字は、元の画面から削除されません)

機能メニュー	内　容
コピー	選択した文字をコピーします。
電話番号コピー	電話番号をコピーします。
項目コピー	電話番号やメールアドレスなどを項目単位でコピーします。
テキストメモコピー	テキストメモの内容をコピーします。

■貼付機能

クリップボードの文字を貼付けます。

機能メニュー	内　容
貼付	コピー/切取した内容を貼付けます。

文字をコピー/切取する

1 文字入力画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [コピー]を選び ▤ を押す

切取する場合

[切取]を選択します。

3 コピーの始点を選び ▤ を押す

コピーする最初の文字が確定します。

すべての文字を選択する場合

ⓘ（全選択）を押します。

4 コピーの終点を選び ▤ を押す

コピーする範囲が確定し、クリップボードに保存されます。

文字を貼付する

1 文字入力画面で貼付ける位置を選び ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [貼付]を選び ▤ を押す

コピー/切取した内容が貼付けられます。

区点コードで入力する

〈区点コード入力〉

区点コード一覧表にある文字・数字・記号を4桁の区点コードを使って入力できます。

- 区点コードについては、付属のCD-ROM内の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。

1 文字入力画面で ✉（機能）を押す

機能メニューが表示されます。

2 [区点コード入力]を選び ▤ を押す

3 区点コードを入力する

入力した区点コードに対応する文字が入力されます。

よく使う語句を登録する

〈単語登録〉

よく使う語句をあらかじめ「予測辞書」または「通常辞書」に登録できます。登録した語句は、文字変換のときに語句候補リスト/変換候補に優先的に表示されます。

予測辞書	予測変換のときに語句候補リストに優先的に表示する語句を登録します。300件まで登録できます。
通常辞書	通常変換のときに変換候補に優先的に表示する語句を登録します。200件まで登録できます。

- 通常辞書に登録した語句は、自動的に予測辞書にも登録されます。逆の場合は登録されません。
- 登録した語句を削除する場合は、それぞれの辞書から削除してください。

例：予測辞書に登録する場合

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[予測辞書編集]を選び ▤ を押す

予測辞書画面が表示されます。

通常辞書に登録する場合

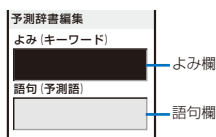
[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[通常辞書編集]を選択します。

語句を削除する場合

語句にカーソルをあわせ、機能メニュー[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[選択削除]を選択し、語句を複数選択して ⓘ（完了）を押し、[はい]を選択します。すべての語句を削除する場合は、機能メニュー[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

語句を編集する場合

語句にカーソルをあわせ、▤ を押します。

2 ⓘ（新規）を押す

3 よみ欄によみを入力する
ひらがなで16文字以内で入力します。

4 語句欄に語句を入力する
全角16文字、半角32文字以内で入力します。

5 [i]（完了）を押す
入力した語句が予測辞書に登録されます。

学習情報を初期状態に戻す
〈学習情報リセット〉

FOMA端末の辞書には学習機能があります。学習機能とは、語句の使用頻度などを記憶しておき、よく使う語句を語句候補リスト/変換候補に優先表示する機能のことです。
学習情報をリセットすると、この優先順位がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[学習情報リセット]を選び [■] を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、[■]（OK）を押す
リセット確認画面が表示されます。

3 [はい]を選び [■] を押す
学習情報がリセットされます。

ダウンロードした辞書を使用する
〈ダウンロード辞書〉

ｉモードから辞書を20件までダウンロードして使用できます。ダウンロードした辞書を有効にすると、その辞書に登録されている語句が語句候補リストに表示されます。

1 メニューで[設定]→[アプリケーション設定]→[文字入力設定]→[辞書フォルダ]を選び [■] を押す

詳細情報を表示する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書情報表示]を選択します。

名前を変更する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[辞書名編集]を選択します。全角8文字、半角17文字以内で入力します。

辞書を削除する場合
辞書にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。複数選択して削除する場合は、機能メニュー[削除]→[選択削除]を選択し、辞書を複数選択して [i]（完了）を押し、[はい]を選択します。すべての辞書を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

2 辞書を選び [■]（設定）を押す
有効/無効設定画面が表示されます。

3 [有効]/[無効]を選び [■] を押す
[有効]に設定すると、辞書が有効になり、「■」（グレー）が「■」（緑）に変わります。

- 有効にした辞書が多い場合、すべての語句が語句候補リストに表示されないことがあります。
- 辞書は「PlayNow by SO」からダウンロードできます。
[ｉMenu]→[メニュー/検索]→[ケータイ電話メーカー]→[PlayNow by SO]

文字入力

ダウンロードした辞書を並べ替える

ダウンロードした辞書が複数ある場合は、辞書の並び順を替えて、よく使う辞書の語句を優先的に表示できます。

1 辞書フォルダ画面で ✉ (機能)を押す

機能メニューが表示されます。

2 [並べ替え]を選び ☰ を押す

3 辞書を選び ☰ を押す

並べ替え画面が表示されます。

4 移動先を選び ☰ (移動先)を押す

5 i (完了)を押す

検索の優先順位が設定されます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名	お申し込み	月額利用料	参　照
留守番電話サービス	要	有料	P.392
キャッチホン	要	有料	P.393
転送でんわサービス	要	無料	P.393
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.394
発信者番号通知	不要	無料	P.45
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.395
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.395

サービス名	お申し込み	月額利用料	参　照
英語ガイダンス	不要	無料	P.395
マルチナンバー	要	有料	P.397
2in1	要	有料	P.398
OFFICEED	要	有料	P.402
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	P.69
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.70
メロディコール	要	有料	P.115

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの「サービスの停止」とは、サービスの契約そのものを解約するものではありません。
- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話にでられないときなどに、音声電話/テレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(P.72)を同時に設定する場合、留守番電話サービスを優先させるには、留守番電話サービスの呼び出し時間を伝言メモの応答時間よりも短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に「不在着信」として記録され、待受画面に「 」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- 留守番電話サービスは、転送でんわサービスを「開始」に設定した場合、自動的に停止状態になります。

■留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1　サービスを開始に設定する
ステップ2　電話をかけてきた方が伝言を録音/録画する
ステップ3　伝言メッセージを再生する

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[留守番電話]を選び を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
留守番サービス開始※	**[留守番サービス開始]→[開始]/[呼出時間＋開始](→呼び出し時間を入力)→[はい]を選択** • [呼出時間＋開始]を選択した場合、呼び出し時間(000〜120秒)を設定して開始できます。 • [呼出時間＋開始]を選択した場合はAナンバーで開始されます。 • 2in1のモードがBモードの場合、開始方法は選択できません。
留守番呼出時間設定	**[留守番呼出時間設定]を選択→呼び出し時間(000〜120秒)を入力→ (完了)**
留守番サービス停止※	**[留守番サービス停止]→[はい]を選択**
留守番設定確認	**[留守番設定確認]を選択** • 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。
留守番メッセージ再生※	**[留守番メッセージ再生]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作** • 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。 • 待受画面で (リンク)を押し、「 」を選択してもメッセージを再生できます。
留守番サービス設定※	**[留守番サービス設定]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作**
メッセージ問合せ	**[メッセージ問合せ]を選択** • 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面に「 」(留守番メッセージ)の通知情報アイコンが表示されます。
件数増加鳴動設定(お買い上げ時：ON)	新しい伝言メッセージをお預かりしたときに、メール着信完了音を鳴らしてお知らせするかどうかを設定します。 **[件数増加鳴動設定]→[ON]/[OFF]を選択**
留守番アイコン消去	**[留守番アイコン消去]→[はい]を選択**
着信通知　着信通知開始	電源OFF時や圏外時の着信をSMSでお知らせします。 **[着信通知]→[着信通知開始]→[全着信]/[発番号あり]→[はい]を選択** • 電話帳に登録していても、相手の発信者番号が通知され、電話帳に登録した名前は表示されません。
着信通知　着信通知停止	**[着信通知]→[着信通知停止]→[はい]を選択**
着信通知　着信通知設定確認	**[着信通知]→[着信通知設定確認]を選択**

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

テレビ電話のサービスについて

- テレビ電話の伝言メッセージをお預かりした場合、SMSでお知らせします。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更する場合は、待受画面で 1 4 1 2 [発信] を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。
- AV32Kテレビ電話による留守番電話接続はできません。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューから[DTMF送出モード]に切り替えてください。(P.75)

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- 音声電話中にテレビ電話がかかってきた場合は、音声電話を終了してテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中は、音声電話/テレビ電話を受けられません。着信履歴には記録されます。
- キャッチホンを利用するときは、あらかじめ通話中着信動作選択(P.396)を[通常着信]に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答できません。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[キャッチホン]を選び [メニュー] を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
キャッチホンサービス開始	**[キャッチホンサービス開始]→[はい]を選択**
キャッチホンサービス停止	**[キャッチホンサービス停止]→[はい]を選択**
キャッチホンサービス設定確認	**[キャッチホンサービス設定確認]を選択**

- 現在の通話を保留にして、かかってきた電話に出る場合は、[メニュー](通話)を押します。保留中の相手がいる場合、「マルチ接続中」と表示されます。[メニュー](呼切替)を押すたびに通話中の相手を切り替えることができます。保留中の通話を終了する場合は、機能メニュー[保留呼切断]を選択します。
- 現在の通話を終了して、かかってきた電話に出る場合は、[終話] を押し、[発信] を押します。

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話/テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ(P.72)を同時に設定する場合、転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼び出し時間を伝言メモの応答時間よりも短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に「不在着信」として記録され、待受画面に「[アイコン]」(着信あり)の通知情報アイコンが表示されます。
- テレビ電話がかかってきた場合、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機でないと切断されます。

■転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1	転送先の電話番号を登録する
ステップ2	転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3	お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4	電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[転送でんわ]を選び [メニュー] を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
転送サービス開始※	**[転送サービス開始]→[開始]/[設定＋開始](→転送先電話番号、呼び出し時間を入力)→[はい]を選択** • [設定＋開始]を選択した場合、転送先電話番号(26桁以内)と呼び出し時間(000～120秒)を設定して開始できます。 • 2in1のモードがBモードの場合、開始方法は選択できません。
転送サービス停止※	**[転送サービス停止]→[はい]を選択**
転送先変更	**[転送先変更]→転送先電話番号(26桁以内)を入力→[設定]/[設定＋開始]を選択** • 2in1のモードがBモードの場合、[転送先変更]→転送先電話番号(26桁以内)を入力→[はい]を選択します。
転送先通話中時設定	転送先が通話中の場合に、留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。 **[転送先通話中時設定]→[接続しない]/[接続する]を選択**
転送サービス設定確認	**[転送サービス設定確認]を選択** • 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

● 転送でんわガイダンスの有無を設定する場合は、待受画面で 1 4 2 9 ✆ を押し、音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否できます。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。
- 登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否の映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[迷惑電話ストップ]を選び ☰ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
迷惑電話拒否登録	最後に応答した電話番号を登録します。 **[迷惑電話拒否登録]→[はい]を選択**
番号指定拒否登録	**[番号指定拒否登録]→電話番号(22桁以内)を入力→[はい]を選択**
拒否登録全削除	**[拒否登録全削除]→[はい]を選択**
拒否登録1件削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除できます。 **[拒否登録1件削除]→[はい]を選択**
拒否登録件数確認	**[拒否登録件数確認]を選択**

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話/テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 電話番号を通知していない電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。
- 非通知のテレビ電話がかかってきた場合、番号通知お願いの映像ガイダンスが流れたあと、切断されます。
- 非通知のプッシュトークを着信した場合、番号通知お願いのガイダンスは流れず、切断されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
番号通知お願い開始	**[番号通知お願い開始]→[はい]を選択**
番号通知お願い停止	**[番号通知お願い停止]→[はい]を選択**
番号通知お願い確認	**[番号通知お願い確認]を選択**

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末は、同時に利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[デュアルネットワーク]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
デュアルネットワーク切替	FOMA端末が利用できるように、デュアルネットワークサービスを切り替えます。 **[デュアルネットワーク切替]を選択→ネットワーク暗証番号を入力→[はい]を選択**
デュアルネットワーク状態確認	**[デュアルネットワーク状態確認]を選択**

英語ガイダンスを利用する

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや圏外などの音声ガイダンスを、英語に設定できます。
発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の設定より優先されます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定]を選び ▤ を押す

2 ガイダンスの対象を選び ▤ を押す

[発信+着信]:
発信時に自分が聞くガイダンスと着信時に相手が聞くガイダンスの両方を設定します。

[発信]:
発信時に自分が聞くガイダンスを設定します。

[着信]:
着信時に相手が聞くガイダンスを設定します。

3 発信時のガイダンスの言語を選び ▤ を押す

次ページにつづく

4 着信時のガイダンスの言語を選び ☰ を押す

[日本語]:
日本語でガイダンスします。

[日本語+英語]:
日本語→英語の順でガイダンスします。

[英語+日本語]:
英語→日本語の順でガイダンスします。

設定内容を確認する場合
メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[英語ガイダンス]→[ガイダンス設定確認]を選択します。

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[サービスダイヤル]を選び ☰ を押す

サービスダイヤル画面が表示されます。

[ドコモ故障問合せ]:
ドコモの故障お問い合わせ先に電話をかけます。

[ドコモ総合案内・受付]:
DoCoMoインフォメーションセンターに電話をかけます。

2 問い合わせ先→[はい]を選び ☰ を押す

お問い合わせ先に電話がかかります。

● 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選ぶ 〈通話中着信動作選択〉

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話/テレビ電話にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話中着信動作選択]を選び ☰ を押す

[通常着信]:
電話を受けたり、留守番電話サービスセンターや登録した転送先に手動で転送したりできます。

[留守番電話]:
留守番電話サービスに接続します。

[転送でんわ]:
登録した転送先に転送します。

[着信拒否]:
着信を拒否します。

2 着信動作を選び ☰ を押す

通話中の着信動作が設定されます。

通話中着信設定を開始/停止する

通話中着信動作選択で選択した対応を開始/停止します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[通話中着信設定]を選び ☰ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
通話中着信設定開始	[通話中着信設定開始]→[はい]を選択
通話中着信設定停止	[通話中着信設定停止]→[はい]を選択
通話中着信設定確認	[通話中着信設定確認]を選択

遠隔操作を設定する

〈遠隔操作設定〉

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるように設定します。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[遠隔操作設定]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
遠隔操作開始	[遠隔操作開始]→[はい]を選択
遠隔操作停止	[遠隔操作停止]→[はい]を選択
遠隔操作設定確認	[遠隔操作設定確認]を選択

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- 2in1と同時に利用することはできません。

電話番号の詳細を設定する

- 「基本契約番号」の電話番号は変更できません。着信音/着信画像は、着信設定などで設定できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[マルチナンバー]→[電話番号設定]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

項　目	説　明
マルチナンバー発信	マルチナンバー発信の[ON]/[OFF]を選択します。 [ON]：発信時に使用する電話番号をオプション発信画面で選択できます。 [OFF]：発信時に電話番号を選択できません。
NAME	名前を全角10文字、半角20文字以内で入力します。
1NO. / 2NO.	電話番号を26桁以内で入力します。
♪	着信音をデータBOXのミュージック/iモーション/メロディから選択します。 • 設定可能なファイルは次のとおりです。着うた®は[iモーション]から選択できます。 （下表参照） ※ ファイルによっては設定できないことがあります。 • 着信音を鳴らさない場合は、[サイレント]を選択します。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
ミュージック※	AAC-LC/HE-AAC	5Mバイト以下	－
iモーション※	MP4	10Mバイト以下	[VGA(640×480)]以下
メロディ	SMF/MFi	350Kバイト以下	－

ネットワークサービス

次ページにつづく

項　目	説　明
	着信画像をデータBOXのマイピクチャ/ｉモーションから選択します。 • 設定可能なファイルは次のとおりです。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	［待受（480×864）］以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	－
ｉモーション※	MP4	10Mバイト以下	［VGA（640×480）］以下

※ ｉモーションによっては設定できないことがあります。

3 [i]（完了）を押す

電話番号の詳細が設定されます。

● マルチナンバー未契約の場合、マルチナンバー発信を［OFF］にしてご利用ください。

● マルチナンバー発信を［ON］に設定した場合、発信中はオプション発信画面で選択したマルチナンバー（基本契約番号/付加番号1/付加番号2）に対応した電話番号と名前が表示されます。

● 着信中は、着信したマルチナンバー（基本契約番号/付加番号1/付加番号2）に対応した電話番号と名前が表示されます。

● リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前に発信/着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

発信する電話番号を設定する

電話をかけるときに使用する電話番号を選択できます。

1 **メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［マルチナンバー］→［通常発信番号設定］を選び [MENU] を押す**

2 **発信する電話番号→［はい］を選び [MENU] を押す**

発信する電話番号が設定されます。

発信する電話番号を確認する場合

メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［マルチナンバー］→［通常発信番号確認］を選択します。

● 電話をかけるときにオプション発信画面で使用する電話番号を手動で選択できます。（P.60）

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

お買い上げ時の設定については、メニュー一覧（P.420）をご覧ください。

モード切替	説　明
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

• BアドレスはM専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
• ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
• 2in1の詳細は、『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

- 2in1利用中に、FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1契約者)を行う場合、正しいBナンバーを取得するために、2in1機能OFF（P.400）を行ってから、再度2in1をONにしてください。
  FOMAカードの差し替え(2in1契約者→2in1未契約者)を行う場合は、2in1機能OFFを行ってください。
- 外部機器から音声電話/テレビ電話の発信や64Kデータ通信を行った場合、2in1のモードがAモード、デュアルモードのときはAナンバーで、Bモードのときは Bナンバーで発信します。

2in1を設定する

2in1をONにし、モード別待受画面設定、着信回避設定などを行います。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[2in1設定]を選び ▭ を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 待受画面で 8 を1秒以上押しても2in1設定画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、▭（OK）を押す

すでに2in1がONの場合
2in1設定画面が表示されます。

3 [はい]を選び ▭ を押す

2in1がONになり、2in1設定画面が表示されます。

4 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
モード切替	2in1のモードを切り替えます。 **[モード切替]→[Aモード]/[Bモード]/[デュアルモード]を選択**
電話帳2in1設定	電話帳に登録された2in1設定を変更します。 • 電話帳登録時は、2in1のモードに対応して、電話帳2in1設定が自動登録されます。 ●1件ずつ設定する **[電話帳2in1設定]→電話帳のデータを選択→ (i)（属性設定）→[A]/[B]/[共通]を選択** ●グループに設定する **[電話帳2in1設定]→ ✉（機能）→[グループ一括設定]→グループを選択→ (i)（属性設定）→[A]/[B]/[共通]を選択**
モード別待受画面設定	Bモードとデュアルモードの待受画面を設定します。 **[モード別待受画面設定]→[Bモード]/[デュアルモード]→データBOXのマイピクチャから画像を選択** • 設定可能なファイルは次のとおりです。 (下表参照) • 画像を表示しない場合は、[設定なし]を選択します。

カテゴリ	ファイル形式	ファイルサイズ	画像サイズ
マイピクチャ	GIF/JPEG	250Kバイト以下	[待受(480×864)]以下、GIFアニメは横480×縦288以下
	SWF	100Kバイト以下	–

ネットワークサービス

次ページにつづく

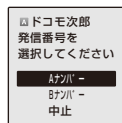
<table>
<tr><th>メニュー項目</th><th>操作方法</th></tr>
<tr><td>発着信番号設定</td><td>Bナンバーでの発着信を識別するために、発着信画面の文字色や着信音を設定します。
●文字色を設定する
[発着信番号設定]→[発着信番号表示設定]→[濃]/[淡]を選択
●着信音を設定する
[発着信番号設定]→[Bナンバー着信設定]→[電話着信]/[テレビ電話着信]→データBOXのミュージック/iモーション/メロディから着信音を選択
・設定可能なファイルは次のとおりです。
<table>
<tr><th>カテゴリ</th><th>ファイル形式</th><th>ファイルサイズ</th><th>画像サイズ</th></tr>
<tr><td>ミュージック※</td><td>AAC-LC/HE-AAC</td><td>5Mバイト以下</td><td>－</td></tr>
<tr><td>iモーション※</td><td>MP4</td><td>10Mバイト以下</td><td>[VGA(640×480)]以下</td></tr>
<tr><td>メロディ</td><td>SMF/MFi</td><td>350Kバイト以下</td><td>－</td></tr>
</table>
※ ファイルによっては設定できないことがあります。
・テレビ電話着信の場合、[電話着信に連動]に[ON]を選択すると、電話着信音に従います。
・非通知着信の場合は、[Bナンバー着信設定]の着信音に従います。</td></tr>
<tr><td>2in1機能OFF</td><td>2in1の利用を停止します。
[2in1機能OFF]→[はい]を選択</td></tr>
<tr><td>着信回避設定</td><td>Aナンバー、Bナンバーの着信を制限できます。
●Aナンバー、Bナンバーの着信をそれぞれ制限する
[着信回避設定]→[着信回避設定変更]→[Aナンバー着信回避]/[Bナンバー着信回避]→[着信する]/[着信しない]/[変更しない]→ (完了)
●現在の設定を確認する
[着信回避設定]→[着信回避設定確認]→[はい]を選択</td></tr>
<tr><td>着信回避設定</td><td>●モード切替連動を開始/停止する
AモードのときはAナンバーの着信のみを許可し、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときはAナンバー、Bナンバー両方の着信を許可します。
[着信回避設定]→[モード切替連動設定]→[はい]を選択
・モード切替連動設定を「開始」に設定していると、圏外ではモード切り替えができません。
●海外から着信回避設定を行う
[着信回避設定]→[着信回避設定(海外)]→音声ガイダンスに従って操作</td></tr>
</table>

電話をかけるときに発信番号を選ぶ

デュアルモードに設定している場合、使用する電話番号を選択してから発信できます。

1 待受画面で電話番号を入力し、 を押す

テレビ電話をかける場合

(テレビ電話)を押します。

2 [Aナンバー]/[Bナンバー]を選び を押す

選択した電話番号から発信します。

● リダイヤルや着信履歴から発信する場合、以前に発信/着信した電話番号が表示され、この番号で発信します。

ネットワークサービス

モードごとに利用できる機能について

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。(Aモードと共通の動作をするものは除いています)

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話/テレビ電話	発信		Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信		すべて		
電話帳	表示		A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※2		A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の電話帳2in1設定		A	B	A
	赤外線通信/ｉC通信/microSDメモリーカードからの全件受信※3		送信元の電話帳2in1設定をコピー※4		
	赤外線通信/ｉC通信/microSDメモリーカードからの1件受信※3		A	B	A
	FOMAカード電話帳	FOMA端末からFOMAカードへコピー	共通		
		FOMAカードからFOMA端末へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示		Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示		Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール/SMS	表示		• Aアドレスで送受信したメール • Aナンバーで送受信したSMS	**FOMA端末** • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メール(WEBメールサイトで[端末に保存]を選択したメール)や新着通知メール・アラーム通知メール • Bナンバーで受信したSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスで送受信したメール	**FOMA端末** • Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール • Aナンバーで送受信したSMS • Bナンバーで受信したSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスで送受信したメール
	送信		• Aアドレスからのメール • AナンバーからのSMS	**FOMA端末** • メール・SMS送信不可 **WEBメールサイト** • Bアドレスからのメール	**FOMA端末** • Aアドレスからのメール※5 • AナンバーからのSMS **WEBメールサイト** • Bアドレスからのメール
	受信		• Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動あり) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動なし)	• Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動なし) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)	• Aアドレス宛のメール/Aナンバー宛のSMS(鳴動あり) • FOMA端末に保存したBアドレス宛の受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール/Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)
	赤外線通信/ｉC通信/microSDメモリーカードからの全件受信※3		送信元の状態をコピー※4		
	赤外線通信/ｉC通信/microSDメモリーカードからの1件受信※3		A		
	FOMAカード内のSMS	FOMA端末からFOMAカードへコピー	A		
		FOMAカードからFOMA端末へコピー	A		
プッシュトーク	発信		Aナンバー	利用不可	Aナンバー
	着信		Aナンバー		
	プッシュトーク電話帳		表示	表示不可	表示
ｉアプリ			すべて利用可能	利用可能※6	利用可能※7
電話番号表示			Aナンバー/Aアドレス	Bナンバー/Bアドレス	A・Bナンバー/A・Bアドレス

次ページにつづく

※1 A・共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示します。
※3 電話帳、メールをmicroSDメモリーカードからFOMA端末に保存する場合、microSDメモリーカード上のファイル単位となります。
※4 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※5 デュアルモード時にメールを新規作成する場合、B設定の電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからメール送信されますのでご注意ください。
※6 メール連動型ｉアプリ・メールを利用するｉアプリ・ｉアプリ待受画面は除きます。
※7 ｉアプリ待受画面は除きます。

OFFICEEDを利用する

〈OFFICEED〉

「OFFICEED」は、指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には、別途お申し込みが必要となります。

- 詳細は、ドコモ法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを登録して利用する

〈追加サービス（USSD）登録〉

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[追加サービス]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
USSDコマンド追加	**[USSDコマンド追加]→[未登録]→ (i)(編集)→[サービス名]にサービス名称（全角10文字、半角20文字以内）を入力→[USSD]にUSSDコマンド（20桁以内）を入力→ (i)(完了)** ●サービスを利用する **[USSDコマンド追加]→サービスを選択** ●サービスを削除する **[USSDコマンド追加]→サービスにカーソルをあわせて ✉(機能)→[1件削除]を選択（全件削除する場合は[全件削除]を選択→端末暗証番号を入力）→[はい]を選択**
応答ワーディング追加	**[応答ワーディング追加]→[未登録]→ (i)(編集)→[応答ワーディング]に応答メッセージ（全角10文字、半角20文字以内）を入力→[USSD]にUSSDコマンド（20桁以内）を入力→ (i)(完了)** ●応答ワーディングを削除する **[応答ワーディング追加]→ワーディングにカーソルをあわせて ✉(機能)→[1件削除]を選択（全件削除する場合は[全件削除]を選択→端末暗証番号を入力）→[はい]を選択**

ネットワークサービス

パソコン接続

データ通信の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

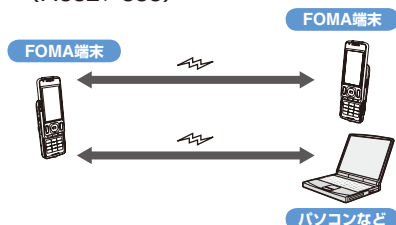
データ通信について

FOMA端末で利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送(OBEX™通信)の3つに分類されます。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarionⅡ」/「sigmarionⅢ」/「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarionⅡ」/「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 海外では、パソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。パケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません)

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

■赤外線通信(P.329、330)、ｉC通信(P.332、333)

■FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)(P.314、344)、microSDメモリーカード(P.306)、ドコモケータイdatalink(P.408)

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。(受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps)
パケット通信は、FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。

- パケット通信は、画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。
- ドコモのPDA「sigmarionⅢ」、「sigmarionⅡ」、「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。
64Kデータ通信は、FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料金

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのインターネットブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass(ユーザ証明書)が必要な場合、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳細はCD-ROM内の[FirstPassPCSoft]フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うためには、以下の条件が必要になります。(日本国内の場合)

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状態が悪い場合は通信ができないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
OS※1	Windows 2000 Professional、Windows XP、Windows Vista(各日本語版)
必要メモリ※2	Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color (65,536色)、解像度800×600ドット以上を推奨

※1 OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。

※2 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02 (別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)
- 付属のCD-ROM「FOMA SO905iCS用CD-ROM」

● 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02 (別売)の場合で説明しています。

● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■用語解説

● 管理者権限

Windows XP、Windows 2000 Professional、Windows Vistaのシステムのすべてにアクセスできる権限。1台のパソコンに最低1人は管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、管理者権限を持たないユーザーは、FOMA通信設定ファイルのインストールができません。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● APN(Access Point Name)

パケット通信で接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。たとえば「mopera U」の場合は、「mopera.net」がAPNです。

● cid(Context Identifier)

パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

FOMA端末のお買い上げ時のcid登録

登録番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp(mopera)
2	未設定
3	mopera.net(mopera U)
4〜10	未設定

● DNS(Domain Name System)

ドメインネーム(例：nttdocomo.co.jp)をコンピュータで使うIPアドレスに変換するシステム。

● QoS(Quality of Service)

サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

● 通信設定最適化

FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

データ転送(OBEX™通信)の準備と流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)をダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

 または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備と流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信/64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)をダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール

 または

- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

パソコンとFOMA端末を接続する

インストールしたFOMA通信設定ファイルを確認する

FOMA PC設定ソフトを使用する場合

FOMA PC設定ソフトをインストールする

接続先を設定する

パケット通信の場合	64Kデータ通信の場合
•「mopera U」または「mopera」 • その他のプロバイダ	•「mopera U」または「mopera」 • その他のプロバイダ

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトを使用しない場合

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する

接続先を設定する

発信者番号通知/非通知を設定する

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ダイヤルアップ接続する

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。

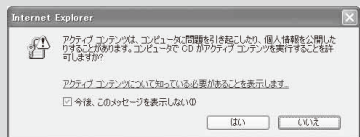
CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」/「区点コード一覧」取扱説明書(PDF形式)が収録されております。詳細は付属のCD-ROMをご覧ください。

<収録ソフト/PDF >

- ◆ FOMA通信設定ファイル
- ◆ FOMA PC設定ソフト
- ◆ FOMAバイトカウンタ
- ◆ ドコモケータイdatalinkのご案内
- ◆ FirstPass PCソフト
- ◆ mopera Uのご案内(mopera Uかんたんスタート/U かんたん接続設定ソフト/U オリジナルデータ取得ソフト/FOMAバイトカウンタ)
- ◆ ナップスター®のご案内
- ◆ PDF版「パソコン接続マニュアル」/「Manual for PC connection setting」
- ◆ PDF版「区点コード一覧」/「Kuten Code List」
- ◆ Adobe® Reader®
- ◆ Picture Motion Browser Ver.2.2.01
- ◆ Declaration of Conformity(DoC)

● CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。[はい]をクリックしてください。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なることがあります。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様のFOMA端末から電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しています。詳細およびダウンロードは下記のホームページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記のホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能データ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル(別売)が必要となります。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号やメールアドレスのまま海外でも通話や通信ができるサービスです。
国際ローミング中に利用できる通信サービスについて、詳しくは『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』をご覧ください。また、ドコモの「国際サービスホームページ」では、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』の最新版をダウンロードいただけます。
http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

- 本FOMA端末は、3GローミングエリアおよびGSM/GPRSサービスエリアでご利用いただけます。
- お買い上げ時は、自動的にネットワークの切り替えが行われるように設定されています。(P.415)

WORLD WINGのお申し込み

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨をお申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。
- 一部ご利用いただけない料金プランがございます。

■主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください。(2007年12月現在)

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ(仏領ポリネシア)	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

● この他の国番号および詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

海外で利用できるサービスについて

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

- 接続する通信事業者やネットワークによっては、利用できない通信サービスがあります。国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1 日本国内で利用している電話番号のまま、日本やその他の海外への国際電話、滞在国内への電話をかけることができます。	○	○	○
テレビ電話※1 海外の特定3G通信事業者ユーザやFOMAユーザと国際テレビ電話をかけることができます。	○	×	×
iモード 海外でもiモードを利用できます。	○	×	○
iモードメール 日本国内で利用しているアドレスのまま、海外でもiモードメールの送受信ができます。	○	×	○
SMS※2 日本国内で利用している電話番号のまま、海外でもSMSの送受信ができます。	○	○	○
iチャネル※3	○	○	○
データ通信(パケット通信)※4	○	×	○

※1 2in1利用時、Bナンバーでは発信できません。

※2 国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外の通信事業者をご利用の相手との間でSMSの送受信ができます。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信するときの宛先は、相手の電話番号の前に「+」と相手の国番号を入力します。ただし、相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』や『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

※3 自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でiチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネルの設定を行う必要があります。ただし、海外ではiチャネルの受信ごとに通信料がかかります。(国内の無料通信適用外)

※4 海外では、パソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。パケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません)

- 海外では、GPS機能を利用できません。また、海外でGPSサービス利用設定のサイトにアクセスすると、エラー画面が表示され、パケット通信料がかかります。

海外でご利用になる前の確認

出発前、滞在先、帰国後に必要な確認事項について説明します。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金とあわせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただくことがあります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されないことがありますので、あらかじめご了承ください。

出発前の確認

海外で本FOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。
- 海外からネットワークサービスを利用する場合は、出国前に遠隔操作設定を「開始」に設定してください。(P.397)

■充電について

充電については以下をご覧ください。
- ACアダプタの取り扱い上のご注意について(P.20)
- ACアダプタでの充電方法について(P.40、41)

■ｉモードについて

海外からｉモードでサイトを表示する場合は「ｉMenu」から「海外利用設定」を設定してください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定/解除などの操作を、海外からも行うことができます。

- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。
  海外でネットワークサービスをご利用の際は、ご出発前に『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』や『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

メニュー名	説　明
留守番電話(P.392)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。
キャッチホン(P.393)	
転送でんわ(P.393)	
迷惑電話ストップ(P.394)	
発信者番号通知(P.45)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。また、発信者番号が正しく通知できないことがあります。
番号通知お願いサービス(P.395)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。
デュアルネットワーク(P.395)	設定できません。
英語ガイダンス(P.395)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。
マルチナンバー(P.397)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。また、付加番号での発信はできません。また、付加番号に着信はできますが、どの番号に対する着信であるか判別できないことがあります。
2in1(P.398)	Bナンバーからは発信できません。
着もじ(P.58)	設定はできますが、サービスは利用できません。
ローミングガイダンス設定(P.417)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。
ローミング時着信規制(P.417)	一部サービスエリアでは設定できないことがあります。
公共モード(ドライブモード)(P.69)	設定はできますが、サービスは利用できません。海外では設定を解除してください。

滞在先での確認

本FOMA端末では、3GローミングエリアおよびGSM/GPRSサービスエリアでご利用いただけます。
海外で本FOMA端末の電源を入れたときに自動的にネットワークを検索して滞在先の通信事業者に接続するように設定されています。

お問い合わせについて

海外での紛失、盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。(2007年11月現在)

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0041/0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)

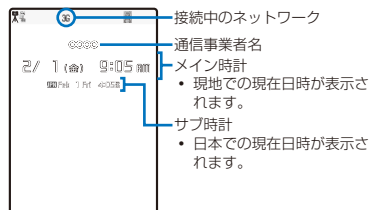
各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。(2007年11月現在)

ご利用地域	番　号	ご利用地域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

- 一部ご利用になれない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります。(お客様の負担となります)ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

ディスプレイの見かたについて

海外利用中は、接続しているネットワーク通信事業者名が待受画面に表示されます。

- 通信事業者名を表示しないように設定することもできます。(P.416)
- メイン時計の現地での現在日時とサブ時計の表示を行う場合は、自動時刻時差補正を[ON]に設定してください。(P.44)ただし、海外のネットワークによっては時差補正が行われないことがあります。

- 接続中のネットワークは次のアイコンで確認できます。

アイコン	ご利用のネットワーク
3G(青)	3Gネットワーク(パケット通信対応)
3G(赤)	3Gネットワーク(パケット通信非対応)
GSM	GSMネットワーク
GPRS	GPRSネットワーク

帰国後の確認

お買い上げ時は、帰国後に本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークを検索してFOMAネットワーク(NTT DoCoMo, Inc)に接続するように設定されています。

- ネットワークサーチ設定を[マニュアル]に設定している場合は、手動でFOMAネットワーク(NTT DoCoMo, Inc)に切り替えるか、[オート]に変更してください。
- 3G/GSM切替を[自動]または[3G]に設定してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

滞在国から日本または他の国へ電話をかけます。

- よくかける国の国番号を国際ダイヤルアシスト設定(P.62)の国番号設定に登録しておくと、簡単に発信することができます。

1 待受画面で「+」(0 を1秒以上押す)－国番号－地域番号(市外局番)－相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。(ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です)
- 日本に国際電話をかける場合は、国番号「81」を入力してください。

国番号設定に登録している国にかける場合

待受画面で電話番号を入力し、✉(オプション)を押して[発信方法]→[音声電話]/[テレビ電話]→[国番号]→国番号を選択して ● (発信)を押します。

電話帳に登録されている相手にかける場合

電話帳から相手を選び ✆ を押します。テレビ電話をかける場合は、相手を選び ☰ を押し、ch (テレビ電話)を押します。電話番号の先頭の「0」が、国際ダイヤルアシスト設定で自動付加設定した国番号に自動変換されて発信されます。

リダイヤル/着信履歴からかける場合

リダイヤル/着信履歴から相手を選び ✆ または ch (テレビ電話)を押します。

2 ✆ を押す

国際電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

ch (テレビ電話)を押します。

滞在国内に電話をかける

滞在国内へ電話をかける場合は、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力する

同一市内への通話でも、必ず地域番号(市外局番)を付けてください。
相手が「WORLD WING」利用者の場合は、日本への国際電話として電話をかけてください。

2 ✆ を押す

電話がかかります。

テレビ電話をかける場合

ch (テレビ電話)を押します。

- テレビ電話をかける相手とお客様がFOMAのテレビ電話に対応した通信事業者をご利用の場合は、国際電話のダイヤル方法のあとにテレビ電話発信すると国際テレビ電話がご利用いただけます。
  ※ 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
  ※ 国際テレビ電話の接続先の端末によっては、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内外にかかわらず国番号「81」を入力し、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

国際ローミングサービスを利用して、海外で電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたら ✆ を押す

相手と通話できます。

テレビ電話がかかってきた場合

✆ または ch (テレビ電話)を押します。☰ (代替)を押すと代替画像で応答できます。

● 国際ローミング中に電話がかかってきた場合、日本から国際転送されます。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■日本から電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号のみをダイヤルしてもらいます。

090－XXXX－XXXX
または
080－XXXX－XXXX

■日本以外の国から電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号をダイヤルしてもらいます。

国際アクセス番号－81－90－XXXX－XXXX
または
国際アクセス番号－81－80－XXXX－XXXX

利用するネットワークを設定する 〈3G/GSM切替〉

ご利用になる地域や通信事業者に対応した通信方式を設定します。

・お買い上げ時は[自動]に設定されています。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[3G/GSM切替]を選び ▭ を押す

[自動]：
接続できるすべてのネットワークを検索します。

[3G]：
3Gに対応したネットワークのみを検索します。

[GSM/GPRS]：
GSMまたはGPRSに対応したネットワークを検索します。

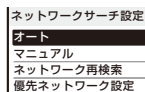
2 [自動]/[3G]/[GSM/GPRS]→[はい]を選び ▭ を押す

ネットワーク通信方式が設定されます。

● 3G/GSM切替を[自動]に、ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているときに、3GネットワークとGSM/GPRSネットワークに対応している通信事業者を検索した場合、自動的に3Gネットワークに接続します。
● 日本国内または3Gネットワーク利用可能エリア内では、電池消費を減らすために、3G/GSM切替を[3G]に設定することをおすすめします。
● GSMネットワーク内でもGPRSに対応していない場合はパケット通信を行うことができません。

通信事業者の検索方法を設定する 〈ネットワークサーチ設定〉

利用中のネットワークが圏外になった場合、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続するかどうかを設定できます。

例：接続する通信事業者を手動で切り替える場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ネットワークサーチ設定]を選び ▭ を押す

[オート]：
自動的に他の通信事業者に接続します。

[マニュアル]：
通信事業者を手動で選択します。

[ネットワーク再検索]：
接続先の通信事業者を再検索します。

[優先ネットワーク設定]：
優先的に接続する通信事業者を設定します。（P.416）

2 [マニュアル]を選び ▭ を押す

ネットワーク選択画面が表示されます。

次ページにつづく

3 通信事業者を選び ☰ を押す

接続する通信事業者が切り替わります。

- 電波状態やネットワークの状況により、本機能を設定できないことがあります。
- 2007年12月現在、日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。
- 日本に帰国後に「」が表示されている場合は、ネットワークサーチ設定が[オート]になっているかどうか確認してください。

優先的に接続する通信事業者を設定する 〈優先ネットワーク設定〉

ネットワークサーチ設定を[オート]に設定しているときに、自動的に接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

例：通信事業者をリストから登録する場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ネットワークサーチ設定]を選び ☰ を押す

ネットワークサーチ設定画面が表示されます。

2 [優先ネットワーク設定]を選び ☰ を押す

優先ネットワーク設定画面が表示されます。

3 [未登録]を選び ✉(機能)を押す

機能メニューが表示されます。

通信事業者を手動で入力する場合

機能メニュー[マニュアル登録]を選択し、国番号(MCC)とネットワーク番号(MNC)を入力し、i(完了)を押し、ネットワーク通信方式→[はい]を選択します。

現在接続中の通信事業者を登録する場合

機能メニュー[在圏ネットワーク登録]→[はい]を選択します。

優先順位を変更する場合

機能メニュー[優先順位変更]→通信事業者→移動先を選択して i(完了)を押し、[はい]を選択します。

詳細情報を表示する場合

通信事業者にカーソルをあわせ、機能メニュー[詳細情報表示]を選択します。

通信事業者を削除する場合

通信事業者にカーソルをあわせ、機能メニュー[削除]→[1件削除]→[はい]を選択します。すべての通信事業者を削除する場合は、機能メニュー[削除]→[全件削除]を選択し、端末暗証番号を入力して[はい]を選択します。

4 [リストから登録]を選び ☰ を押す

リストから登録画面が表示されます。

国名で通信事業者を検索する場合

i(検索)を押し、国名を選択します。

5 通信事業者を選び ☰ を押す

3G/GSM選択画面が表示されます。

[3G/GSM/GPRS]：
3G、GSM/GPRS対応の通信事業者として設定します。

[3G]：
3G対応の通信事業者として設定します。

[GSM/GPRS]：
GSM/GPRS対応の通信事業者として設定します。

6 ネットワーク通信方式→[はい]を選び ☰ を押す

優先的に接続される通信事業者が設定されます。

ローミング中の通信事業者の表示を設定する 〈オペレータ名表示設定〉

国際ローミング中に、接続中の通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[オペレータ名表示設定]を選び ☰ を押す

オペレータ名表示設定画面が表示されます。

2 [表示あり]/[表示なし]を選び ☰ を押す

通信事業者名の表示が設定されます。

- オペレータ名表示設定を[表示あり]に設定しても、「DoCoMo」のネットワークを利用している場合や圏外時は、通信事業者名が表示されません。

通信状態を確認する 〈在圏状態〉

滞在先で利用できる通信サービスを確認できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[在圏状態]を選び ▭ を押す

利用できる通信サービスが表示されます。

ローミングガイダンスを開始する 〈ローミングガイダンス設定〉

国際ローミング中に電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。

- 海外通信事業者の事情により、流れるガイダンスが外国語となることがあります。
- 日本国内で設定してください。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[ローミングガイダンス設定]を選び ▭ を押す

ローミングガイダンス設定画面が表示されます。

ローミングガイダンスを停止する場合

[ローミングガイダンス停止]→[はい]を選択します。相手には海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。

設定内容を確認する場合

[ローミングガイダンス確認]→[はい]を選択します。

2 [ローミングガイダンス開始]→[はい]を選び ▭ を押す

ローミングガイダンスが開始されます。

ローミング中の着信を受け付けないようにする 〈ローミング時着信規制〉

ローミング中に着信を受けないように設定します。すべての着信を規制するか、テレビ電話の着信のみ規制するかを選択できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ローミング時着信規制]を選び ▭ を押す

ローミング時着信規制画面が表示されます。

ローミング時着信規制を停止する場合

[ローミング着信規制停止]を選択し、ネットワーク暗証番号を入力して[はい]を選択します。

設定内容を確認する場合

[ローミング着信規制確認]を選択します。

2 [ローミング着信規制開始]を選び ▭ を押す

ローミング着信規制開始画面が表示されます。

[全着信規制]：
すべての着信を受けません。

[テレビ/64kデータ規制]※：
テレビ電話の着信を受けません。

※ 海外では64Kデータ通信を利用できません。

3 規制の種類を選び ▭ を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

4 ネットワーク暗証番号を入力する

5 [はい]を選び ▭ を押す

ローミング時着信規制が開始されます。

● 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

ローミング中にネットワークサービスを利用する 〈海外用サービス〉

海外から、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを利用できます。

- 海外でネットワークサービスを利用する場合は、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。(P.397)
- 海外から操作した場合、利用した国の国際通話料がかかります。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[留守番電話(海外)]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
留守番サービス開始	[留守番サービス開始]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
留守番サービス停止	[留守番サービス停止]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
留守番メッセージ再生	[留守番メッセージ再生]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
留守番サービス設定	[留守番サービス設定]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
留守番呼出時間設定	[留守番呼出時間設定]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[転送でんわ(海外)]を選び ▤ を押す

2 各項目を設定する

メニュー項目	操作方法
転送サービス開始	[転送サービス開始]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
転送サービス停止	[転送サービス停止]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作
転送でんわサービス設定	[転送でんわサービス設定]→[はい]を選択→音声ガイダンスに従って操作

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ローミングガイダンス(海外)]→[はい]を選び ▤ を押す

この後は音声ガイダンスに従って設定してください。

滞在先で遠隔操作を設定する

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[遠隔操作設定(海外)]→[はい]を選び ▤ を押す

この後は音声ガイダンスに従って設定してください。

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[番号通知願い(海外)]→[はい]を選び ▤ を押す

この後は音声ガイダンスに従って設定してください。

付録/外部機器連携/困ったときには

メニュー一覧

- メニュー画面でメニュー名の次にある数字や記号のダイヤルボタンを押すと、機能を実行できます。

■スタンダードメニュー

○：お買い上げ時の設定に戻る項目　　●：削除される項目

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
マイセレクト[1]	赤外線受信、バーコードリーダー、めざまし時計選択、フルブラウザ、ジョグ設定、待受画面設定、着信設定			－	○	○	P.368
イメージング[2]	カメラ[21]			－			P.155
	ムービー[22]			－			P.170
	ブログ投稿[23]			－		●	P.358
	音楽付スライドショー[24]			－			P.291
	待受ピクチャーギャラリー[25]	フレーム選択		コルクボード(縦用)	○	○	P.119
		画像更新タイミング		1時間ごと	○	○	P.120
		利用画像フォルダ		フォルダ①：カメラ、フォルダ②～⑤：設定なし	○	○	
		待受画像を今すぐ更新		－			
ｉモード[3]	ｉMenu[31]			－			P.186
	Bookmark[32]			－		●	P.191
	画面メモ[33]			－		●	P.193
	ラストURL[34]			－		●	P.187
	Internet[35]	URL入力		－		●	P.191
		URL履歴		－		●	
	ｉチャネル[36]	チャネル一覧		－		●	P.202
		テロップ表示設定		標準	○	○	P.203
		ｉチャネル初期化		－			
	メッセージR/F[37]			－		●	P.231
	ｉモード問合せ[38]			－			P.216、231
	ｉモード設定[39]	共通設定	開封時自動演奏	自動再生する	○	○	P.228
			ｉモード問合せ設定	メール・メッセージR・メッセージF：有効	○	○	P.227
			接続待ち時間設定	60秒	○	○	P.197
			接続先選択	ｉモード(FOMAカード)	○	○※1	
			マルチタスク中受信設定	通知優先	○	○	P.229
			メッセージ自動表示	メッセージR優先	○	○	P.230
		文字サイズ(ブラウザ共通)		中	○	○	P.127
		画像表示設定		ON	○	○	P.198
		文字自動判別		ON	○	○	
		登録データ利用設定		利用する	○	○	
		ｉモーション自動再生設定		ON	○	○	P.201
		効果音設定		4	○	○	P.112
		ｉモード通信中着信設定		プッシュトーク優先	○	○	P.90
		SSL証明書	CA証明書	有効	○	○	P.198
			ドコモ証明書1	有効	○	○	
			ドコモ証明書2	－			
		ユーザ証明書操作		－			P.199
		センター接続先選択		ドコモ	○	○※1	P.200

※1 お客様が追加した接続先は削除されます。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
ｉモード［3］	フルブラウザ［30］	ホーム		－			P.280
		Bookmark		－		●	P.286
		Internet	URL入力	－		●	P.280
			URL履歴	－		●	P.283
		ラストURL		－		●	P.280
		フルブラウザ設定	ホーム設定	http://www.google.co.jp	○	○	P.286
			Cookie設定	有効	○	○※2	
			Script設定	有効（通信時確認）	○	○	P.287
			表示モード設定	PCモード	○	○	
			画像表示設定	ON	○	○	
			画面倍率	100%	○	○	
			PagePilot設定	移動中表示しない	○	○	
			ポインタ速度設定	4	○	○	
			ウィンドウオープンガード	無効	○	○	P.288
			Referer設定	送信する	○	○	
			アクセス設定	利用しない	○	○	
			フルブラウザ設定確認	－			
			フルブラウザ設定リセット	－			
メール［4］	受信メール［41］			－		●	P.219
	送信メール［42］			－		●	
	保存メール［43］			－		●	
	新規メール作成［44］			－			P.207
	WEBメール［45］			－			P.206
	SMS作成［46］			－			P.234
	テンプレート一覧［47］			－		●※3	P.211
	ｉモード問合せ［48］			－			P.216、231
	SMS問合せ［49］			－			P.236
	メール選択受信［40］			－			P.215
	メール設定［4✱］	共通設定（［ｉモード］→［ｉモード設定］→［共通設定］参照）					－
		メール一覧表示設定		2行表示+プレビュー	○	○	P.225
		署名編集		－		●	P.227
		署名設定		自動	○	○	
		一括メールリスト		リスト名：リスト0～9、メンバーリスト：なし		●	P.228
		文字サイズ		中	○	○	P.127
		受信振分条件		振分方法・振分先フォルダ：なし		●	P.226
		送信振分条件		振分方法・振分先フォルダ：なし		●	
		SMS設定	送信文字種	日本語			P.236
			SMS送達通知	無効			
			SMS有効期限	3日			
			SMSC指定	ドコモ			
			Type of Number	International			
			アドレス	81903101652			

※2 FOMA端末に記録されたCookie情報は削除されます。
※3 お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
メール [4]	メール設定 [4＊]	エリアメール設定	受信設定	OFF	○	○	P.233
			受信登録	エリアメール名：緊急情報、Message ID：A000～A3FF		○※4	P.234
			ブザー鳴動設定	許容	○	○	
			ブザー鳴動時間	10秒	○	○	
		メール選択受信設定		OFF	○	○	P.227
		添付ファイル優先受信	イメージ	有効	○	○	P.229
			メロディ	有効	○	○	
			ｉモーション	有効	○	○	
			トルカ	有効	○	○	
			PDF	有効	○	○	
			ツールデータ	有効	○	○	
			その他	有効	○	○	
		受信ランキングオールクリア		－		●	
		送信ランキングオールクリア		－		●	
ｉアプリ [5]	ｉアプリ一覧			－		●※5	P.239
	ｉアプリ設定	自動起動		許可する	○	○	P.246
		ソフト情報表示		表示しない	○	○	P.239
		ソフト音量設定		4	○	○	P.112
		ｉアプリ再生音優先設定		優先しない	○	○	P.113
	ｉアプリ実行情報	待受エラー履歴		－		●	P.250
		セキュリティエラー履歴		－		●	
		トレース結果		－		●	
		自動起動エラー履歴		－		●	
	ｉアプリデータ（microSD）			－			
電話 [6]	電話帳 [61]			－		●	P.101
	履歴 [62]			－		●	P.55
	プッシュトーク電話帳 [63]			－		●	P.85
	伝言メモ [64]	伝言メモ再生		－		●	P.74
		テレビ伝言メモ再生		－		●	
		伝言メモ設定	設定	OFF	○	○	P.73
			応答時間	13秒	○	○	
			テレビ伝言メモ応答画像	テレビ電話動作中	○	○	
			テレビ伝言メモ録画画像	テレビ電話動作中	○	○	
		音声メモ録音		－			P.369
		音声メモ再生		－		●	P.74
データBOX [7]	マイピクチャ			－		●※3	P.290
	ミュージック			－		●※3	P.303
	Music&Videoチャネル			－		●	P.342
	ｉモーション			－		●※3	P.295
	メロディ			－		●※3	P.304
	マイドキュメント			－		●※3	P.333
	きせかえツール			－		●※6	P.305
	キャラ電			－		●※3	P.302

※3 お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
※4 お客様が追加した受信登録は削除されます。
※5 おサイフケータイ対応ｉアプリは削除されません。
※6 お買い上げ時に登録されている［Manual Custom］は削除されません。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
Music [8]	ミュージックプレーヤー [81]			−			P.342
	Music&Videoチャネル [82]			−			P.338
おサイフケータイ [9]	ICカード一覧 [91]			−			P.255
	DCMX [92]			−			P.245
	トルカ [93]			−		●	P.257
	設定［94］	ICカードロック設定	ICカードロック	OFF	○	○	P.262
			電源OFF時ICロック	直前状態を保持	○	○	
		ICカード通知設定	エリア通知バイブレータ	ON	○	○	P.261
			エリア通知LED点灯	ON	○	○	
		トルカ設定	トルカ取得設定	許可する	○	○	P.259
			フォルダ振分設定	−		●	P.260
			自動認識設定	可	○	○	P.261
			重複チェック設定	行なう	○	○	
	ｉモードで探す [95]			−			P.255
電話番号表示 [0]				−		○	P.45
LifeKit [*]	バーコードリーダー [*1]	コード読み取り		−			P.183
		保存データ		−		●	P.184
	赤外線受信［*2］	受信		−			P.329
		全件受信		−			
	microSD [*3]			−			P.306
	カメラ [*4]			−			P.155
	ムービー [*5]			−			P.170
	ライフタイムカレンダー [*6]			−			P.355
	めざまし時計［*7］	めざまし時計選択		OFF	○	○	P.360
		アラーム自動電源ON設定		OFF	○	○	
	スケジュール [*8]			−		●	P.363
	テキストメモ [*9]			−		●	P.372
	電卓 [*0]			−			
	電話帳お預かりサービス [**]	お預かりセンターに接続		−			P.105
		通信履歴表示		−		●	
		お預かりサービス設定	電話帳画像送信設定	送信しない	○	○	
	GPS [*#]	現在地確認		−			P.264
		現在地通知		−			P.274
		対応ｉアプリ		−			P.265
		位置履歴		−		●	P.276
		GPS設定	GPSボタン設定	地図を見る	○	○	P.278
			現在地通知先登録	通知先名・通知先ID・電話番号：−		●	P.275
				自動通知設定：都度確認	○	○	P.276
			位置提供設定	位置提供可否設定：OFF、接続先設定：契約時接続先、サービス利用設定：−	○	○※1	P.271

※1 お客様が追加した接続先は削除されます。

次ページにつづく

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
LifeKit[＊]	GPS[＊#]	GPS設定	音/ランプ設定	現在地確認： 音量：OFF、バイブレータ：OFF、ランプ：ON 現在地通知： 音量：4、バイブレータ：OFF、ランプ：ON 位置提供/許可・位置提供/確認： 音量：4、バイブレータ：OFF	○	○	P.113
			測位モード設定	現在地確認・現在地通知・位置提供：標準モード	○	○	P.278
設定[#]	画面設定	待受画面設定	待受画面	画像：きせかえパッケージ※7 待受ピクチャーギャラリー： フレーム選択：コルクボード(縦用)、画像更新タイミング：1時間ごと 利用画像フォルダ： フォルダ①：カメラ、フォルダ②～⑤：設定なし	○	○	P.117
			表示画質設定	Sharp	○	○	
			カレンダー/時計表示設定	カレンダー種類：OFF、カレンダー文字色：黒、時計種類：デジタル時計5、時計表示形式：12h	○	○	
			ソフトキー表示	OFF	○	○	
			ボタンロック中カメラ起動	起動しない	○	○	
		照明設定	自動設定	ON	○	○	P.121
			明るさ調節	3	○	○	
			ボタンライト調節	ON	○	○	
			常時点灯設定	充電時・インターネット中：OFF、テレビ電話中・静止画撮影中・動画撮影中・動画再生中：ON	○	○	
		省電力モード		1分	○	○	P.122
		メニュー設定	起動メニュー設定	きせかえメニュー	○	○	P.123
			アイコン設定	マイセレクト・イメージング・iモード・メール・iアプリ・電話・データBOX・Music・おサイフケータイ・電話番号表示・LifeKit・設定：指定なし	○	○	
		きせかえ設定	きせかえツール	きせかえパッケージ※8	○	○	P.124
			カラーテーマ設定	本体色「SILVER」：ブラック、本体色「WHITE」：ホワイト＆ゴールド、本体色「PINK」：ピンク	○	○	

※7 本体色により設定は異なります。設定リセットやデーター括削除を行うと、お買い上げ時に登録されている画像の[Cyber-shot Logo]になります。

※8 本体色により設定は異なります。設定リセットやデーター括削除を行うと、[Manual Custom]になります。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定[#]	画面設定	アニメーション設定	電話発信画像	きせかえパッケージ※9	○	○	P.120
			テレビ電話発信画像		○	○	
			メール送信画像		○	○	
			問合せ画像		○	○	
		文字サイズ設定	文字サイズ一括設定	標準表示			P.127
			文字サイズ個別設定	電話帳・履歴・メール・Internet・文字入力：中	○	○	
	発着信通話	着信設定	電話着信	着信音：着信音1、着信音量：4、着信画像：きせかえパッケージ※9、バイブレータ：OFF、ランプ色：C9:ランプ色9	○	○	P.108
			テレビ電話着信	電話着信に連動：OFF、着信音：着信音1、着信音量：4、着信画像：きせかえパッケージ※9、バイブレータ：OFF、ランプ色：C9:ランプ色9	○	○	
			プッシュトーク着信	着信音：着信音1、着信音量：4、バイブレータ：OFF、ランプ色：C9:ランプ色9	○	○	
			メール着信	着信中画像：きせかえパッケージ※9、着信完了画像：きせかえパッケージ※9、着信完了音：着信音1、着信完了音量：4、バイブレータ：OFF、ランプ色：C9:ランプ色9 鳴動時間設定： 設定：ON、鳴動時間：4秒	○	○	
			メッセージR着信 メッセージF着信	メール着信に連動：ON、着信中画像：きせかえパッケージ※9、着信完了画像：きせかえパッケージ※9、着信完了音：着信音1、着信完了音量：4、バイブレータ：OFF、ランプ色：C9:ランプ色9 鳴動時間設定： 設定：ON、鳴動時間：4秒	○	○	
		不在お知らせ		ON	○	○	P.126
		テレビ電話設定	テレビ電話画面設定	相手大自分小	○	○	P.76
			送信画像設定	自画像送信：ON、代替画像：アイアイ	○	○	
			送信画質設定	標準	○	○	P.77
			音声自動再発信	OFF	○	○	
			ハンズフリー	ON	○	○	
			パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	○	○	P.78
		発着信表示設定	電話帳指定画像表示	ON	○	○	P.121
			名前表示	ON	○	○	
			発着信番号表示設定	指定なし	○	○	

※9 本体色により設定は異なります。設定リセットやデータ一括削除を行うと、データBOXのマイピクチャの[プリインストール]フォルダ内の画像になります。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定[#]	発着信通話	発着信補助	サブアドレス設定	ON	○	○	P.63
			プレフィックス設定	–		○	P.61
			エニーキーアンサー	ON	○	○	P.67
			着信呼出動作設定	設定：OFF、呼出開始時間：4秒、時間内着信履歴表示：OFF	○	○	P.145
		通話設定	受話音量	4	○	○	P.112
			再接続アラーム音	OFF	○	○	P.64
		通話品質	音声通話品質アラーム	OFF	○	○	P.114
			ノイズキャンセラ	ON	○	○	P.64
		イヤホン設定	オート着信設定	設定：OFF、応答時間：5秒後	○	○	P.375
			イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	○	○	P.114
			イヤホンスイッチ発信設定	設定：OFF、発信メモリ番号：999	○	○	P.375
			イヤホンマイク設定	イヤホンマイク有効	○	○	P.376
		セルフモード		OFF	○	○	P.137
		メロディコール設定		–			P.115
	アプリケーション設定	ライフタイムカレンダー設定	表示設定	静止画： 表示：全表示、フォルダ指定：ｉモード 受信メール・送信メール： 表示：全表示、メールアドレス指定：指定なし スケジュール・誕生日： 表示：全表示	○	○	P.358
			想い出自動表示設定	標準	○	○	
			セキュリティデータ表示	非表示	○	○	
		メール設定（[メール]→[メール設定]参照）					–
		ｉモード設定（[ｉモード]→[ｉモード設定]参照）					–
		ｉアプリ設定（[ｉアプリ]→[ｉアプリ設定]参照）					–
		電話帳設定	起動時電話帳設定	本体電話帳	○	○	P.102
			文字サイズ	中	○	○	
			画像表示設定	画像表示する	○	○	
			画像保存/添付	有効	○	○	
		履歴設定	履歴表示設定	ON	○	○	P.141
			文字サイズ	中	○	○	P.127
		プッシュトーク設定	自動応答設定	自動応答しない	○	○	P.89
			呼出時間設定	30秒	○	○	
			ｉモード通信中着信設定	プッシュトーク優先	○	○	P.90
			通信中着信設定	通常着信	○	○	
			ハンズフリー	ON	○	○	
		伝言メモ設定（[電話]→[伝言メモ]→[伝言メモ設定]参照）					–
		トルカ設定（[おサイフケータイ]→[設定]→[トルカ設定]参照）					–
		ICカード通知設定（[おサイフケータイ]→[設定]→[ICカード通知設定]参照）					–
		スケジュール設定	休祝日設定	当日設定：祝日法で定める祝日、曜日設定：日曜日	○	○	P.367

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定[#]	アプリケーション設定	スケジュール設定	スケジュールアラーム設定	アラーム音：アラーム音(標準)、アラーム音量：4、アラーム画像：スケジュールアラーム鳴動中、バイブレータ：OFF、ランプ色：C5:ランプ色5	○	○	P.365
		文字入力設定	通常辞書編集	−		●	P.388
			予測辞書編集	−		●	
			辞書フォルダ	−		●	P.389
			予測変換切替	予測変換	○	○	P.384
			定型文編集	定型文一覧(P.434)	○	○	P.386
			カーソル自動移動	1(遅い)	○	○	P.385
			文字サイズ	中	○	○	P.127
			候補内キー操作	上下左右/左右	○	○	P.385
			学習情報リセット	−			P.389
	ロック/セキュリティ	オールロック		OFF			P.135
		ICカードロック設定([おサイフケータイ]→[設定]→[ICカードロック設定]参照)					−
		パーソナルデータロック		OFF			P.137
		シークレット表示		OFF	○	○	P.141
		ダイヤル発信制限		OFF	○	○	P.139
		着信許可/拒否	設定	OFF	○	○	P.143
			番号リスト	−		●	
			グループリスト	−		●	
		登録外着信拒否		OFF	○	○	P.146
		非通知着信拒否	発番号非通知	OFF	○	○	P.144
			公衆電話	OFF	○	○	
			通知不可能	OFF	○	○	
	管理	NWサービス	留守番電話	件数増加鳴動設定：ON	○	○	P.392
			キャッチホン	−			P.393
			転送でんわ	−			
			迷惑電話ストップ	−			P.394
			発信者番号通知	−			P.45
			番号通知お願いサービス	−			P.395
			通話料金表示	−			P.369
			2in1設定	モード切替：デュアルモード モード別待受画面： Bモード：Bモード待受画面、デュアルモード：デュアルモード待受画面 発着信番号設定： 発着信番号表示設定：濃 Bナンバー着信設定： 電話着信：着信音：着信音2 テレビ電話着信：電話着信に連動：OFF、着信音：着信音2 着信回避設定： モード切替連動設定：OFF	○	○	P.399
			着もじ	メッセージ作成：−		●	P.58
				メッセージ表示設定：番号通知ありのみ	○	○	

次ページにつづく

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定 [#]	管理	NWサービス	通話中着信設定	−			P.396
			通話中着信動作選択	通常着信	○	○	
			遠隔操作設定	−			P.397
			デュアルネットワーク	−			P.395
			英語ガイダンス	−			
			サービスダイヤル	−			P.396
			追加サービス	USSDコマンド追加： サービス名：未登録 USSD：− 応答ワーディング追加： 応答ワーディング：未登録 USSD：−		○	P.402
			マルチナンバー	電話番号設定： マルチナンバー発信：OFF 基本契約番号： 名前：基本契約番号 付加番号1： 名前：付加番号1、電話番号：−、着信音：着信音1、着信画像：付加番号1着信画像 付加番号2： 名前：付加番号2、電話番号：−、着信音：着信音1、着信画像：付加番号2着信画像	○※10	○	P.397
			ローミング ガイダンス設定	−			P.417
			国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定：オート、3G/GSM切替：自動			P.415
				オペレータ名表示設定：表示あり	○	○	P.416
			国際ダイヤル アシスト設定	自動変換機能設定：ON	○	○	P.62
				国際プレフィックス設定：①World Call 009130010、国番号設定：P.410を参照してください。		○	
			テレビ電話切替通知	−			P.78
		日付時刻 設定	自動時刻時差補正	ON	○	○	P.44
			手動時刻設定	日付：----/--/--［−］、時刻：--:--		○	
				タイムゾーン：GMT+9		○	
		バイリンガル		Japanese			P.128
		マナー モード設定	設定	OFF	○	○	P.116
			モード選択	マナーモード	○	○	
			オリジナルマナー モード	バイブレータ：OFF、電話着信音量：SD(STEP DOWN)、メール着信完了音量・アラーム音量：4、ボタン確認音量：1、ボタンロック解除音・充電確認音・電池警告音：ON、ささやき通話：OFF	○	○	P.117

※10 マルチナンバー発信、付加番号1と付加番号2の着信音/着信画像のみリセットされます。

メニュー				お買い上げ時	設定リセット	データ一括削除	参照ページ
設定［#］	管理	本体音設定	ボタン確認音量	1	○	○	P.111
			ボタンロック解除音	ON	○	○	
			ステレオ・3Dサウンド	ON	○	○	
			充電確認音	ON	○	○	
		ジョグ設定	回転操作	ON	○	○	P.376
			メール内容表示	中	○	○	
			ｉモード	中	○	○	
			フルブラウザ	中	○	○	
			上回転起動機能	データBOX	○	○	
			下回転起動機能	電話帳	○	○	
		本体スライド設定	開閉時自動ロック/解除	ON	○	○	P.141
			着信中オープン動作設定	応答する	○	○	P.67
			通話中クローズ動作設定	音声電話/テレビ電話・プッシュトーク：通話継続	○	○	
			オープン時内容編集	受信メール（一覧/詳細）：引用返信、送信メール（一覧/詳細）：修正、保存メール（一覧）：編集、スケジュール（月/一覧/詳細）・テキストメモ（一覧/詳細）：新規/修正	○	○	P.354
		暗証番号変更		0000		○	P.132
		FOMAカード設定	PIN1コード入力設定	OFF			
			PIN1コード変更	－			P.133
			PIN2コード変更	－			
		スキャン機能	パターンデータ更新	－			P.463
			自動更新設定	－			
			スキャン機能設定	スキャン機能・メッセージスキャン：有効	○	○	P.462
			バージョン表示	－			P.464
		ソフトウェア更新	更新実行	－			P.459
			自動更新設定	設定：自動で更新、曜日：指定なし、時刻：03:00	○	○	P.458
		在圏状態		－			P.417
		電池残量		－			P.42
		本体情報		－			P.326
		USBモード設定		通信モード	○	○	P.314
		リセット	メニュー操作履歴リセット	－		●	P.126
			メニュー画面リセット	－			P.124
			画面/音設定リセット	－			P.125
			設定リセット	－			P.376
			データ一括削除	－			P.377
		初期設定	日付時刻設定	－			P.43
			暗証番号変更	未（0000）		○	
			ボタン確認音量	1	○	○	
			位置提供可否設定	未（OFF）	○	○	
			文字サイズ一括設定	未（標準表示）	○	○	

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

文字モード／ボタン	漢字・ひらがなモード※	カナモード※	英字モード※	数字モード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	. @ ／ : − ～ ˜ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ ヵ ヶ	ABCabc2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9
0	わをんゎ□、 。ー・！？	ワヲンヮ□、。 ー・！？「」	□！？−，’；（） ”＿～˜＆￥0	0
*	、。ー・゛゜！？	゛゜、。ー・！？「」	！？−，’；（）” ＿～˜＆￥	*
#	文字の割り当てを逆順で表示（文字確定前）/改行（文字確定後）			#
◀	カーソル左移動			
▶	カーソル右移動/半角スペース（空白）の挿入（カーソル以後に文字がない場合のみ）			

※ 1秒以上押すと、割り当てられた文字が連続して切り替わります。

- □はスペース（空白）を表します。スペース（空白）には全角/半角があり、文字と同じようにカウントされます。
- ■は全角モード時のみ表示されます。
- 青字は半角モード時のみ表示されます。
- ボタンを1回押すたびに、同じボタンに割り当てられた次の文字へ移動します。ボタンを押し続けると、連続して移動できます。
- 文字の確定後に # を押すと、改行され「↲」が表示されます。全角1文字としてカウントされます。
- 文字の確定前に * を押すと、その文字に濁点/半濁点を付けます。（発信）を押すと、大文字と小文字を切り替えます。# を押すと、逆順で切り替わります。
- 英字モードの場合、直前に入力した文字や（発信）を押して変換した文字の大文字/小文字の状態が継続されます。

記号・特殊文字一覧

- ■は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されないことがあります。

■全角記号

	、	。	，	．	・	：
；	？	！	゛	゜	´	｀
¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー
―	‐	／	＼	～	∥	｜
…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝
〈	〉	《	》	「	」	『
』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
∞	∴	♂	♀	°	′	″
℃	￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○
●	◎	◇	◆	□	■	△
▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇
⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢
⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η
Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ
Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ
ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ

τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А
Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж
З	И	Й	К	Л	М	Н
О	П	Р	С	Т	У	Ф
Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з	и
й	к	л	м	н	о	п
р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
ю	я	─	│	┌	┐	┘
└	├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷
┿	┝	┰	┥	┸	╂	①
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ
Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧
㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣
㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎
㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№
㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨
㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒
≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠
∟	⊿	∵	∩	∪		

■半角記号

付録／外部機器連携／困ったときには

絵文字一覧

- 絵文字は、ｉモード対応以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されないことがあります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード対応携帯電話の機種によっては、正しく表示されないことがあります。
- SMSでは「💓」「♥」「☎」以外は半角スペース（空白）になります。

■絵文字

顔文字一覧

「漢字・ひらがなモード」で以下のよみを入力すると、顔文字が入力されます。

- 顔文字一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
- 顔文字は予測タブではなく、絵顔記タブにのみ表示される場合があります。

よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字	よみ	顔文字
あいたっ	(>_<)	がーん	(;□;)!!	かお	(￣ω￣)	すみません	m(_ _)m	にこにこ	<^!^>	ぺこり	_(._.)_
あくび	＼(~o~)／		(￣□￣;)!!		(●^o^●)	たのしい	(*^.^*)		=^ェ^=		_(^_^)_
	＼(ΘoΘ)ノ		(●д●)		)^o^(		(^-^)	にやり	(￣ー￣)		m(_ _)m
あせ	(-_-;	かお	(*_*)		>^_^<		(^-^;)	ねてる	(-_-)zzz	ほーい	(^0^)
	(;^_^A		(+_+)		^/^		(^^)	はーい	(^-^)/		(^0^)/
	(^^;		(-.-)		^^;		(^o^)	ばいばい	(*^o^*)/~	ほし	(☆o☆)
	(^_^;)		(-_-)		^_^;	たら	(-o-;		(;_;)/~~~	ぽりぽり	(^^ゞ
	^_^;		(-_-;)		_(._.)_	ちゅっ	(^・^)Chu♪		(^.^)/~~~		f^_^;
あら	(/--)/		(..)		m(_ _)m		(^ε^)		(^^)/~~~	むにゃむにゃ	(￣～￣)ξ
いっぷく	(-.-)y-~		(._.)		o(^-^)o		Chu!(^3^)-☆		(^_^)/~	めがね	(@_@)
	(>.<)y-~		(._.)_	かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)	つっこみ	ヾ(^_^)	はずかしい	(*^^*)	めもめも	φ(..)
	(￣^￣)y-~~		(;_;)	きす	:-*	てれ	(*^^*)		(o^-^o)	よしよし	(T_T)＼(-_-)
うぃんく	(^_-)		(>_<)	きゃー	(o≧▽≦)o	どきっ	(◎o◎)	ぱちぱち	(^o^)//"""""""	らじゃ	(^^ゞ
うーん	(#+_+)		(>ε<)		o(≧▽≦o)	どてっ	(o_ _)o	ばんざい	＼(^0^)／		(≧▽≦)ゞ
うひょひょ	(o`∀´o)		(>д<)	きゃはは	(≧▽≦)/	ながれぼし	★彡		＼(~o~)／	りょうかい	(^^ゞ
	(`∇´)		(@_@)	ぐー	(^-^)b	なく	(;_;)	びくっ	(*_*)		(≧▽≦)ゞ
うん	(--)(_ _)		(T_T)		(o^-')b		(T.T)		(*_*;	わーい	(*^□^*)
えーん	(ToT)		(ToT)	ぐーぐー	(-.-)Zzz		(T^T)		(+_+)		(*´▽`*)
えっ	(@_@;)		(^.^)	くすん	(;_		(T_T)		(@_@)		(^0^)
	(@д@)		(^0^)	くたばる	(*_*)	なぜ	(?_?)	ひやあせ	(^-^;		(^o^)
えと	(+o+)		(^0_0^)		(+_+)		(?д?)		(^-^;)		(^u^)
えへへ	(o^v^o)		(^^)		(>_<)	にげろー	ε=┏(;￣▽￣)┛		(^.^;		(^v^)
おいおい	ヾ(^_^)		(^^ゞ	さあ	┐(´～`;)┌	にこにこ	(#^.^#)		(^o^;		(^O^)
おお	(ノ°0°)ノ		(^_-)	さかな	()<<		(*^_^*)	ふぁいと	p(^-^)q		(^◇^)
おーい	(^0^)/		(^_^)	さざえ	8(*^^*)8		(*^o^*)		p(^^)q		(●^o^●)
	(^^)/		(^_^;)	じーっ	(;¬_¬)		(*^▽^*)	ぶい	(^0^)v		)^o^(
	(^_^)/		(^o^)	しくしく	('_')		(=^_^=)		(^^)v		o(^ヮ^)o
	(^o^)/		(_ _)		(/_;)		(^.^)		(^_^)v		ヽ(´▽`)ノ
おこる	(-_-#)		(o^-^o)		(:_;)		(^_^)		(￣▽￣)v		＼(^0^)／
	(-_-メ)		(o・v・o)		(;0;)		(^o^)		v(^-^)v		♪d(⌒O⌒)b♪
	(>_<)		(x_x;)		(;_:)		(o^-^o)		v(^^)v	わーん	o(T□T)o
	(`ε´)		(°_°)		(;_;		8->	ぷっ	ヽ(´ー`)ノ	わくわく	o(^-^)o
おねがい	(>人<)		(´・ω・`)		(;_;)		:)	ぷんぷん	:-<		o(^^)o
おりゃ	(ノ>д<)ノ		(´Д`)		(T_T)		:-)	ぺこり	(_ _)		o(^o^)o
	(ノ°0°)ノ		(￣▽￣)	じと	(-.-)		:->		<m(_ _)m>	わたしかな	σ(^_^;)?

定型文一覧

カテゴリ	定型文	
1インターネット	1 .co.jp	6 .go.jp
	2 .ne.jp	7 @docomo.ne.jp
	3 .com	8 http://
	4 .or.jp	9 https://
	5 .ac.jp	0 www.
2顔文字1	1 ^^;	6 (>_<)
	2 (^.^)	7 (^^ゞ
	3 >^_^<	8 (@_@)
	4 (;_;)	9 m(__)m
	5 (+_+)	0 (^-^)ノ~~
3顔文字2	1 o(^ワ^)o	6 *￣0￣)ノ
	2 (o^-')b	7 (￣^￣)y-~~
	3 ＼(~δ~)／	8 (o`∀´o)
	4 (ρ_—)o	9 (`□´)
	5 (￣▽￣)v	0 (¥△¥;)
4顔文字3	1 (≧ε≦)	6 (^・^)Chu♪
	2 (≧▽≦)ゞ	7 ι(◎д◎)ノヾ
	3 (;□;)!!	8 ε=┏(;￣▽￣)┛
	4 (u_u)o〃	9 ♪d(⌒O⌒)b♪
	5 =^ェ^=	0 へ(^-^)乂(^o^)ノ
5あいさつ	1 おはようございます	6 お疲れさまでした
	2 おやすみなさい	7 お世話になっております
	3 昨日は、どうもありがとうございました	8 こんにちは
	4 行ってきます	9 こんばんは
	5 いってらっしゃい	0 よろしくお願い致します
6ビジネス	1 直行します	6 本日の会議は中止となりました
	2 直帰します	7 出欠をご連絡ください
	3 休暇をとります	8 次の指示を待ってください
	4 半休します	9 携帯の電源を切ります
	5 電車遅延のため、遅れます	0 メールで連絡してください
7プライベート	1 遊びに行こう	6 先に行きます
	2 飲みにいきませんか?	7 先に帰ります
	3 遅れます	8 時間です
	4 変更します	9 何してるの?
	5 中止です	0 どこにいるの?
8返事	1 OKです	6 今忙しい
	2 NGです	7 後で連絡を入れます
	3 ありがとう	8 保留です
	4 ごめんなさい	9 キャンセルです
	5 待ってて!	0 時間がありません
9自由定型文		

マルチアクセスの組み合わせ

実行中の動作ごとに、発生/実行する処理が動作できるかどうかを記載します。

- FOMA端末の状態によっては、次の表に従わない場合があります。

○：実行可能　×：実行不可能　△：条件により実行可能

現在の状態	発生/実行する処理																					
	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク		iモード	フルブラウザ	iモードメール		SMS		64Kデータ通信		パケット通信(データ通信)		ソフトウェア更新		スキャン機能	電話帳お預かりサービス		Music&Videoチャネルダウンロード
	発信	着信	発信	着信	発信	着信			送信	受信	送信	受信	発信	着信	発信	着信	通常起動	予約起動		送信	受信	
音声電話通話中	△※1	△※2	×	×	×	×※4	○	○	○	○	○	○	×	×※4	○	○	×	○	×	○	○	○
テレビ電話通話中	×	×※4	×	×※4、5	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	○※6	×	×※4	×※7	×※4	×	×	×	×	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
iモード中	○	○	○※3	○※8	○※3	○※9	×	△※13	○	○	○	○	×※10	×※4	×※10	×	×	×	×	○	○	×
フルブラウザ	○	○	○※3	○※8	○※3	○※9	×	×	○※3	○	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×	○※3	○	×
iモードメール送受信中	○	○	○※3	○※8	○※3	○※9	○	○※14	×	○※11	○※11	○※11	×	×※4	×	×	×	×	×	○	○	×
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○	○	○	○※11	○※11	○※11	○※11	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
64Kデータ通信中	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
パケット通信中(データ通信)	○※15	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×※12	×	×	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
スキャン機能通信中	×	○※3	×	×※4	×	×	×	×	×	×※12	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
電話帳お預かりサービス通信中	○	○	○※3	○※8	○※3	○※9	○	○※14	×	×	×	×	×	×※4	×	×	×	×	×	×	×	×
Music&Videoチャネルダウンロード中	○	○	○	○※8	○	○※9	○	×	○	○	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×	×	○	×

※1　キャッチホンご契約時、通話中に別の相手に電話をかけることができます。

※2　キャッチホンご契約時、通話中にかかってきた別の電話を受けることができます。キャッチホン未契約時、通話中の電話を終了してから、かかってきた別の電話を受けることができます。

※3　現在の通信動作を終了してから、発着信できます。

※4　着信動作は行わず、着信履歴には不在着信として残ります。

※5　留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを未契約時は着信履歴に記録されません。

※6　次のいずれかの場合、音声電話着信を通知し、「音声電話へ応答」するか「プッシュトーク通信を継続」するか選択できます。（その際、選択しない方は終了します）

- プッシュトーク通信中着信設定が[通常着信]に設定されている場合
- プッシュトーク通信中着信設定が[留守番電話]または[転送でんわ]に設定されていて契約されていない場合

次ページにつづく

※7　お客様がプッシュトーク通信を発信した場合、メンバーを追加するために発信できます。
※8　パケット通信中着信設定で、設定されている動作を行います。
- ［パケット通信優先］設定時、［留守番電話］または［転送でんわ］に設定されていて契約されていない場合は、パケット通信を継続します。
- ［テレビ電話優先］設定時は、パケット通信を切断してテレビ電話を受けることができます。

※9　iモード通信中着信設定で、設定されている動作を行います。
- ［iモード優先］設定時は、iモード通信を継続します。
- ［プッシュトーク優先］設定時は、iモード通信を終了し、プッシュトーク着信を行います。

※10　iアプリでiモード通信している場合は、通信を切断してから発信を行います。
※11　送信どうし、受信どうしは、実行することができません。
※12　接続先選択が［iモード（FOMAカード）］の場合は「」を表示します。
※13　現在の通信動作を終了してから、フルブラウザ通信を行います。
※14　iモードからフルブラウザ切替を行ったときは、iモード通信を終了してフルブラウザ通信を行います。
※15　待受画面で電話番号を直接入力して電話をかけることのみできます。

マルチタスクの組み合わせ

メニュー画面から起動できる機能について、起動できるかどうかを記載します。

- 各機能の状態によっては、次の表に従わない場合があります。
- 起動済みであっても、ディスプレイに表示されていない状態では、一時停止となる機能もあります。

○：起動可能　×：起動不可能　－：メニュー画面から起動不可能

現在起動中の機能＼これから起動する機能	音声電話	プッシュトーク通信	テレビ電話／64Kデータ通信／パケット通信	履歴／電話帳	トルカ／めざまし時計／スケジュール／テキストメモ／電卓	メール／SMS	iモード／フルブラウザ	iアプリ	データBOX／ライフタイムカレンダー	カメラ／ムービー	ミュージックプレーヤー	GPS	設定／NWサービス／赤外線受信
音声電話通話中	－	－	－	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
プッシュトーク通信中	－	－	－	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
テレビ電話通話中/64Kデータ通信中/パケット通信中	－	－	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
履歴/電話帳	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
トルカ/めざまし時計/スケジュール/テキストメモ/電卓	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
メール/SMS	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモード/フルブラウザ	－	－	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
iアプリ	－	－	－	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
データBOX/ライフタイムカレンダー	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
カメラ/ムービー	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
ミュージックプレーヤー	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
GPS	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
設定/NWサービス/赤外線受信	－	－	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に通話料と1通話ごとに取り扱い手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2007年12月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2007年12月現在）
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話/携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、圏外、セルフモード中、電源を切っているときなどでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション機器の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック SO02
- リアカバー SO09
- FOMA ACアダプタ 01/02 ※1
- FOMA DCアダプタ 01/02
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- FOMA 海外兼用 ACアダプタ 01 ※2
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 卓上ホルダ SO08
- 車内ホルダ 01
- キャリングケースL 01
- 車載ハンズフリーキット 01 ※3
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02 ※4
- FOMA USB接続ケーブル ※4
- FOMA 室内用補助アンテナ ※5
- FOMA 室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- スイッチ付イヤホンマイク P001/002 ※6
- ステレオイヤホンセット P001 ※6
- イヤホンターミナル P001 ※6
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- 骨伝導レシーバマイク 01

※1 ACアダプタでの充電方法については、P.40、41をご覧ください。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 FOMA SO905iCSをUSB接続/充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※4 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5 日本国内で使用してください。
※6 イヤホンジャック変換アダプタが必要です。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画(MP4形式のファイル)を再生するには、アップルコンピュータ(株)のQuickTime Player(無料)ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)が必要です。
QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。

http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

Picture Motion Browserで楽しむ

Picture Motion Browserは、保存した画像をカレンダーで管理したり、画像を選んで編集したりできるなど、さまざまな利用ができるソフトです。

- Picture Motion Browserをインストールするには、付属の「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットし、スタート画面で[エンターテイメントツール]→[Picture Motion Browserのインストール]をクリックしてください。画面の指示に従って操作すれば、インストールは完了します。
- Picture Motion Browserを利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • microSDメモリーカードに対応したメモリーカードスロットまたはUSBポート(Universal SerialBus Specification Rev1.1準拠)
OS※1	Windows 2000 Professional (SP4)、Windows XP*(SP2)、Windows Vista*(各日本語版) ＊64ビット版には対応しておりません。
必要メモリ※2	256MB以上(512MB以上を推奨)
ハードディスク容量※2	200MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color(65,536色)、解像度1024×768ドット以上を推奨

※1 OSアップグレードからの動作およびマルチブート環境での動作は保証の対象外となります。

※2 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

- Picture Motion Browserの機能、操作方法の詳細につきましては、ソフトの[ヘルプ]から[Picture Motion Browserガイド]をご覧ください。

● Picture Motion Browserについてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sonyericsson.co.jp/support/use_support/pmb/index.html

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む

- パソコンに取り込む画像がデータBOXに保存されている場合は、あらかじめmicroSDメモリーカードに画像を保存してください。(P.312)

例：Windows XPの場合

1 画像を保存したmicroSDメモリーカードをパソコンのSDカードスロットに差し込む

- microSDメモリーカードは、SDメモリーカードサイズに変換するアダプタを装着してからご利用ください。

FOMA端末のmicroSDモードを利用する場合

メニューで[設定]→[管理]→[USBモード設定]→[microSDモード]を選択し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)でパソコンとFOMA端末を接続してください。(P.314)

2 [新規フォルダに保存する]を選び、[取り込み開始]をクリックする

取り込んだ日付をフォルダ名にしたフォルダが自動的に作成され、画像を取り込みます。

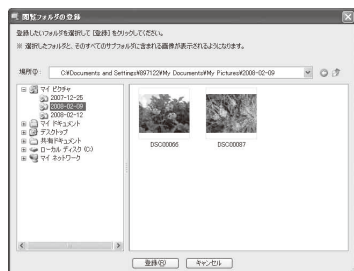
既存のフォルダに取り込む場合

[既存のフォルダに保存する]を選択し、フォルダを指定して[取り込み開始]をクリックします。

- Picture Motion Browserの画像の取り込み画面を利用して画像を取り込んだ場合は、画像が自動的に登録されます。
- ドコモケータイdatalink(P.408)とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を利用することにより、FOMA端末のデータBOXに保存された画像をパソコンに転送・保管することができます。

画像フォルダを登録する

パソコンに取り込んだ画像をPicture Motion Browserで表示するには、画像フォルダの登録が必要です。

1 Picture Motion Browserのメイン画面で、メニューバーの[ファイル]→[閲覧フォルダの登録]をクリックする

2 左側のウィンドウで登録するフォルダを選択し、[登録]→[はい]をクリックする

フォルダ内の画像情報がデータベースへ登録されます。

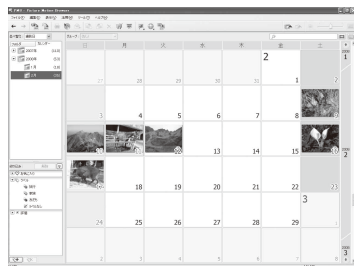
画像を見る

パソコンに取り込んだ画像を、撮影した日付ごとにカレンダー形式で表示(カレンダービュー)したり、登録したフォルダごとに表示(フォルダビュー)したりできます。

例：カレンダービューから表示する場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[Sony Picture Utility]→[Picture Motion Browser]をクリックする

Picture Motion Browserのメイン画面が表示されます。

2 フォルダ/カレンダー切り替えタブで[カレンダー]タブをクリックする

[フォルダ]　：登録されているフォルダの一覧が表示されます。

[カレンダー]：画像のある年および月が一覧表示されます。

フォルダビューにする場合

[フォルダ]タブをクリックします。

3 見たい画像を撮影した年→月をクリックする

カレンダーが表示され、日付のセルにその日に撮影された画像のサムネイルが表示されます。同じ日に画像が複数ある場合は、セルの画像が切り替わります。

フォルダビューの場合

見たい画像が保存されているフォルダをクリックします。選択したフォルダ内の画像のサムネイルが一覧表示されます。

4 見たい日付のセルをクリックする

その日に撮影されたすべての画像のサムネイルが表示されます。

5 見たい画像のサムネイルをダブルクリックする

画像が拡大表示されます。

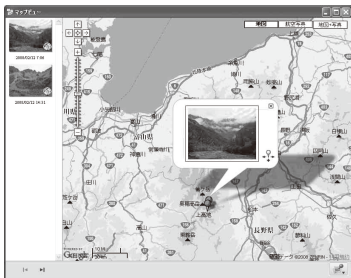
画像の撮影場所を地図上で確認する

マップビューを利用すると、位置情報を付加して撮影した画像の撮影場所を地図上に表示できます。

- マップビューを利用するには、お使いのパソコンがインターネットに接続されている必要があります。

1 Picture Motion Browserのメイン画面で、「 」が表示されている画像をクリックする

- 複数の画像を選択するには、Ctrlキーを押しながら画像をクリックします。

2 メニューバーの[活用]→[マップビュー]をクリックする

※地図および航空写真はGoogleマップによって提供されています。

- 画像の撮影状況によっては、正しい撮影場所に表示されないことがあります。
- マップビューを利用して、画像を地図上に配置して位置情報を付加することができます。

故障かな？と思ったらまずチェック

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。（P.456）

状　況	原因と対処
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池パックは正しく取付けられていますか。（P.39） • 電池切れになっていませんか。（P.42）
FOMA端末が使えない	• ボタンロックがかかっていませんか。（P.140）
電源ボタンを押しても警告音が鳴り、電源が切れる	• 電池残量がありません。充電してください。（P.41）
ダイヤルしたが話中音（ツーツー）が鳴り、つながらない	• 「圏外」の表示が出ていませんか。（P.30） • 市外局番を忘れていませんか。（P.51） • 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。（P.51）
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー）が鳴る	• サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。（P.30）
ダイヤルボタンを押しても発信できない	• セルフモードを設定していませんか。（P.137） • ダイヤル発信制限を設定していませんか。（P.139） • ボタンロックがかかっていませんか。（P.140）
真っ暗な画面が表示され何も操作できない	• 電源が入っていますか。（P.43） • ボタンロックがかかっていませんか。（P.140）
画面に「」が表示され、何も操作できない	• ボタンロックがかかっています。ボタンロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.140）
設定した待受画面ではなく真っ暗な画面になっている	• 省電力モードを設定していませんか。（P.122）
英語で表示されている	• バイリンガルを英語表示（[English]）に設定していませんか。（P.128）
着信できない、または着信音が鳴らない	• 公共モード（ドライブモード）を設定していませんか。（P.69） • 着信音量を[OFF]に設定していませんか。（P.109） • マナーモードを設定していませんか。（P.116） • セルフモードを設定していませんか。（P.137） • 着信許可/拒否を設定していませんか。（P.143） • 非通知着信拒否を設定していませんか。（P.144） • 着信呼出動作設定を設定していませんか。（P.145） • 登録外着信拒否を設定していませんか。（P.146） • 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼び出し時間を0秒に設定していませんか。（P.392、393） • 番号通知お願いサービスを設定していませんか。（P.395） • デュアルネットワークサービスでmova端末を有効にしていませんか。（P.395）
メール着信完了音やアラーム音は鳴るが、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	• 着信音量を[OFF]に設定していませんか。（P.109） • 着信呼出動作設定の[呼出開始時間]を長い時間（99秒など）に設定していませんか。短い時間に設定してください。（P.145）
メール着信完了音は鳴っているが、新着メールを受信していない	• 留守番電話サービスの[件数増加鳴動設定]を設定していませんか。伝言メッセージの件数が増えた場合、メール着信完了音でお知らせします。（P.392）

状　況	原因と対処
電話がかかってきたときに設定した画像と違う画像が表示される	• 音声電話/テレビ電話の着信画像が複数設定されている場合、次の優先順位で画像が表示されます。（P.96、100、108） 1. 電話帳登録の指定発着信画像 2. グループ設定の指定発着信画像 3. 着信設定の着信画像 ただし、着信音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、着信画像にｉモーションを設定した場合、優先順位が異なることがあります。
電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	• 音声電話/テレビ電話の着信音が複数設定されている場合、次の優先順位で着信音が鳴ります。（P.97、100、109、397、400） 1. 電話番号設定の着信音（マルチナンバーの付加番号に電話がかかってきた場合） 2. 電話帳登録の指定電話着信音 3. グループ設定の指定電話着信音 4. 2in1のBナンバー着信設定の着信音 5. 着信設定の着信音 ただし、着信音にｉモーションや着うたフル®を設定したり、着信画像にｉモーションを設定した場合、優先順位が異なることがあります。
メールを受信したときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	• メールの着信音が複数設定されている場合、次の優先順位で着信音が鳴ります。（P.97、100、109） 1. 電話帳登録の指定メール着信完了音 2. グループ設定の指定メール着信完了音 3. 着信設定の着信完了音 ただし、着信音にｉモーションや着うたフル®を設定した場合、優先順位が異なることがあります。
電話がかかってきたときやメールを受信したときに設定した色と違う色で着信ランプが動作する	• 音声電話/テレビ電話/メールの着信ランプが複数設定されている場合、次の優先順位で着信ランプが点滅します。（P.97、100、110） 1. 電話帳登録の指定ランプ色 2. グループ設定の指定ランプ色 3. 着信設定のランプ色
一定周期で着信ランプが点滅している	• 不在お知らせを［ON］に設定していませんか。（P.126）
充電ランプが点灯したままになっている	• 常時点灯設定の［充電時］を［ON］に設定していませんか。（P.122） この設定の場合、充電完了までに時間がかかることがありますが故障ではありません。 • 充電中にテレビ電話、データ通信、ｉアプリなどを使用していませんか。 この場合、充電完了までに時間がかかることがありますが故障ではありません。
ボタン確認音が鳴らない	• ボタン確認音量を［OFF］に設定していませんか。（P.111） • マナーモードを設定していませんか。（P.116）
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• 端末内に大量のデータが保存されているときなどに起こる場合があります。
積算料金が増えない	• FOMAカードの積算料金の上限値（約1,677万円）に達していると増えません。リセットすることにより、0円に戻ります。（P.370）
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

こんな表示がでたら

- メッセージと共に、3桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモの独自のコードとなります。

あ

宛先をご確認ください

- SMSの宛先が21桁を超えるか、宛先の先頭に186/184が入力されています。正しい宛先を入力して送信し直してください。（P.234）

以下の宛先にはメール送信できませんでした(561) Mails could not be sent to following address ○○@△△△.ne.jp

※メールアドレスは、送信先により表示が異なります。

- いくつかの宛先にメールを送信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して送信し直してください。

移動できませんでした

- エラーが発生したため、移動できませんでした。

今いる場所の確認に失敗しました

- 現在地の測位に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

遠隔操作可能なサービスは未契約です

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスなど遠隔操作可能なサービスをご契約されていません。遠隔操作をご利用になるにはお申し込みが必要です。

応答がありませんでした(408)

- サイトやインターネットホームページからの応答がないため、通信が中断されました。しばらく待って操作し直してください。

オールロック中

- オールロックが設定されています。オールロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.135）

同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか

- 同じサービスを利用するソフトがすでにダウンロード済みのため、ダウンロード/バージョンアップできません。

おまかせロック中

- おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話/テレビ電話の着信に対する応答、電源ON/OFFの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。（P.136）

か

画像に誤りがあり正しく動作しません

- Flash画像に誤りがあるため、正しく再生できませんでした。

画像表示設定OFFのためダウンロードできません

- 画像表示設定が[OFF]に設定されているため画像を取得できません。設定を[ON]にしてから操作し直してください。

カメラエラーが発生しました アプリケーションを終了します

- エラーが発生したためカメラを終了します。カメラを続けてご利用になる場合は、再度起動してください。

カメラエラーが発生しました 画像を保存してアプリケーションを終了します

- エラーが発生したため、画像を保存してカメラを終了します。カメラを続けてご利用になる場合は、再度起動してください。

カメラエラーが発生しました 代替画像へ切替ます

- エラーが発生したため、代替画像に切り替えます。再度、カメラ画像に切り替えてください。（P.51）

起動中の機能が多いため起動できません

- マルチタスクで起動している機能が多いため、選択した機能を起動できません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。（P.353）

起動中の機能が多いため実行できません　他の機能を終了後再度実行してください

- メモリが不足しているため、選択した機能を起動できません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。（P.353）

圏外です

- サービスエリア外、または電波の届かない場所にいるため、ｉモードのサービスをご利用になれません。「圏外」が消える場所まで移動してください。（P.30）

現在この機能は利用できません

- 選択した機能は、現在動作中の機能と同時に利用できません。（P.353）

現在メニューは表示できません

- メニューを表示できない機能が実行中のため、メニューを表示できません。

公共モード（ドライブモード）中です

- 公共モードが設定されています。公共モードを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.69）

更新できませんでした

- エラーが発生したため、パターンデータを更新できませんでした。

このカードは認識できません

- 正しいFOMAカードが挿入されているか確認してください。（P.36）
- FOMAカードにエラーがあります。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

このサイトとのSSL通信は無効です

- 証明書に問題があります。

このサイトの安全性が確認できません　接続しますか

- サイトの証明書がFOMA端末に対応していません。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか

- サイトの証明書の有効期間前か期限が過ぎています。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

この接続先の安全性が確認できません　接続しますか

- FOMA端末の証明書の有効期間前か期限が過ぎています。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。また、日付時刻が間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付時刻を設定してください。（P.44）

この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか

- サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは[はい]を、接続を中止するときは[いいえ]を選択します。

このソフトは起動できません

- 2in1のモードがBモードの場合は、メール連動型ｉアプリやメールを利用するｉアプリは起動できません。

このソフトは現在利用できません

- ｉアプリのソフトをIP（情報サービス提供者）が停止中です。IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。

このデータは再生できない可能性があります

- ｉモーションデータが不正なため、再生できない場合があります。

この番組表は起動できません

- 2in1のモードがBモードの場合は、メール連動型やメールを利用する番組表ｉアプリは起動できません。

さ

サーバーが混みあっています

- サーバが混みあっているため、ソフトウェア更新ができませんでした。しばらく待って操作し直してください。（P.459）

サービス未契約です

- ｉモードをご契約されていません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。
- ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

サービス未提供です

- SMSのサービスが未提供です。

再生可能回数が終了しました

- 再生回数制限付きのファイルが再生回数の終了後のため再生できません。詳細情報表示画面で再生可能回数を確認してください。（P.322）

再生可能期限が切れました

- 再生期限制限または再生期間制限付きのファイルが再生期間の終了後のため再生できません。詳細情報表示画面で期限を確認してください。（P.322）

次ページにつづく

再生可能日前です　再生できません

- 再生期間制限付きのファイルが再生期間の開始前のため再生できません。詳細情報表示画面で開始日時を確認してください。（P.322）

再生制限データに誤りがあるため取得できません

- ファイルの再生制限に誤りがあるため、取得できません。

最大番号のファイルがあるため撮影できません

- microSDメモリーカードに最大のファイル番号（999-9999）のファイルがあるため、これ以上保存できません。最大ファイル番号の画像ファイルを削除してください。（P.321）

サイトに接続できませんでした(403)

- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。（P.186）

辞書データに部分エラーを検出しました

- 辞書データの一部に誤りがあるため、保存できなかった語句があります。（保存できた語句は辞書データとして使用できます）

指定サイトがみつかりません(404)

- サイトやインターネットホームページなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

指定サイトに表示データがありません(204)

- 指定したサイトやインターネットホームページに表示データがありませんでした。

指定されたソフトがありません

- サイトやメール、赤外線通信から起動するｉアプリがFOMA端末内にありません。

指定されたソフトが起動できませんでした

- サイトやメール、赤外線通信からFOMA端末内のｉアプリが起動できませんでした。

指定したサイトへは接続できませんでした(504)

- 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続してください。

しばらくお待ちください

- 音声回線/パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク/パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

しばらくお待ちください(パケット)

- パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。

受信端末が対応機種ではありません

- 受信側の端末がｉC通信に対応していません。

受信を拒否されました

- 相手がSMSの受信を拒否しているため、送信できませんでした。

署名をつけることができません

- メールの本文と署名の合計文字数が全角5,000文字/半角10,000文字を超えるため、署名を貼付けることができません。本文の文字数を減らすか、署名を貼付けずに送信してください。（P.207、227）

正常に接続できませんでした(400)

- 接続先選択で設定した接続先番号が間違っています。接続先番号をお買い上げ時の「ｉモード」に設定してください。（P.197）
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。（P.186）

セキュリティエラーのため終了しました

- ソフトが許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリを終了しました。セキュリティエラー履歴を確認してください。（P.250）

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました

- ソフトが許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面を解除しました。セキュリティエラー履歴を確認してください。（P.250）

接続相手が見つかりません

- 赤外線通信の接続先の相手を認識できませんでした。赤外線ポートがお互いに正しく向きあっているか、接続先の相手機器が正常かを確認してください。（P.327）

接続できません

- 接続先選択で設定した接続先番号が間違っています。接続先番号をお買い上げ時の「ｉモード」に設定してください。（P.197）
- 電波が弱いため接続できません。電波の強い場所でもう一度操作を行ってください。

接続できませんでした

- ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。
- テレビ電話をかけたとき何らかの理由により接続できませんでした。

接続できませんでした（503）

- ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。

接続できませんでした（562）

- ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

設定時間内に接続できませんでした

- 接続待ち時間設定で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するか、しばらく待って操作し直してください。（P.197）

セルフモード設定中です

- セルフモードが設定されています。セルフモードを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.137）

送信相手が見つかりません

- ｉC通信の送信先の相手を認識できませんでした。FeliCaマーク「」が正しく重ねあわさっているか、送信先の相手機器が正常かを確認してください。（P.331）

送信できません　宛先を確認してください（451）

- 宛先不明のためメールを送信できませんでした。正しい宛先を入力して送信し直してください。

送信できませんでした

- メール送信中にエラーが発生しました。「圏外」が表示されていないことを確認の上、送信し直してください。再度この表示が出るときは、しばらく待って送信し直してください。（P.213）
- SMSの宛先が間違っています。正しい宛先（電話番号）を入力して送信し直してください。（P.234）

送信できませんでした（552）

- ｉモードセンターまたはSMSセンター側の問題で接続できませんでした。しばらく待って操作し直してください。

送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです（551）

- 相手のメール保管件数が最大になっている場合は、ｉモードセンターでそれ以上メールを保管できません。相手がメール受信できるようになってから、再度送信してください。（P.213）

送信を拒否されました

- SMSの送信を拒否されたため、送信できませんでした。

そのソフトは最新です

- すでに最新のｉアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

ソフトに誤りがあります

- ｉアプリのソフトに必要な情報が設定されていないためダウンロード、バージョンアップできません。

ソフトに誤りがあるためダウンロードできません

- ソフトのデータにエラーがあるため、ダウンロードできません。

ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください

- ICカード内にデータがあるため、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して、登録データを削除してからもう一度操作を行ってください。（P.255）

た

対応機種ではありません

- ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応していないコンテンツです

- FOMA端末に対応していないデータが含まれています。

対応するサービスがありません

- 対応しているブログサービスが登録されていません。ご利用のサービスに対応しているブログサービスを登録してください。（P.358）

ダイヤル発信制限がかかっています

- ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してからもう一度操作を行ってください。（P.139）

ダウンロードできませんでした

- エラーが発生したため、ダウンロードできませんでした。

ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください

- ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、通信が一定時間内に著しく多くなっています。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

ただいまｉモードメールが混みあっています　しばらくお待ちください(553)

- 回線が非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。

中断されました

- データ通信中にエラーが発生したため、通信を中断しました。

電池不足のためデータ情報を更新できません

- 電池残量がほとんど残っていない場合、microSDメモリーカードのマイドキュメントの[移行可能コンテンツ]に保存されているPDFデータにｉモードしおり/マークを追加できません。

同一のトルカが存在するので取得できません

- 重複チェック設定が[行なう]に設定されているときは、取得済みのトルカを取得できません。(P.261)

同時起動できない機能が起動中です

- マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してからもう一度操作を行ってください。(P.353)

同時に通話できる人数4人を超えています

- 5人以上のメンバーを選んで発信した場合に表示されます。メンバーを4人以内に選択し直してから、再度発信してください。

登録外着信拒否設定中です

- 登録外着信拒否が設定されています。登録外着信拒否を解除してからもう一度操作を行ってください。(P.146)

登録中です　しばらくしてからご利用ください(554)

- ｉモードへのユーザ登録中です。しばらく待って操作し直してください。

登録できるサービスがいっぱいです　上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります　上書きしますか

- 登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。[はい]を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

な

入力データまたはURLが長すぎます

- 入力した文字数が多いため、送信できません。文字数を減らしてもう一度送信してください。

入力データをご確認ください(205)

- 入力した内容が間違っています。入力した内容を確認してください。

認証タイプに未対応です(401)

- 認証タイプに未対応のため、サイトやインターネットホームページなどに接続できません。

認証に失敗しました

- 認証パスワードの照合に失敗しました。もう一度認証パスワードを同じに設定して操作を行ってください。(P.329、330、332、333)
- 赤外線通信、ｉC通信でデータを送受信するときに接続先と認証タイプ(1件/全件)が違っています。認証タイプ(1件/全件)を同じに設定してください。(P.329、330、332、333)

は

パーソナルデータロック中です

- パーソナルデータロックが設定されています。パーソナルデータロックを解除してからもう一度操作を行ってください。(P.137)

非対応のmicroSDです

- FOMA端末に非対応のmicroSDメモリーカードが装着されています。FOMA端末対応のmicroSDメモリーカードを装着してください。(P.307)

表示可能なファイルはありません

- 音楽付スライドショーではJPEG画像のみ表示できます。JPEG画像を保存するか、JPEG画像が保存されている別のフォルダを指定してください。
- 画像にFOMAカード動作制限機能が設定されています。画像を取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。(P.36)

ファイル番号がいっぱいです リセットしてください

- microSDメモリーカードに保存するときに付加される画像のファイル番号が最大値（999-9999）に達しています。ファイル番号リセットを行ってください。（P.181）

フォーマットが必要です

- microSDメモリーカードが正しくフォーマットされていません。FOMA端末でmicroSDメモリーカードをフォーマットしてください。（P.313）

保存期限が過ぎたためファイルを受信できません（492）

- ユーザ取得型添付ファイルの保存期限が過ぎたため、ファイルを取得できません。

保存できませんでした

- 画像、音楽データ、iアプリの保存に失敗しました。
- microSDメモリーカードへの保存に失敗しました。
- 赤外線通信、iC通信やパソコンなどとのデータ通信時にデータの受信に失敗しました。
- バーコードリーダーで読み取った画像またはメロディの保存に失敗しました。
- 着うたフル®を［オススメ設定］で着信音/アラーム音に設定できるのは10Mバイトまでのiモーションです。iモーションのサイズが10Mバイトを超えたため保存に失敗しました。

保存メールがいっぱいのため作成できません

- 保存メールが50件保存されているか、メモリの空き容量がありません。不要な保存メールを削除してください。（P.223）

ボタンロック設定中です

- ボタンロックが設定されています。ボタンロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.140）

本体メモリがわずかなため保存できない場合があります

- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しているため、編集する画像を保存できない場合があります。不要な画像を削除するか、microSDメモリーカードに移動してください。（P.312、321）

本体メモリに空き容量がありません

- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しているため、カメラで撮影する画像を保存できません。撮影画質や画像サイズを変更するか、不要な画像を削除してください。（P.159、178、321）
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しています。不要なデータを削除してください。（P.103、193、194、223、258、321、366、373）

本体メモリの空き容量がわずかです

- FOMA端末のメモリの空き容量が不足しています。撮影画質や画像サイズを変更するか、不要な画像を削除してください。（P.159、178、321）

ま

マイデータBでは利用できません

- Bモードの電話番号表示画面からプッシュトーク発信はできません。

マナーモード中です

- マナーモード中のため、音量を調節できません。マナーモードを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.116）

無効なデータを受信しました（XXX）

- サイトやインターネットホームページなどがiモードに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

無効な文字を削除しました

- 郵便番号に数字以外の文字は登録できないため、削除しました。

メールアドレスが未登録です

- 選択したブログサービスで投稿用メールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。（P.358）

メールセキュリティ中です

- メールセキュリティ設定が設定されています。メールセキュリティ設定を解除してからもう一度操作を行ってください。（P.142）

メモリに空きがありません

- 電話帳を1,000件登録しています。不要な電話帳のデータを削除してください。（P.103）
- スケジュールを300件登録しています。不要なスケジュールを削除してください。（P.366）
- 赤外線通信、iC通信でデータを送受信するときに、メモリに空きがなくデータを保存できません。
- メモリに空きがなく新しいデータを登録できません。不要なデータを削除してください。（P.326）

メモリ不足です

- メモリが不足したため、処理を中断します。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。

メモリ不足です　終了します

- メモリが不足したため、処理を終了します。

メモリ不足のため実行できません

- メモリが不足したため、機能を実行できません。

モード切替できません

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で通信中のため、microSDモード、MTPモードに切り替えることができません。

文字数オーバーのため送信できません

- メール本文の文字数がオーバーしているためメールを送信できません。文字数を減らしてください。

や

読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか

- 自動認識設定が［不可］に設定されています。（P.260）

英数字

FOMAカード情報が一致しないため起動できません

- 挿入しているFOMAカードとICカードの対応情報が異なるため起動できません。おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード/初回起動時に挿入していたFOMAカードを使用してください。

FOMAカード情報が一致しないため削除できません

- 挿入しているFOMAカードとICカードの対応情報が異なるため削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード/初回起動時に挿入していたFOMAカードを使用してください。

FOMAカード情報が一致しないためダウンロードできません

- 挿入しているFOMAカードとICカードの対応情報が異なるためダウンロードできません。おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード/初回起動時に挿入していたFOMAカードを使用してください。

FOMAカード(UIM)がいっぱいです

- FOMAカード内のSMSがいっぱいです。不要なSMSを削除してください。（P.223）

FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません

- FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルを取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。（P.36）

FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

- FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できませんでした。データやファイルを取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。（P.36）

FOMAカード(UIM)が挿入されていないためご利用できません

- FOMAカードが挿入されていないため操作できません。データやファイルを取得時に挿入していたFOMAカードを挿入して、もう一度操作を行ってください。（P.36）

FOMAカード(UIM)を挿入してください

- FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して操作を行ってください。（P.36）

ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには［はい］、ｉアプリの通信を終了して継続するには［いいえ］、ｉアプリを終了するには［終了］を選択します。

ｉアプリ利用を継続し通信を行いますか

- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには［はい］、ｉアプリの通信を終了して継続するには［いいえ］、ｉアプリを終了するには［終了］を選択します。

ｉアプリTo設定されていません

- ｉアプリTo設定が［許可しない］に設定されています。［許可する］に設定してからもう一度操作を行ってください。（P.241）

ｉモーション再生サイズを超えています

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できません。

ｉモーション再生サイズを超えました

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できません。
- 標準タイプのｉモーションを再生中に、受信したファイルサイズが500KBを超えたため、取得できません。

ｉモーション最大サイズを超えています

- データ量が最大サイズを超えたため、取得できません。

ｉモーション最大サイズを超えました

- ストリーミングタイプのｉモーションを再生中に、受信したファイルサイズが10MBを超えたため、取得できません。

ICカードアクセス中のため削除できません

- おサイフケータイ対応ｉアプリのICカード内データにアクセス中のため、削除できません。

ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか

- おサイフケータイ対応ｉアプリのICカード内データがいっぱいのため、ダウンロードできません。[はい]を選択すると、登録しているおサイフケータイのサービス名が表示されます。サービス名を選択し、おサイフケータイ対応ｉアプリとICカード内データを削除してください。

ICカード内データにエラーがあるため削除できません

- おサイフケータイ対応ｉアプリのICカード内データにエラーがあるため、削除できません。

ICカードロック中です

- ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してからもう一度操作を行ってください。（P.262）

microSDエラーです

- microSDメモリーカードのアクセス（読み込みなど）に失敗しています。microSDメモリーカードを取外して取付けし直してください。（P.307）再度、この表示が出た場合、microSDメモリーカードの故障が考えられます。

microSDに空き容量がありません

- microSDメモリーカードの空き容量が不足しているため、カメラで撮影する画像を保存できません。撮影画質や画像サイズを変更するか、不要な画像を削除してください。（P.159、178、321）
- microSDメモリーカードの空き容量が不足しています。不要なデータを削除してください。（P.103、193、194、223、258、321、366、373）

PINロック解除コードがロックされています

- PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口へお問い合わせください。（P.131）

SMSセンター設定を確認してください

- SMSC指定で設定した接続先が間違っています。接続先をお買い上げ時の「ドコモ」に設定してください。（P.236）

SSL通信が無効です

- サーバの認証エラーのため、接続できません。

SSL通信が無効に設定されています

- SSL証明書が［無効］に設定されています。SSL証明書を［有効］に設定してください。（P.198）

SSL通信を切断しました

- SSL通信中にサイト証明書に問題があり、SSL通信を切断しました。

URLが正しくありません

- URL入力時、「http://」または「https://」が入力されていないか、間違っています。正しく入力してもう一度操作を行ってください。（P.191）
- URLにエラーがあるため、リンクを表示できません。

URLが長すぎて登録できません

- URLが半角256文字を超えているため、ブックマークに登録できません。（P.191）

αエラーが発生しました

- ｉアプリ実行中にエラーが発生しました。もう一度起動するか、エラー情報を確認してください。（P.250）

“○△□.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）

※ドメイン名は、送信先により表示が異なります。

- 回線が非常に混み合っています。しばらく待って操作し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※ 本FOMA端末は、iモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.408）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったらまずチェック」をご覧になってお調べください。（P.444）

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は有料修理となります。

◎以下の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有料修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

◎部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◎お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによってリセット(クリア)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

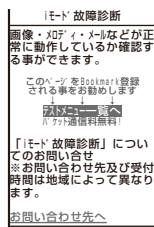
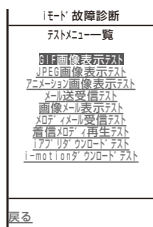
  使用箇所：受話口部、スピーカー、レンズカバー裏側上部、ジョグの両側
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理ができないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化・消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。
  本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードした画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかることや移し替えできない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[お知らせ]→[サービス・機能]→[ｉモード]→[ｉモード故障診断]

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料です。
  ※ 海外からのアクセスの場合は有料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が、自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する 〈ソフトウェア更新〉

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

自動更新	新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
即時更新	更新したいときにすぐに更新します。
予約更新	更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアを更新します。

● ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。(ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください)

ご利用にあたって

- 接続先選択を[ｉモード(FOMAカード)]以外に設定している場合もソフトウェアを更新できます。
- ソフトウェアを更新する場合は、電池を十分に充電してください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 日付時刻を設定していないとき
  - 「圏外」が表示されているとき
  - おまかせロック設定中
  - 電池残量が不足しているとき
  - 他の機能が動作中のとき
  - 通話中
  - セルフモード設定中
  - ボタンロック設定中(自動更新、予約更新は可能)
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - パソコンなど外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中はめざまし時計、スケジュールアラームは動作しません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。(ダウンロード中は音声着信が可能です)
- ソフトウェアを更新するときは、サーバ(当社のサイト)へSSL通信を行います。あらかじめSSL証明書を[有効]に設定してください。(お買い上げ時:[有効])(P.198)
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェアを更新してください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を[ON]に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するソフトウェア更新用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。この場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ソフトウェア更新を自動で行う（自動更新）

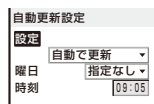
新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
書換え可能な状態になると、「 」が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えをするか選択できます。

1 メニューで[設定]→[管理]→[ソフトウェア更新]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、 （OK）を押す

- 入力した端末暗証番号は「****」で表示されます。
- お買い上げ時、端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 [自動更新設定]を選び を押す

4 [設定]に自動更新を行うかどうかを設定する

[自動で更新]　：ソフトウェアを自動的に更新します。
[更新の通知のみ]：ソフトウェア更新が必要なときに、待受画面に「 」（ソフトウェア更新通知）を表示します。
[設定しない]　：ソフトウェアを自動的に更新しません。

5 [曜日]にソフトウェア更新を行う曜日を設定する

[月〜日]、[指定なし]から選択します。

6 [時刻]にソフトウェア更新を開始する時刻を設定する

24時間制で入力します。

7 （完了）を押す

自動更新設定が設定されます。

自動更新設定を[設定しない]に設定した場合
　[はい]を選択します。

ソフトウェア更新情報を受信すると

2/ 1（金） 9:05 AM
ソフトウェア更新予告

自動更新設定を[自動で更新]に設定していると、待受画面に「 」（ソフトウェア更新予告）の通知情報アイコンが表示されます。

ソフトウェアの更新日時を確認する場合
　待受画面で （リンク）を押し、「 」を選択します。更新日時を変更したい場合は[時刻変更]を選択します。更新を開始する場合は[今すぐ書換え]を選択します。

自動更新設定を[更新の通知のみ]に設定していると、待受画面に「 」（ソフトウェア更新通知）の通知情報アイコンが表示されます。

ソフトウェア更新を起動する場合

待受画面で （リンク）を押して「 」を選択し、[はい]を選択します。

● ソフトウェア更新の通知情報アイコンは、ドコモから通知があった場合のみ表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

1 メニューで[設定]→[管理]→[ソフトウェア更新]を選び を押す

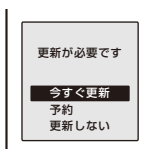
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

- 入力した端末暗証番号は「****」で表示されます。
- お買い上げ時、端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 [更新実行]を選び を押す

SSL通信が開始され、ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックします。

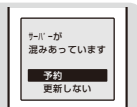
4 更新が必要なときは、更新するタイミングを選び を押す

[今すぐ更新]：ソフトウェアの更新を開始します。（即時更新）サーバが混みあっていると更新できないことがあります。

[予約]：ソフトウェア更新を開始する日時を予約します。（予約更新）

[更新しない]：ソフトウェア更新を開始しません。

更新の必要がない旨が表示される場合

ソフトウェアの更新は必要ありません。このままご利用ください。

● サーバが混みあっている場合、右の画面が表示されます。予約する場合は、[予約]を選択して予約日時を設定してください。

すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）

1 更新方法選択画面で[今すぐ更新]を選び を押す

しばらくすると、ダウンロードが開始されます。

- ダウンロードが開始されると、操作2は操作しなくても自動的に実行されます。

ダウンロードを中止する場合

ダウンロード中に （中止）を押します。

- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

2 ダウンロードが終了したら （OK）を押す

ソフトウェアの書換えが開始され、着信ランプが点灯します。書換え完了後、自動的にFOMA端末を再起動します。

- ソフトウェアの書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

● FOMA端末が再起動すると、待受画面に「 」（ソフトウェア更新完了）が表示されます。確認していただきたい情報がある場合は、「 」（ソフトウェア更新説明あり）が表示されます。アイコンを選択して通知情報を確認すると表示が消えます。

日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を開始する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

例：ソフトウェア更新を2月13日（水）1:05に予約する

1 更新方法選択画面で[予約]を選び を押す

予約候補一覧	
2/13（水）	1:05
2/13（水）	3:44
2/13（水）	4:18
2/13（水）	4:44
2/13（水）	5:28
2/13（水）	5:55
2/13（水）	6:23
2/13（水）	6:57
2/13（水）	7:15
2/13（水）	7:50
2/13（水）	8:27
2/13（水）	8:58

サーバと通信を行い、サーバの予約候補一覧を表示します。

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。

その他の日時を選択する場合

（その他）を押し、希望日、希望時間帯、希望時間を選択します。希望時間帯選択画面ではサーバの予約空き状況が、「○：空きあり」「△：空きわずか」「×：空きなし」と表示されます。

予約を中止する場合

（中止）を押します。

2 予約する日時→[はい]を選び を押す

サーバと通信を行い、予約を完了します。

予約時刻になると

左の画面が表示されます。約5秒後に自動的にソフトウェア更新が開始され、着信ランプが点滅します。

- 予約時刻前には、電波の十分届くところで待受画面を表示しておいてください。

- 他の機能を使用していると、予約時刻になっても開始しないことがありますのでご注意ください。
- 予約時刻と同じ時刻にめざまし時計/スケジュールアラームなどを設定している場合、ソフトウェア更新が優先され、アラームなどが鳴らないことがあります。
- 予約が完了したあとにデータ一括削除を行ったり、電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約を確認する

1 メニューで[設定]→[管理]→[ソフトウェア更新]を選び を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力し、 (OK)を押す

3 [更新実行]を選び を押す

2008/02/13(水)
1:05に
予約されています
OK
変更
取消

予約済みの場合は、予約内容が表示されます。

予約を変更する場合

[変更]を選択します。サーバと通信を行い、希望日時を選択します。

予約を取り消す場合

[取消]→[はい]を選択します。サーバと通信を行い、予約を取り消します。

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る 〈スキャン機能〉

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

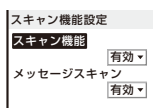
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータを削除したりアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。(P.463)
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により、端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する

データやプログラムを実行する際、自動的にチェックするかどうかを設定します。

1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[スキャン機能設定]を選び を押す

スキャン機能設定
スキャン機能
有効
メッセージスキャン
有効

[スキャン機能]　：スキャン機能を実行するかどうかを設定します。

[メッセージスキャン]：スキャン機能が[有効]の場合、SMSにスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

2 [スキャン機能]に[有効]を選択する

[有効]：スキャン機能を実行します。障害を引き起こすデータを検出した場合、5段階の警告レベルで表示します。

[無効]：スキャン機能を実行しません。

設定を変更した場合

[はい]を選択します。

3 [メッセージスキャン]に[有効]を選択する

[有効]：SMSにスキャン機能を実行します。本文に電話番号またはURLが含まれる場合、メッセージが表示されます。

[無効]：SMSにスキャン機能を実行しません。

設定を変更した場合

[はい]を選択します。

パターンデータを更新する

1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[パターンデータ更新]を選び ▤ を押す

2 [はい]→[はい]を選び ▤ を押す

パターンデータが最新の場合

パターンデータの更新は不要です。このままお使いください。

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバ(当社が管理するスキャン機能用サーバ)に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - 日付時刻を設定していないとき
  - 通話中
  - オールロック設定中
  - ボタンロック設定中
  - 他の機能が動作中のとき
  - 国際ローミング中
  - 「圏外」が表示されているとき
  - セルフモード中
  - おまかせロック設定中
  - FOMAカードを挿入していないとき
  - パソコンなど外部機器と接続中のとき
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動更新するかどうかを設定する

パターンデータの更新を自動的に行うかどうかを設定します。

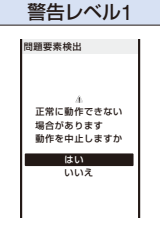
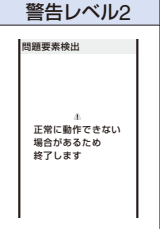
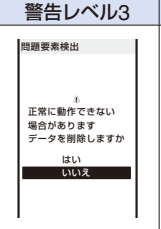
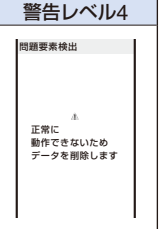
1 メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[自動更新設定]を選び ▤ を押す

[有効]：パターンデータを自動的に更新します。

[無効]：パターンデータを自動的に更新しません。

2 [有効]→[はい]→[はい]を選び ▤ を押す

自動更新設定が設定されます。

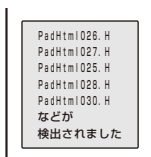
次ページにつづく

- 自動更新設定を[有効]に設定した場合、パターンデータの自動更新が完了すると、待受画面に「」(パターンデータ更新成功)が表示されます。パターンデータの自動更新に失敗した場合は、「」(パターンデータ更新推奨)が表示されます。アイコンを選択して通知情報を確認すると表示が消えます。
- 電池パックを外した状態または空の状態でFOMA端末をしばらく放置すると、日付時刻がリセットされ、自動更新が正しく動作しない場合があります。

スキャン結果の表示について

障害を引き起こすデータを検出した場合、警告画面が表示されます。

■スキャン結果の表示

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
問題要素検出 正常に動作できない 場合があります	問題要素検出 正常に動作できない 場合があります 動作を中止しますか はい いいえ	問題要素検出 正常に動作できない 場合があるため 終了します	問題要素検出 正常に動作できない 場合があります データを削除しますか はい いいえ	問題要素検出 正常に 動作できないため データを削除します
処理を継続します。	処理を中止するかどうかを確認します。	処理を中止します。	処理を中止し、対象データを削除するかどうかを確認します。	処理を中止し、対象データを削除します。

■検出された問題要素の表示

警告画面で(i)(詳細)を押すと、問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。

パターンデータのバージョンを表示する

1 **メニューで[設定]→[管理]→[スキャン機能]→[バージョン表示]を選び を押す**

主な仕様

■本体

品名			FOMA SO905iCS
サイズ			高さ113mm×幅50mm×厚さ24mm（閉じているとき）
質量			約145g（電池パック装着時）
連続待受時間	ネットワーク	3G/GSM切替	
	FOMA/3G	3G	移動時：約380時間
		自動	移動時：約360時間 静止時：約520時間
	GSM	自動	静止時：約290時間
連続通話時間	ネットワーク	3G/GSM切替	
	FOMA/3G	3G	音声電話時　：約220分 テレビ電話時：約120分
		自動	
	GSM	自動	音声電話時：約230分
充電時間			ACアダプタ：約140分
			DCアダプタ：約140分
液晶部	方式		ディスプレイ：TFT 1,677万色
	サイズ		ディスプレイ：約2.7inch
	画素数		ディスプレイ：414,720画素（480ドット×864ドット）
撮像素子	種類		インカメラ：CMOS
			アウトカメラ：CMOS
	サイズ		インカメラ：1/10inch
			アウトカメラ：1/3.2inch
	有効画素数		インカメラ：約32万画素
			アウトカメラ：約510万画素
カメラ部	記録画素数		インカメラ：約31万画素
			アウトカメラ：約500万画素
	ズーム		インカメラ：ズームできません。
			アウトカメラ：最大約48.0倍 （光学ズーム：約3.0倍×デジタルズーム：約16.0倍）
記録部	静止画記録枚数		約2,500枚（データBOXの場合）※1
	静止画連続撮影		4枚
	静止画ファイル形式		JPEG
	動画録画時間		データBOXの場合：約434秒※2 microSDメモリーカード（64MB）の場合：約60分※3
	動画ファイル形式		MP4
音楽再生	連続再生時間		ｉモーション：約420分 着うたフル®：約780分※4 WMA：約840分※4 Music&Videoチャネル：約1,140分（音声）※4、約330分（動画）
保存容量	着うた®/着うたフル®		約300.6MB

※1 画像サイズ：［QCIF（176×144ドット）］　撮影画質：［スタンダード］　ファイルサイズ：19Kバイト

※2 下記の条件で保存できる動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ：［sQCIF（128×96ドット）］　撮影種別：［映像＋音声］
撮影画質：［スタンダード］　ファイルサイズ制限：メール添付（大）

※3 下記の条件で保存できる動画1件あたりの最大録画時間
画像サイズ：[sQCIF(128×96ドット)]　撮影種別：[映像＋音声]
撮影画質：[スタンダード]　ファイルサイズ：制限なし

※4 バックグラウンド再生対応

■電池パック

品名	電池パック SO02
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.7V
公称容量	870mAh

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1,000	－
スケジュール		最大300	－
テキストメモ		最大10	－
メール（ｉモードメールとSMSの合計）	受信メール※2	最大1,000	最大500
	送信メール※2	最大500	最大250
	保存メール※2	最大50	－
	エリアメール※2	最大30	－
	テンプレート※3	最大50	－
メッセージ	メッセージR	最大20	最大20
	メッセージF	最大20	最大20
ブックマーク	ｉモード	最大200	－
	フルブラウザ	最大200	－
画面メモ※4		最大100	最大50
ｉアプリ※2※3		最大100（メール連動型ｉアプリ最大5件を含む）	－
画像※2※5		最大2,500	－
Music&Videoチャネル(配信番組)※2		最大2	－
Music&Videoチャネル(再保存番組)※2		最大10	－
動画/ｉモーション※2※6		最大150	－
メロディ※2※6		最大200	－
キャラ電※2※6		最大50	－
PDFデータ※2※3		最大50	－
きせかえツール※2※6		最大50	－
トルカ		最大100	－
ブログ投稿サービス情報ファイル		最大22	－

※1 50件までFOMAカードに保存できます。

※2 実際の保存・登録可能件数は、データにより少なくなることがあります。

※3 お買い上げ時に登録されているデータを含みます。

※4 実際の保存・登録可能件数、保護件数は、データにより少なくなることがあります。

※5 お買い上げ時に登録されているデコメ絵文字、お買い上げ時に[スーパーモンキーボール]フォルダに登録されている画像を含みます。

※6 お買い上げ時に登録されているデータを含みません。

携帯電話機の比吸収率などについて

★Mobile Phone GSM/GPRS 900/1800/1900＆UMTS JP/EU

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FOMA SO905iCSの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA SO905iCSのSARの値は0.424W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
　http://www.SonyEricsson.co.jp/product/SAR/

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The SO905iCS mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

次ページにつづく

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.

The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.62 W/kg*, and when worn on the body is 0.26 W/kg* for speech and 0.35 W/kg* for data calls. Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Ericsson accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.

**Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID PY7A3624021 Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

* *In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.*

** *This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.*

Europe

This mobile phone model SO905iCS has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 1.01 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) Exposure and SAR

Your mobile phone is a low-power radio transmitter and receiver.
When it is turned on, it emits low levels of radio frequency energy (also known as radio waves or radio frequency fields).

Governments around the world have adopted comprehensive international safety guidelines, developed by scientific organizations, e.g. ICNIRP (International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection) and IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers Inc.), through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure for the general population. The levels include a safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health, and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level of the mobile phone while operating can be well below this value. This is because the mobile phone is designed to use the minimum power required to reach the network.

Variations in SAR below the radio frequency exposure guidelines do not mean that there are variations in safety. While there may be differences in SAR levels among mobile phones, all Sony Ericsson mobile phone models are designed to meet radio frequency exposure guidelines.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (that is, at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. For body worn operation, this phone has been tested and meets FCC RF exposure guidelines when the handset is positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when used with the original Sony Ericsson body worn accessory intended for this phone. Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.

SAR information for this mobile phone model is included with the material that comes with this mobile phone. This information can also be found, together with more information on radio frequency exposure and SAR, on:
www.sonyericsson.com

次ページにつづく

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please read this information before using your mobile phone.

These instructions are intended for your safety. Please follow these guidelines. If the product has been subject to any of the conditions listed below or you have any doubt as to its proper function make sure you have the product checked by a certified service partner before charging or using it. Failure to do so might entail a risk of product malfunction or even a potential hazard to your health.

Recommendations for safe use of product (mobile phone, battery, charger and other accessories)

- ☐ Always treat your product with care and keep it in a clean and dust-free place.
- ☐ **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- ☐ Do not expose your product to liquid or moisture or humidity.
- ☐ Do not expose your product to extremely high or low temperatures. Do not expose the battery to temperatures above +35°C (+95°F).
- ☐ Do not expose your product to open flames or lit tobacco products.
- ☐ Do not drop, throw or try to bend your product.
- ☐ Do not paint your product.
- ☐ Do not attempt to disassemble or modify your product.
- ☐ Do not close your product with an object inserted between keypad and display if you have a clamshell phone; this may damage your product.
- ☐ Do not use your product near medical equipment without requesting permission from your treating physician or authorized medical staff.
- ☐ Do not use your product when in, or around aircraft, or areas showing the sign “turn off two-way radio”.
- ☐ Do not use your product in an area where a potentially explosive atmosphere exists.
- ☐ Do not place your product or install wireless equipment in the area above an air bag in your car.
- ☐ **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.

CHILDREN

KEEP OUT OF CHILDRENS REACH. DO NOT ALLOW CHILDREN TO PLAY WITH YOUR MOBILE PHONE OR ITS ACCESSORIES. THEY COULD HURT THEMSELVES OR OTHERS, OR COULD ACCIDENTALLY DAMAGE THE MOBILE PHONE OR ACCESSORY. YOUR MOBILE PHONE OR ITS ACCESSORY MAY CONTAIN SMALL PARTS THAT COULD BECOME DETACHED AND CREATE A CHOKING HAZARD.

Power supply (Charger)

Connect the AC power adapter only to designated power sources as marked on the product. Make sure the cord is positioned so that it will not be subjected to damage or stress. To reduce risk of electric shock, unplug the unit from any power source before attempting to clean it. The AC power adapter must not be used outdoors or in damp areas. Never alter the cord or plug.

Battery

We recommend that you fully charge the battery before you use your mobile phone for the first time. A new battery or one that has not been used for a long time could have reduced capacity the first few times it is used. The battery should only be charged in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F).

Use only original batteries intended for use with your mobile phone. Using other batteries and chargers could be dangerous.

Talk and standby times depend on several different conditions such as signal strength, operating temperature, application usage patterns, features selected and voice or data transmissions when the mobile phone is being used.

Turn off your mobile phone before removing the battery. Do not put the battery into your mouth. Battery electrolytes may be toxic if swallowed. Do not let the metal contacts on the battery touch another metal object. Doing this could short-circuit and damage the battery. Use the battery for the intended purpose only.

Personal medical devices

Mobile phones may affect the operation of pacemakers and other implanted equipment. Please avoid placing the mobile phone over the pacemaker, e.g. in your breast pocket. When using the mobile phone, use it at the ear on the opposite side of the body to the pacemaker. If a minimum distance of 22 cm (8.7 inches) is kept between the mobile phone and the pacemaker, the risk of interference is limited. If you have any reason to suspect that interference is taking place, immediately turn off your mobile phone. Contact your medical doctor for more information.

For other medical devices, please consult your physician and the manufacturer of the device.

Driving

Please check if local laws and regulations restrict the use of mobile phones while driving or require drivers to use handsfree solutions.

For the use of mobile phones in the vehicle, please follow instructions from vehicle manufacturers.

Always pay full attention to driving and pull off the road and park before making or answering a call if driving conditions so require.

次ページにつづく

Emergency calls

Mobile phones operate using radio signals, which cannot guarantee connection in all conditions. You should therefore never rely solely upon any mobile phone for essential communications (e.g. medical emergencies).

Emergency calls may not be possible in all areas, on all cellular networks, or when certain network services and/or mobile phone features are in use. Check with your local service provider.

Efficient use

Hold your mobile phone as you would any other phone. Do not cover the hinge area when the phone is in use, as this affects call quality and may cause the phone to operate at a higher power level than needed, thus shortening talk and standby times.

Disposal of old electrical and electronic equipment

This symbol indicates that all electrical and electronic equipment included shall not be treated as household waste. Instead it shall be left at the appropriate collection point for recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Disposing of the battery

Please check local regulations for disposal of batteries or call your local Sony Ericsson Call Center for information.

The battery should never be placed in municipal waste. Use a battery disposal facility if available.

Memory Card

If your product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If your product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

WARNING:

If your device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on Memory Card Use

☐ Do not expose the memory card to moisture.
☐ Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
☐ Do not strike, bend, or drop the memory card.
☐ Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
☐ Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
☐ Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
☐ Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
☐ Check you have inserted the memory card correctly.
☐ Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
☐ We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
☐ Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

To safeguard your privacy and prevent information being accessible to a third party, you should erase all personal data before selling or disposing of the product. To delete personal data, perform a master reset, remove the memory card or format the media memory. DELETION OF MATERIAL FROM THE PHONE AND MEDIA MEMORIES DOES NOT ENSURE THAT SAID INFORMATION CANNOT BE RECOVERED BY A SUBSEQUENT USER. DoCoMo/SONY ERICSSON DOES NOT WARRANT AGAINST A SUBSEQUENT USER OF THE DEVICE ACCESSING YOUR INFORMATION AND DOES NOT ASSUME ANY RESPONSIBILITY FOR SUBSEQUENT DISCLOSURE OF SAID INFORMATION EVEN IF A MASTER RESET AND A MEDIA MEMORY FORMAT HAS BEEN PERFORMED. If you are concerned about such potential disclosure retain your device or secure its permanent destruction.

Accessories

DoCoMo recommends use of DoCoMo's original accessories for safe and efficient use of its products. Use of third-party accessories may decrease performance or pose a risk to your health or safety.

LOUDNESS WARNING:

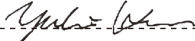
Please adjust the audio volume cautiously when using third-party audio accessories to avoid volume levels that may be harmful to your hearing. DoCoMo does not test use of third-party audio accessories with this mobile phone. DoCoMo recommends using only DoCoMo's original audio accessories.

FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following conditions :

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Declaration of Conformity for SO905iCS

We, Sony Ericsson Mobile Communications AB of Nya Vattentornet SE-221 88 Lund, Sweden declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type AAD-3624021-BV

and in combination with FOMA global AC charger 01(MODEL:MAS-BH0008-A 002), to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 511:V9.0.2, EN 301 908-1:V2.2.1, EN 301 908-2:V2.2.1, EN 301 489-24:V1.3.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-3:V1.4.1, EN 302 291-2:V1.1.1, and EN 60950-1:2006, following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment Directive 1999/5/EC

Lund, December 2007

CE0682

Signature

Yukio Kubota, Head of Product Business Unit JAPAN

われわれはR&TTE指令の要求事項を満たしています（1999/5/EC）
We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC)

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

索引/クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

本索引は「五十音順目次」として利用できます。各用語の下に、関連する用語をまとめています。
画面に表示される機能名称だけでなく、機能をまとめて用語を収録しています。

例： i アプリの音量を調節したいとき

あ

か

次ページにつづく

さ

た

次ページにつづく

な

は

ま

や

ら

英数字

次ページにつづく

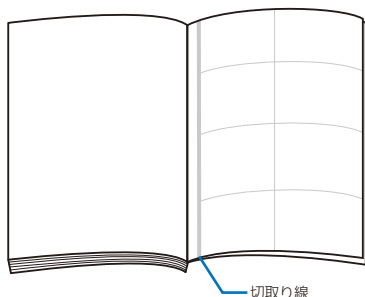
索引/クイックマニュアル

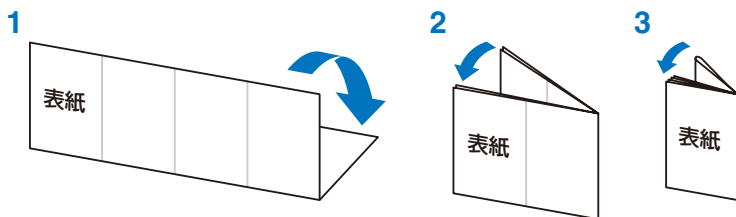
クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは、切取り線で切取り、下記のように折って携帯してください。
クイックマニュアル「海外利用編」は、海外で国際ローミング(WORLD WING)をご利用いただく際に携帯してください。

■切取りかた

切取り線でクイックマニュアルのページを切取ります。

■折りたたみかた

表紙面が見えるように、折り線にあわせて折りたたんでお使いください。

索引／クイックマニュアル

FOMA SO905iCS

クイックマニュアル

■ 総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

■ 故障お問い合わせ先
ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※ 一般電話などからはご利用できません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

文字入力 (P.382)

テキストメモ入力
あ
残510　漢カナAa12
機能 MENU　確定　文字 絵/記

※ 画面はイメージです。

① 入力可能な文字のバイト数
• 半角文字は1バイト、全角文字は2バイトになります。

② 文字モード/絵文字・記号モード

■ 文字モードの切替

(文字)
• 半角の場合：押すたびに[漢]→[ｶﾅ]→[Aa]→[12]の順に切り替わります。
• 全角の場合：押すたびに[漢]→[カ]→[A]→[1]の順に切り替わります。

■ 絵文字・記号モードの切替

(絵/記)
• 押すたびに[ランキング]→[絵文字]→[絵文字D]→[記号]の順に切り替わります。
[絵文字D]はメール本文入力画面、署名編集画面でのみ選択できます。

■ 全角/半角の切替

(機能)→[全角/半角切替]

■ 同じボタンに割り当てられた文字の連続入力

最初の文字を入力したあとで ▶ を押すか、少し待つとカーソルが移動

■ 文字の削除

CLR
• CLR を短く押すと、カーソル位置の文字が削除されます。カーソルが文末にあるときは、最後の文字が削除されます。
• CLR を1秒以上押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。カーソルが文末にあるときは、すべての文字が削除されます。

■ 文字の挿入

挿入する場所にカーソル移動し、入力

■ 文節の区切り変更

◀ ▶ でカーソル移動

■ 元に戻す

(機能)→[元に戻す]

FOMA端末電話帳登録 (P.95)

1 待受画面で ▼ (📖)→ (新規)

2 [本体メモリ]→

基本　詳細　設定
000
グループなし
一般電話
携帯メール1
OFF

FOMAカード電話帳に登録する場合
[FOMAカード(UIM)]を選択します。

3 基本画面の各項目を登録

4 ▶ →詳細画面の各項目を登録

5 ▶ →設定画面の各項目を登録

6 (完了)

■ 登録できる項目

- NAME：名前(必須)
  全角16文字/半角32文字以内で入力します。
- カナ：名前のフリガナ
  半角32文字以内で入力します。
- NO：メモリ番号
  000～999の範囲で入力します。
- GP：グループ
  20種類のグループから選択します。
- ：電話番号
  1件の電話帳につき3番号まで、1番号につき26桁以内で入力します。
- ：電話番号種別
  9つのアイコンから選択します。
- ：メールアドレス
  1件の電話帳につき3アドレスまで、1アドレスにつき半角の英数字・記号50文字以内で入力します。
- ：メールアドレス種別
  5つのアイコンから選択します。

- ：シークレットコード
  相手がメールアドレス(電話番号@docomo.ne.jp)に登録しているシークレットコードを4桁で入力します。
- ：シークレット登録
  電話帳のデータを表示するかどうかを選択します。
- ：指定発着信画像
  音声電話/テレビ電話発着信時、メール受信直後、電話帳1件表示時に表示する画像を選択または撮影します。
- ：位置情報
  位置情報を付加します。
- ：郵便番号
  半角数字7桁以内で入力します。
- ：住所
  全角64文字/半角128文字以内で入力します。
- ：誕生日
  1900/01/01～2050/12/31の範囲で入力します。

- ：指定代替画像
  テレビ電話通話時に送信する代替画像を選択します。
- ：指定電話着信音
  音声電話/テレビ電話着信時に鳴動する着信音を選択します。
- ：指定メール着信完了音
  メール受信直後に鳴動する着信音を選択します。
- ：指定電話ランプ色
  音声電話/テレビ電話着信時に点滅するランプ色を選択します。
- ：指定メールランプ色
  メール受信直後に点滅するランプ色を選択します。

電話帳修正 (P.103)

1 電話帳でデータを選択→ (修正)

2 各項目を修正→ (完了)

切取り線

カメラ (P.155、170)

■ 静止画撮影

1 待受画面でレンズカバーをスライドして開く

カメラモードになります。

2 被写体を確認→［カメラ］(半押し)

白のフォーカス枠にあわせてピントが調節されます。ピントがあうと確認音が鳴ってフォーカス枠が緑に変わります。

3 ［カメラ］

シャッター音が鳴って静止画が撮影され、保存確認画面が表示されます。

4 ［メニュー］(保存)

静止画が保存されます。

■ 動画撮影

1 カメラモード画面で［メール］(機能)→[撮影モード]→[動画撮影]→［メニュー］

動画撮影画面に切り替わります。

2 被写体を確認→［カメラ］

撮影開始音が鳴って動画の撮影が開始されます。

3 撮影を終了するときは［カメラ］

撮影終了音が鳴って動画の撮影が終了し、保存確認画面が表示されます。

4 ［メニュー］(保存)

動画が保存されます。

音楽再生 (P.345)

例：アーティストを選んで再生する場合

1 メニューで[Music]→[ミュージックプレーヤー]→［メニュー］

2 [アーティスト]→［メニュー］

3 アーティスト→アルバムを選択→［メニュー］

4 音楽データを選択→［メニュー］(再生)

テレビ電話 (P.51、65)

■ テレビ電話発信

1 待受画面で電話番号入力→［ch］(テレビ電話)

2 通話を終了するときは［終話］

■ テレビ電話着信

1 電話がかかってきたら［通話］または［ch］(テレビ電話)

2 通話を終了するときは［終話］

■ 通話中の操作

ボタン操作	操　作
［メニュー］(自画像/代替)	カメラ画像/代替画像の切替
［ch］(カメラ切替)	インカメラ/アウトカメラの切替
［通話］(［スピーカー］)	ハンズフリーのON/OFF
［▶］/［◀］	アウトカメラのズームイン/ズームアウト

iモードメール作成・送信 (P.207)

1 待受画面で［メール］(メール)→[新規メール作成]

メール編集

宛先

題名

本文

入力したバイト数

2 [To]に宛先を入力

半角の英数字・記号50文字以内で入力します。

宛先を追加する場合

機能メニュー[宛先追加]→宛先種別(To/Cc/Bcc)を選択します。

追加した宛先を削除する場合

宛先にカーソルをあわせ、機能メニュー[宛先削除]→[はい]を選択します。

3 [Sub]に題名を入力

全角100文字/半角200文字以内で入力します。

4 [本文]に本文を入力

全角5,000文字/半角10,000文字以内で入力します。

5 ［i］(送信)

ファイル添付 (P.212)

1 メール編集画面で［メール］(機能)→[添付ファイル追加]→［メニュー］

[イメージ]、[iモーション]、[メロディ]、[トルカ]、[PDF]、[電話帳]、[マイデータ]、[スケジュール]、[Bookmark]、[その他]、[カメラ起動]から選択します。

2 ファイルの種類→フォルダ→ファイルを選択→［メニュー］

「」「」「」(緑)「」(橙)「」「」「」「」が表示されます。

3 メールを作成→［i］(送信)

iモード問合せ (P.216)

1 待受画面で［メール］(メール)(1秒以上)

問い合わせ結果が表示されます。

メール自動受信 (P.214)

1 メールを受信すると

「［メール］」が点滅します。

2 メールの受信が終了

受信したメールの件数が表示されます。

約15秒経過すると受信前の画面に戻ります。

マナーモード (P.69、70、116)

■ 公共モード(ドライブモード)設定/解除

待受画面で［#］(［車］)(1秒以上)

■ 公共モード(電源OFF)

設定 ［*］［2］［5］［2］［5］［1］＋［通話］

解除 ［*］［2］［5］［2］［5］［0］＋［通話］

内容確認 ［*］［2］［5］［2］［5］［9］＋［通話］

■ マナーモード設定/解除

待受画面で［マナー］(1秒以上)

切取り線

メニュー一覧（P.33、420）

■ メニューの選びかた

1 MENU（MENU）

■ メニューの切り替え

（メニュー切替）を押すたびに、きせかえメニュー→スタンダードメニュー→マイセレクトの順で切り替わります。

■ スタンダードメニュー一覧

- マイセレクト
- イメージング
  - カメラ
  - ムービー
  - ブログ投稿
  - 音楽付スライドショー
  - 待受ピクチャーギャラリー

- ｉモード
  - ｉMenu
  - Bookmark
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - Internet
  - ｉチャネル
  - メッセージR/F
  - ｉモード問合せ
  - ｉモード設定
  - フルブラウザ
- メール
  - 受信メール
  - 送信メール
  - 保存メール
  - 新規メール作成
  - WEBメール
  - SMS作成
  - テンプレート一覧
  - ｉモード問合せ
  - SMS問合せ

- （メール）
  - メール選択受信
  - メール設定
- ｉアプリ
  - ｉアプリ一覧
  - ｉアプリ設定
  - ｉアプリ実行情報
  - ｉアプリデータ（microSD）
- 電話
  - 電話帳
  - 履歴
  - プッシュトーク電話帳
  - 伝言メモ
- データBOX
  - マイピクチャ
  - ミュージック
  - Music&Videoチャネル
  - ｉモーション
  - メロディ
  - マイドキュメント
  - きせかえツール
  - キャラ電

- Music
  - ミュージックプレーヤー
  - Music&Videoチャネル
- おサイフケータイ
  - ICカード一覧
  - DCMX
  - トルカ
  - 設定
  - ｉモードで探す
- 電話番号表示
- LifeKit
  - バーコードリーダー
  - 赤外線受信
  - microSD
  - カメラ
  - ムービー
  - ライフタイムカレンダー
  - めざまし時計
  - スケジュール
  - テキストメモ
  - 電卓

- （LifeKit）
  - 電話帳お預かりサービス
  - GPS

設定		
	画面設定	待受画面設定
		照明設定
		省電力モード
		メニュー設定
		きせかえ設定
		アニメーション設定
		文字サイズ設定
	発着信通話	着信設定
		不在お知らせ
		テレビ電話設定
		発着信表示設定
		発着信補助
		通話設定
		通話品質
		イヤホン設定
		セルフモード
		メロディコール設定

（設定）		
	アプリケーション設定	ライフタイムカレンダー設定
		メール設定
		ｉモード設定
		ｉアプリ設定
		電話帳設定
		履歴設定
		プッシュトーク設定
		伝言メモ設定
		トルカ設定
		ICカード通知設定
		スケジュール設定
		文字入力設定
	ロック/セキュリティ	オールロック
		ICカードロック設定
		パーソナルデータロック
		シークレット表示
		ダイヤル発信制限
		着信許可/拒否
		登録外着信拒否
		非通知着信拒否

（設定）		
	管理	NWサービス
		日付時刻設定
		バイリンガル
		マナーモード設定
		本体音設定
		ジョグ設定
		本体スライド設定
		暗証番号変更
		FOMAカード設定
		スキャン機能
		ソフトウェア更新
		在圏状態
		電池残量
		本体情報
		USBモード設定
		リセット
		初期設定

留守番電話サービス（P.392）

■ サービス開始※

メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番サービス開始］→［開始］→［はい］→

■ サービス停止※

メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番サービス停止］→［はい］→

■ 新しいメッセージの再生※

メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［留守番電話］→［留守番メッセージ再生］→［はい］→

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

切取り線

キャッチホン（P.393）

■ サービス開始

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス開始]→[はい]→

■ サービス停止

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[キャッチホン]→[キャッチホンサービス停止]→[はい]→

転送でんわサービス（P.393）

■ サービス開始※

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス開始]→[開始]→[はい]→

■ サービス停止※

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送サービス停止]→[はい]→

■ 転送先電話番号の変更

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[転送でんわ]→[転送先変更]→転送先電話番号を入力→[設定]→

※ 2in1のモードがデュアルモードの場合、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。

番号通知お願いサービス（P.395）

■ サービス開始

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知お願い開始]→[はい]→

■ サービス停止

メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[番号通知お願いサービス]→[番号通知お願い停止]→[はい]→

ボタン操作一覧（P.26、27、28）

▲ ：待受画面でデータBOXを表示。
▼ ：待受画面で電話帳を表示。
◀ ：待受画面で着信履歴を表示。

▶ ：待受画面でリダイヤルを表示。
✉ ：待受画面でメールメニューを表示。待受画面で1秒以上押すとｉモード問合せ。
ｉ ：待受画面でｉモードメニューを表示。待受画面で1秒以上押すとｉアプリフォルダ一覧画面を表示。
MENU ：メニューを表示。
ch ：待受画面でチャネル一覧を表示。待受画面で1秒以上押すとミュージックプレーヤーを起動。
＊ ：待受画面で1秒以上押すとICカード機能をロック/解除。
＃ ：待受画面で1秒以上押すと公共モード（ドライブモード）を設定/解除。
マナー ：待受画面でマナーモード設定画面を表示。待受画面で1秒以上押すとマナーモードを設定/解除。
メモ ：待受画面で伝言メモ画面を表示。待受画面で1秒以上押すと伝言メモを設定/解除。

▶ ：待受画面で1秒以上押すと静止画/動画を表示/再生。
📷 ：カメラで撮影するときに押す。

FOMA端末から利用できるサービス（P.438）

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス※（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

※ 電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。

ディスプレイの見かた（P.30）

① ：電波受信レベル
② ：ｉモード中
：フルブラウザ中
③ ：圏外
self ：セルフモード設定中
EXT ：赤外線機能実行中/ｉC通信中
：赤外線リモコン使用中
④ ：SSLサイト表示中など
⑤ ：未読ｉモードメールあり/未読SMSあり/未読ｉモードメールと未読SMSあり
：ｉモードセンターにメールあり
：未読エリアメールあり
⑥ R/F ：未読メッセージR/Fあり

⑦ ：GPS位置提供中/GPS測位中
3G（青）/3G（赤）：3Gネットワーク接続中（パケット通信可）/（パケット通信不可）
GSM/GPRS ：GSMネットワーク接続中/GPRSネットワーク接続中
⑧ ：ｉアプリ（ｉアプリ待受画面）実行中/ｉアプリDX実行中
⑨ ：USBモード設定が通信モード
：USBモード設定がmicroSDモード
：USBモード設定がMTPモードで接続中
⑩ ：シークレット表示を[ON]に設定中
⑪ ：microSDメモリーカード装着中（挿入時アクセス準備中は点滅）
⑫ ：音声通話中/テレビ電話通話中/プッシュトーク通信中
⑬ ：起動中タスク1件/2件/3件以上（ミュージックプレーヤー再生中は が になります）
⑭ ：電池残量
⑮ 09:05 ：現在時刻（待受画面が表示されていないときに24時間表示）

⑯ ：電話着信バイブレータ設定中
：メール着信バイブレータ設定中
：電話着信とメール着信バイブレータ設定中
⑰ ：電話着信音量OFF
：メール着信完了音量OFF
：電話着信とメール着信完了音量OFF
⑱ ：マナーモード設定中（はピンク）
⑲ ：公共モード（ドライブモード）設定中
⑳ ：パーソナルデータロック設定中
：ダイヤル発信制限設定中
：パーソナルデータロックとダイヤル発信制限設定中
㉑ ：ICカードロック設定中
㉒ ：Music&Videoチャネル予約中
㉓ ：めざまし時計設定中
：スケジュールアラーム設定中
：めざまし時計とスケジュールアラーム設定中
㉔ ：伝言メモ設定中（未再生伝言メモあり）（は白、は水色）

㉕ ：テレビ伝言メモ設定中（未再生テレビ伝言メモあり）（は緑、は水色）
：ボタンロック設定中（ガイド表示に表示）

紛失時などの緊急連絡先

■ おまかせロック

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定/解除
0120-524-360（24時間受付）

■ その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

切取り線

Do Co Mo FOMA SO905iCS

クイックマニュアル「海外利用編」

■ 海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*(無料)**

＊ **一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。**

※ SO905iCSから、ご利用の場合は＋81-3-5366-3114でつながります。(「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***

＊ **滞在国内通話料などがかかる場合があります。**

● 主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、14をご覧ください。

■ 海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉
(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*(無料)**

＊ **一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。**

※ SO905iCSから、ご利用の場合は＋81-3-6718-1414でつながります。(「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

一般電話などからの場合
ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***

＊ **滞在国内通話料などがかかる場合があります。**

●主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.13、14をご覧ください。

1

海外で利用するための準備

■ ｉモードの設定

【日本で設定】

1 待受画面で [ｉ] →[ｉMenu]→[料金&お申込・設定]→[オプション設定]→[海外利用設定]→[ｉモード利用設定]→[利用する]→ｉモードパスワードを入力→[決定]→ [≡]

【海外で設定】

1 待受画面で [ｉ] →[ｉMenu] →[海外利用設定]→[ｉモード利用設定]→[利用する]→ｉモードパスワードを入力→[決定]→ [≡]

■遠隔操作の設定

【日本で設定】

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[遠隔操作設定]→[遠隔操作開始]→[はい]→ [≡]

2

【海外で設定】

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[遠隔操作設定(海外)]→[はい]→ [≡]

■時計の設定

1 メニューで[設定]→[管理]→[日付時刻設定]→[自動時刻時差補正]→[ON]→ [≡]

利用できるネットワーク

3Gローミング	利用可能
GSMネットワーク	利用可能
GPRSネットワーク	利用可能

3

海外で利用できるサービス (P.410)

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話 日本国内で利用している電話番号のまま、日本やその他の海外への国際電話、滞在国内への電話をかけることができます。	○	○	○
テレビ電話 海外の特定3G通信事業者ユーザやFOMAユーザと国際テレビ電話をかけることができます。	○	×	×
ｉモード 海外でもｉモードを利用できます。	○	×	○
ｉモードメール 日本国内で利用しているアドレスのまま、海外でもｉモードメールの送受信ができます。	○	×	○
SMS 日本国内で利用している電話番号のまま、海外でもSMSの送受信ができます。	○	○	○
ｉチャネル	○	○	○
データ通信(パケット通信)	○	×	○

4

ネットワークサーチ設定 (P.415)

例： 接続する通信事業者を手動で切り替える場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ネットワークサーチ設定]→ [≡]

[オート]：
自動的に他の通信事業者に接続します。

[マニュアル]：
通信事業者を手動で選択します。

[ネットワーク再検索]：
接続先の通信事業者を再検索します。

[優先ネットワーク設定]：
優先的に接続する通信事業者を設定します。

2 [マニュアル]→通信事業者を選択→ [≡]

優先ネットワーク設定 (P.416)

例： 通信事業者をリストから登録する場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ネットワークサーチ設定]→[優先ネットワーク設定]→ [≡]

5

2 [未登録]を選び [✉] (機能)

3 [リストから登録]→通信事業者を選択→ [≡]

4 ネットワーク通信方式→[はい]→ [≡]

帰国後の設定 (P.413)

お買い上げ時は、帰国後に本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークを検索してFOMAネットワーク(NTT DoCoMo, Inc)に接続するように設定されています。

■手動でFOMAネットワーク(NTT DoCoMo, Inc)に切り替える場合

1 メニューで[設定]→[管理]→[NWサービス]→[国際ローミング設定]→[ネットワークサーチ設定]→ [≡]

2 [マニュアル]→[NTT DoCoMo, Inc]→ [≡]

6

ディスプレイの見かた (P.413)

海外利用中は、接続しているネットワーク通信事業者名が待受画面に表示されます。

• 接続中のネットワークは次のアイコンで確認できます。

アイコン	ご利用のネットワーク
3G(青)	3Gネットワーク(パケット通信対応)
3G(赤)	3Gネットワーク(パケット通信非対応)
GSM	GSMネットワーク
GPRS	GPRSネットワーク

7

切取り線

滞在先で電話をかける（P.414）

■滞在国外（日本を含む）に電話をかける場合

1 待受画面で「＋」（0（1秒以上））－国番号－地域番号（市外局番）－相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください。（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）
- 日本に国際電話をかける場合は、国番号「81」を入力してください。

国番号設定に登録している国にかける場合
待受画面で電話番号を入力→（オプション）→［発信方法］→［音声電話］/［テレビ電話］を選択、［国番号］→国番号を選択→（発信）を押します。

電話帳に登録されている相手にかける場合
電話帳から相手を選び を押します。テレビ電話をかける場合は、相手を選び を押し、（テレビ電話）を押します。電話番号の先頭の「0」が、国際ダイヤルアシスト設定で自動付加設定した国番号に自動変換されて発信されます。

リダイヤル/着信履歴からかける場合
リダイヤル/着信履歴から相手を選び または（テレビ電話）を押します。

2

テレビ電話をかける場合
（テレビ電話）を押します。

■滞在国内に電話をかける場合

1 待受画面で電話番号を入力

- 同一市内への通話でも、必ず地域番号（市外局番）を付けてください。
- 相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、同じ滞在国内にいても国番号「81」を入力し、日本への国際電話として電話をかけてください。

2

テレビ電話をかける場合
（テレビ電話）を押します。

電話を受ける（P.414）

1 電話がかかってきたら

テレビ電話がかかってきた場合
 または（テレビ電話）を押します。（代替）を押すと代替画像で応答できます。

■日本から電話をかけてもらう場合
お客様の電話番号をダイヤル

■日本以外の国から電話をかけてもらう場合
国際アクセス番号－81－先頭の「0」を除いたお客様の電話番号をダイヤル

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作設定が必要になります。

■ローミングガイダンス設定（P.417）

- 日本国内で設定してください。

1 メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［ローミングガイダンス設定］→

■ローミング時着信規制（P.417）

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［国際ローミング設定］→［ローミング時着信規制］→

■留守番電話（海外）（P.418）

1 メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［国際ローミング設定］→［留守番電話（海外）］→

■転送でんわ（海外）（P.418）

1 メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［国際ローミング設定］→［転送でんわ（海外）］→

■ローミングガイダンス（海外）（P.418）

1 メニューで［設定］→［管理］→［NWサービス］→［国際ローミング設定］→［ローミングガイダンス（海外）］→［はい］→

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は以下の番号を使用してください。（2007年12月現在）

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

- この他の国番号および詳細については、ドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	スウェーデン	00
アメリカ合衆国	011	スペイン	00
アラブ首長国連邦	00	タイ	001
イギリス	00	台湾	002
イタリア	00	チェコ	00
インド	00	中国	00
インドネシア	001	デンマーク	00
オーストラリア	0011	ドイツ	00
オランダ	00	トルコ	00
カナダ	011	ニュージーランド	00
韓国	001	ノルウェー	00
ギリシャ	00	ハンガリー	00
シンガポール	001	フィリピン	00
スイス	00	フィンランド	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
フランス	00	香港	001
ブラジル	0041/0014	マカオ	00
ベトナム	00	マレーシア	00
ベルギー	00	モナコ	00
ポーランド	00	ルクセンブルク	00
ポルトガル	00	ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。（2007年11月現在）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	韓国	001
アメリカ合衆国	011	コロンビア	009
アルゼンチン	00	シンガポール	001
イギリス	00	スイス	00
イスラエル	014	スウェーデン	00
イタリア	00	スペイン	00
オーストラリア	0011	タイ	001
オーストリア	00	台湾	00
オランダ	00	中国	00
カナダ	011	デンマーク	00

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
ドイツ	00	ブルガリア	00
ニュージーランド	00	ペルー	00
ノルウェー	00	ベルギー	00
ハンガリー	00	ポルトガル	00
フィリピン	00	香港	001
フィンランド	990	マレーシア	00
フランス	00	南アフリカ	09
ブラジル	0021	ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失、盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用編」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「滞在国の国際電話アクセス番号（表1）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。

切取り線

「ドコモeサイト」では、住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ➡ 料金&お申込・設定 ➡ 各種手続き(ドコモeサイト)　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo(http://www.mydocomo.com/) ➡ 各種手続き(ドコモeサイト)

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容により、ご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

● **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

● **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

● **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

● **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

● レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気を付けましょう。
● 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定やFOMA端末から鳴る音を消去する設定など、便利な機能があります。
● **公共モード(ドライブモード/電源OFF)(P.69、70)**
● **マナーモード(P.115)/オリジナルマナーモード(P.117)**
● **バイブレータ(P.110)**
● **伝言メモ(P.72)**

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
● なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO905iCSから、ご利用の場合は＋81-3-5366-3114でつながります。（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書のP.412、413をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO905iCSから、ご利用の場合は＋81-3-6718-1414でつながります。（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書のP.412、413をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

再生紙を使用しています

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

'08.2 (2版)
3-285-486-**02**(1)

FOMA® SO905iCS
パソコン接続マニュアル

■パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA SO905iCSでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'08.1（1.1版）
A-CUL-100-**01**（1）

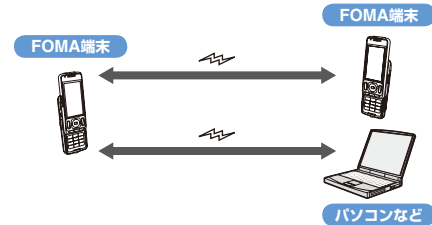
データ通信について

FOMA端末で利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送(OBEX™通信)の3つに分類されます。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarionⅡ」/「sigmarionⅢ」/「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarionⅡ」/「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 海外では、パソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。パケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません)

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

■ 赤外線通信、ｉC通信

■ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalink

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。(受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps)
パケット通信は、FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。

- パケット通信は、画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外では送受信ともに最大384kbpsとなります。
- ドコモのPDA「sigmarionⅢ」、「sigmarionⅡ」、「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。
64Kデータ通信は、FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料金

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS 64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト(ダイヤルアップネットワーク)でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのインターネットブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass(ユーザー証明書)が必要な場合、本CD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳細は本CD-ROM内の[FirstPassPCSoft]フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、本CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うためには、以下の条件が必要になります。(日本国内の場合)

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状態が悪い場合は通信ができないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
OS※1	Windows 2000 Professional、 Windows XP、 Windows Vista(各日本語版)
必要メモリ※2	Windows 2000 Professional：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color(65,536色)、解像度800×600ドット以上を推奨

※1 OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

- メニューが動作する推奨環境は以下のとおりです。

  Windows XP/Windows 2000 Professionalの場合
  Microsoft Internet Explorer 6.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は、マイコンピュータなどでCD-ROMを参照し、[index.html]をダブルクリックしてください。

  Windows Vistaの場合
  Microsoft Internet Explorer 7.0以降です。
  CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は、コンピュータなどでCD-ROMを参照し、[index.html]をダブルクリックしてください。

● CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
[はい]をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境によって異なることがあります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)
- 付属のCD-ROM「FOMA SO905iCS用CD-ROM」

● 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)の場合で説明しています。
● USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
● USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ 用語解説

● 管理者権限
Windows XP、Windows 2000 Professional、Windows Vistaのシステムのすべてにアクセスできる権限。1台のパソコンに最低1人は管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、管理者権限を持たないユーザーは、FOMA通信設定ファイルのインストールができません。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● APN(Access Point Name)
パケット通信で接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。たとえば「mopera U」の場合は、「mopera.net」がAPNです。

● cid(Context Identifier)
パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では、1から10までの10件を登録できます。

FOMA端末のお買い上げ時のcid登録

登録番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp(mopera)
2	未設定
3	mopera.net(mopera U)
4～10	未設定

●DNS(Domain Name System)
ドメインネーム(例:nttdocomo.co.jp)をコンピュータで使うIPアドレスに変換するシステム。

●QoS(Quality of Service)
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

●**通信設定最適化**
FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

データ転送(OBEX™通信)の準備と流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする(P.4)

- 付属のCD-ROMからインストール
  または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備と流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする(P.4)

- 付属のCD-ROMからインストール
  または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

パソコンとFOMA端末を接続する(P.4)

インストールしたFOMA通信設定ファイルを確認する(P.5)

FOMA PC設定ソフトを使用する場合

FOMA PC設定ソフトを使用しない場合

FOMA PC設定ソフトをインストールする(P.7、13)

接続先を設定する

パケット通信の場合	64Kデータ通信の場合
•「mopera U」または「mopera」(P.9、15) •その他のプロバイダ(P.9、15)	•「mopera U」または「mopera」(P.10、16) •その他のプロバイダ(P.11、17)

通信を実行する(P.11、17)

ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する(P.18)

接続先を設定する(P.18)

発信者番号通知/非通知を設定する(P.19)

ダイヤルアップネットワークの設定をする(P.19)

ダイヤルアップ接続する(P.23)

パソコンとFOMA端末を接続する

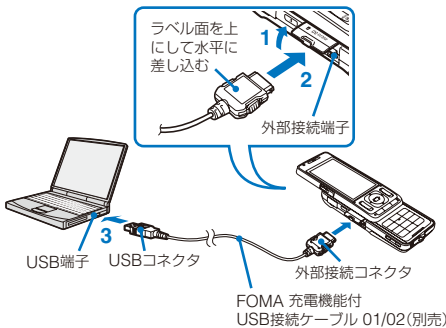
パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- FOMA端末のUSBモード設定は［通信モード］に設定してください。

1 外部接続端子カバーを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）の外部接続コネクタを「カチッ」と音がするまで差し込む

3 パソコンのUSB端子にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のUSBコネクタを接続する

パソコンとFOMA端末が接続され、FOMA端末に「」が表示されます。

■ 取外しかた

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02は必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜く

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取外すと、FOMA端末の画面から「」が消えます。

2 パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を引き抜く

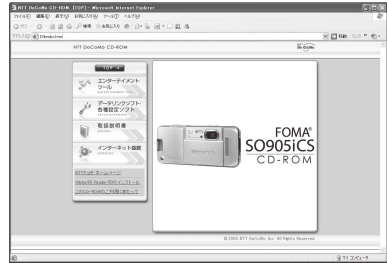
- データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02を取外さないでください。故障などの原因となります。
- FOMA端末に表示される「」は、FOMA通信設定ファイルのインストール前には表示されません。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）を使って接続し、データ通信を行うには、本CD-ROMからFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

Windows XPの場合

1 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）の［インストール］をクリックする

「SO905iCS_USB_Driver」フォルダが表示されます。

3 ［FOMAinst.exe］をダブルクリックする

FOMA SO905iCS USBドライバの使用許諾契約が表示されます。

4 内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は［同意する］をクリックする

パソコンとFOMA端末の接続確認画面が表示されます。

［同意しない］をクリックした場合
　インストールは中止されます。

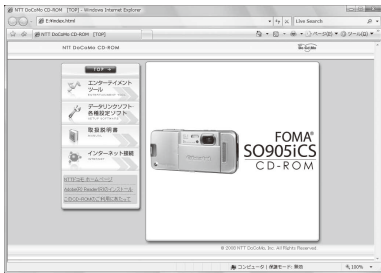
5 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02で接続する

［キャンセル］をクリックした場合
　インストールは中止されます。

6 ［完了］をクリックする

FOMAバイトカウンタをインストールする場合
　続けてインストールしてください。

Windows 2000 Professionalの場合

1 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→ FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）の［インストール］をクリックする

「SO905iCS_USB_Driver」フォルダが表示されます。

3 [FOMAinst.exe]をダブルクリックする

FOMA SO905iCS USBドライバの使用許諾契約が表示されます。

4 内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は[同意する]をクリックする

パソコンとFOMA端末の接続確認画面が表示されます。

[同意しない]をクリックした場合

インストールは中止されます。

5 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02で接続する

[キャンセル]をクリックした場合

インストールは中止されます。

6 [完了]をクリックする

FOMAバイトカウンタをインストールする場合

続けてインストールしてください。

Windows Vistaの場合

1 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)の[インストール]をクリックする

「SO905iCS_USB_Driver」フォルダが表示されます。

3 [FOMAinst.exe]をダブルクリックする

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

4 [許可]をクリックする

FOMA SO905iCS USBドライバの使用許諾契約が表示されます。

5 内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は[同意する]をクリックする

パソコンとFOMA端末の接続確認画面が表示されます。

[同意しない]をクリックした場合

インストールは中止されます。

6 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02で接続する

[キャンセル]をクリックした場合

インストールは中止されます。

7 [完了]をクリックする

FOMAバイトカウンタをインストールする場合

続けてインストールしてください。

インストールしたFOMA通信設定ファイルを確認する

FOMA通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

- FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使って、あらかじめ接続しておいてください。

Windows XP/Windows 2000 Professionalの場合

例： Windows XPの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]をクリックする

Windows 2000 Professionalの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]をダブルクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする

3 各デバイスをクリックし、インストールしたドライバ名を確認する

デバイスの種類	ドライバ名
ポート(COMとLPT)	• FOMA SO905iCS Command Port • FOMA SO905iCS OBEX Port
モデム	• FOMA SO905iCS
USB(Universal Serial Bus)コントローラ	• FOMA SO905iCS

- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vistaの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[システムとメンテナンス]→[デバイスマネージャ]をクリックする

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

2 [続行]をクリックする

3 各デバイスをクリックし、インストールしたドライバ名を確認する

デバイスの種類	ドライバ名
ポート(COMとLPT)	• FOMA SO905iCS Command Port • FOMA SO905iCS OBEX Port
モデム	• FOMA SO905iCS
ユニバーサルシリアルバスコントローラ	• FOMA SO905iCS

- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

FOMA通信設定ファイルをアンインストールする

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでアンインストールしてください。
- アンインストール開始前にパソコンからFOMA端末を取外してください。

Windows XP/Windows 2000 Professionalの場合

例： Windows XPの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]をクリックする

Windows 2000 Professionalの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 [FOMA SO905iCS USB]を選び、[変更と削除]をクリックする

削除確認画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする

FOMA通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 [OK]をクリックする

● インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA SO905iCS USB」が表示されないときは、次の操作を行ってください。

1. 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする
2. [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする
3. CD-ROMアイコンを右クリックし、[開く]をクリックする
4. CD-ROM内の「SO905iCS_USB_Driver」→「Drivers」→「Win2k_XP」フォルダを開く
5. [so905icsun.exe]をダブルクリックする

Windows Vistaの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムのアンインストール]をクリックする

2 [FOMA SO905iCS USB]を選び、[アンインストールと変更]をクリックする

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

3 [続行]をクリックする

削除確認画面が表示されます。

4 [はい]をクリックする

FOMA通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

5 [OK]をクリックする

● インストールに失敗したとき、または操作2の画面に「FOMA SO905iCS USB」が表示されないときは、次の操作を行ってください。

1. 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする
2. [スタート]→[コンピュータ]をクリックする
3. CD-ROMアイコンを右クリックし、[開く]をクリックする
4. CD-ROM内の「SO905iCS_USB_Driver」→「Drivers」→「WinVista32」フォルダを開く
5. [so905icsun.exe]をダブルクリックする

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。（P.18）

● かんたん設定

ガイドに従い操作することでFOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時に通信設定最適化の設定などを行います。

● 通信設定最適化

FOMAパケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。

通信性能を最大限に活用するには、通信設定の最適化が必要となります。

● 接続先(APN)の設定

パケット通信に必要な接続先(APN)の設定を行います。

FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号(cid)を接続先番号欄に指定して接続します。

- お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合は、接続先(APN)の設定が必要になります。

● FOMA PC設定ソフトVer.4.0.0以前の古いバージョン(以後旧FOMA PC設定ソフトと呼びます)がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

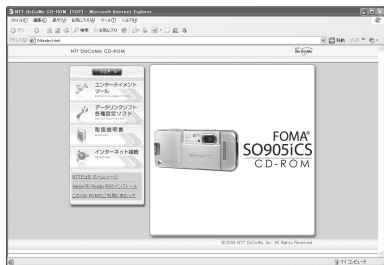
FOMA PC設定ソフトによる通信の設定(Windows XP/Windows 2000 Professionalの場合)

FOMA PC設定ソフトをインストールする

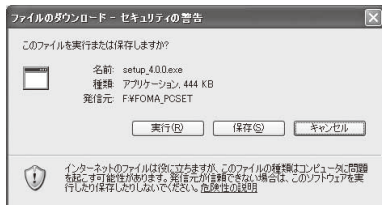
FOMA PC設定ソフトを使用する場合は、本CD-ROMからインストールしてください。

- FOMA PC設定ソフトをインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。
- インストール開始前に起動中のプログラムはすべて終了してください。
- FOMA端末のFOMA通信設定ファイルがパソコンに正しく設定されていることを確認してください。(P.5)

例： Windows XPの場合

1 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→ FOMA PC設定ソフトの[インストール]をクリックする

- [インストール]をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

「ファイルのダウンロード － セキュリティの警告」画面が表示された場合

[実行]をクリックしてください。

「Internet Explorer － セキュリティの警告」画面が表示された場合

[実行する]をクリックしてください。

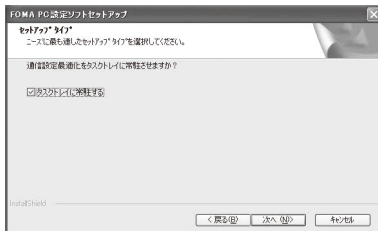
3 [次へ]をクリックする

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

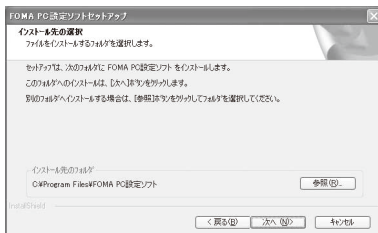
4 内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックした場合

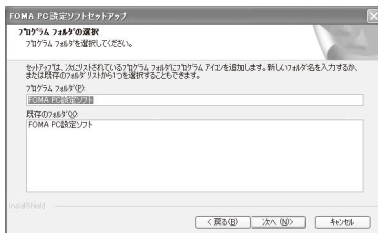
インストールは中止されます。

5 [タスクトレイに常駐する]にチェックし、[次へ]をクリックする

インストール後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。

- 「通信設定最適化」の常駐の設定は、インストール後に変更できます。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする

変更する場合

[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックします。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする

変更する場合

新規フォルダ名を入力し、[次へ]をクリックします。

8 [完了]をクリックする

インストールが完了すると、FOMA PC設定ソフトの操作画面が起動します。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

例： Windows XPの場合

1 起動中のプログラムを終了する

- 通信設定最適化ソフトを終了します。ウィンドウ右下のタスクトレイの[通信設定最適化ソフト]を右クリックし、[終了]をクリックします。
- FOMA PC設定ソフトを終了します。FOMA PC設定ソフト右下の[終了]をクリックします。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムの追加と削除]をクリックする

Windows 2000 Professionalの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

3 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選び、[削除]をクリックする

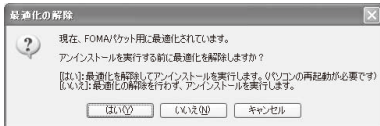
4 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする

アンインストールが実行され、プログラムが削除されます。

5 [完了]をクリックする

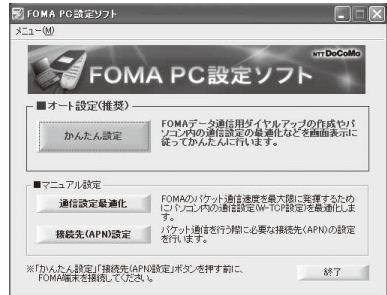
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

通信設定が最適化されている場合

下の画面が表示されます。通常は[はい]をクリックして最適化を解除してください。

各種設定前の準備

FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。(別途お申し込みが必要です)
また、今すぐに簡単にインターネットに接続したい方には、「mopera」が便利です。
お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続され、正しく認識されていることを確認してください。(P.4、5)

例： Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[FOMA PC設定ソフト]をクリックする

Windows 2000 Professionalの場合

[スタート]→[プログラム]→[FOMA PC設定ソフト]をクリックします。

かんたん設定(パケット通信)

- パケット通信は、画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

「mopera U」/「mopera」を利用する場合

- 「mopera」をご利用いただく場合、通信速度は送受信とも最大384kbpsまでとなります。

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする**

2 **[パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)]を選び、[次へ]をクリックする**

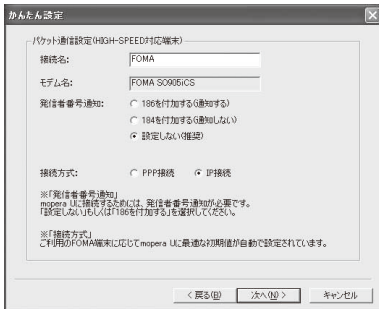
3 **[『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選び、[次へ]をクリックする**

[『mopera U』への接続]を選択したときは、ご契約の確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は[はい]をクリックしてください。

4 **[OK]をクリックする**

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 **[接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする**

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。
- 「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、発信者番号通知が必要です。[設定しない(推奨)]または[186を付加する(通知する)]を選択してください。
- 「mopera U」は[PPP接続]、[IP接続]両方に対応しています。海外で利用する場合は、[IP接続]を選択し、発信者番号通知は[設定しない(推奨)]を選択してください。
- 「mopera」は[PPP接続]のみに対応し、海外で利用することはできません。

6 **使用可能ユーザーを選び、[次へ]をクリックする**

[ユーザID]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

7 **[最適化を行う]をチェックし、[次へ]をクリックする**

「HIGH-SPEED対応端末の確認」画面が表示されます。

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

8 **[はい]をクリックする**

9 **設定情報を確認し、[完了]をクリックする**

10 **[OK]をクリックする**

- 操作7～8で最適化を行った場合は、パソコンを再起動する必要があります。

その他のプロバイダを利用する場合

1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする**

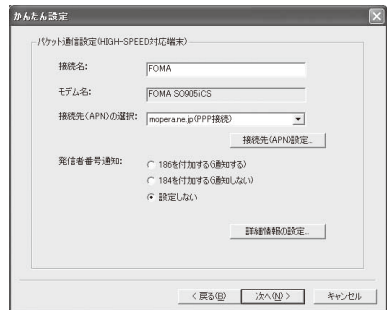
2 **接続方法に[パケット通信(HIGH-SPEED対応端末)]を選び、[次へ]をクリックする**

3 **接続先に[その他]を選び、[次へ]をクリックする**

4 **[OK]をクリックする**

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

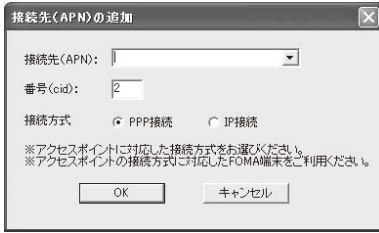
5 **[接続名]に接続名(任意の名前)を入力する**

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。
- 接続方式は[PPP接続]を選択してください。
- 海外で利用する場合は、[IP接続]を選択してください。
- アクセスポイントの接続方式によっては、接続できないことがあります。
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示に従ってください。

■高度な設定(TCP/IPの設定)

[詳細情報の設定]をクリックすると、[IPアドレス]、[ネームサーバー]の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

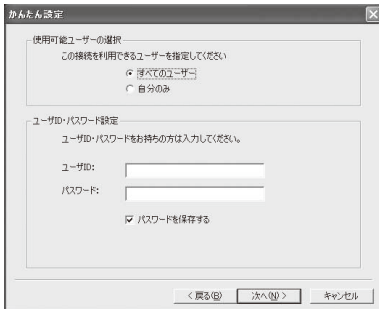
6 **[接続先(APN)設定]をクリックする**

7 **[追加]をクリックし、接続先(APN)を設定し、[OK]をクリックする**

cidは2または4～10に設定します。

8 **新しく設定した接続先(APN)を選び、[OK]をクリックする**

9 **[次へ]をクリックする**

10 **使用可能ユーザーを選び、[ユーザID]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする**

[ユーザID]、[パスワード]の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

11 **[最適化を行う]をチェックし、[次へ]をクリックする**

- すでに最適化されている場合、最適化を行うための確認画面は表示されません。

12 **設定情報を確認し、[完了]をクリックする**

13 **[OK]をクリックする**

- 操作11で最適化を行った場合は、再起動の確認画面が表示されます。[はい]をクリックします。

かんたん設定(64Kデータ通信)

「mopera U」/「mopera」を利用する場合

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

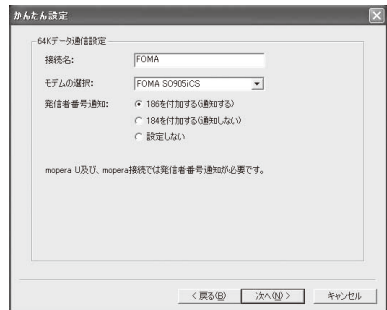
1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする**

2 **[64Kデータ通信]を選び、[次へ]をクリックする**

3 **[『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選び、[次へ]をクリックする**

[『mopera U』への接続]を選択したときは、ご契約の確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は[はい]をクリックしてください。

4 **[接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする**

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。
- [モデムの選択]が[FOMA SO905iCS]になっていない場合は、[FOMA SO905iCS]を選択します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続するためには、発信者番号通知が必要です。[186を付加する(通知する)]を選択してください。

5 **使用可能ユーザーを選び、[次へ]をクリックする**

[ユーザID]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

6 **設定情報を確認し、[完了]をクリックする**

7 **[OK]をクリックする**

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 接続方法に[64Kデータ通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 接続先に[その他]を選び、[次へ]をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力する

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示に従ってください。

[接続名]:
接続名(任意の名前)を入力します。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。

[モデムの選択]:
[FOMA SO905iCS]を選択します。

[電話番号]:
プロバイダ接続の電話番号を入力します。
- プロバイダから提供された情報を正確に入力してください。

■ 高度な設定(TCP/IPの設定)
[詳細情報の設定]をクリックすると、[IPアドレス]、[ネームサーバー]の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

5 [次へ]をクリックする

6 使用可能ユーザーを選び、[ユーザID]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする

[ユーザID]、[パスワード]の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

7 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

8 [OK]をクリックする

設定した通信を実行する

あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

例: Windows XPの場合

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

FOMA

通信が開始されます。

スタートメニューから起動する場合

Windows XP
[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックします。
Windows 2000 Professional
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックします。

2 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[ダイヤル]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

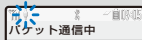
接続が実行されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信中はFOMA端末にアイコンが表示されます。

パケット通信中(データ送受信なし)

パケット通信中

パケット通信中(データ送受信中)

パケット送受信中

64Kデータ通信中

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するためには、以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

ダイヤルアップアイコン

2 [切断]をクリックする

接続が切断されます。

通信設定最適化

通信設定最適化ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最適化するための｢TCPパラメータ設定｣ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

- 海外でパソコン接続を行う場合は、通信設定最適化を解除してからご利用ください。

Windows XPの場合

ダイヤルアップごとに最適化設定が可能です。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[通信設定最適化]をクリックする

タスクトレイから操作する場合

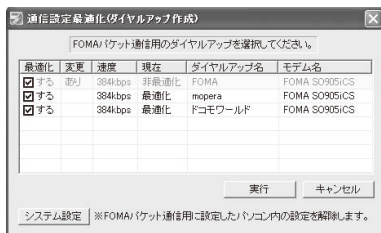
タスクトレイの｢ ｣をクリックします。

2 [FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)]または[FOMA端末(受信最大384kbps)]を選び、[最適化を行う]をクリックする

- HIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、[FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)]を選択します。｢HIGH-SPEED対応端末の確認｣画面で[はい]を選択すると、すべてのダイヤルアップ設定がHIGH-SPEED用に最適化されます。64Kデータ通信など、複数のダイヤルアップ設定がある場合はご注意ください。
- HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントを利用する場合は、[FOMA端末(受信最大384kbps)]を選択します。

システム設定が最適化されている場合

FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、最適化を解除する場合(P.12操作2～4)と同じ操作を行ってください。

3 最適化するダイヤルアップを選び、[実行]をクリックする

システム設定、ダイヤルアップ設定、それぞれの最適化が実行されます。

4 画面に従ってパソコンを再起動する

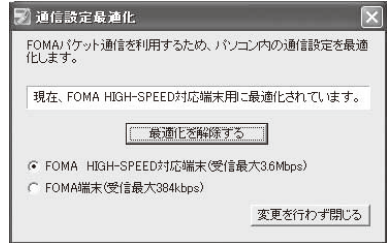
システム設定が最適化されます。

最適化を解除する場合

例： HIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用している場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[通信設定最適化]をクリックする

タスクトレイから操作する場合

タスクトレイの｢ ｣をクリックします。

2 [最適化を解除する]をクリックする

HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントを利用して、全体のダイヤルアップを解除する場合

[システム設定]をクリックし、[最適化を解除する]をクリックします。

HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントを利用して、個別にダイヤルアップを解除する場合

最適化を解除する接続先のチェックを外して、[実行]→[OK]をクリックしてください。

- 最適化解除を有効にするために、パソコンを再起動してください。

3 [OK]をクリックする

4 画面に従ってパソコンを再起動する

最適化の解除が有効になります。

Windows 2000 Professionalの場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[通信設定最適化]をクリックする

タスクトレイから操作する場合

タスクトレイの｢ ｣をクリックします。

2 [FOMA HIGH-SPEED対応端末(受信最大3.6Mbps)]または[FOMA端末(受信最大384kbps)]を選び、[最適化を行う]をクリックする

システム設定が最適化されている場合

｢現在、FOMA HIGH-SPEED対応端末用に最適化されています。｣と表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]をクリックしてください。

3 画面に従ってパソコンを再起動する

システム設定が最適化されます。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)の設定をします。あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[接続先(APN)設定]をクリックする

2 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

3 接続先(APN)を設定する

接続先(APN)を追加する場合
[追加]をクリックします。

接続先(APN)を編集(修正)する場合
接続先(APN)を選び、[編集]をクリックします。

接続先(APN)を削除する場合
接続先(APN)を選び、[削除]をクリックします。

- [cid1]と[cid3]に登録されている接続先(APN)は削除できません。([cid3]を選んで[削除]をクリックしても、実際には削除されず、[mopera.net]に戻ります)

ファイルへ保存する場合
[ファイル]メニュー→[上書き保存]/[名前を付けて保存]をクリックします。

ファイルから読み込む場合
[ファイル]メニュー→[開く]をクリックし、保存したファイルを選択します。

FOMA端末から接続先(APN)情報を読み込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末から設定を取得]をクリックします。

FOMA端末へ接続先(APN)情報を書き込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックします。

ダイヤルアップを作成する場合
接続先(APN)を選び、[ダイヤルアップ作成]をクリックします。画面の指示に従ってパケット通信用のダイヤルアップを設定してください。

- 接続先(APN)はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先(APN)を登録する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、同じ接続先(APN)の登録番号(cid)をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトによる通信の設定(Windows Vistaの場合)

FOMA PC設定ソフトをインストールする

FOMA PC設定ソフトを使用する場合は、本CD-ROMからインストールしてください。

- FOMA PC設定ソフトをインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA端末のFOMA通信設定ファイルがパソコンに正しく設定されていることを確認してください。(P.5)

1 「FOMA SO905iCS用CD-ROM」をパソコンにセットする

2 [データリンクソフト・各種設定ソフト]→ FOMA PC設定ソフトの[インストール]をクリックする

- [インストール]をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。

「ファイルのダウンロード ー セキュリティの警告」画面が表示された場合
[実行]をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

3 [続行]をクリックする

4 [次へ]をクリックする

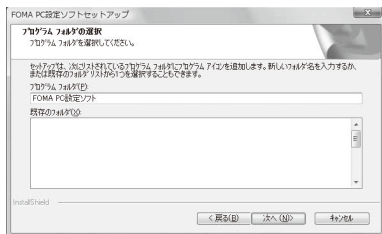
FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

5 内容をご確認の上、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする

[いいえ]をクリックした場合
インストールは中止されます。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする

変更する場合
[参照]をクリックし、任意のインストール先を指定して[次へ]をクリックします。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする

変更する場合
新規フォルダ名を入力し、[次へ]をクリックします。

8 [完了]をクリックする

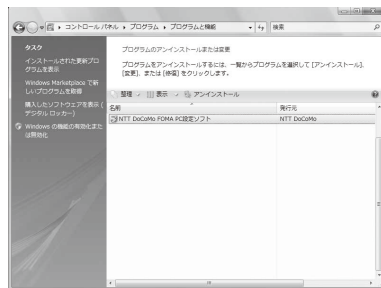
インストールが完了すると、FOMA PC設定ソフトの操作画面が起動します。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

1 起動中のプログラムを終了する

FOMA PC設定ソフトを終了します。FOMA PC設定ソフト右下の[終了]をクリックします。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムのアンインストール]をクリックする

3 [NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト]を選び、[アンインストール]をクリックする

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

4 [続行]をクリックする

削除確認画面が表示されます。

5 削除するプログラム名を確認し、[はい]をクリックする

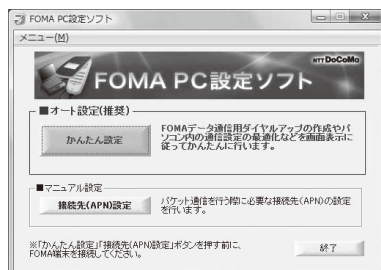
アンインストールが実行され、プログラムが削除されます。

6 [完了]をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

各種設定前の準備

FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応した「mopera U」のご利用をおすすめします。(別途お申し込みが必要です)
また、今すぐに簡単にインターネットに接続したい方には、「mopera」が便利です。
お客様の選択した「接続方法」および「接続プロバイダ」の情報に従い、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。
設定の前にFOMA端末がパソコンに接続され、正しく認識されていることを確認してください。(P.4、5)

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[FOMA PC設定ソフト]をクリックする

かんたん設定(パケット通信)

- パケット通信は、画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

「mopera U」/「mopera」を利用する場合

- 「mopera」をご利用いただく場合、通信速度は送受信とも最大384kbpsまでとなります。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 [パケット通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 [『mopera U』への接続]または[『mopera』への接続]を選び、[次へ]をクリックする

[『mopera U』への接続]を選択したときは、ご契約の確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は[はい]をクリックしてください。

4 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 [接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。
- 「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、発信者番号通知が必要です。[設定しない(推奨)]または[186を付加する(通知する)]を選択してください。
- 「mopera U」は[PPP接続]、[IP接続]両方に対応しています。海外で利用する場合は、[IP接続]を選択し、発信者番号通知は[設定しない(推奨)]を選択してください。
- 「mopera」は[PPP接続]のみに対応し、海外で利用することはできません。

6 [ユーザID]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする

[ユーザID]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

7 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

8 [OK]をクリックする

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 接続方法に[パケット通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 接続先に[その他]を選び、[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 [接続名]に接続名(任意の名前)を入力する

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。
- 接続方式は[PPP接続]を選択してください。
- 海外で利用する場合は、[IP接続]を選択してください。
- アクセスポイントの接続方式によっては、接続できないことがあります。
- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示に従ってください。

■高度な設定(TCP/IPの設定)

[詳細情報の設定]をクリックすると、[IPアドレス]、[ネームサーバー]の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

6 [接続先(APN)設定]をクリックする

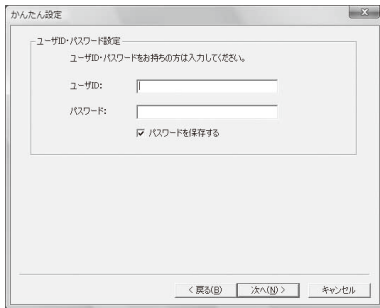
7 **［追加］をクリックし、接続先(APN)を設定し、［OK］をクリックする**

cidは2または4～10に設定します。

8 **新しく設定した接続先(APN)を選び、［OK］をクリックする**

9 **［次へ］をクリックする**

10 **［ユーザID］、［パスワード］を設定し、［次へ］をクリックする**

［ユーザID］、［パスワード］の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

11 **設定情報を確認し、［完了］をクリックする**

12 **［OK］をクリックする**

かんたん設定(64Kデータ通信)

「mopera U」/「mopera」を利用する場合

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

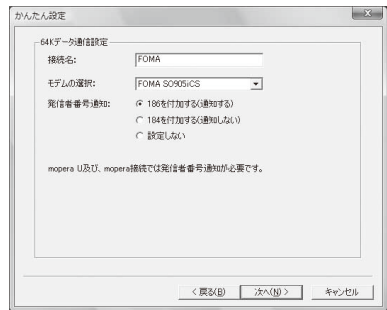
1 **FOMA PC設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする**

2 **［64Kデータ通信］を選び、［次へ］をクリックする**

3 **［『mopera U』への接続］または［『mopera』への接続］を選び、［次へ］をクリックする**

［『mopera U』への接続］を選択したときは、ご契約の確認画面が表示されます。ご契約がお済みの場合は［はい］をクリックしてください。

4 **［接続名］に接続名(任意の名前)を入力し、［次へ］をクリックする**

- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「”」「!」は入力できません。
- ［モデムの選択］が［FOMA SO905iCS］になっていない場合は、［FOMA SO905iCS］を選択します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続するためには、発信者番号通知が必要です。［186を付加する(通知する)］を選択してください。

5 **［ユーザID］、［パスワード］を設定し、［次へ］をクリックする**

［ユーザID］、［パスワード］は空欄でも接続できます。

6 **設定情報を確認し、［完了］をクリックする**

7 **［OK］をクリックする**

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[かんたん設定]をクリックする

2 接続方法に[64Kデータ通信]を選び、[次へ]をクリックする

3 接続先に[その他]を選び、[次へ]をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力する

- 発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示に従ってください。

[接続名]:
接続名(任意の名前)を入力します。
- 半角の「¥」「/」「:」「*」「?」「<」「>」「|」「"」「!」は入力できません。

[モデムの選択]:
[FOMA SO905iCS]を選択します。

[電話番号]:
プロバイダ接続の電話番号を入力します。
- プロバイダから提供された情報を正確に入力してください。

■ 高度な設定(TCP/IPの設定)
[詳細情報の設定]をクリックすると、[IPアドレス]、[ネームサーバー]の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に各種アドレスを登録してください。

5 [次へ]をクリックする

6 [ユーザID]、[パスワード]を設定し、[次へ]をクリックする

[ユーザID]、[パスワード]の設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

7 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

8 [OK]をクリックする

設定した通信を実行する

あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信が開始されます。

スタートメニューから起動する場合
[スタート]→[接続先]をクリックし、[表示]に[すべて]を選びます。接続するダイヤルアップを選び、[接続]をクリックします。

2 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[ダイヤル]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

自分以外のユーザーに接続を許可する場合
[次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する]をチェックし、[このコンピュータを使うすべてのユーザー]を選択します。

接続が実行されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信中はFOMA端末にアイコンが表示されます。

パケット通信中(データ送受信なし)

パケット通信中(データ送受信中)

64Kデータ通信中

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するためには、以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 接続しているダイヤルアップを選び、[切断]をクリックする

接続が切断されます。

ダイヤルアップアイコン

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)の設定をします。あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続してください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動し、[接続先(APN)設定]をクリックする

2 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。しばらくお待ちください。

3 接続先(APN)を設定する

接続先(APN)を追加する場合
[追加]をクリックします。

接続先(APN)を編集(修正)する場合
接続先(APN)を選び、[編集]をクリックします。

接続先(APN)を削除する場合
接続先(APN)を選び、[削除]をクリックします。

- [cid1]と[cid3]に登録されている接続先(APN)は削除できません。([cid3]を選んで[削除]をクリックしても、実際には削除されず、[mopera.net]に戻ります)

ファイルへ保存する場合
[ファイル]メニュー→[上書き保存] / [名前を付けて保存]をクリックします。

ファイルから読み込む場合
[ファイル]メニュー→[開く]をクリックし、保存したファイルを選択します。

FOMA端末から接続先(APN)情報を読み込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末から設定を取得]をクリックします。

FOMA端末へ接続先(APN)情報を書き込む場合
[ファイル]メニュー→[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックします。

ダイヤルアップを作成する場合
接続先(APN)を選び、[ダイヤルアップ作成]をクリックします。画面の指示に従ってパケット通信用のダイヤルアップを設定してください。

- 接続先(APN)はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先(APN)を登録する必要があります。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、同じ接続先(APN)の登録番号(cid)をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトを使わない通信の設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信を設定する方法について説明します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

接続先(APN)の設定

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。

- 64Kデータ通信の場合、パケット通信の接続先が「mopera U」または「mopera」の場合、設定不要です。

例： Windows XPの場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する

2 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]をクリックする

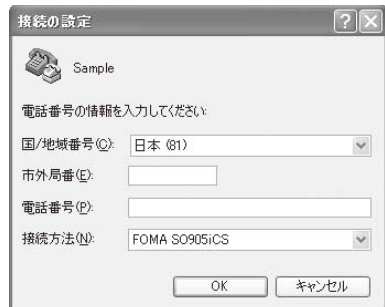
ハイパーターミナルが起動します。

Windows 2000 Professionalの場合
[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ハイパーターミナル]をクリックします。

Windows Vistaの場合
Windows Vistaではハイパーターミナルがサポートされなくなりました。他のターミナルソフトを使用して、同様の操作を行ってください。

3 [名前]に任意の名前を入力し、[OK]をクリックする

4 [電話番号]に実在しない電話番号(「0」など)を仮入力し、[接続方法]に「FOMA SO905iCS」を選択し、[OK]をクリックする

接続画面が表示されます。

5 [キャンセル]をクリックする

6 接続先(APN)を入力し、⏎を押す

入力形式

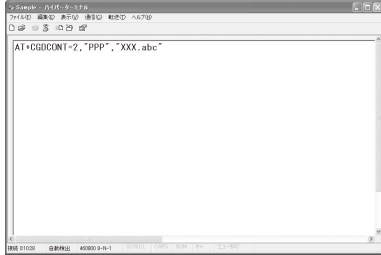
AT+CGDCONT=<cid>, "PPP", "APN"⏎

<cid>：2、4～10の登録番号を入力

"APN"：接続先の名称を" "で囲んで入力

入力したATコマンドが表示されない場合

「ATE1⏎」と入力してください。

接続先(APN)が設定されると、「OK」と表示されます。

7 [ファイル]メニュー→[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

ハイパーターミナルが終了します。

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、[はい]を選択してください。
- Windows XPの場合、「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。
- Windows 2000 Professionalの場合、「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

接続先(APN)をリセットする場合

入力形式

AT+CGDCONT=⏎(すべてのcidをリセットする場合)

AT+CGDCONT=<cid>⏎ (特定のcidのみリセットする場合)

現在の接続先(APN)を表示する場合

入力形式

AT+CGDCONT?⏎

発信者番号の通知/非通知の設定

発信者番号は、お客様の大切な情報です。通知する際には、十分にご注意ください。

- 「mopera U」または「mopera」を利用する場合は、発信者番号の通知が必要です。

1 接続先(APN)の設定(P.18)の操作1～5を行う

2 パケット通信時の発信者番号の通知/非通知を設定する

入力形式

AT＊DGPIR=<n>⏎

1：「184」(非通知)を付けます。

2：「186」(通知)を付けます。

入力したATコマンドが表示されない場合

「ATE1⏎」と入力してください。

発信者番号の通知/非通知が設定されると、「OK」と表示されます。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知/非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定(P.19)でも、接続先の番号に186(通知)/184(非通知)を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(<cid>=3の場合)	＊DGPIRコマンドによる設定		
	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

ダイヤルアップネットワークの設定

Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[新しい接続ウィザード]をクリックする

新しい接続ウィザード画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする

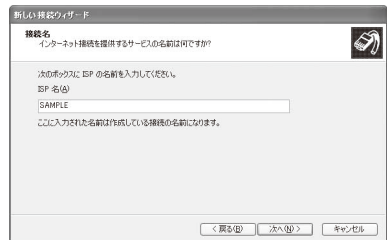
3 [インターネットに接続する]を選び、[次へ]をクリックする

4 [接続を手動でセットアップする]を選び、[次へ]をクリックする

5 [ダイヤルアップモデムを使用して接続する]を選び、[次へ]をクリックする

6 [モデム - FOMA SO905iCS]をチェックし、[次へ]をクリックする

- デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 [ISP名]に任意の名前を入力し、[次へ]をクリックする

8 [電話番号]に接続先番号を入力し、[次へ]をクリックする

パケット通信の場合

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

64Kデータ通信の場合

接続先の電話番号を入力します。

9 [ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードの確認入力]を入力し、[次へ]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

10 [完了]をクリックする

11 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする

12 作成した接続先アイコンを選び、[ファイル]メニュー→[プロパティ]をクリックする

13 [全般]タブの各項目を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続方法]で[モデム - FOMA SO905iCS]のみにチェックします。
- [ダイヤル情報を使う]のチェックを外します。

14 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目を確認し、[設定]をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は、[PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet]を選択します。
- [この接続は次の項目を使用します]は、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみをチェックします。[QoSパケットスケジューラ]は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする

16 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

Windows 2000 Professionalの場合

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックする

ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックする

所在地情報画面が表示されます。

- 2回目以降は、ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。操作5に進んでください。

3 [市外局番]に局番を入力し、[OK]をクリックする

電話とモデムのオプション画面が表示されます。

4 [OK]をクリックする

ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする

6 [インターネットにダイヤルアップ接続する]を選び、[次へ]をクリックする

7 [インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します]を選び、[次へ]をクリックする

8 [電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]を選び、[次へ]をクリックする

9 [インターネットへの接続に使うモデムを選択する]が[FOMA SO905iCS]になっていることを確認し、[次へ]をクリックする

- お使いになるパソコンの動作環境によっては、画面は表示されません。その場合は、操作10に進みます。

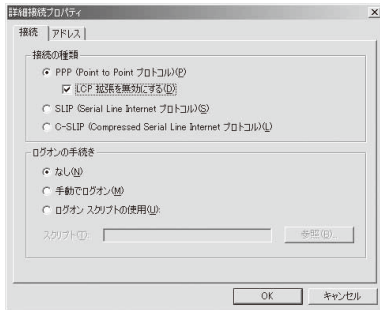
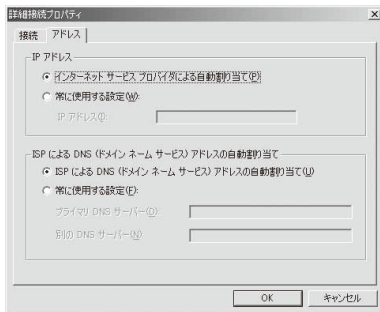
10 [電話番号]に接続先番号を入力し、[詳細設定]をクリックする

パケット通信の場合

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

64Kデータ通信の場合

接続先の電話番号を入力します。

11 [接続]タブの各項目を画面例のように設定する

12 [アドレス]タブをクリックし、各項目を画面列のように設定する

13 [OK]をクリックする

14 [次へ]をクリックする

15 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[次へ]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

16 [接続名]に接続名(任意の名前)を入力し、[次へ]をクリックする

17 [いいえ]を選び、[次へ]をクリックする

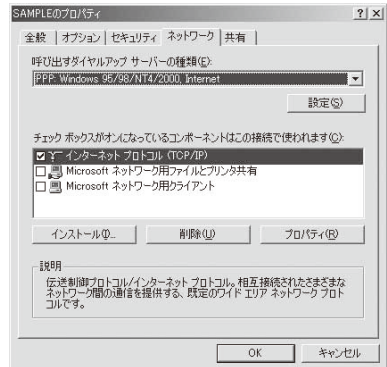
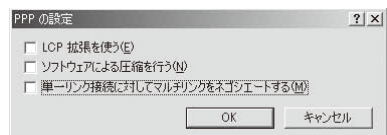
18 [今すぐインターネットに接続するにはここを選んで[完了]をクリックしてください]のチェックを外し、[完了]をクリックする

19 作成した接続先アイコンを選び、[ファイル]メニュー→[プロパティ]をクリックする

20 [全般]タブの各項目を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続方法]で[モデム - FOMA SO905iCS]のみにチェックします。
- [ダイヤル情報を使う]のチェックを外します。

21 [ネットワーク]タブをクリックし、各項目を確認し、[設定]をクリックする

- [呼び出すダイヤルアップサーバーの種類]は、[PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet]を選択します。
- コンポーネントは、[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のみをチェックします。

22 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする

23 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

Windows Vistaの場合

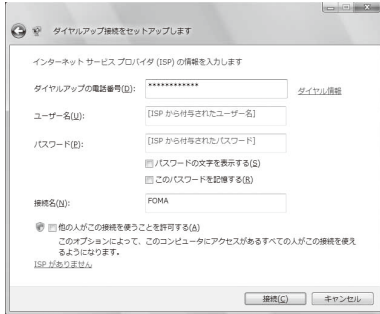
1 [スタート]→[接続先]をクリックする

2 [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックする

3 [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選び、[次へ]をクリックする

4 [モデム - FOMA SO905iCS]をクリックする

- デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 [ダイヤルアップの電話番号]に接続先番号を入力する

パケット通信の場合

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

64Kデータ通信の場合

接続先の電話番号を入力します。

6 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[接続名]に任意の名前を入力して[接続]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

接続中の画面が表示されます。

7 [スキップ]をクリックする

8 [接続をセットアップします]をクリックする

9 [閉じる]をクリックする

新しいダイヤルアップが作成されます。

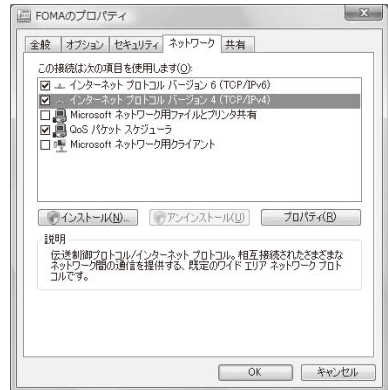
10 [スタート]→[接続先]をクリックする

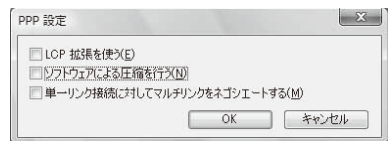
11 作成した接続先アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする

12 [全般]タブの各項目を確認する

- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、[接続の方法]で[モデム - FOMA SO905iCS]のみにチェックします。
- [ダイヤル情報を使う]のチェックを外します。

13 [ネットワーク]タブをクリックし、[この接続は次の項目を使用します]に[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)]がチェックされていることを確認する

- ご利用になるプロバイダや企業内LANによっては、他の項目についてもチェックする必要がある場合があります。プロバイダや企業内LANの管理者の指示に従ってチェックしてください。

14 [オプション] タブをクリックし、[PPP設定]をクリックする

15 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする

16 [OK]をクリックする

接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

ダイヤルアップ接続する

あらかじめ、FOMA端末とパソコンを接続します。

例： Windows XPの場合

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ネットワーク接続]をクリックする

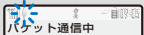
2 接続先アイコンをダブルクリックする

3 各項目を確認し、[ダイヤル]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は、[ユーザー名]、[パスワード]は空欄でも接続できます。

接続が実行されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信中はFOMA端末にアイコンが表示されます。

パケット通信中(データ送受信なし)

パケット通信中(データ送受信中)

64Kデータ通信中

64Kデータ通信中

ダイヤルアップを切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するためには、以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 [切断]をクリックする

接続が切断されます。

ダイヤルアップアイコン

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

■ ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ずATを付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊3#⏎

リターンマーク： Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容

コマンド：コマンド名

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことです。

■ ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。

ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

● オフラインモード

FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。

● オンラインデータモード

FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤作動させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード

FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

- 外部機器から、音声電話発信/テレビ電話発信/64Kデータ通信を行った場合、2in1のモードがAモード、デュアルモードのときはAナンバーで発信します。Bモードのときは Bナンバーで発信します。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C(※)のER信号をOFFにします。

※ USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO⏎」と入力します。

ATコマンド一覧

FOMA SO905iCSで使用できるATコマンドです。

[&F] ： AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

[&W] ： AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

コマンド		概要・パラメータ	入力例
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。	A/
AT%V		FOMA端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。	AT%V
AT&C<n>		DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	AT&C1
	n=0	CD信号は常にONにします。（パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	CD信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）	
AT&D<n>		DTEから受け取る回路ER信号がON/OFF遷移したときの動作を選択します。	AT&D1
	n=0	ER信号の状態を無視します。（常にON）（パラメータ省略時）	
	n=1	ER信号がONからOFFに変化するとオンラインコマンドモードになります。	
[&F][&W]	n=2	ER信号がONからOFFに変化するとオフラインモードになります。（お買い上げ時）	
AT&E<n>		接続時の速度表示の仕様を選択します。	AT&E1
	n=0	無線区間通信速度を表示します。	
[&F][&W]	n=1	パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します。（お買い上げ時）	
AT&F<n>		FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の設定にします。通信中に実行した場合は、通信切断処理を行います。	AT&F0
	n=0	n=0のみ指定可能（省略可）	
AT&S<n>		FOMA端末が出力するDR信号の制御を設定します。	AT&S0
	n=0	DR信号は常にONにします。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	回線接続時にDR信号をONにします。	
AT&W<n>		現在の設定値をFOMA端末に書き込みます。	AT&W0
	n=0	n=0のみ指定可能（省略可）	
AT＊DANTE		FOMA端末の電波の受信レベルを「＊DANTE:m」の形式で表示します。 m=0：圏外、m=1～3：FOMA端末に表示されるアンテナの本数（m=1：0本または1本）	AT＊DANTE AT＊DANTE=?
AT＊DGANSM=<n>		パケット着信呼に対して着信拒否/着信許可を設定します。	AT＊DGANSM=0 AT＊DGANSM? AT＊DGANSM=?
	n=0	着信拒否設定と着信許可設定をOFFにします。（お買い上げ時）	
	n=1	着信拒否設定をONにします。	
	n=2	着信許可設定をONにします。	
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]		パケット着信呼に対して着信許可を行う接続先（APN）を設定します。APNは、「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidを追加/削除します。	AT＊DGAPL=0,1 AT＊DGAPL? AT＊DGAPL=?
	n=0	<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。	
	n=1	<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。	
AT＊DGARL=<n>[,<cid>]		パケット着信呼に対して着信拒否を行う接続先（APN）を設定します。APNは、「+CGDCONT」で定義された<cid>パラメータを使用します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidを追加/削除します。	AT＊DGARL=0,1 AT＊DGARL? AT＊DGARL=?
	n=0	<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。	
	n=1	<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。	
AT＊DGPIR=<n>		パケット通信の発着信時の番号通知/非通知を設定します。	AT＊DGPIR=0 AT＊DGPIR? AT＊DGPIR=?
	n=0	APNをそのまま使用します。（お買い上げ時）	
	n=1	APNに「184」を付けます。	
	n=2	APNに「186」を付けます。	
AT＊DRPW		FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を「＊DRPW:m」の形式（m=0～75）で表示します。	AT＊DRPW AT＊DRPW=?
AT+CEER		直前の通信の切断理由を表示します。（P.28）	AT+CEER AT+CEER=?

コマンド		概要・パラメータ	入力例
AT+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]		パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" AT+CGDCONT= ※1 AT+CGDCONT=<cid> ※2 AT+CGDCONT? AT+CGDCONT=?
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
	APN=任意	接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。	
AT+CGEQMIN=[<cid.[,,<n>[,<m>]]]		パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。	AT+CGEQMIN=2,,384,3648 AT+CGEQMIN=2,,384 AT+CGEQMIN=2,,,3648 AT+CGEQMIN= ※1 AT+CGEQMIN=<cid> ※2
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
	n=なし/384	FOMA端末と基地局間の上り最低通信速度（kbps）です。 なし：すべて速度を許容します。（お買い上げ時） 384：パケット通信がつながらない場合があります。	
	m=なし/3648	FOMA端末と基地局間の下り最低通信速度（kbps）です。 なし：すべて速度を許容します。（お買い上げ時） 3648：パケット通信がつながらない場合があります。	
AT+CGEQREQ=[<cid>]		パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ= ※1 AT+CGEQREQ=<cid> ※2
	cid=1～10	FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。	
AT+CGMR		FOMA端末のバージョンを16桁の数字で表示します。	AT+CGMR AT+CGMR=?
AT+CGREG=<n>		ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。	AT+CGREG=1 AT+CGREG? AT+CGREG=?
	n=0	通知しません。（お買い上げ時）	
[&F][&W]	n=1	圏内/圏外の登録状態を「+CGREG:<n>,<stat>」の形式で通知します。 stat=0：圏外、stat=1：圏内（home）、stat=4：不明、stat=5：圏内（visitor）	
AT+CGSN		FOMA端末の製造番号を表示します。	AT+CGSN AT+CGSN=?
AT+CLIP=<n>		64Kデータ通信の着信時に相手の発信者番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 AT+CLIP?を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0：発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定、m=1：発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定、m=2：不明	AT+CLIP=0 AT+CLIP? AT+CLIP=?
	n=0	表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	n=1	表示します。	
AT+CLIR=<n>		64Kデータ通信の発信時に相手に電話番号を通知するかどうかを設定します。 AT+CLIR?を入力すると、「+CLIR:n,m」が表示されます。 m=0：CLIRは未起動（常時通知）、m=1：CLIRは常時起動（常時非通知）、m=2：不明、m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト）、m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 AT+CLIR? AT+CLIR=?
	n=0	CLIRサービスの契約の設定に従います。（パラメータ省略時）	
	n=1	通知しません。	
	n=2	通知します。（お買い上げ時）	
AT+CMEE=<n>		FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。（P.28）	AT+CMEE=0 AT+CMEE? AT+CMEE=?
	n=0	「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
	n=1	「+CME ERROR:xxxx」の形式（xxxxは数字）で表示します。	
[&F][&W]	n=2	「+CME ERROR:xxxx」の形式（xxxxは文字）で表示します。	
AT+CNUM		FOMA端末の自局番号を「+CNUM:, "自局電話番号" ,type」の形式で表示します。 type=129：国際アクセスコード+を含まない、type=145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM AT+CNUM? AT+CNUM=?
AT+CR=<mode>		回線接続時に「CONNECT」を表示する前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。	AT+CR=0 AT+CR? AT+CR=?
	mode=0	表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）	
[&F][&W]	mode=1	「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC：64Kデータ通信、serv=GPRS：パケット通信	
AT+CRC=<n>		着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	AT+CRC=0 AT+CRC? AT+CRC=?
	n=0	使用しません。（お買い上げ時）	
[&F][&W]	n=1	使用します。	

※1 すべてのcidをお買い上げ時の設定に戻します。

※2 指定したcidをお買い上げ時の設定に戻します。

コマンド		概要・パラメータ	入力例
AT+CREG=<n>		圏外/圏内情報を表示するかどうかを設定します。 AT+CREG?を入力すると、「+CREG:<n>,<stat>」の形式で表示します。 stat=0：圏外、stat=1：圏内(home)、stat=4：不明、stat=5：圏内(visitor)	AT+CREG=1 AT+CREG? AT+CREG=?
	n=0	表示しません。(お買い上げ時)	
[&F][&W]	n=1	表示します。	
AT+GMI		FOMA端末の製造会社名を表示します。	AT+GMI AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA端末名を表示します。	AT+GMM AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA端末のバージョンを表示します。	AT+GMR AT+GMR=?
AT+IFC=<n,m>		パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 nはDCE by DTEの制御、mはDTE by DCEの制御を設定します。 mを省略すると、DCE by DTEと同じ入力値になります。	AT+IFC=2,2 AT+IFC? AT+IFC=?
	n=0	フロー制御を行いません。	
	n=1	XON/XOFFフロー制御を行います。	
	n=2	RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行います。(お買い上げ時)	
	m=0	フロー制御を行いません。	
	m=1	XON/XOFFフロー制御を行います。	
[&F][&W]	m=2	RS/CS(RTS/CTS)フロー制御を行います。(お買い上げ時)	
AT+WS46=<n>		発信時にFOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	AT+WS46=22 AT+WS46? AT+WS46=?
[&F][&W]	n=22	FOMAネットワーク(固定値)	
AT¥S		コマンドの設定内容とSレジスタを表示します。	AT¥S
AT¥V<n>		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。	AT¥V0
	n=0	拡張リザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1	拡張リザルトコードを使用します。	
ATA		FOMA端末が着信したモードに従って着信処理をします。	
ATD		パケット通信または64Kデータ通信の発信をします。 パケット通信の場合：「ATD＊99＊＊＊cid#」の形式で入力します。cidを省略すると、cid=1になります。「ATD184＊99」で始まる形式で入力した場合、指定したcidのAPNに対して184(発信者番号通知なし)が付加されます。(186も同様です) 64Kデータ通信の場合：「ATD電話番号」の形式で入力します。 リダイヤル発信の場合：「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。	ATD＊99＊＊＊3#
ATE<n>		パソコンから送信された文字をエコーバックするかどうかを設定します。	ATE0
	n=0	エコーバックしません。(パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1	エコーバックします。(お買い上げ時)	
ATH		パケット通信または64Kデータ通信を切断します。	ATH
ATI<n>		認識コードを表示します。	ATI0
	n=0	「NTT DoCoMo」と表示します。(パラメータ省略時)	
	n=1	FOMA端末名を表示します。	
	n=2	FOMA端末のバージョンを表示します。	
ATO		通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。	ATO
ATQ<n>		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。	ATQ1
	n=0	表示します。(お買い上げ時、パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1	表示しません。	
ATS0=<n>		FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	ATS0=0 ATS0?
	n=0	自動着信しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1〜255	呼び出し回数です。	
ATS2=<n>		エスケープキャラクタを設定します。	ATS2=0 ATS2?
	n=0〜126	43：お買い上げ時、0：パラメータ省略時	
[&F]	n=127	エスケープ処理を無効にします。	
ATS3=<n>		ATコマンドの文字列の最後を認識する復帰(CR)キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。	ATS3=13 ATS3?
[&F]	n=13	お買い上げ時	

コマンド		概要・パラメータ	入力例
ATS4=<n>		改行(LF)キャラクタを設定します。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰(CR)キャラクタの次に付けられます。	ATS4=10 ATS4?
[&F]	n=10	お買い上げ時	
ATS5=<n>		ATコマンド入力中に入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース(BS)キャラクタを設定します。	ATS5=8 ATS5?
[&F]	n=8	お買い上げ時	
ATS6=<n>		ダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	ATS6=5 ATS6?
[&F]	n=2～10	5：お買い上げ時、パラメータ省略時	
ATS8=<n>		カンマダイヤルするまでのポーズ時間(秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は3秒で固定です。	ATS8=3 ATS8?
[&F]	n=1～255	60：お買い上げ時、121～255：120とみなす	
ATS10=<n>		自動切断の遅延時間(1/10秒)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	ATS10=1 ATS10?
[&F][&W]	n=1～255	1：お買い上げ時、パラメータ省略時	
ATS30=<n>		64Kデータ通信時、データの送受信がなかった場合に通信を切断するまでの時間(分)を設定します。	ATS30=0 ATS30?
	n=0	切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)	
[&F]	n=1～255	切断するまでの時間(分)です。	
ATS103=<n>		64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	ATS103=0 ATS103?
	n=0	＊(パラメータ省略時)	
	n=1	/(お買い上げ時)	
[&F]	n=2	¥	
ATS104=<n>		64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	ATS104=0 ATS104?
	n=0	#(パラメータ省略時)	
	n=1	%(お買い上げ時)	
[&F]	n=2	&	
ATV<n>		リザルトコードの表示方法を設定します。	ATV1
	n=0	数字で表示します。(パラメータ省略時)	
[&F][&W]	n=1	文字で表示します。(お買い上げ時)	
ATX<n>		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。	ATX1
	n=0	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし(パラメータ省略時)	
	n=1	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり	
	n=2	ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示なし	
	n=3	ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり	
[&F][&W]	n=4	ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり(お買い上げ時)	
ATZ		FOMA端末の設定をAT&Wで記憶させた不揮発メモリの内容にします。通信中に実行した場合は、回線切断処理を行います。	ATZ
+++		FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1秒間の固定です。	+++

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため通信できません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信できません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信しました、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM (FOMAカードに相当するICカード)が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

リザルトコード

ATVnコマンド(P.27)がn=1に設定されている場合は文字表示形式(初期値)、n=0に設定されている場合は数字表示形式でリザルトコードが表示されます。

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信がきています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。通信ネットワークが混雑しています。 しばらくたってから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

● &E0のとき

FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32,000bps
122	CONNECT 64000	64,000bps
125	CONNECT 384000	384,000bps
133	CONNECT 3648000	3,648,000bps

● &E1のとき

FOMA端末－パソコン間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1,200bps
10	CONNECT 2400	2,400bps
11	CONNECT 4800	4,800bps
12	CONNECT 9600	9,600bps
16	CONNECT 19200	19,200bps
17	CONNECT 38400	38,400bps
18	CONNECT 57600	57,600bps
19	CONNECT 115200	115,200bps
20	CONNECT 230400	230,400bps
21	CONNECT 460800	460,800bps

● 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－パソコン間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

● ATX0が設定されている場合

接続完了のときは、AT¥Vコマンド(P.26)の設定にかかわらず、「CONNECT」のみ表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD＊99＊＊＊3# CONNECT	ATD＊99＊＊＊3# 1

● ATX1が設定されている場合※

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合

接続完了のときは、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD＊99＊＊＊3# CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊3# 1 21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときは、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向(FOMA端末→基地局間)の最高速度>/<下り方向(FOMA端末←基地局間)の最高速度>」の書式で表示します。

文字表示例	数字表示例
ATD＊99＊＊＊3# CONNECT 460800 PACKET mopera.net/384/3648	ATD＊99＊＊＊3# 1 21 5

(mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大3,648kbpsで接続したことを表します)

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

FOMA® SO905iCS
区点コード一覧

’08.1（1版）
A-CUK-100-**01**(1)

区点コード一覧は、4桁の区点コードを「区点1～3桁目」と「区点4桁目」の組み合わせで表しています。

例：★（区点コード「0190」）を入力したい場合は、区点コード一覧で★の位置を確認し、同じ行の「区点1～3桁目」の数字（ここでは「019」）と同じ列の「区点4桁目」の数字（ここでは「0」）を組み合わせて、区点コード（「0190」）を決定します。

※ 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
652	甦	甯	畀	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			